

朝酌川河川改修工事に伴う

タテチョウ遺跡発掘調査報告書

— Ⅲ —

本文編

平成 2 年 3 月



国土部河川課
教育委員会

朝酌川河川改修工事に伴う

タテチョウ遺跡発掘調査報告書

— Ⅲ —

本文編

平成 2 年 3 月

島根県土木部河川課
島根県教育委員会

序

島根県教育委員会は、島根県土木部の委託を受け、昭和52年度以来朝酌川河川改修工事区域内の調査を行ってまいりました。本書は昭和62・63年度に実施したタテチョウ遺跡発掘調査の結果をまとめたものであります。

朝酌川の中、下流域に所在するタテチョウ遺跡、および西川津遺跡は縄文時代から中世にかけての複合遺跡として広く知られております。とくに弥生時代の遺物が大量に出土しており、山陰地方の弥生時代を語るにはこの2つの遺跡は欠くことができない、といっても過言ではありません。これらのきわめて多くの出土遺物—土器・石器・木製品など—は当時の人々の生活のようすを彷彿とさせるばかりでなく、九州で起こったといわれる弥生文化の当地方への伝播と展開、さらに日本海沿岸各地との交流など、謎の多い弥生時代人の軌跡を解明してくれる可能性を秘めていると考えております。

本書では、多岐にわたる出土遺物について十分な検討ができず、不備な点も少なからずありますが、この調査成果が多少なりとも埋蔵文化財に対する理解に役立てば幸いと思えます。

発掘調査および本書の刊行にあたりましては各方面から多大なるご支援、ご協力をいただきましたことに対し心よりお礼を申し上げます。

平成 2 年 3 月

島根県教育委員会

教育長 原 田 俊 夫



例 言

1. 本書は1987・88年度（昭和62・63年度）の2ヵ年にわたって島根県教育委員会が島根県土木部の委託を受けて実施した、一級河川朝酌川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 本書には、1985年度に松江市教育委員会が実施した発掘調査で出土した遺物も合わせて掲載した。これは、この調査区が1987年度県教委調査区の中央に当ることから、両者を同一調査区と見なしたほうがよい、との判断からである。
3. 1987年度調査区は島根県松江市にしかわつ西川津町大字橋本字はしもと たてちよう堅町1358-3ほか、1988年度調査区は同1125-3ほかである。
4. 調査組織は次のとおりである。

〔1987年度〕

事務局 熊谷正弘（文化課長）、安達富治（文化課課長補佐）、矢内高太郎（同文化係長）、吾郷朋之（同文化係主事）、陶山 彰（同囑託）、板倉仁志（財務課主任主事）

調査員 勝部 昭（文化課課長補佐）、川原和人（同埋蔵文化財第2係長）、宮沢明久（同埋蔵文化財第1係長）、柳浦俊一（島根県教育文化財団文化財主事）、大谷祐司（同囑託）、長嶺康典（同）

調査補助員 渡辺正巳（島根大学理学部地質学研究室研究生）、此松昌彦（同）、折橋裕二（島根大学理学部学生）

〔1988年度〕

事務局 内藤仁男（文化課長）、井原 讓（文化課課長補佐）、野村純一（同文化係長）、吾郷朋之（同文化係主事）、陶山 彰（同囑託）、板倉仁志（財務課主任主事）

調査員 勝部 昭（文化課課長補佐）、川原和人（同埋蔵文化財第2係長）、宮沢明久（同埋蔵文化財第1係長）、三宅博士（島根県教育文化財団学芸主事）、柳浦俊一（同文化財主事）、大谷祐司（同囑託）

調査補助員 此松昌彦（島根大学理学部地質学研究室研究生）、折橋裕二（島根大学理学部学生）、三好壮一郎（同）

〔1989年度〕

事務局 泉 恒雄（文化課長）、井原 讓（文化課課長補佐）、野村純一（同文化係長）、吾郷朋之（同文化係主事）、別所重一郎（同囑託）、陸浦英哉（財務課主事）

調査員 勝部 昭（文化課課長補佐）、川原和人（同埋蔵文化財第2係長）、宮沢明久（同

埋蔵文化財第1係長), 三宅博士(島根県教育文化財団学芸主事), 柳浦俊一(文化課埋蔵文化財第2係主事)

遺物整理 瀬田明子, 金津まり子, 佐藤順子, 馬庭志津子, 佐竹一美, 久保田祐子, 藤原富美子, 武田美紗子, 今村レイ, 狩野京子, 片山礼子

なお, 1985年度の松江市教育委員会による調査は, 岡崎雄二郎(松江市教育委員会社会教育課文化係長), 今岡一三(同囑託), 昌子寛光(松江市立女子高教諭)が行い, 遺物整理は県教委が補助した。

5. 自然遺物の同定および自然科学的分析は次の方々のご協力をいただき, その結果を収録した。(敬称略, 順不同)

金子浩昌(早稲田大学講師 獣骨), 佐藤敏也(国分寺市文化財専門委員 炭化米), 大西郁夫(島根大学教授 花粉分析), 秋山 優(同 珪藻分析), 林 正久(同助教授 自然地理学), 岡村一郎(日本貝類学会員), 赤坂正秀, 山内靖喜(島根大学助教授 金属分析), 粉川昭平(大阪市立大学教授 植物種子), 永嶋正春(国立歴史民俗博物館 漆分析)

6. 発掘調査および遺物整理にあたっては次の方々の有益な御指導, 御助言をいただいた。記して感謝する。(敬称略, 順不同)

山本 清(島根大学名誉教授), 町田 章, 佐原 真, 伊東太作, 工楽善通, 金子裕之, 深沢芳樹, 沢田正昭, 花谷 浩(以上奈良国立文化財研究所), 村上 勇(広島県立美術館), 岡田 博, 平井 勝, 柳瀬昭彦, 椿 真治(岡山県立古代吉備文化センター), 水野正好, 泉 拓良(奈良大学), 下條信行, 宮本一夫(愛媛大学), 根木 修(岡山市教育委員会), 山田昌久(筑波大学), 菱田哲郎(京都大学考古博物館), 難波洋三(京都国立博物館), 黒沢 浩(明治大学博物館), 井上洋一(東京国立博物館), 井上寛司, 渡辺貞幸, 田中義昭(以上島根大学), 福田健司(東京都教育委員会), 館野 孝(東京都埋蔵文化財センター), 河瀬正利(広島大学), 近藤喬一(山口大学), 西健一郎(九州大学), 木村幾多郎(佐賀大学), 沈奉勤(東亜大学), 渡部明夫(香川県埋蔵文化財調査センター), 重松敏美(福岡県文化財保護審議会), 高島英之, 津金澤吉茂(群馬県埋蔵文化財調査事業団), 岩崎仁司(笠岡市教育委員会), 印南敏秀(愛知大学), 宮崎泰好(松山市教育委員会), 相田則美(松山市立埋蔵文化財センター), 岡田敏彦, 作田一耕(愛媛県埋蔵文化財調査センター), 松下正司, 篠原芳秀, 鈴木栄之, 佐藤昭嗣(広島県立草戸千軒町遺跡調査研究所), 潮田鉄雄, 市田京子(日本はきもの博物館), 平川 南(国立歴史民俗博物館), 正林 護(長崎県教育委員会), 高橋 護(岡山県立博物館), 北野信彦(元興寺文化財研究所), 甲元真之(熊本大学), 藤岡大拙(島根県立女子短大), 的野克之(島根県立博物館), 内田文恵(島根県立図書館), 村上久和(大分県教育委員会)

7. 挿図中の方位は国土調査法による第Ⅲ座標系X軸の方向を指す。従って、磁北より7°12′、真北より0°32′東の方向を指す。
8. 出土遺物については遺物の種類毎に通し番号を与えてそれを挿図番号とし、各番号の前には略号を付した。略号は縄文土器がJ(Jomon Pottery)、弥生土器がY(Yayoi Pottery)、土師器がH(Haji Pottery)、須恵器がSU(Sue Pottery)、ミニチュア土器がM(Miniature)、その他の土器がE(Etc)、土製品がCL(Clay Object)、石器がST(Stone Tools)、木製品がW(Wood Tools)、土師質土器がMH(Medieval Age Haji Pottery)、陶磁器がC(Ceramic)、鉄器がI(Iron Artifacts)とした。実測図、図版の縮率は各図および各図版の下部に示すが、縮率のないものは任意である。
9. 掲載図面は主に三宅、柳浦、瀬田、金津、佐藤、馬庭、佐竹、久保田、藤原、深田 浩(別府大学学生)が作成し、三宅、柳浦が修正した。図の浄書は瀬田、金津、佐藤、馬庭、佐竹、久保田、狩野が行い、写真は自然遺物以外は三宅、柳浦が撮影した。自然遺物については各執筆者の撮影である。
10. 各遺物の整理および原稿執筆は三宅、柳浦、大谷の三者で協議し、木製品・鉄器と試掘の項を三宅、土器・石器・土製品その他を柳浦が主に行い、Ⅰ～Ⅲ、Ⅸ章は三宅、柳浦が共同で行った。
11. 本報告書は勝部、川原、その他文化課職員の協力を得て、三宅、柳浦が編集した。

本 文 目 次

| | |
|---------------------|-----|
| Ⅰ. 調査に至る経緯 | 1 |
| Ⅱ. 遺跡の歴史的環境 | 2 |
| Ⅲ. 調査の経過と概要 | 4 |
| Ⅳ. 第4～6層出土遺物の考古学的観察 | 6 |
| 1. 縄文土器 | 6 |
| 2. 弥生土器 | 47 |
| 3. 土 師 器 | 146 |
| 4. 須 恵 器 | 177 |
| 5. ミニチュア土器 | 178 |
| 6. その他の土器 | 184 |
| 7. 土 製 品 | 187 |
| 8. 石 器 | 196 |

| | |
|---|-----|
| 9. 木製品 | 214 |
| V. 旧河道 | 290 |
| 第1河道 | 290 |
| 第2河道 | 290 |
| しがらみ状遺構 | 290 |
| 1. 第1・第2河道内出土遺物 | 292 |
| (1) 須恵器 | 292 |
| (2) 土師器 | 307 |
| (3) 土師質土器 | 308 |
| (4) 陶磁器・中世須恵器 | 311 |
| (5) 木製品 | 315 |
| (6) 鉄鏃・古銭 | 390 |
| VI. 自然遺物の検討 | 391 |
| 1. タテチヨウ遺跡第3次調査出土の脊椎動物遺体 (金子浩昌) | 391 |
| 2. 松江市西川津町タテチヨウ遺跡出土の靱 (佐藤敏也) | 418 |
| 3. タテチヨウ遺跡の貝類の考察について (岡村一郎) | 426 |
| 4. タテチヨウ遺跡出土の植物種子 (粉川昭平) | 430 |
| VII. 自然科学的分析 | 434 |
| 1. タテチヨウ遺跡'88の花粉分析 (大西郁夫・大谷英之) | 434 |
| 2. 松江平野の微地形とその形成過程 (林 正久) | 437 |
| 3. タテチヨウ遺跡出土鉍滓状物質の分析結果 (赤坂正秀・山内靖喜) | 448 |
| 4. タテチヨウ遺跡堆積土壌中の珪藻類遺体と古環境 (秋山 優) | 449 |
| 5. タテチヨウ遺跡出土の赤色漆塗櫛にみられる漆技術について (永嶋正春) | 455 |
| 6. 松江市タテチヨウ遺跡出土木製品の樹種の記載 — その1 — (渡辺正巳) | 458 |
| 7. タテチヨウ遺跡における河成堆積物の粒土分析 (此松昌彦・折橋裕二) | 463 |
| VIII. 加羅加羅橋周辺の試掘調査 | 474 |
| IX. まとめにかえて | 479 |
| あ と が き | 482 |

挿 図 目 次

| | | |
|------|----------------------|-----|
| 第1図 | 遺跡の位置と周辺の遺跡 | 2・3 |
| 第2図 | 調査区配置図 | 4・5 |
| 第3図 | 土層の対比 | 5 |
| 第4図 | 縄文土器 (1) 前・中期 | 11 |
| 第5図 | 縄文土器 (2) 早・前期 | 12 |
| 第6図 | 縄文土器 (3) 前・中期 | 13 |
| 第7図 | 縄文土器 (4) 中・後期 | 14 |
| 第8図 | 縄文土器 (5) 後期 | 15 |
| 第9図 | 縄文土器 (6) 後・晩期 | 16 |
| 第10図 | 縄文土器 (7) 後期・同細部拓影・晩期 | 17 |
| 第11図 | 縄文土器 (8) 晩期 | 18 |
| 第12図 | 縄文土器 (9) 晩期 | 19 |
| 第13図 | 縄文土器 (10) 晩期 | 20 |
| 第14図 | 縄文土器 (11) 晩期深鉢・壺 | 21 |
| 第15図 | 縄文土器 (12) 晩期鉢 | 22 |
| 第16図 | 縄文土器 (13) 晩期深鉢 | 23 |
| 第17図 | 縄文土器 (14) 晩期深鉢 | 24 |
| 第18図 | 縄文土器 (15) 晩期深鉢・浅鉢 | 25 |
| 第19図 | 縄文土器 (16) 晩期浅鉢 | 26 |
| 第20図 | 縄文土器 (17) 晩期浅鉢 | 27 |
| 第21図 | 縄文土器 (18) 晩期浅鉢・底部 | 28 |
| 第22図 | 縄文土器 (19) 晩期浅鉢 | 29 |
| 第23図 | 縄文土器 (20) 晩期浅鉢・時期不明 | 30 |
| 第24図 | 弥生土器 (1) 前期壺 | 58 |
| 第25図 | 弥生土器 (2) 前期壺 | 59 |
| 第26図 | 弥生土器 (3) 前期壺 | 60 |
| 第27図 | 弥生土器 (4) 前期壺 | 61 |
| 第28図 | 弥生土器 (5) 前期壺 | 62 |
| 第29図 | 弥生土器 (6) 前期壺 | 63 |
| 第30図 | 弥生土器 (7) 前期壺 | 64 |
| 第31図 | 弥生土器 (8) 前期壺 | 65 |

| | | | |
|------|-----------|-------------|----|
| 第32图 | 弥生土器 (9) | 前期壺 | 66 |
| 第33图 | 弥生土器 (10) | 前期壺・無頸壺 | 67 |
| 第34图 | 弥生土器 (11) | 前期無頸壺・甕 | 68 |
| 第35图 | 弥生土器 (12) | 前期甕 | 69 |
| 第36图 | 弥生土器 (13) | 前期甕 | 70 |
| 第37图 | 弥生土器 (14) | 前期甕 | 71 |
| 第38图 | 弥生土器 (15) | 前期甕・鉢 | 72 |
| 第39图 | 弥生土器 (16) | 前期鉢・蓋 | 73 |
| 第40图 | 弥生土器 (17) | 前期蓋・底部 | 74 |
| 第41图 | 弥生土器 (18) | 前期壺拓影 | 75 |
| 第42图 | 弥生土器 (19) | 前期壺拓影 | 76 |
| 第43图 | 弥生土器 (20) | 前期壺拓影 | 77 |
| 第44图 | 弥生土器 (21) | 前期壺拓影 | 78 |
| 第45图 | 弥生土器 (22) | 前期壺・無頸壺・甕拓影 | 79 |
| 第46图 | 弥生土器 (23) | 前期甕拓影 | 80 |
| 第47图 | 弥生土器 (24) | 前期甕・蓋・底部拓影 | 81 |
| 第48图 | 弥生土器 (25) | 中期壺 | 82 |
| 第49图 | 弥生土器 (26) | 中期壺 | 83 |
| 第50图 | 弥生土器 (27) | 中期壺 | 84 |
| 第51图 | 弥生土器 (28) | 中期壺 | 85 |
| 第52图 | 弥生土器 (29) | 中期壺 | 86 |
| 第53图 | 弥生土器 (30) | 中期壺 | 87 |
| 第54图 | 弥生土器 (31) | 中期壺・短頸壺・無頸壺 | 88 |
| 第55图 | 弥生土器 (32) | 中期壺 | 89 |
| 第56图 | 弥生土器 (33) | 中期無頸壺・甕 | 90 |
| 第57图 | 弥生土器 (34) | 中期甕 | 91 |
| 第58图 | 弥生土器 (35) | 中期甕 | 92 |
| 第59图 | 弥生土器 (36) | 中期甕 | 93 |
| 第60图 | 弥生土器 (37) | 中期甕 | 94 |
| 第61图 | 弥生土器 (38) | 中期甕 | 95 |
| 第62图 | 弥生土器 (39) | 中期甕 | 96 |
| 第63图 | 弥生土器 (40) | 中期鉢 | 97 |
| 第64图 | 弥生土器 (41) | 中期鉢 | 98 |
| 第65图 | 弥生土器 (42) | 中期鉢・高坏 | 99 |

| | | | | |
|------|-------------|---------------------------|-------|-----|
| 第66図 | 弥生土器 (43) | 中期高坏 | ----- | 100 |
| 第67図 | 弥生土器 (44) | 中期高坏・蓋・その他 | ----- | 101 |
| 第68図 | 弥生土器 (45) | 中期底部 | ----- | 102 |
| 第69図 | 弥生土器 (46) | 中期拓影 | ----- | 103 |
| 第70図 | 弥生土器 (47) | 後期壺 | ----- | 104 |
| 第71図 | 弥生土器 (48) | 後期甕 | ----- | 105 |
| 第72図 | 弥生土器 (49) | 後期甕・鉢・高坏 | ----- | 106 |
| 第73図 | 弥生土器 (50) | 後期器台・注口土器・甑および漆塗土器・時期不明土器 | --- | 107 |
| 第74図 | 弥生土器 (51) | | ----- | 108 |
| 第75図 | 土師器 (1) | 壺 | ----- | 149 |
| 第76図 | 土師器 (2) | 甕・壺 | ----- | 150 |
| 第77図 | 土師器 (3) | 甕 | ----- | 151 |
| 第78図 | 土師器 (4) | 甕 | ----- | 152 |
| 第79図 | 土師器 (5) | 甕 | ----- | 153 |
| 第80図 | 土師器 (6) | 甕 | ----- | 154 |
| 第81図 | 土師器 (7) | 甕 | ----- | 155 |
| 第82図 | 土師器 (8) | 甕 | ----- | 156 |
| 第83図 | 土師器 (9) | 甕 | ----- | 157 |
| 第84図 | 土師器 (10) | 甕 | ----- | 158 |
| 第85図 | 土師器 (11) | 甕・高坏 | ----- | 159 |
| 第86図 | 土師器 (12) | 高坏・器台 | ----- | 160 |
| 第87図 | 土師器 (13) | 器台・低脚坏・碗・甑・脚・文様拓影 | ----- | 161 |
| 第88図 | 土師器 (14) | 小型丸底壺 | ----- | 162 |
| 第89図 | 第4層出土須恵器 | 壺・高坏ほか | ----- | 177 |
| 第90図 | ミニチュア土器 (1) | 壺形 | ----- | 179 |
| 第91図 | ミニチュア土器 (2) | 甕・鉢・碗形 | ----- | 180 |
| 第92図 | ミニチュア土器 (3) | 脚・高坏・杓子形 | ----- | 181 |
| 第93図 | その他の土器 (1) | 韓式土器・埴輪 | ----- | 185 |
| 第94図 | その他の土器 (2) | 竈・時期不明土器 | ----- | 186 |
| 第95図 | 土製品 (1) | 土笛 | ----- | 188 |
| 第96図 | 土製品 (2) | 土笛 | ----- | 189 |
| 第97図 | 土製品 (3) | 土笛・その他 | ----- | 190 |
| 第98図 | 土製品 (4) | 土製円板 | ----- | 192 |
| 第99図 | 土製品 (5) | 土製円板・土錘 | ----- | 194 |

| | | | |
|-------|--|----------------------|-----|
| 第100図 | 石器 (1) | 細石核・剝片・刃器・尖頭器状石器・石錘 | 197 |
| 第101図 | 石器 (2) | 石匙・異形石器・石錘 | 198 |
| 第102図 | 石器 (3) | 石錘・石斧 | 200 |
| 第103図 | 石器 (4) | 扁平片刃・柱状片刃石斧 | 201 |
| 第104図 | 石器 (5) | 柱状片刃石斧・石包丁 | 202 |
| 第105図 | 石器 (6) | 石包丁・擦切用工具・石鎌 | 203 |
| 第106図 | 石器 (7) | 石剣状石器・棒状石器・紡錘車・円板状石器 | 205 |
| 第107図 | 石器 (8) | 擦切り未成品 | 207 |
| 第108図 | 石器 (9) | 擦切り未成品 | 208 |
| 第109図 | 砥石・石帯 | | 209 |
| 第110図 | 漆塗櫛実測図 | | 215 |
| 第111図 | 漆塗櫛実測図 | | 216 |
| 第112図 | 漆塗櫛実測図 | | 217 |
| 第113図 | 漆塗櫛実測図 | | 218 |
| 第114図 | 漆塗櫛実測図 | | 219 |
| 第115図 | 広鍬A ₁ a 実測図 | | 221 |
| 第116図 | 広鍬A ₁ a 未成品実測図 | | 222 |
| 第117図 | 広鍬A ₁ b 実測図 | | 223 |
| 第118図 | 広鍬A ₁ b 実測図 | | 224 |
| 第119図 | 広鍬A ₁ b ₂ 未成品実測図 | | 225 |
| 第120図 | 広鍬A ₁ b 転用品実測図 | | 226 |
| 第121図 | 広鍬A ₁ 未成品実測図 | | 227 |
| 第122図 | 広鍬B・狭鍬B 実測図 | | 229 |
| 第123図 | 丸鍬実測図 | | 230 |
| 第124図 | エブリ実測図 | | 231 |
| 第125図 | 又鍬・諸手鍬実測図 | | 232 |
| 第126図 | 各種鍬類実測図 | | 234 |
| 第127図 | 鍬・未成品類実測図 | | 236 |
| 第128図 | 未成品・用途不明品実測図 | | 237 |
| 第129図 | 鋤A 実測図 | | 239 |
| 第130図 | 鋤B ₁ 実測図 | | 240 |
| 第131図 | 鋤B ₂ ・B ₃ 実測図 | | 241 |
| 第132図 | 鋤B ₄ ・B ₅ 等実測図 | | 242 |
| 第133図 | 鋤B 未成品実測図 | | 243 |

| | | |
|-------|-------------------------|---------|
| 第134図 | 高坏実測図 | 245 |
| 第135図 | 杓子実測図 | 246 |
| 第136図 | 匙実測図 | 247 |
| 第137図 | 桶形木製品実測図 | 249 |
| 第138図 | 横槌・把手・盤・杵実測図 | 250 |
| 第139図 | 斧柄実測図 | 252 |
| 第140図 | 木鏝実測図 | 253 |
| 第141図 | 木鏝実測図 | 254 |
| 第142図 | 舟形木製品実測図 | 257 |
| 第143図 | 鳥形木製品・箱状木製品実測図 | 258 |
| 第144図 | 棒状木製品実測図 | 259 |
| 第145図 | 棒状木製品・柄状木製品実測図 | 261 |
| 第146図 | 弓・先端加工木製品実測図 | 262 |
| 第147図 | 鋤形木製品・椀未成品実測図 | 263 |
| 第148図 | 有舌木製品・串形木製品・根バサミ状木製品実測図 | 265 |
| 第149図 | 板状木製品実測図 | 266 |
| 第150図 | 板状木製品実測図 | 267 |
| 第151図 | 建築材実測図 | 268 |
| 第152図 | 板状未成品実測図 | 269 |
| 第153図 | 未成品・余材実測図 | 271 |
| 第154図 | 建築材実測図 | 272 |
| 第155図 | 建築材実測図 | 273 |
| 第156図 | 建築材実測図 | 274 |
| 第157図 | 板状未成品実測図 | 275 |
| 第158図 | 手斧木柄の型式各部名称図 | 278 |
| 第159図 | 第1・2河道土層図 | 290・291 |
| 第160図 | しがらみ状遺構平面・側面図 | 290・291 |
| 第161図 | 第1・2河道測量図 | 291 |
| 第162図 | 第1・第2河道出土須恵器実測図 | 295 |
| 第163図 | 第1・第2河道出土須恵器実測図 | 296 |
| 第164図 | 第1・第2河道出土須恵器実測図 | 297 |
| 第165図 | 第1・第2河道出土須恵器実測図 | 298 |
| 第166図 | 第1・第2河道出土須恵器実測図 | 299 |
| 第167図 | 第1・第2河道出土須恵器実測図 | 300 |

| | | |
|-------|--------------------------------|-----|
| 第168図 | 第1・第2河道出土須恵器実測図 | 301 |
| 第169図 | 第1・第2河道出土須恵器・高坏・皿・甕・子持壺・瓦器碗実測図 | 302 |
| 第170図 | 第2河道出土土師器実測図 | 307 |
| 第171図 | 第1河道出土土師質土器実測図 | 309 |
| 第172図 | 第1河道出土陶磁器実測図 | 312 |
| 第173図 | 第1河道出土陶磁器実測図 | 313 |
| 第174図 | 人形代実測図 | 316 |
| 第175図 | 舟形木製品実測図 | 317 |
| 第176図 | 刀子柄実測図 | 318 |
| 第177図 | 漆器椀皿実測図 | 319 |
| 第178図 | 曲物実測図 | 320 |
| 第179図 | 曲物実測図 | 321 |
| 第180図 | 曲物実測図 | 323 |
| 第181図 | 折敷実測図 | 324 |
| 第182図 | 扇骨形木製品・把手状木製品・先端加工木製品実測図 | 325 |
| 第183図 | 鋤B ₁ ・鍬未成品実測図 | 326 |
| 第184図 | 鋤A・槌実測図 | 327 |
| 第185図 | 余材・建築材実測図 | 328 |
| 第186図 | 杭・板状木製品・建築材実測図 | 330 |
| 第187図 | 先端加工木製品・建築材実測図 | 331 |
| 第188図 | 順礼札・札状木製品実測図 | 333 |
| 第189図 | 札状木製品実測図 | 334 |
| 第190図 | 櫛実測図 | 335 |
| 第191図 | 家形木製品実測図 | 336 |
| 第192図 | 木像実測図 | 337 |
| 第193図 | 板塔婆実測図 | 338 |
| 第194図 | 斎串状木製品実測図 | 339 |
| 第195図 | 斎串状木製品実測図 | 340 |
| 第196図 | 椀類実測図 | 342 |
| 第197図 | 椀・皿類実測図 | 343 |
| 第198図 | 椀類実測図 | 344 |
| 第199図 | 椀類実測図 | 345 |
| 第200図 | 椀類縁状木製品実測図 | 346 |
| 第201図 | 曲物実測図 | 348 |

| | | |
|-------|-------------------------------------|---------|
| 第202図 | 曲物実測図 | 349 |
| 第203図 | 曲物・折敷類実測図 | 350 |
| 第204図 | 蓋実測図 | 352 |
| 第205図 | 折敷・桶実測図 | 353 |
| 第206図 | 鎌柄・短刀柄実測図 | 355 |
| 第207図 | 下駄実測図 | 356 |
| 第208図 | 下駄実測図 | 357 |
| 第209図 | 弓・鋤・櫓状木製品・棒状木製品実測図 | 358 |
| 第210図 | 槌の子実測図 | 359 |
| 第211図 | 把手実測図 | 360 |
| 第212図 | 把手実測図 | 361 |
| 第213図 | 糸車・円板形木製品・クサビ形木製品実測図 | 362 |
| 第214図 | 脚形木製品・クサビ形木製品実測図 | 363 |
| 第215図 | 板状木製品実測図 | 364 |
| 第216図 | 箱形木製品実測図 | 366 |
| 第217図 | 柄状木製品・題簽状木製品・隅飾形木製品実測図 | 367 |
| 第218図 | 板状木製品・杓子・アカトリ実測図 | 368 |
| 第219図 | 建築部材・板状木製品実測図 | 369 |
| 第220図 | 杭・杖状木製品実測図 | 370 |
| 第221図 | 板状木製品・面縁状木製品実測図 | 372 |
| 第222図 | 綾編笠実測図 | 372・373 |
| 第223図 | 瓢箪・椰子実・桜皮実測図 | 373 |
| 第224図 | 深衣 | 375 |
| 第225図 | 綾編笠 | 377 |
| 第226図 | 第1河道出土鉄鎌・古銭実測図 | 390 |
| 第227図 | 骨角器実測図 | 404 |
| 第228図 | 骨角器実測図 | 405 |
| 第229図 | タテチョウ遺跡 No67 11層出土粒の粒形, 粒点と粒幅の相関の変異 | 423 |
| 第230図 | タテチョウ遺跡 No67 11層出土粒の粒形変異(粒長/粒幅) | 423 |
| 第231図 | タテチョウ遺跡(87・88)の花粉ダイアグラム | 434・435 |
| 第232図 | 松江平野の微地形分類図 | 438 |
| 第233図 | 松江平野の基盤の地形 | 441 |
| 第234図 | 松江平野の沖積層の南北断面図 | 442 |
| 第235図 | タテチョウ遺跡の柱状図 | 443 |

| | | |
|-------|--|---------|
| 第236図 | X線粉末回析パターン | 448 |
| 第237図 | タテチヨウ遺跡堆積土壌の電気伝導度 | 450 |
| 第238図 | タテチヨウ遺跡の調査区位置図 | 463 |
| 第239図 | タテチヨウ遺跡の粒度分析試料採取地点と土層断面位置 (a. 87年度発掘調査朝酌川左岸 b. 88年度右岸) | 464 |
| 第240図 | タテチヨウ遺跡87・88年度発掘調査土層断面図 | 464・465 |
| 第241図 | 87・88年度タテチヨウ遺跡発掘調査区における河成堆積物の 累積頻度曲線(1) | 466 |
| 第242図 | 87・88年度タテチヨウ遺跡発掘調査区における河成堆積物の 累積頻度曲線(2) | 467 |
| 第243図 | 87・88年度タテチヨウ遺跡発掘調査区における河成堆積物の 累積頻度曲線(3) | 468 |
| 第244図 | 87・88年度タテチヨウ遺跡発掘調査における平均粒径と歪度の相関図 | 470 |
| 第245図 | タテチヨウ遺跡の堆積環境モデル | 471 |
| 第246図 | 88年度タテチヨウ遺跡発掘調査区の河成堆積物の泥質部における 4.5φ以下を除いた重量パーセントのヒストグラム | 472 |
| 第247図 | 試掘区配置図 1:2000 | 475 |
| 第248図 | 試掘坑土層図 | 477 |
| 第249図 | 試掘区出土遺物実測図 | 478 |

I. 調査に至る経緯

タテチョウ遺跡は、松江市の北東方から大橋川に流れる朝酌川沿いにあり、1934年（昭和9年）に行われた堰と水門を造る工事の際、多くの土器が出土したことによりその存在が確認された。その後、1949年（昭和24年）に至って現島根大学名誉教授山本 清氏によって一部試掘が行われ、本遺跡が弥生時代を中心として古墳時代にもおよぶ複合遺跡であることが判明した。弥生時代前期の遺物は山陰地方では出土遺跡が少なかったこともあり、特に注目を引いた。

ところで、本遺跡を縦断する朝酌川は繰り返し氾濫を起こし、1970年代から急激に増加した川津地区の住宅に損害を与えるようになった。そのため島根県土木部では1972年（昭和47年）から河積拡大の河川修理計画が企画された。この計画ではタテチョウ遺跡、原の前遺跡、西川津遺跡が影響を受けることになり、島根県教育委員会と県土木部はこれらの取扱いについて協議を重ねてきた。これらの協議に基づき、1977年（昭和52年）以降島根県教育委員会は本格的な発掘調査を行ってきた。

本事業に係る調査を列举すると、以下のとおりである。（調査面積は概数）

1974年（昭和49年）タテチョウ遺跡範囲確認のため予備調査

1977年（昭和52年）タテチョウ遺跡の概要を把握する事前調査（1600m²）（『タテチョウ遺跡発掘調査報告書』Ⅰ 1979）

1979～81年（昭和54～56年）西川津遺跡の概要を把握する事前調査（1979・200m²、80・400m²、81・900m²）（『西川津遺跡発掘調査報告書』Ⅰ・Ⅱ 1980・82）

1983～85年（昭和58～60年）西川津遺跡海崎橋付近の調査（1983・2000m²、84・600m²、85・2100m²）（『西川津遺跡発掘調査報告書』Ⅲ～Ⅴ 1987～89）

1984・85年（昭和59・60年）タテチョウ遺跡楽山橋付近の調査（1984・1800m²、85・800m²）（『タテチョウ遺跡発掘調査報告書』Ⅱ 1987）

1987・88年（昭和62・63年）タテチョウ遺跡楽山橋上流付近の調査（1987・2000m²、88・2000m²）

本報告書は、1987・88年度（昭和62・63年度）発掘調査の報告である。

以上の調査とは別に、松江市立第二中学校移転に伴い排水溝の建設が予定され、河川工事区域内ではあるが、松江市教育委員会によって1985年（昭和60年）に調査が実施された。この調査は、県教委1987年度調査区のはぼ中央に当る（446m²）。この調査で出土した遺物については、県教委1987年度調査区出土遺物と分離するのは望ましくないとの判断から、松江市教委と県教委の共同で整理し本報告書に掲載することとした。

Ⅱ. 遺跡の位置と歴史的環境

タテチョウ遺跡は、松江市西川津町大字橋本字堅町^{たてちよう}ほかに所在する。ここは松江市街地東端にあたり、東に和久羅山、北に澄水山、大平山、御嶽山、真山などを臨む位置にある。遺跡は澄水山麓に源を発する朝酌川沿いの沖積地に立地し、正確な範囲は確認されていないが南北約300m程の拡がりを持つと考えられる。

この付近は古墳を中心として多くの遺跡が存在するが、現在のところ旧石器時代の遺跡はまだ発見されていない。縄文時代の遺跡としては、西川津遺跡、金崎遺跡などが知られている。西川津遺跡はタテチョウ遺跡の北約1.5kmに位置し、昭和55年度から4ヵ年にわたって発掘調査が行われ、縄文土器、弥生土器、木製品、石器などが多量に出土した。縄文時代の遺物としては前期および晩期の土器などが多く出土したが、少数ながら早期末の繊維土器などが存在するのが注目される。タテチョウ遺跡でもわずかながら繊維土器が出土しており、当地域では少なくとも縄文時代早期末には人々が生活を営んでいたことがわかる。両遺跡とも縄文時代前期後半から中期にかけての土器はほとんど出土しておらず、後期から晩期にかけて次第に土器の量が多くなるようである。

弥生時代の遺跡としては、西川津遺跡、貝崎遺跡、橋本遺跡などがある。いずれも朝酌川沿いの水田や丘陵裾部に立地する遺跡である。このうち発掘調査が行われた西川津遺跡では前期から中期にかけての弥生土器、木製品、石器、骨角器など豊富な遺物が出土し、当地方の弥生文化を知る上で貴重な遺跡である。

古墳時代の遺跡としては、国指定史跡金崎古墳などを初め、丘陵上には多くの古墳が築かれている。典型的な前期古墳は今のところ確認されていないが、下東川津町道仙古墳群が比較的古い様相の古墳とされている。

中期になると丘陵上にかなりの数の古墳が築造される。これらは一辺20m未満の方墳がほとんどで、比較的大規模なものとしては大源1号墳（円墳径約37m）、宮垣古墳群（円墳径30m）、金崎古墳群、薬師山古墳、菅田丘古墳（前方後方墳 長さ約30m）などが知られる。また、これらは中期でもやや新しい様相の古墳が多く、前半期に遡る古墳は山崎古墳（方墳 一辺19m）などが知られる程度でほとんどは須恵器出現期頃の古墳とされる。このうち最も著名な古墳は金崎1号墳である。この古墳は全長35mの前方後方墳で、幅広の竪穴式石室を内蔵し、副葬品も豊富で滑石製異形子持勾玉、碧玉製勾玉、同棗玉、同管玉、ガラス玉、滑石製小玉などの玉類、仿製内行花文鏡、金環、直刀、須恵器などの優品が出土している。

後期古墳では東持田町佐々木亮宅畑中古墳、同野津真宅前古墳、同加佐奈子古墳、同佐々木浅市



1. タテチヨウ遺跡
2. 西川津遺跡
3. 橋本遺跡
4. 納佐遺跡
5. 貝崎遺跡
6. ひのさん山古墳群
7. 薬師山古墳
8. 菅田丘古墳
9. 小丸山古墳
10. 宮田古墳群
11. 浜弓古墳
12. 金崎古墳群
13. 宮垣古墳群
14. 太源古墳
15. 小丸山古墳群
16. 佐々木浅市宅古墳
17. 佐々木亮畑中古墳
18. 野津真宅前古墳
19. 加美古墳
20. 加佐奈子古墳
21. 道仙古墳群
22. 貝崎古墳群
23. 古屋敷古墳
24. 空山古墳群
25. 馬込山古墳群
26. 岡田薬師山古墳
27. 堤廻遺跡

第1図 遺跡の位置と周辺の遺跡 (国土地理院 1:25000)

宅裏古墳，同加美古墳，上東川津町西宗寺古墳などいわゆる石棺式石室を持つ古墳が築かれる。持田・川津地区では以上のような石棺式石室が集中している地域であるが，整正のものはほとんどなく，石棺式石室亜流とされるものが多い。このほか坂本町薄井原古墳は片袖横穴式石室を内蔵する全長50mの前方後方墳で，この地方の後期古墳としては最大級の古墳として注目される。また，小規模ではあるが東奥谷町岡田薬師山古墳（方墳 一辺約12m），垣の内古墳も横穴式石室を内蔵している。岡田薬師山古墳の横穴式石室は中国山地山間部に多いとされる無袖式の石室で，平野部ではほかに同様な石室は確認されていない。

出雲地方は古墳時代後期には横穴墓が多く作られるという特色がみられるが，本遺跡周辺では横穴墓は，穴の口横穴墓群，鍛冶屋谷横穴墓群などが知られる程度である。この付近は横穴墓より横穴式石室が盛行した地域であろうか。

このほか古墳時代の集落遺跡としては西川津町堤廻遺跡，同柴遺跡がある。いずれも丘陵斜面に立地する集落跡で，堤廻遺跡は18棟，柴遺跡は2棟の堅穴住居跡が確認されている。

律令時代の遺跡は，須恵器などが散布する遺跡は多いもののそのほとんどは実態が不明で，瓦などが出土した坂本町坊床廃寺は性格のわかる数少ない遺跡の一つである。天平5年に勸造された『出雲国風土記』によると，本遺跡の周辺は「島根郡山口郷」に比定され，ここは島根郡家から秋鹿郡家に至る道すじに当たっていたようである。前々回のタテチョウ遺跡の発掘調査では第Ⅲ調査区から「驛」の墨書須恵器を始め奈良～平安時代にかけての須恵器，土師器がまとめて出土していることが注目される。

タテチョウ遺跡は概ね以上のような歴史的環境を持つ川津，持田平野の一角に営まれている。

参考文献

- | | | |
|----------|-----------------------|-----------|
| 島根県教育委員会 | 『タテチョウ遺跡発掘調査報告書』 I・II | 1979・1987 |
| 島根県教育委員会 | 『西川津遺跡発掘調査報告書』 I | 1980 |
| 松江市教育委員会 | 『山崎古墳』 | 1984 |
| 松江市教育委員会 | 『柴古墳群』 | 1985 |
| 山本 清 | 『山陰古墳文化の研究』 | 1971 |
| 加藤義成 | 『校注出雲国風土記』 | 1965 |

Ⅲ. 調査の経過と遺跡の概要

1987年度（昭和62年度）の調査は1984年度（昭和59年度）調査区の北側、1988年度（昭和63年度）は1987年度調査区の朝酌川を挟んだ対岸（朝酌川の西岸）の発掘調査を行った。これらは1987年度調査区が1977年度（昭和52年度）の第Ⅰ調査区、1988年度調査区が同じく第Ⅱ調査区周辺に当る。調査に当ってはグリッドの設定など発掘年度毎にまちまちにならないよう国土座標を使用し、基準点、グリッド名は1984年度調査に従った。即ち、東西の座標軸 $X = -57,645,000$ と南北の座標軸 $Y = +82,170,000$ の交点をN0E0として基準とし、座標軸に対応するよう一辺10mの方眼を組みグリッドの単位とした。また上述の東西座標軸をN0とし北に向ってN1, N2……, 南北座標軸をE0とし東に向ってE1, E2……と呼び、各方眼の東北の交点をグリッド名とした。従って1988年度ではN9～N20, E3～E9, 1989年度ではN16～26, E4～9がおおよその調査範囲である。

1987年度 1984年度の調査区を参考に当初は砂礫層（第4層・第3図参照）以上を無遺物層として重機により除去する計画であった。ところが耕作土、黒色粘質土（第1～2層）を除去した段階で須恵器が出土し（標高約0.6m）、上部から遺物包含層であることが判明した。出土した須恵器が奈良～平安時代であったことから、この地が陸地化した以後の遺構を想定し遺構検出に努めたが、遺構は確認できなかった。これにより重機掘削は1～2層を除去するにとどめ、以下は人力による掘削とした。須恵器を出土する層は砂層と粘質土層が数cm～10cm前後の厚さで交互に堆積している（調査時には4～7層に細分）が、上部と下部では出土した須恵器に年代差は認められない。この層は次年度の調査で検出された第2河道の堆積層とよく似ており、出土遺物の内容もよく似ていることから本報告では第2河道堆積層とした。この層の下には従来から遺物包含層とされていた砂礫層（第4層）があり、前回同様標高約±0mで検出された。第4層以下の層序は報告Ⅱで10層とした砂層が存在しないこと以外は基本的に前回と同じだったが、茶色粘質土層下部（第5～2層）にヤマトシジミが混入していない部分が多いこと、その下の砂層（第6層）がN14以北では礫を多く含むなど、若干1984年度調査時の土層と様相が異なる。標高約-1m以下では無遺物層（第7層）であったが、上面では貝殻が集積する箇所が数箇所認められ（図版5）、貝殻に混って炭化米も出土した。貝類、炭化米については本報告第Ⅵ章で詳細が述べられている。なお、遺跡の範囲を知るため、楽山橋の下流に一辺5mの調査区を設定し調査を行ったが、遺物は出土しなかった。

調査はグリッド毎に行い、遺物は層ごとに取り上げることに留意した。1987年度の発掘調査は1987年5月6日から1988年1月12日の約8ヵ月間を要し、以後3月末まで出土遺物の洗浄、註記、分類を行った。



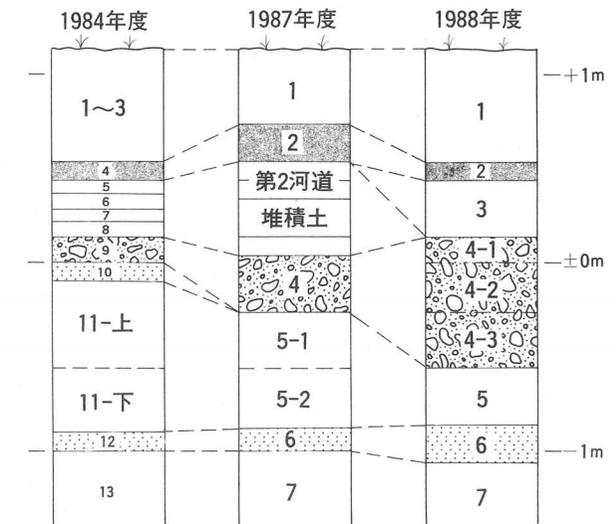
第2図 調査区配置図(「松江圏都市計画図」19 1:2,500 1987に加筆)

1988年度 矢板施工の都合で調査区をN22付近で南北二分し、南側から調査を行うこととした。前年度の調査を参考に1～2層を重機で除去し、以下を人力によって掘削することとした。1988年度からは調査区を朝酌川西岸に移したことから、1984・87年度調査区と土層の堆積状況が違うことが予想されたため、最初に東西方向にトレンチを入れ土層の把握を行った。その結果耕作土（第1層）、黒色粘質土（第2層）、黄褐色土（第3層）除去直後に砂礫層（第4層）が検出されたが、第4層は調査区全域には広がらず調査区東側は自然河道（第1河道）によって削られていることが判明した。そのため調査は第1河道の調査、測量の後に包含層（第4～6層）の調査を行った。北半部の調査でもまず第1河道の調査から行ったが、調査途中で第1河道に重複してさらに古い時代の自然河道が確認された（第2河道）。これらの河道の発見により本遺跡での土層は基本的に次の順で堆積したと考えられた。①第7層が少なくとも標高-1m以上まで堆積 ②第7層が砂層（第6層）によって-1mまで削られ、同時に第6層が約10cm堆積 ③第5層（茶色粘質土）が少なくとも標高0mまで堆積 ④第4層（砂礫層）が第5層を削りながら標高+1.3mまで堆積 ⑤第2河道が第4層を削り込んで流れる ⑥第2河道埋没 ⑦第1河道が第2河道堆積土を削り込んで流れる ⑧第1河道埋没 このような状況を考えると、1984・87年度では88年度に比べ第4層が薄い、1988年度では84・87年度に比べ5層が薄い、という東西調査区の土層の違いは前者では⑤の作用、後者では④の作用が強く働いたためと理解できる。

1988年度の調査は4月11日から始め12月24日の約8ヵ月間を要し、以後3月まで出土遺物の洗浄、註記、分類を行った。この間、将来の調査に備え、原の前遺跡の試掘調査を行った（7月19日～7月29日）。

1989年度 1989年度は報告書の作成、出土遺物の整理を行った。遺物の整理は木製品、金属器、試掘分を三宅、土器・石器その他を柳浦が分担して行った。

土器、石器その他については、洗浄の終了したものから全てに目を通し、実測可能なもの、特異なものを抽出し、そのみについて註記を行った。さらに時期別、器種別、型式別、文様別に分類を進め、それぞれのグループの中で優先順位をつけ実測するものを決定した。報告書掲載に当っては



1987.88年度 1.耕作土 2.黒色粘質土 3.黄褐色土 4.青灰色砂礫層
5.茶色粘質土 6.灰色細砂層 7.暗茶色粘質土(無遺物層)
1984年度の層番号は報告Ⅱで使用した番号と同じ

第3図 土層の対比
(右の数字は標高、点線は同一層を結ぶ) 1:40

できるだけ多くの種類を掲載するよう配慮したが、一つの型式が全体に対して占める比率は時間的な制約もあり求めることはできなかった。

木製品の整理に対しては、まず一点一葉の略図を付したカードを作成し、それに通し番号を記すこととした。これによって器種分類、実測優先順位等を決定する作業を行った。実測に際しては前記した通し番号は実測図の番号と一致させておいた。一方木製品は長年水漬の状態となっているものの中には遺跡名、出土年月日、取り上げ番号等を記入したラベルが腐蝕したり、インクが流出したりすることが多かった。そこで今回はラベルに実測番号（カード作成時の通し番号）を併記し、実測が終了したものから、ラベルにビニールパック加工を施してビニールひもで結びつけることとした。これによって今後収蔵庫内の木製品は実測番号からも、報告書の一覧表からも検索することが可能となると考えた。これらの作業と併行して実測が終了した木製品から樹種鑑定用のプレパラートを作成する作業を行った。

Ⅳ. 第4層～第6層出土遺物の考古学的検討

今回の調査でも、前回同様多量の遺物が出土したが、時間および紙数の制約から掲載できた遺物は約2500点にすぎない。

今回の調査では第1、第2河道が検出され、各河道からも遺物が出土した。これらは遺構内出土遺物として一括して扱うのが常套であろうが、明らかに混入と考えられる縄文土器、弥生土器、古墳時代土師器、石器などは第4～6層出土のものと同じ項で扱った。木製品についてはそれぞれの時期判定が困難であることから、各河道出土木製品の項で扱った。

1. 縄文土器

早期（第5図J3～J7 図版21）

胎土に繊維を含み、縄文を施すいわゆる菱根式土器である。J4は表裏縄文の土器である。

前期（第4図J1・第5図J8～第6図J48 図版21・22）

前期初頭の土器（J1、J8～J35）は刺突文、条痕文、沈線文、隆帯文が施され、口縁部は折返し口縁（J8、9など）の土器が多い。胎土には繊維が含まれるものがわずかにある（J1、9、10、12）。文様のうち最も多くみられるのは刺突文で、押し引き状のものを含めるとかなりの量を出土している。これらは棒状、半截竹管状、二枚貝などの工具によって施文される。半截竹管状工具による刺突文は、後出の北白川下層Ⅰa式（羽島下層Ⅲ式）のD字爪形文に似た感じを受ける。隆帯文はJ21、27

のようにミミズバレ状のものとJ 22, 24, 25のように太い隆帯文のものがある。

前期前葉の土器のうちJ 38は3字形の爪形文が施されることから羽島下層Ⅱ式に併行すると考えられる。またJ 36, 37はD字爪形文, J 39とJ 40はC字連続爪形文が施され, 前者が羽島下層Ⅲ式古(北白川下層Ⅰa式), 後者が羽島下層Ⅲ式新(北白川下層Ⅰb式)に併行すると思われる。

底部は3点図示した(J 41~43)。いずれも丸底で, 主に二枚貝条痕で調整されることから磯ノ森式併行期までは下らず, 前期初頭~前葉の土器であろう。

前期後葉~末の土器は出土量が非常に少なく, 5点図示できたにすぎない(J 44~48)。J 44~46は口縁部内面に粘土帯を貼り付けて肥厚させる土器で近畿地方の大歳山式に併行すると思われる。J 45, 46は外面と内面の口縁肥厚部に縄文が施されるが, J 44は外面のみに縄文が施される。J 47とJ 48はともに細い突帯文が施される土器で, 外面にはJ 47に縄文, J 48に刺突文が施される。ともに彦崎ZⅡ式に併行する土器であろうか。

中 期 (第4図J 2, 第6図J 49~第7図J 61 図版21~23)

船元式に併行すると思われる土器はJ 49~53である。J 49は太い沈線文と爪形文で飾られる土器で鷹島式の特徴を持つ。器面が荒れているため定かではないが縄文地であろうか。J 52, 53は口縁部外面に粘土帯を貼り付け肥厚させる土器で船元Ⅰ式に併行すると思われる。J 51は縄文はみられないが, 突帯文の周辺に円形の刺突文を施すもので船元Ⅱ式の特徴を持つことから, 当該時期と判断した。

J 54~57は里木ⅡまたはⅢ式に併行すると思われる。J 54, 55は縄文地に大きな波状文が施され里木Ⅱ式に併行する。J 56は口縁部に細かな波状文が施されるが, 器面が摩滅しているため縄文地, 条痕地のいずれかであるか不明である。J 57は燃糸文土器でやはり里木Ⅱ式に併行すると思われる。

J 58~60については併行型式名は不明であるが, 一応中期末に位置づけた。J 60は仁多郡横田町竜ノ駒遺跡出土土器に似る。

後 期 (第7図J 62~第9図J 128, 第10図J 138~142 図版23~25)

今回の調査では後期の土器は比較的多く出土した。特に縁帯文土器以後の土器が多い。

J 62~71は中津式に併行する土器である。J 62は渦状突起で円形刺突文が施され, 口縁外面には太い沈線文が施される。他は口縁~胴部片で, いずれも沈線文が施される。J 66, 67, 69は磨消縄文である。

J 72~77は後期前葉と思われる。このうちJ 72, 73は3条の沈線文を基調にすること, J 74, 75は福田貝塚資料に同様な口縁突起があることなどから福田K2式に併行する土器であろう。J 76は口縁外面がやや肥厚し縄文が施されているように窺える。J 77は肥厚した口縁部に太い沈線文が施されている。

J 78~80, 82~84, 86, 138, 139は彦崎K1式に併行する土器である。J 78~80は沈線文が直線

的に描かれ、J 82は肥厚した口縁部上面に山形文が描かれている。J 83, 84はともに胴部片で上部に縄文が施されている。J 138, 139は口縁部が肥厚する鉢で、J 138の胴部に細い斜沈線文、J 139の口縁部には縄文が施される。

J 81, 85は彦崎K2式併行の土器と考えられる。J 81は突帯文を貼り付け、沈線文間に刻目文を施す。J 85は口縁部が肥厚し縄文が施される。

J 87～89は併行型式名は不明だが、概ね後期頃と考えたい。沈線文の形状からJ 87が前半期、J 88が後半期であろうか。

J 90～105は近畿地方の一乗寺K式～元住吉山I式に併行すると思われる。J 92は注口土器、J 140, 142は浅鉢で、他は深鉢である。深鉢は逆「L」字口縁の土器が多く、逆「L」字口縁でないものはJ 95, 102, 104である。文様は細い沈線文を基調とするものが多いが、J 97, 98, 105は連続刺突文が施される。残存状態の良好な土器には沈線文間に縄文または刻目文が窺える（J 90, 91, 93, 96, 99など）。J 100は沈線文の上下に刻目文が施されている。J 140, 142は浅鉢で、口縁内面に沈線文と縄文が施される。

J 107～113は元住吉山II式に併行する土器である。J 107は巻貝によってひかれた凹線文の端部を刺突している。J 108は逆「L」字口縁で、外面に凹線文が描かれ、J 109, 110, 112, 113は口縁内面に凹線が1～2条と縄文（J 112）または刻目文が施される。またJ 111は注口土器である。

J 114～126, 141は宮滝式に併行する土器と思われる。口縁部は逆「L」字形を呈し、外面に凹線文を施すもの（J 115～120, 123, 126, 141）、内外面に凹線文を施すもの（J 121, 122, 124）、内面に凹線文を施すもの（J 125）がある。凹線文は巻貝によって施文されるものが多く、J 119には扇状圧痕文がみられる。

J 127～131は口縁部の屈曲が宮滝式併行期の土器ほど明瞭ではなく、凹線文も明瞭に施されない土器である。J 114～126との関係は定かではないが形態が比較的似ていることから、ここでは一応後期末～晩期初頭に位置づけたい。

晩期（第9図J 132～137, 第10図J 143～第23図J 408 図版25～36）

晩期の土器は縄文土器中最も多く出土しており、272点を図示した。後半の突帯文土器が最も多いのは従来と変わらないが、今回の調査では前半期の土器と浅鉢が比較的多く出土したことが注目される。また、晩期初頭の土器は今回も出土していない。これらは全体の器形から深鉢がI～IV、浅鉢がI～VII類に大きく分類できる。また深鉢のうち突帯文土器は突帯の形と位置から1～5類に分類できる。一覧表中の分類名はこの記号の組み合わせである。

深鉢I（J 150, 165など） 頸部が緩くくびれ口縁部が外反するもの。

II（J 158, 162など） 頸部がくびれず胴部からそのまま口縁部に至るもの。

Ⅲ (J 178, 183など) 頸部がくびれず、口縁部のみが外反するもの。

Ⅳ (J 196, 197など) 胴部・口縁部が大きく内湾するもの。

深鉢のうち突帯文土器は以下の5類に分類できる。

- 1 (J 163, 240など) 口唇部は面取りされ平坦。突帯は口唇よりやや下った位置に付される。口唇と突帯の2ヶ所に刻目が施される。
- 2 (J 242, 244など) 1類と形状、突帯の位置は同じだが、刻目は突帯のみに施される。
- 3 (J 252, 284など) 口唇部は面取りされず先細で、突帯は口唇のやや下に位置する。
- 4 (J 180, 249など) 口唇部に接して突帯が付されるもので、突帯は高い。
- 5 (J 175, 245など) 口唇部に接して突帯が付されるが、突帯上面と口唇部とが同時に調整されているため口唇は先細で突帯は低い。

中国地方の晩期の土器編年は近年岡山地方で整備されつつある。それによれば谷尻式—(原下層式)—前池式—(黒土BⅡ式)—沢田式とされ、谷尻式、原下層式が突帯文出現以前、前池式以降が突帯文土器である。本遺跡では突帯文のないⅠ類土器に口唇刻目文、爪形刺突文が施されるものが多く(J 149, 150など)、調整も二枚貝条痕を基調としていることから谷尻式に併行すると考えてよかろう。爪形文のない土器群(J 143~148, 151など)についても調整・器形から同時期と思われる。またJ 154, 155の胴部にみられる強いナデによる凹線文は近畿地方滋賀里Ⅲb~Ⅳ式にみられ、やはり突帯文出現前後と思われる。J 214~216は口唇が肥厚し原下層式の特徴をもつが、当地方では一般的とは言い難い。突帯文出現直後の型式は前池式が当てられており、頸部に沈線文、刺突文があることからJ 157, 229, 230は前池式併行と考えられる。無文の突帯文土器については細分の根拠はないが、Ⅰ₁、Ⅰ₂類(J 158~165など)が口唇、突帯の形状・調整が谷尻式、前池式に似ていることから突帯文土器の中でも古い時期に位置づけたい。一方Ⅱ₃類(J 176~179など)は条痕がほとんどみられず、刻目文もないものが多い。一見したところではより弥生土器に近い感じであることから、最も新しい突帯文土器と考えたい。Ⅱ類は様々な要素があり、同一時期とみなし難いが、大部分はⅠ₁、Ⅰ₂類とⅡ₃類の中間に位置するのではなかろうか。以上は『報告』Ⅰで述べられている「口唇と突帯に刻目」→「突帯のみ刻目」→「刻目なし」という変化にかなりの部分に対応しているようである。もちろん例外もあり全てをこの図式に当ててはできないが、大勢としては無文化の傾向があることは認められる。詳細な検討を加えれば合理的な細分が可能であろう。

今回の調査ではハケ目またはいねいなナデ調整が施される土器が比較的多く出土した(J 182~197, 298~308)。これらはⅢ、Ⅳ類の大部分、Ⅱ類の一部にみられる。口唇部が平坦なものも多く突帯がやや下がった位置にあることから古くみる向きもあるが、弥生前期の土器と同一層から出土したとされる鳥取県羽合町長瀬高浜遺跡、同倉吉市イキス遺跡、鳥根県鹿島町氏元遺跡などでも

同様の特徴を有していることから、弥生土器に最も近い一群と考えてよからう。なおⅡ₅類との前後関係は不明である。

このほか小数ではあるが胴部に突帯を付すものが2点ある（J 309, 310）。これは2条突帯文深鉢の胴部であろう。管見によれば2条突帯文深鉢は島根・鳥取両県ではほとんど出土例がなく、わずかに大社境内遺跡から出土した1点が知られるのみである。

浅鉢の分類は以下のとおりである。

- I₁（J 311, 312など） 長頸浅鉢のうち口唇部が丸いもの。
- I₂（J 313, 324など） 長頸浅鉢のうち口唇部が肥厚し平坦面をなすもの。
- I₃（J 326, など） 長頸浅鉢のうち口唇部が肥厚し内面に段を持つもの。
- I₄（J 382, 383など） 長頸浅鉢のうち口唇部が肥厚し、外面が突帯状に膨むもの。
- Ⅱ₁（J 316, 317など） 口縁部が内湾するもののうち、口縁部が直立気味にたちあがるもの。
- Ⅱ₂（J 355, 358など） 口縁部が内湾するもののうち、口縁部が大きく開くもの。
- Ⅲ（J 318, 319 ） 頸部が緩く屈曲し口縁部が外反するもの。J 318, 319とも口唇部近くに沈線文が施される。
- Ⅳ（J 329, 330 ） 口縁部は短く直立し端部は厚い。肩部は強く張る。
- Ⅴ（J 334, 335など） 頸部は短く屈曲し肩部は強く張る。口唇は肥厚し段をなす。
- Ⅵ（J 337, 338など） 口縁部がやや長く、胴部との境は屈曲し逆「く」字形を呈する。沈線文が描かれるものもある。
- Ⅶ（J 339） 口縁部がやや長く胴部との境は屈曲するが明瞭ではない。他類に比べ深身。
- Ⅷ（J 340） 口縁部が逆「く」字形に屈曲し上方に伸びるもの。
- Ⅸ（J 344, 346など） 碗形を呈し、口縁部が短く逆「く」字形に屈曲するもの。
- X（J 345） 碗形のものでⅨ類に似るが、口縁部が長く伸びる。
- XI（J 347, 348など） 口縁部は短く屈曲し、口唇部が肥厚するか外反するもの。
- XII（J 353, 354など） 口縁部がわずかに屈曲するが、外面には稜がつかない。

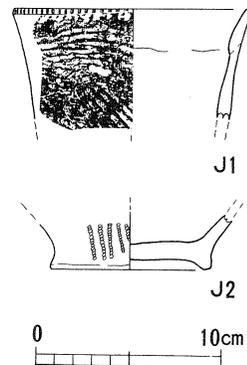
以上のように浅鉢の器形は多いが、浅鉢は各地の形態差が少なく併行関係を知るのに適していると言われる。これにより各類の併行型式を考えると、I₁、I₂類は谷尻式、I₃、I₄類は谷尻～前池式、Ⅲ、Ⅴ₁、X類は近畿地方滋賀里Ⅲb～Ⅳ式、Ⅶ類は滋賀里Ⅲ式、Ⅷ類は滋賀里Ⅲb式、XI類が滋賀里Ⅳ式に似たものがみられる。Ⅵ類は近畿地方滋賀里Ⅳ式、岡山地方沢田式に似た土器がみられるが、滋賀里Ⅳ式と沢田式は時期的に違ふとされることから検討が必要であろう。Ⅱ₁、Ⅲ類は浮文や沈線文で飾られることから谷尻式以前と考えたい。Ⅱ₂類は晩期を通じて存在するが、内面や口唇部に竹管文、刻目文を持つものは深鉢I₁類と似た要素があることから谷尻式以前である

うか。Ⅷ類は他地方ではあまりみない土器であるが、有文土器（J 391 など）の刺突文が深鉢Ⅰ類の刺突文と同じことから谷尻式に併行すると考えられる。Ⅷ類は晩期後半を通じて存在するようである。

深鉢、浅鉢のほか、今回の調査では壺が3点出土した（J 201～203）。いずれも突帯文を1条付け、J 202以外は刻目文を施す。併行型式名は不明である。

時期不明の土器（第23図 J 409～第24図 J 420 図版37）

時期を判別しえなかったものを一括して掲載した。



第4図 縄文土器(1)
前・中期 1:4

参考文献

新版『考古学講座』3 1969 雄山閣

『日本の考古学』Ⅱ 1965 河出書房新社

『縄文文化の研究』Ⅱ 1981 雄山閣近畿地方晩期の型式名は家根祥多「近畿地方の土器」に倣った。

『縄文土器大観』3・4 1988, 1989 小学館

平井 勝 「岡山県における晩期突帯文土器の様相」『古代吉備』第10集 1988 古代吉備研究会 岡山県地方晩期の型式名はこれに倣った。

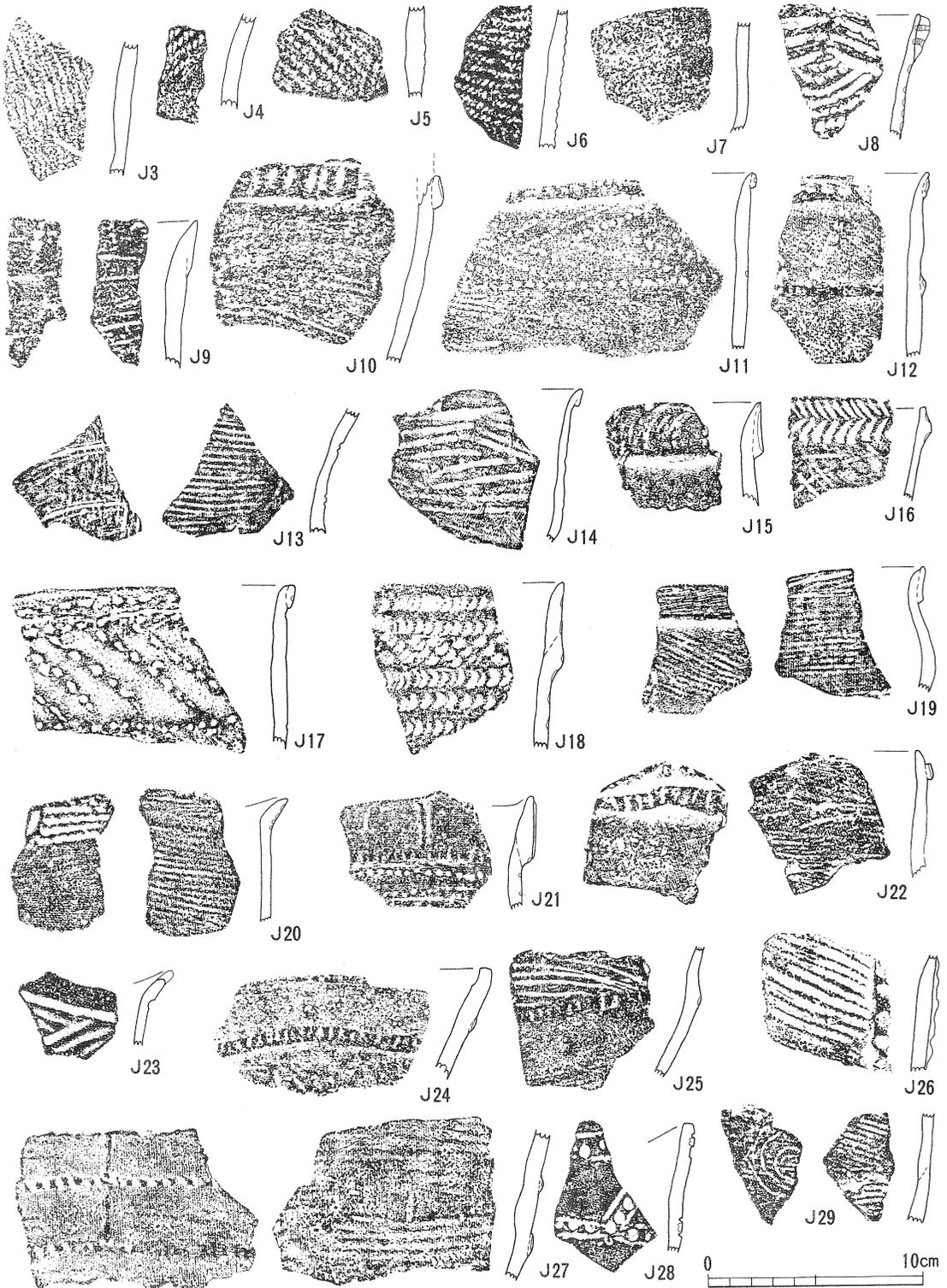
宍道正年 『鳥根県の縄文式土器集成Ⅰ』 1974

『長瀬高浜遺跡発掘調査報告書』Ⅵ 1983 鳥取県教育文化財団

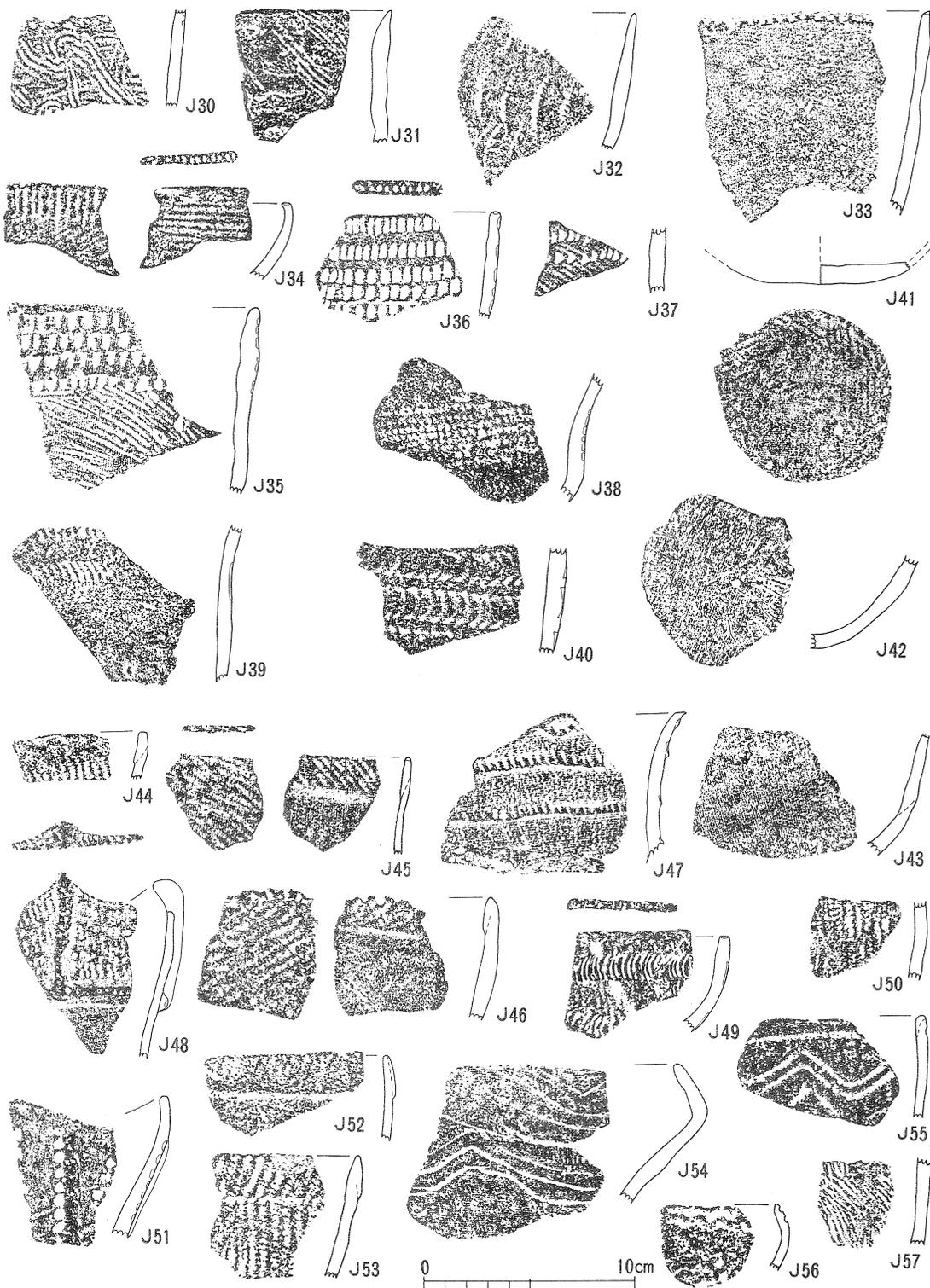
『講武地区県営圃場整備事業発掘調査報告書4 氏元遺跡』 1989 鳥根県鹿島町教育委員会

『イキス遺跡発掘調査報告書』 1989 鳥取県倉吉市教育委員会

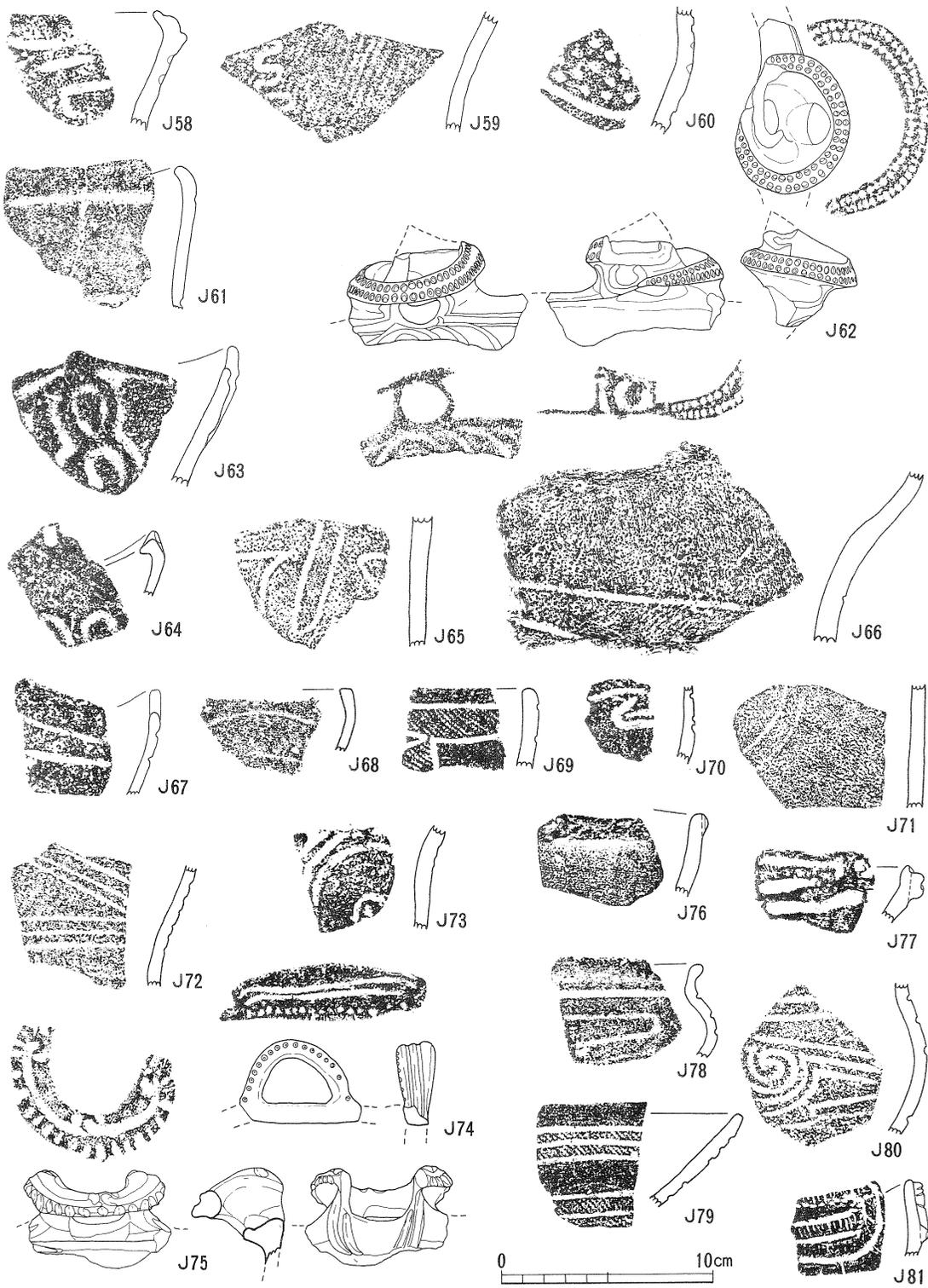
本文、一覧表中の併行型式名は泉拓良、宮本一夫両氏の指導を得て柳浦が判断した。誤りは全て柳浦に責がある。



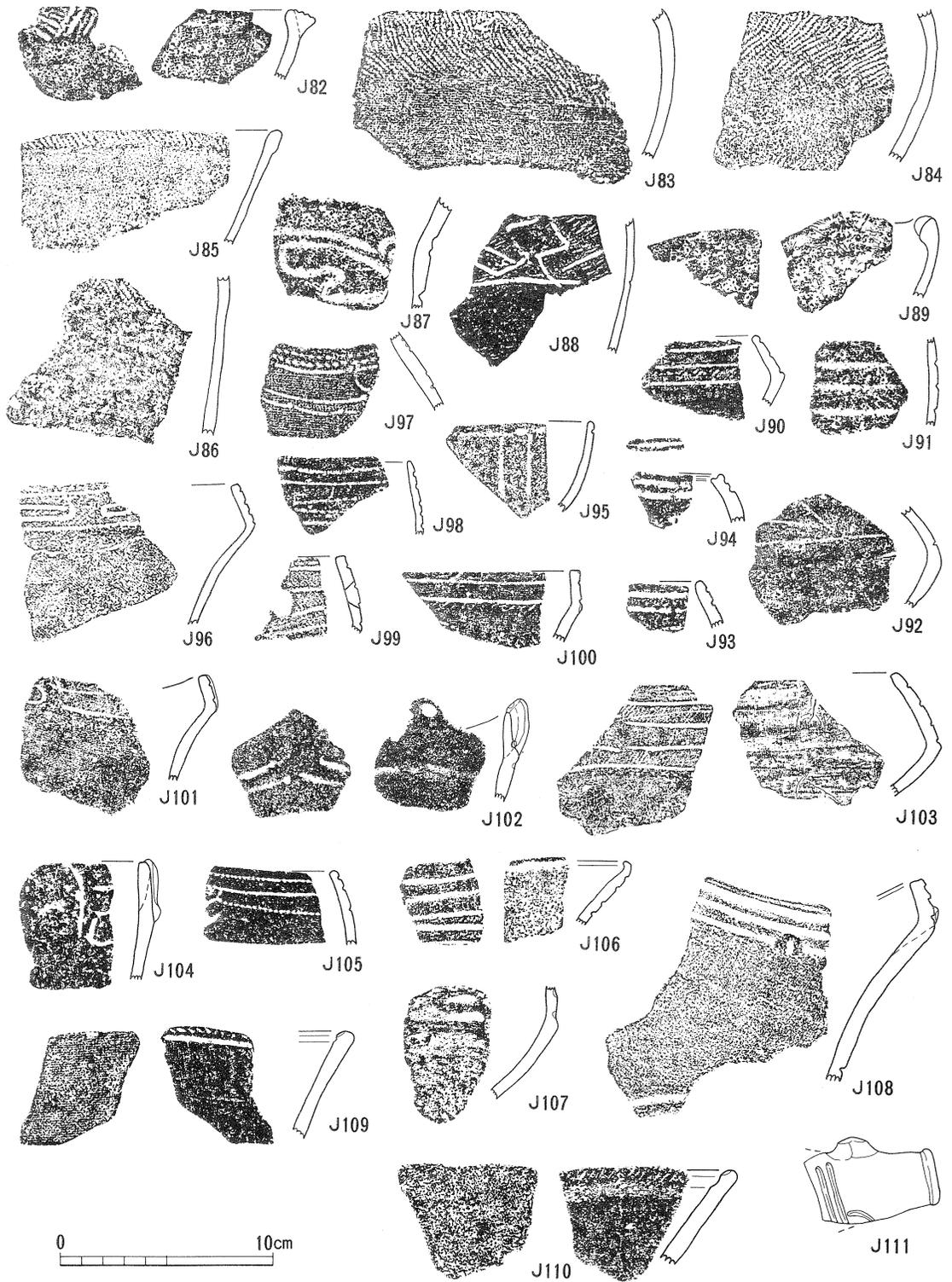
第5図 縄文土器(2) 早・前期 1:3



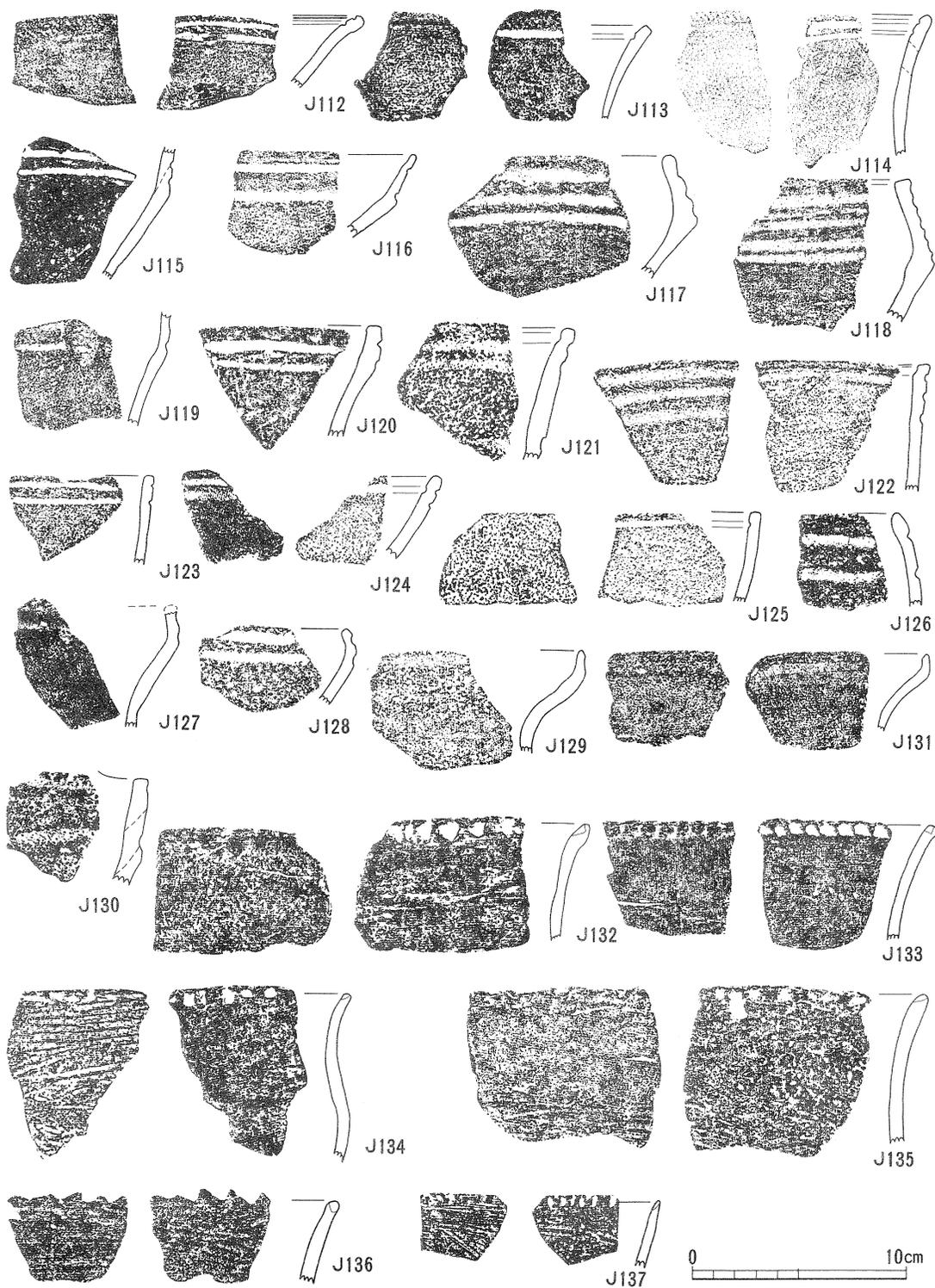
第6図 縄文土器(3) 前・中期 1:3



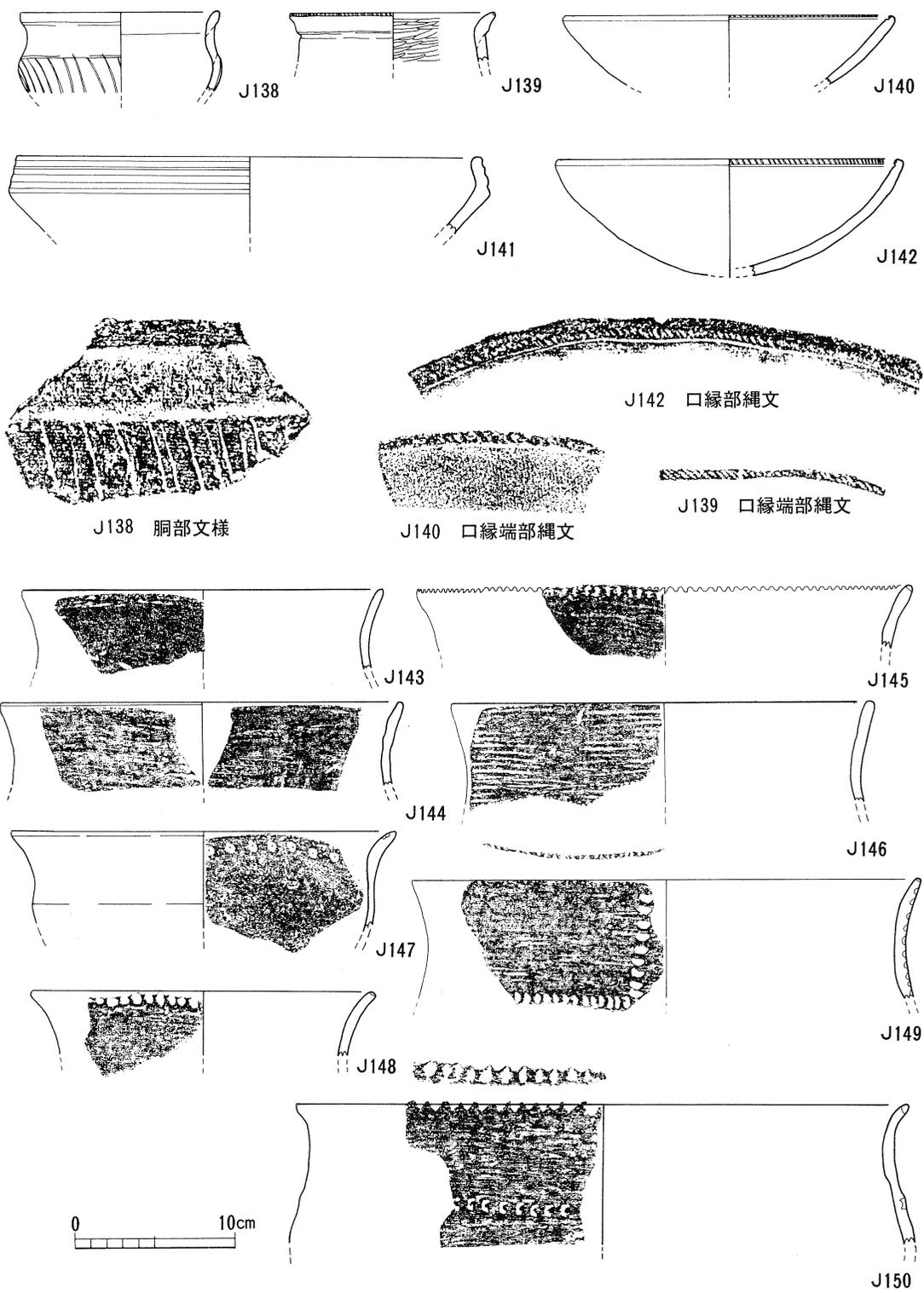
第7図 縄文土器(4) 中・後期 1:3



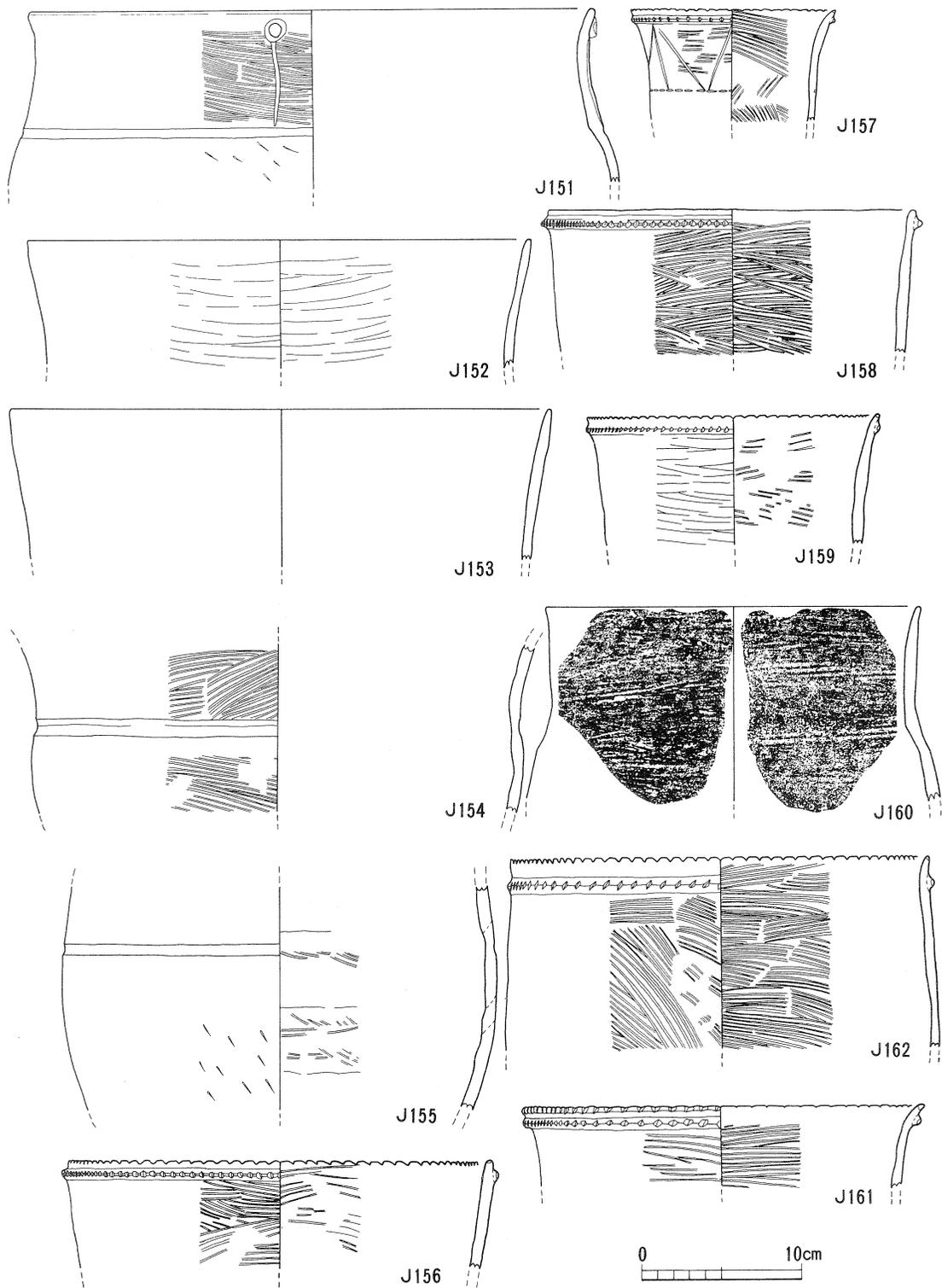
第8図 縄文土器(5) 後期 1:3



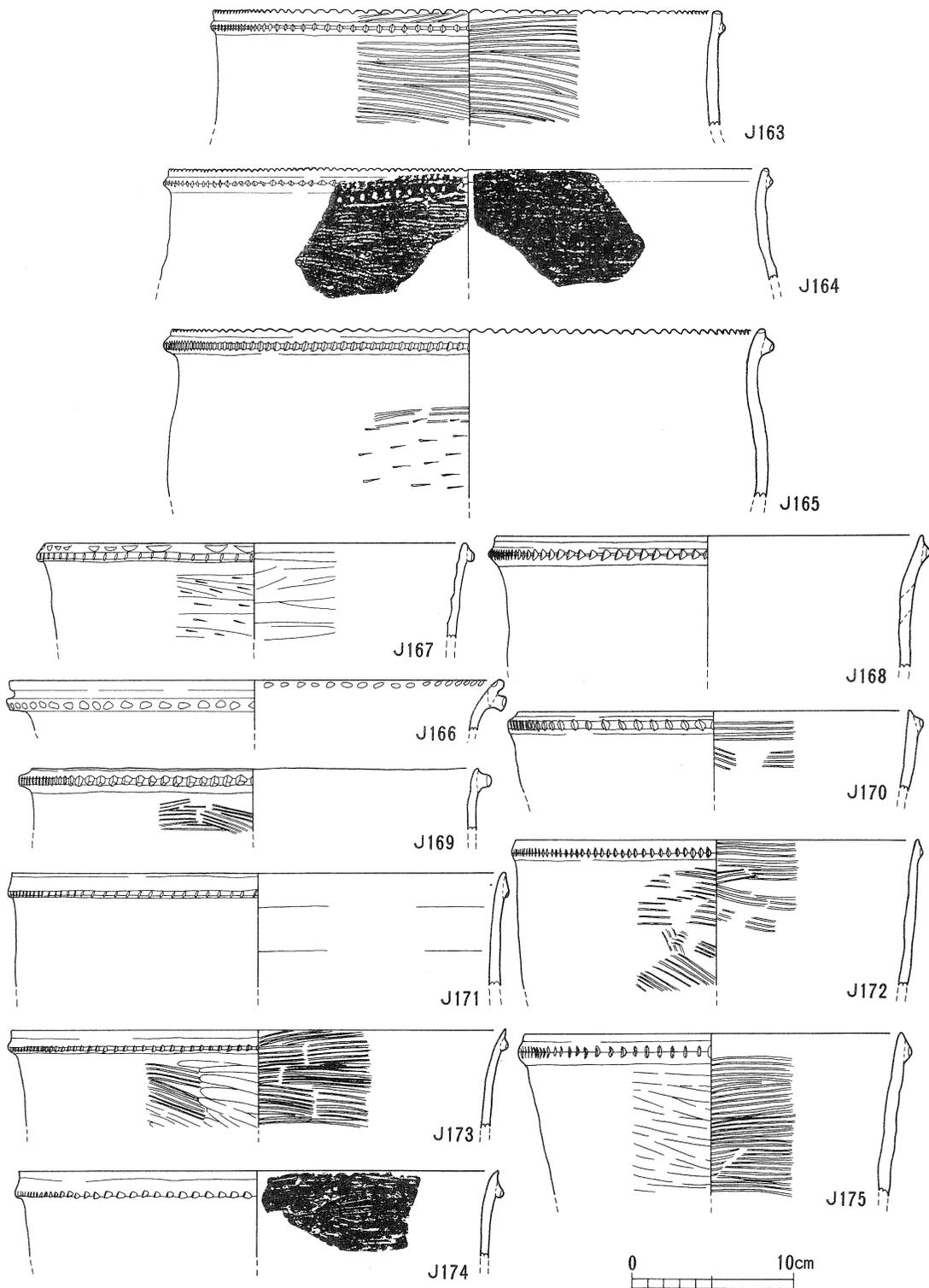
第9図 縄文土器(6)後・晩期 1:3



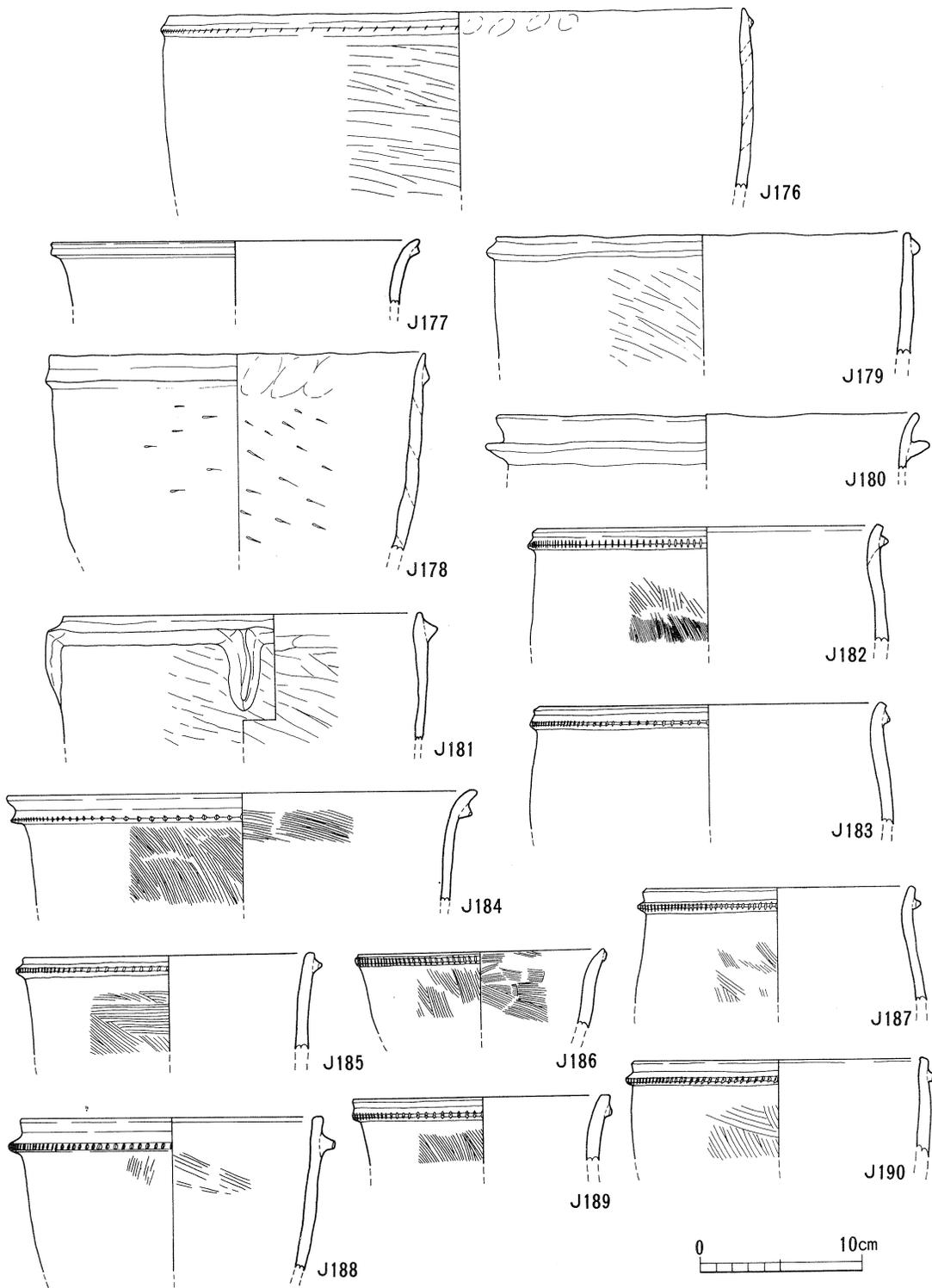
第10図 縄文土器(7) 後期・同細部拓影・晩期 1:4(拓影は1:3)



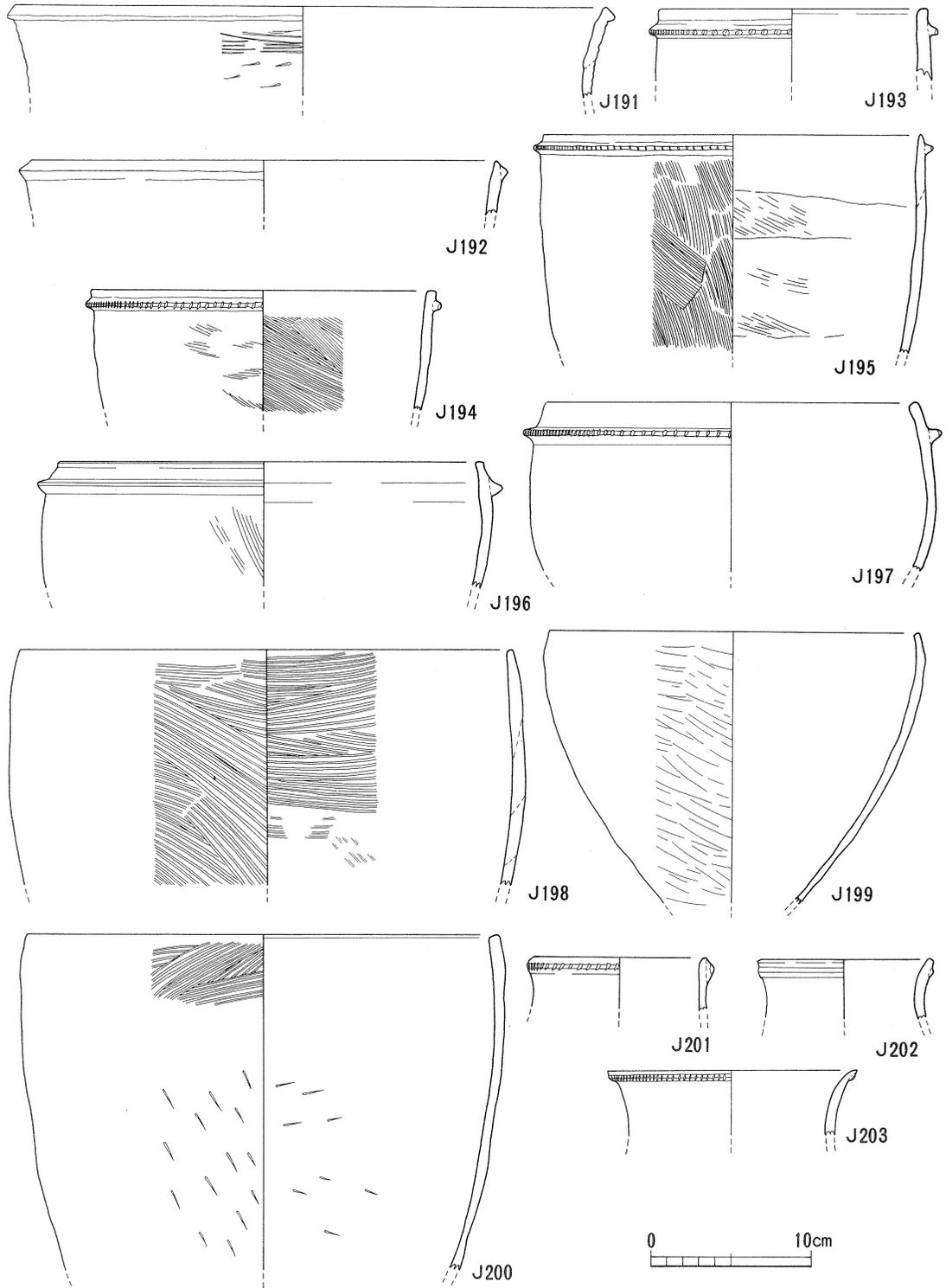
第11図 縄文土器(8) 晩期 1:4



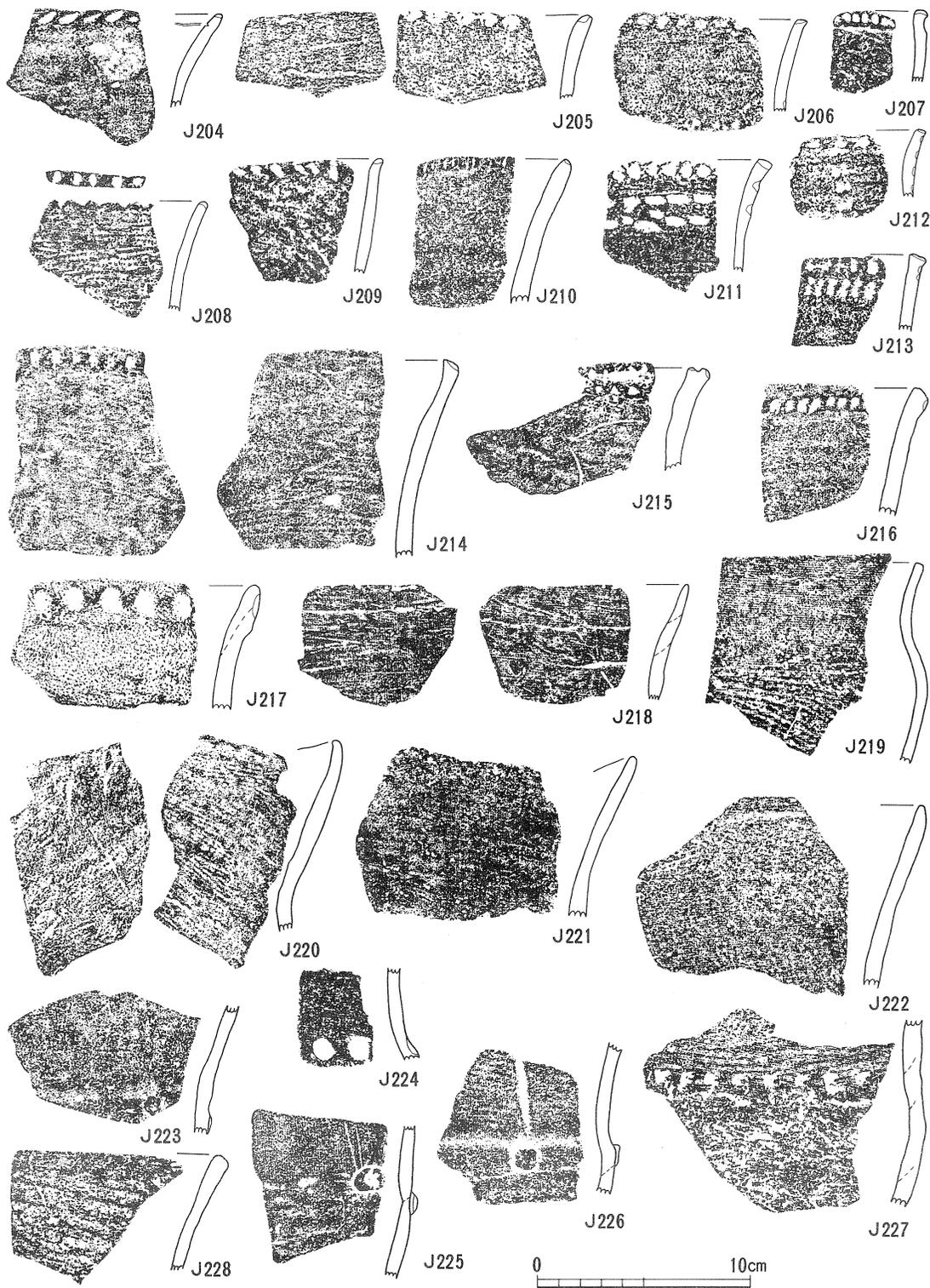
第12図 縄文土器(9) 晩期 1:4



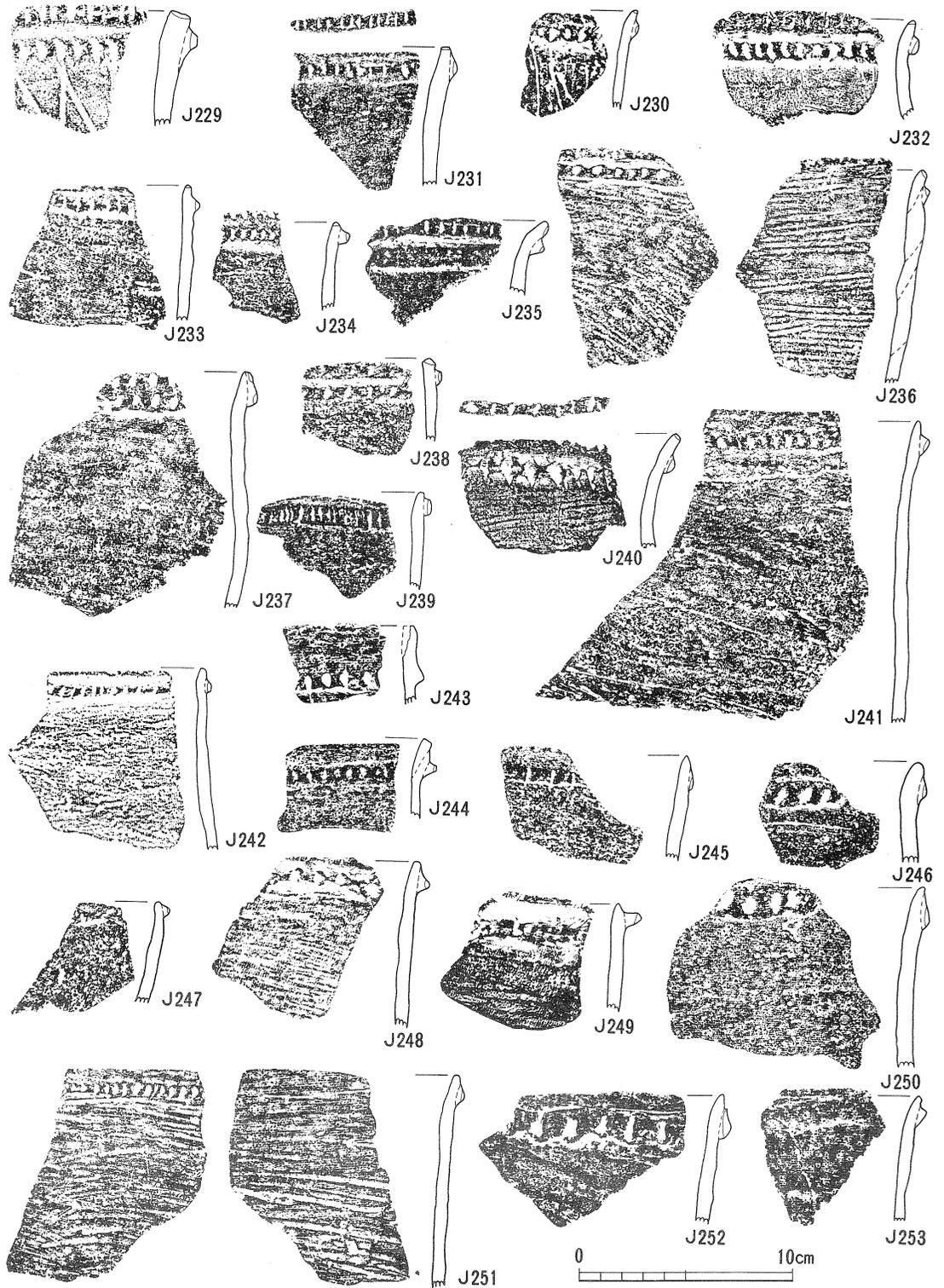
第13図 縄文土器(10) 晩期 1:4



第14図 縄文土器(11) 晩期 深鉢・壺 1:4



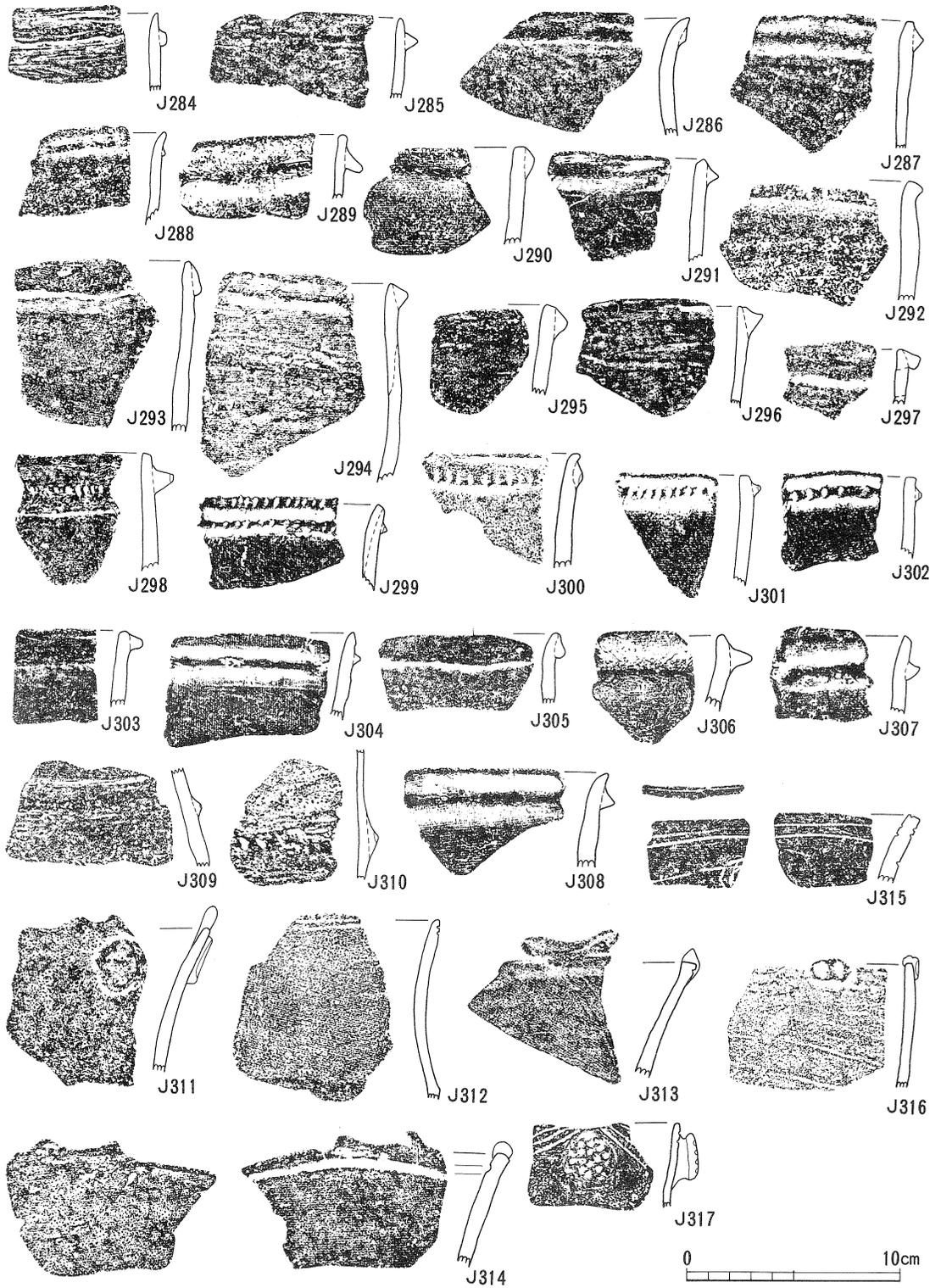
第15図 縄文土器(12) 晩期 鉢 1:3



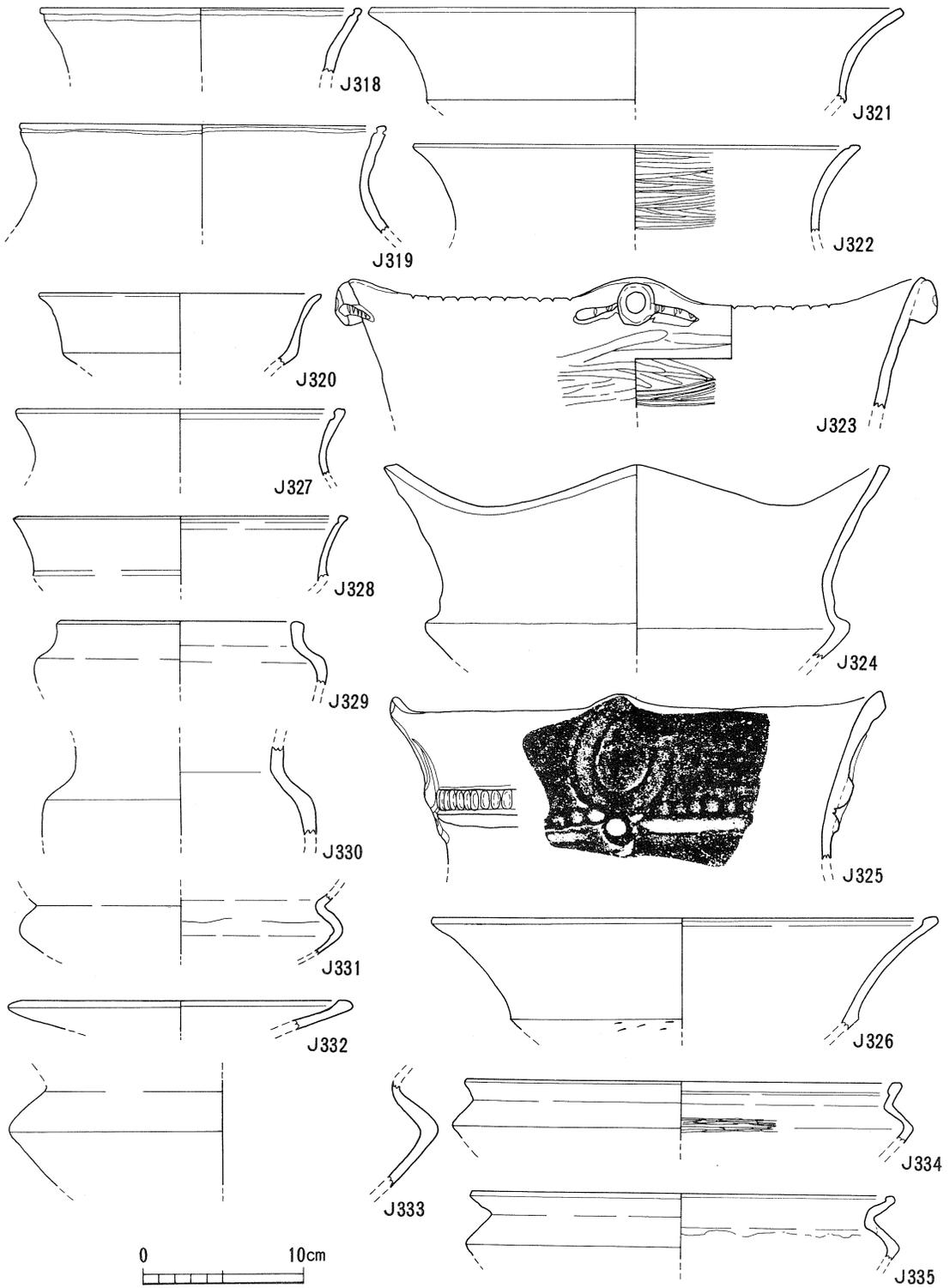
第16図 縄文土器(13) 晩期 深鉢 1:3



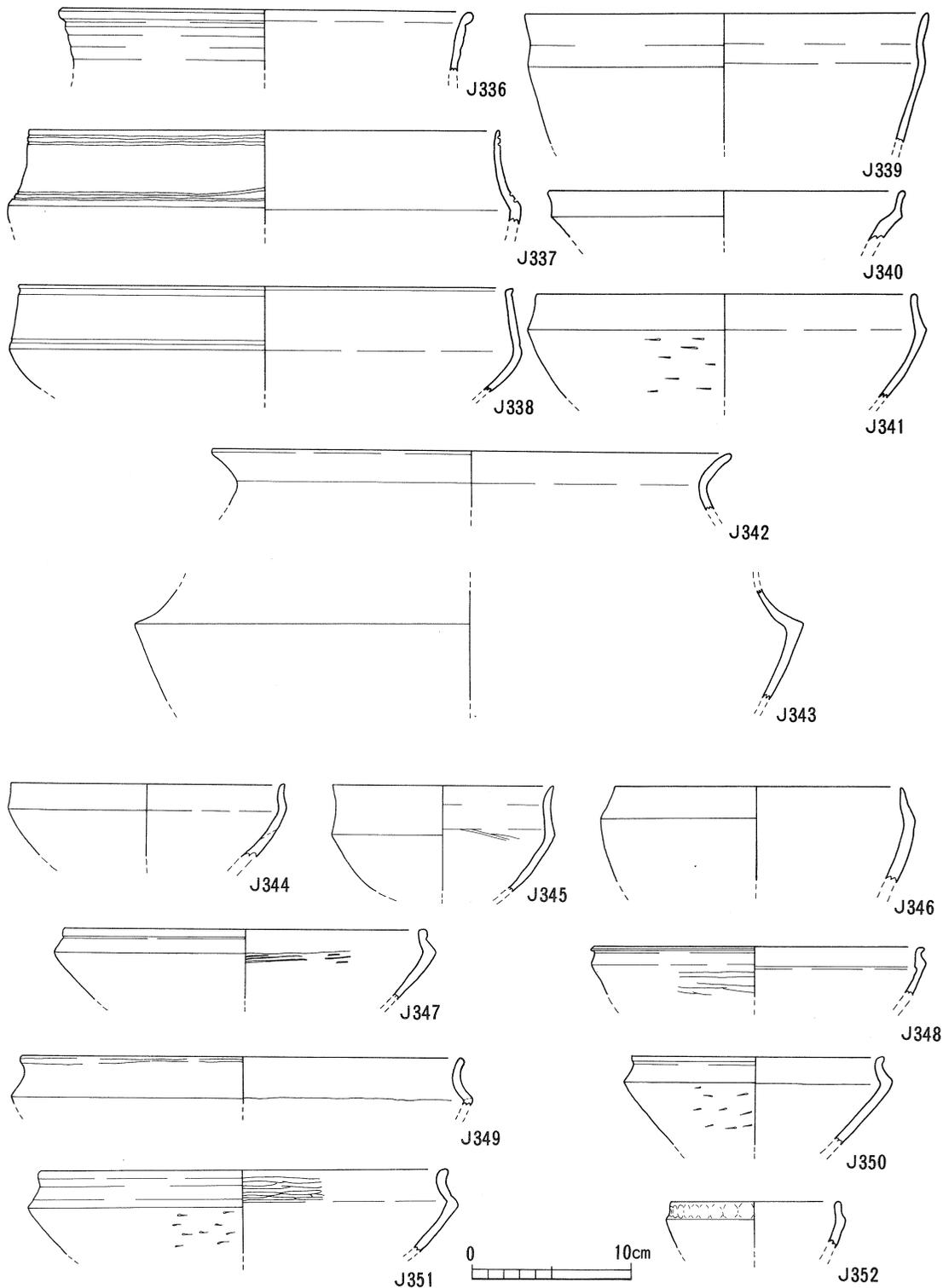
第17図 縄文土器(14) 晩期 深鉢 1:3



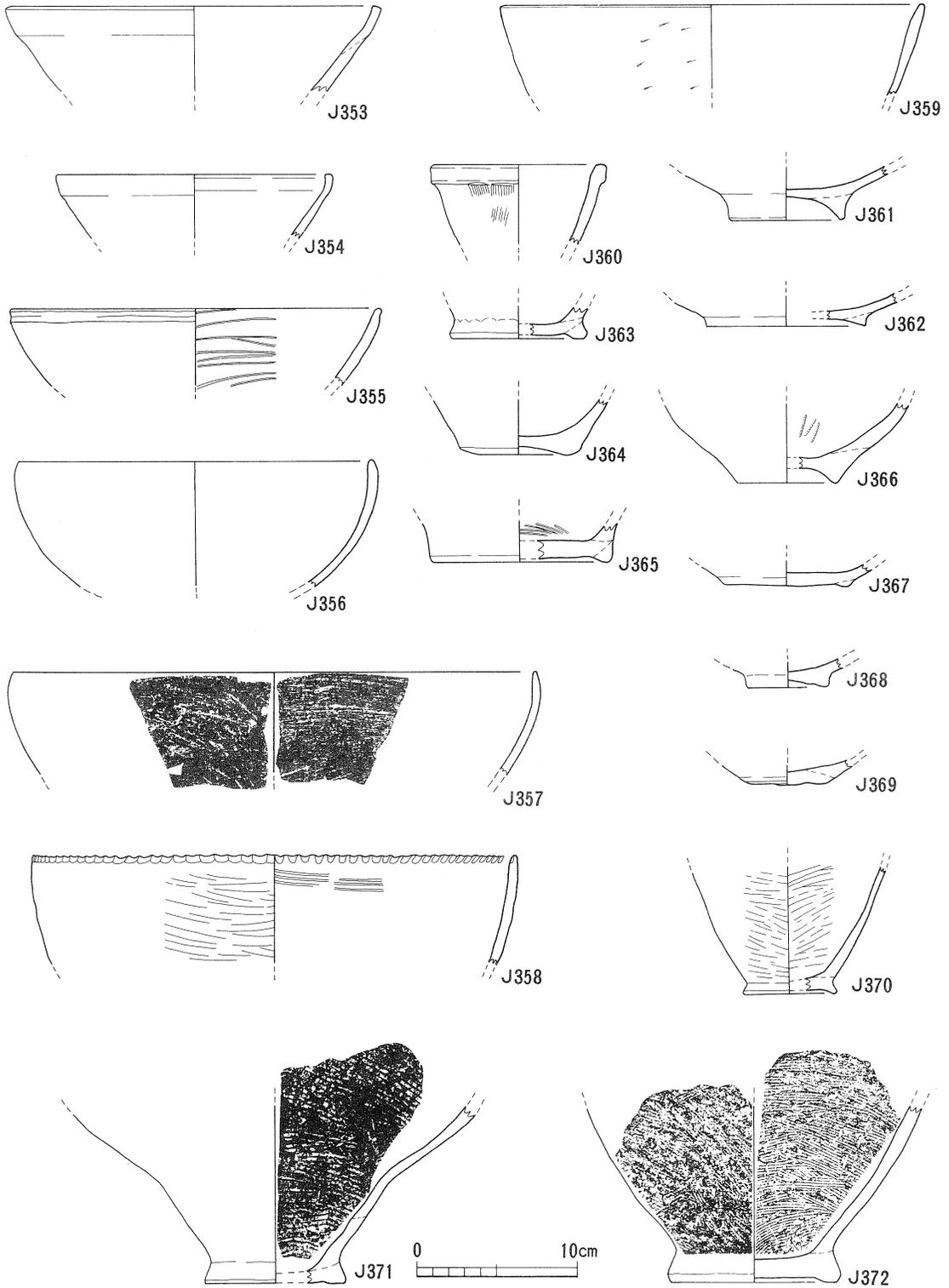
第18図 縄文土器(15) 晩期 深鉢・浅鉢 1:3



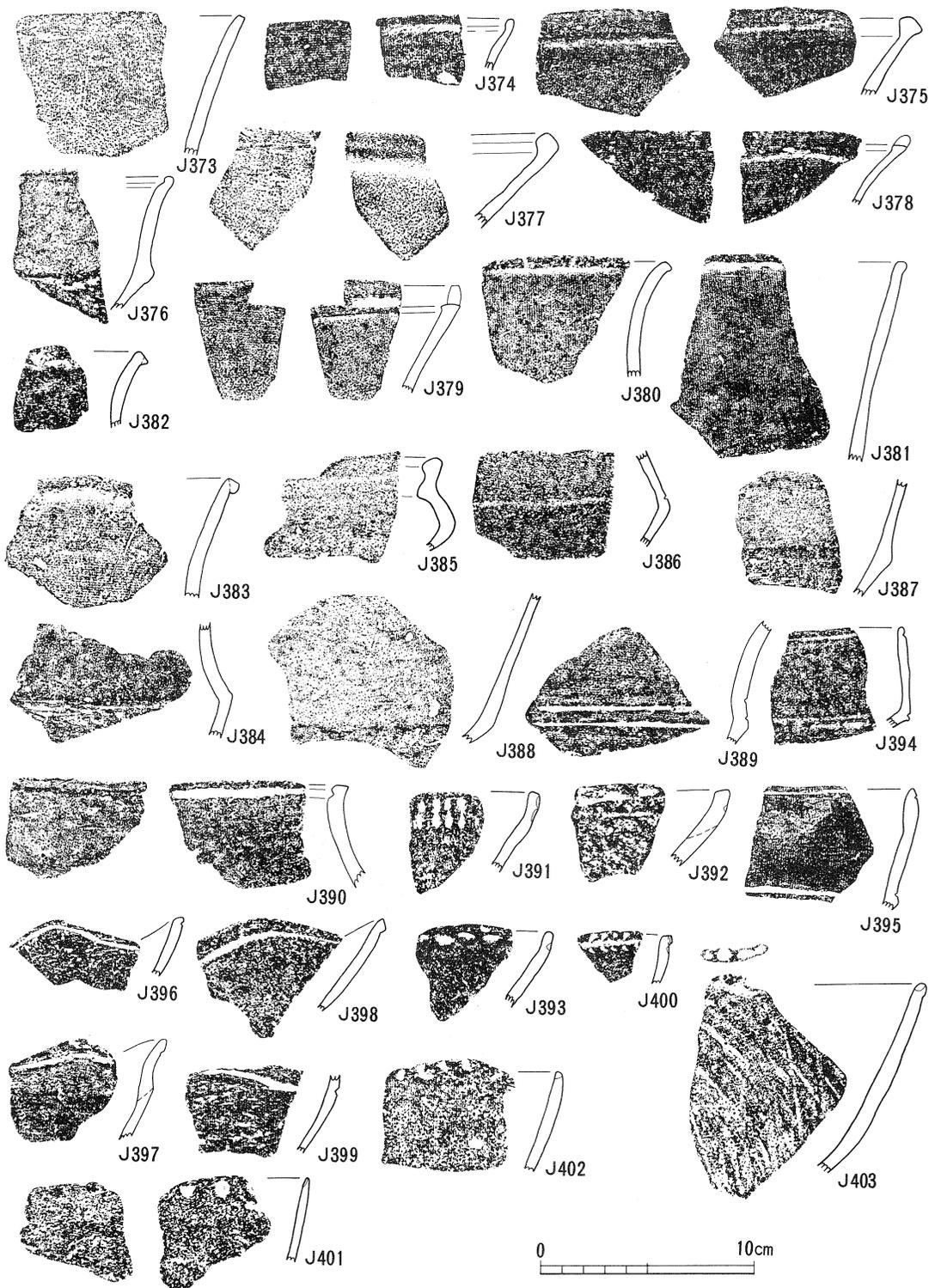
第19図 縄文土器(16) 晩期 浅鉢 1:4



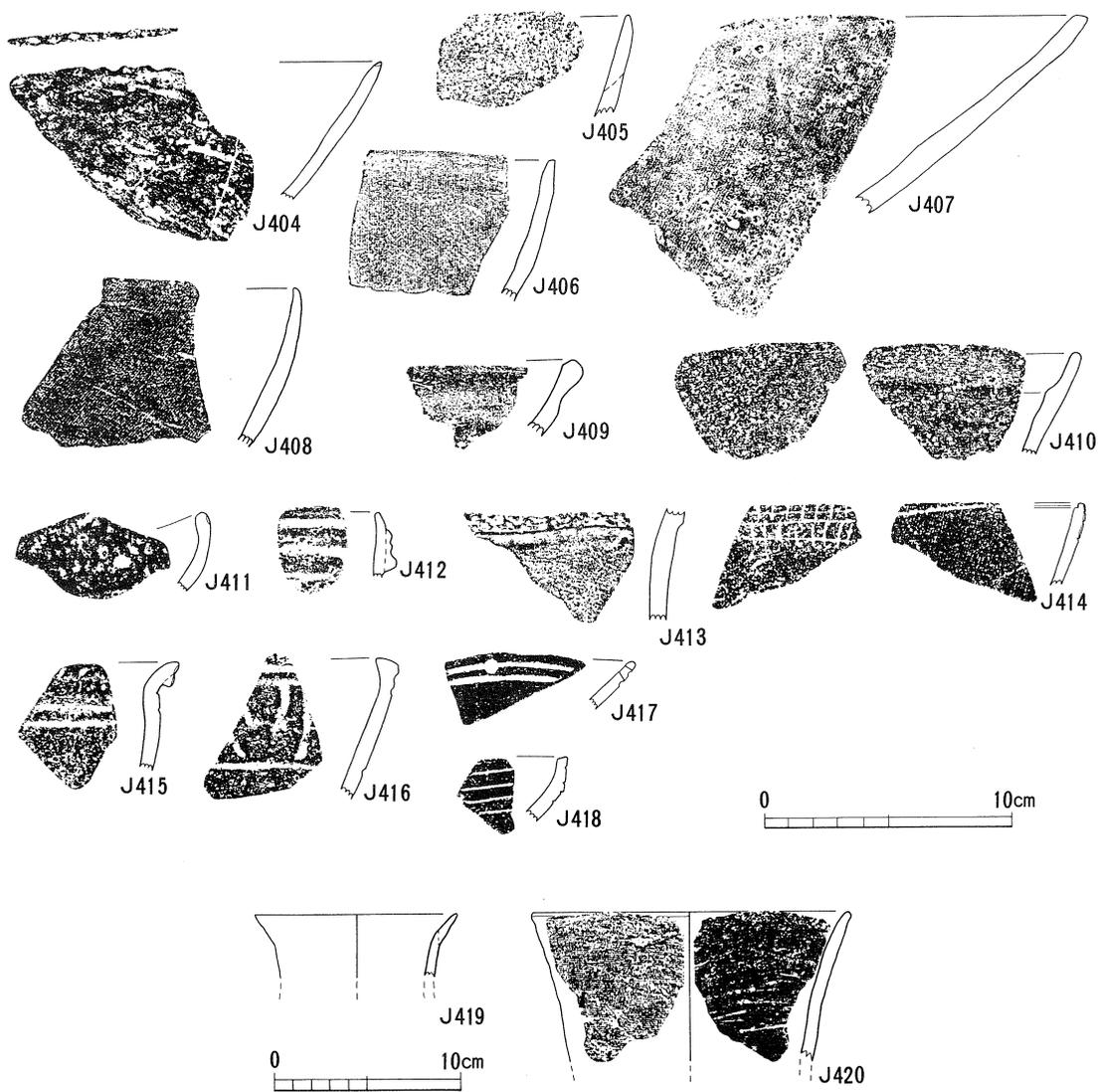
第20図 縄文土器(17) 晩期 浅鉢 1:4



第21図 縄文土器(18) 晩期 浅鉢・底部 1:4



第22図 縄文土器(19) 晩期 浅鉢 1:3



第23図 縄文土器(20) 晩期 浅鉢 (J404~418) 1:3
 時期不明 (J419.420) 1:4

縄文土器一覽表

| 器種 | 分類 | 挿番 | 図版 ページ | 出土 地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-----|----|------|-----------|----------|-------------|------------------|---------------------|---------------------|-----------------|-----------------------|
| 深鉢 | | J 1 | 21 | N11E4 | 4 | 口径12.6 器高 5.9 | | 口唇刻目 | 外面二枚貝条痕 | 早期末～前期初頭、 胎土に多量の繊維 |
| | | J 2 | 21 | N15E7 | 4 | 器高 2.9 底径 8.7 | 高台状の底部 | | 外面に縄文 | 中期 |
| | | J 3 | 21 | N12E4 | 4 | | | | 外面に縄文 | 早期、胎土に繊維 |
| | | J 4 | 21 | N13E7 | 4 | | | | 内外面縄文 | 早期、胎土に繊維 |
| | | J 5 | 21 | E9 | 4 | | | | 外面縄文 | 早期、胎土に少量の 繊維 |
| | | J 6 | 21 | | | | | | 外面縄文 | 早期、胎土に多量の 繊維 |
| | | J 7 | 21 | N16E8 | 5-1 | | | | 二枚貝条痕, ナデ | 早期、胎土に多量の 繊維 |
| 深鉢 | | J 8 | 21 | N16E7 | 第2河道 堆積土 | | 折返し口縁 | 押し引き文 | 内面二枚貝条痕, ナ デ | 前期 |
| 深鉢 | | J 9 | 21 | N13E6 | 第2河道 堆積土 | | 折返し口縁 | 口縁に刺突文か | 内面二枚貝条痕 外面ナデ | 前期、胎土に多量の 繊維 |
| 深鉢 | | J 10 | 21 | N20E5 | 4 | | | 突帯上に刺突文 | 外面二枚貝条痕 | 前期、胎土に繊維 |
| 深鉢 | | J 11 | 21 | N16E7 | 6 | | 折返し口縁 | 羽状の刺突文 | 二枚貝条痕, ナデ | 前期 |
| 深鉢 | | J 12 | 21 | N12E4 | 4 | | 折返し口縁 | 突帯文、竹管状工具 による刺突文 | ナデ | 前期、胎土に少量の 繊維 |
| | | J 13 | 21 | N16E7 | 6 | | | 条痕文 | 内面二枚貝条痕 | 前期 |
| 深鉢 | | J 14 | 21 | N20E5 | 4 | | 折返し口縁 | 沈線文または押しき 文 | ナデ? | 前期 |
| 深鉢 | | J 15 | 21 | N15E6 | | | 折返し口縁 | 二枚貝による刺突文 | ナデ | 前期 |
| 深鉢 | | J 16 | 21 | N26E7 | 4-1 | | 折返し口縁 | 羽状の刺突文 | 二枚貝条痕 | 前期 |
| 深鉢 | | J 17 | 21 | N17E8 | 6 | | 折返し口縁 | 斜行刺突文 | 二枚貝条痕, ナデ | 前期 |
| 深鉢 | | J 18 | 21 | N12E4 | 4 | | 折返し口縁 | D字爪形文 | ナデ | 前期 |
| 深鉢? | | J 19 | 21 | N25E7 | 4-2 | | 折返し口縁 | | 二枚貝条痕 | 前期 |
| | | J 20 | 21 | N21E5 | 4 | | 波状の折返し口縁 | 押し引き文 | 内面二枚貝条痕 外面ナデ | 前期 |
| | | J 21 | 21 | N18E9 | 6 | | 折返し口縁, 部分的 に波状口縁 | ミミズ腫れ状の突帯 文, 刺突文 | ナデ | 前期 |
| 深鉢 | | J 22 | 21 | N13E7 | 第2河道 堆積土 | | | 突帯文上に刺突文 | 二枚貝条痕, ナデ | 前期、胎土に繊維多 く含む |
| | | J 23 | 21 | | | | 波状口縁, 折返し口 縁 | 沈線文 | | 前期 |
| | | J 24 | 21 | N13E7 | | | | 突帯上に二枚貝によ る刺突文 | | 前期 |
| | | J 25 | 21 | N26E7 | 4-2 | | 胴部屈曲 | 沈線文, 刺突文 | 二枚貝条痕, ナデ? | 前期 |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----|------|-------|-------|---------|------------------|--------|----------------------|---------------------|-------------------|
| | | J 26 | 21 | | | | | 沈線文, 突帯文上に刺突文 | | 前期 |
| | | J 27 | 22 | N26E7 | 4-2 | | | 縦横にミミス張れ状の突帯文。突帯上に刺突 | 内外面二枚貝条痕 | 前期, 胎土にわずかに繊維含む |
| | | J 28 | 22 | N20E5 | 4 | | 波状口縁 | 沈線文間に竹管状工具による刺突文 | ナデ | 前期 |
| | | J 29 | 22 | N20E5 | 4 | | | 弧状の沈線文 | 二枚貝条痕 | 前期 |
| | | J 30 | 22 | N16E7 | 6 | | | 羽状の刺突文, 条痕文 | 二枚貝条痕 | 前期, 胎土に繊維含む |
| | | J 31 | 22 | N14E5 | 4 | | | 二枚貝による条痕文 | ナデ | 前期 |
| 深鉢 | | J 32 | 22 | N17E9 | 4 | | | 二枚貝による刺突文 | ナデ | 前期 |
| 深鉢 | | J 33 | 22 | N15E7 | 6 | | | 口唇刻目 | 内面二枚貝条痕, ナデ 外面ナデ | 早期末~前期初 |
| | | J 34 | 22 | N26E7 | 4-2 | | 口縁内湾 | 口唇刻目, 条痕文 | 二枚貝条痕 | 前期 |
| | | J 35 | 22 | N18E9 | 4 | | | 「3」字形爪形文 | 二枚貝条痕 | 前期 |
| | | J 36 | 22 | N12E4 | 4 | | | D字爪形文 | 二枚貝条痕, ナデ | 前期, 羽島下層Ⅲ? |
| | | J 37 | 22 | N17E8 | 4 | | | D字爪形文 | 二枚貝条痕 | 前期, 羽島下層Ⅲ |
| 深鉢 | | J 38 | 22 | N13E7 | 4 | | | 「3」字形爪形文 | ナデ | 前期, 羽島下層Ⅱ |
| | | J 39 | 22 | N11E8 | 4 | | | 二枚貝による連続爪形文 | 内面条痕, ナデ | 前期, 羽島下層Ⅲ |
| | | J 40 | 22 | N12E7 | 5-1 | | | C字爪形文 | 二枚貝条痕, ナデ | 前期, 羽島下層Ⅲまたは磯の森 |
| | | J 41 | 22 | N17E7 | 4 | | 丸底? | | 二枚貝条痕 | 前期 |
| | | J 42 | 22 | N11E7 | 4 | | 丸底? | | 二枚貝条痕 | 前期 |
| | | J 43 | 22 | N26E7 | 4-2 | | 丸底 | | ナデ? | 前期? |
| | | J 44 | 22 | N16E8 | 6 | | 内面肥厚 | | 外面縄文 内面ナデ | 前期, 大蔵山 |
| 深鉢 | | J 45 | 22 | N13E5 | 第2河道堆積土 | | 内面肥厚 | | 外面及び内面肥厚部縄文 | 前期, 大蔵山 |
| 深鉢 | | J 46 | 22 | | | 口径10.8 器高 5.7 | 口縁内面肥厚 | 口縁内面, 外面縄文 | | 前期, 彦崎ZⅡ 松江市保管 |
| 深鉢 | | J 47 | 22 | N17E8 | 5 | | 口唇部平坦 | ミミス張れ状の突帯文上に刺突文 | 外面縄文 内面ナデ | 前期, 大蔵山 |
| 深鉢 | | J 48 | 22 | N14E6 | 4 | | 波状口縁 | 「3」字形刺突文, 突帯文 | | 前期末? |
| 深鉢 | | J 49 | 22 | N12E7 | 4 | | 口縁内湾 | 沈線文, 爪形文 | ナデ, 縄文? | 中期, 船元Ⅰ |
| 深鉢 | | J 50 | 22 | N13E7 | 4 | | | | 外面縄文 内面ナデ | 中期, 船元 |
| 深鉢 | | J 51 | 22 | N14E5 | 4 | | 波状口縁 | 突帯文に沿って刺突文 | ナデ | 中期?, 船元Ⅱ? |

| 器種 | 分類 | 挿 番 号 | 図 版 ペ ー ジ | 出 土 地 点 | 層 位 | 法 量 (cm) | 形 態 の 特 徴 | 文 様 の 特 徴 | 手 法 の 特 徴 | 備 考 |
|----|----|-------------|-----------------------|------------------|--------|--------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------|
| | | J 52 | 22 | N16E8 | 4 | | 口縁部外面肥厚 | | | 中期, 船元I? |
| | | J 53 | 22 | N16E8 | 5-1 | | 口縁部外面肥厚 | | 外面縄文 | 中期, 船元I? |
| 深鉢 | | J 54 | 22 | N10E6 | 4 | | 口縁部大きく内湾 | 7条の波状文 | 外面縄文(擬縄文?) 内面ナデ | 中期, 里木II |
| 深鉢 | | J 55 | 22 | N27E7 | 4-2 | | | 半截竹管による波状文 | 外面縄文 | 中期, 里木II |
| 深鉢 | | J 56 | 22 | N12E4 | 4 | | | 半截竹管による波状文 | | 中期, 里木IIまたはIII |
| | | J 57 | 22 | N16E7 | 6 | | | | 燃糸縄文 | 中期, 里木II |
| 深鉢 | | J 58 | 23 | N11E7 | 4 | | | 沈線文 | ナデ | 中期末 |
| | | J 59 | 23 | N18E8 | 6 | | | | 外面縄文 | 中期末 |
| | | J 60 | 23 | N12E4 | 4 | | | 沈線文, 刺突文 | ナデ | 中期末 |
| 深鉢 | | J 61 | 23 | | | | 波状口縁 | 凹線文, 磨消縄文 (擬縄文?) | ミガキ, ナデ | 中期末? 松江市保管 |
| | | J 62 | 23 | N12E5 | 4 | | 渦巻状の突起 | 沈線文, 刺突文 | | 後期, 中津 |
| 深鉢 | | J 63 | 23 | | | | 波状口縁 | 沈線文 | | 後期, 中津 |
| 深鉢 | | J 64 | 23 | N12E4 | 4 | | 波状口縁 | 刺突文, 沈線文 | | 後期, 中津 |
| | | J 65 | 23 | N12E7 | 4 | | | 沈線文 | ナデ, 条痕 | 後期, 中津 |
| 深鉢 | | J 66 | 23 | N25E7 | 4-2 | | | 太い沈線間に縄文 | ナデ | 後期, 中津か? |
| | | J 67 | 23 | N17 ~18 E8 | 4 | | 波状口縁 | 沈線文 | | 後期 |
| | | J 68 | 23 | N18E8 | 6 | | | 沈線文 | | 後期, 中津? |
| | | J 69 | 23 | N16E8 | 6 | | | 沈線文, 磨消縄文 | | 後期, 中津 |
| | | J 70 | 23 | N18E8 | | | | 沈線文 | ナデ? | 後期, 中津~福田K2 |
| | | J 71 | 23 | N17E8 | 5 | | | 沈線文 | | 後期, 中津 |
| 深鉢 | | J 72 | 23 | | | | | 沈線文 | | 後期, 福田K2 |
| | | J 73 | 23 | N13E4 | 4 | | | 沈線文 | | 後期, 福田K2 |
| | | J 74 | 23 | N12E4 | 4 | | 縁帯部 | 沈線文, 刺突文 | | 後期, 福田K2~彦崎K1 |
| | | J 75 | 23 | N13E5 | 4 | | 縁帯部 | 沈線文, 刺突文 | | 後期, 福田K2 |
| | | J 76 | 23 | N21E5 | 4 | | 波状口縁 | 口縁部上端に縄文? | | 後期前半 |
| | | J 77 | 23 | N21E6 | 4 | | 口縁部肥厚 | 太い沈線 | | 後期前葉 |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|------|----|-------|-------|-------|---------|---------|---------|---------------|-------------|----------------------|
| 鉢 | | J 78 | 23 | N18E8 | | | | 沈線文 | | 後期, 彦崎K1~K2 |
| 浅鉢 | | J 79 | 23 | ⅡB区 | | | | 磨消縄文 | | 後期, 彦崎K1~K2 |
| 鉢? | | J 80 | 23 | N17E8 | 5 | | | 沈線文 | | 後期, 彦崎K1? |
| | | J 81 | 23 | N12E8 | 4 | | | 突帯文, 刺突文 | | 後期, 彦崎K2 |
| | | J 82 | 23 | N26E7 | 4-2 | | 口縁部肥厚 | 山形文 | ナデ | 後期, 彦崎K1 |
| | | J 83 | 23 | N27E7 | 4-1 | | | | 縄文, ナデ | 後期, 彦崎K1 |
| | | J 84 | 23 | N20E5 | 4 | | | | 縄文, ミガキ | 後期, 彦崎K1 |
| | | J 85 | 23 | N17E8 | 6 | | | 口縁部に縄文 | ナデ? | 後期, 彦崎K2 |
| | | J 86 | 23 | N17E9 | 6 | | | | 縄文, ナデ | 後期, 彦崎K1 |
| 深鉢 | | J 87 | 23 | | | | | 沈線文 | 外面上部に縄文か? | 後期 |
| | | J 88 | 23 | N16E8 | 6 | | | 直線的な沈線文間に擬縄文? | 外面二枚貝条痕, ナデ | 後期? |
| | | J 89 | 23 | N12E5 | 4 | | 波状口縁 | 口縁部に突起 | ナデ? | 後期? |
| | | J 90 | 24 | N13E8 | 第2河道堆積土 | | 逆「L」字口縁 | 沈線間に縄文? | 条痕, ナデ | 後期, 一乗寺K~元住吉山I |
| | | J 91 | 24 | E8ライン | 4 | | | 沈線文間に縄文 | | 後期, 一乗寺K~元住吉山I |
| 注口土器 | | J 92 | 24 | N14E6 | 4 | | 胴部張る | 沈線文 | | 後期, 一乗寺K~元住吉山I |
| | | J 93 | 24 | N17E9 | 4 | | | 沈線間に縄文 | | 後期, 一乗寺K |
| | | J 94 | 24 | | | | | 沈線文 | ナデ? | 後期, 彦崎K1~K2 |
| | | J 95 | 24 | N15E6 | 4 | | | 沈線文 | ナデ? | 後期, 彦崎K2 |
| 深鉢 | | J 96 | 24 | N17E8 | 6 | | 逆「L」字口縁 | 沈線間に縄文 | 条痕, ナデ | 後期, 一乗寺K~元住吉山I |
| | | J 97 | 24 | N16E8 | 6 | | | 刺突文, 連弧文 | ナデ | 後期, 元住吉山I? |
| | | J 98 | 24 | N20E5 | 4 | | | 押し引き状の沈線文 | | 後期? 元住吉山I? 晩期の可能性もあり |
| | | J 99 | 24 | N18E9 | 6 | | 逆「L」字口縁 | 半截竹管による沈線間に刻目 | | 後期, 一乗寺K~元住吉山I |
| | | J 100 | 24 | N21E5 | 4 | | 逆「L」字口縁 | 沈線文, 刻目文 | | 後期, 元住吉山I |
| 深鉢 | | J 101 | 24 | N17E8 | 4 | | 逆「L」字口縁 | 沈線文 | ナデ | 後期, 元住吉山I |
| | | J 102 | 24 | N21E6 | 4 | | 波状口縁 | 沈線文, 刺突文 | | 後期, 元住吉山I |
| 浅鉢 | | J 103 | 24 | N16E7 | 6 | | 逆「L」字口縁 | 沈線文, 磨消縄文 | 条痕, ナデ | 後期, 元住吉山I |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-----|----|-------|-------|---------|-----|---------|-------------|----------------|--------|----------------|
| | | J 104 | 24 | N16E7 | 4 | | | 突帯文、沈線文 | ナデ | 後期、元住吉山Ⅰ？ |
| | | J 105 | 24 | N16E8 | 6 | | | 押しき状の沈線 | | 後期、元住吉山Ⅰ？ |
| 浅鉢 | | J 106 | 24 | N13E5 | 4 | | 口縁端内面に段 | 沈線文 | | 後期、彦崎K1 |
| | | J 107 | 24 | N17E8 | 6 | | | 巻貝による凹線文、刺突文 | | 後期、元住吉山Ⅱ |
| 深鉢 | | J 108 | 24 | N12E5 | 5-2 | | 逆「L」字口縁（波状） | 凹線文、円形浮文上に刺突 | | 後期、元住吉山Ⅱ |
| 浅鉢 | | J 109 | 24 | N26E7 | 4-2 | | | 口縁内面に沈線文、縄文 | ナデ、ミガキ | 後期、元住吉山Ⅱ |
| 浅鉢 | | J 110 | 24 | N16E8 | 4 | | | 口縁内面に凹線文、刻目文 | | 後期、元住吉山Ⅱ |
| | | J 111 | 24 | | | | 注口 | 沈線文 | | 後期、元住吉山Ⅱ |
| 浅鉢？ | | J 112 | 24 | N12E5 | 4 | | 口縁端外反 | 口縁内面に巻貝凹線文、縄文？ | | 後期、元住吉山Ⅱ |
| 浅鉢？ | | J 113 | 24 | N25E7 | 4-2 | | | 口縁内面に沈線文、刻目文？ | | 後期、元住吉山Ⅱ～宮滝 |
| 浅鉢？ | | J 114 | 24 | | | | | 口縁内面に沈線文 | | 後期、宮滝 松江市保管 |
| | | J 115 | 24 | N16E8 | 4 | | | 巻貝による沈線文 | ナデ、条痕 | 後期、宮滝 |
| | | J 116 | 24 | N11E4 | 4 | | | 沈線文 | ナデ？ | 後期、宮滝 |
| | | J 117 | 24 | N26E7 | 4-2 | | 逆「L」字口縁 | 凹線文 | | 後期、宮滝 |
| | | J 118 | 24 | N25E6,7 | 4-1 | | 逆「L」字口縁 | 凹線文（巻貝による？） | | 後期、宮滝 |
| | | J 119 | 24 | | | | 逆「L」字口縁？ | 凹線文、扇状圧痕文 | | 後期、宮滝 松江市保管 |
| | | J 120 | 24 | N21E6 | 4 | | | 巻貝による沈線文 | ナデ | 後期、宮滝 |
| | | J 121 | 24 | N15E6 | 4 | | | 内外面に凹線文 | | 後期、宮滝 |
| | | J 122 | 24 | N16E8 | 6 | | | 内外面に凹線文 | ナデ？ | 後期、宮滝 |
| | | J 123 | 24 | N16E7 | 6 | | | 沈線文 | ナデ？ | 後期末～晩期初頭 |
| | | J 124 | 25 | N19E9 | 6 | | | 内外面に沈線文 | | 後期、宮滝 |
| | | J 125 | 25 | N16E8 | 5-1 | | | 内面に沈線 | ナデ？ | 後期、宮滝 |
| | | J 126 | 25 | N16E8 | 6 | | | 沈線文 | | 後期、宮滝 |
| | | J 127 | 25 | N16E8 | 5-1 | | 逆「L」字口縁 | 凹線文 | | 後期、宮滝？ |
| | | J 128 | 25 | | | | 口縁内湾 | 沈線文 | | 後期末～晩期前葉 |
| | | J 129 | 25 | N13E5 | 4 | | 口縁部内湾 | | ナデ | 後期末～晩期前葉？ |

| 器種 | 分類 | 挿 番 号 | 図 版 ペ ー ジ | 出 土 地 点 | 層 位 | 法 量 (cm) | 形 態 の 特 徴 | 文 様 の 特 徴 | 手 法 の 特 徴 | 備 考 |
|----|-----|-------------|-----------------------|------------------|-------------|--------------------|-----------------------|-------------------------------|-----------------------|------------------|
| | | J 130 | 25 | N11E4 | 4 | | 波状口縁 | 凹線文 | ナデ | 後期末～晩期初頭 |
| | | J 131 | 25 | N14E5 | 5-2 | | 口縁部内湾 | | | 後期末～晩期前葉 |
| 深鉢 | I | J 132 | 25 | N26E7 | 4-2 | | | 口縁内面に刺突文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期前半 |
| 深鉢 | I | J 133 | 25 | N16E8 | 6 | | | 口縁内面に刺突文 | ナデ | 晩期前半 |
| 深鉢 | I | J 134 | 25 | N15E7 | 5-1 | | 頸部くびれる | 口縁内面に刺突文 | 外面二枚貝条痕 内面条痕, ナデ | 晩期前半 |
| 深鉢 | I | J 135 | 25 | N13E5 | 4 | | | 口縁内面に刺突文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期前半 |
| 深鉢 | I | J 136 | 25 | N12E4 | | | | 口縁端に大きな刻目文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期, 谷尻 |
| 深鉢 | I | J 137 | 25 | N22E5 | 4 | | | 口縁内面に刻目文 (「D」字に近い) | 二枚貝条痕 | 晩期, 谷尻 |
| 鉢 | | J 138 | 25 | N26E7 | 4-1 | 口径12.4 器高 5.0 | 頸部・胴部の境に段 | 斜行沈線文 | ナデ | 後期, 彦崎K1 |
| 鉢 | | J 139 | 25 | N26E7 | 4-2 | 口径12.6 器高 3.0 | 口縁部肥厚 | 口縁端に縄文 | ミガキ | 後期中葉 |
| 浅鉢 | | J 140 | 25 | N15E6 | 4 | 口径20.7 器高 4.4 | | 口縁内部に沈線文, 縄文 | | 後期, 元住吉山I |
| 浅鉢 | | J 141 | 25 | N16E7 | 6 | 口径29.3 器高 4.8 | 逆「L」字口縁 | 凹線文 | ナデ | 後期, 宮滝 |
| 浅鉢 | | J 142 | 25 | E-9 ベルト | 6 | 口径22.0 器高 7.3 | | 口縁内面に沈線文, 縄文 | ナデ | 後期, 元住吉山I |
| 深鉢 | I | J 143 | 25 | N17 E8,9 | 4 | 口径22.8 器高 5.0 | 頸部くびれる | | ナデ | 晩期前半? |
| 深鉢 | I | J 144 | 25 | N12E7 | 4 | 口径25.4 器高 5.1 | 頸部くびれる | | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期前半 |
| 深鉢 | I | J 145 | 25 | N16E7 | 第2河道 堆積土 | 口径31.0 器高 3.9 | | 口縁端に刻目文 | 条痕, ナデ | 晩期, 谷尻 |
| 深鉢 | I | J 146 | 26 | N16E7 | 4 | 口径26.6 器高 6.3 | 頸部くびれる | | 外面二枚貝条痕 内面ナデ | 晩期前半 |
| 深鉢 | I | J 147 | 26 | N22E5 | 4 | 口径24.2 器高 6.3 | 頸部くびれる | 口縁内面に竹管状の 刺突文 | | 晩期前半 |
| 深鉢 | I | J 148 | 26 | N12E5 | 4 | 口径21.4 器高 4.0 | | 口縁端に刻目 | 二枚貝条痕+ナデ | 晩期, 谷尻 |
| 深鉢 | I | J 149 | 26 | N16E7 | 6 | 口径32.0 器高 7.4 | 頸部くびれる | 口唇刻目文, D字爪 形文 | 二枚貝条痕+ナデ | 晩期, 谷尻 |
| 深鉢 | I | J 150 | 26 | N15E6 | 6 | 口径38.6 器高 8.6 | 頸部くびれる | 口唇刻目文, C字爪 形文 | 二枚貝条痕+ナデ | 晩期, 谷尻 |
| 深鉢 | I | J 151 | 26 | N16E8 | 4 | 口径34.6 器高10.8 | 頸部くびれる | 円形浮文, 下垂突帯, 強いナデによる凹線 文 | 二枚貝条痕, ケズリ | 晩期前半 |
| 深鉢 | I | J 152 | 26 | N26E7 | | 口径31.6 器高 7.9 | | | 強いナデ? | 晩期前半? |
| 深鉢 | II? | J 153 | 26 | N22E6 | 4 | 口径32.0 器高 9.4 | | | ナデ | 晩期 |
| 深鉢 | I | J 154 | 26 | N18E9 | 第2河道 堆積土 | | 頸部くびれる | 強いナデによる凹線 | 二枚貝条痕 | 晩期, 滋賀里Ⅲb～ Ⅳ |
| 深鉢 | I? | J 155 | 26 | | | | | 強いナデによる凹線 文 | 二枚貝条痕+ナデ, ケズリ | 晩期, 滋賀里Ⅲb～ Ⅳ? |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|------------------|-------|-------|--------------------|-------------|------------------|-------------|------------------------|----------------------|---------------|
| 深鉢 | Ⅱ ₁ | J 156 | 26 | N17E9 | 6 | 口径26.5 器高 6.7 | 直口 | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期, 前池? |
| 深鉢 | I ₁ | J 157 | 26 | N13E4 | 4 | 口径12.8 器高 6.9 | 頸部くびれる | 口唇刻目文, 刻目突帯文, 山形文, 刺突文 | 二枚貝条痕+ナデ | 晩期, 前池 |
| 深鉢 | I ₁ | J 158 | 26 | N17E8 | 5 | 口径22.8 器高 9.0 | 直口 | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕 | 晩期, 前池? |
| 深鉢 | I ₁ | J 159 | 26 | N20 ~22 E6 | 4 | 口径18.2 器高 8.0 | 頸部くびれ | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | 外面強いナデ 内面二枚貝条痕+ナデ | 晩期, 前池? |
| 深鉢 | I | J 160 | 26 | N16 ライン E7~8 | 5 | 口径23.4 器高16.8 | 頸部くびれる | | 二枚貝条痕 | 晩期前半? |
| 深鉢 | I ₁ | J 161 | 27 | N11E4 | 4 | 口径24.9 器高 5.2 | 頸部くびれる | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | 二枚貝条痕+ナデ | 晩期, 前池? |
| 深鉢 | Ⅲ ₁ | J 162 | 27 | N12E4 | 8 | 口径26.4 器高12.0 | 直口 | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | 二枚貝条痕 | 晩期, 前池? |
| 深鉢 | I ₁ | J 163 | 27 | N21E5 | 4 | 口径31.8 器高 7.2 | 頸部くびれる | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | 二枚貝条痕 | 晩期, 前池? |
| 深鉢 | I ₁ | J 164 | 27 | N17E8 | | 口径38.0 器高 7.0 | 頸部くびれる | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | 二枚貝条痕 | 晩期, 前池? |
| 深鉢 | I ₁ | J 165 | 27 | N16E7 | 6 | 口径37.0 器高10.5 | 頸部くびれる | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | 二枚貝条痕+ナデ, ケズリ | 晩期, 前池? |
| 深鉢 | I ₁ | J 166 | 27 | | | 口径30.5 器高 3.2 | | 口縁内面に刺突文, 刻目突帯文 | 条痕, ナデ | 晩期後半 松江市保管 |
| 深鉢 | Ⅱ ₅ | J 167 | 27 | N10E7 | 4 | 口径26.0 器高 6.0 | 直口 | 刻目突帯文 | ケズリ, 強いナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | I ₃ | J 168 | 27 | N16E7 | 5-1 | 口径26.9 器高 8.3 | 頸部くびれる | 刻目突帯文 | | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₄ | J 169 | 27 | N12E4 | 4 | 口径27.9 器高 3.9 | 直口? | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕 | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₅ | J 170 | 27 | N14E5 | 4 | 口径24.6 器高 5.0 | 直口 | 刻目突帯文 | ナデ, 二枚貝条痕 | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₅ | J 171 | 27 | N13E6 | 4 | 口径30.8 器高 7.0 | 頸部わずかにくびれる | 刻目突帯文 | ナデ? | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₅ | J 172 | 27 | N20 ~22 E5,6 | 4 | 口径25.4 器高 9.1 | 直口 | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕+ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | I ₃ | J 173 | 27 | N12E4 | 5-1 | 口径31.0 器高 6.0 | 頸部くびれる | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, 強いナデ? | 晩期後半 |
| 深鉢 | I ₃ ? | J 174 | 27 | N12E4 | 4 | 口径30.1 器高 5.4 | 頸部わずかにくびれる? | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕+ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₃ | J 175 | 27 | N16E7 | 6 | 口径23.6 器高10.1 | 直口 | 刻目突帯文(貝による) | 外面強いナデ 内面二枚貝条痕 | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₃ | J 176 | 27 | N20E5 | 4 | 口径35.8 器高11.1 | 直口 | 刻目突帯文 | 外面強いナデ 内面二枚貝条痕+ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | I ₂ | J 177 | 27 | N19E9 | 第2河道 堆積土 | 口径22.4 器高 4.0 | 頸部くびれる | 突帯文 | | 晩期後半 |
| 深鉢 | I ₃ | J 178 | 27 | N17E8 | 6 | 口径23.2 器高12.2 | 直口 | 突帯文 | ケズリ, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | I ₄ | J 179 | 28 | N27E6 | 4 | 口径25.8 器高 7.5 | 口縁端平坦 | 突帯文 | 強いナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₄ | J 180 | 28 | | | 口径26.3 器高 3.4 | 突帯文高い | 突帯文 | ナデ | 晩期後半 松江市保管 |
| 深鉢 | I ₂ | J 181 | 28 | N22E6 | 4 | 口径12.9 器高 7.9 | 口縁端平坦 | 突帯文, 垂下突帯文 | 強いナデ | 晩期後半 |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-----|------------------|-------|-------|-------|-------------|------------------|------------------|------------|------------|---------------|
| 深鉢 | Ⅲ ₂ | J 182 | 28 | N15E6 | 4 | 口径20.8 器高 7.1 | 頸部わずかにくびれる。口縁端平坦 | 刻目突帯文 | ハケ目, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₂ | J 183 | 28 | N16E7 | 6 | 口径21.3 器高 7.5 | 口縁外反 | 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₂ | J 184 | 28 | N12E4 | 6 | 口径29.2 器高 6.7 | 口縁外反 | 刻目突帯文 | ハケ目 | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₂ | J 185 | 28 | N18E8 | 5 | 口径17.9 器高 5.9 | 直口 | 刻目突帯文 | ハケ目, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₄ | J 186 | 28 | N17E8 | | 口径15.2 器高 4.9 | 口縁外反 | 刻目突帯文 | ハケ目, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₂ | J 187 | 28 | N15E6 | 4 | 口径16.5 器高 7.1 | 頸部若干くびれる | 刻目突帯文 | ハケ目, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₂ | J 188 | 28 | N24E6 | 4 | 口径18.8 器高 9.4 | 直口 | 刻目突帯文 | ハケ目 | 晩期後半 |
| 深鉢 | I ₂ ? | J 189 | 28 | N14E5 | 4 | 口径15.9 器高 4.1 | 口縁外反 | 刻目突帯文 | ハケ目 | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₂ | J 190 | 28 | N16E7 | 6 | 口径17.7 器高 6.1 | 口縁若干外反 | 刻目突帯文 | ハケ目, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢? | I ₄ | J 191 | 28 | | | 口径37.0 器高 5.6 | | 低い突帯文 | 二枚貝条痕, ケズリ | 晩期後半 松江市保管 |
| 深鉢 | Ⅱ ₄ | J 192 | 28 | N12E5 | 4 | 口径28.8 器高 2.2 | 直口 | 突帯文 | ハケ目, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₂ | J 193 | 28 | N11E6 | 4 | 口径16.2 器高 4.4 | 直口 | 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₂ | J 194 | 28 | | | 口径21.5 器高 7.4 | 口唇平坦 | 刻目突帯文 | ハケ目, ナデ | 晩期後半 松江市保管 |
| 深鉢 | Ⅱ ₃ | J 195 | 28 | N22E6 | 4 | 口径23.4 器高13.5 | 直口 | 刻目突帯文 | ハケ目, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅳ ₂ | J 196 | 28 | N11E8 | 4 | 口径25.8 器高 7.7 | 口縁内湾 | 突帯文 | ハケ目, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅳ ₂ | J 197 | 28 | N16E8 | 5-1 | 口径23.1 器高10.4 | 口縁内湾 | 刻目突帯文 | ハケ目, ナデ? | 晩期後半 |
| 深鉢 | | J 198 | 28 | N21E6 | 4 | 口径30.6 器高14.5 | 直口 | | 二枚貝条痕 | 晩期 |
| 深鉢 | | J 199 | 28 | N22E8 | 第1河道 堆積土 | 口径23.0 器高16.7 | 口縁内湾 | | 条痕+強いナデ | 晩期後半? |
| 深鉢 | | J 200 | 29 | N16E7 | 6 | 口径29.4 器高20.6 | 直口 | | 二枚貝条痕, ケズリ | 晩期後半? |
| 壺 | | J 201 | 29 | N16E8 | 6 | 口径10.4 器高 3.2 | 口縁内傾 | 刻目突帯文 | ナデ, ケズリ? | 晩期後半 |
| 壺 | | J 202 | 29 | N13E5 | 4 | 口径10.2 器高 3.6 | 頸部くびれる | 突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 壺? | | J 203 | 29 | N12E4 | 第2河道 堆積土 | 口径15.6 器高 4.1 | 頸部くびれる | 刻目突帯文 | | 晩期後半 |
| 深鉢 | I | J 204 | 29 | N11E4 | 4 | | 口縁外反 | 口唇刻目文 | ナデ | 晩期, 谷尻 |
| 深鉢 | I | J 205 | 29 | | | | | 口縁内面に刺突文 | 二枚貝条痕 | 晩期後半 松江市保管 |
| 深鉢 | I | J 206 | 29 | N12E4 | 4 | | 口縁外反 | 口唇刻目文, 刺突文 | ナデ? | 晩期, 谷尻 |
| 深鉢 | Ⅱ | J 207 | 29 | N16E7 | 4 | | | 口唇刻目文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期, 谷尻? |

| 器種 | 分類 | 挿図 番号 | 図版 ページ | 出土 地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|----------|-----------|----------|-------------|------------|------------|-------------------------|-------------------|----------|
| 深鉢 | I | J 208 | 29 | N13E5 | 4 | | | 口唇刻目文 | 外面二枚貝条痕 内面ナデ | 晩期, 谷尻 |
| 深鉢 | Ⅲ | J 209 | 29 | N25E7 | 4-2 | | | 口唇刻目文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期, 谷尻? |
| 深鉢 | I | J 210 | 29 | N17E9 | 4 | | | 口唇刻目文 | ナデ? | 晩期, 谷尻? |
| 深鉢 | I | J 211 | 29 | N16E8 | 6 | | | 口唇刻目文, 刺突文 | 二枚貝条痕 | 晩期, 谷尻 |
| 深鉢 | I | J 212 | 29 | N13E4 | 4 | | | 口唇刻目文, 爪形文 | 二枚貝条痕 | 晩期, 谷尻 |
| 深鉢 | I | J 213 | 29 | N21E5 | 4 | | | 口唇刻目文, 爪形文 | ナデ? | 晩期, 谷尻 |
| 深鉢 | I | J 214 | 29 | | | | 口唇肥厚 | 口唇刻目文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期, 原下層 |
| 深鉢 | I | J 215 | 29 | N25E7 | 第2河道 堆積土 | | 口唇肥厚 | 口唇刻目文 | ナデ | 晩期, 原下層 |
| 深鉢 | I | J 216 | 29 | N27E7 | 4-2 | | 口唇肥厚 | 口唇刻目文 | ナデ? | 晩期, 原下層 |
| 深鉢 | I | J 217 | 29 | N12E7 | 4 | | 口唇肥厚 | 円形刺突文 | ナデ? | 晩期前半? |
| 深鉢 | I | J 218 | 29 | N17E8 | 6 | | 口唇うすい | | 巻貝条痕? | 晩期 |
| 深鉢 | I | J 219 | 29 | N13E4 | 4 | | 口唇平坦 | | ナデ, 二枚貝条痕 | 晩期前半? |
| 深鉢 | I | J 220 | 29 | N16E7 | 6 | | 口縁内湾, 波状口縁 | | ケズリ, ナデ, 二枚貝条痕 | 晩期前半? |
| 深鉢 | I | J 221 | 29 | N14E6 | 4 | | 波状口縁 | | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期前半 |
| 深鉢 | I | J 222 | 29 | 不明 | | | | | ナデ, 二枚貝条痕 | 晩期前半? |
| 深鉢 | I | J 223 | 29 | N22E6 | | | | 円形浮文, 強いナデ による凹線 | ナデ | 晩期前半 |
| 深鉢 | I? | J 224 | 30 | N22E6 | 4 | | | 円形刺突文 | ナデ | 晩期, 谷尻? |
| 深鉢 | I? | J 225 | 30 | N15E6 | 4 | | | 円形浮文, 沈線文 | ナデ | 晩期前半 |
| 深鉢 | I | J 226 | 30 | N22E5 | 4 | | | 沈線文, 円形浮文 | | 晩期前半 |
| 深鉢 | I | J 227 | 30 | N20E5 | 4 | | | 爪形文 | 二枚貝条痕, ナデ, ケズリ | 晩期, 谷尻? |
| 深鉢 | I | J 228 | 30 | N26E7 | 4-2 | | 口唇肥厚 | | 巻貝条痕? ナデ | 晩期, 原下層? |
| 深鉢 | I ₁ | J 229 | 30 | N16E7 | 6 | | 口唇厚い | 口唇刻目文, 刻目突 帯文, 山形沈線文 | ナデ | 晩期, 前池 |
| 深鉢 | I ₁ | J 230 | 30 | | | | | 口唇刻目文, 刻目突 帯文, 沈線文 | 二枚貝条痕 | 晩期, 前池 |
| 深鉢 | I ₁ | J 231 | 30 | N21E5 | 4 | | | 口唇刻目文, 刻目突 帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期, 前池? |
| 深鉢 | I ₁ | J 232 | 30 | N13E5 | 5-1 | | | 口唇刻目文, 刻目突 帯文 | ナデ | 晩期, 前池? |
| 深鉢 | Ⅱ ₁ | J 233 | 30 | N13E5 | 4 | | | 口唇刻目文, 刻目突 帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期, 前池? |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|-------|-------|-------|---------------|--------|-----------|--------------|----------------|---------------|
| 深鉢 | Ⅱ ₃ | J 234 | 30 | N12E4 | 4 | | | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₁ | J 235 | 30 | N21E5 | 4 | | | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₁ | J 236 | 30 | N27E7 | 4-2 | | | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ケズリ | 晩期, 前池? |
| 深鉢 | I ₅ | J 237 | 30 | N12E5 | 4 | | | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₁ | J 238 | 30 | N18E8 | 6 | | | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | ケズリ, ナデ, 二枚貝条痕 | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₂ | J 239 | 30 | N21E5 | 4 | | 口唇やや厚い | 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | I ₁ | J 240 | 30 | N16E7 | 6 | | | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期, 前池? |
| 深鉢 | Ⅱ ₃ | J 241 | | N22E6 | 4 | | | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ケズリ, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | I ₂ | J 242 | 30 | N16E7 | 6 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₂ | J 243 | 30 | N19E9 | 5-2 | | 口唇平坦 | 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | I ₂ | J 244 | 30 | N26E7 | 4-2 | | | 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₅ | J 245 | 30 | N16E7 | 4 | | | 刻目突帯文 | ケズリ, 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₅ | J 246 | 30 | N13E5 | 4 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕? | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅳ ₄ | J 247 | 30 | N11E4 | 4 | | | 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₂ | J 248 | 30 | N21E5 | 4 | | 口唇厚い | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕 | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₃ | J 249 | 30 | N13E5 | 4 | | | 高い刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | I ₅ | J 250 | 30 | N16E7 | 6 | | | 刻目突帯文 | ケズリ? | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₃ | J 251 | 30 | N26E7 | 4-1 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕 | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₃ | J 252 | 31 | N21E5 | 4 | | | 刻目突帯文 | 強いナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₅ | J 253 | 31 | N21E5 | 4 | | 口縁がわずかに外反 | 突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | | J 254 | 31 | | | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕 | 晩期後半 松江市保管 |
| 深鉢 | Ⅲ ₅ | J 255 | 31 | | 5-2 ↓ 6 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | I ₄ | J 256 | 31 | N14E5 | 6 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕+ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₅ | J 257 | 31 | N20E5 | 4 | | | 刻目突帯文 | ケズリ, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₅ | J 258 | 31 | N21E6 | 4 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕 | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₅ | J 259 | 31 | N17E8 | 6 | | | 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 |

| 器種 | 分類 | 挿図 番号 | 図版 ページ | 出土 地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|------------------|----------|-----------|----------|-------------|------------|-------------|-------------------|------------|---------------|
| 深鉢 | Ⅲ ₃ | J 260 | 31 | N21E6 | 4 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₅ | J 261 | 31 | N17E8 | 6 | | | 刻目突帯文 | 条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₃ | J 262 | 31 | N12E5 | 4 | | | 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₅ | J 263 | 31 | | | | | 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 松江市保管 |
| 深鉢 | Ⅱ ₄ | J 264 | 31 | N16E8 | 6 | | | 刻目突帯文 | | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₅ ? | J 265 | 31 | N21E6 | 4 | | | 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₅ | J 266 | 31 | N21E6 | 4 | | 頸部わずかにくびれる? | 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₅ | J 267 | 31 | | | | 突帯文非常に低い | 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 松江市保管 |
| 深鉢 | Ⅱ ₄ | J 268 | 31 | N21E5 | 4 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₄ | J 269 | 31 | N11E4 | 4 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₄ ? | J 270 | 31 | N22E6 | 4 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₄ | J 271 | 31 | N18E9 | 6 | | | 刻目突帯文 (二枚貝による) | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₄ | J 272 | 31 | N13E5 | 4 | | | 刻目突帯文 | ナデ, 二枚貝条痕 | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₅ | J 273 | 31 | N16E8 | 5-1 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₄ | J 274 | 31 | N16E8 | 4 | | | 刻目突帯文 | ナデ, 条痕? | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅲ ₄ | J 275 | 31 | N11E4 | 4 | | | 刻目突帯文 | ナデ, 条痕? | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₄ | J 276 | 31 | N13E7 | 4 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕 | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₄ ? | J 277 | 31 | N18E9 | 6 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₄ | J 278 | 31 | N12E4 | 4 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ? | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₄ | J 279 | 31 | N12E4 | 4 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ケズリ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₄ ? | J 280 | 31 | | | | | 刻目突帯文 | ナデ? | 晩期後半 松江市保管 |
| 深鉢 | Ⅱ ₄ | J 281 | 31 | N22E6 | 4 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕 | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₅ | J 282 | 31 | | | | 突帯文低い | 突帯文 | | 晩期後半 松江市保管 |
| 深鉢 | Ⅲ ₃ | J 283 | 31 | N18E8 | 第2河道 堆積土 | | | 突帯文 | 強いナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₅ | J 284 | 31 | N26E7 | 4-2 | | | 突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | Ⅱ ₃ | J 285 | 31 | N21 | | | | 突帯文 | ナデ | 晩期後半 |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|------------------|-------|-------|-------|-------------|------------|--------|--------------|-------------|---------------|
| 深鉢 | I ₃ | J 286 | 32 | N27E7 | 4-2 | | | 突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | II ₄ | J 287 | 32 | N26E7 | 4-2 | | 口唇平坦 | 突帯文 | 強いナデ, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | III ₅ | J 288 | 32 | N21E5 | 4 | | | 突帯文 | | 晩期後半 |
| 深鉢 | 5 | J 289 | 32 | N16E7 | 4 | | 口唇やや厚い | 突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | II ₅ | J 290 | 32 | N13E5 | 4 | | 口唇平坦 | 突帯文 | ナデ? | 晩期後半 |
| 深鉢 | II ₄ | J 291 | 32 | N21E5 | 4 | | 口唇平坦 | 突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | II ₄ | J 292 | 32 | N11E4 | 4 | | | 突帯文 | ケズリ | 晩期後半 |
| 深鉢 | II ₅ | J 293 | 32 | N27E7 | 4-2 | | | 突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | II ₄ | J 294 | 31 | N20E5 | 4 | | | 突帯文 | 強いナデ, 二枚貝条痕 | 晩期後半 |
| 深鉢 | II ₄ | J 295 | 32 | N22E6 | 4 | | 口唇平坦 | 突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | II ₄ | J 296 | 32 | N13E5 | 4 | | | 突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | II ₄ | J 297 | 32 | | | | | 突帯文 | ナデ | 晩期後半 |
| 深鉢 | II ₂ | J 298 | 32 | N26E7 | 4-1 | | 口唇平坦 | 刻目突帯文 | ていねいなナデ | 晩期後半 弥生に近い |
| 深鉢 | II ₁ | J 299 | 32 | N25E7 | 4-2 | | 口唇平坦 | 口唇刻目文, 刻目突帯文 | ていねいなナデ | 晩期後半 弥生に近い |
| 深鉢 | III ₄ | J 300 | 32 | N12E4 | 4 | | | 刻目突帯文 | ナデ | 晩期後半 弥生に近い |
| 深鉢 | II ₂ | J 301 | 32 | N21E5 | 4 | | 口唇平坦 | 刻目突帯文 | ナデ? | 晩期後半 弥生に近い |
| 深鉢 | II ₂ | J 302 | 32 | N16E7 | 第2河道 堆積土 | | 口唇平坦 | 刻目突帯文 | ハケ目, ナデ | 晩期後半 弥生に近い |
| 深鉢 | II ₄ | J 303 | 32 | N22E5 | 4 | | 口唇平坦 | 突帯文 | ナデ | 晩期後半 弥生に近い |
| 深鉢 | II ₃ | J 304 | 32 | N22E5 | 4 | | | 突帯文 | ナデ | 晩期後半 弥生に近い |
| 深鉢 | III ₄ | J 305 | 32 | N13E6 | 5-1 | | 口唇やや厚い | 突帯文 | ナデ, 二枚貝条痕 | 晩期後半 弥生に近い |
| 深鉢 | IV ₃ | J 306 | 32 | N12E7 | 第2河道 堆積土 | | | 突帯文 | ナデかハケ目 | 晩期後半 弥生に近い |
| 深鉢 | III ₂ | J 307 | 32 | N15E7 | 5-1 | | 口唇平坦 | 突帯文 | ナデ? | 晩期後半 弥生に近い |
| 深鉢 | III ₃ | J 308 | 32 | N17E9 | 6 | | | 突帯文 | ナデ | 晩期後半 弥生に近い |
| 深鉢 | | J 309 | 32 | N21E5 | 4 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期後半, 二条突帯 |
| 深鉢 | | J 310 | 32 | N25E7 | 4-1 | | | 刻目突帯文 | 二枚貝条痕 | 晩期後半, 二条突帯 |
| 浅鉢 | I ₁ | J 311 | 33 | N27E7 | 4-1 | | | 円形浮文, リボン状突起 | ナデ | 晩期, 谷尻? |

| 器種 | 分類 | 図番 挿番号 | 図版 ページ | 出土 地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|------------------|-----------|-----------|----------|-------------|------------------|-------|---------------------|--------------|------------------|
| 浅鉢 | I ₁ | J 312 | 33 | | 5-2 6 | | | 沈線文? | 条痕? ナデ | 晩期前半? |
| 浅鉢 | I ₂ | J 313 | 33 | N16E8 | 6 | | | リボン状突起 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期, 谷尻 |
| 浅鉢 | I ₂ | J 314 | 33 | N21E5 | 4 | | | 内面凹線文(巻貝による?) | ナデ | 晩期, 谷尻? |
| | I ₂ ? | J 315 | 33 | N14E6 | 4 | | | 細かい沈線文 | ナデ | 晩期前半? |
| | II ₁ | J 316 | 33 | N11E4 | 6 | | | 円形浮文上に刺突文 | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期前半 |
| | II ₁ | J 317 | 33 | N16E8 | 6 | | | 円形浮文上に小さな刺突文, 斜行沈線文 | ナデ, 二枚貝条痕 | 晩期前半 |
| | III | J 318 | 33 | N16E7 | 4 | 口径20.0 器高 4.0 | | 内外面, 沈線文 | | 晩期前半? |
| | III | J 319 | 33 | N16E8 | 4 | 口径22.7 器高 6.7 | | 内外面, 沈線文 | | 晩期前半? |
| | I ₁ | J 320 | 33 | N26E7 | 4-1 | 口径17.4 器高 4.6 | | | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期, 谷尻? |
| | I ₁ | J 321 | | | | 口径33.2 器高 5.9 | | | | 晩期前半 松江市保管 |
| | I ₂ | J 322 | 33 | N16E7 | 6 | 口径27.6 器高 5.6 | | 内面沈線文 | ミガキ | 晩期, 谷尻~前池 |
| 浅鉢 | I ₁ | J 323 | 33 | N16E8 | 6 | 口径35.8 器高 8.2 | 波状口縁 | プロペラ状浮文, 刻目文, 口唇刻目文 | ナデ, 二枚貝条痕 | 晩期前半 |
| 浅鉢 | I ₂ | J 324 | 33 | N11E4 | 4 | 口径30.1 器高12.0 | 波状口縁 | | ナデ? | 晩期, 谷尻 |
| 浅鉢 | I ₂ | J 325 | 33 | N24E8 | 第1河道 堆積土 | 口径30.3 器高10.4 | | 山形突起, 突帯文上に凹線文と刻目文 | ナデ | 晩期, 谷尻? |
| 浅鉢 | I ₃ | J 326 | 34 | N21E6 | 4 | 口径31.3 器高 7.0 | | | ミガキ, ナデ, ケズリ | 晩期, 谷尻~前池 |
| 浅鉢 | I ₃ | J 327 | 34 | N16E7 | 6 | 口径20.5 器高 4.2 | | 内面沈線文 | | 晩期, 谷尻~前池 |
| 浅鉢 | I ₃ | J 328 | 34 | N15E7 | 6 | 口径20.0 器高 4.0 | | 内面沈線文 | | 晩期, 谷尻~前池 |
| 浅鉢 | IV | J 329 | 34 | N13E5 | 第2河道 堆積土 | 口径14.5 器高 3.9 | | | | 晩期, 滋賀里 III b~IV |
| 浅鉢 | IV | J 330 | 34 | | | 器高 5.6 | | | | 晩期, 滋賀里 III b~IV |
| 浅鉢 | V | J 331 | 34 | N12E4 | 4 | 器高 3.8 | | | | 晩期, 滋賀里 III b~IV |
| 浅鉢 | V | J 332 | 34 | N10E7 | 4 | 口径19.6 器高 1.9 | | | | 晩期, 滋賀里 III b~IV |
| 浅鉢 | V | J 333 | 34 | N20E5 | 4 | 器高 6.6 | | | | 晩期, 滋賀里 III b~IV |
| 浅鉢 | V | J 334 | 34 | N13E7 | 4 | 口径27.1 器高 3.7 | | | ミガキ | 晩期, 滋賀里 III b~IV |
| 浅鉢 | V | J 335 | 34 | N19E9 | 第2河道 堆積土 | 口径26.3 器高 4.0 | | | | 晩期, 滋賀里 III b~IV |
| 浅鉢 | VI | J 336 | 34 | N11E6 | 4 | 口径25.7 器高 3.8 | 口唇肥厚 | | 強いナデ | 晩期, 滋賀里 IV |
| 浅鉢 | VI | J 337 | 34 | N18E8 | 6 | 口径29.5 器高 5.7 | | 沈線文 | | 晩期, 滋賀里 IV |

| 器種 | 分類 | 挿番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-----|----------------|-------|-------|-------------|-------------|------------------|--------|-------------|--------------------|-----------------|
| 浅鉢 | Ⅵ | J 338 | 34 | N25E7 | 5 | 口径31.0 器高 6.5 | 口唇平坦 | 凹線文(巻貝による?) | ナデ, ミガキ | 晩期, 滋賀里Ⅳ |
| 浅鉢 | Ⅶ | J 339 | 34 | N12E4 | 4 | 口径25.1 器高 8.0 | | | | 晩期, 滋賀里Ⅲ |
| 浅鉢 | Ⅷ | J 340 | 34 | N13E5 | 4 | 口径22.4 器高 3.2 | | | ナデ | 晩期, 滋賀里Ⅲb |
| 浅鉢 | Ⅸ | J 341 | 34 | N21 E5・6 | 4 | 口径23.8 器高 6.5 | | | ナデ, ケズリ | 晩期後半 |
| 浅鉢 | Ⅲ? | J 342 | 34 | | | 口径31.0 器高 3.5 | 口縁短い | | ナデ? | 晩期後半 松江市保管 |
| 浅鉢 | Ⅵ? | J 343 | | N26E7 | 4-1 | 器高 6.9 | | | | 晩期, 滋賀里Ⅳ? |
| 浅鉢 | Ⅸ | J 344 | | N21E6 | 14 | 口径17.0 器高 4.6 | | | ナデ, ミガキ | 晩期後半 |
| 浅鉢 | X | J 345 | | N10E7 | 第2河道 堆積土 | 口径13.8 器高 6.6 | | | | 晩期, 滋賀里Ⅲb~ Ⅳ |
| 浅鉢 | Ⅸ | J 346 | | N12E4 | | 口径18.0 器高 6.0 | | | ナデ | 晩期後半 |
| 浅鉢 | Ⅺ | J 347 | 35 | N17E8 | 6 | 口径22.8 器高 4.5 | 口唇肥厚 | | 二枚貝条痕, ミガキ | 晩期, 滋賀里Ⅳ |
| 浅鉢 | Ⅺ | J 348 | 35 | N12E4 | 4 | 口径20.6 器高 3.2 | 口唇肥厚 | | ナデ | 晩期, 滋賀里Ⅳ |
| 浅鉢 | Ⅺ | J 349 | 35 | N16E8 | 6 | 口径27.6 器高 3.0 | 頸部やや長い | | | 晩期後半 |
| 浅鉢 | Ⅺ | J 350 | 35 | N21E6 | 4 | 口径15.9 器高 5.5 | 口唇肥厚 | | ナデ, ケズリ | 晩期, 滋賀里Ⅳ? |
| 浅鉢 | Ⅺ | J 351 | 35 | N14E5 | 5-1 | 口径25.5 器高 5.4 | 口唇肥厚 | | ミガキ, ナデ, ケズリ | 晩期, 滋賀里Ⅳ |
| 浅鉢 | Ⅸ | J 352 | 35 | N18E9 | 4 | 口径10.6 器高 2.9 | | | ナデ | 晩期後半 |
| 浅鉢 | Ⅻ | J 353 | 35 | N11E4 | 4 | 口径22.5 器高 5.2 | | | ナデ | 晩期? |
| 浅鉢 | Ⅻ | J 354 | 35 | N10E7 | | 口径17.3 器高 4.0 | | | | 晩期? |
| 浅鉢 | Ⅱ ₂ | J 355 | 35 | N12E4 | | 口径23.1 器高 4.8 | 浅身 | | ナデ? ミガキ? | 晩期 |
| 浅鉢 | Ⅱ ₂ | J 356 | 35 | N10E7 | 4 | 口径22.4 器高 7.9 | | | ナデ, ミガキ | 晩期 |
| 浅鉢 | Ⅱ ₂ | J 357 | 35 | N17E9 | 6 | 口径32.9 器高 6.4 | | | ナデ, ケズリ, 二枚 貝条痕 | 晩期 |
| 浅鉢 | Ⅱ ₂ | J 358 | 35 | | | 口径30.4 器高 6.8 | | 口縁内面に刺突文 | ナデ, 二枚貝条痕 | 晩期前半? 松江市保管 |
| 浅鉢 | Ⅱ ₂ | J 359 | | | | 口径26.0 器高 5.6 | | | ケズリ | 晩期 |
| 浅鉢 | Ⅱ ₂ | J 360 | 35 | N16E8 | 5-1 | 口径10.7 器高 5.0 | 口唇肥厚 | | ハケ目, ナデ | 晩期後半 |
| 浅鉢 | | J 361 | | N13E4 | | 器高 3.4 底径 6.9 | | | ミガキ, ナデ | 晩期 |
| 浅鉢 | | J 362 | | N17E9 | 4 | 器高 2.0 底径10.2 | | | ナデ, ケズリ | 晩期 |
| 深鉢? | | J 363 | | N12E4 | 4 | 器高 2.0 底径 8.3 | | | ナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図 番号 | 図版 ページ | 出土 地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-----|----------------|----------|-----------|----------|-------------|--------------------|-----------|--------|---------------------|------------|
| 深鉢 | | J 364 | | N16E7 | 6 | 器高 3.5 底径 5.5 | | | ナデ | |
| 深鉢? | | J 365 | | N12E8 | 4 | 器高 2.4 底径 10.9 | | | 二枚貝条痕, ナデ | |
| 深鉢? | | J 366 | | N16E7 | 6 | 器高 4.9 底径 6.4 | | | ナデ, ハケ目 | 晩期後半 |
| 浅鉢? | | J 367 | | N11E4 | 5 | 器高 1.4 底径 7.9 | | | ナデ | 晩期? |
| 浅鉢 | | J 368 | | N16E8 | 6 | 器高 1.7 底径 5.0 | | | ナデ, ケズリ | 晩期 |
| 浅鉢 | | J 369 | | N13E4 | 4 | 器高 1.6 底径 5.5 | | | ナデ | 晩期? |
| 深鉢 | | J 370 | | N16E7 | 6 | 器高 7.8 底径 5.8 | | | 強いナデ | 晩期 |
| 深鉢 | | J 371 | | N27E7 | 4-2 | 器高 10.9 底径 8.7 | | | 二枚貝条痕, ナデ | 晩期 |
| 深鉢 | | J 372 | | N17E9 | 4 | 器高 10.9 底径 10.6 | | | 二枚貝条痕 | 晩期 |
| 浅鉢 | I ₂ | J 373 | 35 | N16E7 | 6 | | | | ナデ? | 晩期, 谷尻 |
| 浅鉢 | V? | J 374 | 35 | N26E7 | 4-2 | | | | ナデ | 晩期, 滋賀里Ⅲb? |
| 浅鉢 | I ₃ | J 375 | 35 | N27E7 | 4-1 | | 口唇肥厚 | | ミガキ? | 晩期, 谷尻~前池? |
| 浅鉢 | I ₃ | J 376 | 35 | N26E7 | 4-1 | | 口縁やや短い | | | 晩期, 谷尻~前池 |
| 浅鉢 | I | J 377 | 35 | N11E7 | | | 口唇屈曲 | | | 晩期, 谷尻~前池? |
| 浅鉢 | I ₃ | J 378 | 35 | N20E5 | 4 | | | リボン状突起 | ナデ? | 晩期, 谷尻~前池? |
| 浅鉢 | I ₃ | J 379 | 35 | N13E4 | 4 | | | リボン状突起 | | 晩期, 谷尻~前池 |
| 浅鉢 | I ₄ | J 380 | 35 | N11E7 | 4 5-1 | | | | ナデ | 晩期, 谷尻~前池 |
| 浅鉢 | I ₄ | J 381 | 35 | N25E7 | 4-2 | | | | ナデ, ミガキ | 晩期, 谷尻~前池? |
| 浅鉢 | I ₄ | J 382 | 35 | N22E6 | 4 | | | | ナデ | 晩期, 谷尻~前池? |
| 浅鉢 | I ₄ | J 383 | 35 | N13E7 | 4 | | 口唇突帯状 | | ハケ目 | 晩期後半? |
| 浅鉢 | Ⅵ? | J 384 | 36 | N16E7 | 5-2 | | | | ナデ, ケズリ | 晩期, 滋賀里Ⅳ? |
| 浅鉢 | V ₂ | J 385 | 36 | N16E7 | 第2河道 堆積土 | | | | | 晩期, 谷尻~前池? |
| 浅鉢 | V? | J 386 | 36 | N21E5 | 4 | | 胴部逆「く」の字形 | 沈線文 | | 晩期, 滋賀里Ⅲb? |
| 浅鉢 | I | J 387 | 36 | N11E4 | 5 | | | | ナデ, ケズリ | 晩期, 谷尻~前池? |
| 浅鉢 | I | J 388 | 36 | N17E9 | 6 | | | | ミガキ, ナデ, 二枚 貝条痕? | 晩期, 谷尻~前池? |
| 浅鉢 | I | J 389 | 36 | N26E7 | 4-1 | | | 沈線文 | | 晩期, 谷尻? |

| 器種 | 分類 | 挿 番 号 | 図 版 頁 数 | 出 土 地 点 | 層 位 | 法 量 (cm) | 形 態 の 特 徴 | 文 様 の 特 徴 | 手 法 の 特 徴 | 備 考 |
|-----|------------------|-------------|------------------|--------------------|-------------|----------------|-----------------------|---------------------------------|-----------------------|---------------------|
| 浅鉢? | | J 390 | 36 | N26E7 | 4-2 | | 口縁内傾, 口唇平坦 | 内面沈線文 | ナデ | 晩期, 谷尻? 深鉢の可能性あり |
| 浅鉢 | XII | J 391 | 36 | N25E7 | 4-2 | | | 刺突文 | ナデ | 晩期前半? |
| 浅鉢 | XIII | J 392 | 36 | N10E6 | 4 | | | だ円形の刺突文 | 条痕, ナデ | 晩期前半? |
| 浅鉢 | XII | J 393 | 36 | N20 ~22 E5・6 | 4 | | | だ円形の刺突文 | ナデ | 晩期前半? |
| 浅鉢 | VI | J 394 | 36 | N21E6 | 4 | | | 沈線文 | | 晩期, 滋賀里IV? |
| 浅鉢 | VI | J 395 | 36 | N21E5 | 4 | | | 沈線文 | ミガキ? | 晩期, 滋賀里IV |
| 浅鉢 | | J 396 | 36 | N27E7 | 4-2 | | 波状口縁 | 沈線文 | ケズリ, ナデ | 晩期後半? |
| 浅鉢 | I | J 397 | 36 | N27E7 | 4-2 | | 波状口縁 | 沈線文 | | 晩期後半? |
| 浅鉢 | | J 398 | 36 | E5・6 | 4 | | 波状口縁 | 沈線文 | | 晩期後半? |
| 浅鉢 | | J 399 | 36 | N26E7 | 4-2 | | | 沈線文 | ミガキ, ケズリ | 晩期後半? |
| 浅鉢 | | J 400 | 36 | N21E5 | 4 | | | 羽条の刺突文 | ケズリ | 晩期前半? |
| 浅鉢 | III ₂ | J 401 | 36 | | 4 | | | 内面に円形刺突文 | | 晩期, 谷尻? |
| 浅鉢 | II ₂ | J 402 | 36 | N14E6 | 4 | | | 内面に刻目文 | ナデ? | 晩期, 谷尻? |
| 浅鉢 | II ₂ | J 403 | 36 | N15E7 | 6 | | | 口唇刻目文 | 条痕, ナデ, ミガキ | 晩期, 谷尻? |
| 浅鉢 | II ₂ | J 404 | 36 | N27E7 | 4-1 | | | 口唇刻目文 | ケズリ? 二枚貝条痕 | 晩期, 谷尻? |
| 浅鉢 | II ₂ | J 405 | 36 | N17E8 } N17E7 | 4 | | | | ナデ | 晩期 |
| 浅鉢 | II ₂ | J 406 | 36 | N15E6 | 4 | | | | ナデ, 巻貝条痕? | 晩期 |
| 浅鉢 | II ₂ | J 407 | 36 | N11E4 | 4 | | | | ナデ | 晩期 |
| 浅鉢 | II ₂ | J 408 | 36 | | | | | | ナデ | 晩期 |
| 浅鉢? | | J 409 | 36 | N12E4 | 6 | | | 凹線? | ナデ, ケズリ | 晩期? |
| 浅鉢 | | J 410 | 37 | N13E7 | 第2河道 堆積土 | | 口縁内面大きく凹む | | | 晩期? |
| 深鉢 | | J 411 | 37 | N13E7 | 第2河道 堆積土 | | 口縁内湾 | 円形刺突文 | ナデ | 時期不詳(中期か?) |
| 深鉢? | | J 412 | 37 | N18E9 | 4 | | | 突帯文上に凹線 | ナデ | 時期不詳(後期か?) |
| 深鉢 | | J 413 | 37 | N16E8 | 6 | | | 上端に縄文, 段 | ナデ | 時期不詳(後期か?) |
| 浅鉢? | | J 414 | 37 | N27E7 | 4-1 | | | 沈線文, 格子状文 (二枚貝刺突による?) | ナデ? ミガキ? | 時期不詳 |
| 深鉢 | | J 415 | 37 | N10E7 | 4 | | 口縁外反 | 突帯文上に羽状の刺 突文, 沈線文(半截 竹管?) | | 時期不詳 (晩期前半?) |

| 器種 | 分類 | 挿 番 号 | 図 版 ペ ー ジ | 出 土 地 点 | 層 位 | 法 量 (cm) | 形 態 の 特 徴 | 文 様 の 特 徴 | 手 法 の 特 徴 | 備 考 |
|----|----|-------------|-----------------------|------------------|-------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------|
| | | J 416 | 37 | N27E7 | 4-2 | | 口唇肥厚 | 沈線文 | | 時期不詳(後期?) |
| 浅鉢 | | J 417 | 37 | N26E7 | 4-2 | | | 沈線文(半截竹管) | | 時期不詳(後期?) |
| | | J 418 | 37 | N25E7 | 第2河道 堆積土 | | 逆L字口縁 | 細い沈線文 | ナデ | 時期不詳(後期?) |
| 深鉢 | | J 419 | 37 | N26E7 | 4-1 | 口径10.6 器高 3.4 | 口縁肥厚 | | 二枚貝条痕, ナデ | 時期不詳 (前期または晩期) |
| 深鉢 | | J 420 | 37 | N26E7 | 4-1 | 口径16.9 器高 8.0 | | | 二枚貝条痕, ナデ | 時期不詳 (前期または晩期) |

2. 弥 生 土 器

弥生土器の出土量は今回も多く、時期の判別できるものはコンテナ約150箱に上るが、そのうち約950点を図示した。実測にあたってはできるだけ多くの器種・型式・形態を掲載することを念頭において類型化を進め、さらに細部、文様の違いを考慮して分類した。実測図は従来編年に従って前期～後期に分けて掲載し、各器種ごとにまとめた。また型式とは別に文様の種類を把握するため、復元実測図の後に拓影を掲載した。

前 期 (第24～47図 図版37～64)

壺I₁ (第24図Y1・2, 第27図Y44) 口縁部が短く外反し、胴部下半に最大径がある土器のうち、比較的長胴のもの。肩部、頸部の段以外は文様はない。

I₂ (第24図Y3) 口縁部が短く外反し胴部が強く張る。全体に扁平な感じを受ける。肩部の段以外に頸部にヘラ描き直線文が施される。

I₃ (第24図Y4～第26図Y36) 口縁部が短く外反し、胴部下半に最大径があるもの。I₁より胴部が張る。頸部、肩部に段または直線文を持つが、段以外には無文のもの(Y4～14など)と有文のもの(Y15～36など)がある。文様はほとんどが肩部段直下に施され、頸部に直線文(Y16, Y28～32)羽状文(Y19), 突帯文(Y23, 27)が施されるものもある。また羽状文と直線文を組み合わせた文様が圧倒的に多いが、鋸歯文、波状文、重弧文など文様の種類は多い。突帯文はY23, 27の2点のみにみられるが、Y23が貼り付け、Y27は削出しによる。

I₄ (第27図Y43) 口縁部が短く外反し、胴部はあまり張らず、最大径が胴部中程にある。頸部はI₁～Ⅲ₃より短い。頸部と肩部には段が施される。

Ⅱ₁ (第27図Y 51・54, 第28図56・58~63・70, 第29図84・90) 胴部があまり張らないもののうち、口縁部が漏斗状に大きく広がるもの。文様は頸部、胴部にヘラによる直線文が多く施されるが、4条以上のものがほとんどである。直線文の直下に刺突文のものもみられるが、刺突文の形状は三角形が多い。また口唇部にも羽状文、刻目文、斜格子文などの文様が施されるものもある。突帯文は貼り付けによるものが多いが、Y 60は削出突帯文である。口縁内面は基本的には無文であるが、Y 51には三角形刺突文、Y 62には突帯文、Y 63には直線文、鋸歯文が描かれる。また1例ではあるが、直線文直下に段を持つものがある (Y 61)。

Ⅱ₂ (第28図Y 55・64, 第30図Y 111) 胴部があまり張らないもののうち、口縁部が短く広がるもの。

Ⅲ₁ (第26図Y 42, 第27図Y 45・46, 第28図Y 73・74) 口縁部が漏斗状に開き胴部が強く張るが、Ⅲ₂に比べやや口縁部が短いもの。文様は肩部に段 (Y 45)、頸部にヘラ描き直線文 (Y 46) が施される。

Ⅲ₂ (第27図Y 47~50, 第28図67~74) 口縁部が漏斗状に長く大きく開くもので、完形は出土していないが、西川津遺跡、鳥取県目久美遺跡などの出土例をみると、胴部は強く張ると思われる。口縁部片ではⅡ類との区別は難しいが、頸部から肩部にかけて比較的急に広がるものをⅢ₂類とした。文様は口唇部に直線文、羽状文、刻目文、頸部に直線文、突帯文で飾るが、それ以外の文様は少ない。直線文はほとんどが4条以上で、突帯文は貼り付けが多いがわずかに削出突帯文がある (Y 67・72など)。

Ⅳ (第27図Y 52, 第28図76, 第29図Y 85~87・91, 第30図Y 110・112・115, 第31図Y 119) 口縁部は短く外反し、胴部があまり張らないもの。完形は報告Ⅱの第14図にある。無文のものが多いが、文様は頸部に直線文 (3条以上が多い) が施されるものが多く、他には直線文間に刺突文が施される程度である。また、直線文直下に段を持つものが少数ある (Y 100~102)。口縁部は無文が多く、鋸歯文 (Y 103)、直線文 (Y 110) が施されるものがわずかにある。

Ⅴ (第30図Y 113・116, 第31図Y 118・120~122・124) 口頸部は短く外反し、胴部が球形に強く張るもの。無文の土器が多く、中期前葉とすべきものもあるかもしれないが、胎土、調整などから一応前期に入れておく。文様はY 121の頸部、肩部に5~7条のヘラ描き直線文が施される程度である。

Ⅵ (第26図Y 39, 第32図Y 140) 胴部がほぼ球形をなすものだが、完形が出土していないため口縁部の形態は不明である。Y 39の底部は円板状を呈す。文様はY 39に羽状文、重弧文、直線文、Y 140に細い貼り付け突帯文が施される。

Ⅶ (第31図Y 123・126・128・129) 頸部の短い短頸壺とも言うべき土器で、胴部はあまり張ら

ない。いずれも中～小型で、ほとんどが無文である。

Ⅷ（第31図Y134・135） 口縁部が逆「L」字形を呈し、頸部が「ハ」字形に広がるもので2点出土している。口縁上面と頸部に3～5条のヘラ描き直線文が施されている。

このほか、胴部片であるが胴部が屈曲し稜ができるものがある（第32図Y142・第42図Y334・335）。特異な器形であるがⅠ類またはⅢ類の変形かもしれない。文様は羽状文（Y142）、直線文（Y334・335）で飾る。

無頸壺（第33図Y155・157～第34図Y163） 胴部が張り、口縁部が強く内湾する。無文の土器が多いが、口縁部近くに突帯文（Y155・177）や、羽状文（Y159）を施すものもある。

短頸壺（第33図Y156、第45図Y391 図版51～62） 口縁部が短く内傾しているものを短頸壺とした。肩部はかなり張るようである。肩部にヘラ描き直線文が描かれている。

甕Ⅰ（第34図Y164～第37図Y216、第45図Y403～第47図Y452 図版51～55・58～64） 口縁部が緩く短く外反する。いわゆる如意形口縁の甕である。胴部が張らず直線的なもの（Y174など）と胴部がやや張るもの（Y186など）がある。文様は段を基調とするもの（Y164～172など）、直線文を基調とするもの（Y173～Y196など）、直線文間に刺突文を施すもの（Y198～203）、直線文直下に刺突文を施すもの（Y203・206・207など）などが多い。段を持つ土器は口唇部の刻目文以外に文様がないものが一般的であるが、段直上または直下に直線文や刺突文を加えるものが少数ある。（Y164・197・393・394・402～413）。また突帯文が付されるものもわずかにあり、Y210には削出突帯文、Y211～214・216には貼り付け突帯文が付されている。なおY210には突帯上にさらに刺突文も施される。このほか羽状文・重弧文を施すものが1点出土している（Y209）が、小片で鉢の可能性もある。口唇部には刻目文、羽状の刺突文が施されるものもあるが、無文のものも多い。

Ⅱ（第38図Y218～230、第45図Y395・397～401） 口縁部が逆「L」字形に屈曲するもので、出土量は少ない。文様は段（Y218・395）、直線文（Y219・221・223～225・228・400）、直線文直下に刺突文（Y220・222・227）、直線文間に刺突文（Y226・397・401）、竹管文（Y230）が施される。口唇部には刻目文（Y221・223～229など）や羽状の刺突文（Y398・399）が施されるものがある。

このほか、口縁部が逆「く」字形に屈曲し頸部内面に稜ができる甕がある（Y217）。貼り付け突帯文を付すだけで他の文様を持たないため、前期である確証はないが、胎土、調整から一応前期としておく。

鉢Ⅰ（第38図Y231～第39図Y246） 口縁部が短く外反するもので、甕Ⅰ類と同様の口縁の鉢である。いずれも破片のため甕Ⅰ類のものもあろうが、口縁が大きく広がっていることから、鉢と判断した。また文様が施されない土器については前期でないものもあるかもしれない。文様があるも

のは少なく、直線文（Y231・232）、直線文間に竹管文（Y238）、貼り付け突帯文（Y241）が付される程度である。また口唇に刻目文が施されるものも少ない。わずかながら、把手が付くものもある（Y243・244・246）。調整は甕よりていねいで、内外をていねいなヘラミガキ調整されるものがある（Y240・242など）。

Ⅱ（第39図Y247・248） 口縁部が直線に広がるもので、小型の鉢である。内外面ともヘラミガキやナデでていねいに調整される。

Ⅲ（第39図Y249～254） 口縁部が内湾するものである。浅身のものが多いが、Y255はやや深身である。Y249・251には把手が付けられ、Y251の口唇部には直線文が施される。

蓋（第39図Y256～第40図Y273、第47図Y453～455） 笠形に口縁部が大きく開く蓋が多いが、小型の蓋も少数ある（Y256・257・260～265）。Y256は天井部につまみを付ける蓋である。文様が施されるものは非常に少なく、直線文（Y266）、直線文間に竹管文（Y259）、円形刺突文（Y273）、羽状文（Y454）、重弧文（Y455）、木葉文（Y453）などが描かれるが一般的ではない。

底部（第40図Y274～292、第47図Y458） 底部外面は文様が描かれるものがわずかにある（Y274・275・277・278・279・457）。直線文（Y275・277～279）のほか重弧文（Y274）が施される。またY457の裏面には弧状文が描かれ、Y458には木葉痕が残る。

文様（第41図Y293～第47図Y455） 前期の土器には直線文、羽状文を中心に多くの文様が描かれる。工具はヘラによるものが多いが、二枚貝腹縁によるものもかなりみられる。

羽状文（第41図Y293～第42図Y309） 有軸羽状文と無軸羽状文の2種類あるが、有軸羽状文は少なく、多くは無軸羽状文である。一覧表では便宜上無軸のものをA、有軸のものをBと表記した。Y305は有軸羽状文と無軸羽状文の両者が描かれる土器で、1点しか出土していない。また無軸羽状文には横方向に施されるもの（aと表記、Y293など）と縦方向に施文されるもの（bと表記、Y301など）があるが、後者は非常に少ない。施文具はヘラ、二枚貝の2者があるが、両者はほぼ1対1の割合である。ヘラによるものは刺突状に施されるもの（Y293など）がほとんどで、Y295のようにヘラで引いて描かれるものは少ない。羽状文は段とともに肩部から胴部上半に施されることが多く、また壺Ⅰ₃類に最も多いようで、前期でも古い時期に盛行した文様であろうか。ただし口縁部の羽状刺突文についてはⅡ類、Ⅲ類土器に限られ頸部に多条化した直線文や貼り付け突帯文を持つことから前期後半以降の文様であろう。Y297は壺口縁部内面に描かれているが、この部分に描かれるものは非常に少ない。またY209・Y447（甕）やY454（蓋）に施される例もあるが、壺以外の器種に羽状文が描かれることも希である。

鋸歯文（第42図Y310～319、第47図Y449～451） 単独で施されるものは少なく、直線文や羽状文の直下に施されるものが多い。Y310～313は一つの単位が小さい鋸歯文で、ヘラ状工具の先端で

刺突したもの（Y310・313）もある。Y26・Y314～319は一単位が比較的大きく描かれるもので、Y449～451は甕である。Y26はいわゆる複合鋸歯状文が描かれる。Y315は削出突帯文直下に描かれ、下向の鋸歯文内をさらに平行線で埋めるものである。鋸歯文はほとんどが壺胴部に施されるが、壺口縁内面に施されるもの（Y63）が少数あり、また甕胴部に直線文と組み合わせて描かれるもの（Y449～451）もわずかながらある。

弧状文（第42図Y320～326） いわゆる連弧文である。2つの半円形を向き合わせるもの（Y323～325）と半円形を連続させるだけのもの（Y320～322?）などがあり、施文具もヘラと貝の両者がある。また、弧文端部に区画線を入れるものも多い（第26図Y39・41など）。Y35は双曲線状に文様が描かれたもので、1箇所のみ施文され連続した文様ではない。この文様も壺胴部に施されるものが多く、ほかの器種は蓋（第47図Y455）、甕（第37図Y209）に各1点を確認したにすぎない。

短線文（第25図Y26、第42図Y327～330） 縦方向または横方向にヘラ状工具によって刺突状に施文されるが、刺突文に比べやや長い文様である。Y327・328は直線文に直交して施され、Y327は格子状の文様となる。Y330～332は直線文直下に施文される。Y26・Y333は直線文間に縦横に施され、一見雷文にみえる。壺以外の器種には短線文が施されるのは希で、第47図Y446・448（ともに甕）にみられる程度である。

格子文（第43図Y336～338） 斜格子文（Y336・337）と方眼状の格子文（Y338）があり、前者が圧倒的に多い。施文具はヘラ（Y336）、貝（Y337・338）の両者があるが、ヘラ描きのものが多く一般的のようである。Y337は貝殻腹縁によって施文され、各格子中央に小さな円形刺突文が施される特異なものである。いずれも壺に施文されている。

木葉文（第43図Y339～353） いずれも小片で不明瞭なものが多いが、無軸、有軸の両者がある。図示したもののうち無軸木葉文とわかるものはY340のみで、他は有軸と思われる。有軸木葉文は斜軸のもの（Y339・341・342・344・346・348・349～353）と縦軸のもの（Y343・345・347・350）とがある。施文具はヘラ、貝の両者があるが、ヘラ描きのものが多く貝殻腹縁によるものはY345・349・350・352の4点である。

流水文（第43図Y360・361、第47図Y452） いずれも小片で全体の形状・文様構成は不明である。Y360は貝殻施文によるもので、他に例を見ないといわれる。Y361・452は極細片のため流水文である確証はないが、一部の沈線文が反転していることから流水文の可能性を考えた。施文具はともにヘラ状工具である。

刺突文（第43図Y354～359、第46図Y414～第47図Y445） 三角形刺突文、円形刺突文、竹管文などがあるが、壺に施文されるのは比較的少なく、甕に多くみられる。いずれも直線文間あるいは直下に施されるものが多く、段との組み合わせはY354・355・437で少ない。Y418～422のように

羽状に刺突文を施すものもある。前期では甕に三角形刺突文が施されるものは少ないようで、円形刺突文、竹管文が一般的である。三角形刺突文は木口で施文されると思われるが、Y359は工具の向きを変えながら施文した珍しい例である。またY358は円形刺突文を鋸歯状に連続刺突するもの、Y413は円形刺突文が垂下するもので、ともに1例のみ出土している。

突帯文（第44図Y362～第45図Y392） 削出しによるもの（一覧表ではBと表記）と貼り付けによるもの（Aと表記）があり、さらに削出し突帯文は1条削出すもの（Y362など、Ba）、太い削出し突帯文上に直線文を施文し多条に見せるもの（Y367など、Bb）とがある。貼り付け突帯文は1条ずつ貼り付けるもの（Y372など、Aa）、貼り付ける部分に下引き沈線を施した上に突帯を貼り付けるもの（Y375など、Ab）、太い突帯文上に直線文を施し多条に見せかけるもの（Y378～380など、Ac）がある。削出し突帯文ではBb類が多く、貼り付け突帯文ではAa類が多い。突帯文上を羽状文（Y369）、刺突文（Y368）で飾るものもあるが、突帯文上は刻目文で飾るものが多い。Ac類は突帯状にヘラ描き沈線文が施されるのが一般的だが、まれにY378、379のように貝殻腹縁で施されるものもある。突帯文は壺の肩部を横走するものがほとんどであるが、口縁内面に施されるもの（Y383・47・78・79など）、垂下させるもの（Y388・389）、渦巻状のもの（Y392）などが少数ある。壺・無頸壺以外の器種では甕にも少数ながら施されるものがあり、これらには削出し突帯文は少なく（第37図Y210・215）、貼り付け突帯文がほとんどである（Y211～217など）。

中 期（第48～第69図 図版65～94）

従来どおりクシ描き沈線文以降の土器を中期とした。

中期では中葉以降、壺、甕の口縁部が拡大する傾向があり、また後葉以降は複合口縁化の傾向が認められる。どのように拡大変化していくかは明らかにされていないが、口縁端部の形態は多様であるため繁雑ではあるが分類を試みた。以下口縁部の説明はこれに従う。

- 口縁 a（第50図Y499・505・第61図Y674など） 口縁端部は平坦面をなすが、拡張しないもの。
- b（第51図Y514・第55図Y592・第62図Y697など） 口縁端部が上下方に肥厚するもの。
- c（第50図Y503・第61図Y677・第62図Y690など） 口縁端部が上方に肥厚するもの。
- d（第50図Y506・第62図Y694など） 口縁端部が下方に肥厚するもの。
- e（第52図Y529・532など） 口縁端部が大きく拡大し、下垂するもの。
- f（第52図Y537～539など） 口縁端部が大きく拡大し、斜下方に屈曲するもの。
- g（第55図Y587・第63図Y701など） 複合口縁のうち口縁端部が短く内傾するもの。
- h（第63図Y706・第72図Y910など） 複合口縁のうち口縁端部が短く直立気味なもの。
- i（第70図Y860・866など） 複合口縁のうち口縁端部が外傾するもの。

j (第70図Y 868) 複合口縁のうち口縁端部が直立するもの。

k (第72図Y 894～898など) 複合口縁のうち口縁端部が外反するもの。

全体の器形は次のように分類できる。

壺Ⅱ₂ (第48図Y 459～464), Ⅳ (第48図Y 465～第49図Y 491) 前期のⅡ₂類, Ⅳ類と同形態であるが, 文様がクシ描きによるものである。これらはY 479のようにやや特異な形態の土器もあるが, 前期後半以来の形態と考えてよからう。従来から中期前葉と考えられてきた土器である。

Ⅸ (第50図Y 492～496・498・499・501・502・505) 口縁部は大きく広がるが, 頸部が短いもの。中型のものが多い。口縁端部の形態はa・b・d類であるが, 口縁端部の拡張の傾向は顕著ではない。なおY 492は口縁端部に羽状文を施すなど他の土器に比べ古い様相を持つが, 前葉の土器に似た形態のものがなく胎土も粗い砂粒を含まないことなどから, 中葉に近い時期と考えた。

X₁ (第50図Y 504・506・511・513) 口縁部が朝顔形に大きく広がるもので, 頸部がやや短いもの。口縁部が若干屈曲して広がるため, 口頸部の断面形が逆「コ」字形になるものが多い。口縁端部はa～e類があり口縁部拡張の傾向は認められる。

X₂ (第50図Y 497・507・509・510・512, 第51図514～526) 口縁部が朝顔形に大きく広がるもので, 頸部が長いもの。口縁端部はa～f類があるが, 口縁端部の拡張傾向は顕著でb～d類も幅広く肥厚している。

X類は口縁端部に文様を入れる土器が多く, 特に斜格子文の多用が目立つ。口縁内面にも文様が多く見られ, 一般的とは言えないが口縁内面に突帯文を施すものもよくみられる。頸部に突帯文を施すものも多いが, 頸部, 肩部には他の文様はあまり施されないようである。またY 515・516・518・530のように口縁端部に凹線文, 沈線文が施されるものは他の土器より新しいと思われる。

XI (第52図Y 531・533～536, 第53図Y 540～550) 口縁部が漏斗状に大きく広がるが, 頸部はX類のように筒状にならない。口縁端部は肥厚するb～c類が多いが, f類もわずかながらある。全体に口縁端部はX類ほど拡張しないが, この部分に文様を施すものも多い。XI類は頸部に突帯文を多条に施すのが特徴的で, Y 548のように突帯文を垂下させるものもある。またY 553のように頸部に直線文, 波状文が施されるものもあり, 頸部の文様はX類より多いようである。

XII₁ (第54図Y 556・558・559) 口縁部がやや短く外反するもので, 口縁端部は単純に終る。文様はほとんど施されず, わずかにY 556の肩部に刺突文が施される程度である。

XII₂ (第53図Y 554) 全体の器形はXII₁類とあまり変わらないが, 口縁端部が肥厚すること, 大型であることなどXII₁類と趣きが大きく異なる。XII₁類とは別とすべきかもしれないが一応同類としておく。口縁端部には貝殻施文による羽状文, 頸部には指頭による刻目突帯文が施される。1点のみの出土で, 他には西川津遺跡で少数出土しているにすぎない。なお, 西川津遺跡出土の1点はY 554

と同一個体である。

Ⅷ (第55図 Y 574～578・583) 口縁部は短く外傾し、頸部は「く」の字形を呈すもの。口縁端部は肥厚し上面は平坦面をなす。頸部に突帯文が施されるものが多いが、他の文様は少ないようである。

Ⅸ (第55図 Y 581・584) 口縁部が逆「L」字形を呈し、頸部が「ハ」字形に伸びるもの。Ⅷ類に似るが、時期が離れており、同一系統の土器ではないと思われるため別類とした。

以上のⅨ～Ⅺ類は従来中期中葉として扱ってきた土器とほぼ同一の内容と考えられるが、凹線文を多用する Y 586は後葉の可能性がある。

Ⅻ (第55図 Y 585・587・588) 口縁部、頸部は明瞭に屈曲するもので、口頸部の断面形が逆「コ」の字形を呈するもの。胴部は強く張ると思われる。口縁端部の形態は Y 585, 587が g, Y 588が bであるが、Y 588も口縁部の複合化が窺える。文様は口縁部、頸部に凹線文が施される以外は Y 588の胴部に刺突文が施される程度である。

Ⅼ (第55図 Y 580・589～592・594) 頸部が短く外反し、胴部があまり張らないもの。口縁部は b・c・e・g があり、口縁部の複合化が窺える。口縁端部、頸部に凹線文が施されるが、他の文様はほとんど施されず Y 594肩部の凹線文間に斜線文が施される程度である。

Ⅽ, Ⅾ類は概ね中期後葉と思われる。

短頸壺 (第54図 Y 557・560・564～570・第54図 Y 579) 頸部の屈曲が緩く胴部があまり張らないもの (Y 557) と頸部の屈曲が強く胴部が張るもの (Y 564～567・569・570) がある。文様が施されるものは少ないが、Y 569, 570は直線文が施される。Y 566は漆塗土器である。

無頸壺 (第54図 Y 561・562・571～573, 第55図 Y 582, 第56図 Y 595～598) 胴部が強く張るもの (Y 561・562) とあまり張らないもの (Y 595～598) がある。前者は口縁端部が肥厚し平坦面をなすもの (Y 561ほか) と丸く終るもの (Y 571) がある。口縁端部が肥厚するものはこの部分に鋸歯文や凹線文を入れるものが多い。Y 571は口縁部内面に段ができ、折り返し口縁状を呈する。胴部が張らないものうち、Y 597はクシ描き直線文が施され、中期前葉の可能性がある。

直口壺 (第54図 Y 563) 口縁部がやや長く直口するもので、凹線文が施されている。

甕Ⅰ (第56図 Y 601～第59図 Y 643), Ⅱ (第59図 Y 644～第60図 Y 661) 前期Ⅰ, Ⅱ類と同じ形態である。有文の土器はクシ描きのものの中期としたが、無文の土器は前期と中期の区別は不可能であるが、一応一括して中期とした。これらはほとんどが中期前葉と考えられるが、Ⅱ類のうち Y 656～661は胎土、調整など中葉の特徴を持つ。Y 656などが前期Ⅱ類の系譜をひくものか中期中葉の独自の器種であるかは不明である。また Y 655, 658は突帯や蒲鉾形の口縁を持つなど特異な形態であり、別系統の土器かもしれない。

Ⅲ₁ (第59図Y634) 頸部が細く締まり、肩部は強く張るが長胴のもの。

Ⅲ₂ (第60図Y662～第61図Y677・679～第62図Y684・686, 第63図Y704～706・708) 頸部は「く」字形に屈曲し口縁部は短く外傾するもので、胴部はあまり強く張らない。口縁端部の形態はY662～665などがa, Y676・681などがb, Y666～668・675などがc, 704～706・708がgである。口縁端部の拡張傾向は認められ、Y679・680(c)のように複合口縁化の進んだものもある。文様は口縁部に刻目文, 凹線文, 頸部に突帯文, 肩部に刺突文が施されるが、総じて文様は少ない。口縁端部の凹線文はc類の中でも幅が広がったものに施されることが多く、さらに頸部に突帯文が施されるものは口縁端部に凹線文が入る土器に多くみられる。口縁端部に凹線文が施されない土器に突帯文が付けられるのは非常に少ない(Y673・681)。凹線文が施されない土器は中葉, 口縁端部gの土器は後葉と考えると差支えないと思われるが、口縁端部に凹線文が施される一群(b・c)が中葉, 後葉のいずれか(あるいは連続して存在するか)は不明である。

Ⅲ₃ (第61図Y678・第62図Y688～703) 頸部は「く」字形に屈曲し、胴部が強く張るもの。口縁端部はb～d, gがあるが、b～dは肥厚して面をなし、羽状文(Y696), 刻目文(Y690・691)斜格子文(Y697)を施すものが多い。また頸部に突帯文が施されるものも多い。口縁端部gのもの(Y698～703)は一層複合口縁化が進んだ形態で、凹線文が施される。

Ⅳ (第62図Y687) Ⅲ₁類に似るが口縁部がやや長く外反する。外面には叩き痕が観察され、後期の可能性もあるが、内面にハケ目調整がみられることから一応中期とした。

鉢Ⅰ (第63図Y709～第64図Y718・720・722・723) 口縁部が「く」字形に屈曲する甕形のものである。Y709～718は前葉, Y720・722・723は中葉と思われる。

Ⅲ (第64図Y721・725～第65図Y732・734～737・740～746) 無頸の鉢で、口縁部が単純なものもあるが(Y721・724・725・734～737), 多くは肥厚し上面は平坦面をなす。刻目突帯文が多用され、凹線文が施されるものもある(Y726・732・736～744)。多くは中葉～後葉と思われるが、Y734は直線文直下と口唇部に三角形刺突文が施されることから前葉と思われる。

Ⅳ (第64図Y719・724) 口縁部が逆「L」字口縁のものである。

Ⅴ (第65図Y738・739) 頸部が「く」字形を呈し、口縁部が拡張するもの。

以上のほか、Y733のように頸部が屈曲する特異な鉢がある。

高環Ⅰ (第65図Y747～第66図Y752) 坏部が碗形に内湾し、口縁部が屈曲し鏝状に広がるもの。

Ⅱ (第66図Y753～758) 坏部が碗形に内湾し、口縁部が肥厚するもの。肥厚した口縁端部には円形浮文, 斜格子文などで飾ることも多い。

Ⅲ₁ (第66図Y762・763・765) 坏部が皿形のもので、口縁部は内湾気味に直立するもの。口縁端部は肥厚し平坦面をなす。口縁部および端部には凹線文が施されるものがある。

Ⅲ₂ (第66図Y759~762) 坏部が皿形のもので、体部と口縁部の境に稜がつくもの。

Ⅳ (第66図Y764・766) 坏部は内湾し、口縁端部を内側に摘み上げるもの。

このほか脚部も多数出土している。端部が単純なもの(Y767~777)、端部が広がり文様を施すもの(Y779~782)などがあるが、完形が少ないため坏部との対応は不明である。

その他の器種としては蓋(Y787~789)、コップ形土器(Y794~799)などがある。

文様(第69図Y825~849) 中期前葉の文様は前期後半の文様とさほど変化はないが、直線文間または直下に波状文が施されるものが多くなる(Y845~848など)。また円形刺突文、竹管文は少なくなり三角形刺突文が多用されるようである(Y839・840など)。中葉の土器は壺の口縁部を中心に文様が施され、特に斜格子文、波状文、突帯文が多用される。同一文様が何回も繰り返し施され(Y512など)、口縁内面に施文されるものが多いため、一見装飾性に富むように見えるが、文様の種類そのものは前期が多いようである。後葉の土器では凹線文とクシ状工具による刺突文が多用されるほかは文様は少ない。突帯文は全て貼り付けで下引き沈線を施す例は確認していない。工具については前期で多用された貝殻施文は中期前葉では確認しておらず、中葉になって再び登場するようである(Y517・671)。貝殻施文は中葉以降連綿と続くが、施文具の主流ではない。

後 期 (第70~73図 図版95~98)

頸部までヘラ削り調整が施されるものを後期とした。

壺Ⅳ (第70図Y851・855) 中期壺Ⅳ類と同形態のもの。口縁端部はb類で凹線文が施される。

Ⅳ₁ (第70図Y852・856・858・859) 口頸部は「く」字形に外反するが、頸部の屈曲は緩い。胴部はあまり張らない。口縁端部はb, h類があり、凹線文が施される。

Ⅳ₂ (第70図Y853・854・857・862) 口頸部はⅣ₁と同じだが、胴部が強く張るもの。口縁端部はb, c, g類があり、凹線文が施される。

Ⅳ₃ (第70図Y861・863・866) 口頸部が長く外反するものである。口縁端部はi類で、弥生土器ではもっとも複合口縁化が進んだものである。Y861・863には凹線文、Y866にはクシ描き直線文が施される。

Ⅳ₄ (第70図Y869~871) 胴が強く張り口縁部は直口または外傾する。肩部に凹線文、クシ描き直線文が施される。

甕 (第71図Y872~第72図Y907) 全体の器形はⅢ₂(Y872~878・885~907), Ⅲ₃(Y879・880), Ⅳ(Y882~884)があり、中期とあまり変わらないが、口縁端部はg~i, kのいわゆる複合口縁が多くなる。a~c類もやや幅広で凹線文を入れるものが多い。a~c類は中期後葉に多くみられ、中期後葉とすべきものがあるかもしれない。また複合口縁は内傾または直立するg・h類が後期前

半, 外反するk類が後半とされる。k類の口縁部の文様はクシ描き直線文が多いがa～c類は凹線文が多いようである。Ⅳ(Y882～884)は後期としてはあまり例のないもので、いずれも口縁部は単純に外反する。Y882には叩き痕が残る。

鉢(第72図Y908～912) 頸部が「く」字に屈曲するもので、口縁端部はa類(Y908)とh(Y909～911)があり、後者は複合口縁と呼ぶべきものである。

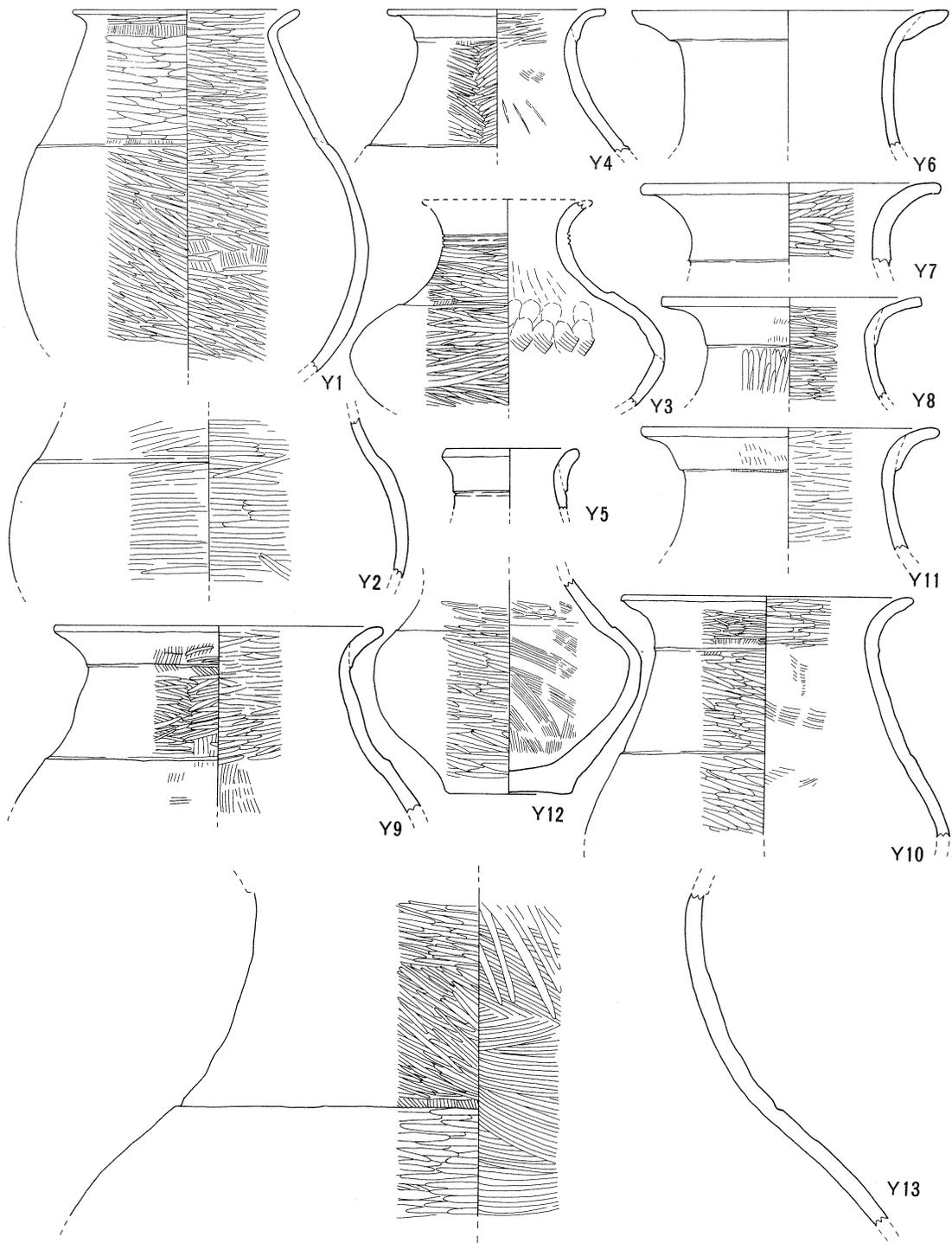
高坏(第72図Y911～915・917～第73図Y919) 坏部はⅡ類(Y913)、Ⅲ類(Y911・912・914・915)のほか、口縁端部が大きく外反するⅣ類(Y917・918)がある。Ⅱ・Ⅲ類は口縁端部が複合口縁化したものが多く、凹線文(Y913・914)へラまたはクシ描き直線文(Y915)などが施される。脚部も端部が肥厚し凹線文を施すものが多い(Y919)。

器台(第73図Y920～923) 脚部が出土しているが、高坏脚部の可能性もある。Y920～923の端部は拡張し、複合口縁化し凹線文が施される。Y923は鼓形器台である。

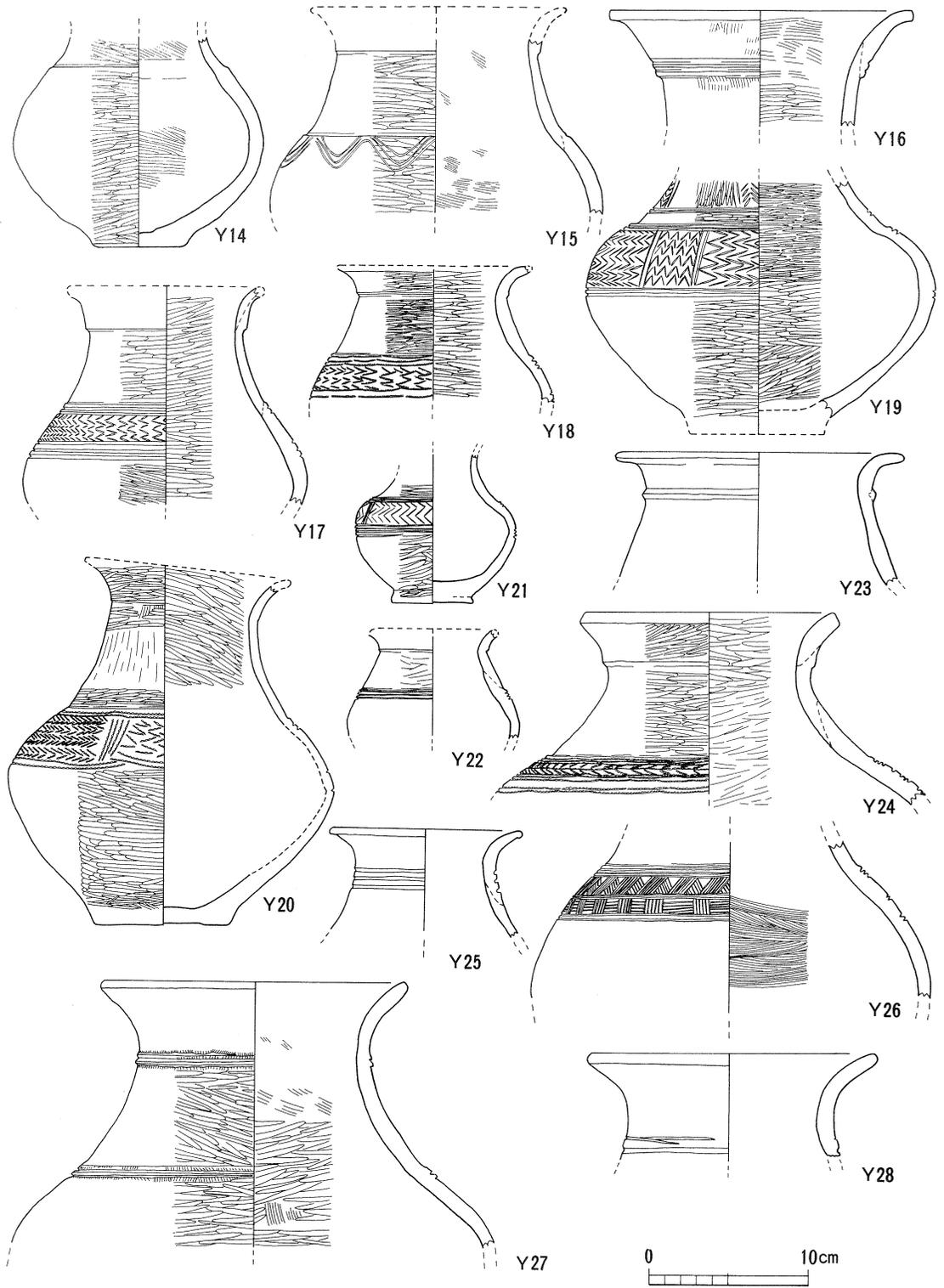
その他の弥生土器(第73図Y924～947) 特異なもの、時期不明なものを一括した。Y924～926は注口土器、Y927は甑である。Y928～930は漆塗土器で、中期中葉と思われる。Y931・932・941・943・945は口縁上端に突帯文を施すものである。Y943は縄文時代晩期の突帯文土器によく似るが、上端の鋸歯文が特異である。Y934は壺、Y933は鉢と思われるが、同様な突帯文を施すものはない。Y935は高坏と思われるが弥生土器に一般的な円板充填によるものではなく、接合式のものである。Y937・938は脚付の長頸壺であろうか。Y942は段を有することから前期であることがわかるが、波状口縁の土器である。摩滅が著しいため欠損となった可能性もある。Y944は口縁端部が玉縁状になるもので弥生土器である確証はない。Y947は有軸羽状文を弧状に配した土器で後期の様相を持つ。

参考文献

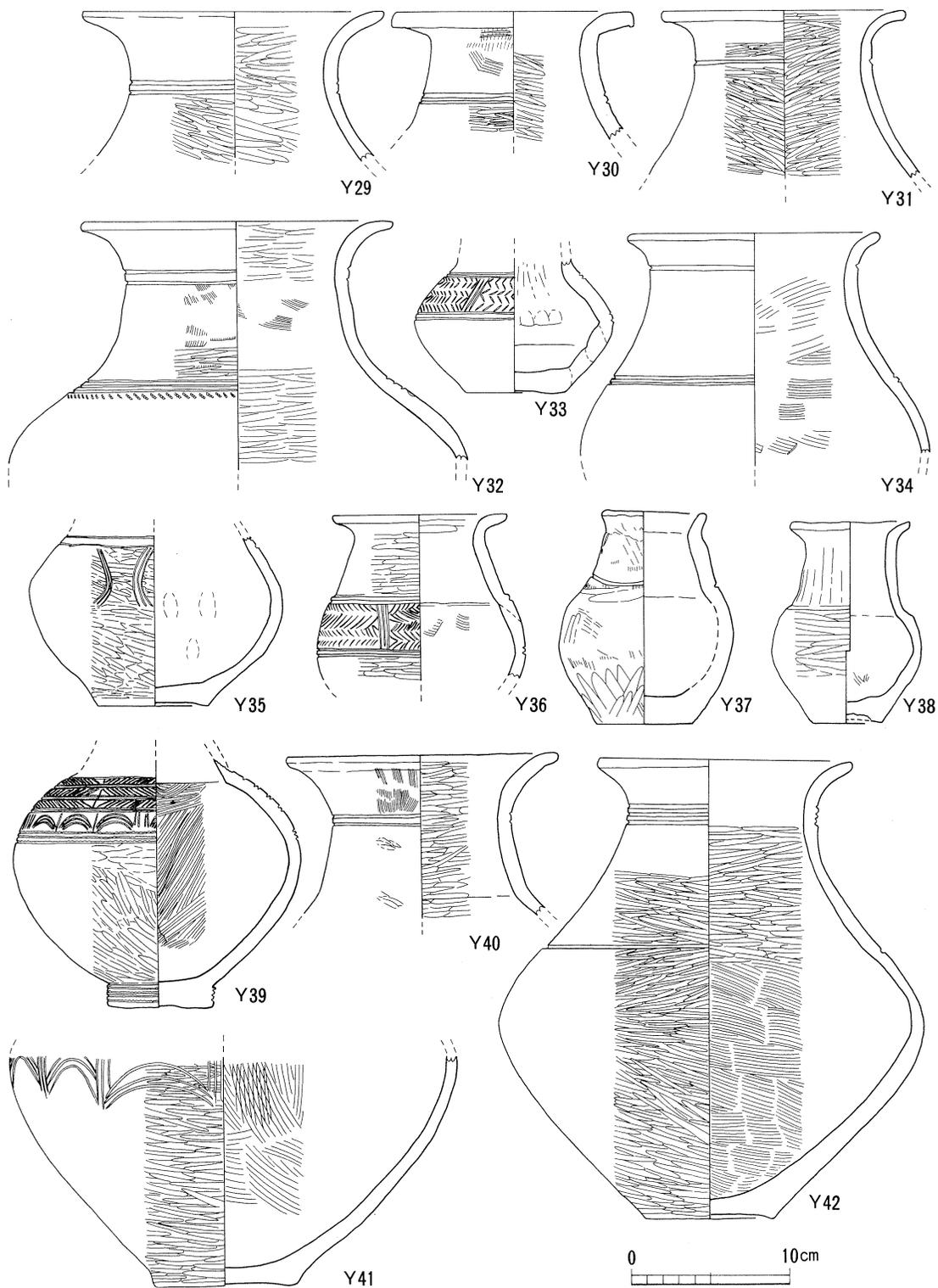
- 東森市良 他 『島根県弥生式土器集成』 八雲立つ風土記の丘研究紀要Ⅰ 1977
金関 恕・佐原 真 編 『弥生文化の研究』 3・4 1986
日本考古学協会編 『日本農耕文化の生成』 1960
小林行雄 編 『大和唐古弥生式遺跡の研究』 1943
佐原 真 他 『紫雲出』 1964



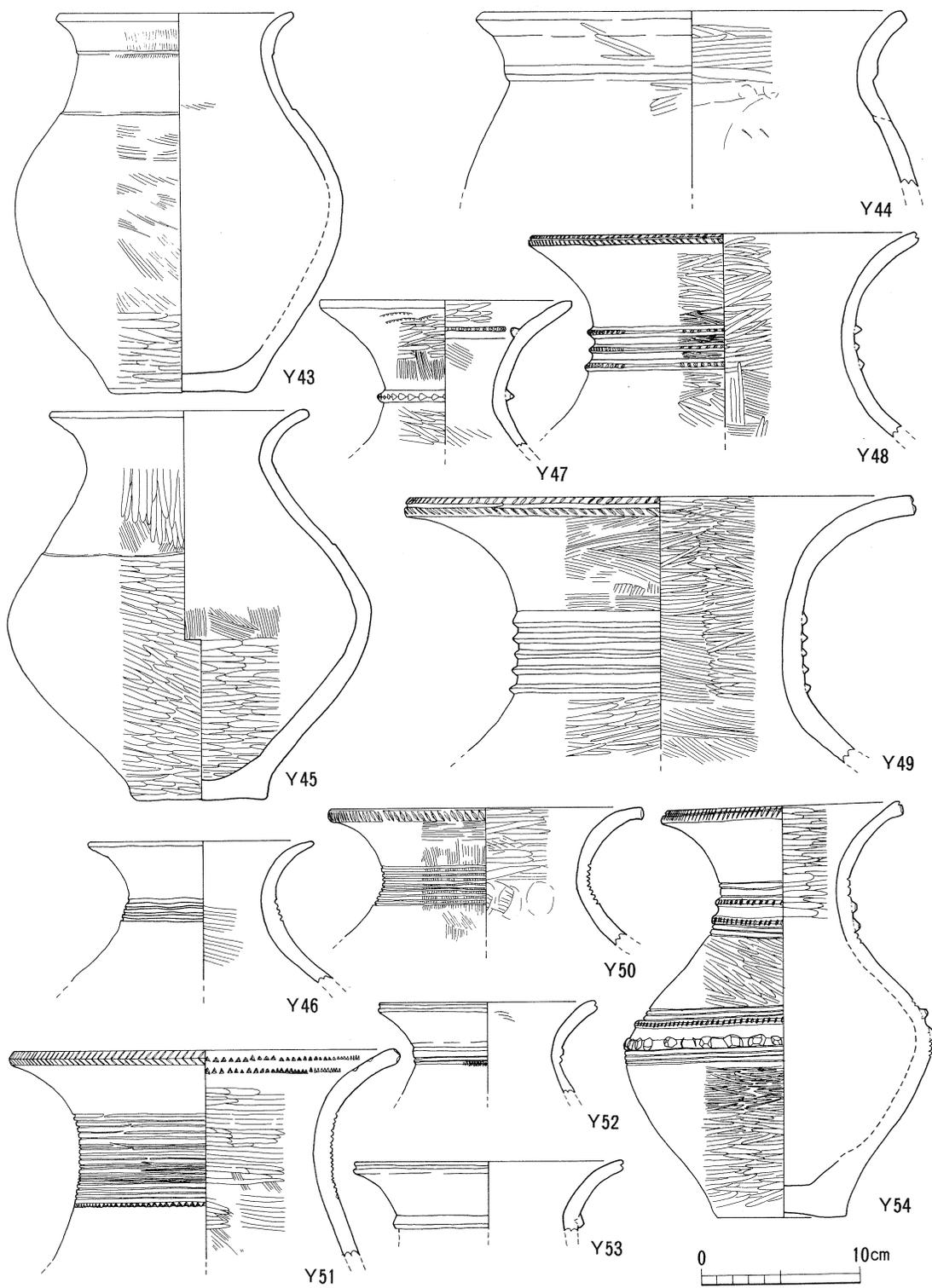
第24図 弥生土器(1) 前期 壺 1:4



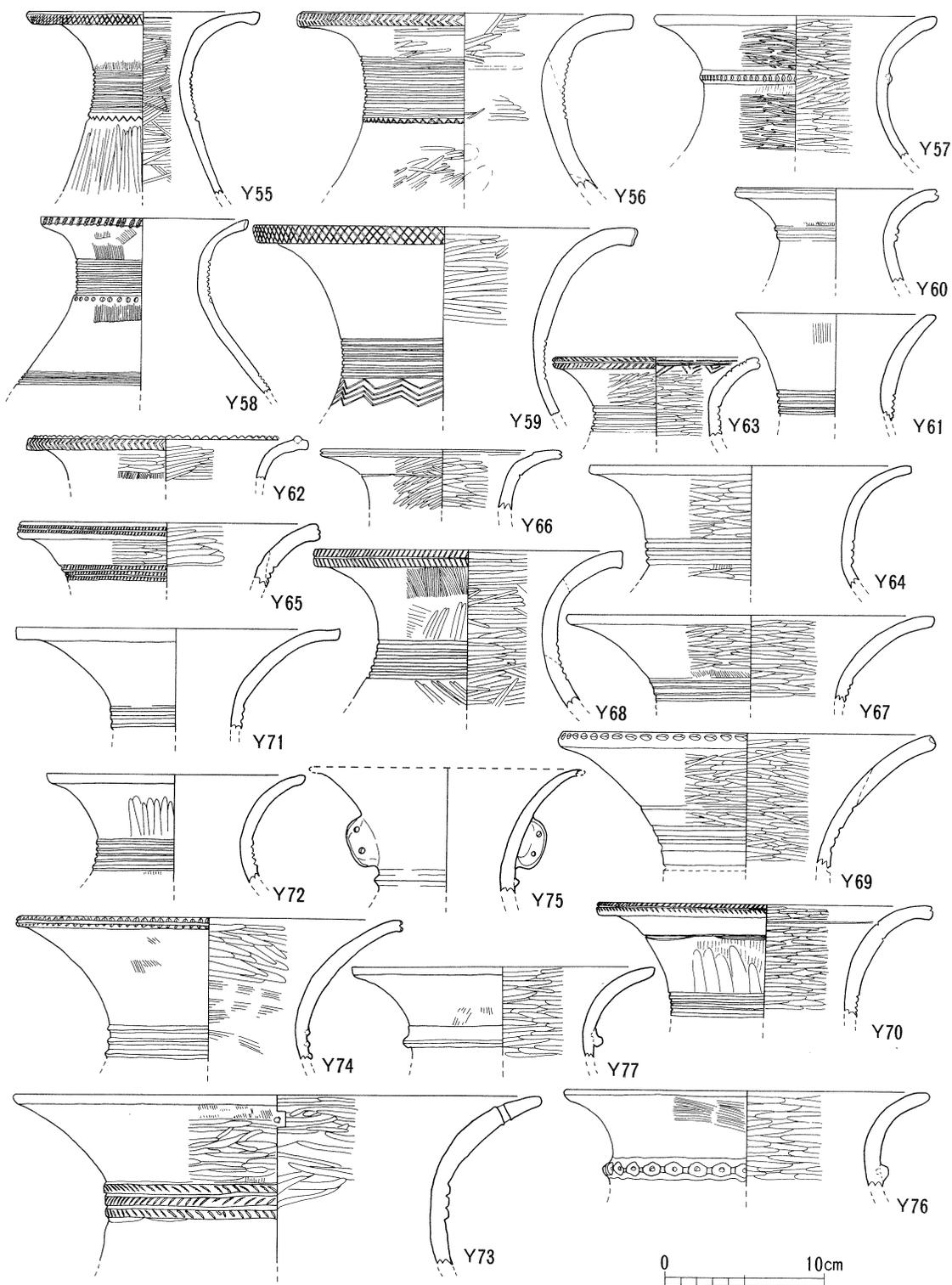
第25图 弥生土器(2) 前期 壺 1:4



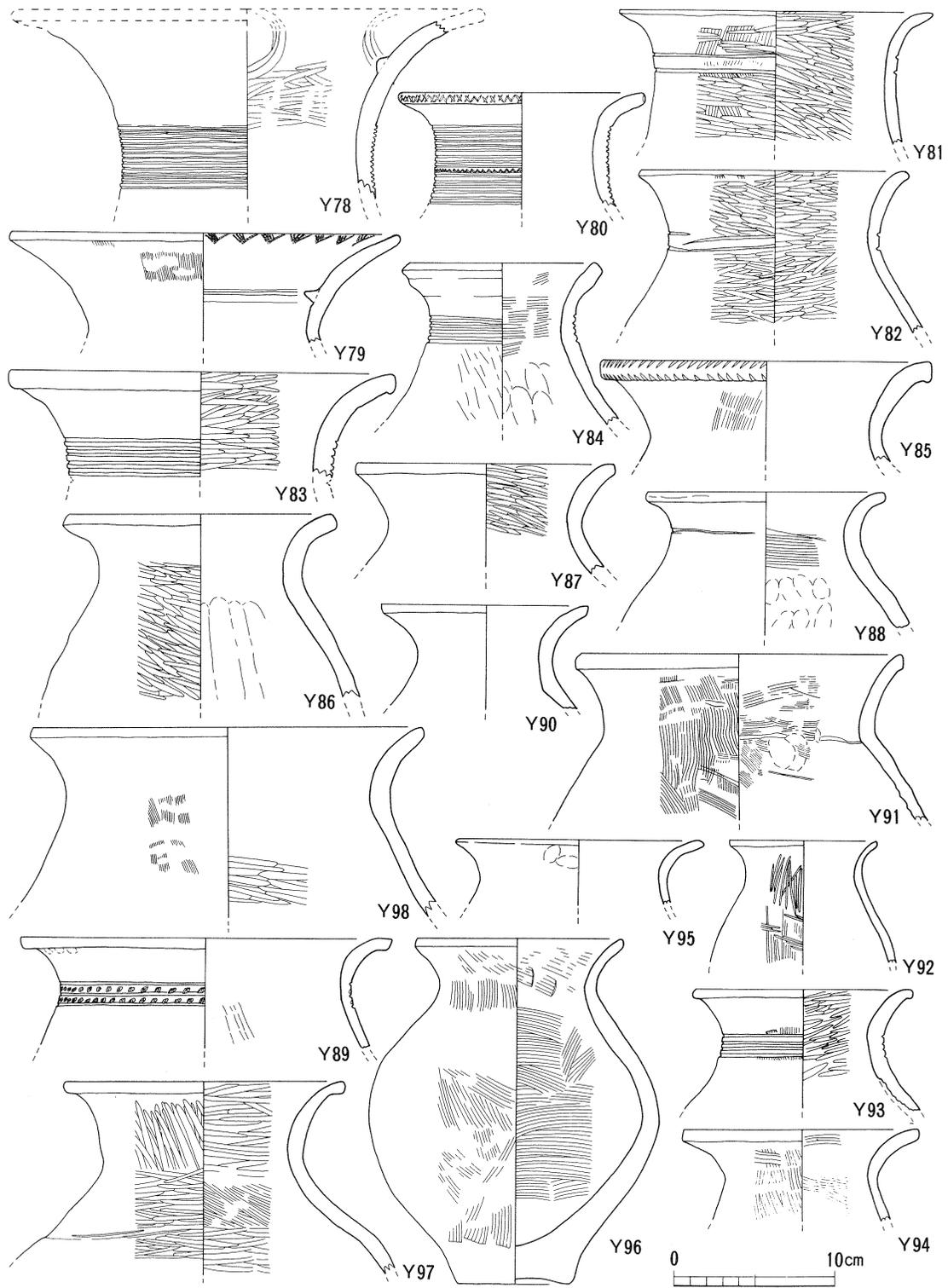
第26図 弥生土器(3) 前期 壺 1:4



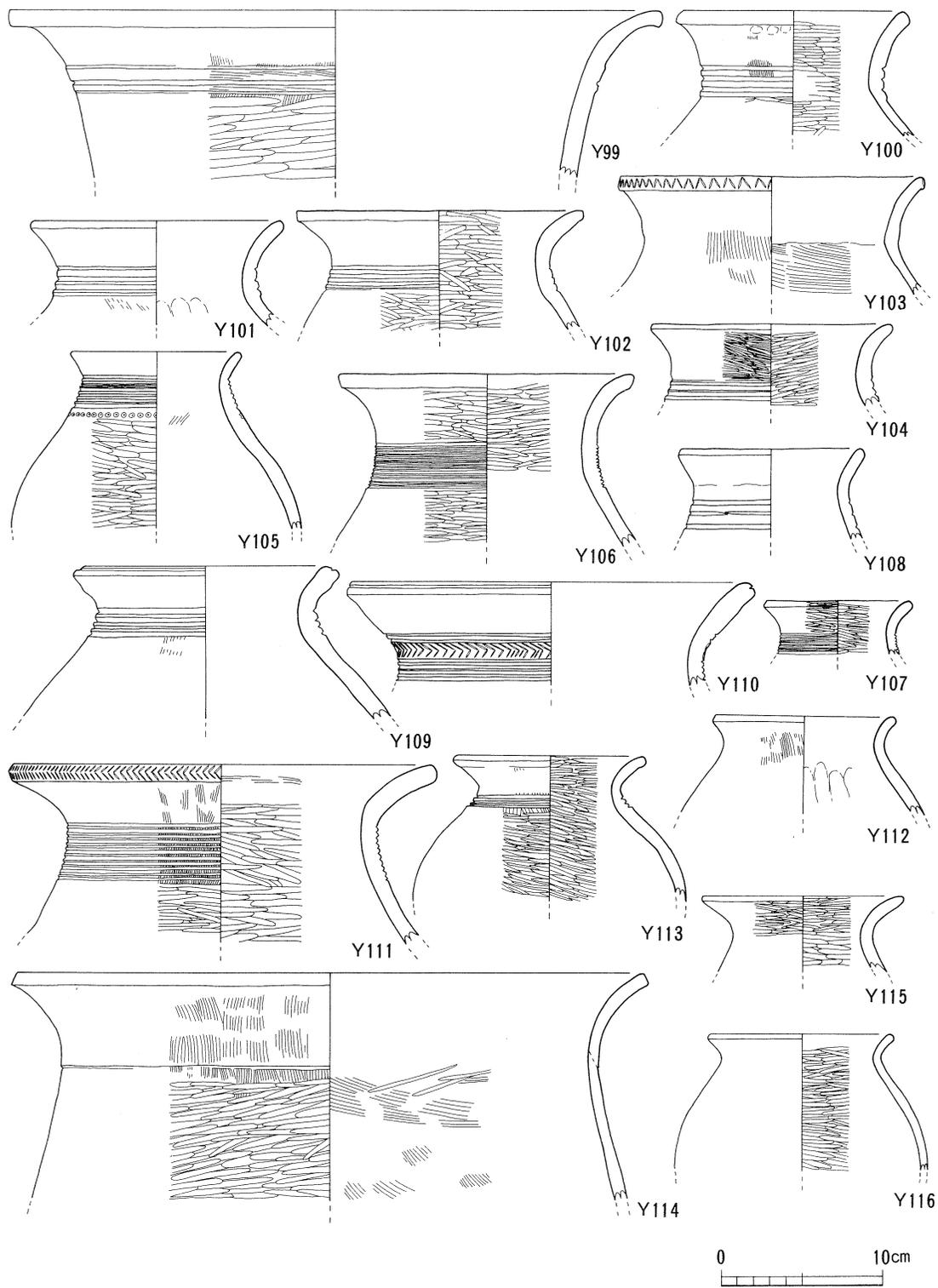
第27图 弥生土器(4) 前期 壺 1:4



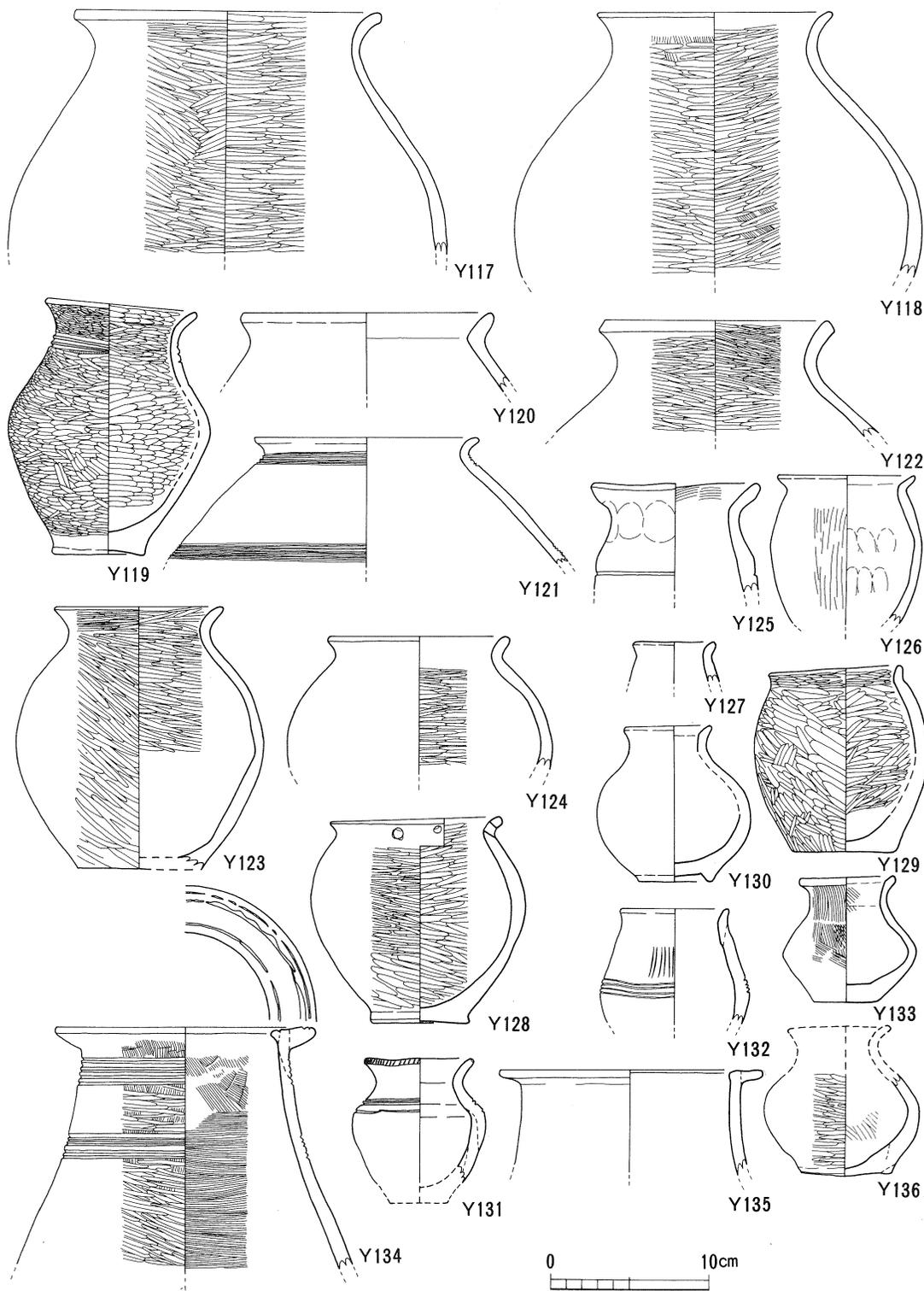
第28图 弥生土器(5) 前期 壺 1:4



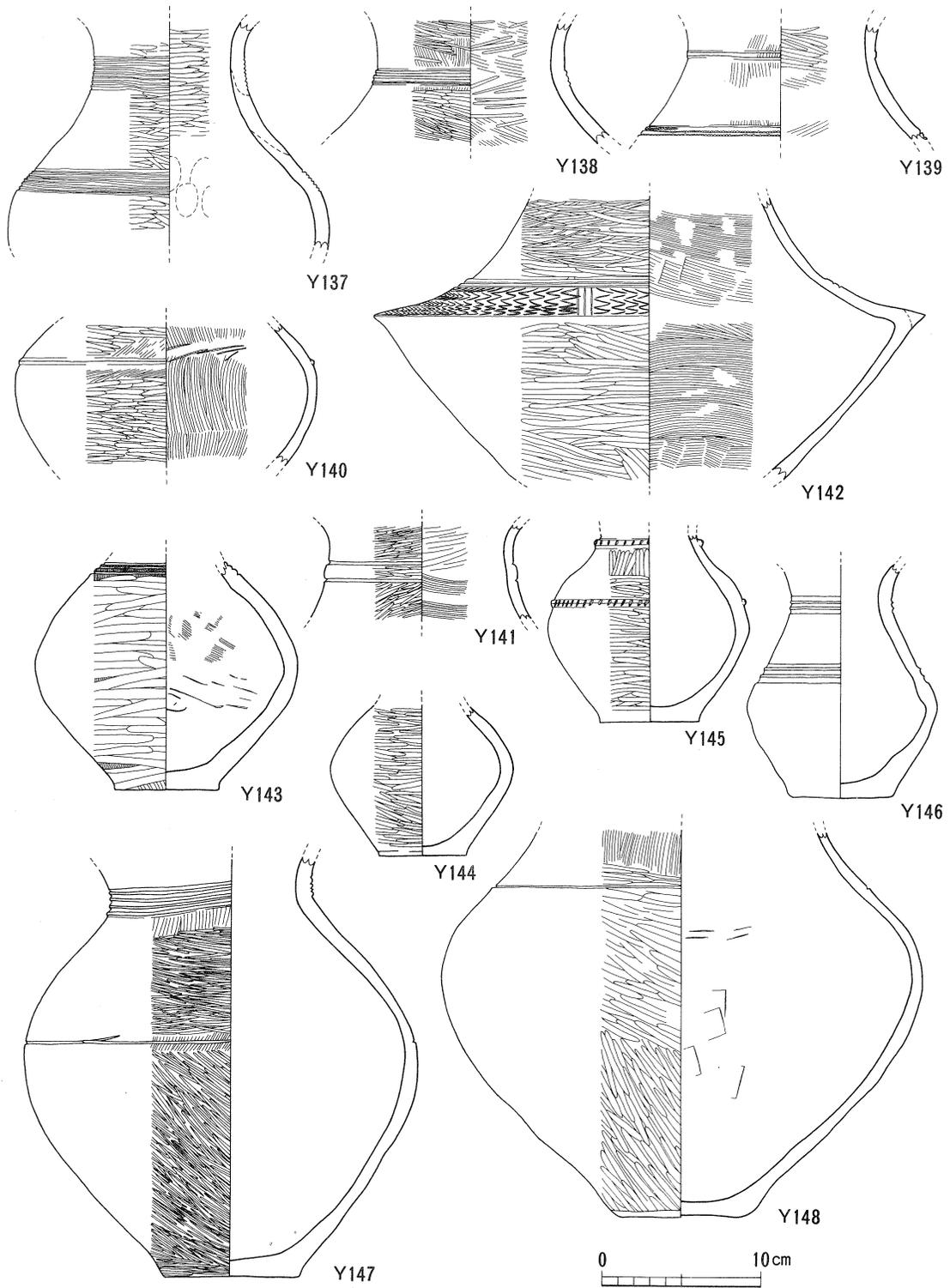
第29图 弥生土器(6) 前期 壺 1:4



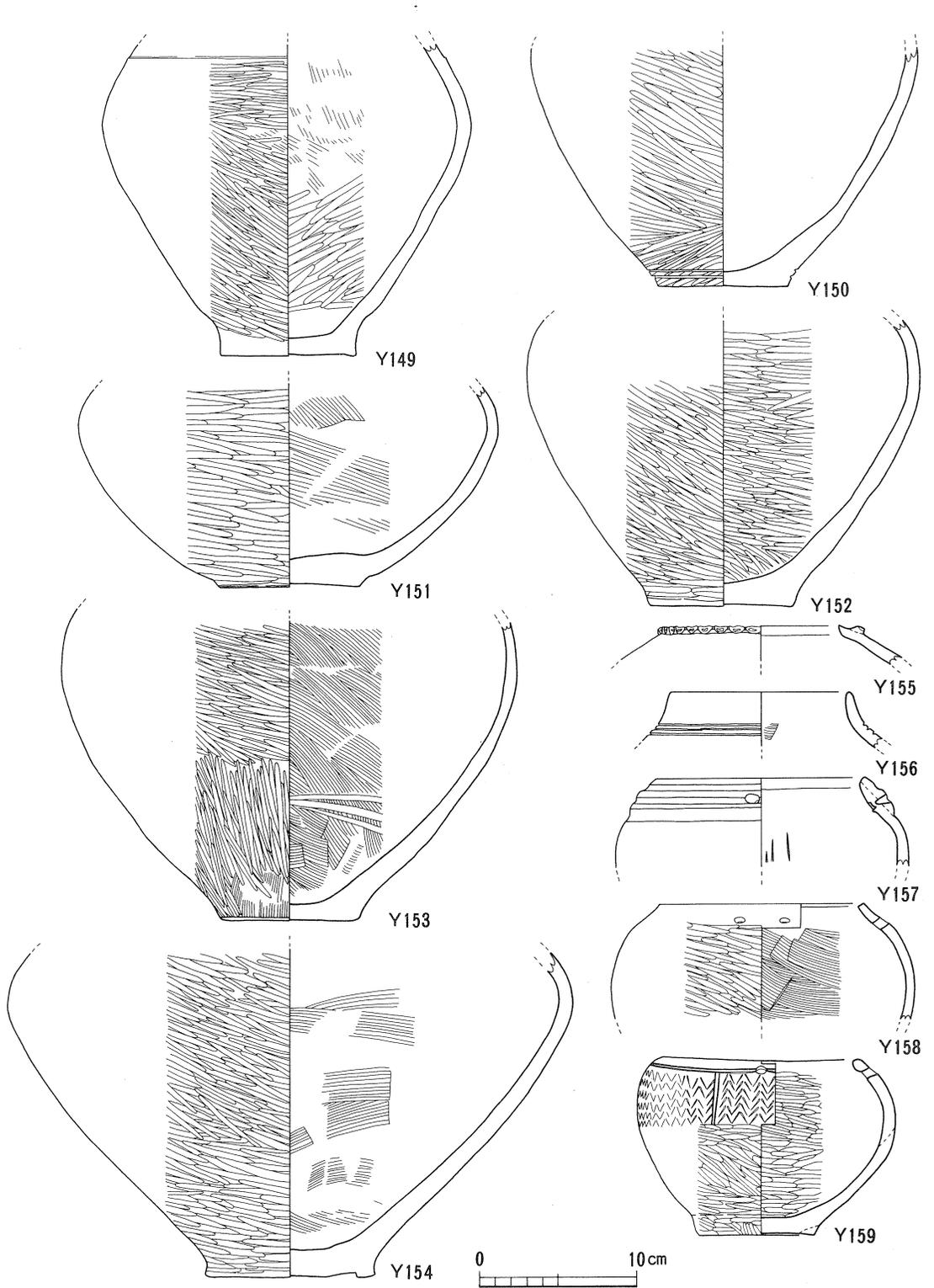
第30图 弥生土器(7) 前期 壺 1:4



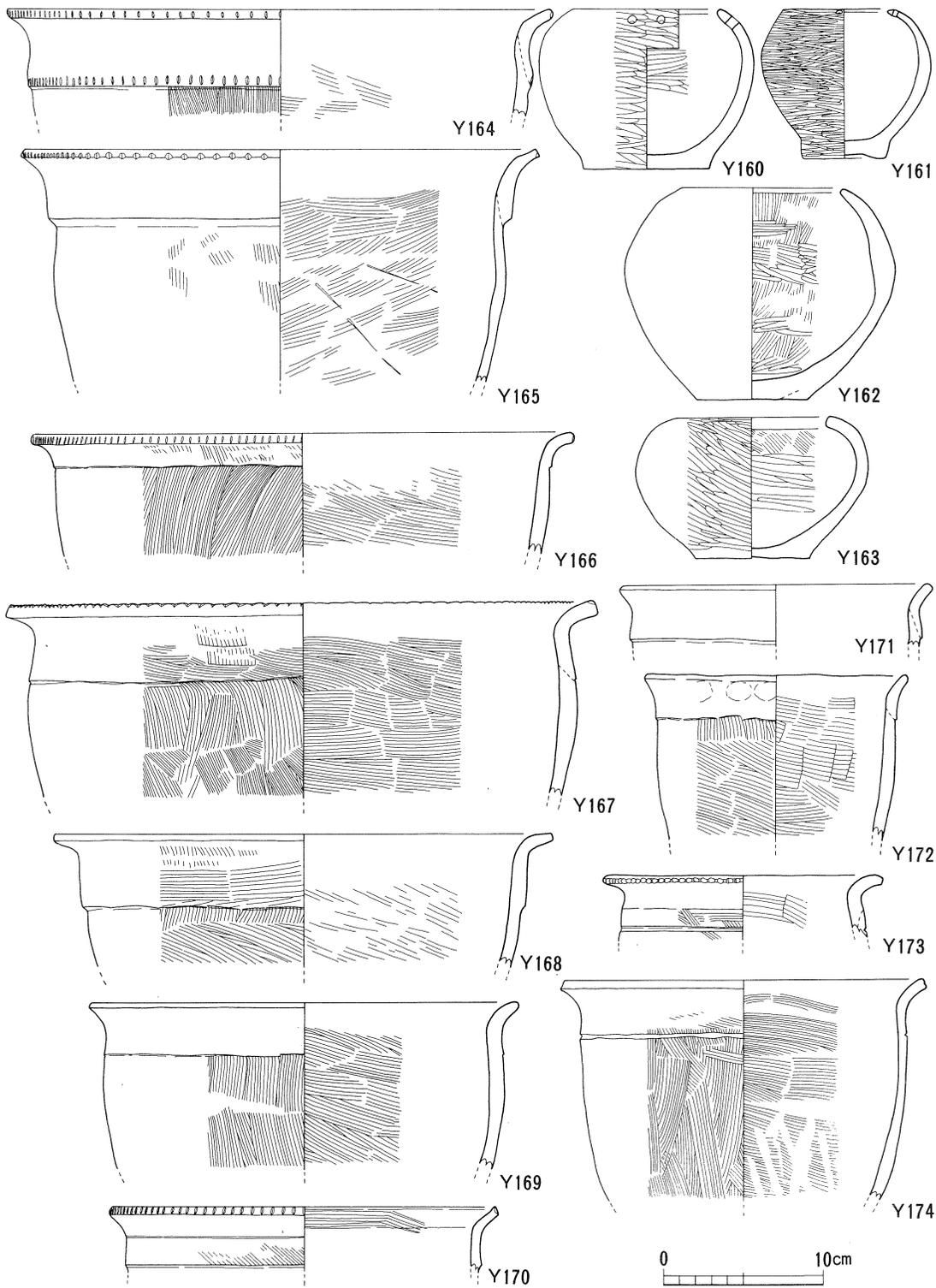
第31图 弥生土器(8)前期 壺 1:4



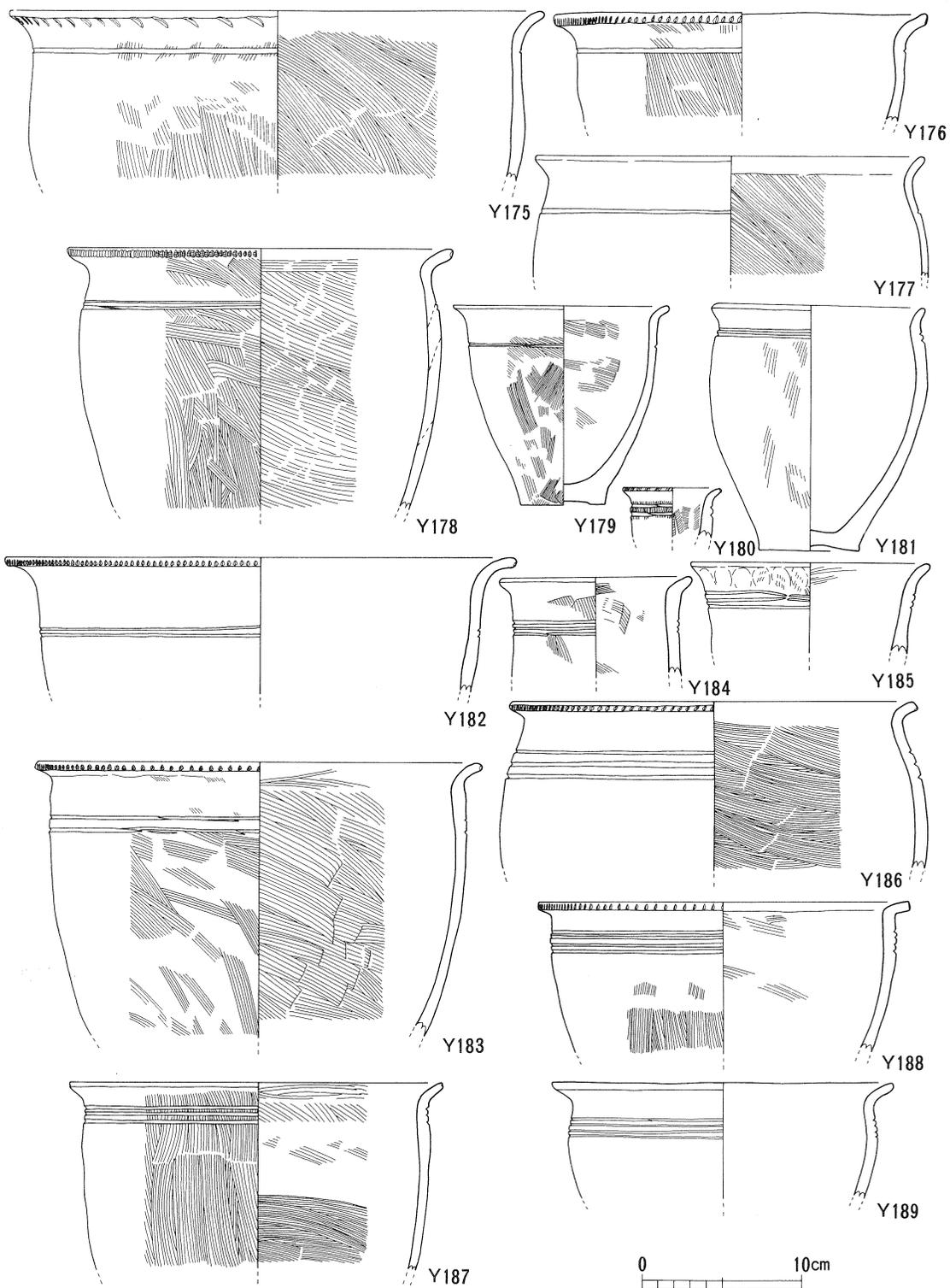
第32図 弥生土器(9)前期壺 1:4



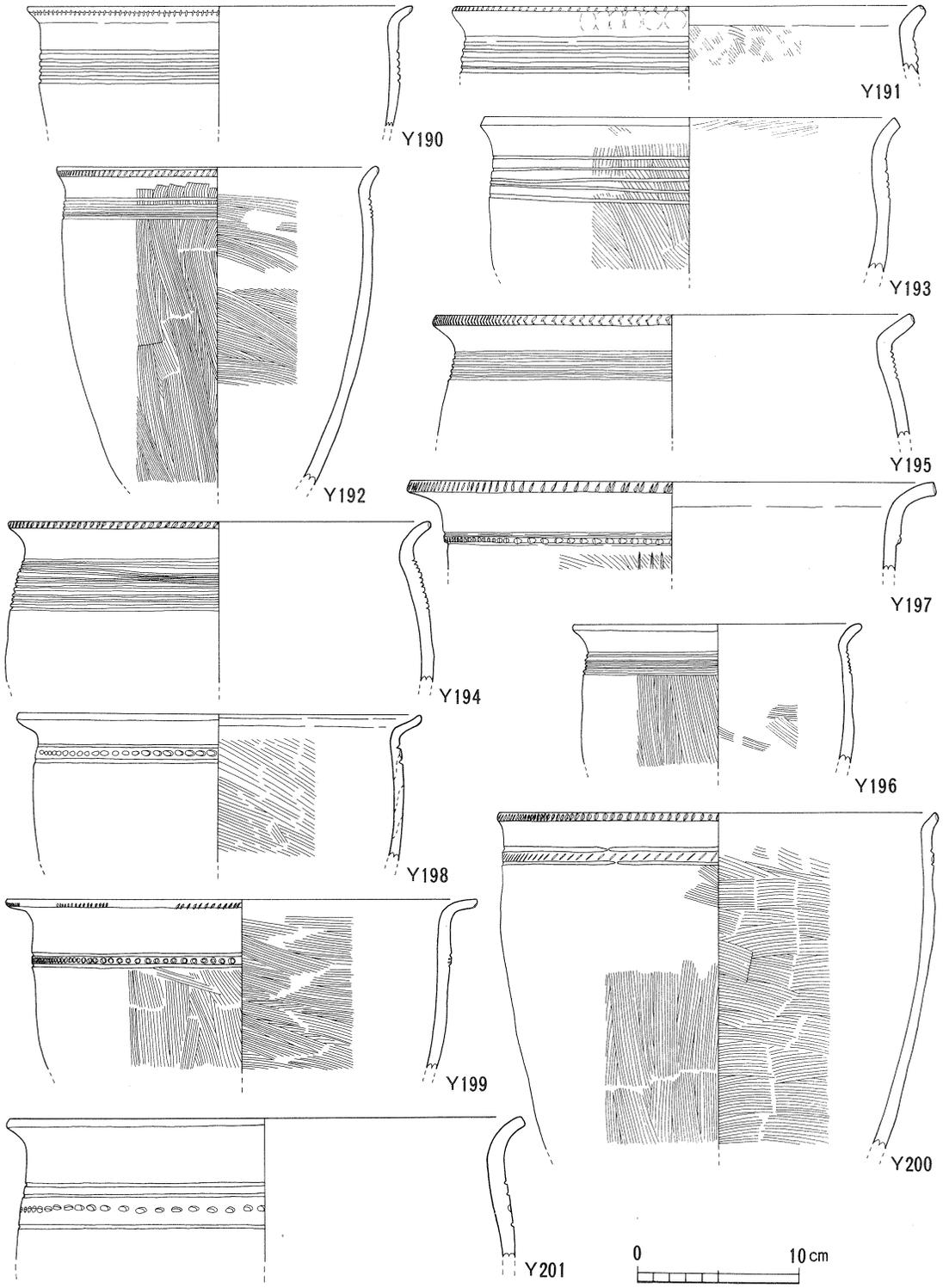
第33図 弥生土器(10) 前期 無頸壺・甕 1:4



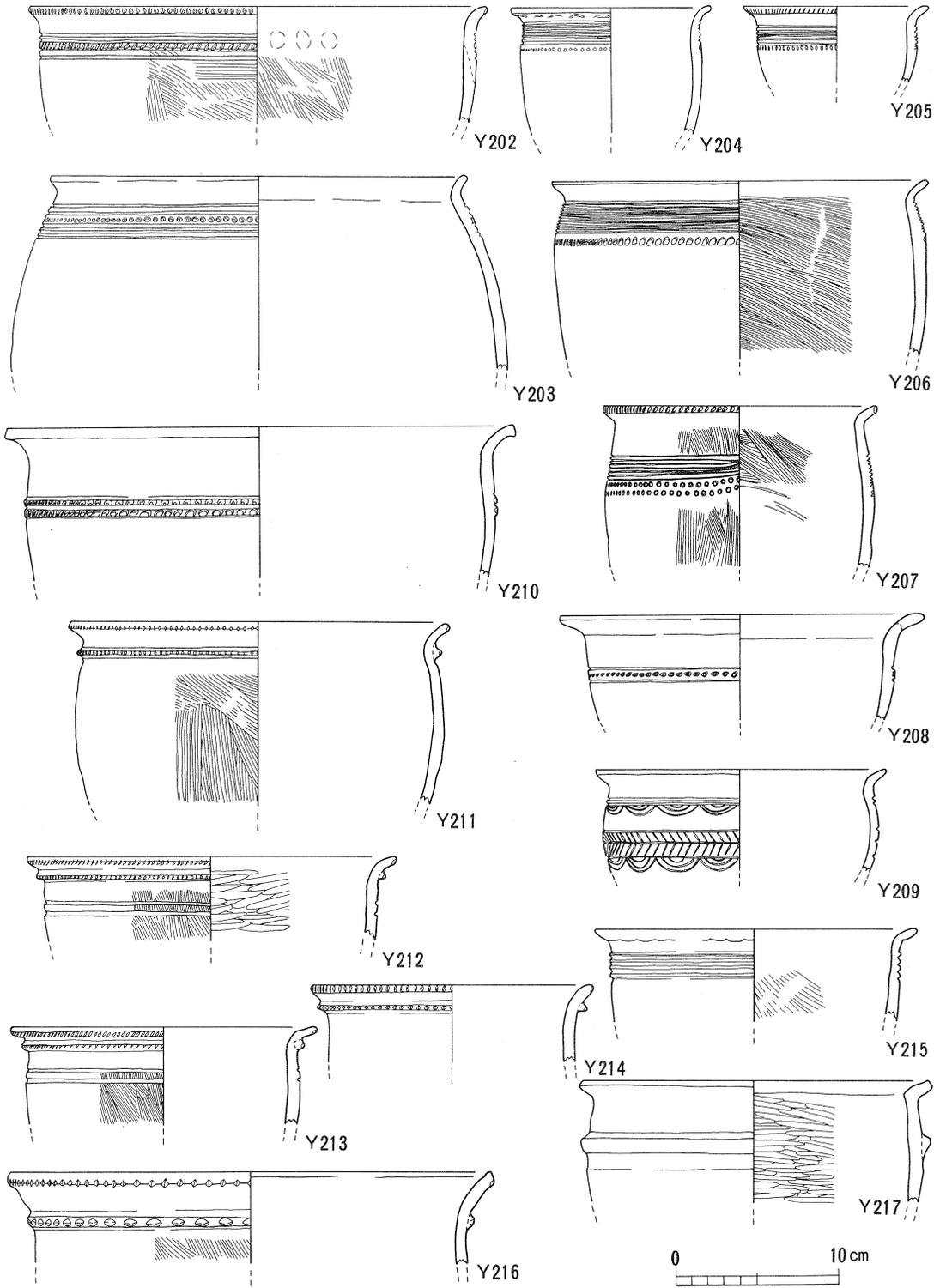
第34図 弥生土器(11) 前期 無頸壺・甕 1:4



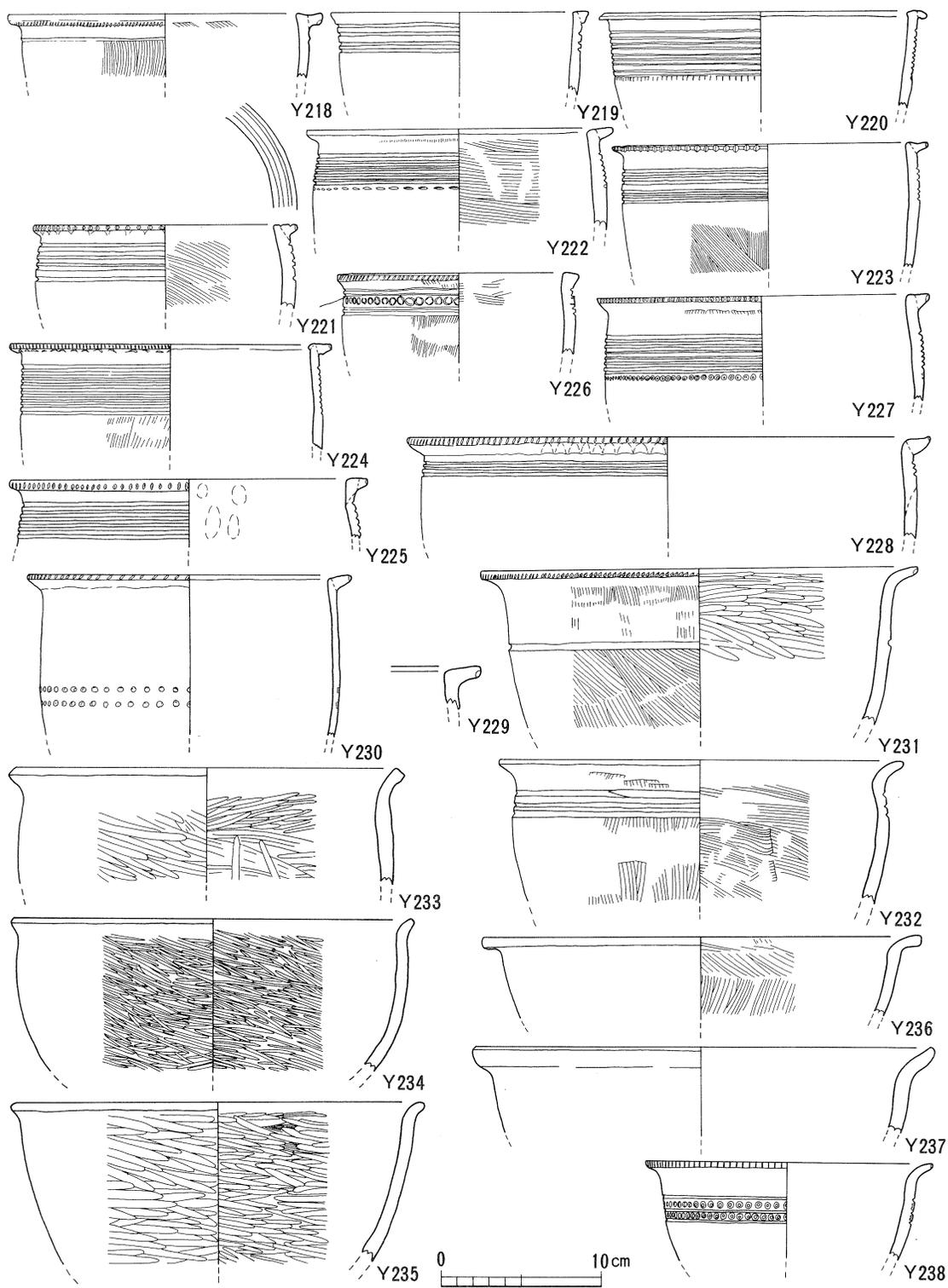
第35図 弥生土器(12) 前期 甕 1:4



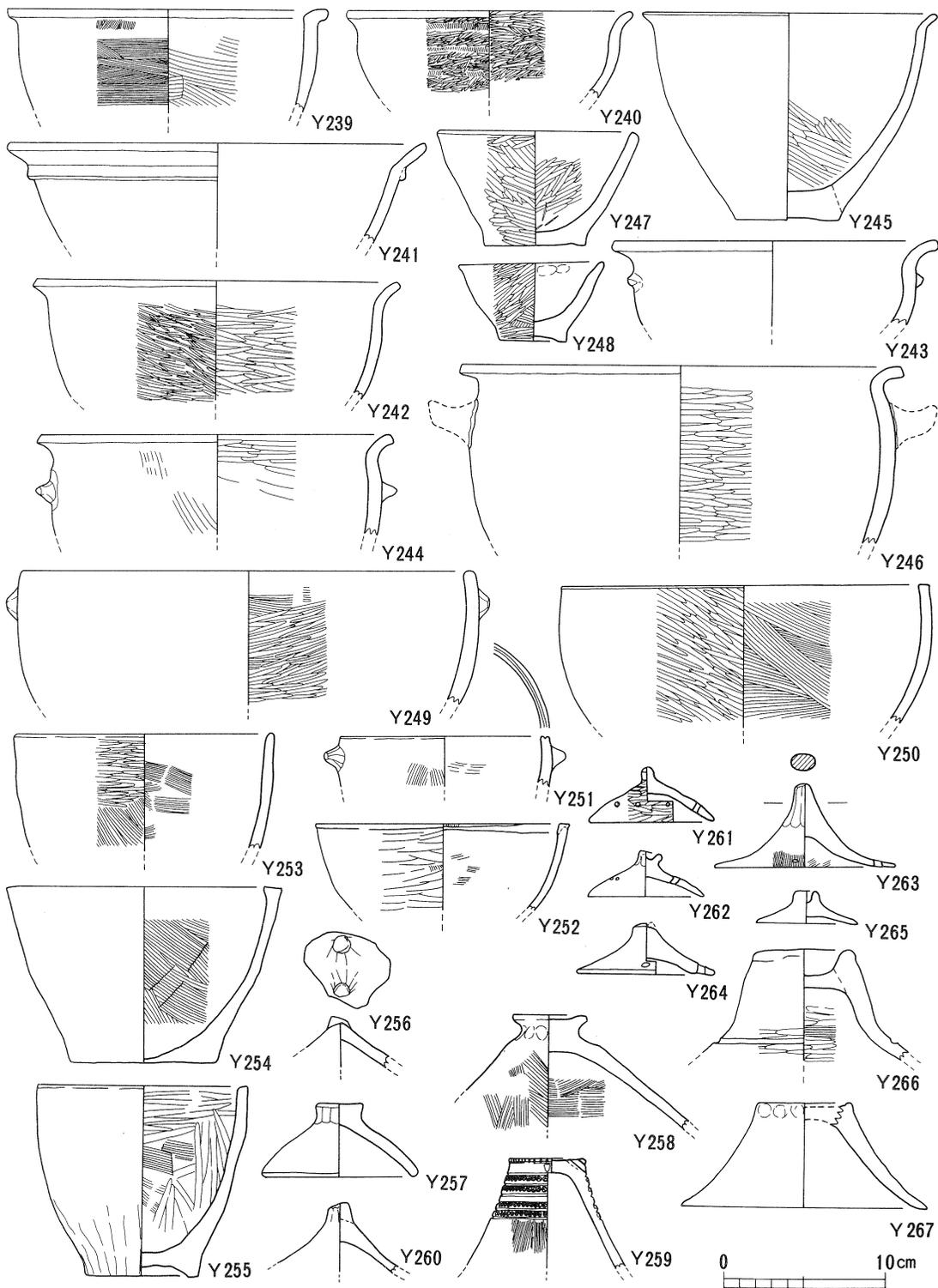
第36图 弥生土器(13) 前期 甕 1:4



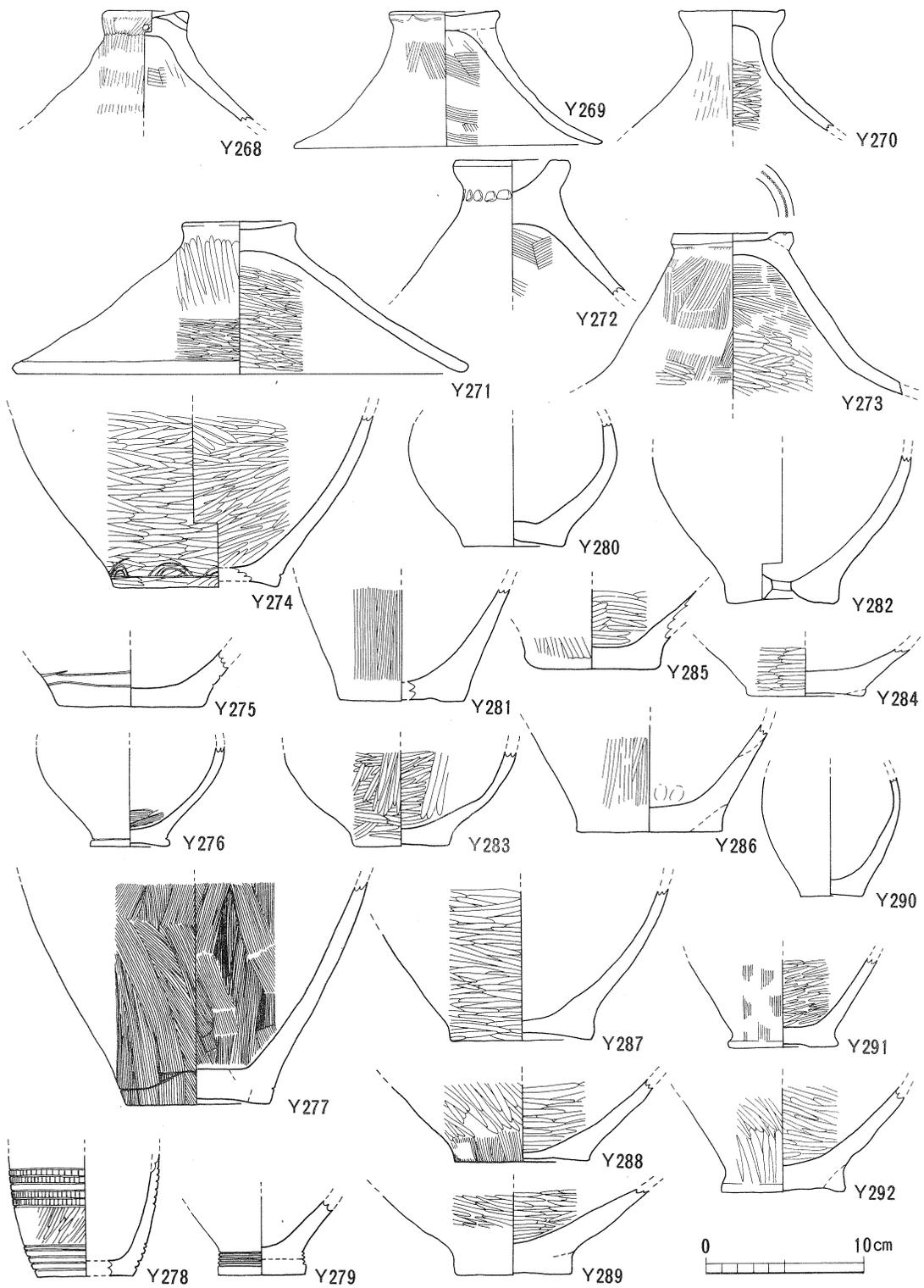
第37图 弥生土器(14) 前期 甕 1:4



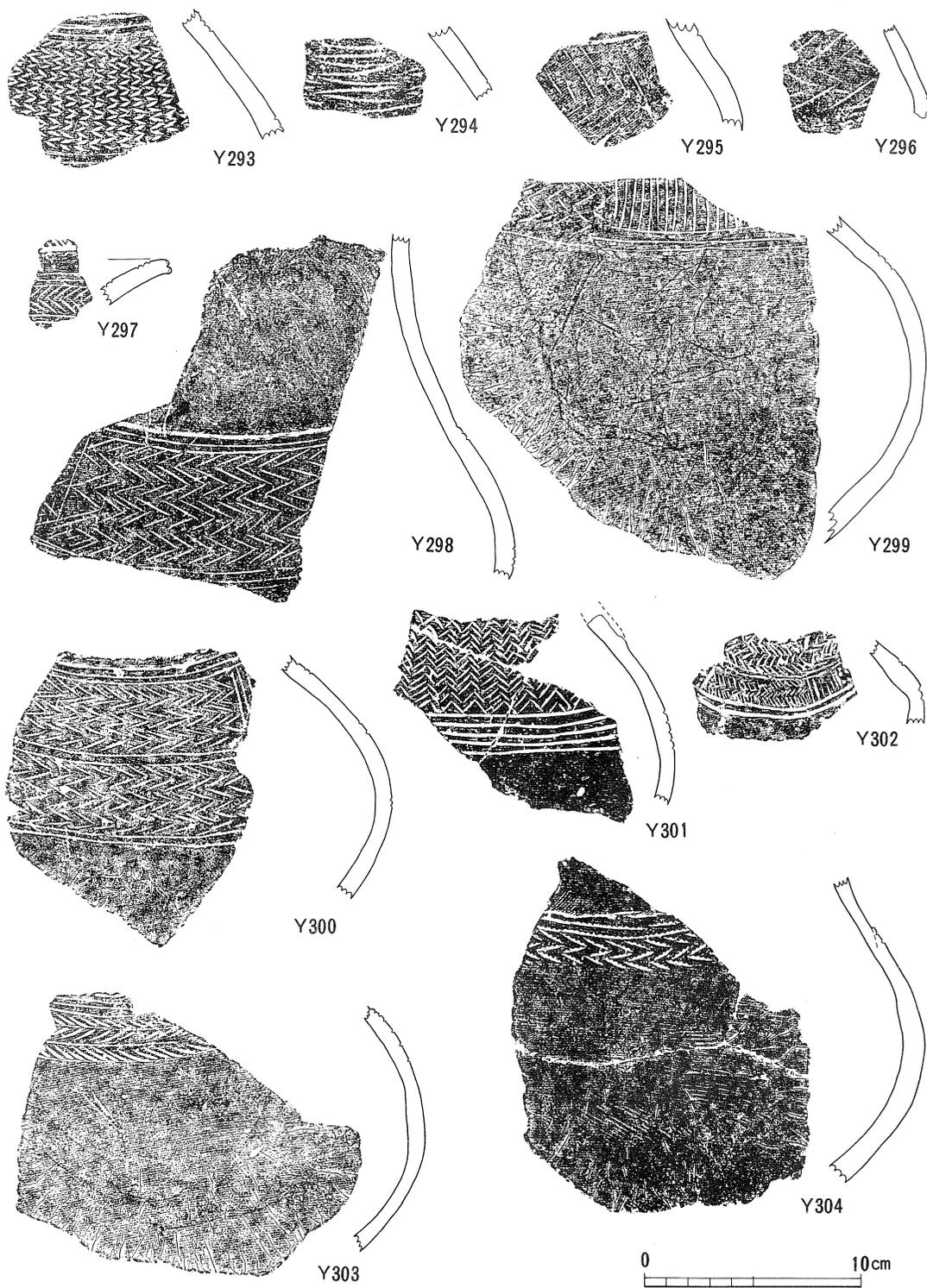
第38図 弥生土器(15) 前期 甕・鉢 1:4



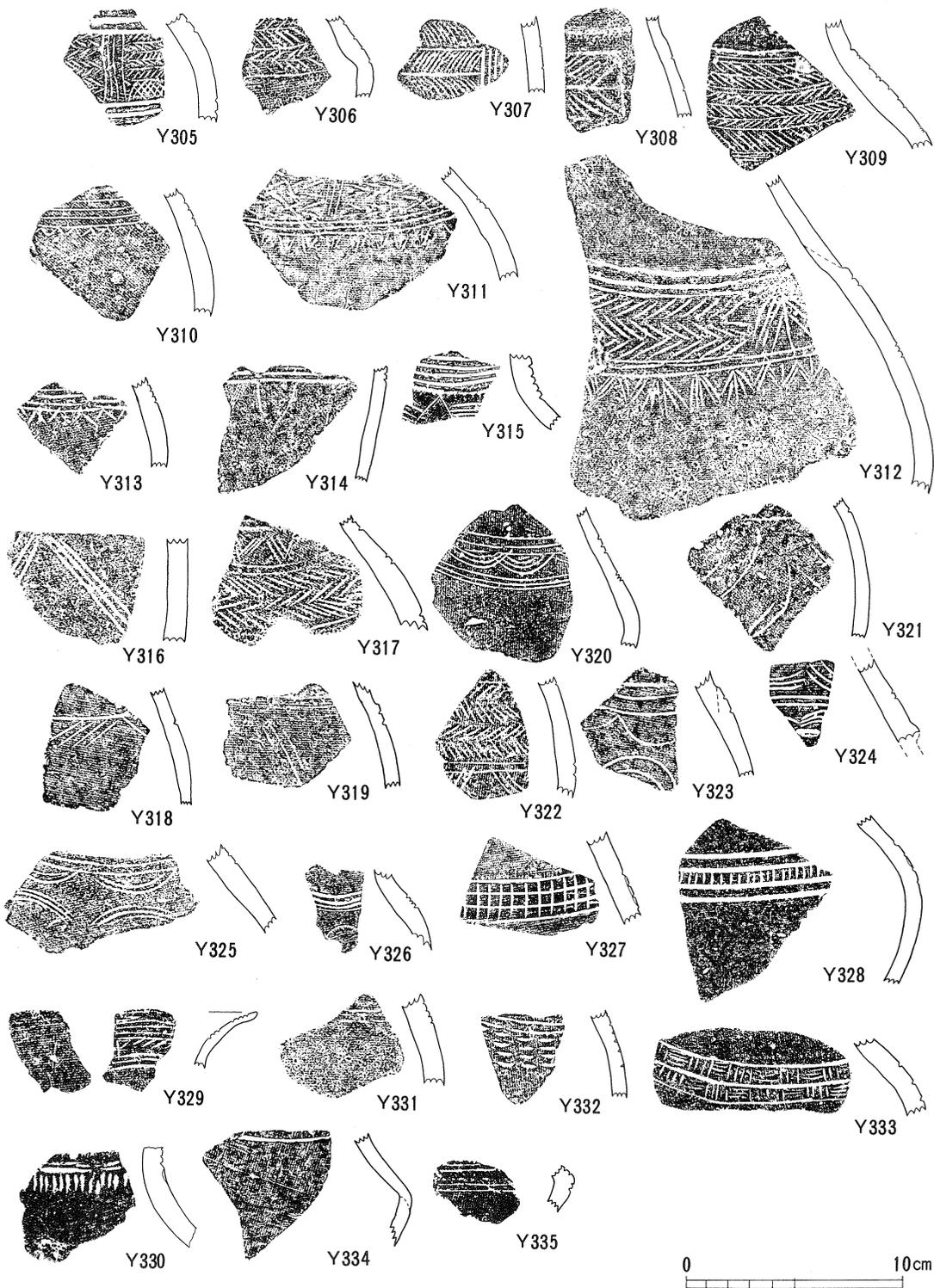
第39図 弥生土器(16) 前期 鉢・蓋 1:4



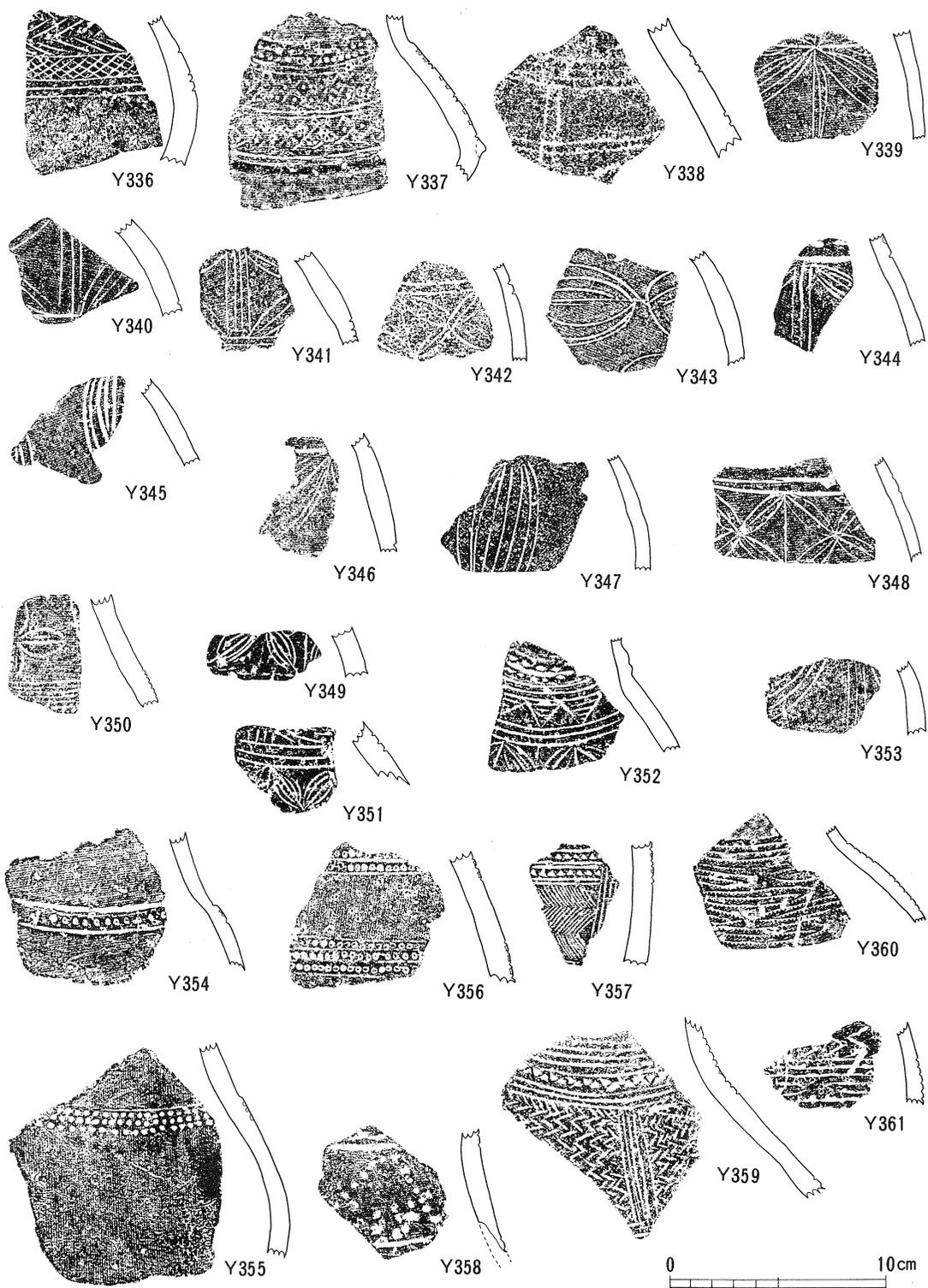
第40図 弥生土器(17) 前期 蓋・底部 1:4



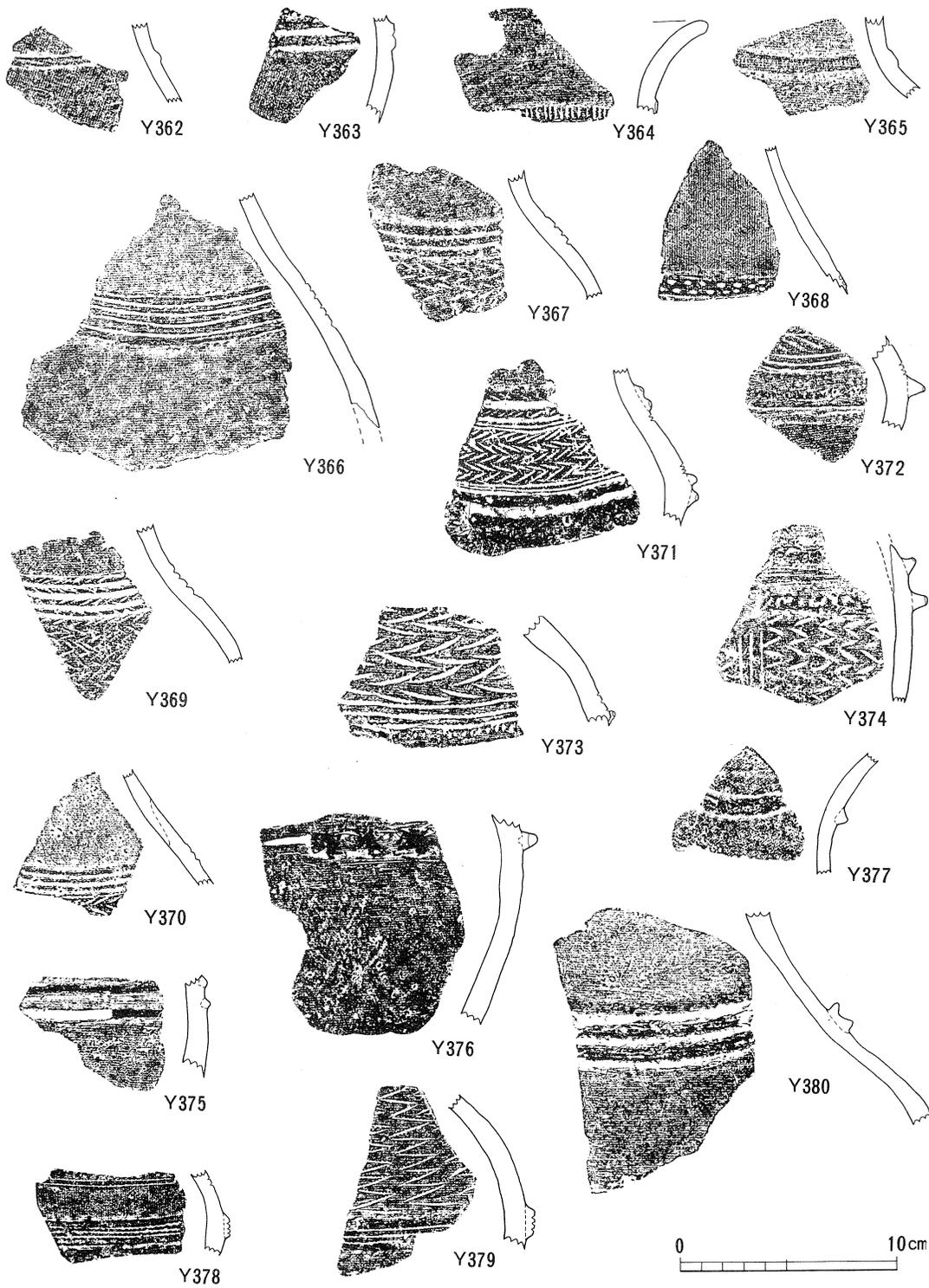
第41图 弥生土器(18) 前期 壺拓影 1:3



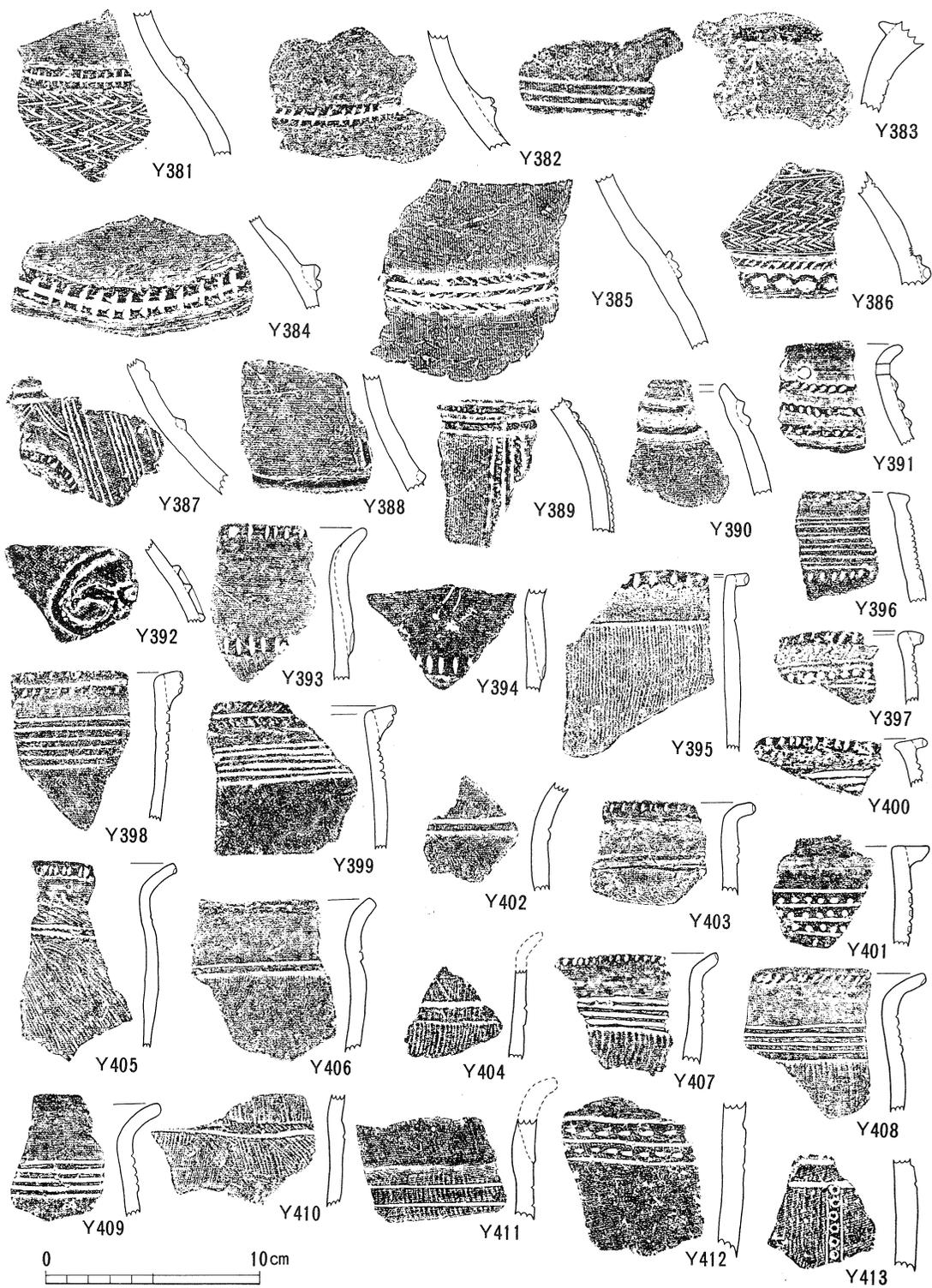
第42图 弥生土器(19) 前期 壺拓影 1:3



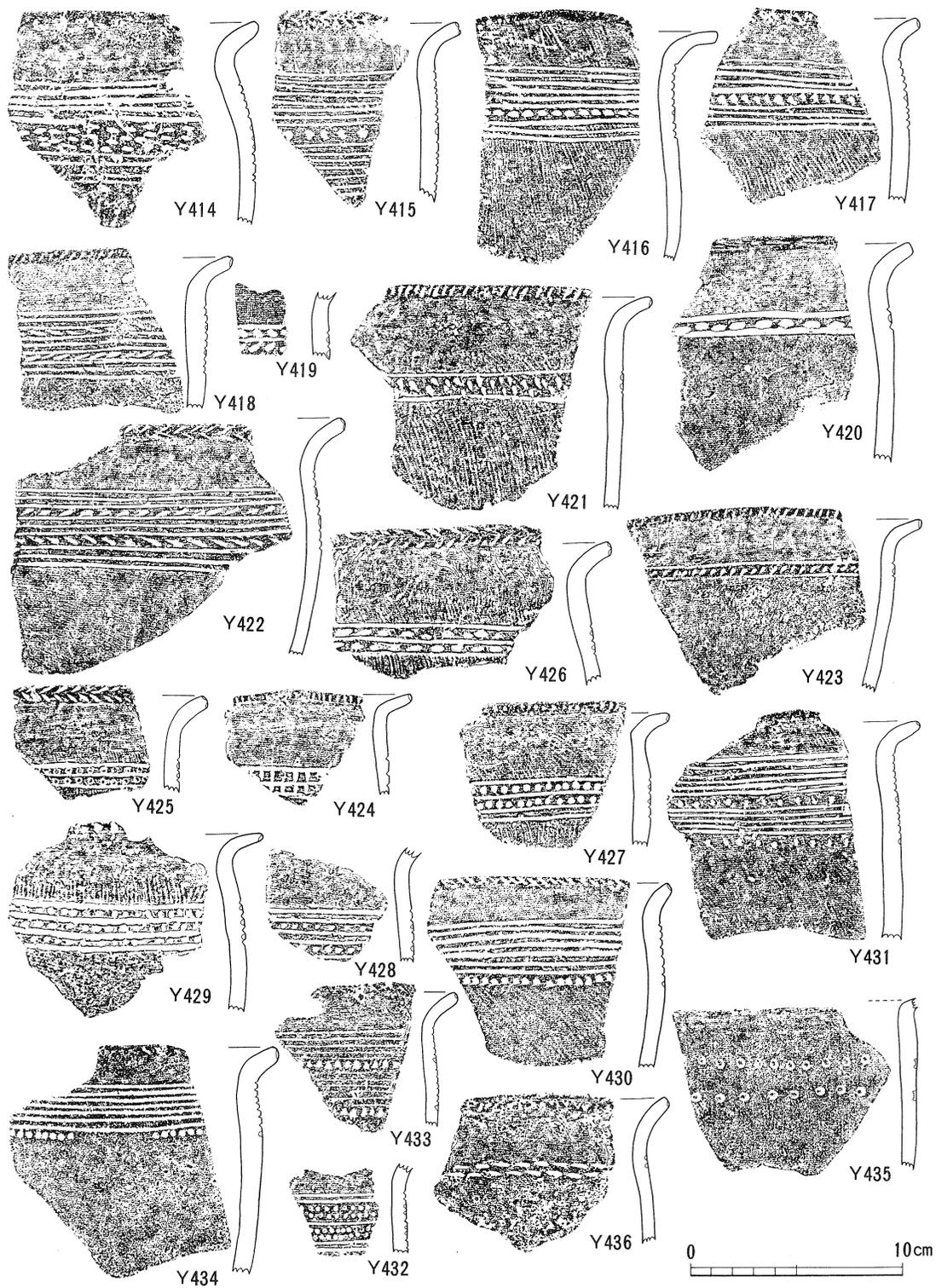
第43图 弥生土器(20) 前期 壺拓影 1:3



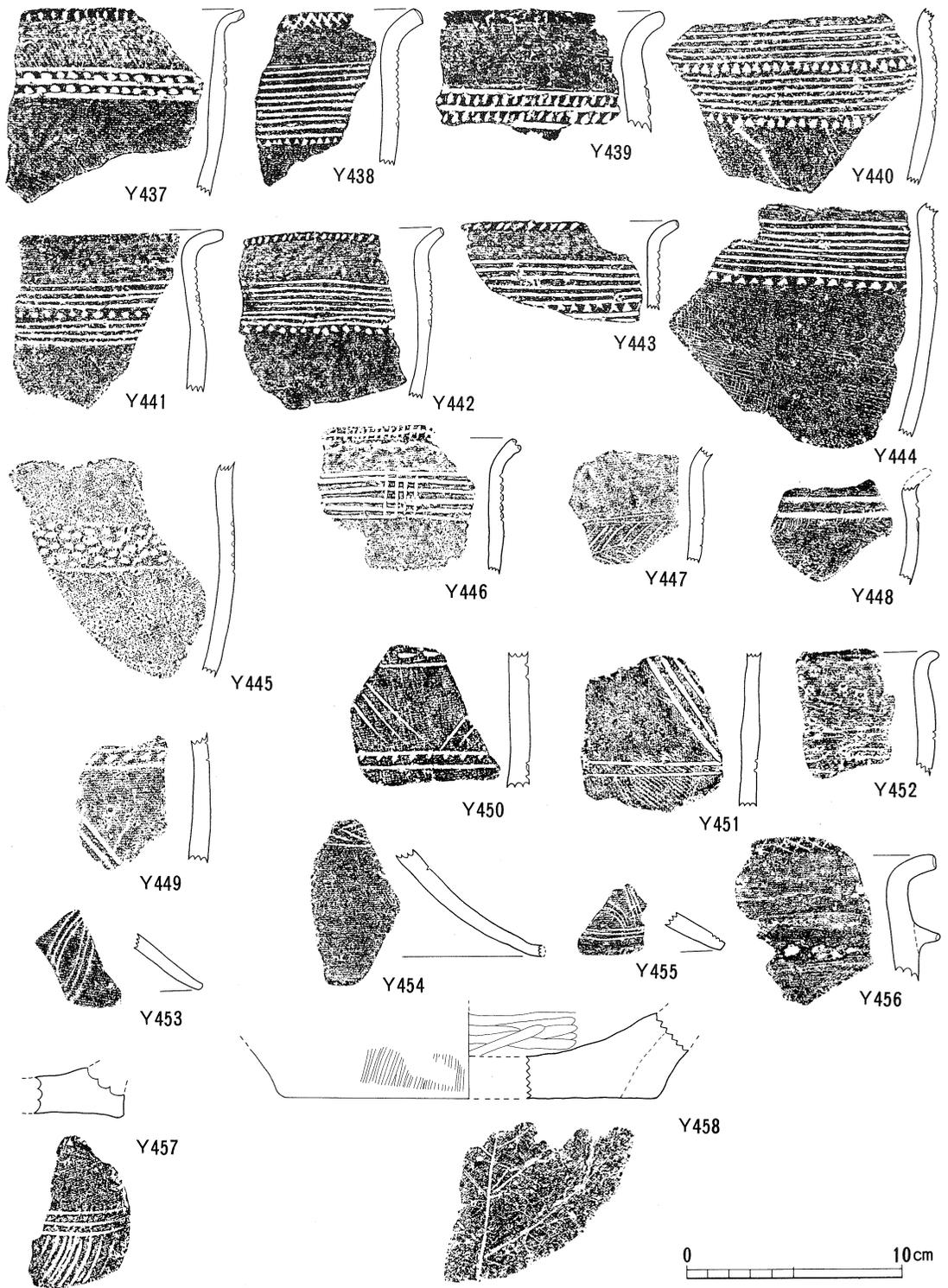
第44图 弥生土器(21) 前期 壺拓影 1:3



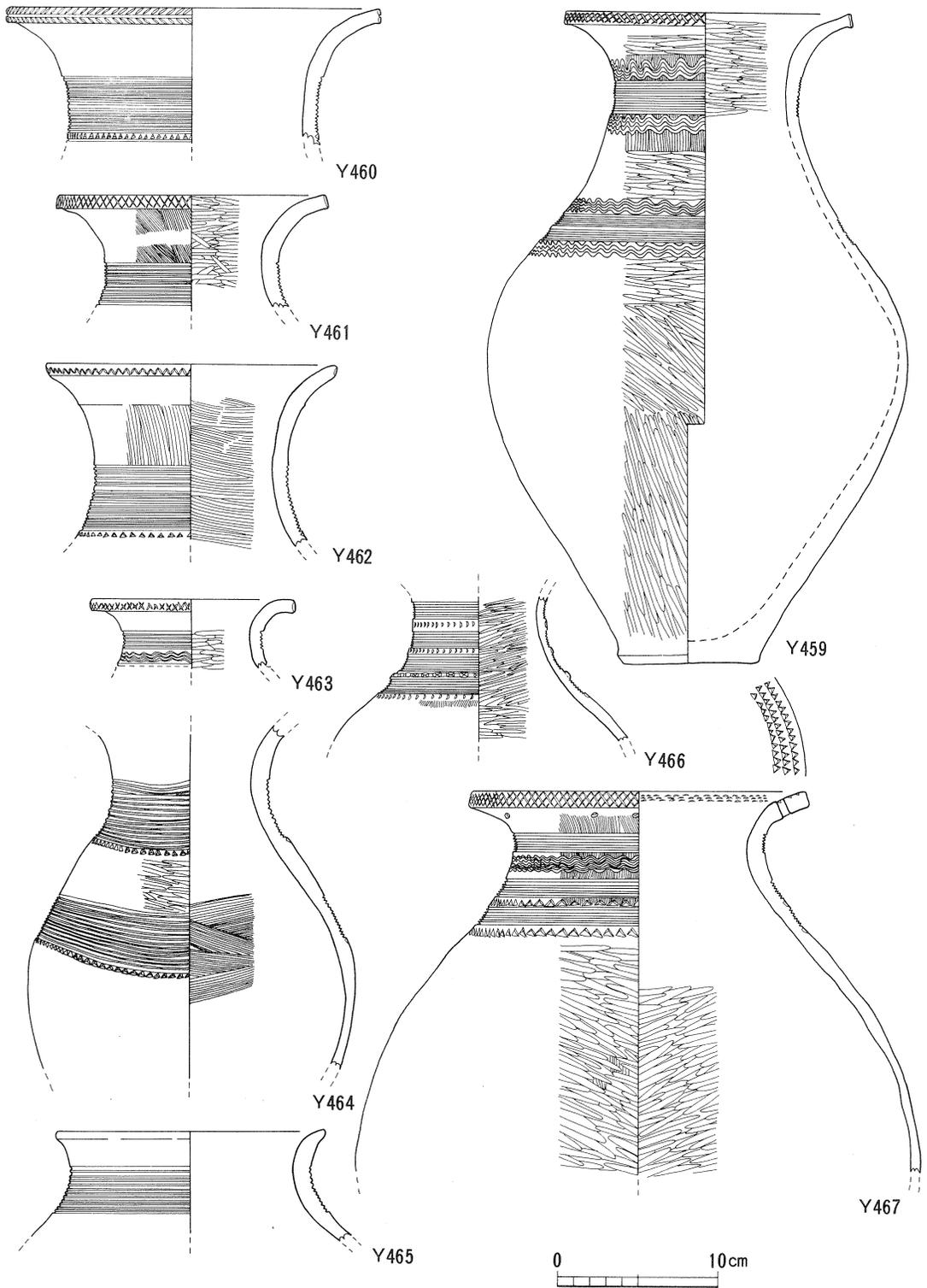
第45図 弥生土器(22) 前期 壺・無頸壺・甕拓影 1:3



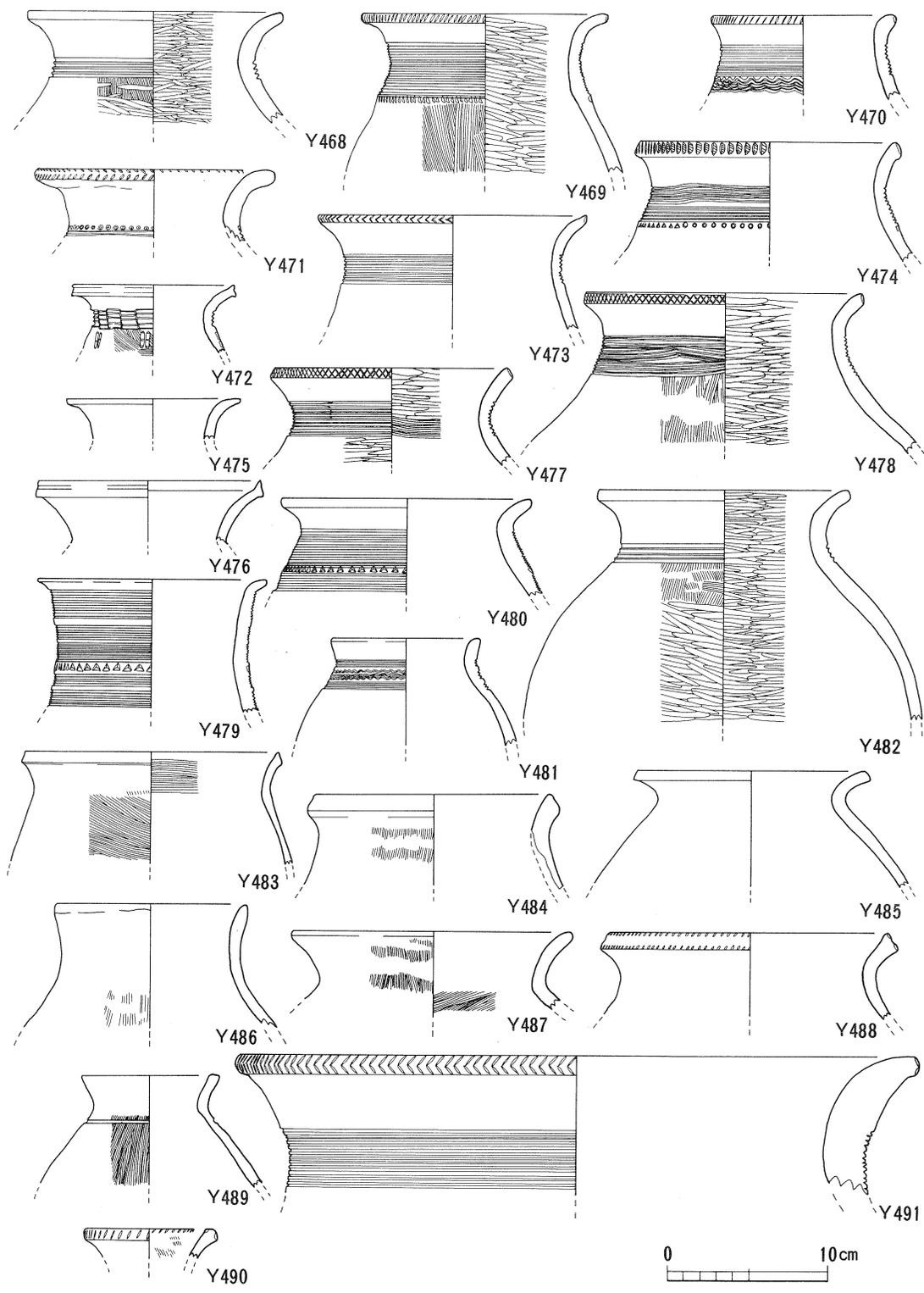
第46図 弥生土器(23) 前期 甕拓影 1:3



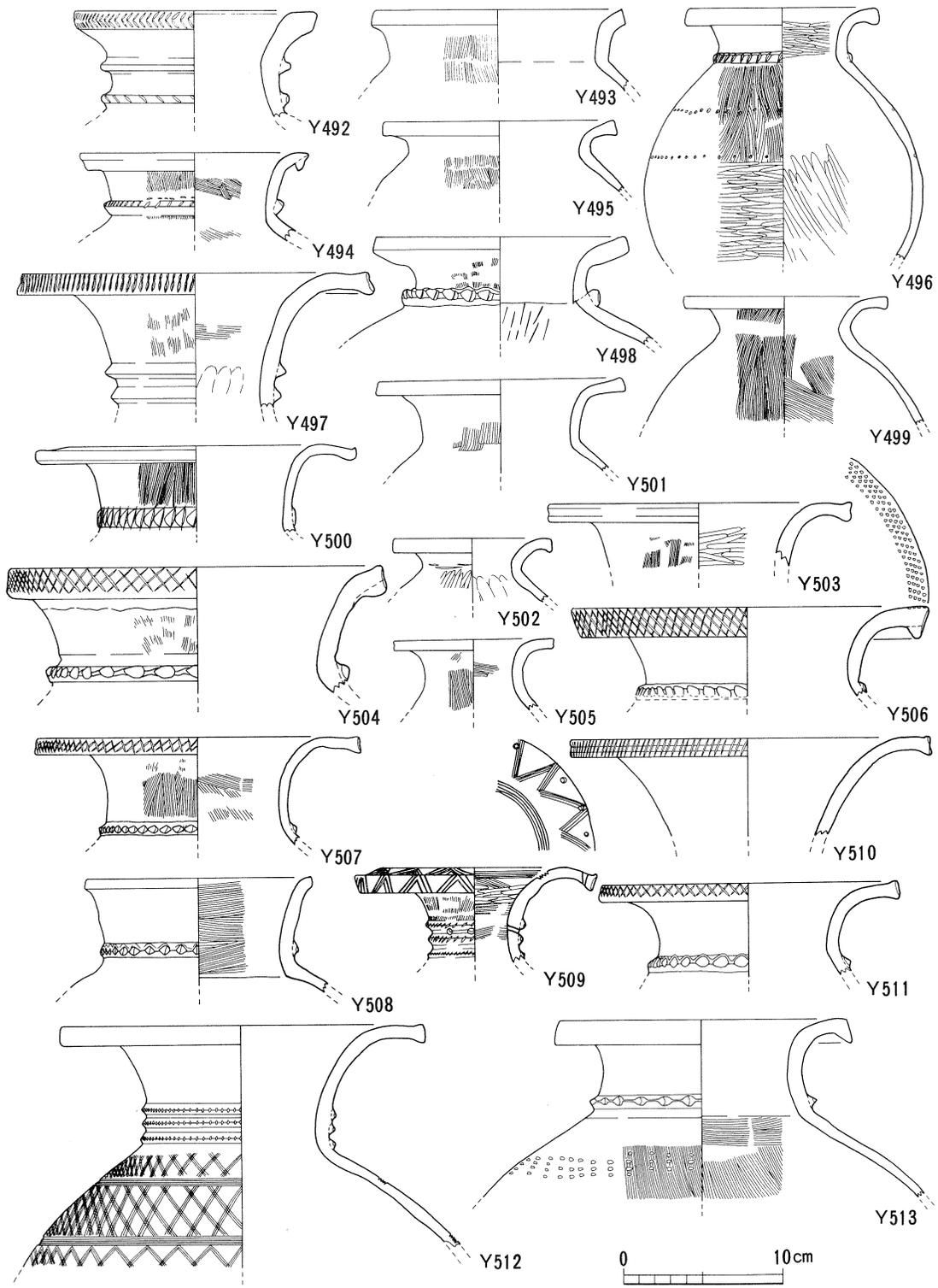
第47図 弥生土器(24) 前期 甕・蓋・底部拓影 1:3



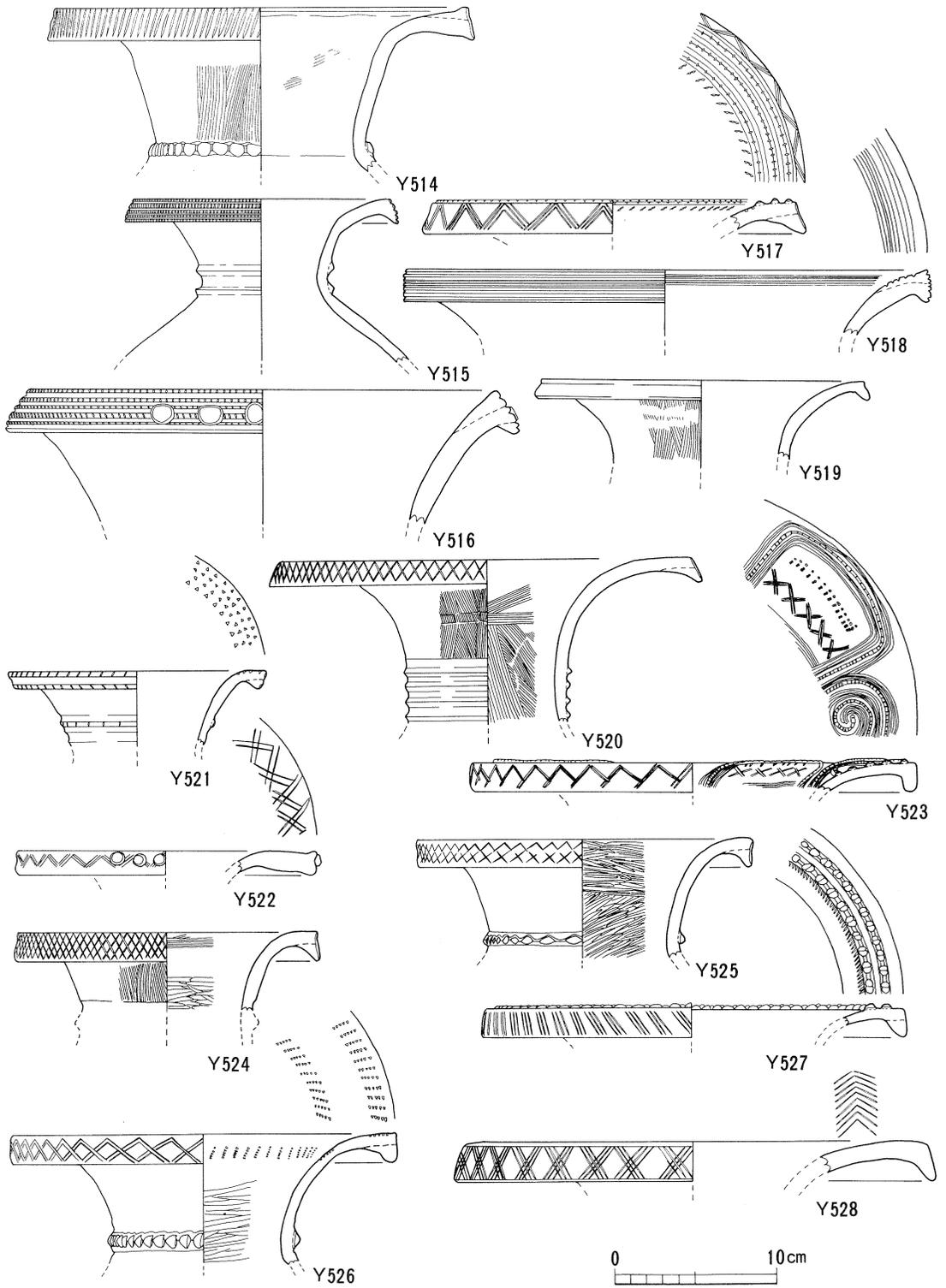
第48图 弥生土器(25) 中期 壺 1:4



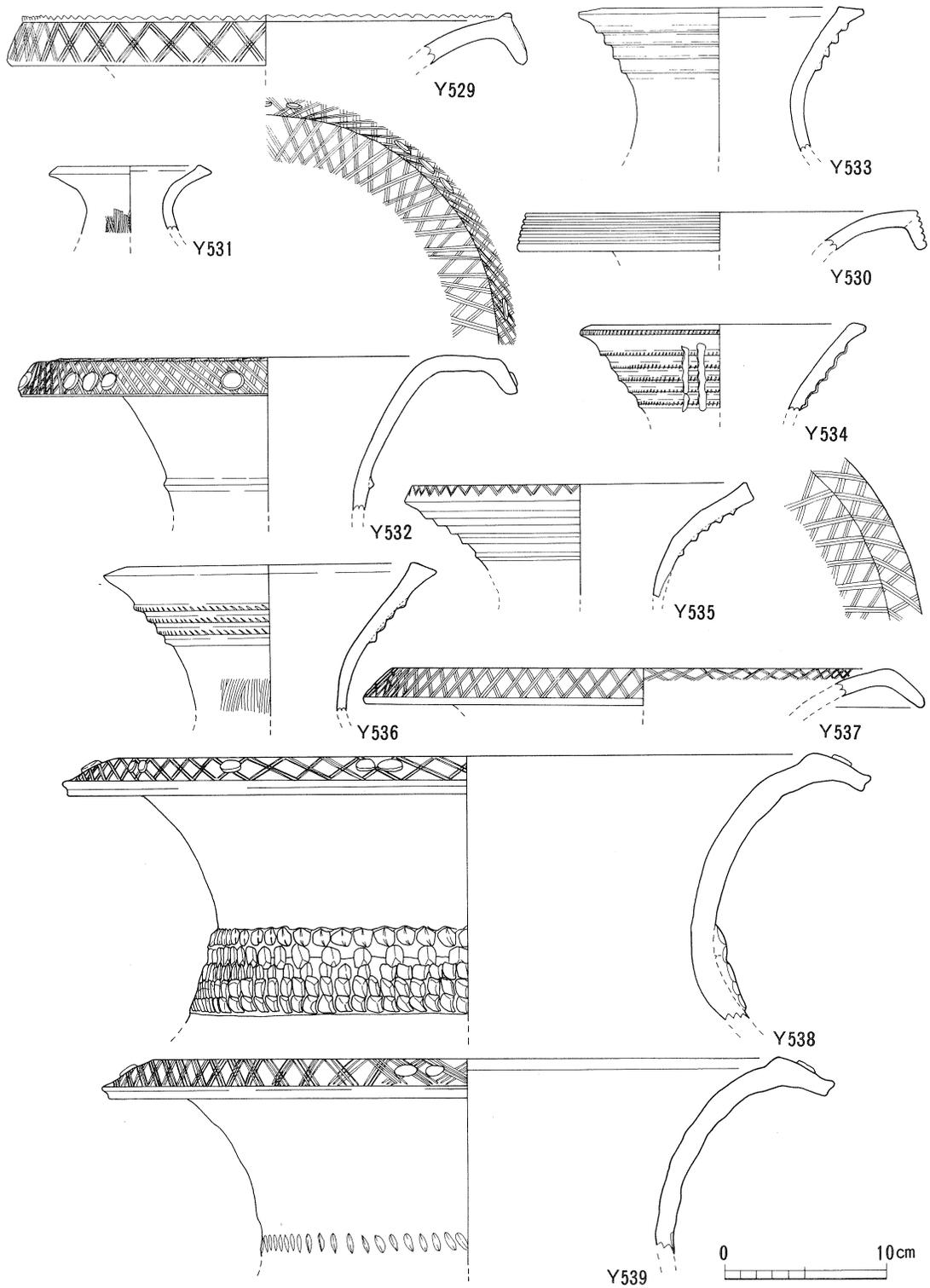
第49图 弥生土器(26) 中期 壺 1:4



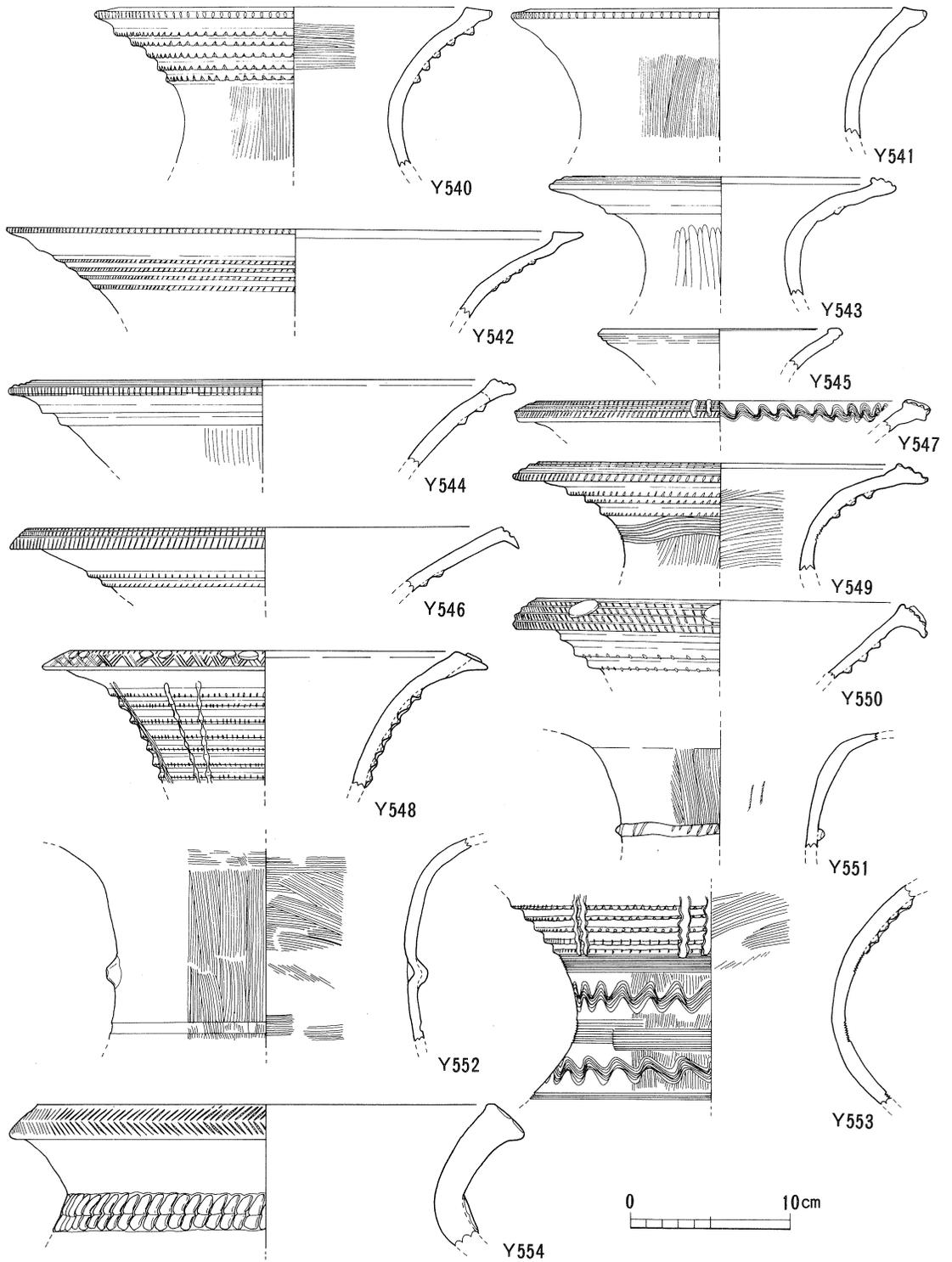
第50图 弥生土器(27) 中期 壺 1:4



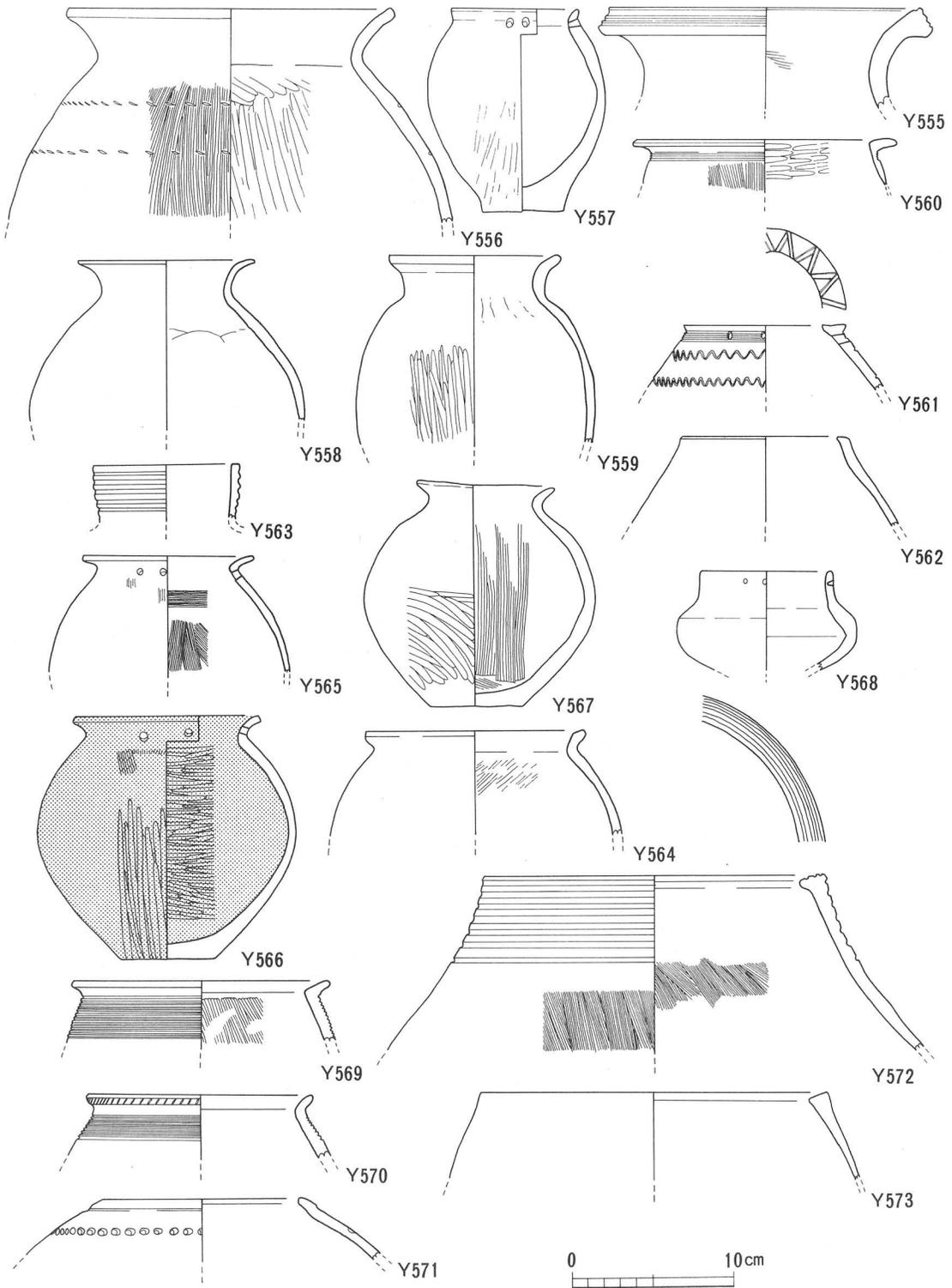
第51图 弥生土器(28) 中期 壺 1:4



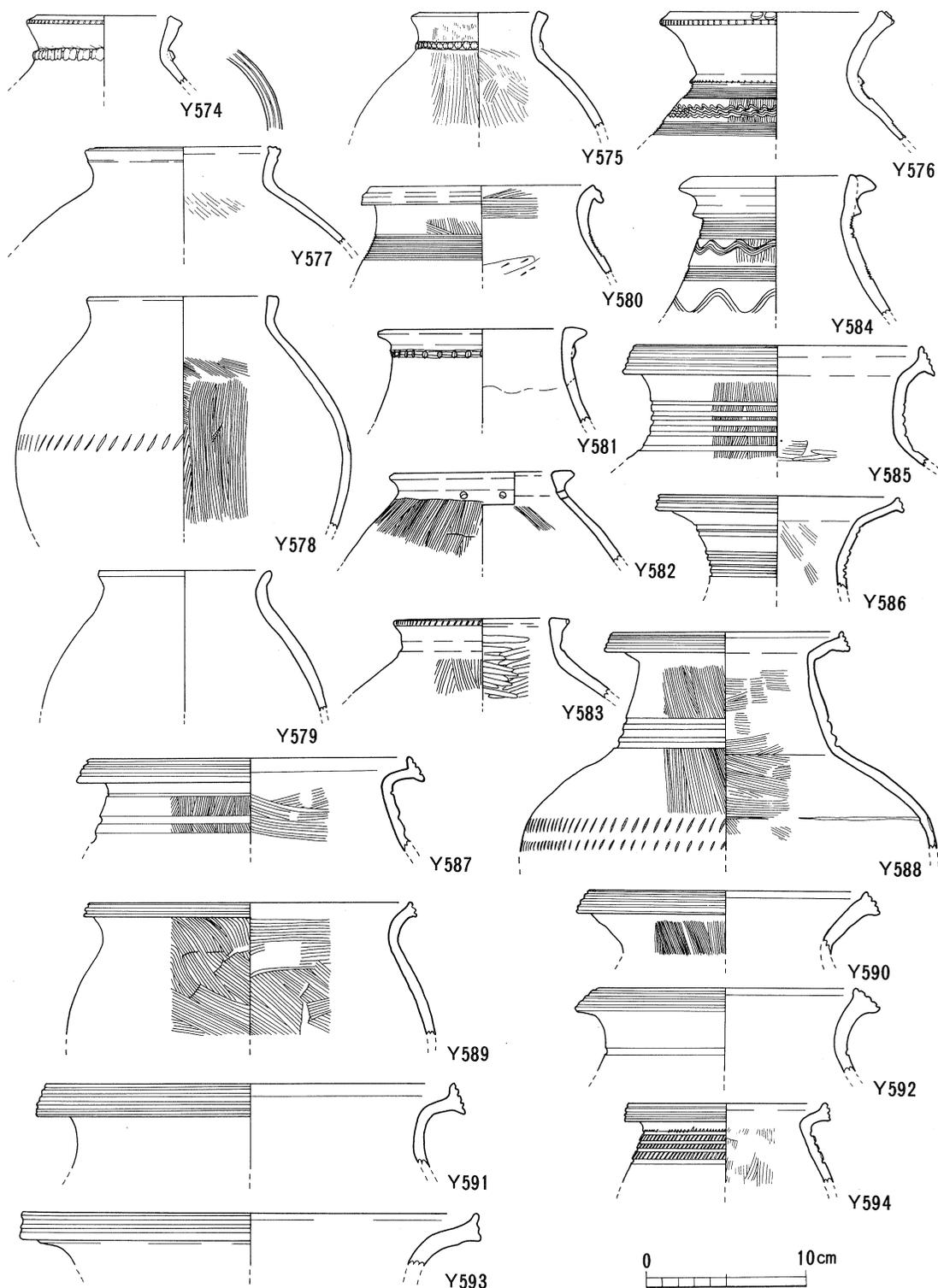
第52図 弥生土器(29) 中期 壺 1:4



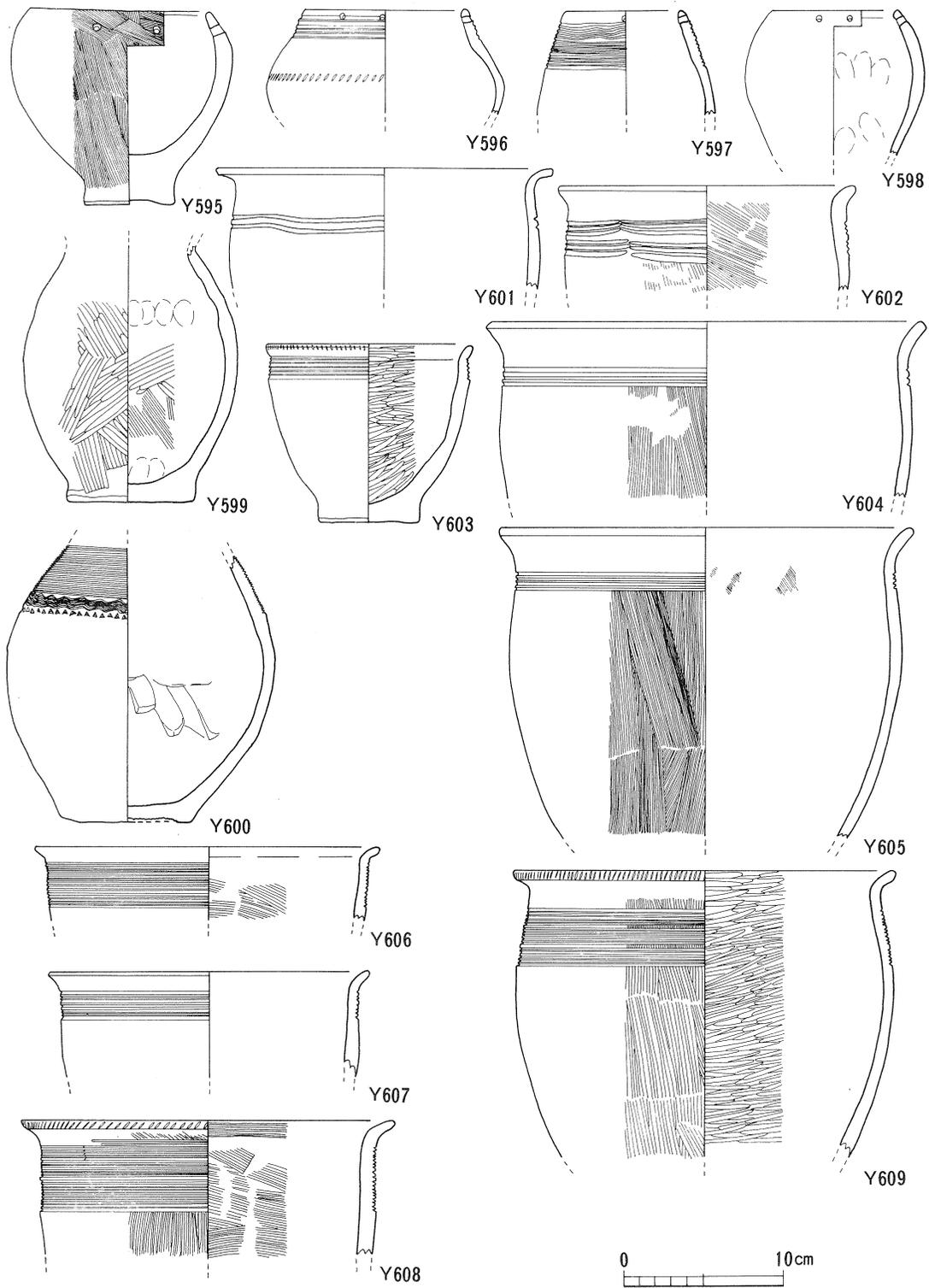
第53图 弥生土器(30) 中期 壺 1:4



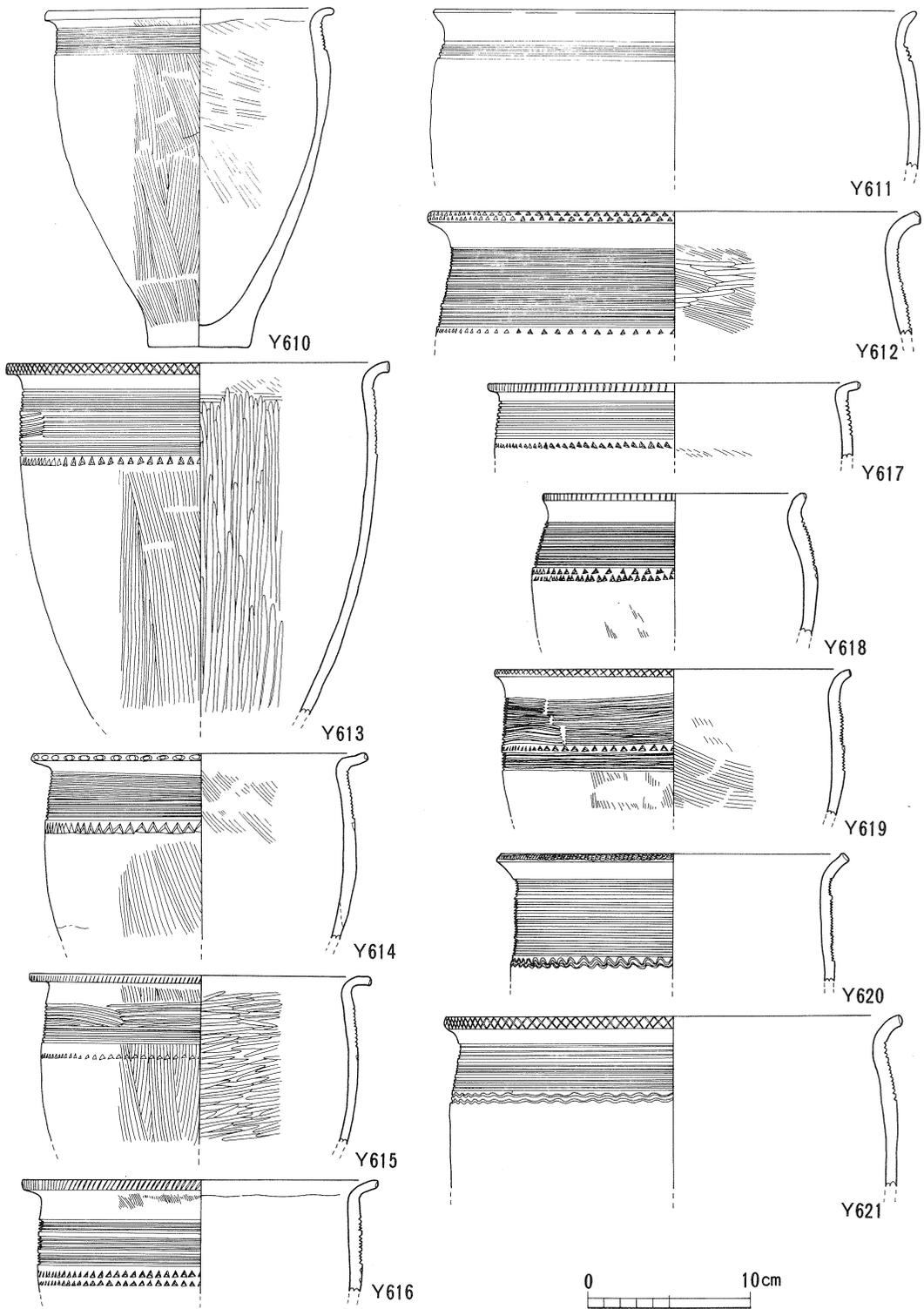
第54図 弥生土器(31) 中期 壺・短頸壺・無頸壺 1:4



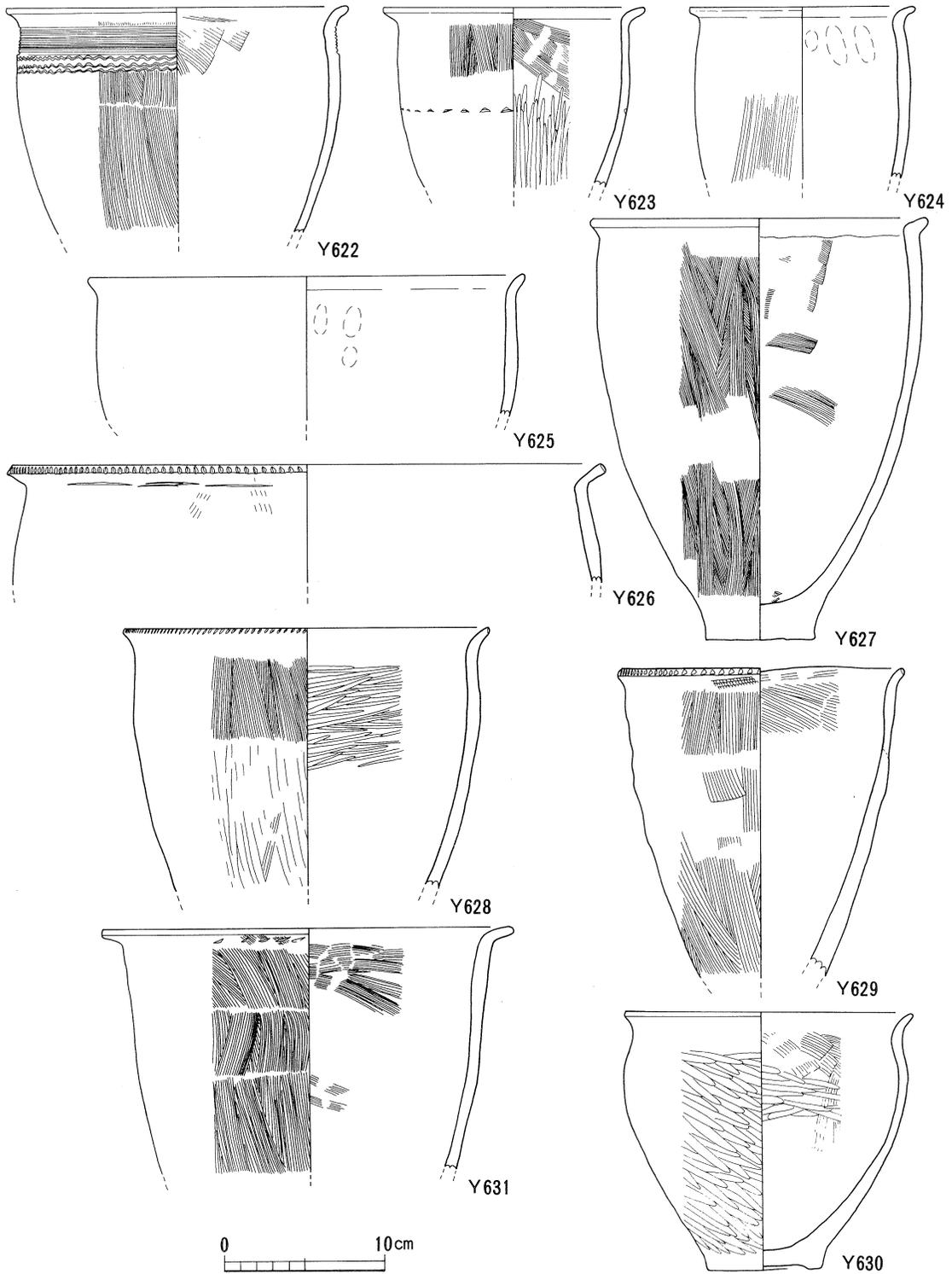
第55图 弥生土器(32) 中期 壺 1:4



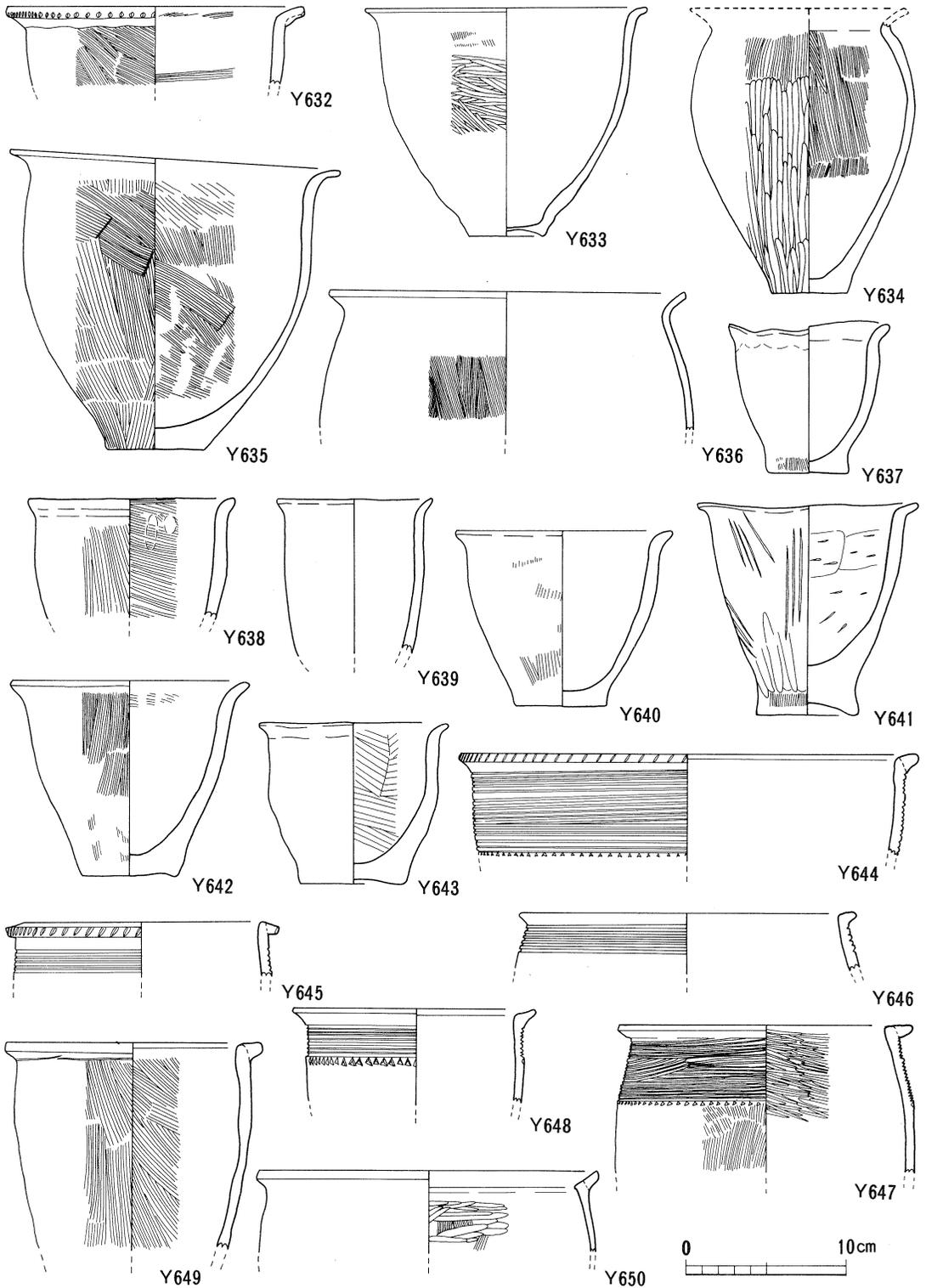
第56図 弥生土器(33) 中期 無頸壺・甕 1:4



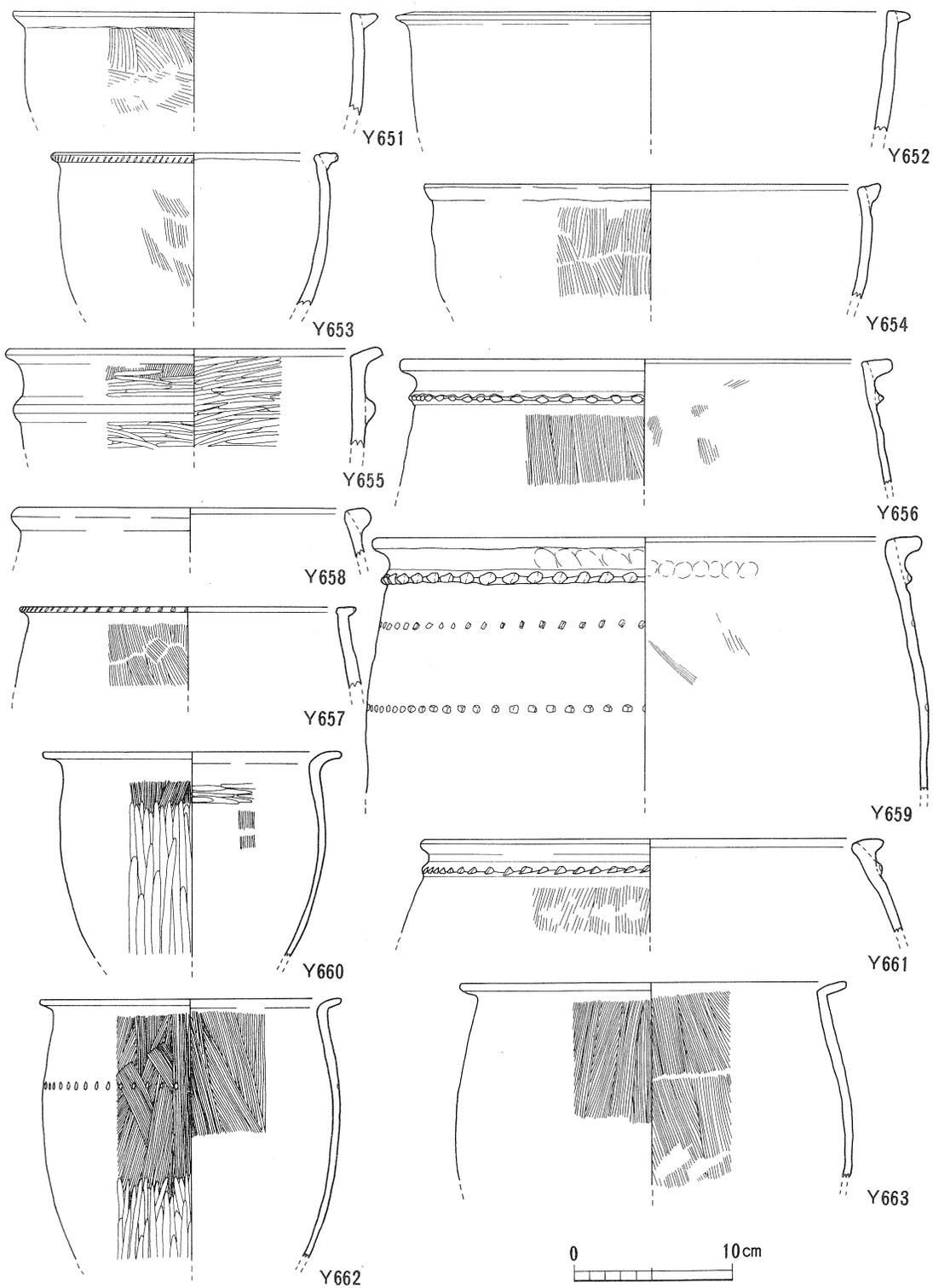
第57图 弥生土器(34) 中期 甕 1:4



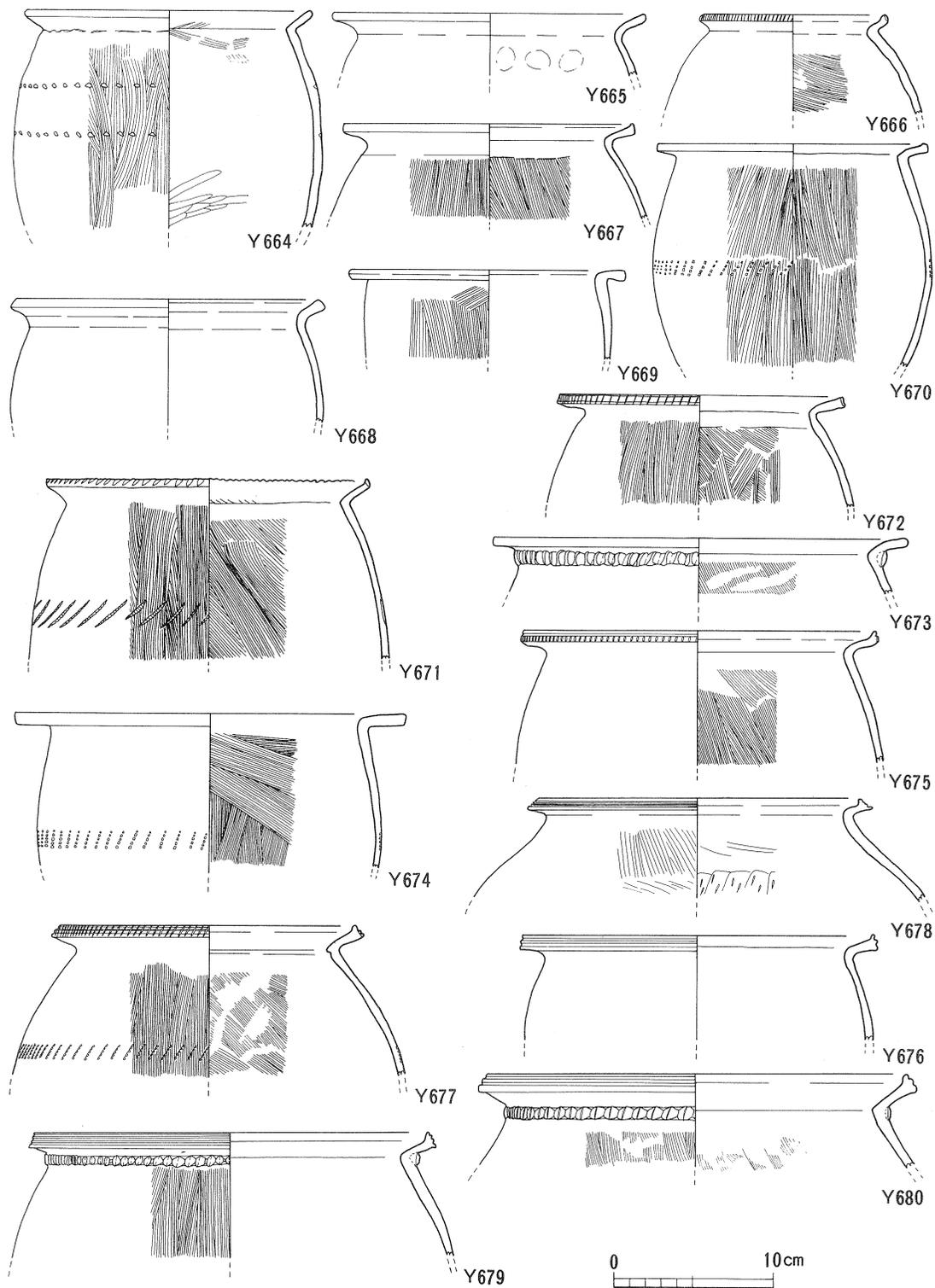
第58図 弥生土器(35) 中期 甕 1:4



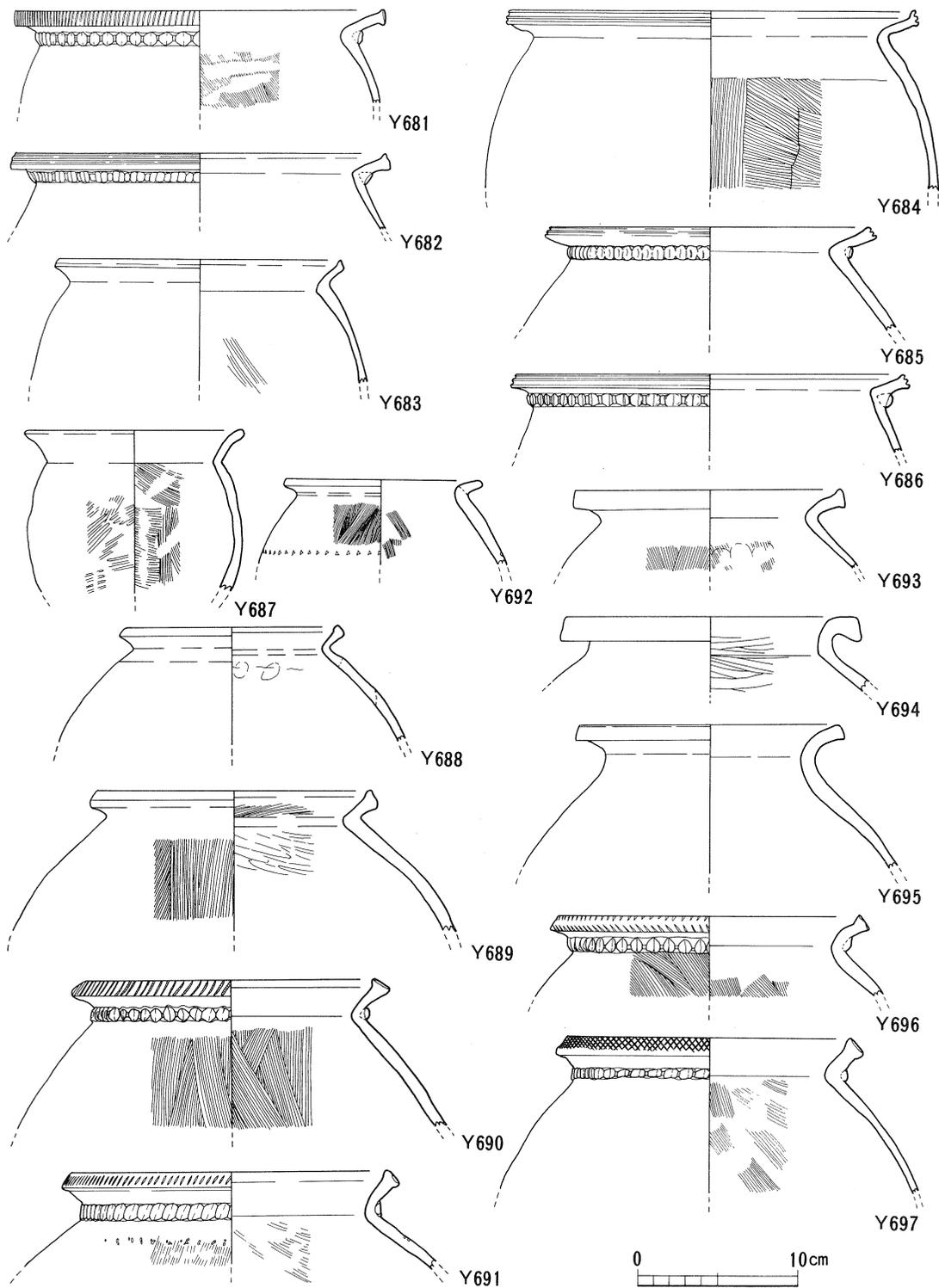
第59图 弥生土器(36) 中期 甕 1:4



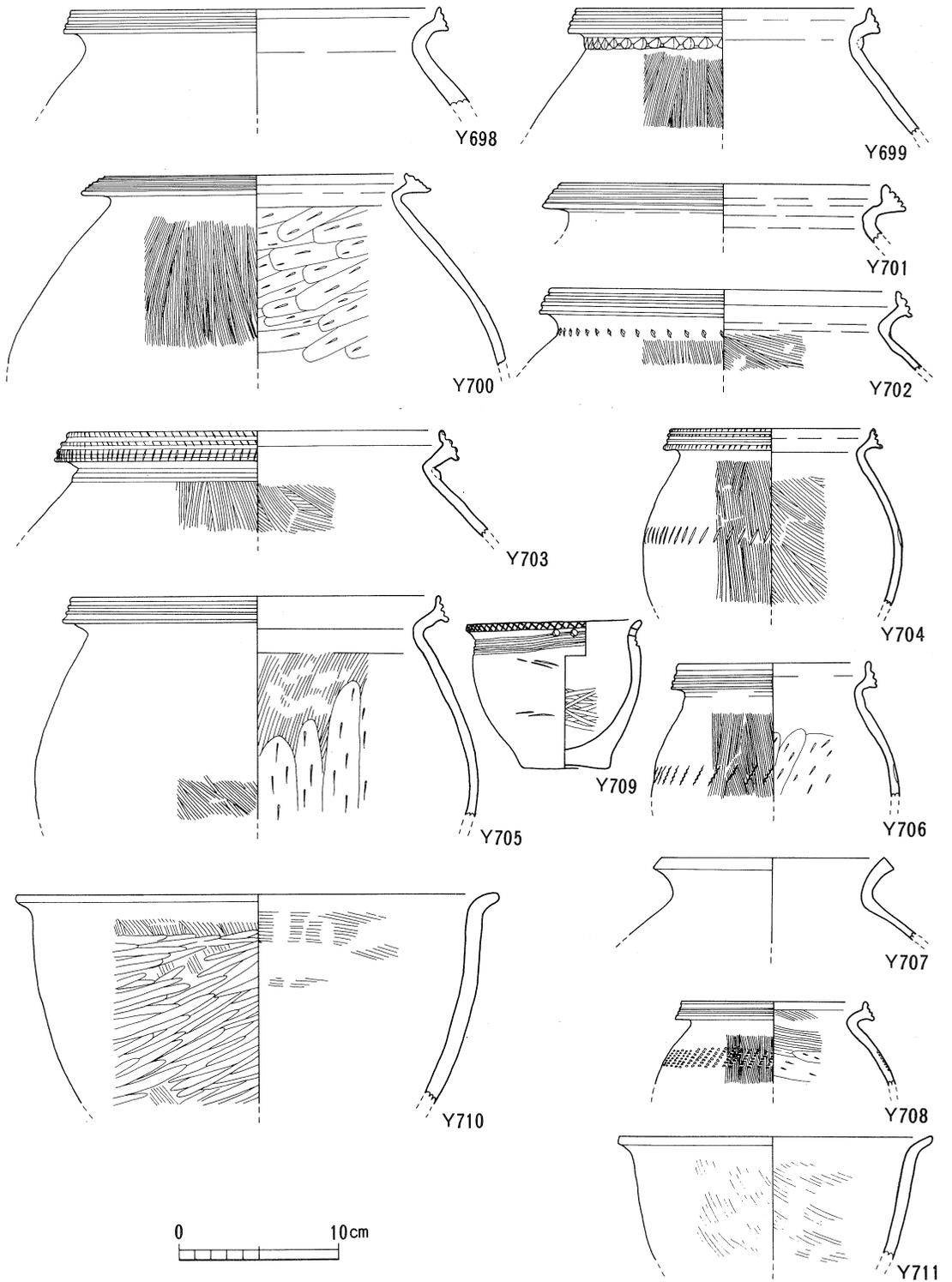
第60图 弥生土器(37) 中期 甕 1:4



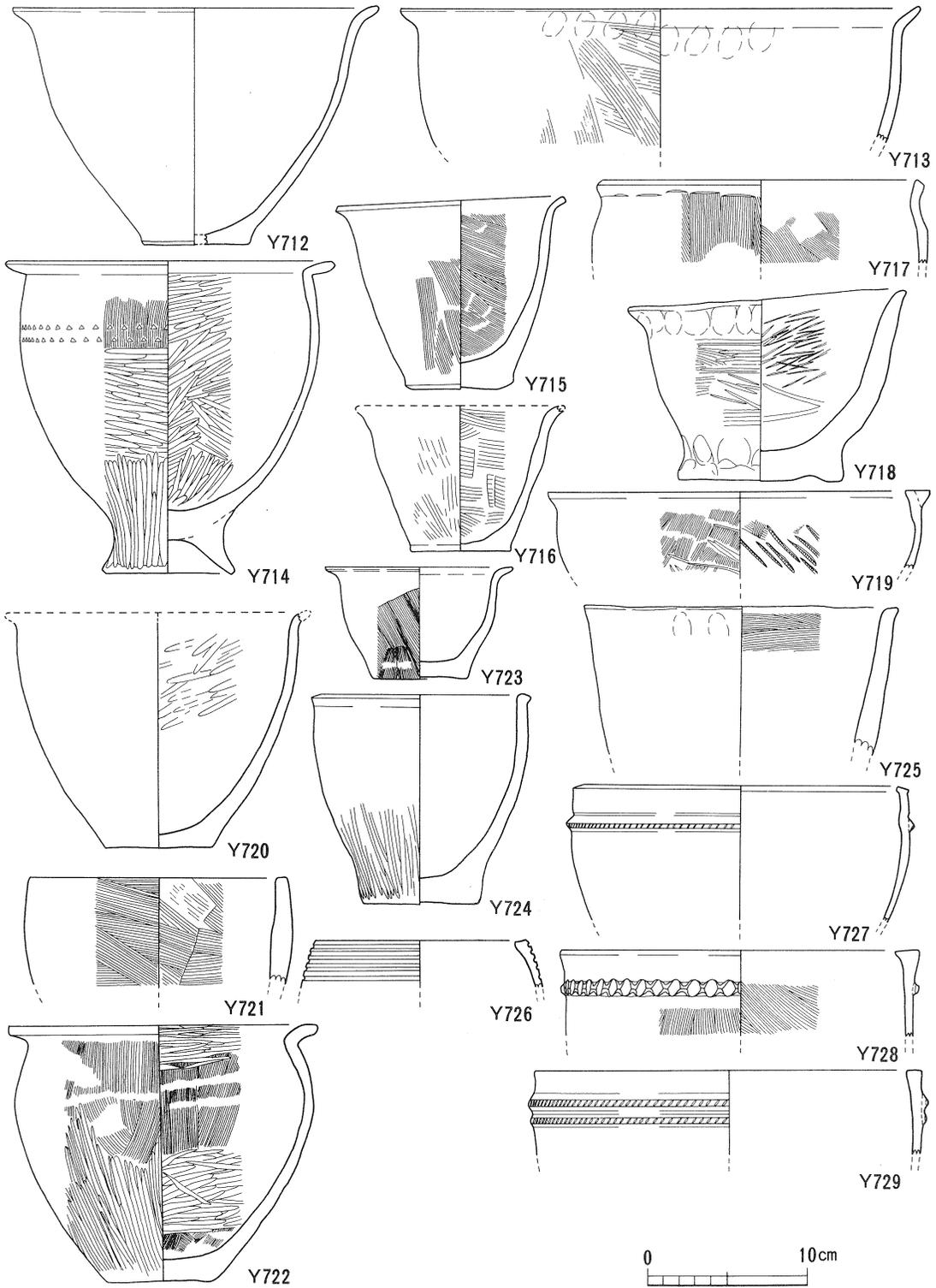
第61図 弥生土器(38) 中期 甕 1:4



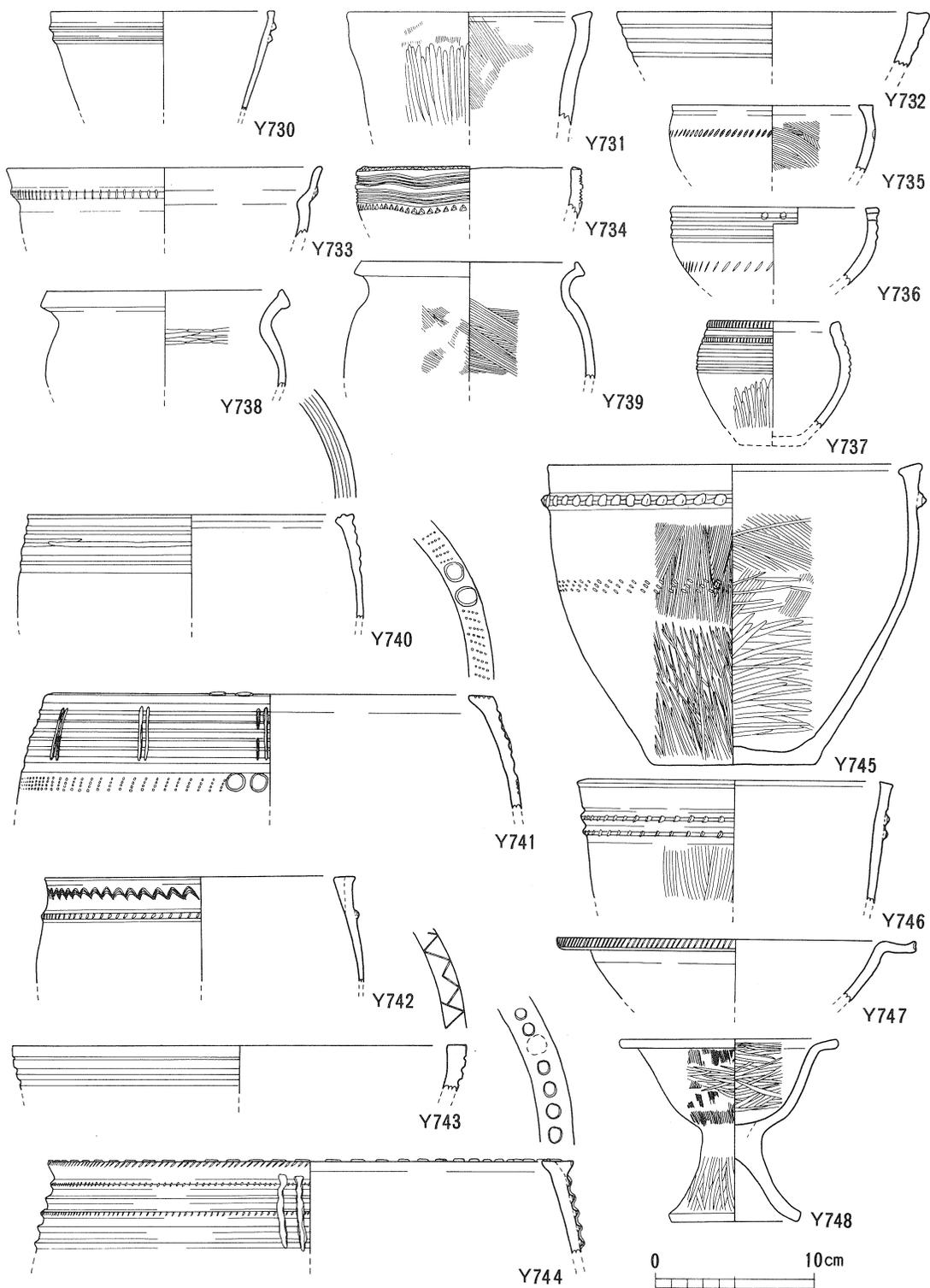
第62図 弥生土器(39) 中期 甕 1:4



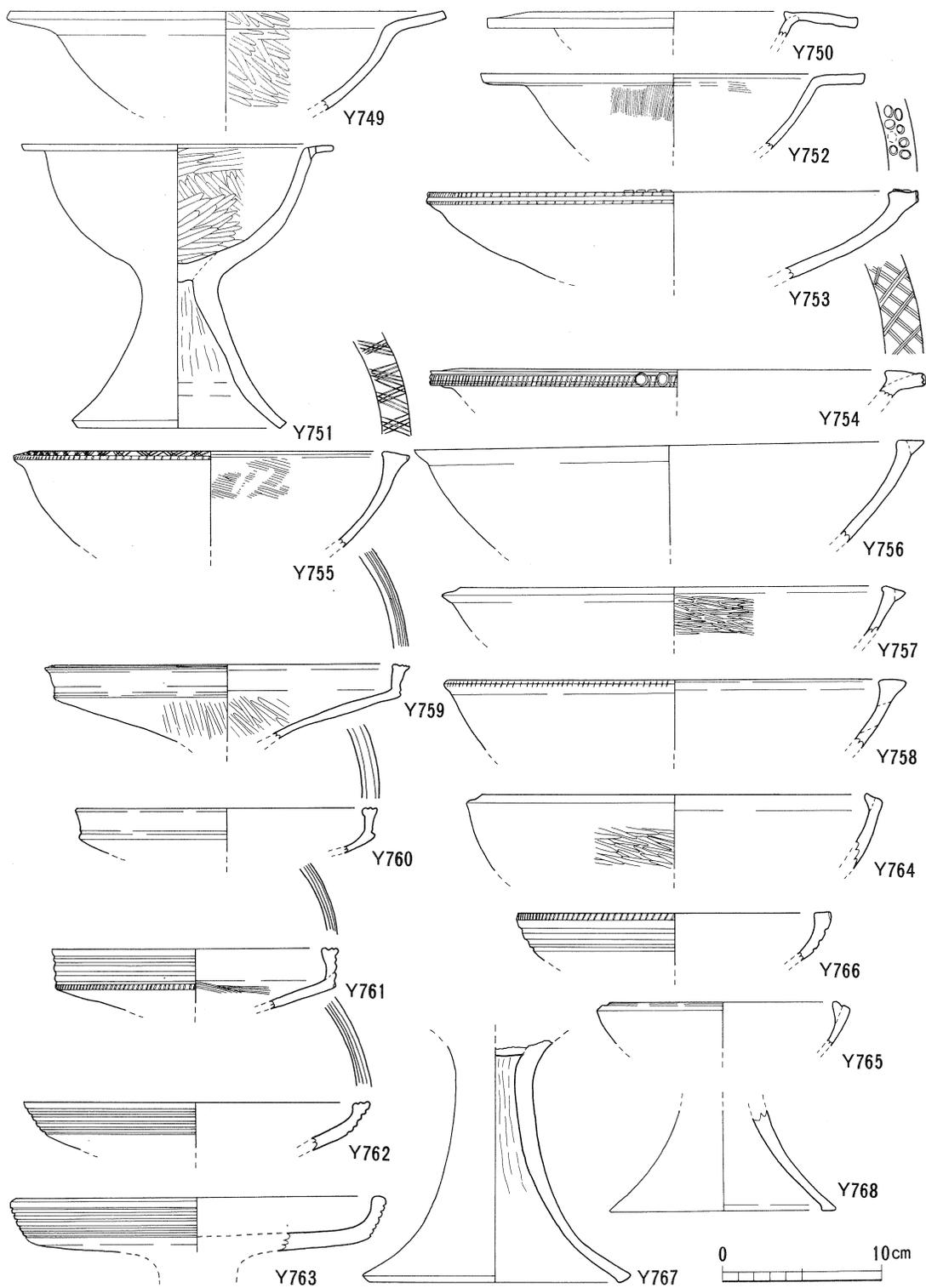
第63図 弥生土器(40) 中期 鉢 1:4



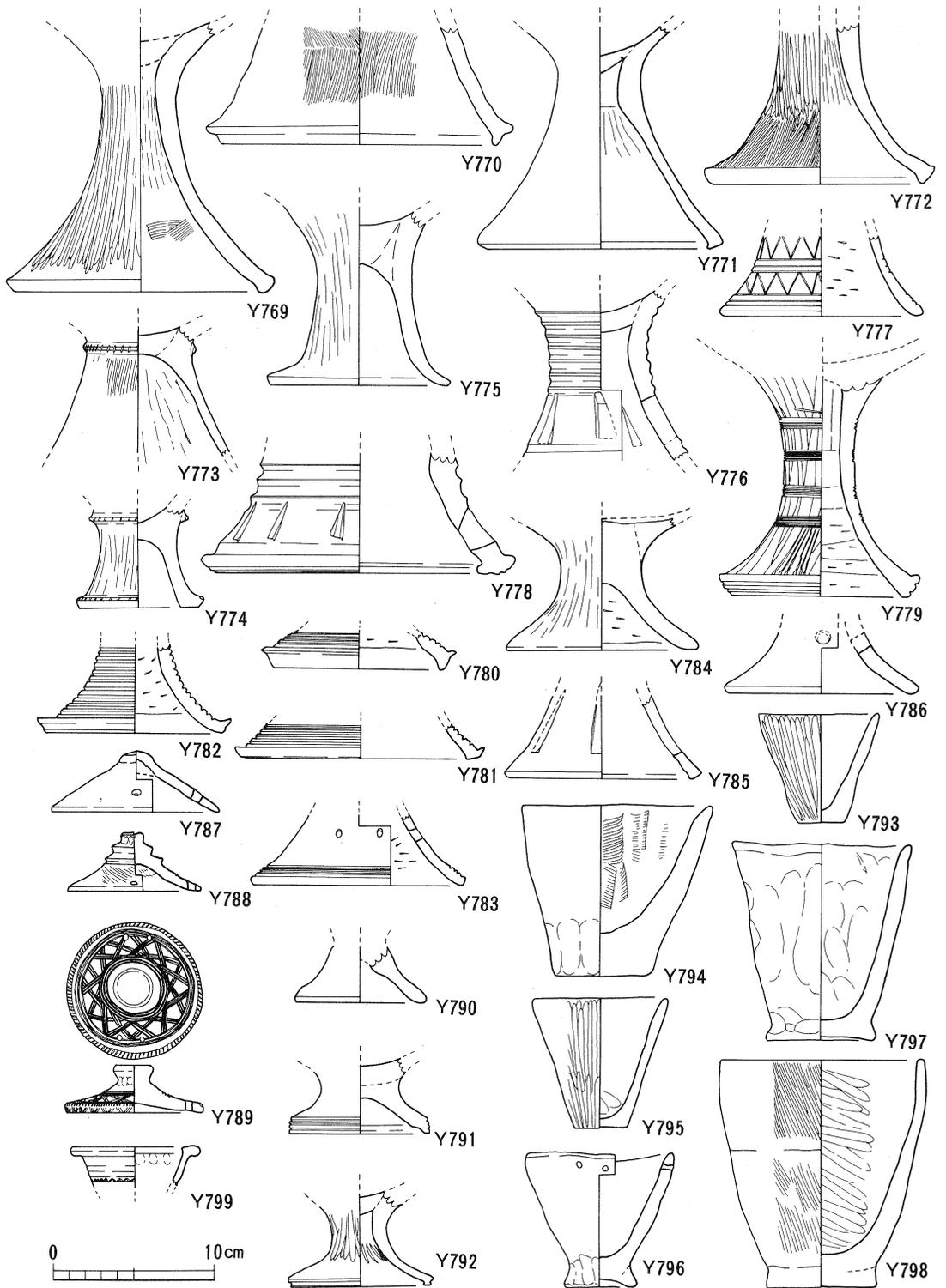
第64図 弥生土器(41) 中期 鉢 1:4



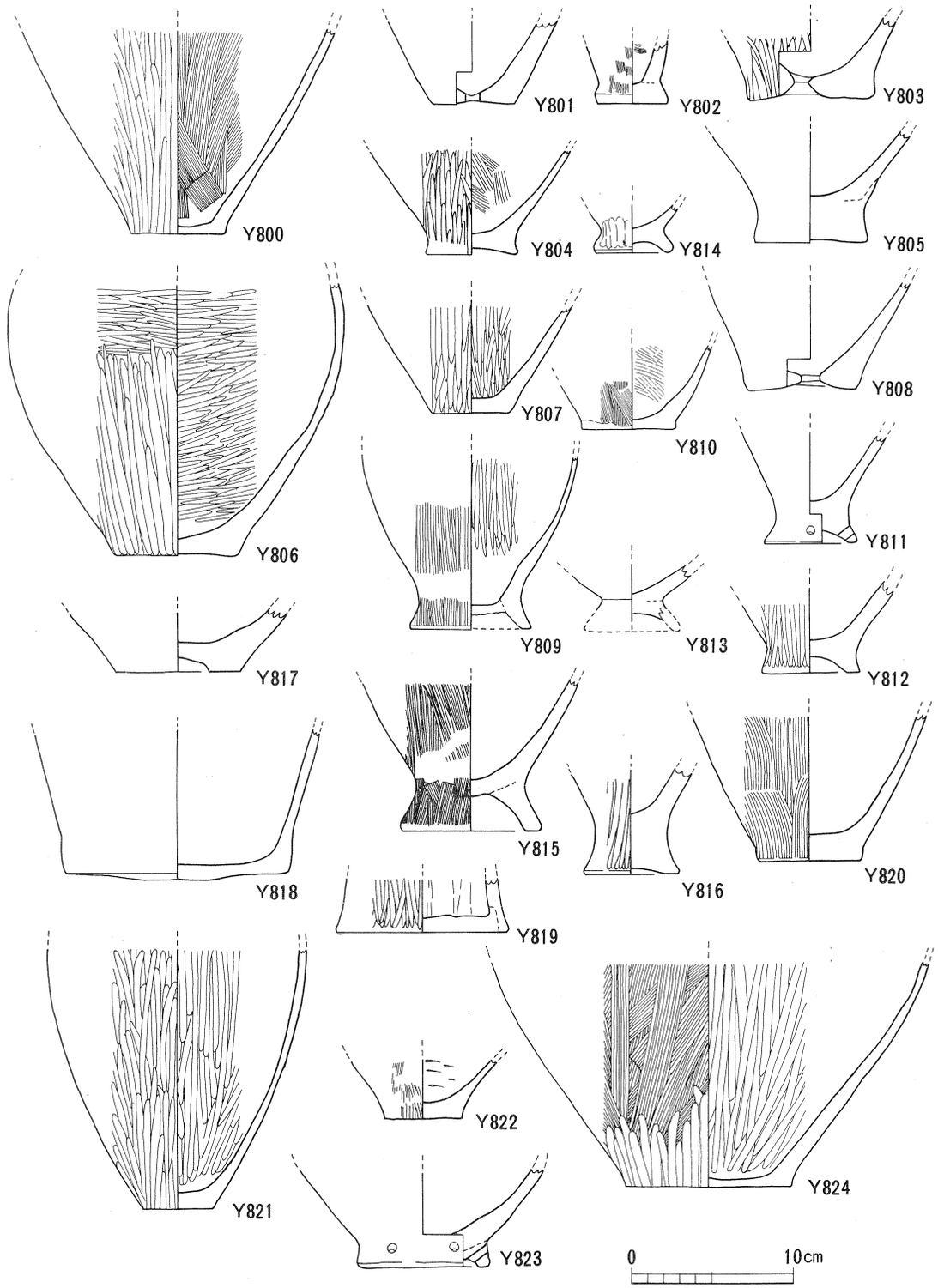
第65图 弥生土器(42) 中期 鉢・高坏 1:4



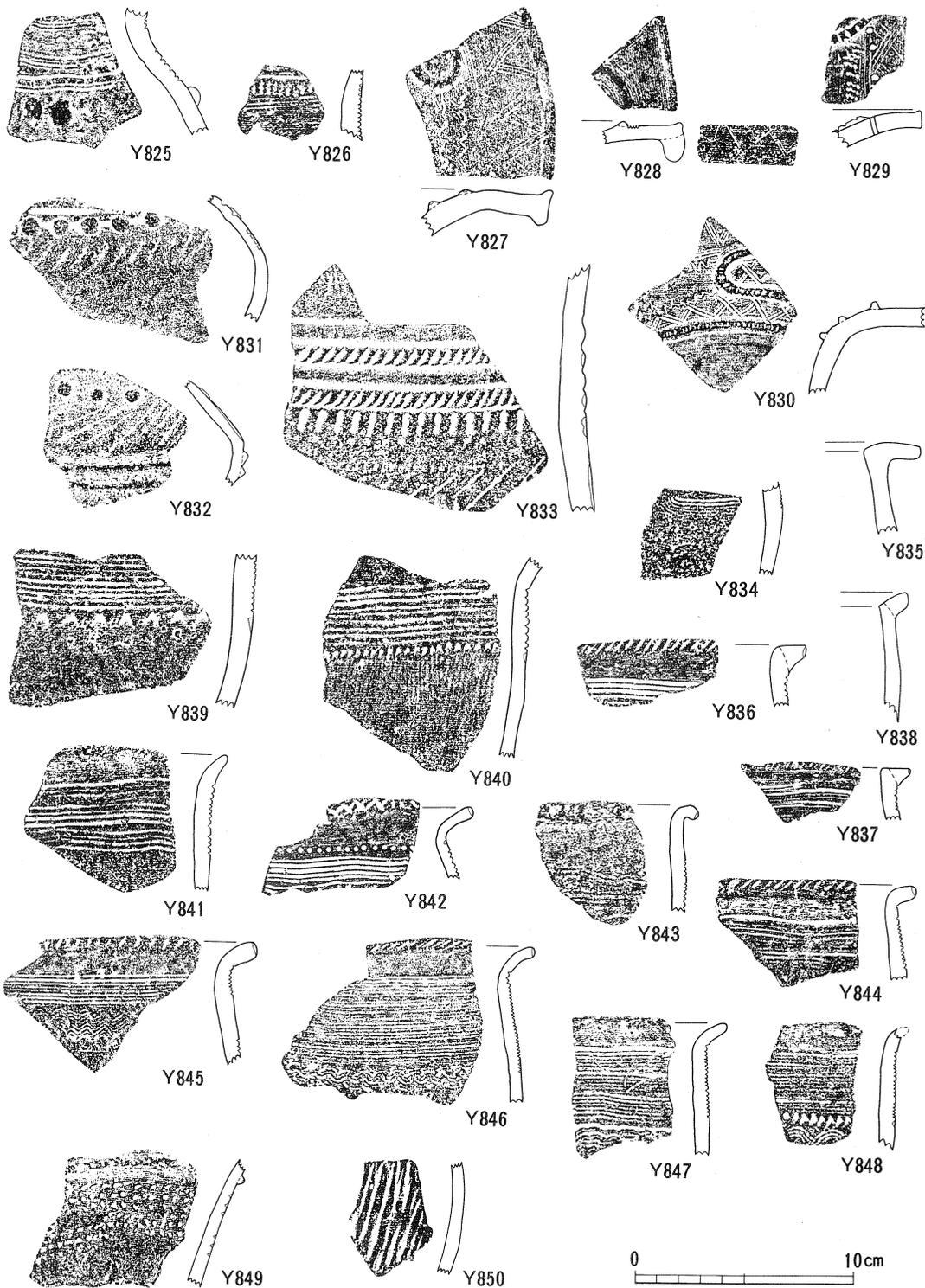
第66图 弥生土器(43) 中期 高坏 1:4



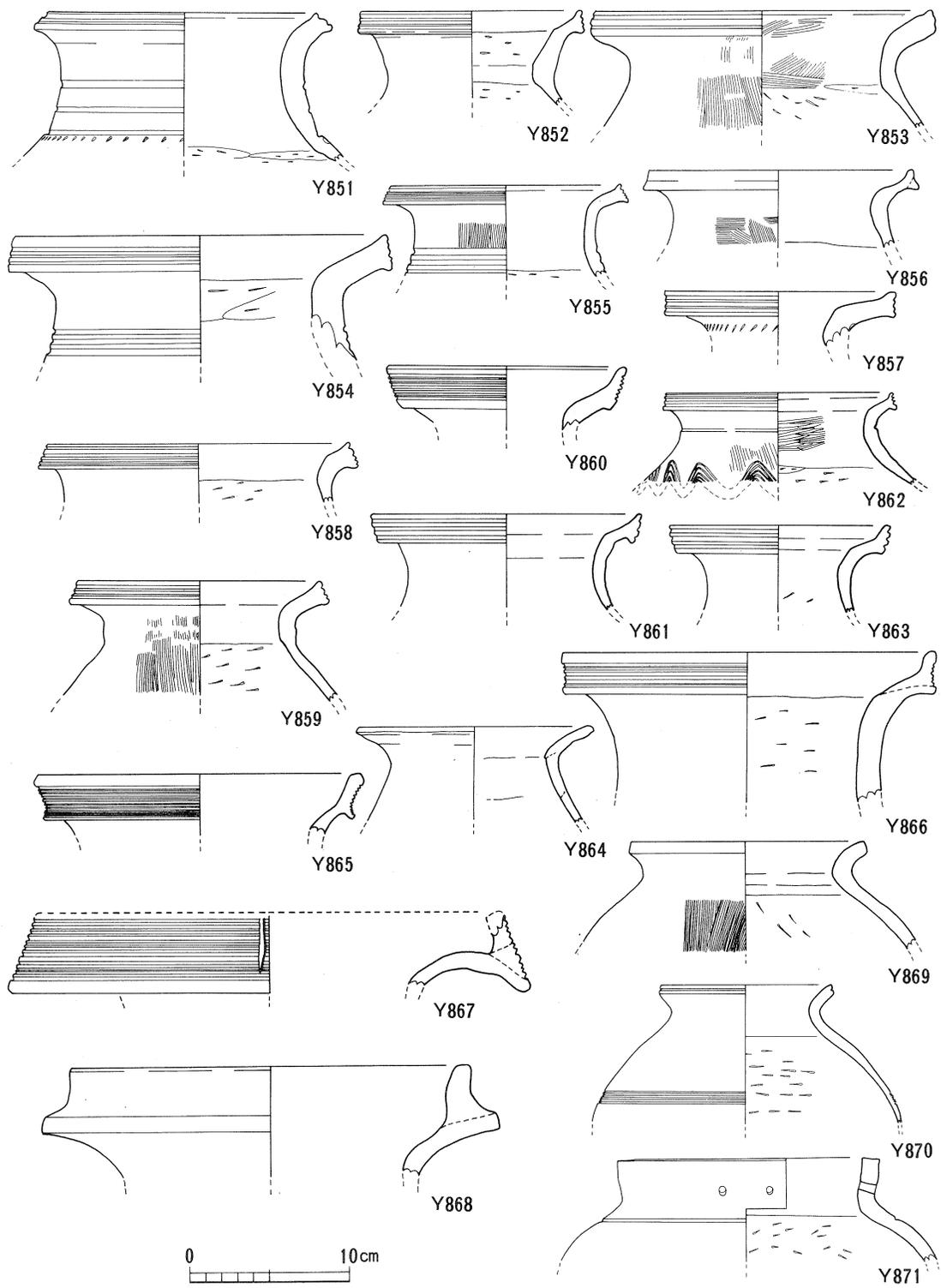
第67図 弥生土器(44) 中期 高坏・蓋・その他 1:4



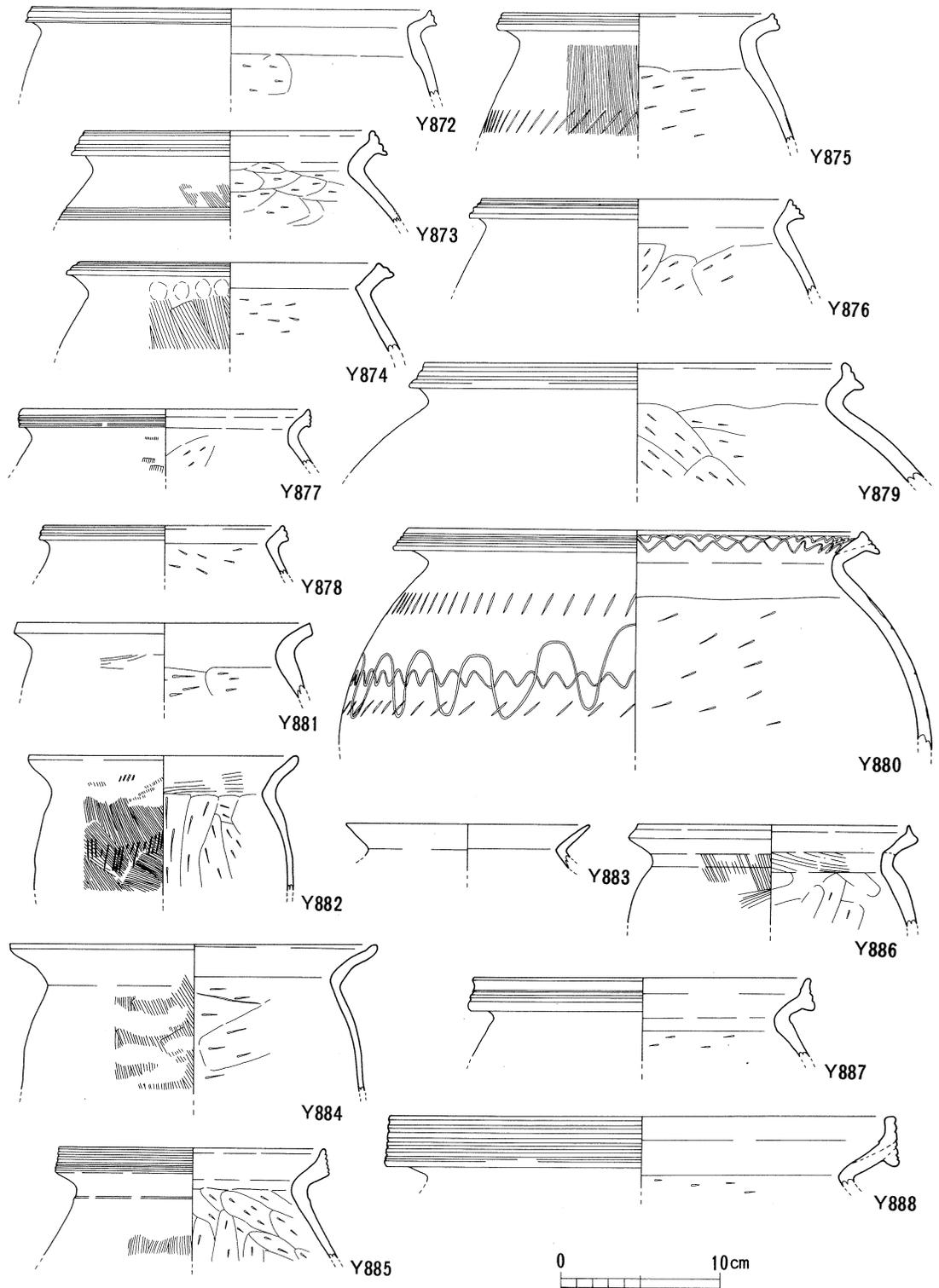
第68图 弥生土器(45) 中期 底部 1:4



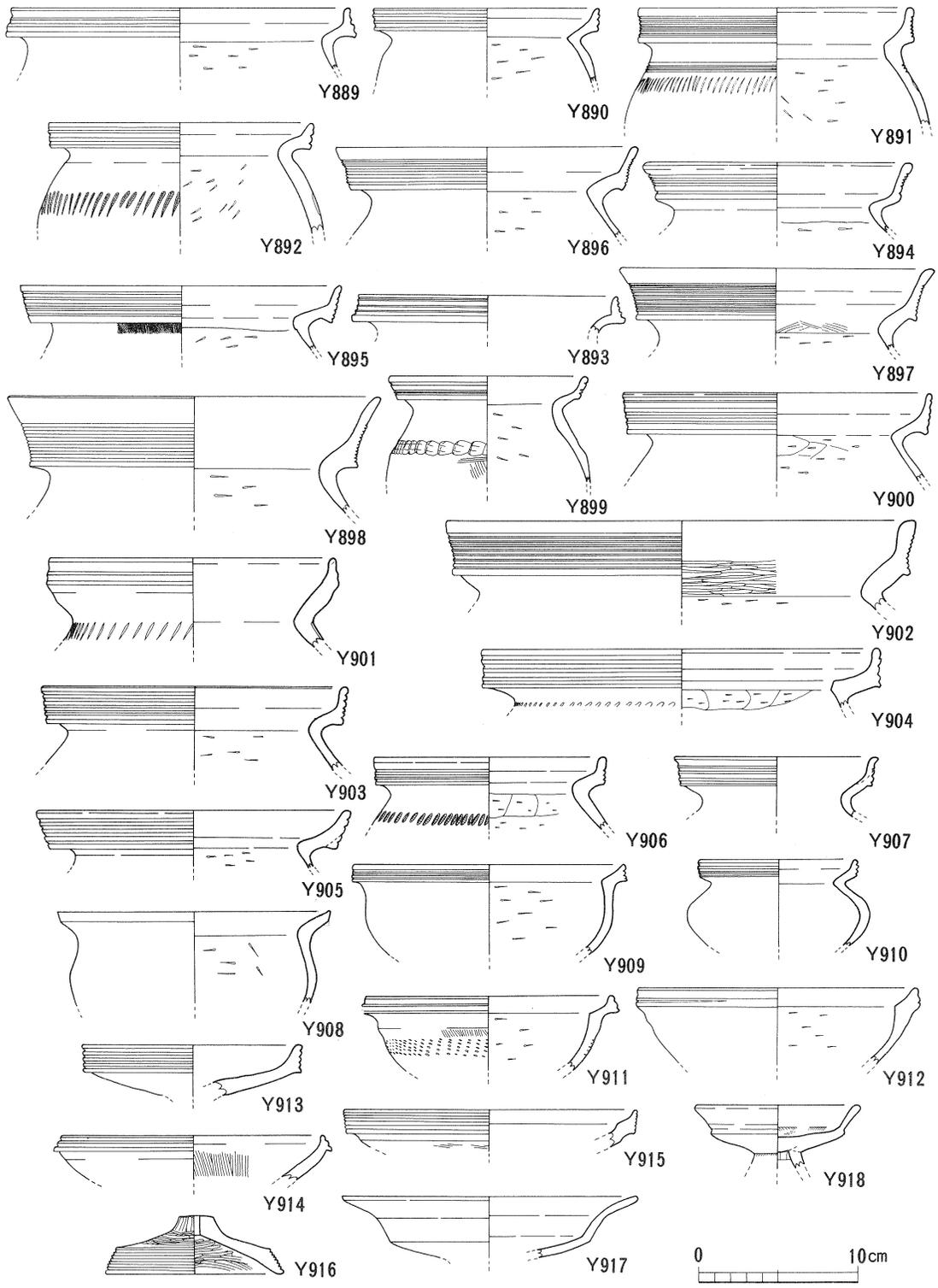
第69图 弥生土器(46) 中期 拓影 1:3



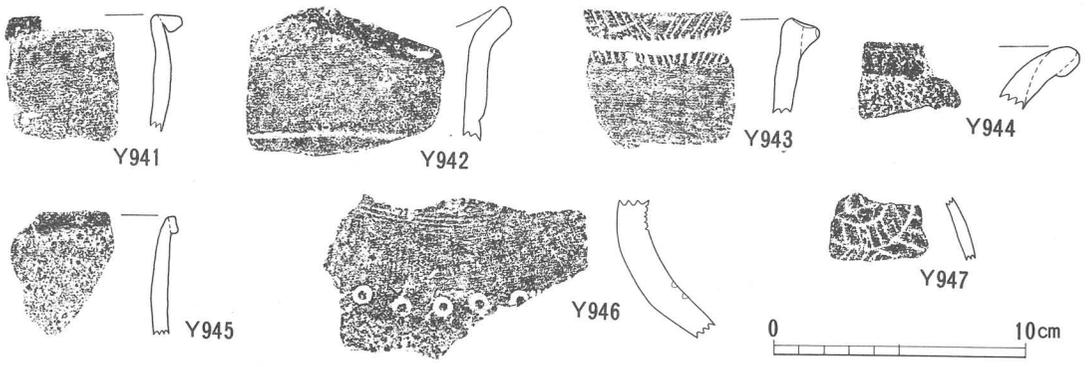
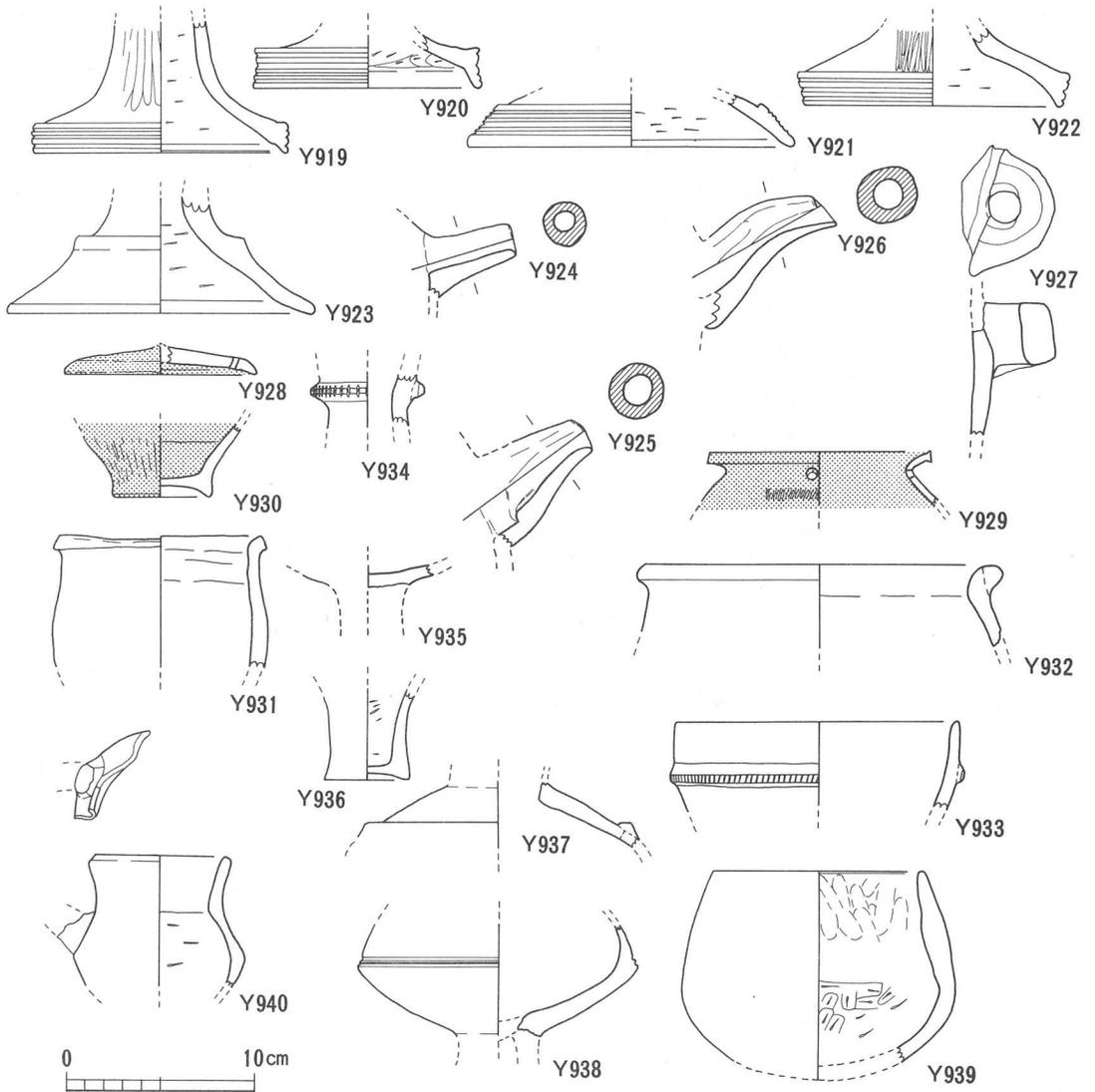
第70圖 弥生土器(47) 後期 壺 1:4



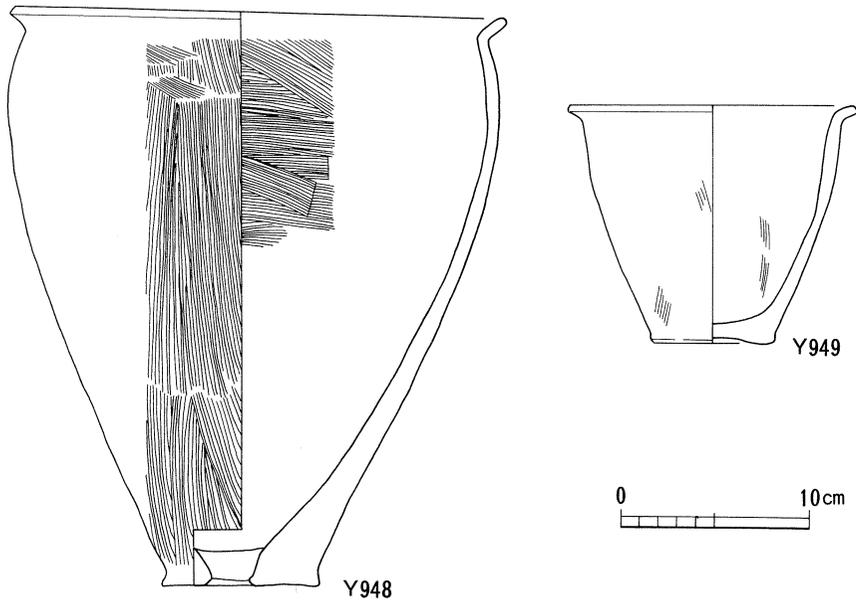
第71図 弥生土器(48) 後期 甕 1:4



第72図 弥生土器(49) 後期 甕・鉢・高坏 1:4



第73図 弥生土器(50) 後期 器台・注口土器・甑および漆塗土器 1:4
 時期不明 土器 1:3 (網目は漆)



第74図 弥生土器(51) 1:4

弥生土器一覽表

(直線文の後の数字は条数, ()は施文具)

| 器種 | 分類 | 挿 番 号 | 図 版 頁 数 | 出 地 点 | 層 位 | 法 量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備 考 |
|----|------------------|-------------|------------------|-------------|----------|--------------------|------------------|---------------------------------|--------------------|--------------|
| 壺 | I ₁ | Y1 | 38 | N26E7 | 6 | 口径14.0 器高20.3 | | 段 | ハケ目後, ヘラミガキ | 夜臼系 |
| 壺 | I ₁ | Y2 | 37 | | | | | 段 | ヘラミガキ | 夜臼系 松江市保管 |
| 壺 | I ₂ | Y3 | 38 | N25E7 | 4-2 | 口径10.3 器高12.2 | | 平行沈線文3条(ヘラ) | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y4 | 37 | N22E6 | 5 | 口径13.4 器高8.3 | | 段 | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | I | Y5 | 37 | N21E5 | 4 | 口径8.8 器高3.7 | 口唇厚い | 段 | ナデ, ヨコナデ | |
| 壺 | I | Y6 | 37 | N16E7 | 4 | 口径19.6 器高8.2 | 口縁肥厚 | 段 | | |
| 壺 | I ₃ | Y7 | 46 | N20E5 | 4 | 口径14.6 器高5.1 | | 段 | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | I ₃ | Y8 | 37 | N18E8 | 5 | 口径16.0 器高6.0 | 口唇面取 | 段 | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y9 | 37 | N21E5 | 4 | 口径20.4 | | 段 | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y10 | 38 | N25E7 | 4-2 | 口径18.0 器高14.7 | | 段 | ハケ目, ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | I ₃ | Y11 | 37 | N13E4 | 4 | 口径16.4 器高7.4 | | 段 | ハケ目, ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | I ₃ ? | Y12 | 38 | N16E8 | | 器高13.2 底径7.6 | | 段 | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | I ₃ | Y13 | | N26E7 | 4 | 器高19.9 | | 段 | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ ? | Y14 | | N22E6 | 4 | 器高12.0 底径6.0 | | 段 | ハケ目, ナデ, ヘラ ミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y15 | 38 | N17E8 | 4 | 器高10.8 | | 段, 波状文(ヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | I? | Y16 | 38 | N12E8 | 4 | 口径19.6 器高7.2 | | 直線文2条(ヘラ)+ 段 | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y17 | 38 | N27E7 | 6 | 口径12.0 器高13.3 | | 段+直線文(ヘラ)+ 羽状文Aa(ヘラ?) | ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y18 | 38 | N26E7 | 5 | 口径12.0 器高8.4 | | 段+直線文(貝)+羽 状文Aa(貝) | ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y19 | 39 | | 5-2 6 | | | 羽状文Aa, Ab(ヘ ラ)+区画直線文(ヘ ラ) | ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y20 | 40 | N26E7 | 4-2 | 器高22.2 底径8.6 | 胴部最大頸やや上部 にあり | 段+羽状文Aa(貝) +区画直線文(貝) | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | I ₃ | Y21 | 40 | N25E7 | 5 | 器高9.2 底径4.9 | | 段+羽状文Aa(ヘラ) +区画直線文(ヘラ) | ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y22 | 39 | N21E6 | 4 | 口径8.0 器高7.9 | | 段+直線文(ヘラ) | ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ ? | Y23 | 39 | N21E6 | 6 | 口径18.2 器高7.8 | | 突帯文Ab | ナデ? | |
| 壺 | I ₃ | Y24 | 39 | | | 口径16.4 器高11.3 | 口唇面取 | 段+直線文(貝)+羽 状文B(貝) | ヘラミガキ | |
| 壺 | I? | Y25 | 39 | N12E5 | 4 | 口径12.0 器高6.3 | | 直線文3(ヘラ) | ヘラミガキ? | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|--------------------|------|-------|-------|-------------|---------------------------|---------|------------------------------|------------------|------------|
| 壺 | I ₃ | Y26 | 39 | N25E9 | 4-2 | 器高10.8 | | 段+直線文, 複線鋸歯文, 縦横の沈線文(いずれもヘラ) | ハメ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y27 | 39 | N16E8 | 6 | 口径19.4 器高16.5 | 口縁の外反緩い | 突帯文Bb | ハメ目, ヘラミガキ, ヨコナデ | |
| 壺 | I? | Y28 | 39 | N21E5 | 4 | 口径17.8 器高6.4 | | 直線文2(ヘラ) | ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y29 | 39 | N22E6 | 4 | 口径18.6 器高9.1 | | 直線文2(ヘラ) | ヘラミガキ, ヨコナデ | |
| 壺 | I ₃ ? | Y30 | 39 | N14E5 | 4 | 口径15.4 器高7.4 | | 直線文3(ヘラ) | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y31 | | N20E5 | 4 | 口径15.4 器高22.0 | | 直線文1 | ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y32 | 39 | N25E7 | 4-2 | 口径18.6 器高10.0 | | 直線文2, 直線文3(ヘラ)+刺突文(貝) | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ ? | Y33 | 40 | N21E6 | 4 | 器高8.4 底径6.0 | | 羽状文Aa(ヘラ)+区画直線文(ヘラ) | | |
| 壺 | I ₃ | Y34 | 39 | N13E5 | 4 | 口径16.0 器高13.9 | | 直線文3(ヘラ) | ハケ目 | |
| 壺 | I ₃ ? | Y35 | 40 | N26E7 | 5 | 器高10.5 底径5.8 | | 直線文2(ヘラ), 双曲線状文(ヘラ) | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | I ₃ | Y36 | 41 | N22E6 | 6 | 口径11.0 器高10.3 | | 段+羽状文Aa(貝?) +区画直線文(ヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| 壺 | I ₁ | Y37 | 40 | N16E7 | 6 | 口径6.6 器高13.3 底径6.0 | 口縁外傾 | 直線文1条(ヘラ) | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₁ | Y38 | 40 | N25E9 | 5 | 口径7.2 器高12.5 底径4.5 | | 段 | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | VI | Y39 | 41 | N18E9 | | 器高15.5 底径6.4 | | 羽状文B+重弧文+区画直線文(いずれもヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| 壺 | I ₃ ? | Y40 | 41 | N24E7 | 第2河道 堆積土 | 口径16.8 器高10.3 | | 直線文2(ヘラ) | ハケ目, ナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | | Y41 | 41 | N27E7 | 6 | 器高14.3 底径9.0 | | 重弧文, 区画直線文(ともにヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | III ₁ | Y42 | 40 | N26E7 | 6 | 口径16.1 器高28.5 底径8.0 | | 直線文3・1(ヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | I ₄ | Y43 | 41 | N20E5 | 6 | 口径14.9 器高23.7 底径9.4 | | 段 | ハケ目, ヨコナデヘラミガキ | |
| 壺 | I ₁ ? | Y44 | 41 | | | 口径26.0 器高11.2 | 口唇面取 | 段 | ヘラミガキ | 松江市保管 |
| 壺 | III ₁ | Y45 | 42 | N12E7 | 5-2 | 口径16.3 器高14.2 底径8.6 | | 段 | ヨコナデ, ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | III ₁ ? | Y46 | 41 | N10E5 | | 口径14.0 器高8.6 | | 直線文4(ヘラ) | ヨコナデ? | |
| 壺 | III ₂ | Y47 | 41 | N12E7 | 5-1 | 口径7.8 器高9.0 | | 内外に刻目突帯文Aa | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | 口縁に二枚貝の瓦痕? |
| 壺 | III ₂ | Y48 | 42 | N19E9 | 5-1 | 口径24.0 器高12.1 | | 刻目突帯文A, 羽状文B | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | III ₂ | Y49 | 42 | N10E7 | 5-2 | 口径32.0 器高15.7 | | 羽状文B, 突帯文Aa | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | III ₂ | Y50 | 42 | N12E7 | 5-1 | 口径19.8 器高8.6 | | 口唇刻目文(ヘラ), 直線文9(ヘラ) | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | II | Y51 | 43 | N14E6 | 4 | 口径23.4 器高13.2 | | 羽状文A, 直線文+三角形刺突文, 内面刺突文 | ヘラミガキ, ハケ目 | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|------------------|------|-------|---------|-------------|------------------|------------|------------------------------------|------------------|-------------|
| 壺 | Ⅳ | Y 52 | 42 | N11E7 | 4 | 口径13.8 器高 5.7 | | 直線文, 突帯文Bb | ヨコナデ?, ハケ目 | |
| 壺 | Ⅱ | Y 53 | 42 | N13E7 | 5-2 | 口径17.0 器高 4.2 | | 直線文(ヘラ), 突帯文Ab | ヨコナデ | |
| 壺 | Ⅱ | Y 54 | 42 | N12E4 | 4 | 口径14.7 器高26.8 | | 直線文(ヘラ), 刻目突帯文Ab, 口唇刻目文 | ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅱ ₂ | Y 55 | 43 | | | 口径14.4 器高11.6 | | 斜格子文(ヘラ), 直線文(ヘラ)+三角形刺突文 | ヘラミガキ, ハケ目 | 松江市保管 |
| 壺 | Ⅱ ₁ | Y 56 | 43 | N12E4 | 4 | 口径21.2 器高11.0 | | 羽状文Aa(ヘラ), 直線文(ヘラ)+三角形刺突文 | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | Ⅲ? | Y 57 | 43 | N22E6 | 5 | 口径16.8 器高 8.6 | | 刻目突帯文Ab | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | Ⅱ ₁ | Y 58 | 43 | | | 口径12.6 器高11.2 | | 口唇刻目文, 直線文(ヘラ)+刺突文 | ハケ目 | 松江市保管 |
| 壺 | Ⅱ ₁ | Y 59 | 43 | N12E5 | 4 | 口径24.0 器高11.6 | | 斜格子文, 直線文8+鋸歯文(いずれもヘラ) | ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅱ ₁ | Y 60 | 43 | N11E7 | 4 | 口径12.8 器高 6.8 | | 直線文(ヘラ), 突帯文Bb | ハケ目 | |
| 壺 | Ⅱ ₁ | Y 61 | 43 | | 4 | 口径12.8 器高 6.4 | 口縁あまり広がらない | 直線文4(ヘラ)+段 | ハケ目, ナデ? | |
| 壺 | ⅡかⅢ | Y 62 | 43 | N13E7 | 5-1 | 口径17.4 器高 2.8 | | 羽状文Aa(ヘラ), 内側刻目突帯文Ab | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | Ⅱ ₁ ? | Y 63 | 43 | N17E8 | 6 | 口径13.0 器高 4.8 | | 羽状文B(貝), 直線文5(ヘラ), 内面直線文+鋸歯文(ともに貝) | ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅲ ₂ ? | Y 64 | 43 | N18E8 | 第2河道 堆積土 | 口径20.4 器高 7.2 | | 直線文(ヘラ)+段 | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | ⅡかⅢ | Y 65 | 44 | N11E7 | 4 | 口径19.0 器高 4.1 | | 直線文(ヘラ)上に刺突文 | ヘラミガキ | 内面に突帯剝離痕(A) |
| 壺 | ⅡかⅢ | Y 66 | 44 | N22E6 | 4 | 口径15.2 器高 4.1 | 口縁内面に段 | 直線文1(ヘラ) | ヘラミガキ(施工後) | |
| 壺 | Ⅲ ₂ | Y 67 | 44 | N11E4 | 4 | 口径23.2 器高 5.4 | | 突帯文Bb | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | Ⅲ ₂ | Y 68 | 44 | | | 口径19.0 器高 9.8 | | 羽状文B(ヘラ), 直線文6(ヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目 | 松江市保管 |
| 壺 | Ⅲ ₂ | Y 69 | 44 | N25E7 | 4-2 | 口径23.8 器高 8.4 | | 円形刺突文, 段+直線文(ヘラ) | ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅱ ₁ ? | Y 70 | 44 | N18E8-9 | 4 | 口径21.2 器高 7.0 | | 羽状文B(ヘラ), 直線文4(ヘラ)+段? | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | ⅡかⅢ | Y 71 | 44 | N12E5 | 4 | 口径20.2 | | 突帯文Bb | | |
| 壺 | Ⅲ ₂ ? | Y 72 | 44 | N25E7 | 4-2 | 口径16.2 器高 7.4 | | 突帯文Bb | ヨコナデ, ナデ, ハケ目 | |
| 壺 | Ⅲ ₁ | Y 73 | 44 | N13E5 | 6 | 口径33.0 器高10.5 | | 突帯文Bb上に羽状文B(貝) | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅲ ₁ | Y 74 | 44 | N15E6 | 4 | 口径24.2 器高 8.7 | | 直線文(ヘラ)+刻目文, 突帯文Ab | ナデ, ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅲ? | Y 75 | 44 | N26E7 | 4-2 | 口径17.0 器高 7.8 | 耳朶状のつまみ | 突帯文Aa | ヘラミガキ? ナデ? | |
| 壺 | Ⅳ? | Y 76 | 44 | N26E7 | 4-2 | 口径23.0 器高 5.5 | | 刻目突帯文Ab上に円形刺突文 | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅲ ₁ | Y 77 | 44 | N22E6 | 4 | 口径 9.2 器高 5.7 | | 突帯文Ab | ナデ, ハケ目, ヘラミガキ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|------------------|------|-------|-------|-------------|---------------------------|----------|------------------------------------|----------------------|----------------------------------|
| 壺 | ⅡかⅢ | Y78 | 44 | N15E7 | 5-1 | 器高10.5 | | 直線文12(ヘラ), 内面に双曲線状に突帯文Aa | ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅲ | Y79 | 45 | N21E5 | 4 | 口径24.2 器高6.6 | | 内面に鋸歯文(貝), 突帯文Aa | ハケ目, ナデ | |
| 壺 | Ⅱ | Y80 | 45 | N16E7 | 4 | 口径15.2 器高7.0 | | 斜格子文(ヘラ), 直線文9(ヘラ)十三角形刺突文+直線文6(ヘラ) | ナデ | |
| 壺 | Ⅱ ₁ ? | Y81 | 45 | N18E9 | 5 | 口径19.8 器高8.1 | 頸部径大きい | 直線文2(ヘラ) | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅳ | Y82 | 45 | N15E6 | 6 | 口径17.2 器高9.8 | | 直線文2(ヘラ) | ヘラミガキ | |
| 壺 | ⅡかⅢ | Y83 | 45 | N12E7 | 4 | 口径24.4 器高6.4 | | 直線文6(ヘラ) | ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅱ ₁ | Y84 | 45 | N17E8 | 6 | 口径12.8 器高9.8 | 口縁肥厚, 短い | 直線文5(ヘラ) | ヨコナデ, ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | Ⅳ | Y85 | 45 | | | 口径20.4 器高6.5 | | 羽状文Aa | ハケ目 | 西川津報告書Ⅳ666 と同一個体, 中期 松江市保管 |
| 壺 | Ⅳ | Y86 | 45 | N17E4 | 5-1 | 口径17.6 器高11.5 | | | ヨコナデ, ヘラミガキ, ナデ? | |
| 壺 | Ⅳ | Y87 | 45 | N22E6 | 5 | 口径16.4 器高6.4 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅳ | Y88 | 45 | N14E6 | 4 | 口径14.8 器高8.2 | | 直線文?(ヘラ)一周せず | ハケ目 | |
| 壺 | Ⅳ | Y89 | 45 | N12E6 | 4 | 口径23.2 器高6.7 | | 直線文(ヘラ), 間に刺突文 | | |
| 壺 | Ⅱ ₁ ? | Y90 | 48 | N12E6 | 4 | 口径13.0 器高6.4 | | | | |
| 壺 | Ⅳ | Y91 | 45 | N16E8 | 6 | 口径20.0 | | | ハケ目 | |
| 壺 | Ⅳ | Y92 | 45 | N17E9 | 6 | 口径9.8 器高7.7 | 頸部やや長い | | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅳ | Y93 | 45 | N16E7 | 6 | 口径13.8 器高7.5 | | 直線文4(ヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | Ⅳ | Y94 | 37 | N21E6 | 4 | 口径14.8 器高5.6 | | | ハケ目, ナデ | |
| 壺 | Ⅳ | Y95 | 46 | N25E8 | 第2河道 堆積土 | | | | ナデ | 歪み著しい |
| 壺 | Ⅳ | Y96 | 48 | N14E6 | 5-2 | 口径13.2 器高21.5 底径7.4 | | | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ? | |
| 壺 | Ⅳ | Y97 | 48 | N20E5 | | 口径17.4 器高11.6 | | 直線文?(ヘラ)一周せず | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | Ⅳ | Y98 | 46 | N16E7 | 6 | 口径24.6 器高10.8 | | | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | ⅡかⅢ | Y99 | 46 | N22E6 | 4 | 口径41.0 器高10.4 | | 突帯文Bb | ハケ目, ヘラミガキ, ヨコナデ | |
| 壺 | Ⅳ | Y100 | 46 | N16E7 | 6 | 口径14.6 | | 直線文3(ヘラ)+段 | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅳ | Y101 | 46 | N12E5 | 4 | 口径16.0 器高5.9 | | 直線文3(ヘラ)+段 | ナデ, ハケ目 | |
| 壺 | Ⅳ | Y102 | 46 | | | 口径17.9 器高7.3 | | 直線文3(ヘラ)+段 | ヘラミガキ, ヨコナデ | |
| 壺 | Ⅳ | Y103 | 46 | N11E7 | 4 | 口径19.2 器高6.9 | | 鋸歯文(ヘラ) | ハケ目, ヨコナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|------------------|------|-------|-----------------------|-------------|---------------------------|---------|--------------------|------------------|--------|
| 壺 | Ⅳ | Y104 | 46 | N25E7 | 4-2 | 口径15.2 器高4.8 | | 突帯文Bb | ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅳ | Y105 | 46 | N19E9 | 5 | 口径10.6 器高11.0 | 胴部やや張る | 直線文7(ヘラ)+竹管文 | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | Ⅳ | Y106 | 46 | N16E7 | 5-2 | 口径18.6 器高10.4 | | 直線文10(ヘラ) | ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅳ | Y107 | 46 | N15E6 | 6 | 口径9.6 器高3.3 | | 直線文7(ヘラ) | ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅳ? | Y108 | 46 | N22E6 | 4 | 口径11.6 器高5.6 | | 直線文3(ヘラ) | ヘラミガキ? ナデ? | |
| 壺 | Ⅳ? | Y109 | 46 | N25E7 | 第2河道 堆積土 | 口径16.6 器高9.4 | 胴部かなり張る | 直線文4(ヘラ) | ヘラミガキ, ヨコナデ, ナデ | |
| 壺 | Ⅳ | Y110 | 46 | N11E4 | 4 | 口径25.8 器高6.1 | | 直線文(ヘラ)間に羽状文Aa(ヘラ) | ナデ? | |
| 壺 | Ⅱ ₂ | Y111 | 47 | N25E7 | 4-2 | 口径26.8 器高10.6 | | 羽状文Aa, 直線文10(ヘラ) | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅳ? | Y112 | 46 | | 4 | 口径11.4 器高6.1 | 胴部やや張る | | ハケ目, ナデ | |
| 壺 | V | Y113 | 47 | N17E8 N17E7 ベルト | 6 | 口径12.2 器高9.0 | 胴部張る | 直線文3(ヘラ) | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₄ ? | Y114 | 47 | N20 ~22 E5~6 | 4 | 口径40.0 器高14.0 | | 段 | ハケ目, ナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅳ | Y115 | 46 | N13E5 | 4 | 口径12.6 器高4.7 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | V | Y116 | 47 | N25E7 | 4-2 | 口径11.6 器高8.4 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | V | Y117 | 47 | N10E7 | 5-2 | 口径19.4 器高15.0 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | V | Y118 | 47 | N12E4 | 4 | 口径14.8 器高16.5 | | | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | Ⅳ | Y119 | 49 | N18E9 | 5 | 口径9.5 器高11.0 底径5.8 | | 直線文3(ヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | V? | Y120 | 47 | N16E7 | 5-1 | 口径15.4 器高4.3 | 口縁短い | | ヨコナデ? | |
| 壺 | V? | Y121 | 47 | N26E7 | 4-1 | 口径14.0 器高7.6 | 口縁短い | 直線文(ヘラ) | | |
| 壺 | V | Y122 | 47 | N16E7 | 6 | 口径14.6 器高7.0 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅶ | Y123 | 49 | N17E9 | 6 | 口径10.6 器高16.3 底径7.8 | 胴部張る | | ヘラミガキ | |
| 壺 | V | Y124 | 48 | N22E5 | 6 | 口径11.4 器高8.2 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅳ? | Y125 | 48 | N26E7 | 4-1 | 口径10.6 器高6.7 | | 直線文1(ヘラ) | ハケ目, ナデ? | 全体にいびつ |
| 壺 | Ⅶ | Y126 | 48 | N16E8 | 4 | 口径8.4 器高9.2 | 肩部張らず | | ハケ目, ナデ | |
| 壺 | I? | Y127 | | N16E7 | 4 | 口径5.0 器高3.0 | | | ヨコナデ? | |
| 壺 | Ⅶ | Y128 | 49 | N22E6 | 5 | 口径11.8 器高12.8 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅶ | Y129 | 49 | N10E5 | 5-1 | 口径8.3 器高11.6 底径6.3 | 肩部張らず | | ヘラミガキ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-----|-------------------|------|-------|-------|-----|--------------------------|---------|--------------------------|-----------------|-------|
| 壺 | V | Y130 | 48 | N16E8 | 4 | 口径5.2 器高10.6 底径4.6 | 底部高台状 | | ナデ | |
| 壺 | IV | Y131 | 48 | N11E4 | 4 | 口径6.8 器高7.8 | | 口唇刻目文, 直線文3(ヘラ) | ナデ | |
| 壺 | I? | Y132 | 48 | N12E8 | 4 | 口径6.8 器高7.1 | | 縦横の直線文(ヘラ) | | |
| 壺 | V? | Y133 | 49 | N21E5 | 5 | 口径5.7 器高7.9 底径3.8 | | | ハケ目, ナデ | |
| 壺 | VI | Y134 | 48 | N16E8 | 6 | 口径16.4 器高14.7 | 逆「L」字口縁 | 直線文5(ヘラ) | ハケ目, ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | VII | Y135 | 48 | N10E7 | 4 | 口径16.6 器高5.9 | 逆「L」字口縁 | | | |
| 壺 | V? | Y136 | | N22E6 | 5 | 器高6.4 底径5.7 | | | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | II ₁ ? | Y137 | 49 | N12E5 | 6 | 器高14.1 | | 直線文8~9(ヘラ) | ヘラミガキ | |
| 壺 | III? | Y138 | 49 | | | 器高7.0 | | 突帯文Bb | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | | Y139 | 48 | N12E5 | 6 | 器高6.7 | | 突帯文Ba, 段+直線文(貝) | ハケ目, ヘラミガキ? | |
| 壺 | VI? | Y140 | 49 | N21E5 | 6 | 器高8.8 | | 突帯文Aa | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | | Y141 | 49 | | | 器高5.8 | | 突帯文Ba | ヘラミガキ, ハケ目 | 松江市保管 |
| 壺 | | Y142 | 50 | N22E6 | 5 | 器高17.5 | 胴部鋭く張る | 段+直線文2(ヘラ) +羽状文Aa(ヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| 壺 | II? | Y143 | 49 | | | 器高14.1 底径6.5 | | 直線文3(ヘラ) | ハケ目, ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | II? | Y144 | | N22E5 | 4 | 器高9.1 底径5.4 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | II? | Y145 | 50 | N21E6 | 4 | 器高11.6 底径6.2 | | 刻目突帯文Aa | ヘラミガキ | |
| 壺 | II | Y146 | 50 | | | 器高14.0 底径6.0 | | 直線文3(ヘラ) | | 松江市保管 |
| 壺 | IIかIV | Y147 | 50 | N21E7 | 4-2 | 器高25.8 底径8.6 | | 直線文4(ヘラ)+段, 直線文1(ヘラ) | ハケ目, ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | I | Y148 | | N16E7 | 6 | 器高23.8 底径9.0 | | ヘラ直線文を調整して段とする | ハケ目, ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | I ₄ ? | Y149 | 50 | N22E5 | 4 | 器高19.7 底径8.8 | | 段 | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ? | |
| 壺 | I ₄ ? | Y150 | | N22E6 | 4 | 器高15.1 底径8.4 | | 直線文2(ヘラ) | ヘラミガキ, ナデ | 底部に施文 |
| 壺 | IかIV | Y151 | 50 | N20E5 | 4 | 器高12.6 底径9.0 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₄ ? | Y152 | | N22E5 | 4 | 器高18.1 底径9.5 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₄ ? | Y153 | | N26E7 | 5 | 器高13.8 底径9.0 | | | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | III | Y154 | | N20E5 | 4 | 器高20.4 底径11.0 | | | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| 無頸壺 | | Y155 | 51 | N26E7 | 4-1 | 口径10.0 器高2.1 | | 刻目突帯文Aa | ナデ, ヘラミガキ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-----|----|------|-------|---------------------|-------------|---------------------------|-------|------------------------|---------------------|-------|
| 短頸壺 | | Y156 | 51 | N12E5 | 4 | 口径11.6 器高3.0 | | 直線文3(ヘラ) | | |
| 無頸壺 | | Y157 | 51 | N12E5 | 4 | 口径13.4 器高5.6 | | 突帯文Ac | | |
| 無頸壺 | | Y158 | 51 | N17E9 | 4 | 口径13.0 器高7.3 | | | ヘラミガキ, ハケ目, ヨコナデ | |
| 無頸壺 | | Y159 | 51 | N26E7 | 6 | 口径12.6 器高11.0 底径7.4 | | 羽状文Ab(ヘラ), 区画線文(ヘラ) | ヘラミガキ | |
| 無頸壺 | | Y160 | 51 | N13E4 N13E5 | 4 | 口径9.2 器高9.9 底径7.9 | | | ヘラミガキ | |
| 無頸壺 | | Y161 | 51 | N16E7 | 6 | 口径5.1 器高6.6 底径3.7 | | | ヘラミガキ | |
| 無頸壺 | | Y162 | 51 | N26E7 | 4-1 | 口径9.8 器高13.2 底径7.2 | | | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 無頸壺 | | Y163 | 50 | N26E6 | 4-2 | 口径9.8 器高8.8 底径7.2 | | | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y164 | 51 | N21E5 | 4 | 口径34.2 器高6.7 | | 口唇刻目文, 段上に 刻目文 | ハケ目, ナデ? | |
| 甕 | I | Y165 | 51 | N16E8 | 4 | 口径32.4 器高14.4 | | 口唇刻目文, 段 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y166 | 51 | N22E6 | 4 | 口径34.0 器高7.6 | | 段 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y167 | 52 | N16E7 | 6 | 口径37.0 器高12.0 | | 口唇刻目文, 段 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y168 | 51 | N13E5 | 第2河道 堆積土 | 口径31.2 器高8.2 | | 段 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y169 | 52 | N10E7 | 4 | 口径27.0 器高10.3 | | 段 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y170 | 51 | | | 口径23.8 器高4.0 | | 口唇刻目文, 段 | ハケ目 | 松江市保管 |
| 甕 | I | Y171 | 52 | N21E5 | 4 | 口径19.6 器高3.9 | | 段 | ヨコナデ? | |
| 甕 | I | Y172 | 52 | N15E6 | 4 | 口径16.6 器高10.3 | | 段 | ハケ目 | |
| 甕 | I | Y173 | 52 | | | 口径16.4 器高4.0 | | 口唇刻目文, 直線文 1(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y174 | 52 | N16E8 | 6 | 口径22.6 器高13.6 | | 直線文1(ヘラ) | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y175 | 52 | N26E7 | 4-2 | 口径33.6 器高10.6 | | 直線文1(ヘラ) | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y176 | 52 | N26E7 | 4-2 | 口径23.4 | | 口唇刻目文, 直線文 1(ヘラ) | ハケ目, ナデ? | |
| 甕 | I | Y177 | 52 | N25E7 | 第2河道 堆積土 | 口径24.2 器高7.3 | 胴部張る | 直線文1(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y178 | 52 | N25E7 | 第2河道 堆積土 | 口径24.0 器高16.2 | | 口唇刻目文, 直線文 2(ヘラ) | ハケ目 | |
| 甕 | I | Y179 | 51 | N21E5 | 5 | 口径13.5 器高12.4 底径5.4 | | 直線文1(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y180 | 52 | N12E5 | 4 | 口径6.2 器高3.1 | | 口唇刻目文, 直線文 2(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y181 | 51 | N11E4 | 4 | 口径13.6 器高15.4 底径6.5 | | 直線文2(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----|------|-------|---------------------|-------------|------------------|--------|------------------------------------|----------------------|-------|
| 甕 | I | Y182 | 52 | N21E7 | 4-1 | 口径31.8 器高8.4 | | 口唇刻目文, 直線文2(ヘラ) | ヨコナデ, ナデ? | |
| 壺 | I | Y183 | 52 | N17E9 | 4 | 口径28.0 器高17.0 | | 口唇刻目文, 直線文2(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y184 | 52 | N16E7 | 6 | 口径12.0 器高6.1 | | 直線文3(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y185 | 53 | E8 ライン N17~18 | 4 | 口径14.8 器高5.7 | | 直線文3(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y186 | 53 | N21E5 | 4 | 口径25.6 器高10.3 | 胴部張る | 直線文3(ヘラ) | ナデ, ハケ目 | |
| 甕 | I | Y187 | 53 | N16E7 | 6 | 口径13.4 器高11.7 | | 直線文3(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y188 | 53 | N17E8 | 6 | 口径23.4 器高9.4 | | 口唇刻目文, 直線文4(ヘラ) | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y189 | 53 | N16E8 | 4 | 口径21.4 器高7.2 | | 直線文4(ヘラ) | ナデ | |
| 甕 | I | Y190 | 53 | | | 口径23.6 器高7.6 | | 口唇刻目文, 直線文5(ヘラ) | ヨコナデ | 松江市保管 |
| 甕 | I | Y191 | 53 | N25E7 | 第2河道 堆積土 | 口径28.8 器高4.2 | 口縁短い | 口唇刻目文, 直線文5(ヘラ) | ナデ, ハケ目 | |
| 甕 | I | Y192 | 53 | N27E7 | 4-1 | 口径20.0 器高19.6 | | 口唇刻目文, 直線文5(ヘラ) | ハケ目, ナデ, ヨコ ナデ | |
| 甕 | I | Y193 | 53 | | | 口径25.6 | | 直線文5(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y194 | 53 | N11E4 | 4 | 口径26.2 器高9.9 | 胴部やや張る | 口唇刻目文, 直線文11(ヘラ) | ナデ, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y195 | 53 | N15E6 | 5-1 | 口径29.6 器高7.5 | | 羽状文Aa(ヘラ), 直線文6(ヘラ) | ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y196 | 53 | N27E7 | 4-1 | 口径18.0 器高8.6 | | 直線文6(ヘラ) | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y197 | 53 | | | 口径31.8 器高5.4 | | 口唇刻目文, 直線文(ヘラ)と段の間に刺突文, 縦の直線文3(ヘラ) | ハケ目, ヨコナデ, ナデ? | |
| 甕 | I | Y198 | 54 | N26E8 | 6 | 口径24.8 器高9.1 | | 直線文(ヘラ)間に円形刺突文 | ナデ, ハケ目 | |
| 甕 | I | Y199 | 53 | N16E7 | 4 | 口径29.4 器高10.5 | | 口唇刻目文, 直線文(ヘラ)間に竹管文 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y200 | 54 | N22E5 | 4 | 口径27.4 器高20.7 | | 口唇刻目文, 直線文(ヘラ)間に刺突文 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y201 | 54 | N18E8 | 4 | 口径32.4 器高8.8 | | 直線文(ヘラ)間に楕円形刺突文 | ナデ? | |
| 甕 | I | Y202 | 54 | N16E7 | 6 | 口径28.6 器高7.2 | | 直線文(ヘラ)間に刺突文, 口唇刻目文 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y203 | 54 | N25E7 | 4-1 | 口径26.0 器高12.2 | 胴部張る | 直線文2~3(ヘラ)間に竹管文 | ナデ? | |
| 甕 | I | Y204 | 54 | N14E4 | 5 | 口径12.6 器高8.0 | | 直線文6(ヘラ)+円形刺突文 | | |
| 甕 | I | Y205 | 54 | N17 E8~7 | 6 | 口径11.4 器高4.8 | | 口唇刻目文, 直線文5~6(ヘラ)+円形刺突文 | ナデ | |
| 甕 | I | Y206 | 54 | N27E7 | 4-1 | 口径23.4 器高11.1 | | 直線文10(ヘラ)+円形刺突文 | ヘラミガキ, ヨコナ デ, ハケ目 | |
| 甕 | I | Y207 | 54 | N19E9 | 4 | 口径17.0 器高10.0 | | 口唇刻目文, 直線文7(ヘラ)+竹管文2列 | ハケ目, ナデ | |

| 器種 | 分類 | 図番 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|-----|------|-------|--------------------|-------------|------------------|-------|-------------------------------------|------------------|------------------|
| 甕 | I | Y208 | 54 | | | 口径22.6 器高 6.6 | | 直線文(ヘラ)間に刺突文 | | 松江市保管 |
| 甕 | I | Y209 | 54 | N27E7 | 4-2 | 口径17.8 器高 6.4 | | 直線文2(ヘラ)+重弧文(ヘラ), 羽状文B(ヘラ)+重弧文?(ヘラ) | | |
| 甕 | I | Y210 | 54 | N20E5 | 4 | 口径31.6 器高 9.4 | | 突帯文Bb上に竹管文 | | |
| 甕 | I | Y211 | 54 | N18E9 | 4 | 口径23.4 器高11.3 | | 口唇刻目文, 突帯文Aa | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y212 | 54 | | 4 | 口径22.6 器高 5.3 | | 口唇刻目文, 刻目突帯文Aa, 直線文2(ヘラ) | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ | 松江市保管 鉢の可能性有り |
| 甕 | I | Y213 | 54 | N15E4 | 4 | 口径19.2 器高 6.1 | | 口唇刻目文, 刻目突帯文Ab, 直線文2(ヘラ) | ハケ目 | |
| 甕 | I | Y214 | 54 | N16E7 | 6 | 口径17.4 器高 4.7 | | 口唇刻目文, 刻目突帯文Aa | | |
| 甕 | I | Y215 | 55 | N16E7 | 6 | 口径20.0 器高 5.6 | | 突帯文Bb | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | I | Y216 | 55 | N17E8 | 6 | 口径30.0 器高 5.6 | | 口唇刻目文, 突帯文Aa上に刺突文 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | II? | Y217 | 55 | | | 口径21.2 器高 7.1 | | 突帯文Aa | ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 甕 | II | Y218 | 55 | N22E6 | 4 | 口径19.8 器高 4.0 | | 口唇刻目文, 段 | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | II | Y219 | 55 | N14E6 | 4 | 口径16.0 器高 5.2 | | 直線文4(ヘラ) | | |
| 甕 | II | Y220 | 55 | N21E5 | 4 | 口径20.5 器高 6.1 | | 直線文8(ヘラ)+段+刺突文 | | |
| 甕 | II | Y221 | 55 | N20E5 | 4 | 口径16.6 器高 5.3 | | 口唇刻目文, 直線文5(ヘラ) | ナデ, ハケ目 | |
| 甕 | II | Y222 | 55 | N16E7 | 4 | 口径19.0 器高 6.5 | | 直線文6(ヘラ)+楕円形刺突文 | ナデ, ハケ目 | |
| 甕 | II | Y223 | 55 | N20 ~22 E5・6 | 4 | 口径19.8 器高 7.8 | | 口唇刻目文, 直線文2帯(各3条, ヘラ) | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | II | Y224 | 55 | N20E5 | 4 | 口径20.2 器高 6.7 | | 直線文9(ヘラ) 口唇刻目文 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | II | Y225 | 55 | N25E7 | 第2河道 堆積土 | 口径22.4 器高 4.1 | | 口唇刻目文, 直線文5(ヘラ)+段 | ナデ | |
| 甕 | II | Y226 | 55 | N13E7 | 4 | 口径15.0 器高 5.2 | | 口唇刻目文, 直線文2~3(ヘラ)間に竹管文 | ハケ目, ナデ?, ヨコナデ | |
| 甕 | II | Y227 | 55 | N12E4 | 4 | 口径20.8 器高 6.6 | | 口唇刻目文, 直線文7(ヘラ)+竹管文 | ナデ, ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | II | Y228 | 55 | N25E7 | 第2河道 堆積土 | 口径32.6 器高 6.4 | | 口唇刻目文, 直線文3(ヘラ) | ナデ | |
| 甕 | II | Y229 | 55 | N26E7 | 4-2 | | | 口唇刻目文, 段? | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 甕 | II | Y230 | 55 | N18E8 | 5 | 口径22.0 器高10.1 | | 口唇刻目文, 竹管文2列 | | |
| 鉢 | I | Y231 | 55 | N13E5 | 4 | 口径27.2 器高10.0 | | 口唇刻目文, 直線文1(ヘラ) | ハケ目, ナデ, ヨコナデ | |
| 鉢 | I | Y232 | 55 | N21E6 | 4 | 口径25.4 器高 8.9 | | 直線文3(ヘラ) | ハケ目, ナデ, ヨコナデ | |
| 鉢 | I | Y233 | 55 | N16E7 | 4-1 | 口径23.0 器高 7.2 | 口唇面取 | | ヘラミガキ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|-----|------|-------|--------------------|-----|----------------------------|-----------|---------------------|------------------|----|
| 鉢 | I | Y234 | 55 | N25E7 | 4-2 | 口径25.4 器高 9.5 | | | ヘラミガキ | |
| 鉢 | I | Y235 | 55 | N20E5 | 4 | 口径26.0 | | | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 鉢 | I | Y236 | 56 | N27E7 | 4-2 | 口径27.6 器高 5.0 | | | ハケ目, ナデかヘラミガキ | |
| 鉢 | I | Y237 | 56 | E4 ライン N12E3 | 4 | 口径28.7 器高 5.4 | | | ヨコナデ, ヘラミガキ? | |
| 鉢 | I | Y238 | 56 | N25E7 | 4-2 | 口径18.0 器高 6.1 | | 口唇刻目文, 直線文(ヘラ)間に竹管文 | ナデ | |
| 鉢 | II | Y239 | 56 | N19E9 | 4 | 口径19.0 器高 6.4 | | | ハケ目 | |
| 鉢 | I | Y240 | 56 | N16E7 | 6 | 口径17.4 器高 5.5 | | | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 鉢 | I | Y241 | 56 | N25E7 | 4-2 | 口径26.1 器高 6.2 | | 突帯文Aa | | |
| 鉢 | I | Y242 | 56 | N26E7 | 5 | 口径23.0 器高 7.2 | 口唇面取 | | ヘラミガキ | |
| 鉢 | I | Y243 | 56 | N15E6 | 5 | 口径20.4 器高 5.3 | つまみ, 口唇面取 | | ヘラミガキ? | |
| 鉢 | I | Y244 | 56 | | | 口径22.2 器高 6.3 | つまみ, 口唇面取 | | ヨコナデ, ハケ目, ヘラミガキ | |
| 鉢 | I | Y245 | | N26E7 | 4-1 | 口径18.4 器高12.8 底径 6.6 | | | ヘラミガキ | |
| 鉢 | I | Y246 | 56 | N18E9 | 4 | 口径27.2 器高11.0 | つまみ, 口唇面取 | | ヘラミガキ | |
| 鉢 | II | Y247 | 57 | N26E7 | 6 | 口径12.1 器高 7.1 底径 6.4 | | | ヘラミガキ, ナデ | |
| 鉢 | II | Y248 | 57 | N25E7 | 4-2 | 口径 9.0 器高 5.0 底径 4.2 | | | ヘラミガキ, ナデ | |
| 鉢 | III | Y249 | 56 | N15E6 | 4 | 口径28.0 器高 8.3 | つまみ | | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 鉢 | III | Y250 | 56 | N13E4 | 4 | 口径22.8 器高 8.6 | 口唇面取 | | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 鉢 | III | Y251 | 56 | N12E7 | 4 | 口径13.0 器高 3.1 | つまみ | 直線文(ヘラ) | ハケ目 | |
| 鉢 | III | Y252 | 56 | N18E9 | 5-1 | 口径15.8 器高 5.4 | 浅身, 口唇面取 | | ハケ目, 強いナデ | |
| 鉢 | III | Y253 | 56 | N17E9 | 6 | 口径16.2 器高 7.1 | | | ヘラミガキ, ハケ目, ヨコナデ | |
| 鉢 | III | Y254 | 57 | N18E8 | 4 | 口径17.2 器高10.9 底径 9.0 | 口唇肥厚 | | ハケ目 | |
| 鉢 | III | Y255 | 57 | N16E7 | 5-1 | 口径13.0 器高11.8 底径 6.9 | 凹み底 | | ナデ, ハケ目, ヘラミガキ? | |
| 蓋 | | Y256 | 56 | N12E5 | 7 | | つまみ2個 | | ヘラミガキ, ナデ | |
| 蓋 | | Y257 | 57 | N17E9 | 4 | 口径 9.8 器高 4.6 天井径2.8 | | | ヨコナデ | |
| 蓋 | | Y258 | 57 | N21E5 | 4 | 器高 6.5 天井径4.5 | | | ハケ目, ナデ | |
| 蓋 | | Y259 | 57 | N22E5 | 4 | 器高 6.7 天井径4.8 | | 刻目文, 直線文(ヘラ)間に竹管文 | ハケ目, ナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----|------|-------|-------|-------------|------------------------------|----------|----------------|-----------------|-------|
| 蓋 | | Y260 | 56 | N13E6 | 4 | 器高 4.8 | つまみ | | | |
| 蓋 | | Y261 | 57 | N15E6 | 6-1 | 口径 7.8 器高 3.4 | つまみ | | ヘラミガキ | |
| 蓋 | | Y262 | 57 | N15E7 | 6 | 口径 7.4 器高 2.8 天井径 1.4 | つまみ | | ナデ | |
| 蓋 | | Y263 | 57 | | | 口径 11.2 器高 5.2 | 扁平なつまみ | | ハケ目, ナデ | |
| 蓋 | | Y264 | 57 | N13E7 | 4 | 口径 8.2 器高 3.2 天井径 1.5 | | | | |
| 蓋 | | Y265 | 56 | N12E5 | 4 | 口径 6.4 器高 2.0 天井径 1.5 | 環状のつまみ | | | |
| 蓋 | | Y266 | 57 | N18E8 | 6 | 器高 6.6 天井径 6.2 | 環状のつまみ | 直線文 1 (ヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| 蓋 | | Y267 | 56 | N16E8 | 4 | 口径 15.2 器高 6.6 天井径 6.2 | | | | |
| 蓋 | | Y268 | | N12E7 | 4 | 器高 6.8 天井径 5.2 | | | ハケ目, ナデ | |
| 蓋 | | Y269 | 57 | N15E7 | 6 | 口径 19.6 器高 8.5 天井径 6.9 | | | ハケ目, ナデ | |
| 蓋 | | Y270 | 57 | N16E7 | 4 | 器高 7.3 天井径 6.6 | | | ヘラミガキ | |
| 蓋 | | Y271 | 57 | N21E6 | 6 | 口径 28.8 器高 9.5 天井径 7.2 | | | ヘラミガキ, ナデ | |
| 蓋 | | Y272 | | N20E5 | 6 | 器高 8.3 天井径 7.0 | 環状のつまみ | | ハケ目, ナデ, ヘラミガキ? | |
| 蓋 | | Y273 | 57 | N22E6 | 5 | 器高 20.2 天井径 7.6 | 環状のつまみ | 円形の刺突文 | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | | Y274 | 56 | N17E9 | 6 | 器高 10.6 底径 10.4 | | 重弧文+直線文(ともにヘラ) | ヘラミガキ, ナデ | 底部に施文 |
| | | Y275 | 56 | N15E7 | 4 | 器高 3.0 底径 9.0 | | 直線文 2 (ヘラ) | ナデ, ヘラミガキ? | 底部に施文 |
| 壺 | | Y276 | | N13E6 | 4 | 器高 6.2 底径 5.0 | 円板状の底部 | | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | 底部に施文 |
| | | Y277 | | N15E7 | 5-1 | 器高 13.9 底径 9.0 | | 直線文(ヘラ) | ハケ目, ナデ | 底部に施文 |
| | | Y278 | 56 | N16E8 | 6 | 器高 7.6 底径 6.0 | | 縦横の直線文(ヘラ) | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | | Y279 | 56 | N12E7 | 第2河道 堆積土 | 器高 4.5 底径 5.4 | 円板状の厚い底部 | 直線文 4 (ヘラ) | ナデ | 底部に施文 |
| 壺 | | Y280 | | N12E5 | 4 | 器高 7.8 底径 6.2 | | | ヘラミガキ | |
| | | Y281 | | N22E5 | 6 | 器高 7.1 底径 7.8 | 高台状の底部 | | ハケ目, ナデ | |
| 壺 | | Y282 | | N17E8 | 6 | 器高 9.2 底径 7.0 | | | ヘラミガキ? | |
| 壺 | | Y283 | | N27E7 | 4-2 | 器高 5.7 底径 6.0 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | | Y284 | | N22E6 | 6 | 器高 2.9 底径 7.4 | | | ヘラミガキ, ナデ | |
| | | Y285 | | N25E9 | 第1河道 堆積土 | 器高 5.0 底径 7.6 | | | ハケ目, ヘラミガキ, ナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|-------|-------|---------|-------|------------------|--------|---------------------------------------|-------------------|----|
| | | Y 286 | | 第2河道堆積土 | | 器高 6.8 底径 4.6 | | | ハケ目 | |
| 壺 | | Y 287 | | N21E5 | 4 | 器高 9.4 底径 8.8 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | | Y 288 | | N22E6 | 4 | 器高 4.8 底径 8.5 | | | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | | Y 289 | | | | 器高 5.3 底径 7.2 | 底部厚い | | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| 壺 | | Y 290 | | N10E6 | 4 | 器高 7.5 底径 3.9 | | | | |
| | | Y 291 | | N22E5 | 4 | 器高 5.3 底径 6.6 | | | ハケ目, ヘラミガキ | |
| | | Y 292 | | N12E8 | 5-1 | 器高 6.0 底径 7.8 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y 293 | 58 | N27E7 | 4-2 | | | 段+直線文3(ヘラ) +羽状文Aa(ヘラ) +直線文3(ヘラ) | ナデ | |
| 壺 | | Y 294 | 58 | N13E4 | 4 | | | 羽状文Aa(貝)+直線文1(貝) | | |
| 壺 | | Y 295 | 58 | N17E8 | 5 | | | 直線文1(ヘラ)+羽状文Aa(ヘラ) | ナデ | |
| 壺 | | Y 296 | 58 | N11E7 | 4 | | 肥部鋭く屈曲 | 羽状文Aa(ヘラ)+直線文2(ヘラ) | ナデ? | |
| 壺 | IIかIII | Y 297 | 58 | N16E8 | 6 | | | 口縁羽状文B, 内面直線文間に羽状文Aa(いずれも貝) | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 壺 | I | Y 298 | 58 | N26E7 | 4-2 | | | 段+羽状文Aa(貝?) +区画直線文(ヘラ?) | ハケ目, ナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | I | Y 299 | 58 | N15E7 | 6 | | | 羽状文Aa(ヘラ)+区画直線文?(ヘラ) | ヘラミガキ, ナデ, ハケ目 | |
| 壺 | I | Y 300 | 58 | N26E7 | 4-1 | | | 段+羽状文Aa(貝) +区画直線文(貝) | ヘラミガキ | |
| 壺 | I ₃ | Y 301 | 58 | N12E4 | 4~5-1 | | | 羽状文Ab(ヘラ)+直線文5(ヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | | Y 302 | 58 | N16E7 | 6 | | | 羽状文Aa(ヘラ), 円形刺突文+区画直線文(ヘラ) | ナデ | |
| 壺 | I ₃ | Y 303 | 58 | N26E7 | 4-2 | | | 段+直線文3(ヘラ) +羽状文B(ヘラ) | | |
| 壺 | I ₃ | Y 304 | 58 | N25E7 | 4-2 | | | 段+直線文2(貝)+羽状文Aa(貝) | ヘラミガ, ハケ目 | |
| 壺 | | Y 305 | 59 | N18E8 | 6 | | | 羽状文Aa, B, 斜格子文+区画直線文(いずれもヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 壺 | | Y 306 | 59 | N21E5 | 4 | | | 羽状文B(ヘラ) | ナデ | |
| 壺 | | Y 307 | 59 | N15E6 | 4 | | | 羽状文B(貝)+区画直線文(貝) | | |
| 壺 | | Y 308 | 59 | N22E6 | 4 | | | 段+羽状文B(ヘラ) +区画直線文(ヘラ) | | |
| 壺 | | Y 309 | 59 | N21E5 | 4 | | | 段+羽状文B(貝) | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | | Y 310 | 59 | N26E7 | 4-1 | | | 段+直線文4(ヘラ) +鋸歯文(ヘラ) | ヘラミガキ | |
| 壺 | | Y 311 | 59 | N13E5 | 4 | | | 羽状文Aa+区画直線文+鋸歯文(いずれも貝) | ヘラミガキ, ナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|-----|-------|-------|---------|---------|--------|-------|---|----------------|-------|
| 壺 | I。 | Y 312 | 58 | N13E4 | 4 | | | 段+直線文2(貝)に羽状文Aa,鋸歯文(ともにヘラ)+鋸歯文Cb,Cc(ヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| 壺 | | Y 313 | 59 | N26E7 | 4-1 | | | 直線文4(貝)+鋸歯文(貝) | ヘラミガキ | |
| 壺? | | Y 314 | 59 | N25E7 | 4-1 | | | 直線文2(ヘラ)+鋸歯文(ヘラ) | | |
| 壺 | | Y 315 | 59 | N17E8 | 6 | | | 直線文4(ヘラ)+段+鋸歯文(貝) | | |
| | | Y 316 | 59 | N15E7 | 第2河道堆積土 | | | 鋸歯文 | | |
| 壺 | I。 | Y 317 | 59 | N16E8 | 4 | | | 直線文(ヘラ)+鋸歯文(貝)+羽状文Aa(貝) | | |
| 壺 | | Y 318 | 59 | N17E8 | 6 | | | 直線文1(ヘラ)+鋸歯文(ヘラ) | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | | Y 319 | 59 | N18E9 | 4 | | | 段+直線文2(ヘラ)+斜線文(鋸歯文?ヘラ) | ヘラミガキ?ハケ用, ナデ | |
| 壺 | | Y 320 | 59 | N17E9 | 6 | | | 直線文3(ヘラ)間に重弧文(ヘラ) | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺? | | Y 321 | 59 | N21E5 | 4 | | | 直線文1+重弧文(ともに貝) | ナデ | |
| 壺 | | Y 322 | 59 | N12E6 | 4 | | | 直線文2+羽状文Aa+重弧文(いずれもヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | I。 | Y 323 | 59 | | | | | 段+直線文3(ヘラ)+重弧文(ヘラ) | | |
| 壺 | | Y 324 | 59 | N16E8 | 6 | | | 重弧文, 直線文(ともに貝), 突帯文Aa | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| 壺 | | Y 325 | 59 | N16E7 | 6 | | | 直線文+重弧文(ともにヘラ) | ナデ | |
| 壺 | | Y 326 | 59 | N14E5 | 4 | | | 直線文4(ヘラ), 弧文(貝) | | |
| 壺 | | Y 327 | 59 | N26E7 | 4-2 | | | 突帯文Bb上に格子文(ヘラ) | ヘラミガキ | |
| 壺 | | Y 328 | 59 | | | | | 直線文4(ヘラ)+短線文(ヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目 | 松江市保管 |
| 壺 | ⅡかⅢ | Y 329 | 59 | N18E9 | 4 | | | 内面直線文(3~4)間に斜線文(いずれも貝) | ナデ | |
| 壺 | | Y 330 | 59 | N17E9 | 4 | | | 直線文2(ヘラ)+縦短線文(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 壺 | | Y 331 | 59 | N17E8 | | | | 横 短線文(ヘラ) | | |
| 壺 | | Y 332 | 59 | N12E4 | 4 | | | 直線文2(貝)+短線文(貝刺突文による) | ヘラミガキ | |
| 壺 | | Y 333 | 59 | N20E5 | 4 | | | 直線文2(ヘラ)間に短線文 | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | | Y 334 | 59 | N27E7 | 4-2 | | 胴部屈曲 | 弧文(ヘラ) | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | | Y 335 | 59 | N26E7 | 4-2 | | 胴部屈曲 | 直線文4(貝) | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | | Y 336 | 60 | N17E8~7 | 4 | | | 羽状文Aa+斜格子文+直線文3(いずれもヘラ) | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | | Y 337 | 60 | N11E4 | 4 | | | 段+凹形刺突文2列+直線文2+斜格子文, 刺突文(いずれも貝)突帯文Ab? | ナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|-------|-------|-------|---------|--------|-------|--------------------------------------|----------------|-------|
| 壺 | | Y 338 | 60 | | | | | 段+格子文(貝) | | 松江市保管 |
| 壺 | | Y 339 | 60 | N16E7 | 5-1 | | | 斜軸木葉文(ヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| 壺 | | Y 340 | 60 | N16E7 | 6 | | | 無軸木葉文(ヘラ)区画直線文(ヘラ) | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | | Y 341 | 60 | N12E4 | 4 | | | 斜軸木葉文(ヘラ)区画直線文(ヘラ) | | |
| 壺 | | Y 342 | 60 | N19E9 | 4 | | | 斜軸木葉文(ヘラ)区画直線文(ヘラ) | | |
| 壺 | | Y 343 | 60 | N15E7 | 6 | | | 縦軸?木葉文(ヘラ) | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | | Y 344 | 60 | N16E8 | 6 | | | 刺突文+斜軸木葉(ヘラ)+区画直線文(ヘラ) | ナデ? | |
| 壺 | | Y 345 | 60 | N17E9 | 5-1 | | | 縦軸?木葉文(貝) | ヘラミガキ? | |
| 壺 | | Y 346 | 60 | N18E9 | 4 | | | 直線文+斜軸木葉文(ともにヘラ) | | |
| 壺 | | Y 347 | 60 | N22E6 | 4 | | | 縦軸?木葉文 | | |
| 壺 | | Y 348 | 60 | N17E7 | 6 | | | 斜軸木葉文+区画直線文(ともにヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 壺 | | Y 349 | 60 | N11E4 | 4 | | | 斜軸木葉文+区画直線文(ともに貝)突帯文A? | ヘラミガキ, ナデ? | |
| 壺 | | Y 350 | 60 | N12E4 | 5-1 | | | 縦軸木葉文(貝)+直線文(貝)刺突文 | | |
| 壺 | | Y 351 | 60 | N16E8 | 第2河道堆積土 | | | 羽状文Aa, 区画直線文, 無軸木葉文(いずれも貝) | | |
| 壺 | | Y 352 | 60 | | | | | 突帯文, 鋸歯文, 木葉文(ヘラ) | | 松江市保管 |
| 壺 | | Y 353 | 60 | N15E6 | 4 | | | 木葉文+区画直線ともにヘラ) | | |
| 壺 | I ₃ | Y 354 | 60 | N10E6 | 4 | | | 段+竹管文+直線文1(ヘラ) | ヘラミガキ | |
| 壺 | I | Y 355 | 60 | | | | | 段+円形刺突文3列 | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | | Y 356 | 60 | N12E4 | 4 | | | 直線文(ヘラ)間に竹管文 | | |
| 壺 | | Y 357 | 60 | N13E8 | 4 | | | 直線文(ヘラ)間に三角形刺突文+羽状文Aa(貝)+区画直線文(ヘラ) | | |
| 壺 | | Y 358 | 60 | N12E6 | 第2河道堆積土 | | | 直線文(ヘラ)間に山形に円形刺突文 | | |
| 壺 | | Y 359 | 60 | | | | | 直線文5(ヘラ)+三角形刺突文+羽状文, Aa(貝)+区画直線文(ヘラ) | | |
| 壺 | | Y 360 | 60 | N7E8 | 6 | | | 段+流水文(貝) | | |
| 壺 | | Y 361 | 60 | N11E4 | 4 | | | 羽状文Aa+流水文? | | |
| 壺 | | Y 362 | 60 | N17E8 | 6 | | | 突帯文Ba | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | | Y 363 | 61 | N22E6 | 4 | | | 突帯文Ba | | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|-----|------|-------|-------|---------|--------|-------|------------------------------------|----------------|----|
| 壺 | ⅡかⅢ | Y364 | 61 | N27E7 | 4-1 | | | 突帯文Ba上に刻目文 | ヘラミガキ | |
| 壺 | | Y365 | 61 | N17E8 | 6 | | | 突帯文Ba | ハケ目 | |
| 壺 | | Y366 | 61 | N12E4 | 4 | | | 突帯文Bb | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| 壺 | I | Y367 | 61 | N13E5 | 4 | | | 突帯文Bb, 羽状文Aa(貝) | | |
| 壺 | I? | Y368 | 61 | N17E8 | 6 | | | 突帯文Ba上に円形刺突文2列 | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | I | Y369 | 61 | N18E8 | 6 | | | 突帯文Bb上に羽状文B(貝), 羽状文Aa(貝) | ナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | I | Y370 | 61 | N25E7 | 第2河道堆積土 | | | 突帯文Bb, 羽状文Aa(ヘラ) | | |
| 壺 | Ⅱ | Y371 | 61 | N12E4 | 4 | | | 突帯文Ac, 羽状文Aa(貝) | | |
| 壺 | | Y372 | 61 | N26E7 | 4-2 | | | 羽状文B(貝)+直線文(貝) 刻目突帯文Aa | ナデ | |
| 壺 | | Y373 | 61 | N26E5 | 4 | | | 羽状文Aa+直線文3(ともに貝) 刻目突帯文Ab | ハケ目, ナデ | |
| 壺 | | Y374 | 61 | N17E8 | 4 | | | 刻目突帯文Aa, 羽状文Aa(ヘラ?) +区画直線文(ヘラ?) | ナデ | |
| 壺 | | Y375 | 61 | N16E7 | 4 | | | 突帯文Ab | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | | Y376 | 61 | N11E4 | 4 | | | 刻目突帯文Ab | ヘラミガキ? | |
| 壺 | ⅡかⅢ | Y377 | 61 | N17E8 | 5 | | | 突帯文Ab? | ハケ目, ナデ | |
| 壺 | | Y378 | 61 | | 4 | | | 直線文2(貝), 突帯文Ac(直線文は貝) | ハケ目, ナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | | Y379 | 61 | N12E5 | 6 | | | 羽状文Aa(貝) 突帯文Ac(貝) | | |
| 壺 | I | Y380 | 61 | N14E6 | 4 | | | 突帯文Ac | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| 壺 | | Y381 | 61 | N19E9 | 4 | | | 刻目突帯文Ac, 羽状文Aa(貝) | ナデ | |
| 壺 | | Y382 | 61 | N17E8 | 6 | | | 刻目突帯文Ac | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | ⅡかⅢ | Y383 | 61 | | | | | 直線文3(ヘラ), 内面に突帯文Aa | | |
| 壺 | | Y384 | 61 | N27E7 | 4-2 | | | 刻目突帯文Ac | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | | Y385 | 61 | N17E8 | 6 | | | 突帯文Ac上に羽状文B(貝) | ナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | | Y386 | 62 | N16E8 | 6 | | | 羽状文Aa+直線文(ともに貝), 突帯文Ac(大小の刻目文を施文) | ナデ | |
| 壺 | | Y387 | 62 | N16E7 | 6 | | | 直線文(ヘラ, 貝), 重弧文?(貝), 突帯文Ab | | |
| 壺 | | Y388 | 62 | N18E9 | 4 | | | 横 突帯文Ab 縦 突帯文Aa | ヘラミガキ | |
| 壺 | | Y389 | 62 | N13E4 | 4 | | | 縦横の刻目突帯文A | ヘラミガキ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-----|----|-------|-------|----------------|-------------|--------|-------|------------------------------|-----------------|----|
| 無頭壺 | | Y 390 | 62 | N16E7 | 4 | | | 突帯文Ac | ヘラミガキ, ナデ | |
| 短頸壺 | | Y 391 | 62 | N11E4 | 4 | | | 刻目突帯文Ac | ヨコナデ | |
| 壺 | | Y 392 | 62 | N21E6 | 4 | | | 渦状突帯文Aa | | |
| 甕 | I | Y 393 | 62 | N27E7 | 4-2 | | | 段上に刻目文, 口唇刻目文 | ヘラミガキ | |
| 甕 | I | Y 394 | 62 | N27E7 | 4-1 | | | 段上に刻目文 | ナデ? | |
| 甕 | II | Y 395 | 62 | N16E8 | 6 | | | 段 | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 無頭壺 | | Y 396 | 62 | N17E8 N18E8 | 第2河道 堆積土 | | | 直線文10(ヘラ)+刺突文 | ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | II | Y 397 | 62 | N12E8 | 4 | | | 口唇刻目, 直線文2(ヘラ)間に円形刺突文 | | |
| 甕 | II | Y 398 | 62 | N12E7 | 4 | | | 口唇羽状文B, 直線文6(ヘラ) | ナデ? | |
| 甕 | II | Y 399 | 62 | N11E4 | 4 | | | 口唇羽状文B, 直線文6(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | II | Y 400 | 62 | N10E7 | 第2河道 堆積土 | | | 口唇刻目文, 直線文3(ヘラ) | ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | II | Y 401 | 62 | N16E7 | 第2河道 堆積土 | | | 直線文(ヘラ)間に円形刺突文 | ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y 402 | 62 | N16E8 | 第2河道 堆積土 | | | 直線文(ヘラ)+段 | ハケ目, ナデ? | |
| 甕 | I | Y 403 | 62 | N21E5 | 4 | | | 口唇刻目文, 直線文2(ヘラ)+段 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y 404 | 62 | N25E7 | 第2河道 堆積土 | | | 直線文1(ヘラ)+段 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y 405 | 62 | | | | | 段を2回施す, 口唇刻目文 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y 406 | 62 | N17E8 | 6 | | | 直線文(ヘラ)+段 | ハケ目, ナデ? | |
| 甕 | I | Y 407 | 62 | N16E8 | 6 | | | 口唇刻目文, 直線文4(ヘラ)+段 | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y 408 | 62 | N16E8 | 6 | | | 口唇刻目文, 直線文4(ヘラ)+段 | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | I | Y 409 | 62 | N21E7 | 4 | | | 直線文4(ヘラ)+段 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y 410 | 62 | | | | | 段+直線文1(ヘラ) | ハケ目 | |
| 甕 | I | Y 411 | 62 | N27E7 | 4-2 | | | 段+直線文2(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | | Y 412 | 62 | N19E9 | 4 | | | 段+刺突文+直線文(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | | Y 413 | 62 | N17E8 | 6 | | | 段+直線文1(ヘラ), 縦方向の直線文(ヘラ)間に竹管文 | ハケ目, ハケ目, ヨコナデ? | |
| 甕 | I | Y 414 | 63 | N27E7 | 4-1 | | | 直線文4~5(ヘラ)間に刺突文3列 | ヘラミガキ, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y 415 | 63 | N17E9 | 4 | | | 口唇羽状文B, 直線文7~8(ヘラ)間に円形刺突文 | ヨコナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|-----|-------|-------|-------|---------|--------|-------|--------------------------------|------------------|----|
| 甕 | I | Y 416 | 63 | N12E4 | 4 | | | 直線文3～6(ヘラ)間に刺突文 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y 417 | 63 | N16E8 | 5-1 | | | 口唇刻目文, 直線文4～5(ヘラ)間に三角形刺突文 | | |
| 甕 | I | Y 418 | 63 | N17E8 | 4 | | | 口唇刻目文, 直線文3(ヘラ)間に羽状の刺突文 | ヨコナデ, ナデ? | |
| 甕 | I | Y 419 | 63 | N25E7 | 第2河道堆積土 | | | 直線文(ヘラ)間に羽状の刺突文 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y 420 | 63 | N21E5 | 4 | | | 直線文(ヘラ)間に刺突文 | ヘラミガキ, ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | I | Y 421 | 63 | N22E6 | 4 | | | 口唇刻目文, 直線文(ヘラ)間に刺突文 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y 422 | 63 | N16E8 | 6 | | | 口唇羽状文Aa, 直線文3(ヘラ)間に羽状の刺突文 | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y 423 | 63 | N21E5 | 4 | | | 口唇刻目文, 直線文(ヘラ)間に刺突文 | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y 424 | 63 | N16E8 | 5-1 | | | 口唇刻目文, 直線文(ヘラ)間に刺突文 | | |
| 甕 | I | Y 425 | 63 | N22E6 | 4 | | | 口唇羽状文Aa, 直線文(ヘラ)間に竹管文 | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y 426 | 63 | N13E4 | 4 | | | 口唇羽状文Aa, 直線文(ヘラ)間に刺突文 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y 427 | 63 | N22E6 | 4 | | | 口唇刻目文, 直線文(ヘラ)間に円形刺突文+直線文1(ヘラ) | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y 428 | 63 | N19E9 | 4-2 | | | 直線文1(ヘラ)+直線文(ヘラ)間に刺突文 | ハケ目, ヘラミガキ, ナデ | |
| 甕 | I | Y 429 | 63 | N16E8 | 6 | | | 口唇刻目文, 直線文(ヘラ)間に円形刺突文 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y 430 | 63 | N18E9 | 4 | | | 口唇刻目文, 直線文7(ヘラ)+三角形刺突文 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y 431 | 63 | N12E4 | 4 | | | 直線文5～6(ヘラ)+円形刺突文 | ハケ目, ナデ, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y 432 | 63 | N27E7 | 4-2 | | | 直線文1～2(ヘラ)間に竹管文 | ナデ | |
| 甕 | I | Y 433 | 63 | N26E7 | 4 | | | 口唇斜格子文, 直線文5～6(ヘラ)+三角形刺突文 | | |
| 甕 | I | Y 434 | 64 | N12E7 | 4 | | | 口唇刻目文, 直線文7(ヘラ)+円形刺突文(不連続) | | |
| 甕 | II? | Y 435 | 63 | N16E7 | 第2河道堆積土 | | | 竹管文2列 | | |
| 甕 | I | Y 436 | 64 | N16E7 | 4 | | | 口唇刻目文, だ円形刺突文2列 | | |
| 甕 | I | Y 437 | 64 | | 4 | | | 口唇刻目文, 直線文間(ヘラ)に円形刺突文 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y 438 | 64 | N12E5 | 6 | | | 直線文11(ヘラ)+三角形刺突文 | ハケ目 | |
| 甕 | I | Y 439 | 64 | N18E9 | 第2河道堆積土 | | | 直線文(ヘラ)間に刺突文 | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y 440 | 64 | N26E7 | 4-1 | | | 直線文5～6(ヘラ)+三角形刺突文 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y 441 | 64 | N11E8 | 4 | | | 直線文4(ヘラ)間に竹管文 | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|------------------|-------|-------|---------|---------|------------------------------|-------|--|------------------|-------|
| 甕 | I | Y 442 | 64 | N13E5 | 第2河道堆積土 | | | 直線文8(ヘラ)+三角形刺突文, 口唇刻目文 | ナデ | |
| 甕 | I | Y 443 | 64 | N19E9 | 4 | | | 直線文6(ヘラ)間に三角形刺突文, 口唇刻目文 | ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y 444 | 64 | N26E7 | 4-1 | | | 直線文9(ヘラ)+三角形刺突文 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I? | Y 445 | 64 | N16E8 | 5-1 | | | 直線文(ヘラ)間に円形刺突文5列 | | |
| 甕 | I | Y 446 | 64 | N26E7 | 4-1 | | | 口唇直線文(ヘラ)+刻目文, 直線文4(ヘラ)上に縦方向に直線文(ヘラ) | ハケ目, ナデ, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y 447 | 64 | N11E4 | 5 | | | 羽状文B(ヘラ) | ナデ | |
| 甕 | I | Y 448 | 64 | N18E8 | 第2河道堆積土 | | | 直線文2(ヘラ)+線状刺突文 | | |
| 甕 | | Y 449 | 64 | N17E9 | 6 | | | 直線文(ヘラ)間に刻目文+斜線文(鋸歯文, ヘラ) | ヘラミガキ, ナデ | |
| 甕 | | Y 450 | 64 | N13E4 | 4 | | | 直線文(ヘラ)間に刺突文+鋸歯文 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | | Y 451 | 64 | N16E8 | 6 | | | 鋸歯文+直線文2(ヘラ) | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y 452 | 64 | | | | | 流水文?(貝) | ヨコナデ, ナデ | 松江市保管 |
| 蓋 | | Y 453 | 64 | N22E6 | 4 | | | 無軸 木葉文 | ヘラミガキ, ナデ | |
| 蓋 | | Y 454 | 64 | N26E7 | 4-2 | | | 羽状文Aa(貝)+直線文(貝) | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 蓋 | | Y 455 | 64 | N18E9 | 4 | | | 重弧文+区画直線文(いずれも貝) | | |
| 甕 | I | Y 456 | 64 | N16E7 | 第2河道堆積土 | | | 口唇斜格子文(ヘラ), 刻目突帯文Aa | ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| | | Y 457 | | N14E5 | 6 | | | 沈線文(ヘラ) | ナデ | |
| | | Y 458 | 64 | N17E7 | 5-2 | 器高 2.2 底径 17.4 | | | ナデ, ヘラミガキ, ハケ目 | 木葉痕 |
| 壺 | Ⅱ ₂ | Y 459 | 65 | N18E9 | 5-2 | 口径 18.0 器高 40.8 底径 8.0 | | 口唇斜格子文(ヘラ), 波状文5(クシ)間に直線文10(クシ5条を2回) | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅱ ₂ ? | Y 460 | 66 | N18E8-9 | | 口径 23.6 器高 8.4 | | 口唇羽状文B(クシ), 直線文15(クシ5条を3回)間に三角形刺突文 | | |
| 壺 | Ⅱ ₂ | Y 461 | 66 | N12E7 | 4 | 口径 16.5 器高 7.0 | | 口唇斜格子, 直線文11(クシ5~6条を2回) | ハケ目, ヘラミガキ, ヨコナデ | |
| 壺 | Ⅱ ₂ | Y 462 | 66 | N10E7 | 4 | 口径 18.1 | | 口唇鋸歯文, 直線文16(クシ5~6条を3回)+三角形刺突文 | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 壺 | Ⅱ ₂ | Y 463 | 66 | N26E7 | 4-1 | 口径 12.4 器高 4.0 | | 口唇斜格子文, 直線文5(クシ)間に波状文4(クシ) | ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅱ ₂ | Y 464 | 66 | N17E7 | 4 | 器高 21.8 | | 直線文14~18(クシ6~7条を2~3回)+三角形刺突文 | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | Ⅳ | Y 465 | 66 | | | 口径 16.4 器高 6.5 | | 直線文12(クシ) | ヨコナデ | 松江市保管 |
| 壺 | Ⅱ | Y 466 | 67 | N13E7 | 6 | 器高 8.9 | | 直線文7(クシ)+爪形刺突文, 突帯文Aa | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | Ⅳ? | Y 467 | 66 | N16E7 | 5 | 口径 20.8 器高 23.7 | | 口唇斜格子, 内面三角形刺突文, 直線文7+波状文7, 直線文7+三角形刺突(いずれもクシ) | ハケ目, ヘラミガキ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|-------------------|------|-------|------------------|-------------|------------------|----------|-----------------------------------|------------------|----|
| 壺 | IV | Y468 | 67 | N15E7 | 6 | 口径15.9 器高6.5 | | 直線文4(クシ) | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | IV | Y469 | 67 | N11E4 | 4 | 口径15.6 器高10.0 | | 口唇刻目文, 直線文21(クシ3条を3回)+三角形刺突文 | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 壺 | IV | Y470 | 67 | N16E8 | 6 | 口径11.8 器高5.0 | | 口唇刻目文, 直線文8(クシ4条を2回)+波状文5(クシ) | | |
| 壺 | IV | Y471 | 67 | N19 ~16 E7 | 5 | 口径14.8 器高4.3 | | 口縁羽状文 竹管文+直線文(クシ) | | |
| 壺 | IV? | Y472 | 67 | N12E5 | 4 | 口径10.3 器高4.1 | | 簾状文?4(クシ), 垂下直線文(クシ2条) | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 壺 | IV | Y473 | 67 | N17E8 | 第2河道 堆積土 | 口径17.2 器高7.0 | | 口唇羽状文Aa, 直線文8(クシ4条を2回) | ヨコナデ, ナデ? | |
| 壺 | | Y474 | 67 | N17E9 | 5-1 | 口径16.8 器高7.0 | | 口唇刻目文, 直線文10(クシ5条を2回)+刺突文(円, 三角形) | ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | IX | Y475 | 67 | N10E7 | 4 | 口径11.0 器高2.5 | | | | |
| | IX | Y476 | 67 | N21E6 | | 口径14.0 器高3.9 | | | | |
| 壺 | IV | Y477 | 67 | N17-18E8 | 6 | 口径15.2 | | 口唇斜格子文, 直線文10(クシ5条を2回) | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| 壺 | IV | Y478 | 67 | N10E6 | 4 | 口径17.6 器高9.4 | | 口唇斜格子文, 直線文12(クシ4条を3回) | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | II ₂ ? | Y479 | 67 | N12E7 | 4 | 口径16.5 器高7.0 | | 直線文12~25(クシ6~8条を2~4回)間に三角形刺突文 | | |
| 壺 | IV | Y480 | 67 | N11E7 | 4 | 口径15.8 器高5.9 | 頸部短く屈曲 | 直線文16(クシ8条を2回)間に三角形刺突文 | | |
| 壺 | IV | Y481 | 67 | N17 ~18 E8 | 4 | 口径9.4 器高6.5 | 口縁短く直口気味 | 直線文3(クシ)間に波状文3(クシ) | | |
| 壺 | V | Y482 | 67 | N15E7 | 6 | 口径16.0 器高14.4 | | 直線文4(クシ) | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | X | Y483 | 67 | N11E4 | 4 | 口径16.0 器高6.9 | | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | X | Y484 | 67 | N12E7 | 4 | 口径15.2 器高5.7 | 口唇肥厚 | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | | Y485 | 67 | N26E7 | 4-1 | 口径14.4 器高7.1 | | | ヨコナデ, ナデ | |
| 壺 | | Y486 | 68 | N16E7 | 4 | 口径12.0 器高7.7 | | | ハケ目, ナデ? | |
| 壺 | | Y487 | 68 | N17E7 | 第2河道 堆積土 | 口径17.6 器高4.3 | | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | IV? | Y488 | 68 | N18E9 | 5-1 | 口径17.6 器高5.2 | 口唇肥厚 | 口唇刻目文 | | |
| 壺 | | Y489 | 68 | N11E4 | 4 | 口径8.8 器高6.8 | | 凹線状の直線文 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | | Y490 | 68 | N17E8 | 4 | 口径8.6 器高1.9 | | 口縁内外面刻目 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | IV | Y491 | 68 | N11E4 | 4 | 口径43.2 器高8.7 | | 口唇羽状文Aa, 直線文12(クシ4条を3回) | ヨコナデ | |
| 壺 | IX | Y492 | 68 | N12E7 | 4 | 口径15.2 器高6.4 | | 口唇羽状文Aa, 突帯文Aa | ヨコナデ | |
| 壺 | IX? | Y493 | 68 | N26E7 | 4-1 | 口径15.4 器高5.0 | 口縁 a | | ハケ目, ヨコナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|------|-------|--------------------|-----|------------------|-------|---|-------------------|-------|
| 壺 | IX? | Y494 | 68 | N17E8 | 4 | 口径14.4 器高4.9 | 口縁d | 刻目突帯文Aa | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 壺 | IX | Y495 | 68 | N15E6 | | 口径14.4 器高4.8 | 口縁a | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | IX | Y496 | 65 | N12E6 | 5-2 | 口径10.1 器高15.7 | 口縁d | 刻目突帯文Aa, 円 形刺突文 | ハケ目, ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺 | X ₂ | Y497 | 69 | N17E9 | 4 | 口径21.6 器高8.4 | 口縁b | 口唇刻目文, 突帯文 Aa | | |
| 壺 | IX | Y498 | 68 | N17 ライン E8~9 | 4 | 口径15.6 器高6.4 | 口縁a | 刻目突帯文Aa | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 壺 | IX | Y499 | 68 | N13E7 | 5-2 | 口径12.6 器高7.8 | 口縁a | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | X ₁ | Y500 | 68 | | | 口径19.8 器高5.3 | 口縁a | 刻目突帯文A | ヨコナデ, ハケ目 | 松江市保管 |
| 壺 | IX | Y501 | 68 | N27E7 | 4-1 | 口径15.0 器高5.7 | 口縁c | | ハケ目 | |
| 壺 | IX | Y502 | 69 | N15E7 | 4 | 口径9.8 器高3.7 | 口縁d | | ヨコナデ, ヘラミガ キ | |
| 壺 | X | Y503 | 68 | N12E4 | 4 | 口径18.8 器高4.0 | 口縁c | | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 | X ₁ | Y504 | 68 | | | 口径23.2 器高7.3 | 口縁d | 口唇斜格子文, 刻目 突帯文 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | IX | Y505 | 68 | N11E4 | 5-1 | 口径10.0 器高4.3 | 口縁a | | ハケ目 | |
| 壺 | X ₁ | Y506 | 69 | N18E7 | | 口径22.6 器高5.7 | 口縁d | 口唇斜格子文, クシ 刺突文, 刻目突帯文 Aa | ヨコナデ | |
| 壺 | X ₂ | Y507 | 69 | N10E7 | 5-2 | 口径20.0 器高6.3 | 口縁b | 口唇斜格子文, 刻目 突帯文Aa | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | | Y508 | 68 | N21E5 | 4 | 口径14.2 器高6.7 | 口縁a | 刻目突帯文Aa | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 壺 | X ₂ | Y509 | 69 | N26E7 | 4-1 | 口径15.2 器高5.8 | 口縁c | 口唇鋸歯文(クシ), 内面鋸歯文+直線文 (ともにクシ), 刻目 突帯文Aa | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | X ₂ | Y510 | 69 | 不明 | | 口径22.5 器高6.0 | 口縁b | 口唇刻目文 | | |
| 壺 | X ₁ | Y511 | 68 | N11E8 | 4 | 口径18.4 器高5.5 | 口縁b | 口唇斜格子文, 刻目 突帯文 | | |
| 壺 | X ₂ | Y512 | 70 | N13E5 | 5-1 | 口径23.0 器高14.8 | 口縁b | 斜格子文(クシ)+直 線文3~5(クシ) 刻目突帯文Aa | | |
| 壺 | X ₁ | Y513 | 70 | | | 口径17.8 器高11.2 | 口縁d | 刻目突帯文Aa, 刺 突文(クシ) | ハケ目 | 松江市保管 |
| 壺 | X ₂ | Y514 | 71 | N18E9 | 4 | | 口縁b | 口唇刻目文, 刻目突 帯文Aa | ハケ目, ナデ, ヨコ ナデ | |
| 壺 | X ₂ | Y515 | 71 | N21E5 | 4 | 口径16.0 器高10.0 | 口縁d | 口唇凹線5の上に刻 目文, 突帯文Aa | ヨコナデ | |
| 壺 | X ₂ | Y516 | 72 | N13E7 | 4 | 口径29.0 器高8.3 | 口縁e | 口唇直線文5(ヘラ) 上に刻目, 円形浮文 | | |
| 壺 | X | Y517 | 70 | N14E5 | 4 | | 口縁d | 口唇鋸歯文(クシ), 内面刻目突帯文Aa +刺突文(貝) | | |
| 壺 | X | Y518 | 71 | N13E7 | 4 | 口径32.6 器高4.3 | 口縁d | 口唇内面, 直線文5 (クシ) | | |
| 壺 | X ₂ | Y519 | 70 | N12E5 | | 口径19.0 器高5.0 | 口縁e | | ハケ目, ヨコナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|------|-------|------------------|-----|------------------|----------|--|--------------------|-------|
| 壺 | X ₂ | Y520 | 70 | N15E7 | 5-1 | 口径25.5 器高10.1 | 口縁d | 口唇斜格子文、突帯文Aa | ハケ目、ヨコナデ | |
| 壺 | X ₂ | Y521 | 71 | N11E7 | | 口径16.0 器高4.7 | 口縁d | 口唇羽状文Aa、刻目突帯文Aa 三角形刺突文 | ヨコナデ? | |
| 壺 | X | Y522 | 71 | N13E7 | 4 | 口径18.8 器高1.5 | 口縁b | 口唇鋸歯文(クシ)、 円形浮文、内面斜格子文(クシ) | | |
| 壺 | X | Y523 | 71 | N13E4 | 4 | 口径28.0 器高1.8 | 口縁e | 口唇鋸歯文(クシ)、 内面刻目突帯文Aa +刺突文(クシ)+斜格子文(クシ) | ヨコナデ | |
| 壺 | X ₂ | Y524 | 70 | N16E7 | 4 | 口径18.6 器高4.9 | 口縁d | 口唇斜格子文、突帯文 | ハケ目、ヘラミガキ、 ヨコナデ | |
| 壺 | X ₂ | Y525 | 70 | | 4 | 口径21.0 器高6.1 | 口縁d | 口唇斜格子文、刻目 突帯文Aa | ヨコナデ、ヘラミガキ | |
| 壺 | X ₂ | Y526 | 72 | N12E4 | 5-2 | 口径24.0 器高8.0 | 口縁d | 口唇斜格子文(クシ)、 刻目突帯文Aa、内 面刺突文(クシ) | ヨコナデ、ナデ、ヘ ラミガキ | |
| 壺 | X | Y527 | 71 | | | 口径25.6 器高2.2 | 口縁e | 口唇斜格子文(クシ)、 内面刻目突帯文Aa | ナデ | 松江市保管 |
| 壺 | X | Y528 | 71 | | | 口径28.4 器高2.5 | 口縁e | 口唇斜格子文(クシ)、 内面羽状文Aa | ヨコナデ | 松江市保管 |
| 壺 | X | Y529 | 72 | N10E7 | 4 | 口径30.6 器高3.2 | 口縁e | 口唇斜格子文(クシ)、 内面刻目突帯文 | ハケ目、ナデ、ヨコ ナデ | |
| 壺 | X | Y530 | 72 | N18E8 | 4 | 口径24.5 器高2.4 | 口縁e | 口縁直線文5(ヘラ?) | ヨコナデ | |
| 壺 | XI | Y531 | 72 | N17E9 | 4 | 口径8.8 器高4.2 | | | ハケ目 | |
| 壺 | X ₂ | Y532 | 73 | | | 口径29.2 器高9.6 | 口縁e | 口縁内面斜格子文 (クシ)、円形浮文、 突帯文Aa | | 松江市保管 |
| 壺 | XI | Y533 | 72 | | 4 | 口径14.8 器高9.0 | | 突帯文Aa | ヨコナデ | |
| | XI | Y534 | 72 | N12E7 | 4 | 口径16.4 器高5.5 | | 口唇刻目文、刻目突 帯文Aa上に垂下突 帯文 | | |
| 壺 | XI | Y535 | 72 | N11E7 | 4 | 口径21.0 器高7.0 | | 口唇鋸歯文、突帯文 Aa | ヨコナデ | |
| 壺 | XI | Y536 | 72 | | | 口径17.9 器高9.2 | | 刻目突帯文Aa | ヨコナデ、ハケ目 | |
| 壺 | X | Y537 | 72 | N21E5 | 4 | 口径31.2 器高2.4 | 口縁f | 内外面斜格子文(ク シ) | ヨコナデ | |
| 壺 | X | Y538 | 74 | | | 口径39.4 器高12.2 | 口縁f(端面取) | 口縁斜格子文(クシ)、 円形浮文、刺突文 | ヨコナデ | 松江市保管 |
| 壺 | X ₂ | Y539 | 73 | N13E7 | 5-1 | 口径43.4 器高16.5 | 口縁f(端面取) | 口縁斜格子文(クシ)、 円形浮文、刻目突帯 文Ac | | |
| 壺 | XI | Y540 | 74 | N11E5 | 5-2 | 口径24.0 器高9.9 | | | | |
| 壺 | XI | Y541 | 74 | N17E8 | 5 | 口径26.0 器高8.2 | | 口唇刻目文 | ハケ目、ヨコナデ | |
| 壺 | XI | Y542 | 74 | N12E4 | 4 | 口径35.4 器高5.4 | | 口唇刻目文 | ヨコナデ | |
| 壺 | XI | Y543 | 74 | N19E9 | 4 | 口径21.9 器高7.4 | | 口縁凹線3、突帯文 Aa | ヘラミガキ、ヨコナ デ | |
| 壺 | XI | Y544 | 74 | | | 口径28.4 器高5.6 | | 口縁凹線4、刻目文、 突帯文A | ハケ目 | 松江市保管 |
| 壺 | XI | Y545 | 74 | N12 ~13 E4 | 5 | 口径15.4 器高2.6 | | 凹線文? | | |

| 器種 | 分類 | 挿 番 号 | 図 版 ペ ー ジ | 出 土 地 点 | 層 位 | 法 量 (cm) | 形 態 の 特 徴 | 文 様 の 特 徴 | 手 法 の 特 徴 | 備 考 |
|-----|------------------|-------------|-----------------------|--------------------|-------------|---------------------------|-----------------------|------------------------------------|-----------------------|--------|
| 壺 | XI | Y546 | 74 | N10E7 | 4 | 口径29.6 器高4.1 | 口縁f | 口唇凹線文2上に刻目文、刻目突帯文Aa | | |
| 壺 | XI | Y547 | 75 | N27E7 | 4-1 | 口径23.2 器高2.0 | 口縁b(端部面取) | 口唇凹線文3上に刻目文、垂下突帯文、内面波状文(クシ) | ヨコナデ | |
| 壺 | XI | Y548 | 74 | N25E7 | 第2河道 堆積土 | 口径24.0 器高8.4 | 口縁d | 口唇刻目文+斜格子文(クシ)、円形浮文、刻目突帯文Aa上に垂下突帯文 | ナデ | |
| 壺 | XI | Y549 | 74 | N12E5 | 6 | 口径22.8 器高6.6 | 口縁b | 口唇刻目文、凹線文3、刻目突帯文Aa、直線文7(クシ) | ハケ目、ヨコナデ | |
| 壺 | XI | Y550 | 74 | N18E9 | 4 | 口径23.0 器高4.7 | 口縁f | 口唇凹線文4上に刻目文、刻目突帯文Aa | ヨコナデ | |
| 壺 | X ₂ | Y551 | 74 | N25E8 | 第2河道 堆積土 | 器高7.3 | | 刻目突帯文Aa | ハケ目、ナデ | |
| 壺 | X ₂ | Y552 | 75 | N27E7 | 4-1 | 器高12.5 | | 瘤状の浮文(内側刺突) | ハケ目、ヨコナデ | |
| 壺 | XI? | Y553 | 75 | N17E7 | 5-1 | 器高12.6 | | 刻目突帯文Aa上に垂下突帯文、直線文9(クシ)+波状文(クシ) | ハケ目 | |
| 壺 | XII ₂ | Y554 | 75 | N18E4 | 第2河道 堆積土 | 口径28.6 器高8.1 | 口縁d | 羽状文Aa(貝)、刻目突帯文Ac | ヨコナデ | |
| 壺 | XIII | Y555 | 76 | N12E7 | 4 | 口径19.6 器高5.5 | 口縁d | 凹線文3 | ヨコナデ | |
| 壺 | XII | Y556 | 76 | N17E8 | 5 | 口径19.8 器高13.1 | | 刺突文 | ハケ目、ナデ | |
| 短頸壺 | | Y557 | 75 | N18E8 | 5 | 口径8.0 器高12.7 底径5.0 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | XII | Y558 | 76 | N16E8 | 5-1 | 口径11.0 器高10.0 | | | | |
| 壺 | XII | Y559 | 76 | N17E8 | 5 | 口径10.4 器高11.6 | | | ヘラミガキ、ナデ | |
| 短頸壺 | | Y560 | 76 | N16E8 | 5-1 | 口径16.4 器高2.9 | 口縁屈曲 | 直線文4(クシ) | ハケ目、ヨコナデ、ヘラミガキ | |
| 無頸壺 | | Y561 | 76 | N12E4 | 4 | 口径10.0 器高3.9 | | 直線文5(クシ)、鋸歯文、波状文 | ナデ? | |
| 無頸壺 | | Y562 | 76 | N16E7 | 4 | 口径10.6 器高5.4 | | | ナデ | |
| 直口壺 | | Y563 | 76 | | | 口径9.0 器高3.4 | | 凹線文5 | | |
| 短頸壺 | | Y564 | 76 | N13E4 | 4 | 口径13.6 器高6.5 | | | ハケ目、ヨコナデ? | |
| 短頸壺 | | Y565 | 76 | N20E6 | 4 | 口径10.4 器高7.3 | | | ハケ目、ナデ | |
| 短頸壺 | | Y566 | 75 | N16E7 | 5-2 | 口径11.2 器高15.0 底径5.8 | | | ハケ目、ヨコナデ、ヘラミガキ | 漆塗 |
| 短頸壺 | | Y567 | 75 | N13E7 | 5-2 | 口径6.2 器高9.7 底径4.1 | | | ヘラミガキ、ヨコナデ、ハケ目 | |
| 短頸壺 | | Y568 | 76 | N12E4 | 4 | 口径8.4 器高6.1 | 直口気味の口縁 | | ヘラミガキ? | 脚付壺か |
| 短頸壺 | | Y569 | 76 | N16 ライン E7~8 | 4 | 口径15.6 器高3.8 | | 直線文12(クシ4条を3回) | ヨコナデ、ハケ目、ナデ | |
| 短頸壺 | | Y570 | 76 | N25E7 | 4-1 | 口径14.0 器高3.8 | | 口唇刻目文、直線文8(クシ) | ヨコナデ | |
| 無頸壺 | | Y571 | 76 | N19E9 | 4 | 口径12.2 器高3.5 | | 凹線文1?、円形刺突文 | | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-----|-----|------|-------|----------|---------|-------------------------|-------|---|--------------------|-------|
| 無頭壺 | | Y572 | 76 | N18E8~9 | | 口径21.0 器高10.8 | | 口唇凹線文3, 凹線文7 | ハケ目 | |
| 無頭壺 | | Y573 | 76 | N12E7 | 4 | 口径21.4 器高5.4 | | | | |
| 壺 | ⅩⅢ | Y574 | 77 | N11E4 | 5 | 口径8.4 器高4.0 | | 口唇刻目文, 刻目突帯文Aa | ヨコナデ, ナデ | |
| 壺 | ⅩⅢ | Y575 | 77 | N26E7 | 4-1 | 口径8.4 器高9.1 | | 刻目突帯文Aa | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | ⅩⅢ | Y576 | 77 | N17E9 | 5-1 | 口径13.0 器高7.6 | | 口唇刻目文, 円形浮文, 刻目突帯文Aa, 直線文9(クシ)間に波状文(クシ) | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 壺 | ⅩⅢ | Y577 | 77 | N12E5 | 4 | 口径12.2 器高5.9 | | 口唇凹線文2 | ヨコナデ, ナデ, ハケ目 | |
| 壺 | ⅩⅢ | Y578 | 77 | N16E7 | 4 | 口径11.0 器高14.5 | | 刺突文 | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 短頭壺 | | Y579 | 77 | N17E8~9 | 第2河道堆積土 | 口径10.6 器高8.6 | | | | |
| 壺 | ⅩⅢ | Y580 | 77 | N14E5 | 4 | 口径13.7 器高5.5 | 口縁e | 口唇凹線?, 直線文12(クシ) | ヨコナデ, ハケ目, ナデ, ケズリ | |
| 壺 | ⅩⅢ | Y581 | 77 | | | 口径11.8 器高5.9 | | 刻目突帯文Aa | | 松江市保管 |
| 無頭壺 | | Y582 | 77 | | | 口径9.8 器高5.7 | | | ハケ目, ヨコナデ | 松江市保管 |
| 壺 | ⅩⅢ | Y583 | 77 | N17・18E8 | 第2河道堆積土 | 口径11.0 器高4.6 | | 口唇刻目文 | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 壺 | ⅩⅣ | Y584 | 77 | N14E6 | 4 | 口径12.4 器高8.5 | | 直線文3~7(クシ)+波状文4(クシ) | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | ⅩⅣ | Y585 | 77 | N16E7 | 第2河道堆積土 | 口径17.8 器高7.1 | 口縁g | 口縁凹線文4, 凹線文5 | | |
| 壺 | ⅩⅢ? | Y586 | 77 | N10~12E7 | 4 | 口径14.8 器高5.7 | 口縁b | 口縁凹線文2, 凹線文7 | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 壺 | ⅩⅣ | Y587 | 77 | N16E8 | 5-1 | 口径20.0 器高5.3 | 口縁g | 口縁凹線文3, 凹線文3 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | ⅩⅣ | Y588 | 77 | N18E9 | 5 | 口径14.4 器高13.5 | 口縁b | 口縁凹線文3, 凹線文3, 刺突文 | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 壺 | ⅩⅢ | Y589 | 77 | N16E8 | 4 | 口径20.2 器高8.2 | 口縁b | 口縁凹線文2 | ハケ目 | |
| 壺 | ⅩⅢ | Y590 | 77 | N18E9 | 4 | 口径17.6 器高3.8 | 口縁b | 口縁凹線文 | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 壺 | ⅩⅢ | Y591 | 78 | N18E8 | 第2河道堆積土 | 口径25.4 器高5.3 | 口縁g | 口縁凹線文5 | ヨコナデ | |
| 壺 | ⅩⅢ | Y592 | 78 | N16E8 | 4 | 口径16.0 器高5.2 | 口縁b | 口縁凹線文4, 凹線文1 | ヨコナデ | |
| 壺 | X | Y593 | 78 | N19E9 | 第2河道堆積土 | 口径28.4 器高2.3 | 口縁c | 口縁凹線文2 | ヨコナデ | |
| 壺 | ⅩⅢ | Y594 | 78 | N11E4 | 4 | 口径12.4 器高5.0 | 口縁b | 口縁凹線文3, 斜線文上に凹線文4 | ヨコナデ | |
| 無頭壺 | | Y595 | 75 | N26E7 | 4-2 | 口径8.0 器高8.4 底径4.0 | | | ハケ目, ナデ | |
| 無頭壺 | | Y596 | 78 | N12E8 | 4 | 口径10.4 器高6.5 | | 凹線文5, 刺突文 | | |
| 無頭壺 | | Y597 | 78 | | | 口径7.2 器高6.5 | | 直線文12(クシ)4条を3回) | ナデ? | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-----|----|------|-------|---------------------|-------------|---------------------------|--------|---|---------------------|----|
| 無類壺 | | Y598 | 78 | E8 ライン N16~17 | 4 | 口径7.8 器高9.1 | | | ヘラミガキ?ナデ? | |
| 壺 | | Y599 | | N11E4 | 4 | 口径15.9 器高7.6 | | | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| 壺 | | Y600 | | N13E5 | 5-1 | 器高16.4 底径7.8 | | 直線文22(クシ5~ 9条を3回)+波状 文(クシ)+三角形刺 突文 | ナデ | |
| 甕 | I | Y601 | 78 | N16E8 | 5-1 | 口径21.0 器高7.5 | | 直線文2(半截竹管) | ナデ? | |
| 甕 | I | Y602 | 78 | N11E4 | 4 | 口径18.6 器高6.5 | | 直線文2(クシ3条 を2回) | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | I | Y603 | | N17E9 | 5-2 | 口径13.0 器高11.1 底径6.4 | | 口唇刻目文, 直線文 6(クシ) | ヘラミガキ | |
| 甕 | I | Y604 | 78 | N17E8 | 6 | 口径27.6 器高11.0 | 口唇面取 | 直線文3(クシ) | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y605 | 78 | N15E6 | 6 | 口径25.6 器高19.3 | | 直線文4(クシ) | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y606 | 78 | N16 E7~8 | 5 | 口径21.6 器高4.6 | | 直線文14(クシ5条 を3回) | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | I | Y607 | 78 | N11E7 | 4 | 口径20.0 器高6.6 | | 直線文7(クシ) | | |
| 甕 | I | Y608 | 78 | N11E4 | 4 | 口径23.4 器高8.4 | | 直線文20(クシ5~ 6条を4回) 口唇刻目文 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y609 | 79 | N13E7 | 4 | 口径24.0 器高17.8 | やや胴部張る | 口唇刻目文15(クシ 5条を3回) | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 甕 | I | Y610 | 80 | N16E8 | 6 | 口径17.7 器高20.8 底径6.8 | | 直線文8(クシ4条 を2回) | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y611 | 79 | N26E8 | 第2河道 堆積土 | 口径29.4 器高9.7 | | 直線文4(クシ) | | |
| 甕 | I | Y612 | 79 | N17E9 | 4 | 口径30.4 器高7.5 | | 口唇三角形刺突文, 直線25(クシ7条を4 回)+三角形刺突文 | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 甕 | I | Y613 | 79 | N16E8 | 5-2 | 口径23.4 器高21.7 | 口唇面取 | 口唇斜格子文, 直線 文16(クシ6条を3 回)+三角形刺突文 | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 甕 | I | Y614 | 79 | N16E7 | 4 | 口径20.6 器高11.5 | | 口唇だ円形刺突文, 直線文14(クシ8条 を2回)+三角形刺 突文 | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y615 | 79 | N13E4 | 4 | 口径21.0 器高20.3 | 口唇面取 | 口唇刻目文, 直線文 10~11(クシ5~6 条を2回)+三角形 刺突文 | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 甕 | I | Y616 | 79 | N11E7 | 4 | 口径21.8 器高6.9 | 口唇面取 | 口唇刻目文, 直線文 14(クシ4条を3回) +三角形刺突文2列 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y617 | 79 | N11E4 | 4 | 口径22.8 器高4.6 | 口唇面取 | 口唇刻目文, 直線文 8(クシ4条を2回) +三角形刺突文 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y618 | 79 | N18E9 | 4 | 口径16.2 器高8.7 | 胴部やや張る | 口唇刻目文, 直線文 15(クシ5条を3回) +三角形刺突文2列 | ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y619 | 79 | N13E4 | 4 | 口径22.0 器高9.0 | 口唇面取 | 口唇斜格子文, 直線 文16+6(クシ1単位 6条)間に三角形刺 突文 | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y620 | 80 | | | 口径21.0 器高7.8 | 口唇面取 | 口唇刻目文, 直線文 28(クシ7条を4回) +波状文(クシ) | ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y621 | 80 | N11E4 | | 口径24.2 器高10.5 | 口唇面取 | 口唇斜格子文, 直線 文12(クシ4条を3 回)+波状文(クシ) | | |
| 甕 | I | Y622 | 81 | N11E8 | 4 | 口径21.4 器高14.2 | | 直線文8(クシ4条 を2回)+波状文3 (クシ) | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y623 | 80 | N19E9 | | 口径16.4 器高10.3 | | 三角形刺突文 | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|--------------------|------|-------|-------|-------------|----------------------------|-------|---------------------------------------|----------------------|--------|
| 甕 | I | Y624 | 80 | | | 口径13.8 器高10.8 | | | ハケ目 | 松江市保管 |
| 甕 | I | Y625 | 80 | N26E7 | 第2河道 堆積土 | 口径27.0 器高 9.0 | | | ナデ | 鉢か? |
| 甕 | I | Y626 | 80 | N16E7 | 6 | 口径36.2 器高 9.6 | 口唇面取 | 口唇刻目文 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | II | Y627 | 80 | N13E5 | 5-2 | 口径20.8 器高26.2 底径 7.0 | | | ハケ目, ナデ, ヨコ ナデ | |
| 甕 | I | Y628 | 81 | N16E8 | 4 | 口径21.8 器高16.3 | | 口唇刻目文 | ハケ目, ヘラミガキ, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y629 | 81 | N16E7 | 5-2 | 口径17.6 器高19.4 | | 口唇刻目文 | ハケ目, ナデ? | |
| 甕 | I | Y630 | 81 | N21E5 | 4 | 口径18.1 器高15.9 底径 7.2 | | | ハケ目, ヘラミガキ, ヨコナデ? | 鉢か? |
| 甕 | I | Y631 | 83 | N21E5 | 4 | 口径25.8 器高15.1 | | | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y632 | 83 | N10E6 | 4 | 口径 9.8 器高 4.9 | 口唇面取 | 口唇刻目文 | ハケ目, ナデ? | |
| 甕 | I | Y633 | 81 | N14E6 | 5-2 | 口径17.6 器高14.3 底径 5.0 | | | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ | 鉢か? |
| 甕 | III ₁ | Y634 | 81 | N27E7 | 4-1 | 器高17.0 底径 2.8 | | | ハケ目, ヘラミガキ, ナデ | |
| 甕 | I | Y635 | 82 | N21E5 | 6 | 口径20.8 器高18.8 底径 6.2 | | | ハケ目, ヨコナデ | 鉢? |
| 甕 | III ₂ ? | Y636 | 83 | N16E8 | 4 | 口径22.4 器高 8.6 | 口唇面取 | | ハケ目 | |
| 甕 | I | Y637 | 82 | N12E4 | 5-2 | 口径10.0 器高 9.3 底径 5.0 | | | ハケ目, ナデ | 全体にいびつ |
| 甕 | I | Y638 | 83 | N25E7 | 第2河道 堆積土 | 口径13.4 器高 7.5 | | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y639 | 83 | N18E9 | 5 | 口径 9.6 器高 9.8 | | | | |
| 甕 | I | Y640 | 82 | N21E5 | 4 | 口径 9.8 器高 7.8 底径 4.1 | | | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y641 | 82 | N10E7 | 4 | 口径10.8 器高 9.3 底径 4.5 | | | ハケ目, ヘラミガキ, ケズリ? | 全体にいびつ |
| 甕 | I | Y642 | 82 | N19E9 | 6 | 口径15.0 器高12.2 底径 6.0 | | | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | 鉢? |
| 甕 | I | Y643 | | N13E5 | 4 | 口径 8.5 器高 7.0 底径 4.6 | | | ハケ目, ナデ | 全体にいびつ |
| 甕 | II | Y644 | 83 | N13E4 | | 口径29.0 器高 6.3 | | 口唇刻目文, 直線文 18(クシ5~7条3 回)+三角形刺突文 | | |
| 甕 | II | Y645 | 83 | N18E9 | 5 | 口径17.1 器高 3.5 | | 口唇刻目文, 直線文 5(クシ) | ヨコナデ | |
| 甕 | II | Y646 | 83 | | | 口径20.6 器高 3.8 | | 直線文9?(クシ) | | 松江市保管 |
| 甕 | II | Y647 | 83 | N19E9 | 4 | 口径18.6 器高 9.3 | | 直線文19(クシ6~ 7条を3回)+三角 形刺突文 | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 甕 | II | Y648 | | N19E9 | 4 | 口径15.4 器高 5.8 | | 直線文8(クシ)+三 角形刺突文 | ナデ | |
| 甕 | II | Y649 | | N26E7 | 4-1 | 口径16.2 器高13.9 | | | ハケ目, ヨコナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|-------|-------|--------------|-------------|------------------|-------------|----------------|-------------------------|-------|
| 甕 | Ⅱ | Y 650 | | N18E8 | 4 | 口径17.1 器高 3.5 | | | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 甕 | Ⅱ | Y 651 | 83 | N26E7 | 4-1 | 口径22.8 器高 6.3 | | | ハケ目, ナデ | 鉢? |
| 甕 | Ⅱ | Y 652 | 83 | N13E4 | | 口径29.6 器高 7.5 | | | | |
| 甕 | Ⅱ | Y 653 | 83 | | | 口径18.0 器高 9.5 | | 口唇刻目文 | ハケ目 | |
| 甕 | Ⅱ | Y 654 | 83 | N27E7 | | 口径28.6 器高 7.1 | | | ハケ目, ヘラミガキ, ヨコナデ | 鉢? |
| 甕 | Ⅱ? | Y 655 | 83 | N12E4 | 4 | 口径23.4 器高 6.3 | | 突帯文Aa | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 甕 | Ⅱ? | Y 656 | 83 | N17E4 | 4 | 口径31.0 器高 7.9 | | 刻目突帯文Aa | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | 鉢? |
| 甕 | Ⅱ | Y 657 | 83 | N15E6 | 4 | 口径21.6 器高 5.0 | | 口唇刻目文 | ハケ目, ナデ? | |
| 甕 | Ⅱ? | Y 658 | 83 | | | 口径21.6 器高 1.8 | 口縁かまぼこ形の断面形 | | | |
| 甕 | Ⅱ | Y 659 | 84 | N18E9 | 4 | 口径34.4 器高15.9 | | 刻目突帯文Aa, 円形刺突文 | ハケ目, ナデ, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 660 | 84 | N10E6 | 4 | 口径18.8 器高12.8 | 甕Ⅰに近い口縁 | | ハケ目, ヘラミガキ, ナデ | |
| 甕 | Ⅱ | Y 661 | 84 | N16E7 | 4 | 口径29.0 器高 5.8 | | 刻目突帯文Aa | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 662 | 84 | N27E7 | 4-1 | 口径18.9 器高16.2 | 口縁 a | 刺突文 | ヨコナデ, ハケ目, ヘラミガキ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 663 | 84 | N17E8 | 5 | 口径24.0 器高12.3 | 口縁 a | | ハケ目 | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 664 | 84 | N14E6 | 5-2 | 口径17.8 器高13.5 | 口縁 a | 刺突文 | ヨコナデ, ハケ目, ナデ, ヘラミガキ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 665 | 84 | | | 口径19.4 器高 3.8 | 口縁 a | | | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 666 | 84 | N19E8 | 第2河道 堆積土 | 口径11.2 器高 6.1 | 口縁 c | 口唇刻目文 | ハケ目 | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 667 | 84 | N16・17 E8 | 第2河道 堆積土 | 口径18.2 器高 5.8 | 口縁 c | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 668 | 84 | | | 口径18.6 器高 7.8 | 口縁 c | | | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 669 | 84 | | | 口径16.8 器高 5.6 | 口縁 a | | ハケ目 | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 670 | 87 | N11E4 | 5-2 | 口径16.8 | 口縁 a | 刺突文(クシ) | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 671 | 84 | N15E7 | 5-1 | 口径20.2 器高11.2 | 口縁 c | 口唇刻目文, 刺突文(貝) | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 672 | 85 | N11E5 | 5-2 | 口径17.8 器高 6.8 | 口縁 a | 口唇刻目文 | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 673 | 85 | N13E4 | 4 | 口径25.8 器高 3.4 | 口縁 a | 刻目突帯文Aa | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 674 | 85 | N17E8 | 5 | 口径24.4 器高 9.6 | 口縁 a | 刺突文(クシ) | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y 675 | 85 | N14E6 | 5-2 | 口径22.0 器高 8.3 | 口縁 c | 口唇凹線(?)上に刻目文 | ハケ目, ヨコナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|------------------|------|-------|----------------|-------------|------------------|-------|-------------------------|----------------------|-------|
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y676 | 85 | N14E5 | 4 | 口径22.0 器高6.7 | 口縁b | 口縁凹線文2 | | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y677 | 85 | N15・16 E7~8 | 5 | 口径19.4 器高9.3 | 口縁c | 口縁凹線文3上に刻目文, 刺突文(貝?) | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y678 | 85 | N12E4 | 5-1 | 口径20.0 器高6.1 | 口縁c | 口縁凹線文3 | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y679 | 85 | | | 口径24.8 器高7.8 | 口縁c | 口縁凹線文3, 刻目突帯文Aa | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y680 | 85 | | | 口径26.2 器高6.0 | 口縁c | 刻目突帯文a, 口縁凹線文2 | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y681 | 85 | N19E9 | 4 | 口径23.0 器高5.8 | 口縁b | 口唇刻目文, 刻目突帯文Aa | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y682 | 85 | | | 口径22.6 器高4.8 | 口縁c | 口縁凹線文2, 刻目突帯文Aa | ヨコナデ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y683 | 85 | | | 口径17.4 器高7.4 | 口縁c | | ハケ目 | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y684 | 85 | N20E5 | 4 | 口径25.0 器高10.9 | 口縁c | 口縁凹線文3 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y685 | 85 | | | 口径19.8 器高6.4 | 口縁c | 口縁凹線文, 刻目突帯文Aa | ナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y686 | 85 | | | 口径23.8 器高4.8 | 口縁b | 口縁凹線文2, 刻目突帯文Aa | ナデ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅳ | Y687 | 85 | N10E6 | 4 | 口径13.6 器高10.0 | 口縁a | | 叩き, ヨコナデ, ハケ目, ナデ | 後期? |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y688 | 86 | | | 口径13.0 器高7.0 | 口縁c | | | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y689 | 86 | N18E8 | 第2河道 堆積土 | 口径17.0 器高8.8 | 口縁c | | ヨコナデ, ハケ目, ヘラミガキ | |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y690 | 86 | N10E7 | 第2河道 堆積土 | 口径18.0 器高9.1 | 口縁c | 口縁刻目文, 刻目突帯文Aa | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y691 | 86 | N15E7 | 5-2 | 口径19.8 器高5.7 | 口縁c | 口縁刻目文, 刻目突帯文Aa, 不整形の刺突文 | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y692 | 86 | N12E8 | | 口径12.0 器高5.3 | 口縁a | 三角形刺突文 | ハケ目 | |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y693 | 86 | N14E6 | | 口径16.6 器高4.9 | 口縁b | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y694 | 86 | N13E7 | 5-2 | 口径18.0 器高4.0 | 口縁d | | ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y695 | 86 | | | 口径16.0 器高8.2 | 口縁a | | | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y696 | 86 | N13E7 | 第2河道 堆積土 | 口径18.8 器高5.0 | 口縁c | 口唇羽状文Aa, 刻目突帯文Aa | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y697 | 86 | N11E4 | 4 | 口径17.6 器高9.5 | 口縁b | 口唇斜格子文, 刻目突帯文Aa | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y698 | 86 | N16E7 | 4 | 口径23.0 器高5.9 | 口縁g | 口縁凹線文3 | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y699 | 86 | N12E4 | 5-1 | 口径18.4 器高7.5 | 口縁g | 口縁凹線文3 | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y700 | 86 | | | 口径18.6 器高11.5 | 口縁g | 口縁凹線文5 | ハケ目, ヨコナデ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅲ ₃ ? | Y701 | 86 | | | 口径20.2 器高3.7 | 口縁g | 口縁凹線文4, 突帯文? | ヨコナデ | 松江市保管 |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|------|-------|----------|-----|---------------------------|-------|--------------------|------------------|--------|
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y702 | 86 | N17・18E8 | | 口径21.8 器高4.7 | 口縁g | 口縁凹線文3, 刺突文 | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y703 | 86 | N11E6 | 4 | 口径23.2 器高6.2 | 口縁g | 口縁凹線文3上に刻目文, 突帯文Aa | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y704 | 87 | N14E5 | | 口径12.6 | 口縁g | 口縁凹線文3上に刻目文, 刺突文 | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y705 | 87 | N17E8 | 4 | 口径22.8 器高13.7 | 口縁g | 口縁凹線文3条 | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y706 | 86 | 不明 | | 口径12.0 器高8.4 | 口縁h | 口縁凹線文3, 刺突文(貝) | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₃ | Y707 | 87 | N19E9 | 5-1 | 口径13.8 器高4.8 | 口縁d | | | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y708 | 87 | N22E5 | 4 | 口径11.6 器高5.2 | 口縁g | 口縁凹線文3, 刺突文(クン) | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 鉢 | I | Y709 | 87 | N20E5 | 4 | 口径10.7 器高9.2 底径5.5 | | 口縁斜格子文, 直線文4(クン) | ヘラミガキ, ヨコナデ | |
| 鉢 | I | Y710 | 88 | N17E8 | 6 | 口径30.0 器高13.0 | | | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 鉢 | I | Y711 | 87 | N21E6 | 4 | 口径19.6 器高7.7 | | | ハケ目, ナデ | |
| 鉢 | I | Y712 | 88 | N26E7 | 4-2 | 口径12.9 器高14.7 底径6.8 | | | ナデ | |
| 鉢 | I | Y713 | 88 | N20E5 | 4 | 口径32.6 器高8.8 | | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 鉢 | I | Y714 | 87 | N17E8 | 4 | 口径20.6 器高15.4 底径8.2 | 脚付 | 三角形刺突文2例 | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 鉢 | I | Y715 | 89 | N22E6 | 5 | 口径14.2 器高12.0 底径6.8 | | | ハケ目 | |
| 鉢 | I | Y716 | 87 | N21E5 | 6 | 口径13.0 器高9.0 底径6.6 | | | ハケ目 | |
| 鉢 | I | Y717 | | N16E8 | 6 | 口径19.6 器高5.2 | 口唇面取 | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 鉢 | I | Y718 | 87 | N21E5 | 4 | 口径12.6 器高8.0 底径7.3 | | | ヘラミガキ, ナデ | 全体にいびつ |
| 鉢 | Ⅳ | Y719 | 88 | N16E7 | 5-2 | 口径24.0 器高4.9 | | | ハケ目, ヘラミガキ, ヨコナデ | |
| 鉢 | I | Y720 | 88 | N22E6 | 4 | 器高14.5 底径6.6 | | | ヘラミガキ | |
| 鉢 | Ⅲ | Y721 | 88 | N26E7 | 4-2 | 口径16.0 器高6.7 | | | ハケ目, ナデ | |
| 鉢 | I | Y722 | 89 | N12E5 | 5-2 | 口径19.2 器高16.0 底径6.6 | | | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 鉢 | I | Y723 | 91 | N16E8 | 6 | 口径11.2 器高6.9 底径6.9 | | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 鉢 | Ⅳ | Y724 | 89 | N18E9 | 4 | 口径9.8 器高9.2 底径5.0 | | | ナデ, ヘラミガキ | |
| 鉢 | Ⅲ | Y725 | 88 | N17E9 | 4 | 口径19.6 器高9.3 | | | ハケ目 | |
| 鉢 | Ⅲ | Y726 | 88 | N16E8 | 5-1 | 口径13.2 器高3.0 | | 凹線文5 | ナデ | |
| 鉢 | Ⅲ | Y727 | 88 | | | 口径20.2 器高8.5 | | 刻目突帯文Aa | ナデ? | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----|------|-------|-------|-------------|----------------------------|---------|---|---------------------|----|
| 鉢 | Ⅲ | Y728 | 88 | N26E7 | 4-1 | 口径22.6 器高5.4 | | 刻目突帯文Aa | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 鉢 | Ⅲ | Y729 | 88 | N18E8 | 第2河道 堆積土 | 口径24.2 器高5.2 | | 刻目突帯文A c | | |
| 鉢 | Ⅲ | Y730 | 88 | N11E7 | 5-1 | 口径14.0 器高6.2 | | 突帯文Aa | ナデ? | |
| 鉢 | Ⅲ | Y731 | 88 | N20E5 | 4 | 口径15.0 器高7.1 | | | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 鉢 | Ⅲ | Y732 | 88 | N18E9 | 4 | 口径19.4 器高3.4 | | 凹線文3条 | ヨコナデ | |
| 鉢? | | Y733 | 89 | N13E4 | 4 | 口径19.8 器高4.1 | 口縁屈曲 | 刻目突帯文Aa | ヨコナデ | |
| 鉢 | Ⅲ | Y734 | 89 | N11E4 | 4 | 口径12.0 器高3.3 | | 口唇三角形刺突文, 直線文8(クシ4条 を2回)+三角形刺 突文 | | |
| 鉢 | Ⅲ | Y735 | 89 | N15E7 | 5-1 | 口径12.6 器高4.2 | | 刺突文 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 鉢 | Ⅲ | Y736 | 89 | N13E6 | 4 | 口径12.6 器高5.0 | | 凹線文4, 刺突文 | | |
| 鉢 | Ⅲ | Y737 | 89 | N17E8 | | 口径8.2 器高6.7 | | 刻目文, 凹線文7 | ヘラミガキ, ナデ? | |
| 鉢 | V | Y738 | 89 | N14E5 | 5-2 | 口径14.6 器高6.1 | 口縁c | | ヨコナデ, ヘラミガ キ | |
| 鉢 | V | Y739 | 89 | N12E7 | 4 | 口径13.4 器高7.2 | 口縁c | | ハケ目, ナデ, ヨコ ナデ | |
| 鉢 | Ⅲ | Y740 | 89 | N16E8 | 4 | 口径20.4 器高6.5 | | 口縁凹線文2, 凹線 文5 | | |
| 鉢 | Ⅲ | Y741 | 89 | N16E7 | 第2河道 堆積土 | 口径28.0 器高7.0 | | 口縁刺突文(クシ), 円 形浮文, 凹線文7の上 に垂下突帯文+刺突文 (クシ), 円形浮文 | ヨコナデ | |
| 鉢 | Ⅲ | Y742 | 89 | | | 口径19.4 器高6.7 | | 波状文, 刻目突帯文 Aa | | |
| 鉢 | Ⅲ | Y743 | 89 | N11E4 | 4 | 口径28.4 器高2.8 | | 口縁鋸歯文, 凹線文 4 | | |
| 鉢 | Ⅲ | Y744 | 89 | N13E5 | 4 | 口径33.0 器高5.8 | | 口縁円形浮文, 突帯 文Aa上に垂下突帯 文 | ナデ? | |
| 鉢 | Ⅲ | Y745 | 89 | N13E7 | 5 | 口径23.0 器高18.7 底径9.8 | | 刻目突帯文Aa, 刺 突文(クシ) | ハケ目, ヘラミガキ, ヨコナデ | |
| 鉢 | Ⅲ | Y746 | 90 | N11E4 | 4 | 口径19.8 器高7.6 | | 刻目突帯文Aa | ハケ目 | |
| 高坏 | I | Y747 | 90 | N10E6 | 4 | 口径22.3 器高3.8 | | 口唇刻目文 | ヘラミガキ? | |
| 高坏 | I | Y748 | 89 | N12E5 | 5-2 | 口径13.7 器高11.4 底径7.9 | | | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| 高坏 | I | Y749 | 90 | N17E9 | 4 | 口径27.3 器高6.2 | | | ヘラミガキ | |
| 高坏 | I | Y750 | 90 | N12E4 | 4 | 口径23.4 器高1.6 | 口縁内面に突帯 | | ヨコナデ | |
| 高坏 | I | Y751 | 91 | N13E7 | 6 | 口径19.6 器高17.7 底径12.6 | | | ヘラミガキ | |
| 高坏 | I | Y752 | 90 | N19E9 | 4 | 口径22.2 器高9.8 | | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 高坏 | Ⅱ | Y753 | 90 | N16E7 | 4 | 口径31.0 器高5.5 | | 口唇刻目文後直線文, 円形浮文 | | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-----|----------------|------|-------|-------|-------------|------------------|----------|------------------------------|----------------|-------|
| 高坏 | Ⅱ | Y754 | 90 | N14E5 | 4 | 口径31.0 器高 1.8 | | 口唇凹線文2の上に刻目文、円形浮文、斜格子文 | ヨコナデ | |
| 高坏 | Ⅱ | Y755 | 90 | N12E5 | 4 | 口径25.0 器高 6.0 | | 口唇刻目文、斜格子文(クシ) | ハケ目、ナデ | |
| 高坏 | Ⅱ | Y756 | 90 | N18E9 | 8 | 口径32.0 器高 6.3 | | | | |
| 高坏 | Ⅱ | Y757 | 90 | N17E9 | 4 | 口径29.2 器高 1.8 | | | ヘラミガキ、ヨコナデ | |
| 高坏 | Ⅱ | Y758 | 90 | | | 口径28.4 器高 4.4 | | 口唇刻目文 | | 松江市保管 |
| 高坏 | Ⅲ ₁ | Y759 | 90 | N11E7 | 4 | 口径22.8 器高 4.8 | | 凹線文3 | ヘラミガキ | |
| 高坏 | Ⅲ ₂ | Y760 | 90 | N17E7 | 第2河道 堆積土 | 口径19.0 器高 2.8 | | 口縁凹線文2 | | |
| 高坏 | Ⅲ ₂ | Y761 | 90 | N16E7 | 4 | 口径17.4 器高 3.8 | | 口唇凹線文2、凹線文4 | ヨコナデ、ハケ目 | |
| 高坏 | Ⅲ ₂ | Y762 | 90 | N16E7 | 第2河道 堆積土 | 口径21.8 器高 3.0 | 口縁の屈曲緩やか | 口縁凹線2、凹線5 | ヨコナデ | |
| 高坏 | Ⅲ ₂ | Y763 | 90 | N25E9 | 第2河道 堆積土 | 口径23.6 器高 3.4 | 口縁屈曲鈍い | 直線文6(ヘラ) | ヘラミガキ | |
| 高坏 | Ⅳ | Y764 | 90 | N13E6 | 4 | 口径24.2 器高 4.8 | | | ヘラミガキ、ナデ | |
| 高坏 | Ⅳ | Y765 | 90 | N16E6 | 4 | 口径13.8 器高 2.7 | | | | |
| 高坏 | Ⅱ | Y766 | 90 | N15E6 | 4 | 口径19.6 器高 3.0 | | 口唇刻目文、凹線文3 | ヘラミガキ? | |
| 高坏 | | Y767 | 92 | N19E9 | 4 | 器高15.2 底径14.6 | | | ヨコナデ | |
| 高坏 | | Y768 | 90 | N25E7 | 第2河道 堆積土 | 器高 6.3 底径14.2 | | | | |
| 高坏 | | Y769 | 91 | N21E5 | 4 | 器高11.0 底径15.4 | | | ヘラミガキ、ハケ目 | |
| 高坏 | | Y770 | 91 | N19E9 | 第2河道 堆積土 | 器高 7.2 底径17.2 | 端部肥厚 | | ハケ目、ヨコナデ | |
| 高坏 | | Y771 | 92 | N26E7 | 4-1 | 器高13.5 底径15.4 | | | ヘラミガキ? | |
| 高坏 | | Y772 | 92 | N11E7 | 4 | 器高10.1 底径13.0 | 端部肥厚 | | ヘラミガキ、ハケ目、ヨコナデ | |
| 高坏 | | Y773 | | N11E4 | 4 | 器高 7.8 | 脚径太い | 刻目突帯Aa | ハケ目、ナデ | |
| 高坏? | | Y774 | 91 | N16E7 | 4 | 器高 6.1 底径 7.4 | 端部平坦、短脚 | 刻目突帯文、刻目文 | ヘラミガキ、ヨコナデ | |
| 高坏 | | Y775 | 92 | N10E8 | 4 | 器高11.2 底径11.0 | | | ヘラミガキ、ナデ | |
| 高坏 | | Y776 | 91 | N12E5 | 4 | 器高 6.1 底径10.0 | | 凹線文7、三角形透孔 | | |
| 高坏 | | Y777 | 91 | N12E4 | 4 | 器高 5.0 底径12.0 | | 鋸歯文(ヘラ)+直線文3(ヘラ) | ケズリ | |
| 高坏 | | Y778 | 91 | N16E8 | 4 | 器高 7.2 底径19.6 | 端部肥厚 | 凹線文3、三角形透孔、端部凹線文 | ヨコナデ | |
| 高坏 | | Y779 | 92 | N13E6 | 5-1 | 器高13.6 底径11.1 | 端部肥厚 | 直線文4~5(クシ)、垂下沈線文6(ヘラ)、端部凹線文2 | ヘラミガキ、ケズリ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|------------|----|------|-------|---------------------|-------------|------------------------------|----------|--------------|--------------------|--------|
| 高坏? | | Y780 | 91 | N13E5 | 第2河道 堆積土 | 器高 2.3 底径 10.6 | 端部肥厚 | 凹線文 5 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 高坏 | | Y781 | 91 | N14E5 | 4 | 器高 2.1 底径 14.0 | 端部肥厚 | 直線文 5 (ヘラ) | ヨコナデ | |
| 高坏 | | Y782 | 91 | N26E7 | 4-1 | 器高 5.5 底径 11.0 | 端部肥厚 | 直線文 13 (ヘラ) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 高坏 | | Y783 | 91 | N26E7 | 4-1 | 器高 4.3 底径 13.1 | | 凹線文 3 | ケズリ | |
| 高坏? | | Y784 | 92 | N16E7 | 第2河道 堆積土 | 器高 7.7 底径 12.0 | | | ヘラミガキ, ケズリ | |
| 高坏 | | Y785 | 91 | N17E8 | 第2河道 堆積土 | 器高 5.2 底径 11.2 | | 三角透孔 | | |
| 高坏 | | Y786 | 91 | N11E8 | 4 | 器高 3.8 底径 12.2 | | 円形透孔 | ヨコナデ | |
| 蓋 | | Y787 | 91 | | | 口径 10.4 器高 3.7 天井径 1.6 | | | | |
| 蓋 | | Y788 | 92 | N12E4 | 5-1 | 口径 8.3 器高 3.7 天井径 1.4 | | 段状の突帯文 | ハケ目, ナデ | |
| 蓋 | | Y789 | 92 | N18E9 | 4 | 口径 8.6 器高 3.0 天井径 2.4 | 柱状のつまみ | 斜格子文(クシ) | ヘラミガキ | |
| 脚 | | Y790 | 91 | N10E6 | 4 | 器高 3.5 底径 8.0 | | | | |
| 脚 | | Y791 | 92 | N11E7 | 4 | 器高 3.8 底径 8.8 | 端部肥厚 | 端部直線文 3 (ヘラ) | | |
| 高坏 | | Y792 | 92 | N16E8 | 4-2 | 器高 5.9 底径 8.7 | 端部肥厚 | 端部凹線文 | ヘラミガキ, ナデ, ヨコナデ | |
| 土コップ 器型 | | Y793 | 91 | N11E4 | 4 | 口径 7.4 器高 6.8 底径 2.8 | | | ヘラミガキ, ナデ | |
| 土コップ 器型 | | Y794 | 92 | N26E7 | 4-1 | 口径 8.4 器高 7.5 底径 4.1 | | | ハケ目 | 凹凸顕著 |
| 土コップ 器型 | | Y795 | 92 | N16E8 | 4 | 口径 8.6 器高 8.1 底径 3.3 | | | ヘラミガキ | |
| 土コップ 器型 | | Y796 | 92 | N21E6 | 4 | 口径 8.9 器高 8.3 底径 4.2 | 口縁開く | | ナデ | 凹凸顕著 |
| 土コップ 器型 | | Y797 | 92 | N17E8 | 5 | 口径 8.0 器高 8.6 底径 4.7 | | | 指押圧 | 凹凸顕著 |
| 土コップ 器型 | | Y798 | 92 | E8 ライン N17~18 | 5 | 口径 12.6 器高 14.1 底径 6.8 | 口縁やや内湾 | | ハケ目, 強いナデ | |
| 土コップ 器型 | | Y799 | 91 | | | 口径 8.0 器高 2.4 | 口縁逆「L」字形 | 凹線文, 三角形刺突文 | | 松江市保管 |
| | | Y800 | 93 | N27E7 | 4-1 | 器高 12.5 底径 6.0 | | | ヘラミガキ, ハケ目 | |
| | | Y801 | | | | 器高 4.8 底径 5.0 | | | ヘラミガキ? | 底部穿孔 |
| | | Y802 | | N12E5 | 4 | 器高 3.2 底径 4.3 | | | ハケ目, ナデ | ミニチュアか |
| | | Y803 | | N18E8 | 第2河道 堆積土 | 器高 4.7 底径 7.4 | | | ヘラミガキ | 底部穿孔 |
| 壺? | | Y804 | 93 | N16E7 | 4 | 器高 6.4 底径 5.6 | | | ヘラミガキ, ハケ目, ナデ | |
| | | Y805 | 93 | N18E9 | 4 | 器高 6.8 底径 6.8 | | | ヘラミガキ? | 底部厚い |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|---------------------|---------|------|-------|--------------------|-------------|------------------|--------|---|-------------------------|------|
| 壺? | | Y806 | 93 | N17E8 | 4 | 器高17.0 底径7.8 | | | ヘラミガキ | |
| 壺 | | Y807 | | N26E7 | 6 | 器高6.8 底径4.8 | | | ヘラミガキ | |
| | | Y808 | | N13E5 | 4 | 器高6.6 底径6.8 | | | ヘラミガキ? | 底部穿孔 |
| | | Y809 | 93 | N15E6 | 4 | 器高10.6 底径7.5 | | | ハケ目, ヘラミガキ | 底部剝脱 |
| 壺? | | Y810 | | N24E7 | 第2河道 堆積土 | 器高5.2 底径5.4 | | | ハケ目, ナデ | |
| | | Y811 | 93 | N11E7 | 4 | 器高6.5 底径5.8 | 高台状の底部 | | | |
| | | Y812 | 93 | N16 E7~8 ライン | 第2河道 堆積土 | 器高5.1 底径6.1 | 高台状の底部 | | ヘラミガキ, ヨコナ デ | |
| 碗 | | Y813 | | N20 ~22 E5~6 | 4 | 器高2.2 | 低脚付 | | | |
| | | Y814 | | N25E7 | 4-1 | 器高3.0 底径4.6 | 高台状の底部 | | | |
| | | Y815 | 93 | N5E6 | 4 | 器高9.2 底径8.4 | 高台状の底部 | | ハケ目, ナデ | |
| | | Y816 | 93 | | | 器高6.3 底径5.7 | 底部厚い | | ヘラミガキ, ナデ | |
| 壺? | | Y817 | | N19E9 | 第2河道 堆積土 | 器高3.6 底径7.8 | 凹み底 | | ヘラミガキ | |
| 鉢? | | Y818 | | N17E8 | 5 | 器高9.0 底径13.7 | 底径大きい | | | |
| 型 土器 器 | ヨ ツキ | Y819 | | N15E7 | | 器高3.3 底径10.6 | | | ヘラミガキ | |
| | | Y820 | 93 | N22E5 | 4 | 器高8.9 底径6.2 | | | ハケ目, ヨコナデ | |
| | | Y821 | 93 | N12E7 | 5-2 | 器高16.0 底径4.8 | | | ヘラミガキ, ヨコナ デ | |
| 壺? | | Y822 | | N12E5 | 4 | 器高3.5 底径4.8 | | | ハケ目, ナデ, ヘラ ミガキ, ケズリ | |
| 壺? | | Y823 | 93 | N12E5 | 第2河道 堆積土 | | | | | |
| 壺? | | Y824 | 93 | N16E8 | 4 | 器高13.8 底径10.4 | | | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 壺 II ₁ ? | | Y825 | 94 | N16E8 | 4 | | | 直線文6~8(クシ 4条を2回)間に波 状文, 円形浮文 | ハケ目 | |
| 壺 I | | Y826 | 94 | N16E7 | 5-1 | | | 直線文9(クシ5条 を2回)間に円形刺 突文3列 | | |
| 壺 X | | Y827 | 94 | N19E9 | | | 口縁b | 口縁端部鋸歯(クシ), 内面鋸歯文+直線文+ 波状文(いずれもクシ), 弧状の刻目突帯文 | ヨコナデ | |
| 壺 X | | Y828 | | N15E6 | 4 | | 口縁b | 口縁鋸歯文(クシ), 内面斜帯文Aa周辺 にクシ | ヨコナデ | |
| 壺 I | | Y829 | 94 | N25E7 | 第2河道 堆積土 | | 口縁b | 内面斜格子文+直線 文+刺突文(いずれ もクシ), 刻目突帯 文Aa | | |
| 壺 I | | Y830 | 94 | N26E7 | 第2河道 堆積土 | | | 内面斜格子文, 間に 波状文(ともにクシ), 刻目突帯文Aa | ハケ目 | |
| | | Y831 | 94 | N11E4 | 4 | | | 直線文2(ヘラ)上に 円形浮文列+刺突文 (貝) | ヨコナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|-------------------|-------|-------|-------|---------|------------------|-------|----------------------------------|--------------------------|------|
| | | Y 832 | 94 | N13E4 | 4 | | | 円形浮文列+斜線文, 突帯文Aa | | |
| 壺 | | Y 833 | 94 | N10E7 | 第2河道堆積土 | | | 凹線文5間に刺突文+刺突文+斜線文 | ナデ | |
| | | Y 834 | 94 | N11E4 | 4 | | | 流水文?(クシ) | ケズリ? | |
| 甕? | II? | Y 835 | 94 | N12E5 | 4 | | | | | |
| 甕 | II | Y 836 | 94 | N16E7 | 5-1 | | | 口唇刻目文, 直線文5(クシ) | | |
| 甕 | II | Y 837 | 94 | N17E8 | 4 | | | 口唇刻目文, 直線文5(クシ) | | |
| 甕 | II | Y 838 | 94 | N22E6 | 4 | | | | | |
| 甕 | | Y 839 | 94 | N17E9 | 第2河道堆積土 | | | 直線文9(クシ5条1単位)+三角形刺突文 | ナデ | |
| 甕 | I | Y 840 | 94 | N26E7 | 4-1 | | | 直線文9(クシ5条1単位)+三角形刺突文 | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y 841 | 94 | N16E7 | 第2河道堆積土 | | | 直線文12(クシ4条を3回) | ハケ目 | |
| 甕 | II | Y 842 | 94 | N11E7 | 4 | | | 口唇鋸歯文, 円形刺突文+直線文9(クシ) | ヨコナデ | |
| 甕 | II | Y 843 | 94 | N18E9 | | | | 口唇刻目文, 直線文9(クシ3条を3回?) | ナデ | |
| 甕 | I | Y 844 | 94 | N17E9 | 4 | | | 口唇刻目文, 直線文13(クシ4~5条を3回) | ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y 845 | 94 | | | | | 口唇刻目文, 直線文8(クシ)間に波状文(クシ8) | ハケ目, ナデ | |
| 甕 | I | Y 846 | 95 | N17E9 | 4 | | | 口唇刻目文, 直線文24(クシ6条を4回)+波状文(クシ) | ヨコナデ, ナデ | |
| 甕 | I | Y 847 | 95 | N12E5 | 6 | | | 直線文19(クシ6~7条を3回)+波状文(クシ6条) | ヨコナデ | |
| 甕 | I | Y 848 | 95 | N17E8 | 4 | | | 直線文17?(クシ5~8条を3回)+三角形刺突文+波状文(クシ) | | |
| 甕? | | Y 849 | 95 | N16E8 | 5-1 | | | 刻目突帯文Aa, 刺突文(クシ) | ハケ目, ナデ | |
| 甕? | | Y 850 | 95 | N2E8 | 4 | | | | 叩き, ハケ目 | 後期か? |
| 壺 | XV | Y 851 | 95 | | | | 口縁 b | 口縁凹線文2, 凹線文3+刺突文 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 壺 | XI ₁ | Y 852 | 95 | N12E5 | 4 | 口径13.8 器高 5.5 | 口縁 h | 口縁凹線文3 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 壺 | XI ₂ | Y 853 | 95 | N11E7 | 4 | 口径21.0 器高 7.2 | 口縁 b | 口縁凹線文2 | ハケ目, ケズリ | |
| 壺 | XI ₂ | Y 854 | 95 | N14E6 | 4 | 口径23.0 器高 7.9 | 口縁 b | 口縁凹線文3, 凹線文3 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 壺 | XV | Y 855 | 95 | N16E7 | 4 | 口径14.2 器高 5.6 | 口縁 b | 口縁凹線文4, 凹線文3 | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 壺 | XI ₁ | Y 856 | 95 | N18E8 | 第2河道堆積土 | 口径16.4 器高 5.7 | 口縁 b | | ハケ目, ヨコナデ, ハケ目, 口縁下端は貼付け | |
| 壺 | XI ₂ ? | Y 857 | 95 | N12E4 | 4 | 口径14.4 器高 2.5 | 口縁 c | 口縁凹線文3, 刺突文 | | |

| 器種 | 分類 | 挿 番 号 | 図 版 ペ ー ジ | 出 地 土 点 | 層 位 | 法 量 (cm) | 形 態 の 特 徴 | 文 様 の 特 徴 | 手 法 の 特 徴 | 備 考 |
|----|-------------------|-------------|-----------------------|------------------|-------------|--------------------|-----------------------|------------------------------------|--------------------------|--------|
| 壺 | XI? | Y 858 | 95 | N13E6 | 4 | 口径18.8 器高 3.7 | 口縁 b | 口縁凹線文 4 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 壺 | XI? | Y 859 | 96 | N11E4 | 5 | 口径15.2 器高 7.1 | 口縁 b | 口縁凹線文 3 | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 壺? | | Y 860 | 95 | N14E6 | 4 | 口径14.6 器高 3.8 | 口縁 i | 口縁直線文 6(貝?) | ヨコナデ | |
| 壺 | XII | Y 861 | 95 | N10E7 | 4 | 口径16.6 器高 5.8 | 口縁 i | 口縁凹線文 3 | | |
| 壺 | XI ₂ | Y 862 | 95 | N10E7 | 4 | 口径14.2 器高 5.6 | 口縁 g | 口縁直線文 3(ヘラ), 波状文(クシ) | ヨコナデ, ハケ目, ヘラミガキ, ケズリ | |
| 壺 | XII | Y 863 | 95 | N12E4 | 5-1 | 口径13.7 器高 5.3 | 口縁 i | 口縁凹線文 3 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 壺 | XI ₂ ? | Y 864 | 95 | N26E8 | 第2河道 堆積土 | 口径14.4 器高 5.8 | 口縁 a | | ヨコナデ | |
| 壺? | | Y 865 | 95 | N14E5 | 4 | 口径20.0 器高 3.8 | 口縁 i | 直線文10(貝?) | ヘラミガキ?, ヨコ ナデ | |
| 壺 | XII | Y 866 | 96 | N13E7 | 4 | 口径23.0 器高 8.6 | 口縁 i | 直線文 6(クシ) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 壺 | | Y 867 | 95 | N19E9 | 第2河道 堆積土 | 器高 4.6 | 口縁 h | 直線文11(クシ 4 条 を 3 回?)上に垂下 突帯文 | ヨコナデ | |
| 壺 | | Y 868 | 95 | | | 口径25.0 器高 6.8 | 口縁 j | | | |
| 壺 | XII | Y 869 | 95 | N10E7 | 4 | 口径14.4 器高 6.8 | 口唇面取 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 壺 | XII | Y 870 | 96 | N10E7 | 4 | 口径10.6 器高 8.5 | 口縁 a | 口縁凹線文, 直線文 6(クシ) | ヘラミガキ?, ケズ リ | |
| 壺 | XII | Y 871 | 96 | N16E7 | 4 | 口径16.4 器高 6.4 | 口縁直口 | 凹線文 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | III ₂ | Y 872 | 96 | N26E8 | 第2河道 堆積土 | 口径25.0 器高 5.3 | 口縁 c | 口縁凹線文 2 | ナデ, ケズリ | |
| 甕 | III ₂ | Y 873 | 96 | N12E8 | 5 | 口径18.2 器高 5.6 | 口縁 g | 口縁凹線文 3, 直線 文 5(クシ) | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | III ₂ | Y 874 | 96 | N15E7 | 4 | 口径18.8 器高 5.3 | 口縁 b | 口縁凹線文 2 | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | III ₂ | Y 875 | 96 | N12E4 | 4 | 口径17.0 器高 7.8 | 口縁 b | 口縁凹線文 2, 刺突 文 | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | III ₂ | Y 876 | 96 | N14E7 | 第2河道 堆積土 | 口径19.4 器高 5.8 | 口縁 b | 口縁凹線文 3 | ケズリ | |
| 甕 | III ₂ | Y 877 | 96 | N25E7 | 第2河道 堆積土 | 口径18.0 器高 3.5 | 口縁 c | 口縁直線文 3(クシ?) | ハケ目, ナデ, ケズ リ | |
| 甕 | III ₂ | Y 878 | 96 | N26E8 | | 口径15.0 器高 3.0 | 口縁 b | 口縁凹線文 2 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | III ₃ | Y 879 | 96 | N11E7 | 4 | 口径26.6 器高 7.0 | 口縁 g | 口縁凹線文 2 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | III ₃ | Y 880 | 97 | N16E7 | 4 | 口径28.4 器高13.5 | 口縁 g | 口縁直線文 3, 内外 面波状文(ヘラ), 刺 突文 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | III ₂ | Y 881 | 97 | N18E9 | 第2河道 堆積土 | 口径18.2 器高 4.1 | 口縁 a | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | III ₂ | Y 882 | 97 | N24E7 | 第2河道 堆積土 | 口径17.0 器高 8.4 | 単純口縁 | | 叩き, ハケ目, ヨコ ナデ, ケズリ | |
| 甕 | IV | Y 883 | 97 | N12E8 | 4 | 口径15.3 器高 2.7 | 単純口縁 | | ケズリ? | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|------------------|------|-------|------------------|-------------|-----------------|-------------------|--------------------------------------|---------------------|-------|
| 甕 | Ⅳ | Y884 | 97 | N25E8 | | 口径23.0 器高9.2 | 単純口縁, 端部若干 巻込む | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y885 | 97 | N11E7 | 4 | 口径16.8 器高6.8 | 口縁h | 口縁凹線文5(クシ 後ナデ) | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y886 | 97 | | | 口径17.8 器高6.2 | 口縁c | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y887 | 97 | N12E7 | 4 | 口径2.1 器高4.9 | 口縁g | 口縁凹線文2 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y888 | 97 | N13E8 | 4 | 口径31.6 器高4.1 | 口縁h | 口縁凹線文6(クシ 後ヨコナデ) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y889 | 97 | N10E6 | 4 | 口径21.2 器高3.6 | 口縁h | 口縁凹線文3 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y890 | 97 | N12E4 | 4 | 口径14.0 器高4.5 | 口縁h | 口縁凹線文3 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y891 | 97 | N12E9 | 4 | 口径27.0 器高7.2 | 口縁i | 口縁直線文6(貝?), 直線文3~4(クシ) +刺突文(貝) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y892 | 97 | N12 ~13 E4 | 5 | 口径16.2 器高6.6 | 口縁i | 口縁凹線文4, 刺突 文(ヘラ) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | | Y893 | 97 | N17E9 | 第2河道 堆積土 | 口径16.2 器高2.4 | 口縁h | 口縁直線文4 | ヨコナデ2 | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y894 | 97 | N16E7 | 4 | 口径19.0 器高4.3 | 口縁k | 口縁直線文5(クシ) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y895 | 97 | N13E4 | 4 | 口径20.0 器高3.9 | 口縁k | 口縁直線文6(クシ 後ヨコナデ) | ヨコナデ, ケズリ, ハケ目 | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y896 | 97 | N18E8 | 第2河道 堆積土 | 口径18.8 器高5.4 | 口縁k | 口縁直線文9(クシ) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y897 | 98 | N15E6 | 4 | 口径29.8 器高4.9 | 口縁k | 口縁直線文9(貝?) | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y898 | 97 | N10E6 | 4 | 口径23.0 器高6.9 | 口縁k | 口縁直線文12(クシ) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y899 | 98 | N12E4 | 4 | 口径12.4 器高6.6 | 口縁i | 口縁直線文3(クシ ?), 刺突文(クシ押 引き状) | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y900 | 98 | N25E8 | 第2河道 堆積土 | 口径19.2 器高5.5 | 口縁k | 口縁凹線文5 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ ? | Y901 | 98 | | | 口径17.8 器高5.2 | 口縁k(屈曲鈍い) | 口縁凹線文2, 刺突 文(ヘラ) | | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y902 | 98 | N13E6 | 4 | 口径29.4 器高5.1 | 口縁k | 口縁直線文8(クシ 4条を2回) | ヘラミガキ, ケズリ, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y903 | 98 | N16E8 | 4 | 口径18.8 器高5.2 | 口縁k | 口縁直線文5(クシ 後ヨコナデ) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y904 | 98 | N18 ~19 E8 | 第2河道 堆積土 | 口径24.8 器高3.5 | 口縁i | 口縁凹線文4(ヘラ 後ヨコナデ?), 刺 突文(クシ) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅲ | Y905 | 98 | | | 口径19.1 器高3.6 | 口縁i | 口縁凹線文4 | ヨコナデ, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y906 | 98 | | | 口径14.3 器高4.2 | 口縁i | 口縁凹線文3, 刺突 文(ヘラ) | ヨコナデ, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅲ ₂ | Y907 | 98 | N11E4 | 4 | 口径12.8 器高3.4 | 口縁k | 口縁凹線文4 | ヨコナデ | |
| 鉢 | V | Y908 | 98 | N18E8 | | 口径16.9 器高5.6 | 口縁面取 | | ケズリ | |
| 鉢 | V | Y909 | 98 | N12E4 | 4 | 口径17.0 器高5.6 | 口縁h | 口縁凹線文3(クシ 状ヨコナデ) | ヘラミガキ?, ケズ リ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|------|----------------|------|-------|-------|-------------|-----------------|-----------|---------------------|--------------------|------------------|
| 鉢 | V | Y910 | 98 | N11E6 | 第2河道 堆積土 | 口径9.8 器高5.3 | 口縁h | 口縁凹線文3 | ケズリ? | |
| 鉢? | V | Y911 | 98 | N13E5 | 4 | 口径15.6 器高4.6 | 口縁h | 口縁凹線文2, 刺突 文(クシ) | ヨコナデ, ケズリ, ハケ目 | 脚付きか? |
| 鉢 | V | Y912 | 98 | N16E7 | 第2河道 堆積土 | 口径17.6 器高4.7 | 口縁c, 頸部短い | 口縁凹線文2 | ヨコナデ, ケズリ | |
| 高坏 | Ⅲ ₂ | Y913 | 98 | N10E7 | 4 | 口径13.6 器高3.1 | | 口縁凹線文4 (クシ状) | ヨコナデ | |
| 高坏 | Ⅱ | Y914 | 98 | N11E4 | | 口径16.3 器高2.5 | 口縁g | 口縁凹線文2 | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 高坏 | Ⅱ | Y915 | 98 | N12E7 | 第2河道 堆積土 | 口径18.4 器高1.3 | 口縁i | 口縁直線文6(ヘラ) | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 蓋? | | Y916 | | N16E8 | 4 | 口径11.0 器高3.6 | 端部拡張 | 端部直線文7(クシ) | ヘラミガキ | 天井部穿孔 |
| 高坏 | V | Y917 | 98 | | | 口径18.2 器高3.8 | | | | 松江市保管 |
| 高坏 | V | Y918 | | N13E4 | 4 | 口径10.4 器高4.0 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 高坏 | | Y919 | 98 | N11E4 | 4 | 器高4.0 底径13.5 | 端部肥厚 | 端部凹線文4条 | ヘラミガキ, ケズリ | |
| 器台? | | Y920 | 98 | N17E7 | 第2河道 堆積土 | 器高2.8 底径12.2 | 端部拡張 | 端部凹線文4 | ヨコナデ, ヘラケズ リ | |
| 器台? | | Y921 | 98 | N16E7 | 4 | 器高2.8 底径17.6 | 端部拡張 | 端部凹線文6(貝?) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 器台? | | Y922 | 98 | N26E7 | 4-1 | 器高4.1 底径13.6 | 端部肥厚 | 端部凹線文3 | ヘラミガキ, ケズリ | |
| 器台 | | Y923 | 98 | N15E7 | 4 | 器高5.8 底径16.4 | | | ヘラケズリ | |
| 注口土器 | | Y924 | 98 | N12E5 | 4 | | | | ケズリ | |
| 注口土器 | | Y925 | 98 | N21E5 | 4 | | | | ヘラミガキ? | |
| 注口土器 | | Y926 | 98 | N17E9 | 6 | | | | ヘラミガキ? | |
| 甌 | | Y927 | 98 | N12E8 | 4 | | 把手 | | ケズリ | |
| 蓋 | | Y928 | 98 | | | 器高1.4 底径10.2 | | | ヨコナデ | 外面漆塗 松江市保管 |
| 短頸壺 | | Y929 | 99 | N10E7 | 4 | 口径12.0 器高2.6 | | | ヨコナデ, ハケ目 | 全面漆塗, 中期 |
| | | Y930 | | N15E7 | 5-1 | 器高3.3 底径5.1 | 高台状の底部 | | ヘラミガキ | 内面漆塗, 中期 |
| 甕 | | Y931 | 99 | N16E7 | 5-1 | 口径10.9 器高7.0 | 口縁突帯文に肥厚 | | | 無文土器系? |
| 甕 | | Y932 | 99 | N20E5 | 4 | 口径18.6 器高4.4 | 口縁蒲鉾形の断面形 | | ヨコナデ | 無文土器系? |
| 鉢? | | Y933 | 99 | N12E4 | 4 | 口径15.4 器高4.9 | | 刻目突帯文Aa | ハケ目 | 胎土は中期に似る |
| 壺? | | Y934 | 99 | N16E8 | 6 | 器高2.9 | | 刻目突帯文Aa | ヨコナデ | 小片, 胎土は前期に 似る |
| 高坏 | | Y935 | 99 | 不明 | | | | | 脚剥脱痕(充填技法 ではない) | 胎土は中期に似る |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|------------|----|-------|-------|--------------------|-----|------------------------------|---------------|-----------------|---------------------|-------------------|
| 土コップ 器型 | | Y 936 | 99 | N14E5 | 4 | 器高 5.9 底径 4.6 | | | ケズリ, ナデ | 後期? |
| 直口壺? | | Y 937 | 99 | N12E4 | 4 | 器高 3.6 | 胴部張る | 突帯文Aa | | 前または中期? |
| 壺? | | Y 938 | 99 | N13E5 | 4 | 器高 6.0 | 胴部張る | 凹線文 2 | ヨコナデ, ヘラミガキ, 底部円板充填 | 中期? |
| 碗? | | Y 939 | 99 | N11E4 | 4 | 口径 7.0 器高 6.3 | | | ケズリ | |
| 壺? | | Y 940 | 99 | N11E4 | 4 | 口径 7.6 器高 7.0 | 把手付き | | ヨコナデ, ケズリ, ナデ | |
| 甕? | | Y 941 | 99 | N11E4 | 4 | | 口縁突帯状 | | ナデ | 無文土器系? |
| 甕 | I | Y 942 | 99 | N16E8 | 6 | | 波状口縁? (摩滅著しい) | 段 | ヨコナデ, ハケ目 | 前期 |
| 甕 | II | Y 943 | 99 | N27E7 | 4-2 | | | 刻目突帯文上面に斜線文(ヘラ) | ナデ | 前期, 縄文晩期突帯文土器に似る |
| | | Y 944 | 99 | N26E7 | 4-1 | | 口縁肥厚 | | | 胎土は前期に似る 松江市保管 |
| | | Y 945 | 99 | N11E4 | 4 | | | 口縁突帯文 | | 胎土は前期 |
| 壺 | | Y 946 | 99 | N15E5 | 4 | | | 直線文 6(クシ)+竹管文 | ハケ目, ケズリ | 後期 |
| | I | Y 947 | 99 | N13 ~12 E4 | | | | 羽状文B(ヘラ), 不明文様 | ケズリ | 後期 |
| 甕 | I | Y 948 | 82 | N15E7 | 6 | 口径 26.2 器高 30.7 底径 6.2 | | | ハケ目, ナデ | 底部穿孔 |
| 甕 | I | Y 949 | 82 | N20 ~22 E5~6 | 4 | 口径 25.0 器高 12.5 底径 6.2 | | | ハケ目, ナデ | |

3. 土 師 器

土師器は弥生土器に比べ比較的出土数が少なく、図示したのは300点余りである。内容的には前回出土の土師器とほとんど変わらないため、分類は報告Ⅱに準じたい。

壺Ⅰ₁（第75図H1～5 図版100） 複合口縁の壺で、口縁端部が内傾するもの。口縁部に波状文を施すものがある。

Ⅱ₂（第75図H6～第76図H24・31・32 図版100・101） 複合口縁で、口縁端部が外反するもの。口縁上端は平坦面をなすものが多いが、H9は丸く終る。H13・15は複合口縁が退化したものであると思われ、稜は突帯を貼り付けてつくられる。H24も稜が退化したものである。H19～21は他の土器より大きく開く。

Ⅲ（第76図H25～30・33～38 図版101・102） 単純口縁のもので、口縁部は大きく外反する。H30・38のように直立気味に外反するものや、H37のように口縁部が大きく開き口縁端を内側に摘み上げるものなどがある。

以上のほか、頸部に突帯を付けるものが出土している（第76図H39・40 図版101）。

甕Ⅰ（第76図H41～第77図H48 図版102） 複合口縁の土器のうち、口縁端部が内傾または直立するもの。上端は平坦なものが多いが、H41・46は丸みを持つ。文様はH43の肩部に刺突文が施される程度である。

Ⅱ₁（第77図H51～第78図H78・81・82・84 図版103） 複合口縁の土器のうち、口縁部上端が丸く終るもの。クシ状工具で波状文（H58・65・67）、直線文（H56・70）、ヘラ状工具で羽状文、鋸歯文が施されるもの（H60）があるが、総じて文様が施されるものは少ない。

Ⅱ₂（第78図H79・80・83～第80図H141・143～149 図版103～106） 複合口縁の土器のうち、口縁部上端が肥厚し平坦面をなすもの。H79・80・83～97・99は上端部の肥厚化が顕著でなく、わずかに面取りされている。今回の調査ではH137～139のように口縁部上端が内側に摘み上げるようになるものが少数出土している。文様は施されるものが少く、波状文が肩部に施されるものが少数ある（H120・136）。

Ⅲ₃（第80図H142・第81図H151・155～169・170 図版105・106） 複合口縁ではあるが、稜から頸部にかけてやや厚くシャープさに欠けるもの。

Ⅱ₄（第81図H153・154・156・158 図版106） 複合口縁の土器のうち、稜が丸く鈍いもの。器壁はかなり厚い。

Ⅱ₅（第81図H152・157・159～162・166 図版106） 外面は複合口縁の若干退化したように見えるが、内面は明瞭に屈曲しないもの。

Ⅱ。(第81図H163～第82図H175 図版106・107) 外面は一応複合口縁形を呈しているが、稜は不明瞭なもの。H167～168のように稜がミミズ腫れ状のものもある。

Ⅲ 今回はⅢ類は出土していない。

Ⅳ (第82図H176～199, 第83図H208～第84図H221 図版106～109) 口縁部は単純口縁で内湾するもの。口縁端部は丸く終るもの (H205・211など), 肥厚し内傾するもの (H213・216～220など), 平坦面をなすもの (H177～199など) など様々である。なおH220の胴部には叩き痕が残る。

V (第84図H200～209・222～第85図H250・253・254 図版107～110) 単純口縁で, 口縁部が外反または外傾するもの。口縁端部は丸く終るもの (H226・230など), 先細になるもの (H224・233～235など), 平坦面をなすもの (H200・203など) など様々である。文様が施されるものはほとんどないが, H228の頸部にはクシ状工具による刺突文が施される。報告Ⅱでは1～7に細分したが, 今回は一括して扱った。

このほか, 変わった器形として第85図H251・252がある。H251は胴部が張らず口縁部が大きく開くもので, 鉢とすべきかもしれない。H252は口縁部が典型的な複合口縁ではなく, 肥厚させ上方に摘み上げるもので, 弥生土器の可能性もある。

高坏坏部Ⅰ₁ (第85図H255～264・266～268 図版111・112) 底部と口縁部の境に突帯状の稜が付くもの。この稜は坏部製作後に突帯を貼り付けてつくられたものもある (H263・256など)。坏部との接合は脚部接合後底部中央に粘土を埋め込んだものが多い。H263は底部中央が擬口縁となっている。

I₂ (第85図H267・269・271 図版112) 底部と口縁部の境は明瞭だが, 突帯状にならないもの。口縁端部は内側に摘み上げるものがある (H267)。

I₃ (第85図H265・272～275, 第86図H288 図版112) 底部と口縁部の境が不明瞭なもので, 口縁部が外反するもの。口縁端部は丸く終るものが多いが, H273は上方に摘み上げる。

Ⅱ (第86図H276～287 図版111・112) 坏部が内湾しそのまま口縁部に至るもの。H283・284の脚部は大きく広がるようである。口縁端部は丸く終るものが多いが, H286・287は上方に摘み上げるものである。

脚部 (第86図H289～296 図版112) 筒部から脚端部にかけてカーブを描いて広がるもの (I H290・291・295), 脚端部で大きく屈曲して広がるもの (Ⅱ H294・296), 複合口縁状を呈するもの (H292) がある。H292は弥生土器の可能性もある。

器台 (第86図H297～第87図H309 図版112) いずれも鼓形器台で, H297～301・305は受部, H302～304・306～309は脚部である。H297は受部が大きく広がらず, 筒部が長い形態の器台と推定され, 他の器台よりやや古い様相を持つ。これ以外は筒部が短いものである。文様はH297にク

シ描き直線文，H303に刺突文が施される以外は無文である。

低脚坏（第87図H310～320 図版113） 坏部は内湾する皿形で（H311・312），「ハ」字形に開く低い脚がつく。H317は特に小さい脚である。

鉢？（第87図H322 図版113） 口縁部が短く外反し，肩部が張るもの。1点のみ出土している。

碗（第87図H323～329 図版113） 口縁部が内湾または外傾するものが出土した。器壁が薄いもの（H323など），厚いもの（H324など）などがあるが，厚いものが多いようである。H323・328・329の底部外面，H327の内面にはへら削り調整が施される。なおH327は口縁部が厚く底部が薄いつ異なる土器で，碗以外の器種かもしれない。

甗（第87図H330・331） H330は把手部分，H331は底部（あるいは口縁部）の小片である。

小型丸底壺Ⅰ₁（第88図H333～335 図版113・114） 口縁部は長く，内湾気味に大きく開くもので，口径が胴部最大径より大きいもの。

Ⅰ₂（第88図H346～348・350） 口縁部はⅠ₁類ほど長くはないが，わずかに内湾しながら伸びるもの。口径は胴部径とほぼ同じである。

Ⅰ₃（第88図H342・349・356） 口縁部が長く，中ほどに段を設け口縁上半は外反するもの。

Ⅰ₄（第88図H345） 口縁部が長く外反するもの。

Ⅱ₃（第88図H351・352） 口縁部が短く外傾するもの。

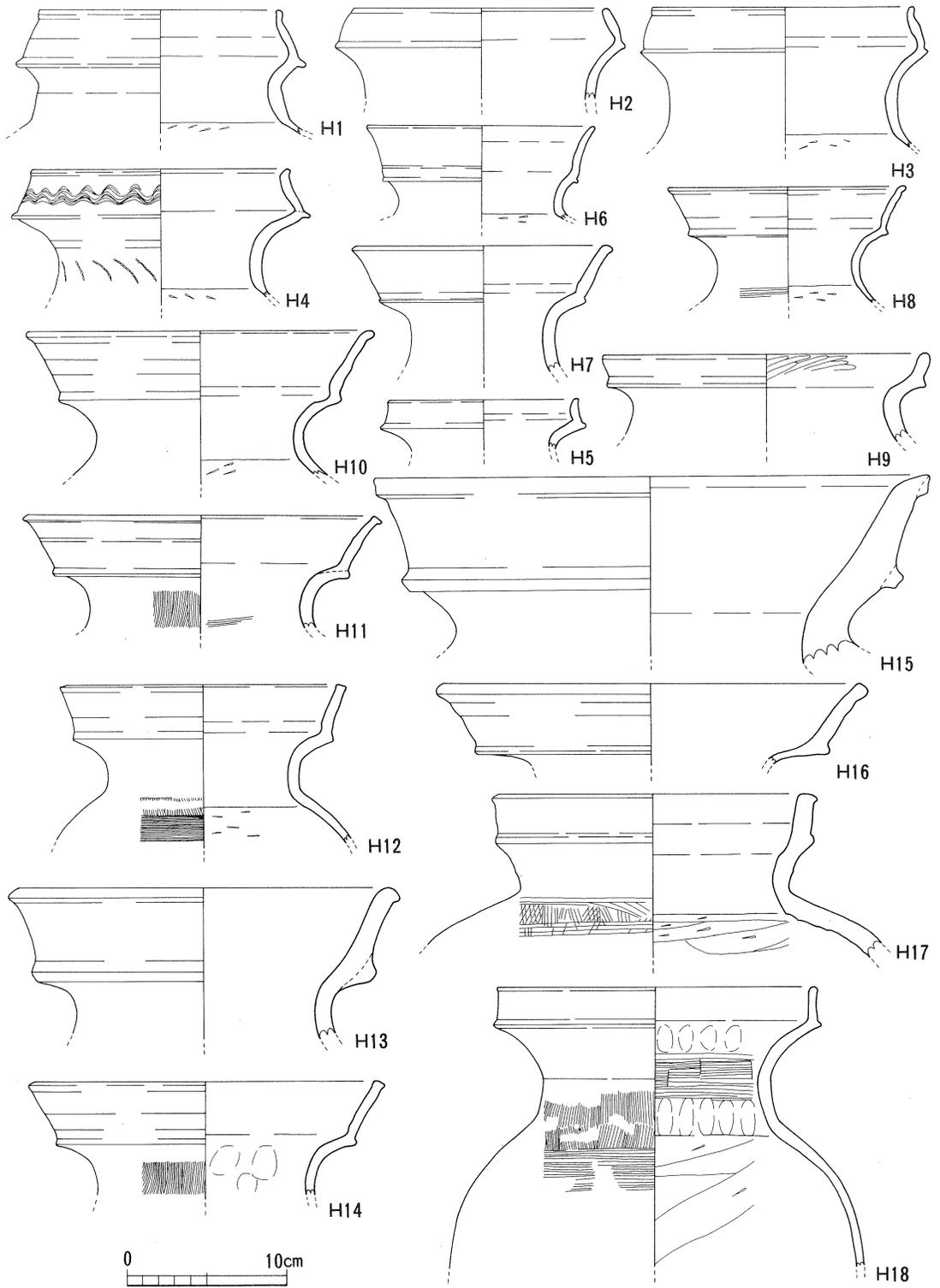
Ⅲ（第88図H353～355） 比較的大型で，口縁部が外反または直口気味なもの。

Ⅳ（第88図H336～341・343・344） 前回の調査では出土していない。口縁部が複合口縁のものである。大型のものが多いが，H341・343は小型で，複合口縁の退化したものである。

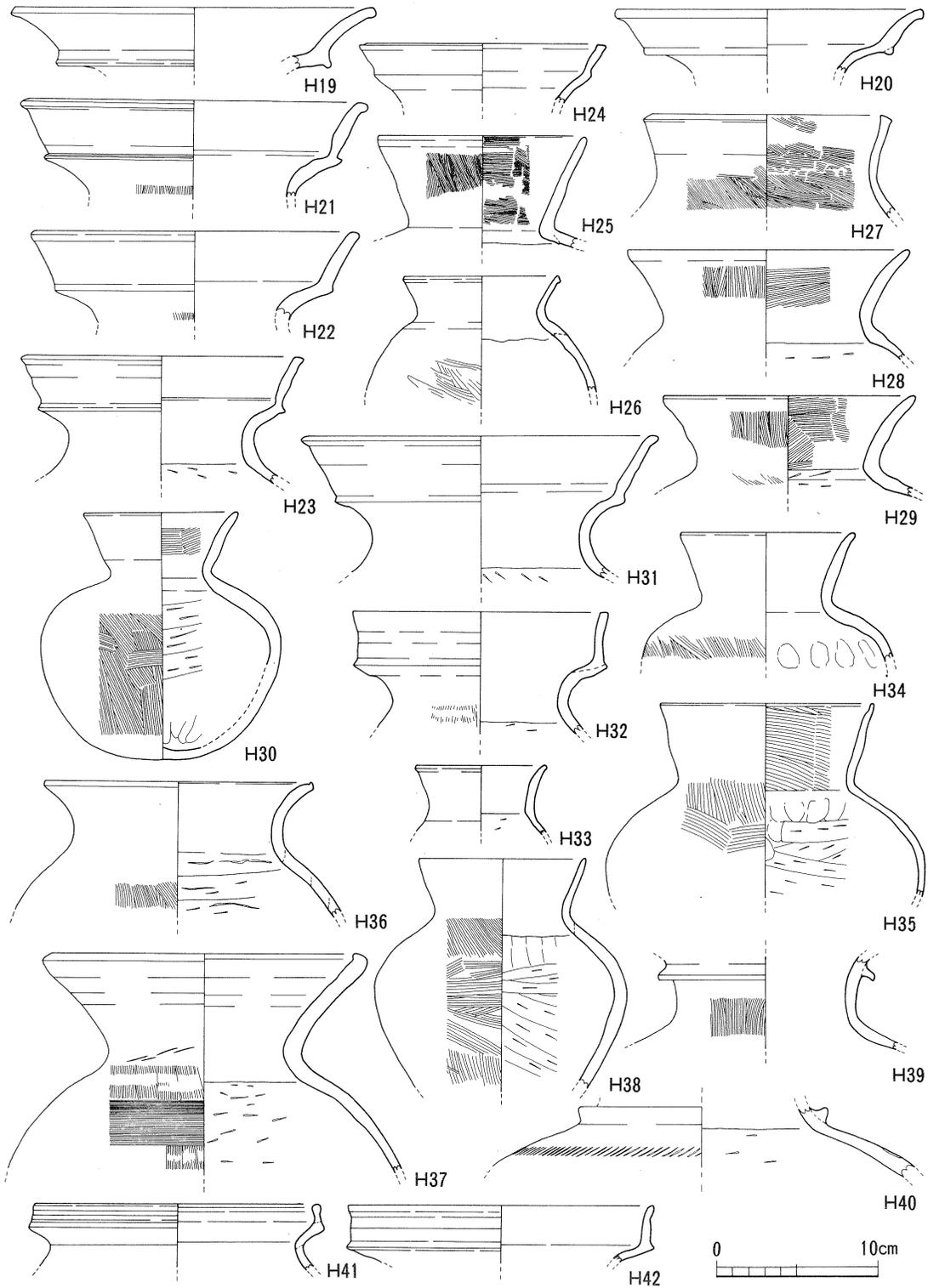
その他（第87図H332・357～360） 土師器には波状文以外に文様が施されるものは少ないが，竹管文（H332），S字スタンプ文（H357・358），貝殻腹縁による羽状文（H359），へらによる不明文様（H360）が施されるものがある。

註

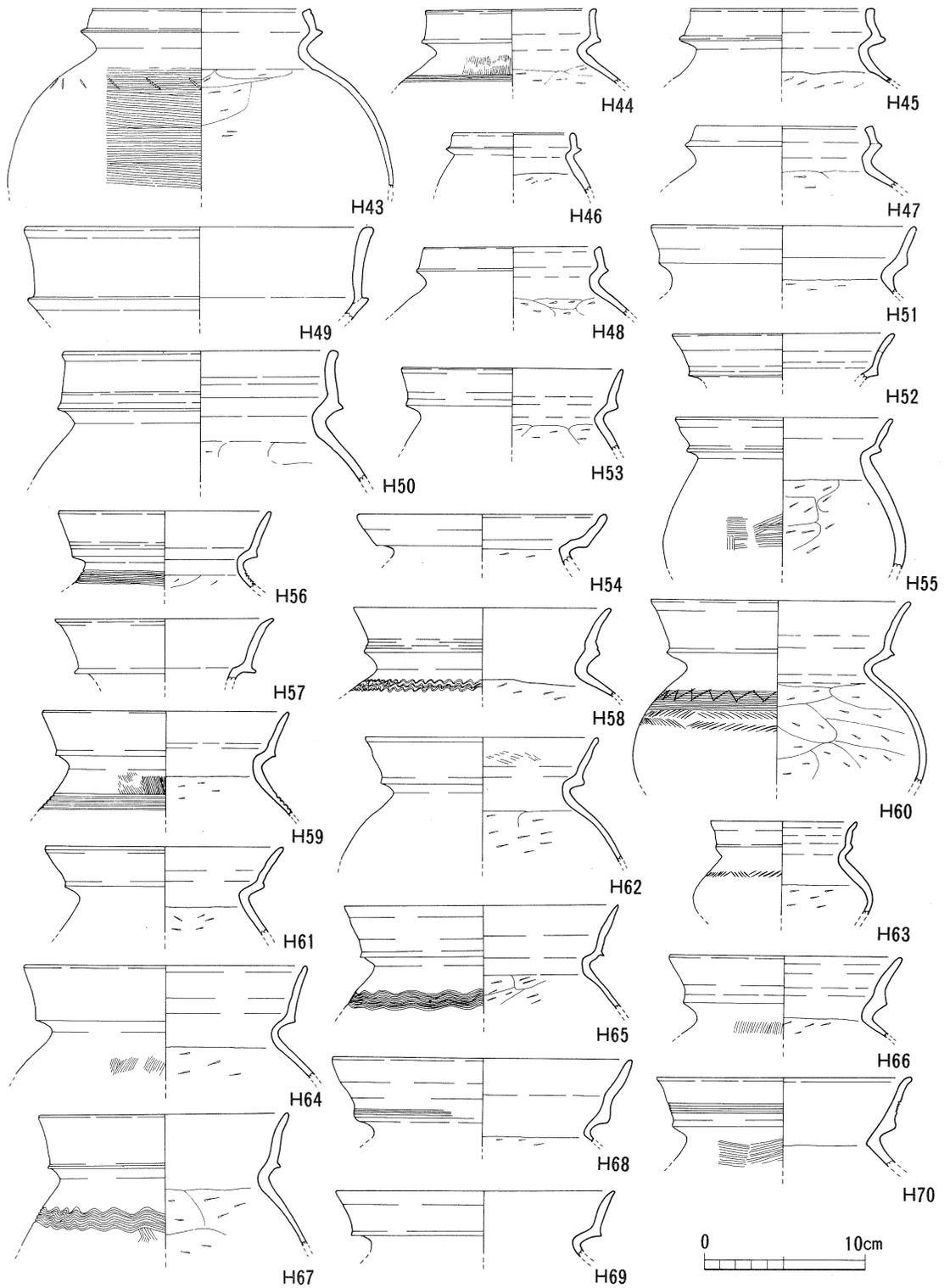
- 註1 島根県教育委員会 島根県土木部河川課『朝酌川河川改修工事に伴うタテチョウ遺跡発掘調査報告書』Ⅱ 1987



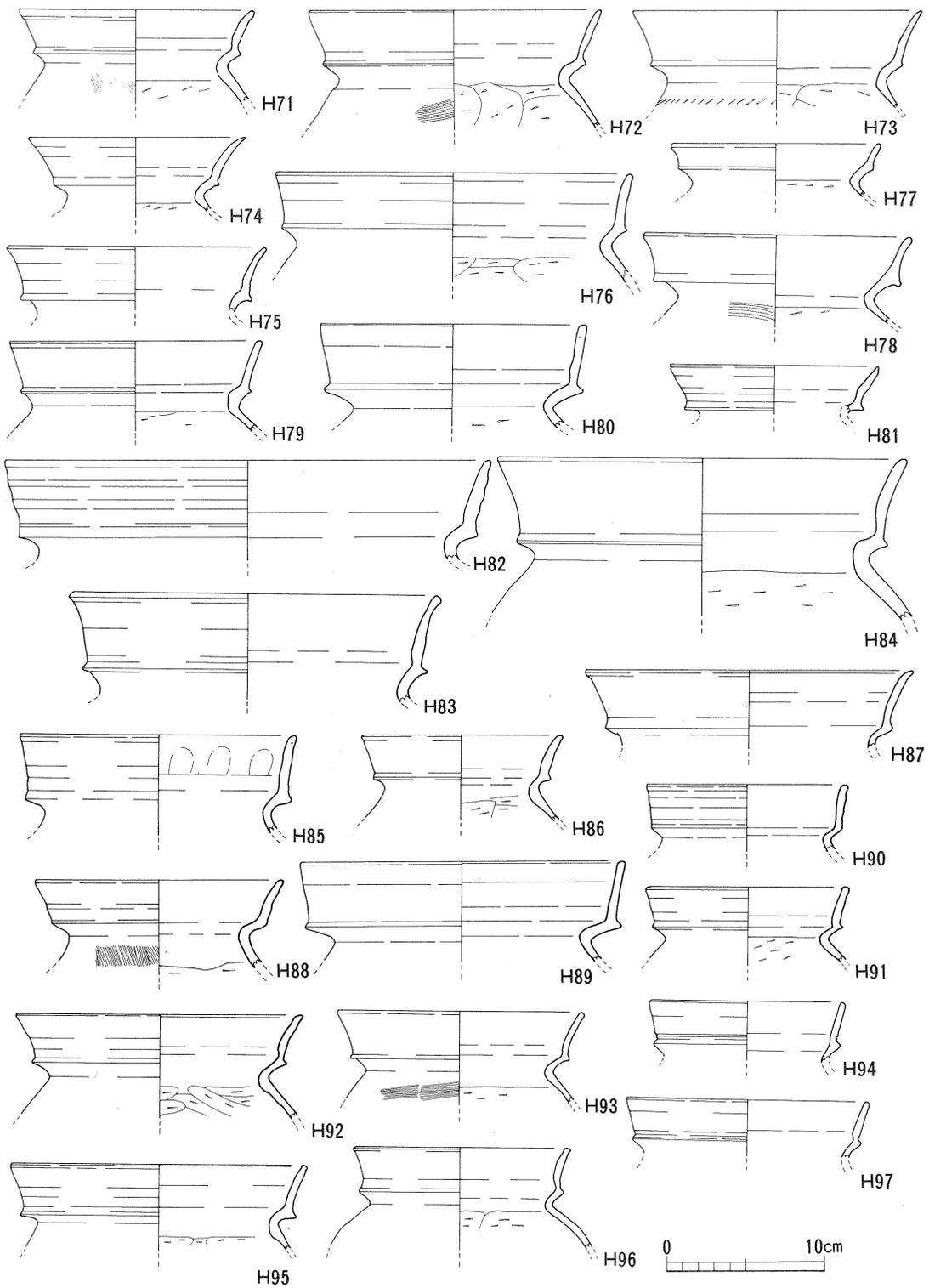
第75図 土師器(1) 壺 1:4



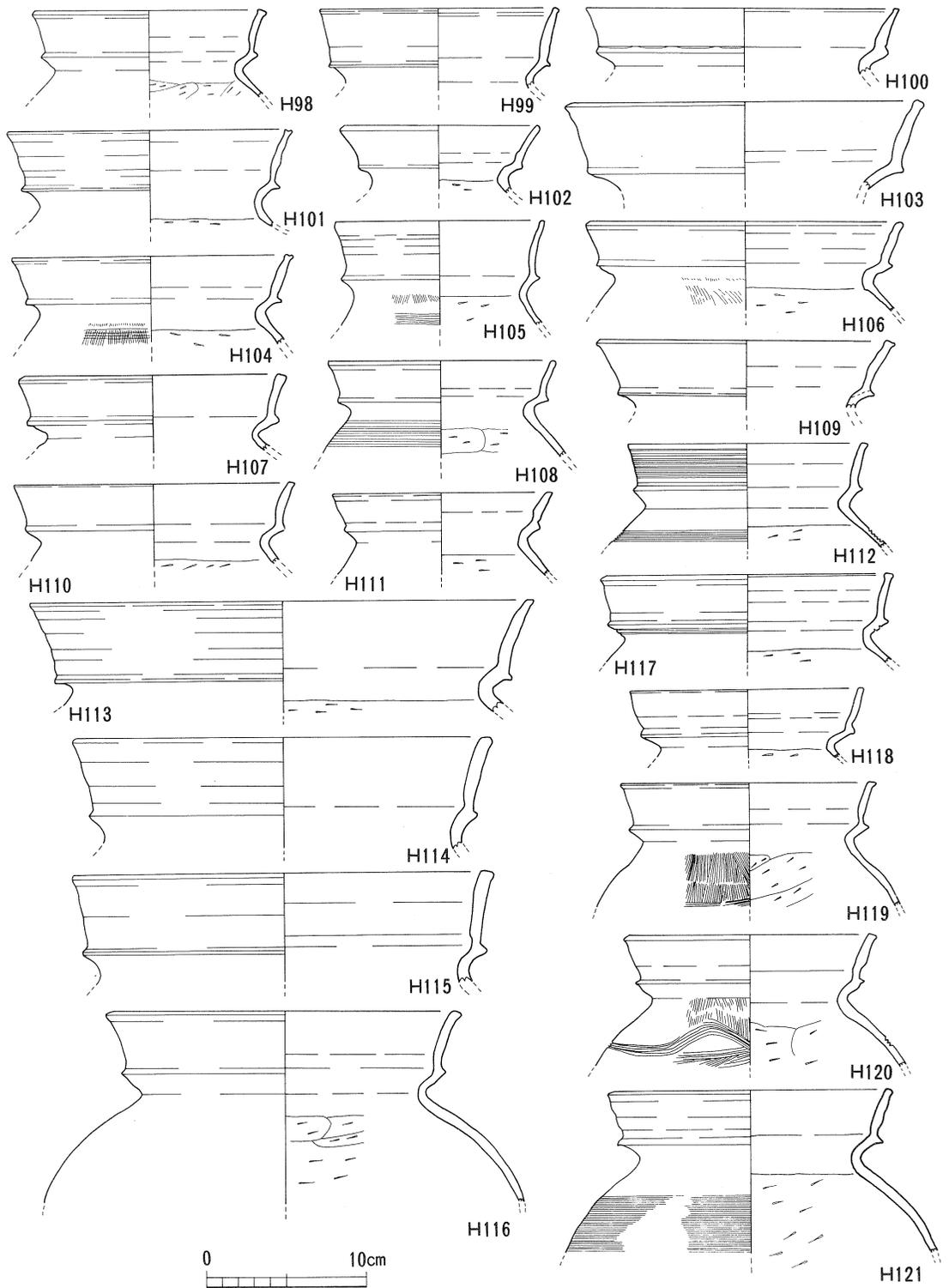
第76图 土師器(2) 甕・壺 1:4



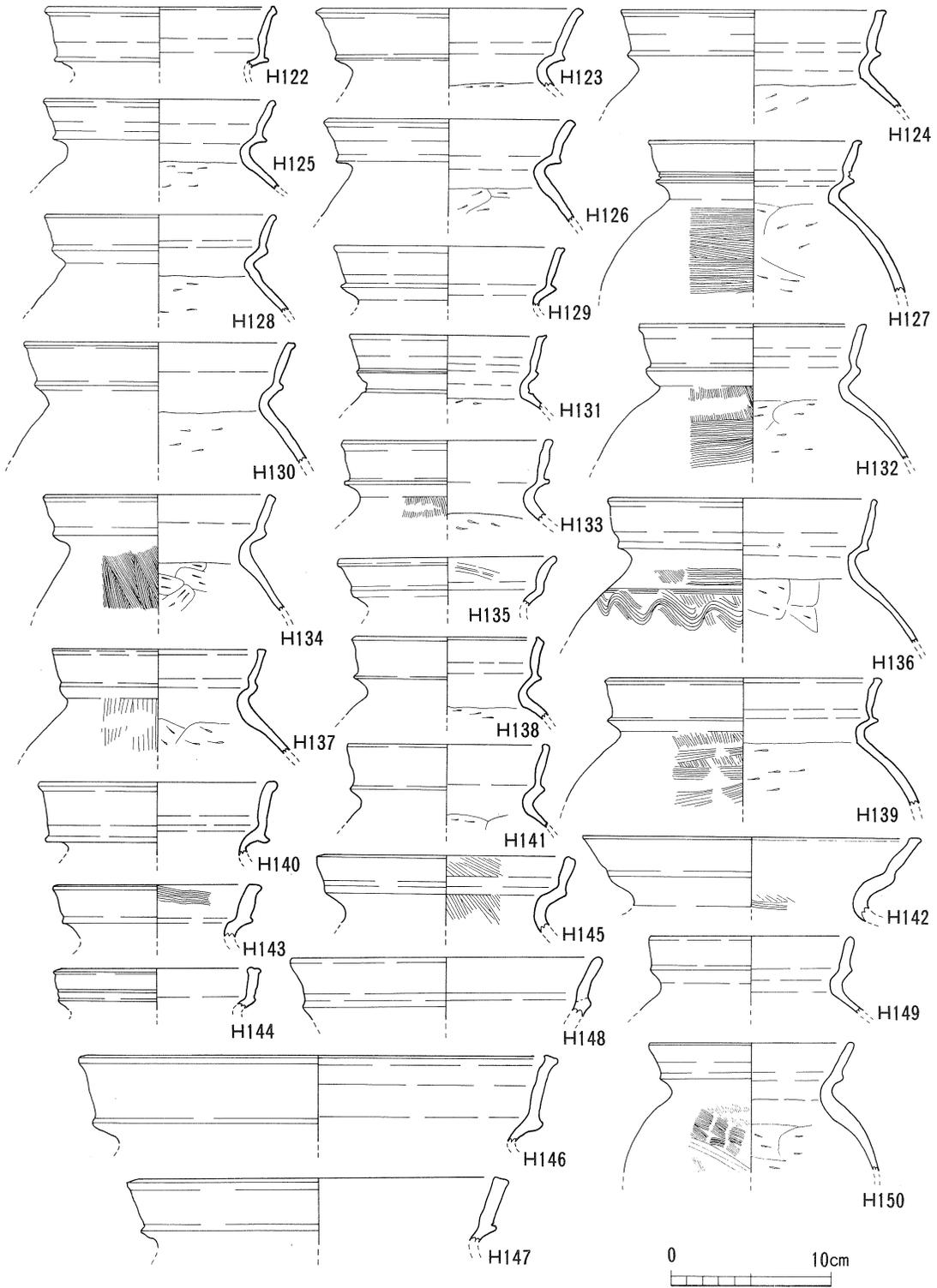
第77图 土師器(3) 甕 1:4



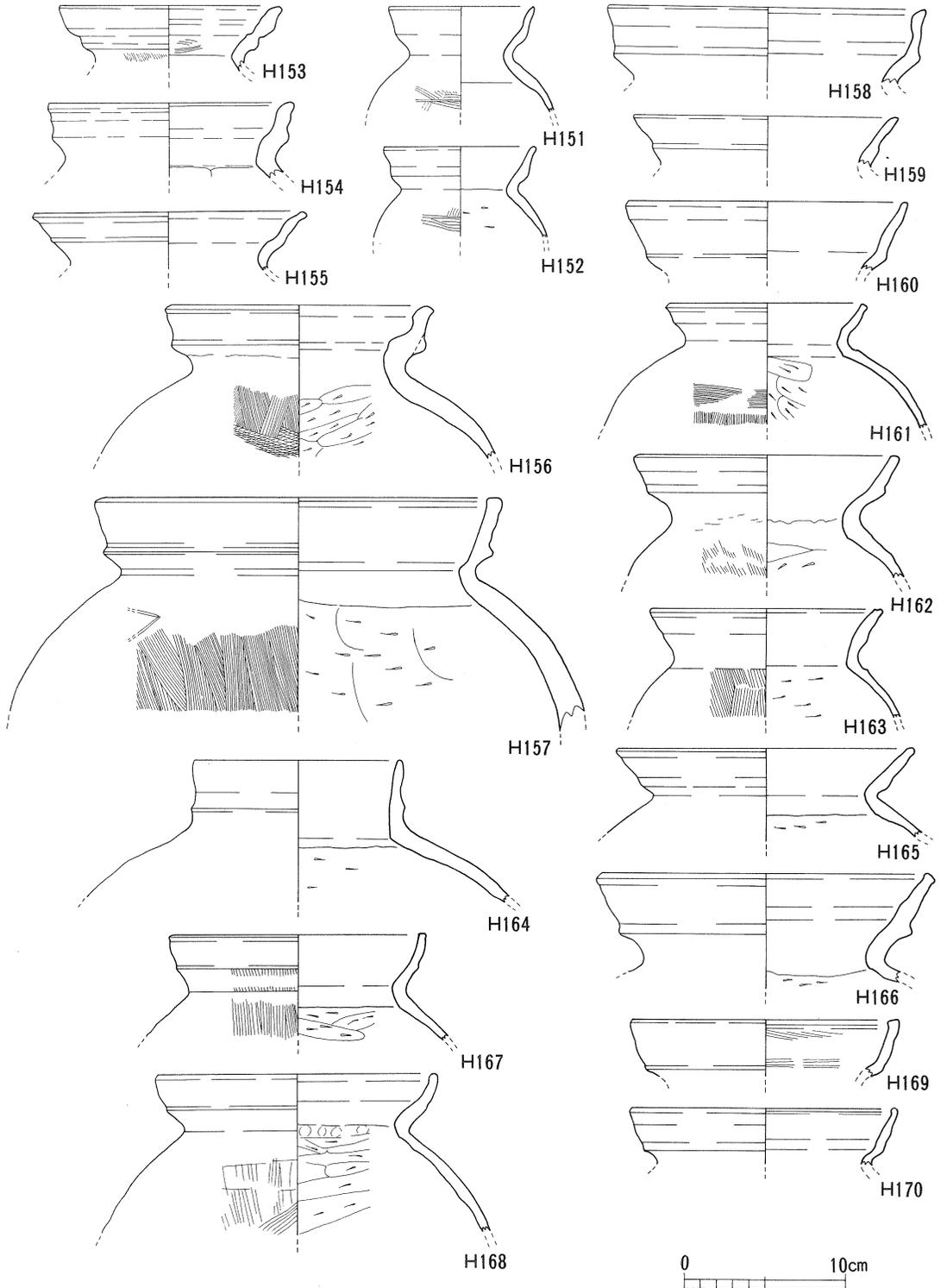
第78圖 土師器(4) 甕 1:4



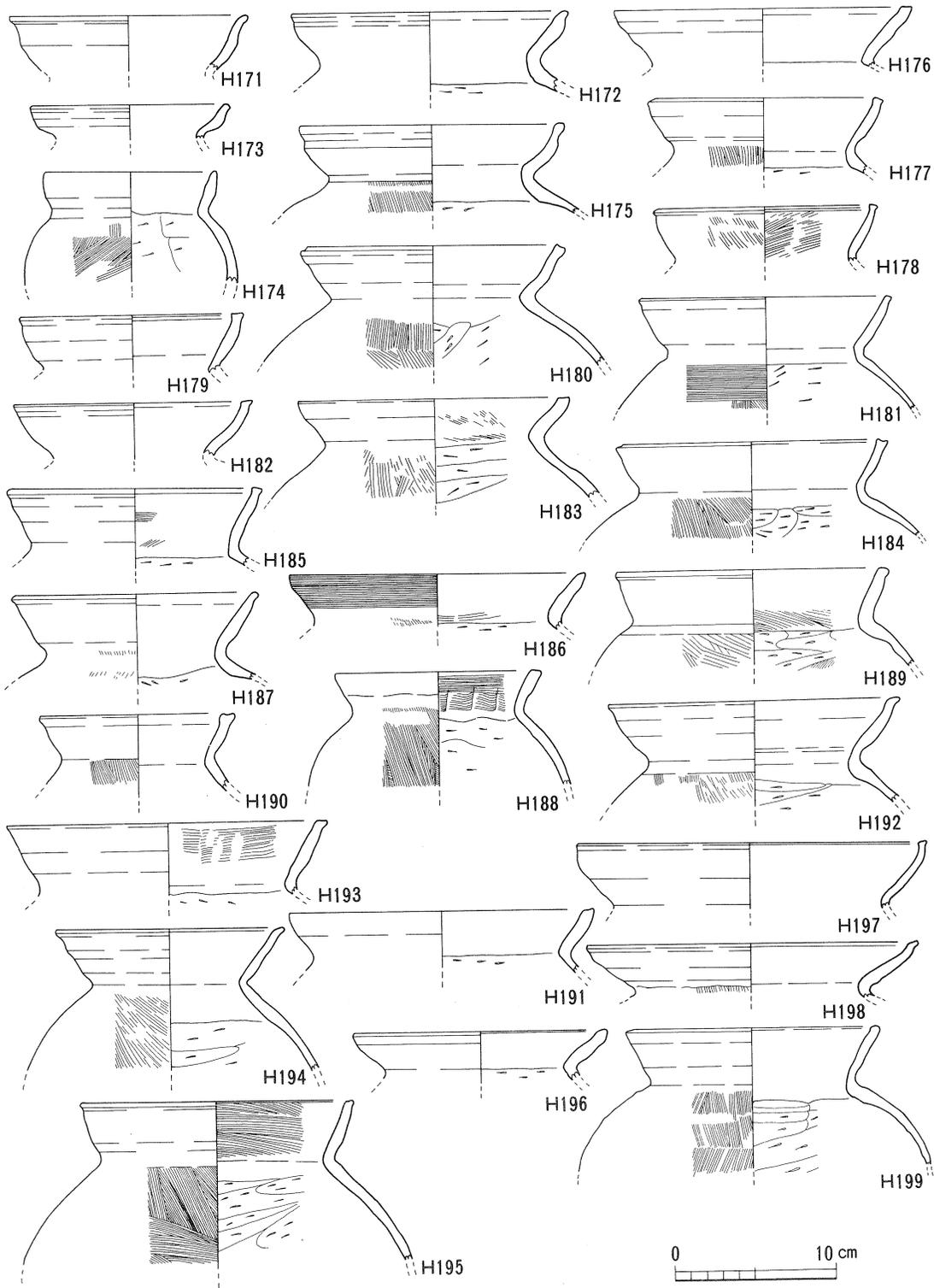
第79図 土師器(5) 甕 1:4



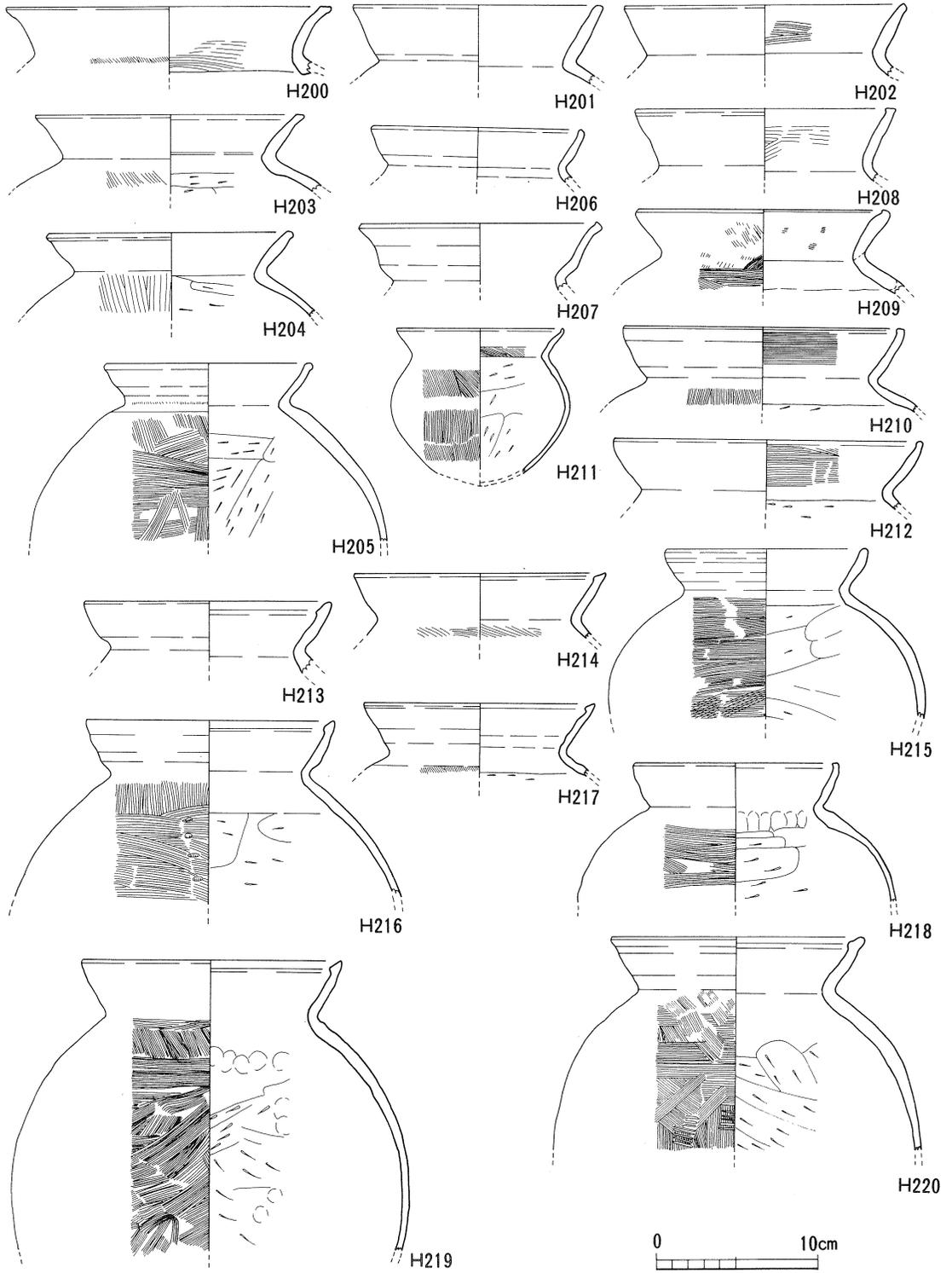
第80図 土師器(6) 甕 1:4



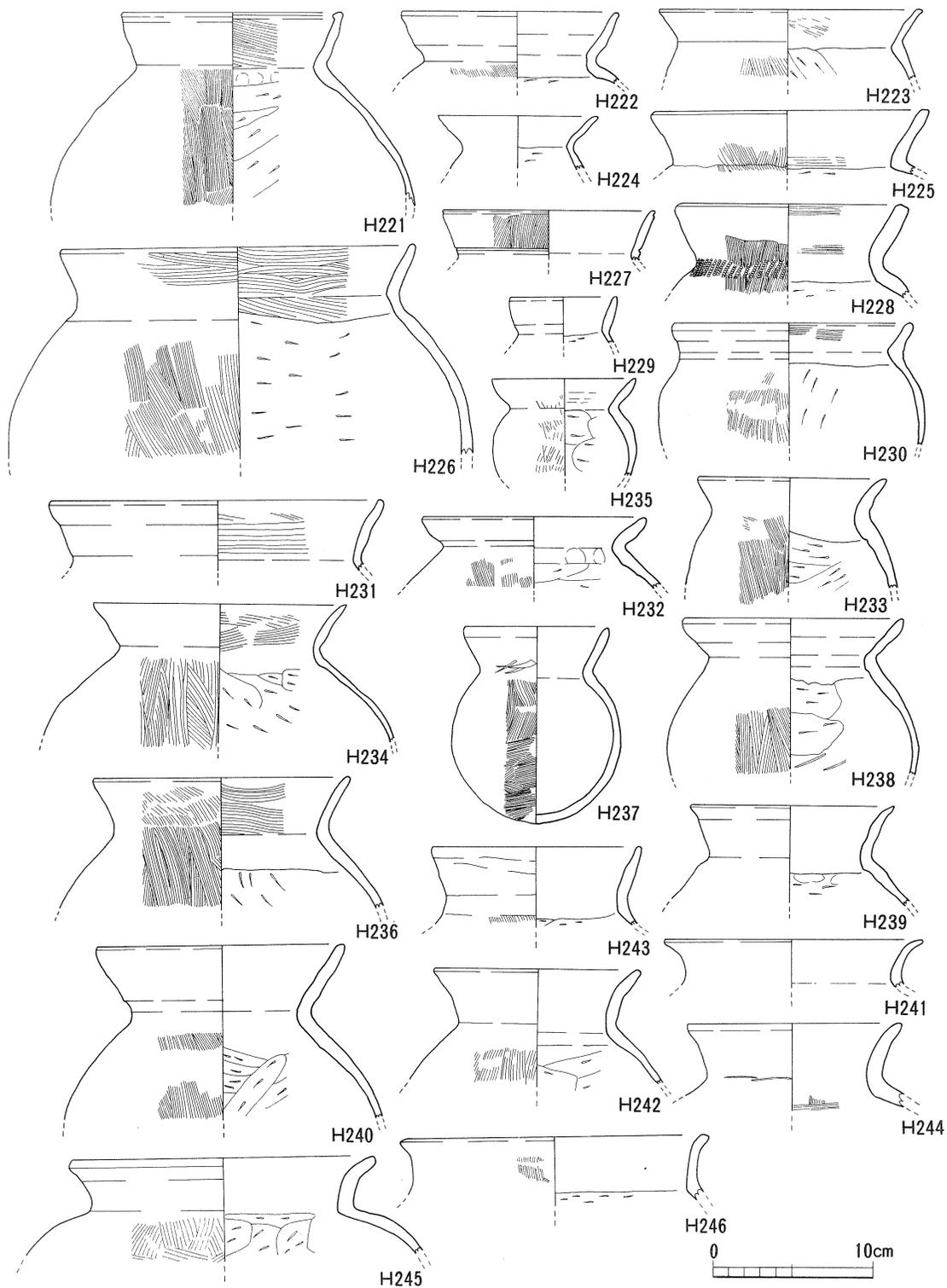
第81図 土師器(7) 甕 1:4



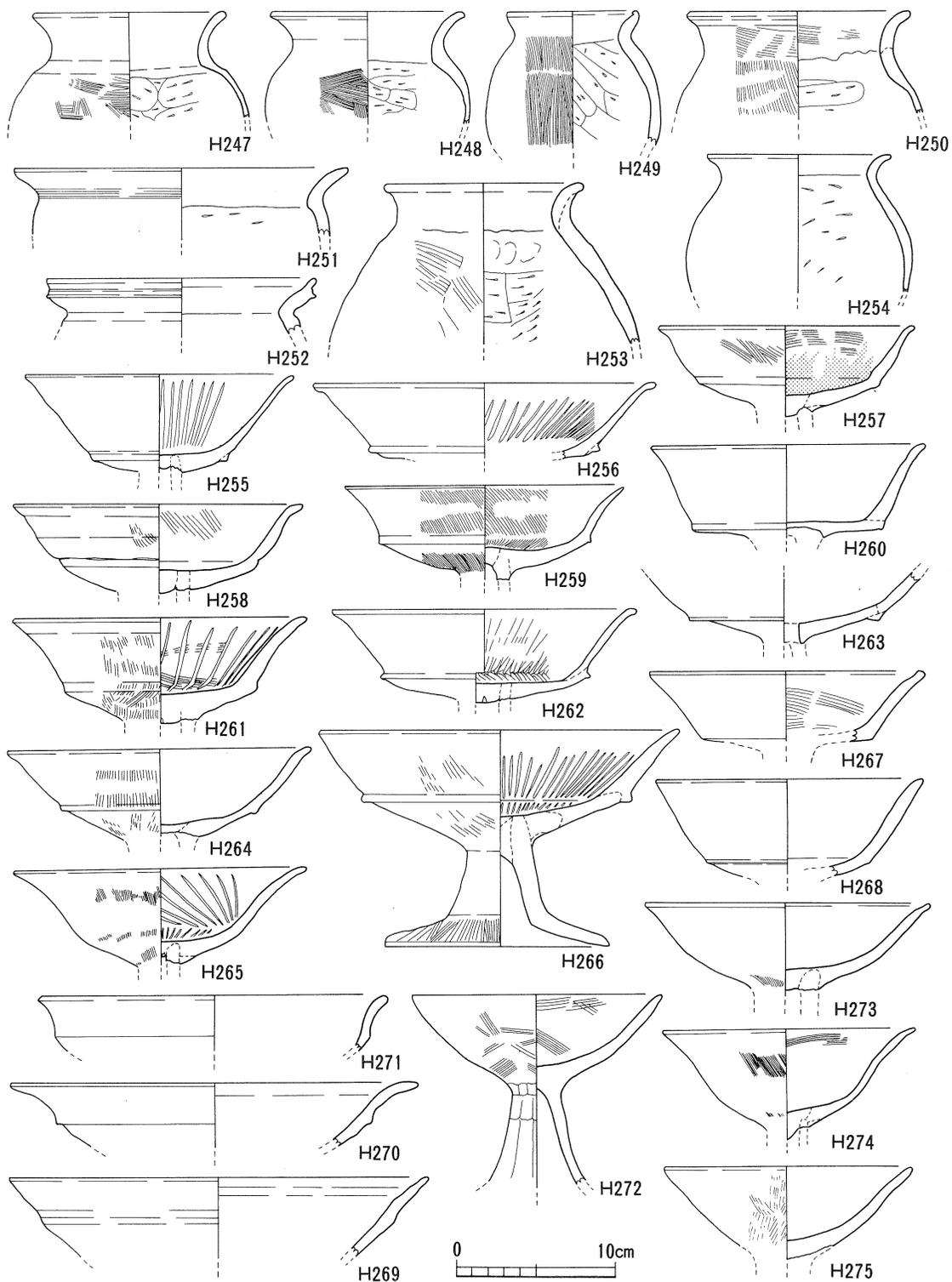
第82図 土師器(8) 甕 1:4



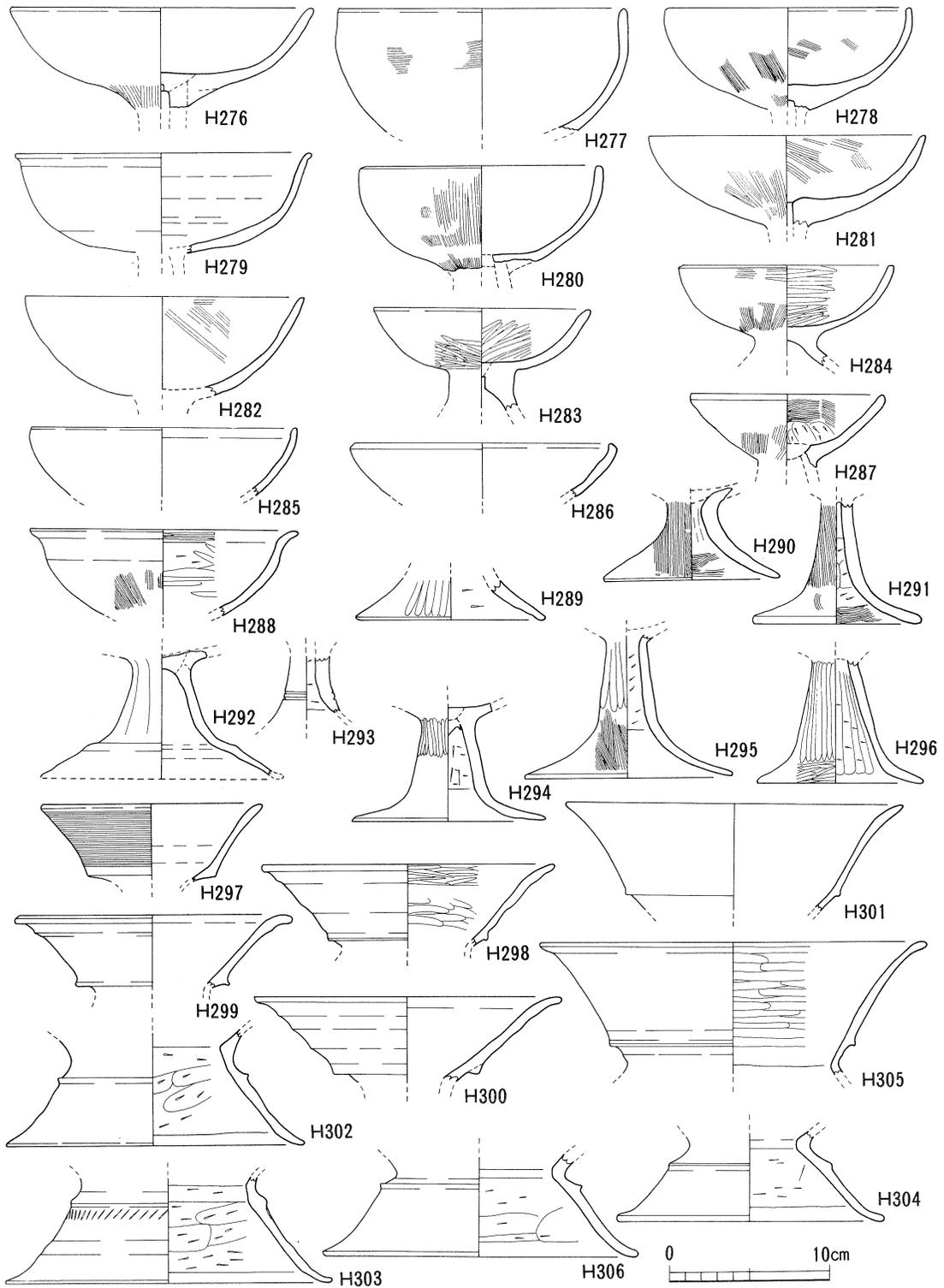
第83図 土師器(9) 甕 1:4



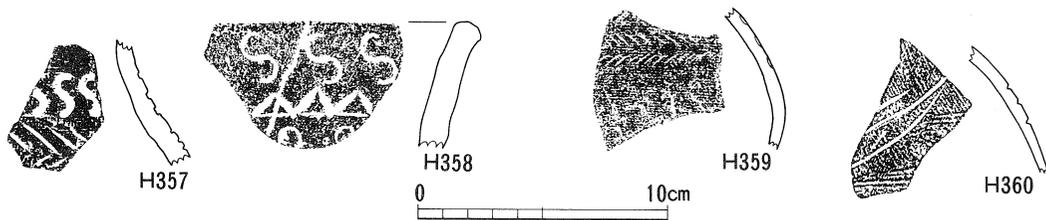
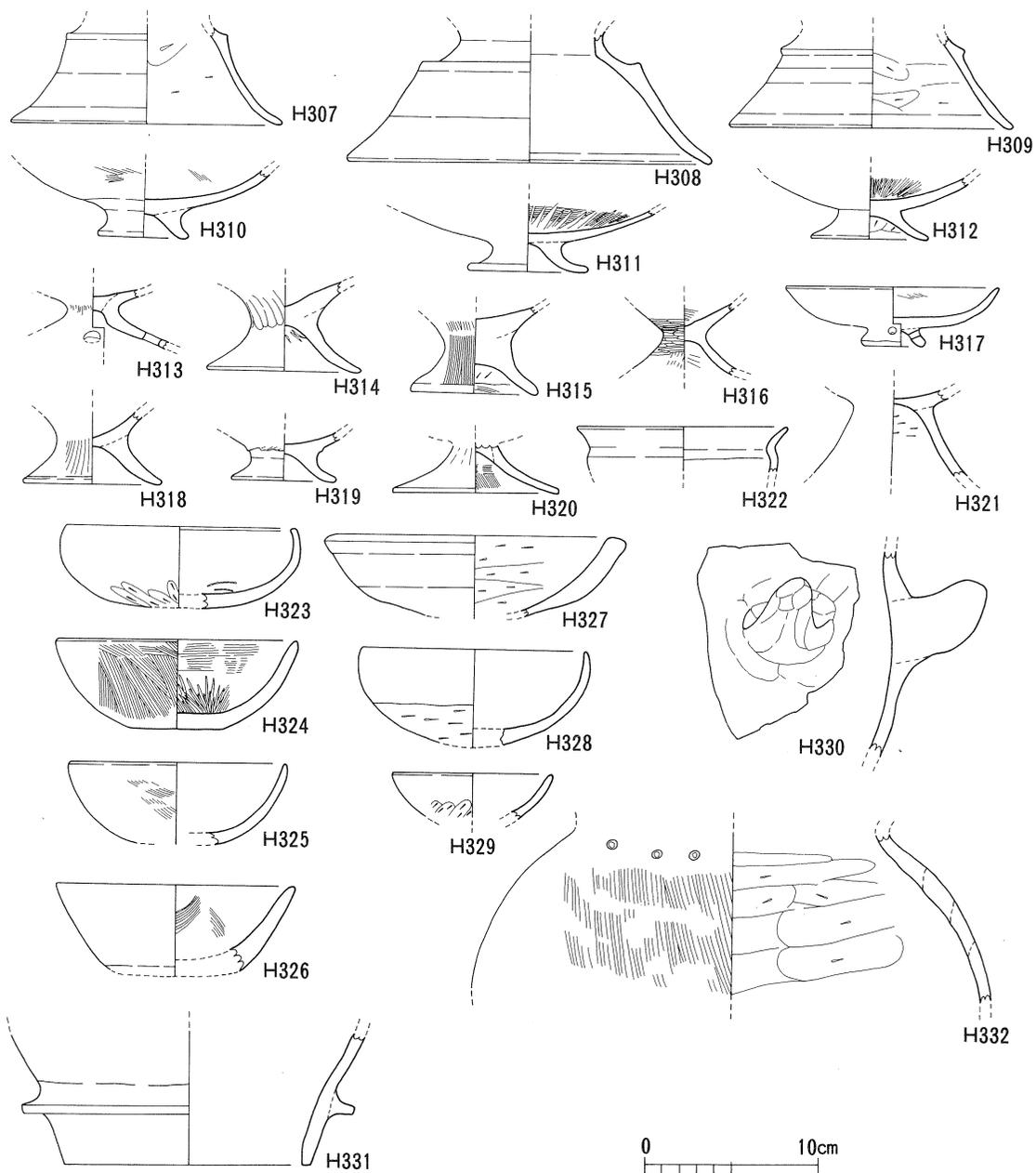
第84図 土師器(10) 甕 1:4



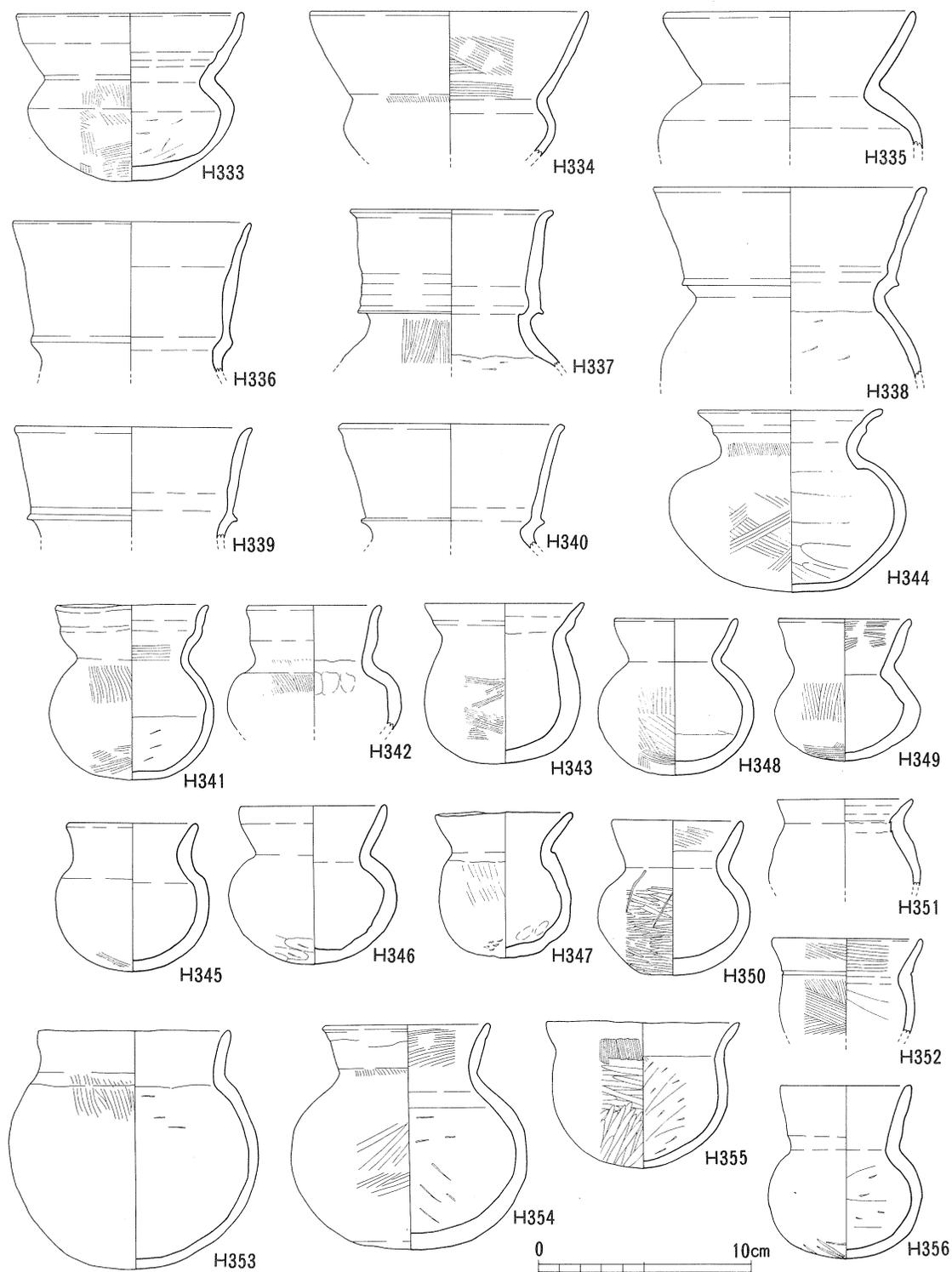
第85図 土師器(11) 甕・高坏 1:4(網目は漆)



第86图 土師器(12) 高坏・器台 1:4



第87図 土師器(13) 器台・低脚坏・碗・甑・脚 1:4 文様拓影 1:3



第88図 土師器(14) 小型丸底壺 1:3

土 師 器 一 覧 表

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|------|-------|-------------|-------------|------------------|---------|----------------------|----------------------|-------|
| 壺 | I ₁ | H1 | | N12E7 | 5-1 | 口径15.4 器高 7.4 | 口縁内傾 | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 壺 | I ₁ | H2 | | N13E8 | 4 | 口径15.9 器高 5.6 | 口縁内傾 | | ヨコナデ | |
| 壺 | I ₁ | H3 | 100 | N15E7 | 第1河道 堆積土 | 口径16.4 器高 8.7 | | | | |
| 壺 | I ₁ | H4 | 100 | N12E4 | 4 | 口径16.1 器高 8.1 | 口縁内傾 | 波状文(クシ4~5) 刺突文(貝) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 壺 | I ₁ | H5 | 100 | N11E4 | 4 | 口径12.0 器高 3.0 | 口縁内傾 | | ヨコナデ | |
| 壺 | I ₁ | H6 | | N15E6 | 4 | 口径14.4 器高 5.8 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 壺 | I ₂ | H7 | | N18E8 | 第2河道 堆積土 | 口径16.4 器高 7.5 | | | ヨコナデ, ナデ | |
| 壺 | I ₂ | H8 | 100 | N12E5 | 5-1 | 口径15.0 器高 7.3 | | | ハケ目, ケズリ | |
| 壺 | I ₂ | H9 | 100 | N16E8 | 5-1 | 口径20.2 器高 4.9 | 口唇丸い | | ヘラミガキ, ヨコナ デ, ケズリ | |
| 壺 | I ₂ | H10 | 100 | N13E7 | 4 | 口径21.8 器高 9.0 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 壺 | I ₂ | H11 | 100 | N13E6 | 第2河道 堆積土 | 口径22.4 器高 7.0 | 口唇平坦 | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 壺 | I ₂ | H12 | 100 | N18E8 | 第2河道 堆積土 | 口径17.9 器高 9.6 | 口唇平坦 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 壺 | I ₂ | H13 | 100 | N26E7 | 4-1 | 口径23.2 器高 9.4 | | | 口縁頸部の境貼付 | |
| 壺 | I ₂ | H14 | | N13E7 | 4 | 口径22.4 器高 7.1 | 口唇平坦 | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | I ₂ | H15 | 102 | N18E8 | 第2河道 堆積土 | 口径34.9 器高10.8 | | | ヨコナデ口縁頸部の 境, 貼付 | |
| 壺 | I ₂ | H16 | | N11E7 | 4 | 口径26.0 器高 4.5 | 口唇平坦 | | ヨコナデ | |
| 壺 | I ₂ | H17 | 100 | | | 口径19.2 器高10.0 | 口唇肥厚 | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | 松江市保管 |
| 壺 | I ₂ | H18 | 100 | | | 口径19.4 器高17.4 | 口縁直立 | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | 松江市保管 |
| 壺 | I ₂ | H19 | | N15E7 | 第2河道 堆積土 | 口径22.8 器高 4.0 | 口縁大きく外反 | | ヨコナデ | |
| 壺 | I ₂ | H20 | 101 | N16 E7・8 | 第2河道 堆積土 | 口径19.5 器高 4.0 | 口縁大きく開く | | ヨコナデ | |
| 壺 | I ₂ | H21 | | N16E8 | 4 | 口径22.6 器高 6.0 | | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | I ₂ | H22 | | | | 口径19.8 器高 5.8 | | | ハケ目, ヨコナデ | 松江市保管 |
| 壺 | I ₂ | H23 | 101 | N12E7 | 4 | 口径17.8 器高 7.4 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 壺 | I ₂ | H24 | 101 | | | 口径15.5 器高 3.7 | | | ヨコナデ | |
| 壺 | Ⅲ | H25 | 101 | N26E7 | 4-1 | 口径13.1 器高 6.7 | | | ハケ目, ヨコナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|------|-------|--------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|--------------------|-------|
| 壺 | Ⅲ | H26 | 101 | N12E8 | | 口径10.0 器高 7.1 | 口縁やや短い | | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 壺 | Ⅲ | H27 | 101 | N13E6 | 4 | 口径15.6 器高 6.4 | 口唇平坦, 頸部屈曲 緩い | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | Ⅲ | H28 | | N10E7 | 第2河道 堆積土 | 口径17.7 器高 6.6 | 口縁大きく開く | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 壺 | Ⅲ | H29 | 101 | N10E7 | 第2河道 堆積土 | 口径15.8 器高 6.5 | | | ハケ目, ナデ, ケズ リ | |
| 壺 | Ⅱ | H30 | 102 | N22E8 | 第2河道 堆積土 | 口径 9.5 器高15.5 | | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | 赤色塗彩 |
| 壺 | I ₂ | H31 | | N15E4 | 4 | 口径22.4 器高 8.5 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 壺 | I ₂ | H32 | | N14E6 | 4 | 口径16.1 器高 7.6 | 口縁直立 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 壺 | Ⅲ | H33 | | N11E4 | 4 | 口径 8.2 器高 4.6 | 頸部の屈曲緩い | | ヨコナデ? ケズリ | |
| 壺 | Ⅱ | H34 | 101 | N13E6 | 第2河道 堆積土 | 口径10.3 器高 7.5 | | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 壺 | Ⅱ | H35 | 101 | N13E5 | 4 | 口径13.1 器高11.8 | | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 壺 | Ⅲ | H36 | 101 | N23E8 | 4 | 口径16.9 器高 8.1 | ヨコナデ | | ハケ目, ケズリ, ヨ コナデ | |
| 壺 | Ⅲ | H37 | 101 | N10E7 | 4 | 口径20.5 器高14.2 | 口唇内側に巻き込む | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 壺 | Ⅱ | H38 | 102 | N12E5 | 4 | 口径10.5 器高14.4 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 壺 | | H39 | 101 | N15E7 | 第2河道 堆積土 | 器高 5.8 | | 頸部突帯文 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 壺 | | H40 | 101 | N10E6 | 4 | 器高 3.8 | | 突帯文, 刺突文 | ケズリ | |
| 甕 | I | H41 | | | | 口径18.2 器高 4.0 | 口縁内傾 | 直線文2(クシ) | ハケ目, ヨコナデ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H42 | | | | 口径19.2 器高 3.4 | | | ヨコナデ | 松江市保管 |
| 甕 | I | H43 | 102 | N16E8 | 4 | 口径13.8 器高11.2 | | 刺突文 | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | I | H44 | | N12E4 | 4 | 口径10.8 器高 4.8 | | 直線文? (ハケ目工具?) | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | I | H45 | 102 | N17 ~19 E7・8 | | 口径11.6 器高 4.4 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | I | H46 | | N13E5 | 4 | 口径 7.8 器高 3.7 | 口縁やや肥厚 | | ケズリ | |
| 甕 | I | H47 | 102 | N19E9 | 4 | 口径11.1 器高 3.8 | | | ヨコナデ, ナデ, ケ ズリ | |
| 甕 | I | H48 | 102 | N17E7 | 4 | 口径11.2 器高 4.3 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H49 | | | | 口径22.0 器高 4.4 | | | ヨコナデ | 松江市保管 |
| 甕 | I | H50 | 102 | | | 口径17.4 器高 8.0 | | | ヨコナデ, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H51 | 102 | N13E4 | 4 | 口径16.8 器高 4.3 | | | ヨコナデ? ケズリ | |

| 器種 | 分類 | 挿番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|-----|-------|-------|-------------|------------------|--------|---------------------|-----------------------|-------|
| 甕 | Ⅱ ₁ | H52 | | | | 口径14.0 器高2.6 | | | ヨコナデ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H53 | | N18E8 | 第2河道 堆積土 | 口径14.0 器高5.1 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H54 | 103 | N12E4 | 4 | 口径15.6 器高2.8 | 口唇厚い | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H55 | 102 | N13E7 | 第2河道 堆積土 | 口径13.7 器高9.4 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H56 | | | | 口径13.4 器高4.6 | | 直線文? (クシ-ハケ目か?) | ヨコナデ, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H57 | | N15E7 | 4 | 口径13.9 器高3.9 | 口縁端外反 | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H58 | | N17E7 | 第2河道 堆積土 | 口径16.2 器高5.4 | | 波状文(クシ) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H59 | 103 | N10E7 | 4 | 口径15.8 器高6.4 | | 直線文5(クシ) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H60 | 103 | N12E4 | 4 | 口径16.5 器高11.5 | | 鋸歯文(ヘラ), 羽状 文(貝) | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H61 | | N15E7 | 第2河道 堆積土 | 口径15.0 器高5.5 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H62 | 103 | N13E4 | 4 | 口径14.8 器高7.8 | | | ヨコナデ, ハケ目, ナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H63 | 103 | N10E7 | 第2河道 堆積土 | 口径9.2 器高5.8 | | 山形刺突文(ヘラ) | ヨコナデ, ナデ, ケ ズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H64 | 103 | N18E8 | 4 | 口径18.0 器高8.6 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ | H65 | 103 | N10E7 | 4 | 口径17.3 器高6.5 | | 波状文(クシ8) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H66 | 103 | N17E7 | 第2河道 堆積土 | 口径14.7 器高5.0 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H67 | 103 | | | 口径15.9 器高8.2 | | 波状文(クシ5~6) | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H68 | 103 | N11E7 | 4 | 口径19.0 器高5.2 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H69 | | N13E5 | 4 | 口径17.7 器高3.3 | | | | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H70 | 103 | N19E9 | 4 | 口径16.0 器高5.4 | | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H71 | 103 | N19E9 | 4 | 口径14.8 器高5.5 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H72 | 103 | N12E4 | 4 | 口径18.4 器高7.2 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H73 | 103 | N10E7 | 4 | 口径18.2 器高6.0 | | 刺突文(ヘラ) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H74 | | N11E7 | 4 | 口径12.8 器高4.5 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H75 | | N15E7 | 4 | 口径16.4 器高4.0 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H76 | 103 | N12E4 | 5-1 | 口径22.6 器高6.8 | 口縁直立気味 | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H77 | 103 | N13E4 | 4 | 口径13.2 器高3.5 | 口唇肥厚 | | ヨコナデ? ケズリ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|------|-------|-------------|----|------------------|-------|-------|-------------------|-------|
| 甕 | Ⅱ ₁ | H78 | 103 | N18E9 | 4 | 口径16.8 器高4.7 | 口唇肥厚 | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H79 | | | | 口径15.8 器高5.6 | | | ヨコナデ, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H80 | 103 | | | 口径16.6 器高6.4 | | | ヨコナデ, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H81 | | N13E4 | 4 | 口径13.2 器高2.8 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H82 | 103 | N19E9 | | 口径30.6 器高6.2 | | | ヨコナデ(凹線状に 凸凹) | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H83 | 103 | N13E7 | 4 | 口径24.6 器高6.7 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H84 | 103 | N12E5 | 4 | 口径25.8 器高10.1 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₁ | H85 | 103 | | | 口径17.5 器高6.1 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H86 | 104 | N19E9 | 4 | 口径12.7 器高5.4 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H87 | 104 | N16E7 | 4 | 口径18.2 器高6.0 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H88 | | N17E7 | 4 | 口径15.8 器高6.6 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H89 | 104 | | | 口径20.4 器高6.2 | | | ヨコナデ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H90 | | | | 口径12.6 器高4.0 | | | ヨコナデ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H91 | 104 | N18 E8-9 | | 口径13.0 器高4.5 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H92 | 104 | N19E9 | 4 | 口径18.0 器高6.4 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H93 | | N11E4 | | 口径15.6 器高5.7 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H94 | 104 | N12E4 | 4 | 口径12.4 器高3.8 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H95 | 104 | N15E6 | 4 | 口径18.7 器高5.2 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H96 | 104 | N13E7 | 4 | 口径13.6 器高6.2 | | | ヨコナデ, ケズリ, ナデ? | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H97 | 104 | N12E4 | 4 | 口径15.4 器高3.4 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H98 | | N10E7 | 4 | 口径14.6 器高5.4 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H99 | | N14E6 | 4 | 口径15.0 器高4.6 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H100 | 104 | N16E7 | | 口径19.6 器高3.8 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H101 | | N17E7 | 4 | 口径17.7 器高5.8 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H102 | 104 | N10E7 | 4 | 口径12.6 器高4.0 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H103 | 104 | N135 | 4 | 口径22.6 器高6.5 | | | ヨコナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|------|-------|-------------|-----|------------------|-------------|----------|--------------------|-------|
| 甕 | Ⅱ ₂ | H104 | | N12E8 | 5-1 | 口径17.6 器高 5.4 | | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H105 | | N13E6 | 4 | 口径13.2 器高 6.5 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H106 | | N12E4 | 4 | 口径20.0 器高 5.5 | | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H107 | 104 | N10E6 | 4 | 口径16.7 器高 4.5 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H108 | 104 | N13E4 | 4 | 口径14.4 器高 6.0 | | | ヨコナデ, ケズリ, ハケ目 | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H109 | | N10E7 | 4 | 口径18.8 器高 4.4 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H110 | 104 | N17E8 | | 口径17.4 器高 4.8 | 第2河道 堆積土 | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H111 | 104 | N12E4 | 4 | 口径13.8 器高 5.0 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H112 | 104 | N12E7 | 4 | 口径15.0 器高 6.5 | | 直線文?(クシ) | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H113 | 104 | N13E4 | 4 | 口径31.8 器高 7.0 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H114 | | E4 N13E3 | 4 | 口径26.4 器高 6.7 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H115 | 104 | N18E8 | 4 | 口径26.5 器高 6.7 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H116 | 104 | N12E7 | 4 | 口径22.2 器高11.9 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H117 | | N10E7 | | 口径18.4 器高 5.6 | 第2河道 堆積土 | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H118 | 105 | N16E7 | 4 | 口径14.6 器高 4.3 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H119 | 105 | N10E7 | 4 | 口径16.0 器高 7.7 | | | ハケ目, ケズリ, ヨ コナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H120 | 104 | N107 | 5-1 | 口径15.1 器高 8.1 | | 波状文(クシ) | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H121 | 105 | N13E8 | 4 | 口径18.0 器高10.0 | | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H122 | 105 | N16E8 | 4 | 口径14.1 器高 3.6 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H123 | 105 | N11E6 | 4 | 口径16.7 器高 4.9 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H124 | 105 | N18E9 | | 口径16.6 器高 6.0 | 第2河道 堆積土 | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H125 | 105 | N11E4 | 4 | 口径14.4 器高 5.7 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H126 | | N16E7 | | 口径15.8 器高 6.4 | 第2河道 堆積土 | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H127 | 105 | N11E4 | 4 | 口径13.3 器高 9.5 | | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H128 | 105 | N16-17 | 4 | 口径14.0 器高 6.1 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H129 | 105 | | | 口径14.4 器高 3.6 | | | ヨコナデ | 松江市保管 |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|------------------|------|-------|-------|-------------|-----------------|---------|--------------------|------------------------|-------|
| 甕 | Ⅱ ₂ | H130 | | N12E4 | 4 | 口径17.0 器高7.5 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H131 | | N10E6 | 4 | 口径12.4 器高4.3 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H132 | 105 | N10E7 | 5-1 | 口径14.2 器高8.5 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H133 | 105 | | | 口径13.3 器高5.1 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H134 | 105 | N13E5 | 4 | 口径13.9 器高7.3 | | | ヨコナデ, ケズリ, ハケ目 | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H135 | 105 | N17E9 | 第2河道 堆積土 | 口径13.8 器高2.9 | | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H136 | 105 | N12E4 | 5 | 口径16.8 器高9.0 | | 直線文+波状文(と もにクジ) | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H137 | | N16E7 | 第2河道 堆積土 | 口径13.5 器高6.3 | 口唇内側に肥厚 | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H138 | | N10E7 | 4 | 口径12.0 器高4.9 | 口唇内側に肥厚 | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H139 | 105 | N10E7 | 第2河道 堆積土 | 口径19.5 器高7.8 | 口唇内側に肥厚 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H140 | 105 | | | 口径14.6 器高4.6 | | | ヨコナデ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H141 | | N18E8 | 第2河道 堆積土 | 口径12.8 器高5.1 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₃ | H142 | 105 | | | 口径21.2 器高4.3 | 口縁大きく開く | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H143 | 105 | N11E4 | 4 | 口径13.0 器高3.1 | 口縁厚い | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | V | H144 | | N14E6 | 4 | 口径13.0 器高2.5 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H145 | 105 | N10E7 | 4 | 口径16.3 器高4.3 | | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H146 | 105 | N12E4 | 4 | 口径29.5 器高5.3 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H147 | 105 | N11E7 | 4 | 口径23.9 器高3.1 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₅ ? | H148 | 106 | | | 口径19.6 器高3.8 | | | ヨコナデ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H149 | 106 | | | 口径12.8 器高4.6 | 口縁やや厚い | | ヨコナデ, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅱ ₅ | H150 | 106 | N16E7 | 4 | 口径12.5 器高8.0 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₆ | H151 | 106 | N16E7 | 第2河道 堆積土 | 口径9.1 器高6.9 | 口唇うすい | | ヨコナデ, ハケ目, ナデ, ケズリ? | |
| 甕 | Ⅱ ₅ | H152 | 106 | N18E9 | 4 | 口径9.5 器高5.7 | 口唇丸い | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₅ | H153 | 106 | N11E4 | 4 | 口径13.6 器高3.5 | | | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₄ | H154 | | N15E7 | 4 | 口径15.1 器高4.6 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₅ | H155 | 106 | N13E4 | 4 | 口径17.0 器高3.3 | | | ヨコナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|------------------|------|-------|--------------|-------------|------------------|-----------|---------|--------------------------------|-------|
| 甕 | Ⅱ ₁ | H156 | 102 | E8 N17-18 | 第2河道 堆積土 | 口径16.6 器高9.4 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ 頸部口縁の境は貼付 | |
| 甕 | Ⅱ ₅ | H157 | 106 | N11E7 | 4 | 口径23.7 器高14.5 | | 沈線文(ヘラ) | ヨコナデ, ハケ目, ナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₂ | H158 | 106 | N11E7 | 第2河道 堆積土 | 口径19.8 器高4.6 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₃ | H159 | 106 | N12E5 | 4 | 口径16.5 器高3.1 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₅ | H160 | 106 | N11E6 | 4 | 口径17.6 器高4.2 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅲ | H161 | 106 | N12E7 | 4 | 口径12.6 器高7.6 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₃ | H162 | 106 | | | 口径16.6 器高5.5 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₆ | H163 | 106 | N16E7 | 4 | 口径14.6 器高6.7 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₃ | H164 | 106 | | 4 | 口径12.9 器高8.7 | 口縁直立 | | ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₆ | H165 | 106 | | | 口径18.2 器高5.6 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₅ | H166 | 106 | N18E8 | 第2河道 堆積土 | 口径20.4 器高6.0 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₆ | H167 | 106 | N13E4 | 4 | 口径15.2 器高6.5 | 口縁部明瞭な稜 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₆ | H168 | 106 | | | 口径17.0 器高10.0 | 稜わずかに表現 | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | Ⅱ ₆ | H169 | 106 | N13E7 | 第2河道 堆積土 | 口径16.8 器高3.5 | | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | Ⅱ ₆ | H170 | 106 | N13E7 | 4 | 口径16.6 器高3.4 | 口唇内側に巻き込む | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₆ | H171 | | N14E5 | 4 | 口径15.0 器高2.6 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₆ | H172 | | N18E9 | 第2河道 堆積土 | 口径17.4 器高5.0 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₆ | H173 | | N17E8 | 4 | 口径12.7 器高2.1 | | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅱ ₆ ? | H174 | 107 | N17E8 | 4 | 口径10.8 器高6.9 | | | ヨコナデ, ハケ目, ナデ, ケズリ | |
| 甕 | Ⅱ ₆ | H175 | 107 | 排工中 | | 口径16.7 器高5.6 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅳ | H176 | | N13E4 | 4 | 口径18.7 器高3.6 | 口唇平坦 | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅳ | H177 | | E4 N12E3 | 4 | 口径14.9 器高4.6 | 口唇平坦 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅳ | H178 | 107 | N14E5 | 4 | 口径14.0 器高3.6 | 口唇面取 | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅳ | H179 | | N11E4 | 4 | 口径24.1 器高4.5 | 口唇平坦 | | ヨコナデ | |
| 甕 | Ⅳ | H180 | 107 | N17E7 | 第2河道 堆積土 | 口径16.7 器高7.0 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | Ⅳ | H181 | 107 | N16E7 | 4 | 口径15.1 器高7.1 | 口唇平坦 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|------|-------|-------|-------------|------------------|--------|-------|-------------------|-------|
| 甕 | IV | H182 | | N16E8 | 4 | 口径15.1 器高3.4 | 口唇平坦 | | ヨコナデ | |
| 甕 | IV | H183 | 107 | N18E9 | 4 | 口径17.2 器高6.0 | 口唇平坦 | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | IV | H184 | 107 | N12E7 | 4 | 口径17.0 器高5.9 | 口唇肥厚 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | IV | H185 | 107 | N13E7 | 4 | 口径16.0 器高4.6 | 口唇平坦 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | V ₃ | H186 | 107 | N17E8 | 4 | 口径18.5 器高3.1 | | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | IV | H187 | 107 | N26E9 | 第2河道 堆積土 | 口径14.0 器高5.8 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | V ₃ | H188 | 107 | N11E4 | 4 | 口径12.9 器高7.4 | | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | V ₃ | H189 | 107 | N14E5 | 第1河道 堆積土 | 口径17.0 器高6.2 | 口唇平坦 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | IV | H190 | | N17E8 | 4 | 口径12.4 器高4.3 | 口縁肥厚 | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | V ₃ | H191 | | N12E4 | | 口径19.2 器高3.5 | 口唇平坦 | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | IV | H192 | 107 | N11E7 | 4 | 口径18.4 器高6.5 | 口唇平坦 | | ヨコナデ, ケズリ, ハケ目 | |
| 甕 | IV | H193 | 107 | N16E7 | 第1河道 堆積土 | 口径20.2 器高4.4 | 口唇平坦 | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | IV | H194 | 107 | N15E7 | 第1河道 堆積土 | 口径12.2 器高9.0 | 口唇平坦 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | IV | H195 | 107 | N11E7 | 4 | 口径17.0 器高10.0 | 口唇平坦 | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | V ₃ | H196 | 107 | N11E4 | 4 | 口径16.1 器高2.9 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | IV | H197 | | N18E6 | 第2河道 堆積土 | 口径22.0 器高4.2 | 口唇平坦 | | ヨコナデ | |
| 甕 | IV | H198 | | N18E8 | 第2河道 堆積土 | 口径20.9 器高3.5 | 口唇平坦 | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | V ₃ | H199 | 107 | | | 口径15.8 器高8.6 | 口唇平坦面 | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | V ₄ | H200 | | N13E6 | 第2河道 堆積土 | 口径20.6 器高3.5 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | V ₃ | H201 | 107 | | | 口径15.4 器高4.8 | 口唇平坦 | | ヨコナデ, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | V ₃ | H202 | | | | 口径17.6 器高4.4 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | V ₃ | H203 | 107 | | | 口径16.8 器高4.8 | 口唇平坦面 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | V ₄ | H204 | | N12E4 | 4 | 口径15.6 器高5.3 | 口唇平坦 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | V ₄ | H205 | 108 | N10E7 | | 口径6.6 器高11.2 | 口唇丸い | | ヨコナデ, ケズリ, ハケ目 | |
| 甕 | IV | H206 | 108 | | | 口径13.2 器高3.2 | 口縁内面に段 | | ヨコナデ, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | V ₆ | H207 | | N15E7 | 4 | 口径15.4 器高4.1 | 口唇内面に段 | | ヨコナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|-----------------|------|-------|--------------|-------------|------------------|--------|--------|------------------------|-------|
| 甕 | V ₃ | H208 | | N15E8 | 4 | 口径16.4 器高4.5 | 口唇平坦 | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | IV | H209 | 108 | N17E8 | 4 | 口径15.4 器高4.9 | 口唇内面に段 | | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 甕 | IV | H210 | 108 | N12E5 | 4 | 口径17.6 器高5.3 | | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | V ₂ | H211 | 108 | N15E7 | 4 | 口径12.5 器高9.0 | 口唇内面段 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | IV | H212 | | N18E9 | 第2河道 堆積土 | 口径19.4 器高4.3 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | IV | H213 | | N11E4 | 4 | 口径15.2 器高4.5 | 口唇内面段 | | ヨコナデ | |
| 甕 | IV | H214 | 108 | N11E4 | 4 | 口径15.9 器高3.9 | 口唇内面段 | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | IV | H215 | 108 | | | 口径12.6 器高10.8 | | | ヨコナデ, ハケ目, ヘラケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | IV | H216 | 108 | N25E8 | 第1河道 堆積土 | 口径15.5 器高10.7 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | IV | H217 | 108 | N107 | 4 | 口径14.6 器高4.4 | 口唇内面段 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | IV | H218 | 108 | N11E4 | 4 | 口径12.8 器高8.7 | 口唇肥厚 | | ヨコナデ, ナデ, ハ ケ目, ケズリ | |
| 甕 | IV | H219 | 108 | N12E4 | 第2河道 堆積土 | 口径16.2 器高18.1 | 口唇内面段 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | IV | H220 | 108 | N11E8 | 5 | 口径16.0 器高13.2 | 口唇内面段 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | IV | H221 | 109 | N17・18 E8 | 第2河道 堆積土 | 口径14.0 器高11.9 | 口唇内面段 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | II ₆ | H222 | | N12E7 | 4 | 口径13.6 器高4.5 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | V ₇ | H223 | | N18E8 | 4 | 口径16.6 器高4.3 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | V ₂ | H224 | | N14E6 | 4 | 口径10.0 器高3.4 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | V ₃ | H225 | | N17E8 | 4 | 口径17.5 器高4.1 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | V ₃ | H226 | 109 | N16E8 | 4 | 口径22.1 器高13.1 | | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | V ₇ | H227 | 109 | N16E8 | 5-1 | 口径13.4 器高3.2 | | | ハケ目 | |
| 甕 | V ₅ | H228 | 109 | N11E4 | 4 | 口径13.3 器高5.7 | | 刺突文(貝) | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 甕 | V ₅ | H229 | 109 | N10E7 | 4 | 口径6.8 器高3.9 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | V ₁ | H230 | 109 | N13E6 | 4 | 口径15.7 器高7.6 | 口唇やや厚い | | ヨコナデ, ハケ目, ナデ, ケズリ | |
| 甕 | V ₇ | H231 | 109 | N16E7 | 第2河道 堆積土 | 口径21.0 器高4.4 | | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 甕 | V | H232 | | | | 口径13.8 器高4.4 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | 松江市保管 |
| 甕 | V ₁ | H233 | 109 | N17E8 | 第2河道 堆積土 | 口径11.7 器高6.9 | | | ヨコナデ, ケズリ, ハケ目 | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|------------------|------|-------|-------------|-------------|------------------|------------|-------|----------------|------|
| 甕 | V ₂ | H234 | 109 | N12E6 | 4 | 口径15.8 器高8.5 | | | ヨコナデ、ハケ目、ケズリ | |
| 甕 | V ₅ | H235 | 109 | N15E6 | 4 | 口径9.0 器高6.1 | | | ハケ目、ヨコナデ、ケズリ | |
| 甕 | V ₅ | H236 | 109 | N11E4 | 4 | 口径16.2 器高8.2 | | | ヨコナデ、ハケ目、ケズリ | |
| 甕 | V ₅ | H237 | 110 | N17E8 | 4 | 口径9.0 器高12.3 | | | ヨコナデ、ハケ目、ケズリ | |
| 甕 | V ₅ | H238 | 109 | N13E7 | 4 | 口径13.7 器高9.1 | | | ヨコナデ、ハケ目、ケズリ | |
| 甕 | V ₆ | H239 | 109 | N10E7 | 4 | 口径12.7 器高6.0 | | | ヨコナデ、ケズリ | |
| 甕 | V ₅ | H240 | 109 | N16E7 | 4 | 口径15.7 器高10.8 | | | ヨコナデ、ハケ目、ケズリ | |
| 甕 | V ₆ | H241 | 109 | N10E7 | | 口径15.9 器高2.7 | | | | |
| 甕 | V ₆ | H242 | 110 | N26E7 | 第2河道 堆積土 | 口径12.9 器高7.1 | | | ヨコナデ、ハケ目、ケズリ | |
| 甕 | V ₇ | H243 | 110 | N15E6 | 4 | 口径13.2 器高5.0 | | | ヨコナデ、ケズリ、ハケ目 | |
| 甕 | V ₆ | H244 | 110 | N17E8 | 4 | 口径13.4 器高4.5 | | | ヨコナデ、ハケ目 | |
| 甕 | V ₆ | H245 | 110 | N16E8 | 第2河道 堆積土 | 口径19.0 器高6.0 | | | ヨコナデ、ハケ目、ケズリ | |
| 甕 | V ₆ | H246 | 110 | N13E7 | 4 | 口径19.4 器高4.2 | | | ヨコナデ、ケズリ、ハケ目 | |
| 甕 | V ₄ | H247 | 110 | N10E7 | 4 | 口径12.2 器高6.7 | | | ヨコナデ、ケズリ、ハケ目 | |
| 甕 | V ₄ | H248 | 110 | N10E7 | 4 | 口径12.4 器高7.2 | | | ヨコナデ、ハケ目、ケズリ | |
| 甕 | V ₇ | H249 | 110 | N12E5 | 4 | 口径8.3 器高8.4 | 口唇内面段 | | ヨコナデ、ハケ目、ケズリ | |
| 甕 | V ₆ | H250 | 110 | N17E8 | 第2河道 堆積土 | 口径14.0 器高6.5 | | | ヨコナデ、ハケ目、ケズリ | |
| 甕 | V ₄ ? | H251 | 110 | E4 N12E3 | 4 | 口径21.0 器高4.6 | 胴張らず | | ヨコナデ、ケズリ | |
| 甕 | V | H252 | 110 | N10E7 | 4 | 口径17.0 器高3.6 | 口唇肥厚し複合口縁状 | | ヨコナデ、ケズリ | |
| | V ₄ | H253 | 110 | N18E8 | | 口径13.2 器高10.2 | 口縁短く胴張らず | | ヨコナデ、ハケ目、ケズリ | |
| 甕 | V ₄ | H254 | 110 | N12E4 | 4 | 口径11.6 器高8.7 | | | ナデ、ケズリ | |
| 高坏 | 坏I ₁ | H255 | | N11E6 | 4 | 口径17.0 器高6.0 | | 暗文 | ヘラミガキ、ヨコナデ、稜貼付 | |
| 高坏 | 坏I ₁ | H256 | | N16E7 | 8 | 口径20.2 器高4.8 | | 暗文 | ヘラミガキ、ヨコナデ | |
| 高坏 | 坏I ₁ | H257 | | N16E7 | 4 | 口径16.3 器高5.7 | | | ハケ目、ヨコナデ、ナデ | 内面漆塗 |
| 高坏 | 坏I ₁ | H258 | 111 | N11E4 | | 口径18.1 器高5.5 | | | ヘラミガキ、ヨコナデ、ハケ目 | |
| 高坏 | 坏I ₁ | H259 | 111 | N19E9 | 4 | 口径17.7 器高5.9 | | | ハケ目、ヨコナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-----|-------------------|------|-------|--------------|-----|--------------------------------|--------|-------|-------------------------|-------|
| 高坏 | 坏I ₁ | H260 | | N16E8 | 4 | 口径17.2 器高5.8 | | | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 高坏 | 坏I ₁ | H261 | 111 | N12E5 | 4 | 口径18.6 器高6.7 | | 暗文 | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 高坏 | 坏I ₁ | H262 | | N11E7 | 4 | 口径19.2 器高5.9 | | | ヘラミガキ, ヨコナ デ | |
| 高坏 | 坏I ₁ | H263 | 112 | N12E4 | 4 | 器高4.0 | | | 脚接合部擬口縁, 稜 貼付 | |
| 高坏 | 坏I ₁ | H264 | 111 | N16E7 | 4 | 口径19.1 器高5.4 | | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 高坏 | 坏I ₁ | H265 | 111 | N12E7 | 4 | 口径18.4 器高5.8 | | 暗文 | ハケ目, ヨコナデ | |
| 高坏 | 坏I ₁ | H266 | 111 | N18E8 | 4 | 口径22.6 器高13.5 底径13.6 | | 暗文 | ハケ目, ヨコナデ, 稜貼付 | |
| 高坏 | 坏I ₁ | H267 | | N12E4 | 4 | 口径17.0 器高4.4 | 口唇内側段 | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 高坏 | 坏I ₁ | H268 | | | | 口径16.8 器高6.1 | | | | 松江市保管 |
| 高坏? | | H269 | 112 | N12E4 | 4 | 口径26.4 器高5.0 | 外面中央に稜 | | ヨコナデ | |
| 高坏 | 坏I ₁ ? | H270 | 112 | N12E5 | 4 | 口径24.8 器高4.0 | 口縁短い | | ヘラミガキ, ヨコナ デ | |
| 高坏 | | H271 | 112 | N16E8 | 5-1 | 口径20.0 器高3.4 | 口縁短く外反 | | ヨコナデ | |
| 高坏 | 坏II | H272 | 112 | N16E8 | 4 | 口径15.8 器高13.0 | | | ハケ目, ナデ, ケズ リ, ヘラミガキ | |
| 高坏 | 坏I ₃ | H273 | | N12E4 | 4 | 口径17.9 器高5.5 | | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 高坏 | 坏I ₃ | H274 | 112 | N13E4 | 4 | 口径16.0 器高6.3 | | | ハケ目, ナデ | |
| 高坏 | 坏II | H275 | | N17E8 | | 第2河道 堆積土 口径15.6 器高5.7 | | | ナデ, ハケ目 | |
| 高坏 | 坏II | H276 | 111 | N12E7 | 4 | 口径18.7 器高6.4 | | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 高坏? | 坏II | H277 | | N13E6 | | 第2河道 堆積土 口径17.8 器高7.9 | 深身 | | ハケ目, ナデ, ヨコ ナデ | 碗? |
| 高坏 | 坏II | H278 | 111 | N16E7 | 4 | 口径15.4 器高6.3 | | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 高坏 | 坏II | H279 | | N16E8 | 4 | 口径18.1 器高6.2 | 口唇外反 | | ヨコナデ | |
| 高坏 | 坏II | H280 | 111 | E4 N12-13 | 4 | 口径15.3 器高6.4 | 口唇平坦 | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 高坏 | 坏II | H281 | 111 | N17E7 | | 第2河道 堆積土 口径17.4 器高5.7 | | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 高坏 | 坏II | H282 | | N11E4 | 4 | 口径11.9 器高5.2 | | | ハケ目, ヨコナデ, ヘラミガキ | |
| 高坏 | 坏II | H283 | 112 | N10E7 | | 第2河道 堆積土 口径13.6 器高6.4 | | | ヘラミガキ, ヨコナ デ | |
| 高坏 | 坏II | H284 | 111 | N10E7 | 5-1 | 口径13.1 器高6.3 | 脚広がる | | ヘラミガキ, ヨコナ デ | 低脚坏か? |
| 高坏 | 坏II | H285 | | | | 口径16.6 器高4.2 | | | | 松江市保管 |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-----|----|------|-------|-------------|-------------|-------------------|-------|---------|-----------------------|-------|
| 高坏 | 坏Ⅲ | H286 | | N17E8 | | 口径16.8 器高 3.4 | | | ヘラミガキ, ナデ? | |
| 高坏 | 坏Ⅱ | H287 | 112 | N12E4 | 4 | 口径11.9 器高 4.3 | 口唇面取 | | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 高坏 | 坏Ⅰ | H288 | 112 | | | 口径16.6 器高 5.2 | | | | 松江市保管 |
| 高坏 | | H289 | | N11E4 | 4 | 器高 3.0 底径11.6 | 端部肥厚 | | ケズリ, ヘラミガキ | |
| 高坏 | | H290 | 112 | N19 E7~9 | 4 | 器高 5.7 底径11.0 | やや短脚 | | ハケ目 | |
| 高坏 | 脚Ⅰ | H291 | 112 | N16E7 | 第2河道 堆積土 | 器高 7.6 底径20.7 | | | ハケ目, ケズリ, ヨ コナデ | |
| 高坏 | 脚Ⅲ | H292 | 112 | N16E7 | 第2河道 堆積土 | 器高 7.7 底径13.7 | 下部で屈曲 | | ヘラミガキ, ヨコナ デ | |
| 高坏 | | H293 | | N12E4 | 5-1 | 器高 3.4 | | 直線文(ヘラ) | ヘラミガキ, ケズリ | |
| 高坏 | 脚Ⅰ | H294 | | N13E6 | 4 | 器高 7.2 底径12.1 | | | ヘラミガキ, ナデ, ケズリ | |
| 高坏 | 脚Ⅰ | H295 | 112 | N14E5 | 4 | 器高 8.9 底径13.0 | | | ヘラミガキ, ハケ目, ケズリ | |
| 高坏 | 脚Ⅳ | H296 | | N19E9 | | 器高 8.0 底径10.5 | | | ヘラミガキ, ヨコナ デ, ケズリ | |
| 器台 | | H297 | | N11E7 | 4 | 口径13.6 器高 4.8 | | 直線文(クシ) | ヘラミガキ | |
| 器台 | | H298 | 112 | N10E7 | 4 | 口径18.3 器高 5.0 | | | ヘラミガキ, ヨコナ デ | |
| 器台 | | H299 | 112 | N13E7 | 4 | 口径16.7 器高 4.3 | | | ヘラミガキ, ヨコナ デ | |
| 器台 | | H300 | | N16E7 | 第2河道 堆積土 | 口径19.4 器高 5.2 | | | ヘラミガキ, ヨコナ デ, 稜は貼付 | |
| 器台 | | H301 | | N13E4 | 4 | 口径21.6 器高 7.1 | | | ヘラミガキ, ヨコナ デ | |
| 器台 | | H302 | 112 | N24E8 | 第1河道 堆積土 | 器高 6.8 底径18.4 | | | ヨコナデ, ケズリ, ヘラミガキ | |
| 器台 | | H303 | 112 | N11E4 | 4 | 口径20.4 器高 6.5 | | 刺突文(ヘラ) | ヨコナデ, ケズリ | |
| 器台 | | H304 | 112 | N16E7 | 第2河道 堆積土 | 器高 5.2 底径16.7 | | | ヨコナデ, ケズリ, ヘラミガキ | |
| 器台 | | H305 | | N16E8 | 4 | 口径24.4 器高 8.3 | | | ヘラミガキ, ヨコナ デ | |
| 器台 | | H306 | | N12E4 | 4 | 口径19.3 器高 5.9 | | | ヨコナデ, ヘラミガ キ, ケズリ | |
| 器台 | | H307 | | | | 器高 5.6 底径 15.4 | | | ヨコナデ, ヘラケズ リ | 松江市保管 |
| 器台 | | H308 | | | | 器高 7.6 底径 20.8 | | | ヨコナデ, ヘラケズ リ | 松江市保管 |
| 器台 | | H309 | | | | 器高 5.2 底径 16.0 | | | | 松江市保管 |
| 低脚坏 | | H310 | | N11E7 | 1・2 | 器高 4.0 底径 5.2 | | | ハケ目, ヘラミガキ | |
| 低脚坏 | | H311 | 113 | N17E7 | 4 | 器高 3.5 底径 6.8 | | | ヘラミガキ, ハケ目, ヨコナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-------|-----------------|------|-------|-------|-------------|----------------------------|-------|-------|------------------|-------|
| 低脚坏 | | H312 | 113 | N11E4 | | 器高 3.6 底径 6.8 | | | ヘラミガキ, ヨコナデ, ケズリ | |
| 低脚坏 | | H313 | | N11E4 | 4 | 器高 3.4 | | 円形透孔 | 円板充填, ハケ目 | |
| 低脚坏 | | H314 | 113 | N13E4 | 4 | 器高 4.6 底径 9.0 | | | ヘラミガキ, ヨコナデ | |
| 低脚坏? | | H315 | 113 | N12E7 | 4 | 器高 7.4 底径 4.8 | | | ハケ目, ケズリ, ミガキ | |
| 低脚坏 | | H316 | 113 | N13E4 | 4 | 器高 5.8 | | | ハケ目, ヘラミガキ, ケズリ | |
| 低脚坏 | | H317 | 112 | N11E4 | 4 | 口径12.4 器高 3.4 底径 3.4 | | | ハケ目, ヘラミガキ, ヨコナデ | |
| 低脚 | | H318 | | N16E7 | 第2河道 堆積土 | 器高 4.2 底径 8.0 | | | ハケ目, ヨコナデ, ナデ | |
| 低脚坏 | | H319 | 113 | | | 器高 2.7 底径 6.1 | | | ヨコナデ | |
| 低脚坏 | | H320 | | N12E4 | 4・5 | 器高 2.7 底径 9.7 | | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 脚 | | H321 | | N13E7 | 5-1 | 器高 4.5 | | | ナデ?, ケズリ | 弥生? |
| 鉢 | | H322 | 113 | N17E8 | 4 | 口径12.1 器高 2.4 | | | ヨコナデ | |
| 碗 | | H323 | 113 | N13E4 | 4 | 口径13.3 器高 4.6 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 碗 | | H324 | 112 | N199 | 第2河道 堆積土 | 口径14.0 器高 5.1 | | | ハケ目, ナデ, ヘラミガキ | |
| 碗 | | H325 | | N13E7 | 4 | 口径12.6 器高 4.7 | | | ハケ目, ヘラミガキ? | |
| 碗 | | H326 | 113 | | | 口径13.8 器高 5.0 | | | ハケ目, ナデ | |
| 碗? | | H327 | 113 | N12E4 | 4 | 口径15.6 器高 4.8 | 口唇肥厚 | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 碗 | | H328 | | N12E7 | 4 | 口径12.9 器高 5.7 | | | ナデ, ケズリ | |
| 碗 | | H329 | | N13E4 | 4 | 口径 9.4 器高 2.6 | | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甌 | | H330 | 113 | N23E8 | 第1河道 堆積土 | | | | ナデ, ケズリ | |
| 甌 | | H331 | 113 | N20E5 | 第1河道 堆積土 | 口径 7.6 器高14.2 | | | | |
| | | H332 | 113 | | | 器高 9.4 | | | ヨコナデ, ヘラケズリ | 松江市保管 |
| 丸小底壺型 | I | H333 | 113 | N11E4 | 4 | 口径10.0 器高 7.9 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 丸小底壺型 | I | H334 | | N11E4 | | 口径13.0 器高 6.6 | | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 丸小底壺型 | I ₁ | H335 | | | | | | | | 松江市保管 |
| 丸小底壺型 | II ₁ | H336 | | N14E6 | 4 | 口径 7.3 器高 7.0 | | | ヨコナデ | |
| 丸小底壺型 | II ₁ | H337 | 113 | N19E8 | 4 | 口径 9.6 器高 7.2 | 口唇平坦 | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |

| 器種 | 分類 | 図番 | 図版 ページ | 出土 地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-------|----------------|------|-----------|--------------|-------------|--------------------------|------------------|-------------|---------------------|-------|
| 丸小底壺型 | Ⅱ ₁ | H338 | 113 | N11E7 | 5-1 | 口径12.8 器高8.8 | | | ヨコナデ, ナデ, ケズリ | |
| 丸小底壺型 | Ⅱ ₁ | H339 | | N15E7 | 4 | 口径11.3 器高5.2 | | | ヨコナデ | |
| 丸小底壺型 | | H340 | | E4 N12-13 | 5 | 口径10.6 器高5.9 | | | ヨコナデ | |
| 丸小底壺型 | Ⅱ ₁ | H341 | 113 | N15E7 | 5-1 | 口径7.2 器高8.1 | 稜鈍い | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ, ナデ | |
| 丸小底壺型 | I ₃ | H342 | | N17E7 | 第2河道 堆積土 | 口径6.2 器高5.8 | | | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 丸小底壺型 | Ⅱ ₁ | H343 | 113 | N18E8 | 第2河道 堆積土 | 口径7.3 器高7.5 | 稜不明瞭 | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 丸小底壺型 | Ⅱ ₁ | H344 | 113 | N13E5 | 4 | 口径8.8 器高8.5 | 底部わずかに平坦 | | ヨコナデ, ハケ目, ナデ, ケズリ? | |
| 丸小底壺型 | Ⅱ ₃ | H345 | 113 | N19E9 | | 口径6.2 器高5.0 | | | ヨコナデ, ナデ | |
| 丸小底壺型 | I ₂ | H346 | 113 | N11E4 | 4 | 口径6.8 器高7.4 | | | ケズリ, ヨコナデ | |
| 丸小底壺型 | I ₂ | H347 | 113 | N14E6 | 4 | 口径6.5 器高6.8 | | | ハケ目, ナデ, ヨコナデ | |
| 丸小底壺型 | I ₂ | H348 | 113 | N16E7 | 4 | 口径5.8 器高7.3 | | | ヨコナデ, ハケ目, ケズリ | |
| 丸小底壺型 | I ₂ | H349 | 113 | N12E8 | 5-1 | 口径6.3 器高6.6 | | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 丸小底壺型 | I ₂ | H350 | 113 | N13E5 | 5-1 | 口径6.1 器高7.2 | | 垂下直線文(ヘラ) | ヨコナデ, ナデ, ミガキ | |
| 丸小底壺型 | Ⅱ ₃ | H351 | 114 | N14E5 | 5 | 口径6.4 器高4.0 | | | ヨコナデ, ナデ | |
| 丸小底壺型 | Ⅱ ₂ | H352 | | N11E7 | 4 | 口径7.1 器高4.3 | | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 丸小底壺型 | Ⅲ | H353 | 114 | N16E7 | 4 | 口径9.1 器高11.1 | | | ヨコナデ, ナデ, ケズリ | |
| 丸小底壺型 | Ⅲ | H354 | 114 | N12E4 | 5-1 | 口径8.0 器高10.5 | | | ヨコナデ, ハケ目, ナデ | |
| 丸小底壺型 | Ⅱ ₃ | H355 | 114 | N13E5 | 5 | 口径9.0 器高6.8 | | | ヨコナデ, ハケ目, ヘラミガキ | |
| 丸小底壺型 | Ⅱ ₂ | H356 | 114 | N12E4 | 4 | 口径6.2 器高8.1 | | | ヨコナデ, ナデ, ケズリ | |
| 壺 | | H357 | 114 | N14E6 | 第2河道 堆積土 | | | スタンプ文, 羽状文 | | |
| 壺 | | H358 | 114 | | | | 上面平坦 | スタンプ文 | 回転ナデ | 松江市保管 |
| | | H359 | 114 | N15E6 | 4 | | | 羽状文(貝) | ケズリ | |
| | | H360 | 114 | N13E7 | 4 | | | ヘラ沈線文 | ケズリ, ハケ目 | |
| 坏 | | H361 | 155 | 第2河道 | | 口径11.9 器高5.2 | 丸底 | | | |
| 坏 | | H362 | 155 | 第2河道 | | 口径15.2 器高5.0 | 口縁端わずかに外反, 丸底 | | | |
| 坏 | | H363 | 155 | 第2河道 | | 口径14.0 器高5.2 底径8.8 | やや深身 | 放射, ラセン状の暗文 | 静止糸切後周辺を回転ヘラケズリ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----|------|-------|-------|---------|------------------|-----------|-------|------------------|----|
| 甕 | | H364 | 155 | | 第2河道堆積土 | 口径17.7 器高 8.0 | 口縁軽く外反 | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | V | H365 | 155 | N17E7 | 6 | 口径 9.6 器高 4.5 | 口縁軽く外反 | | ヨコナデ, ヘラケズリ, ハケ目 | |
| 甕 | | H366 | 155 | | 第2河道堆積土 | 口径16.9 器高 4.5 | 口縁短く外反 | | ハケ目, ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | | H367 | 155 | | 第2河道堆積土 | 口径19.2 器高 6.3 | 口縁上部さらに外反 | | ヨコナデ, ケズリ | |
| 甕 | | H368 | 155 | | 第2河道堆積土 | 口径25.3 器高 5.1 | 口縁やや長く外反 | | ヨコナデ | |

4. 須 恵 器

須恵器は後述の通り第2河道中からまとまって出土したが、4～6層中からはほとんど出土していない。わずかに図示した4点（第89図 図版114）が4層上部（4-1層）から出土したに過ぎず、5層以下からはまったく出土していない。

SU123は肩部がかなり強く張る胴部片である。臑胴部に似るが、円孔が窺えないため壺の可能性もある。胴部には直線文間に波状文が施される。肩部には緑色の厚い自然釉がかかっている。

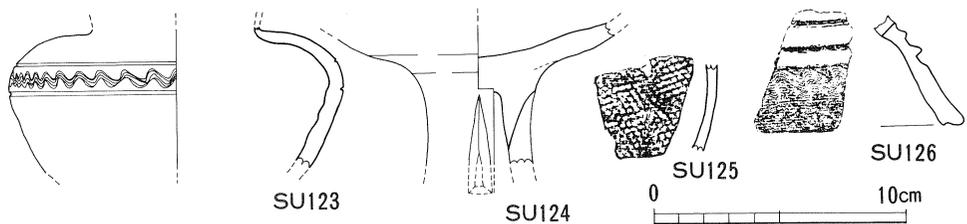
SU124は高坏坏部と脚部の境である。脚部には三角形の透孔が三方に穿たれている。

SU125は壺または甕の胴部小片である。器壁が薄いことを考えると壺であろうか。外面には小さな格子叩き痕がみられ、内面はていねいなナデ調整が施される。

SU126は一見壺または臑の口縁部に見えるが、上端に円形透孔が窺えることから脚端部と判断した。上部に太い突線文2条、さらにその下に波状文が施される。

これらはいずれも古墳時代の須恵器で、SU123がⅠ～Ⅱ期、124がⅢ期^{註1}と思われる。SU125は叩き目が格子で細かいことなどから古相の須恵器と思われるが、小片のため詳細な時期は不明である。

註1 山本 清 「山陰の須恵器」『島根大学開学十周年記念論文集』1960 島根大学



第89図 須恵器 壺・高坏ほか 1:3

5. ミニチュア土器

壺形、甕形、碗形、鉢形、高坏形、杓子形など55点を図示した。これらは明らかに土器を模倣したとわかるもののほか、非常にていねいな作りの精製ともいべき土器がある。この精製土器は仮器としてのいわゆるミニチュア土器としてよいのか、実用的な小型土器とすべきか判断し難いが、ここではミニチュア土器として扱う。

壺形（第90図M1～18 図版115） M1～M10は比較的忠実に壺を模倣したものである。調整も比較的ていねいで、ヘラミガキ調整が施されるものがみられる。明らかに仮器と思われるM1・2・4・5・8である。M6はミニチュア土器中最も大きな土器で、実用品の可能性はある。文様が描かれるのはM1・2・4のみで弥生前期壺同様ヘラ描き直線文を表現したものであろう。M3・7～8も弥生前期壺を模倣したものであろうか。M8は脚付の壺で、M11～15は無頸壺である。M11・13はていねいに作られ、口縁部には1～2個の小孔が穿たれている。特に13はていねいに作られており実用品の可能性はある。なおM11の口縁部は上面形が方形をしているのが特徴的である。M14～18は手捏痕がよく残り、仮器である可能性は強い。

甕形（第91図M20～25 図版115） 深身のものを甕形とした。壺形と違い、弥生土器を忠実に模倣したものはないが、作りはていねいである。

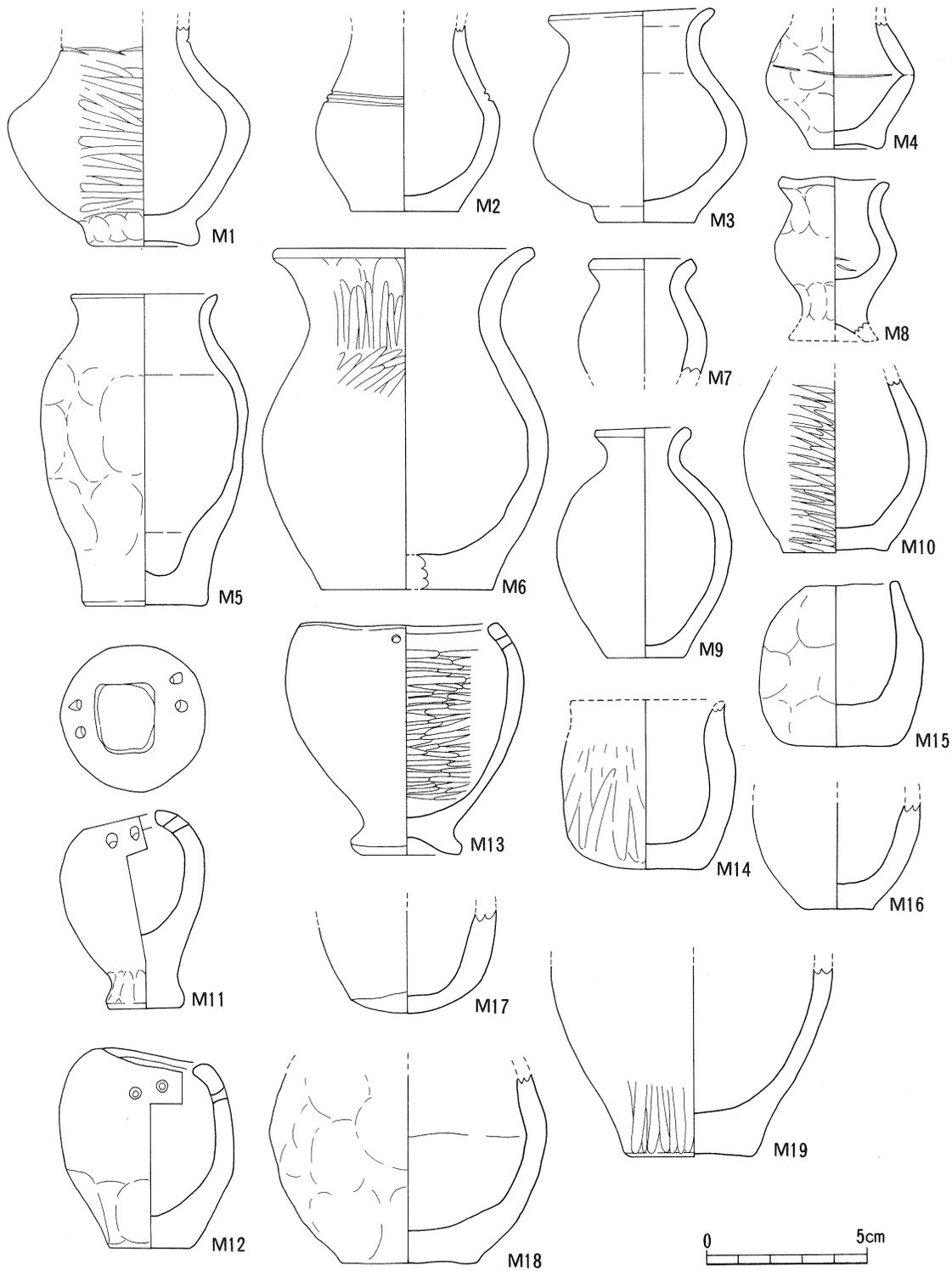
碗形（第91図M26・29 図版115） 底部は丸底で、口縁部は内湾する。M29は口縁部がわずかにくびれる。作りは雑で、手捏痕が明瞭に残る。

鉢形（第91図M27・28・30～41・54 図版116） 浅身のものを鉢形とした。口縁部はM38が直立する以外は外傾し、底部は平底ないしは丸底気味の平底である。M27は外面にヘラミガキ調整が施され整った形をするが、その他は調整が雑で手捏痕が明瞭に残る。いずれも仮器であろう。

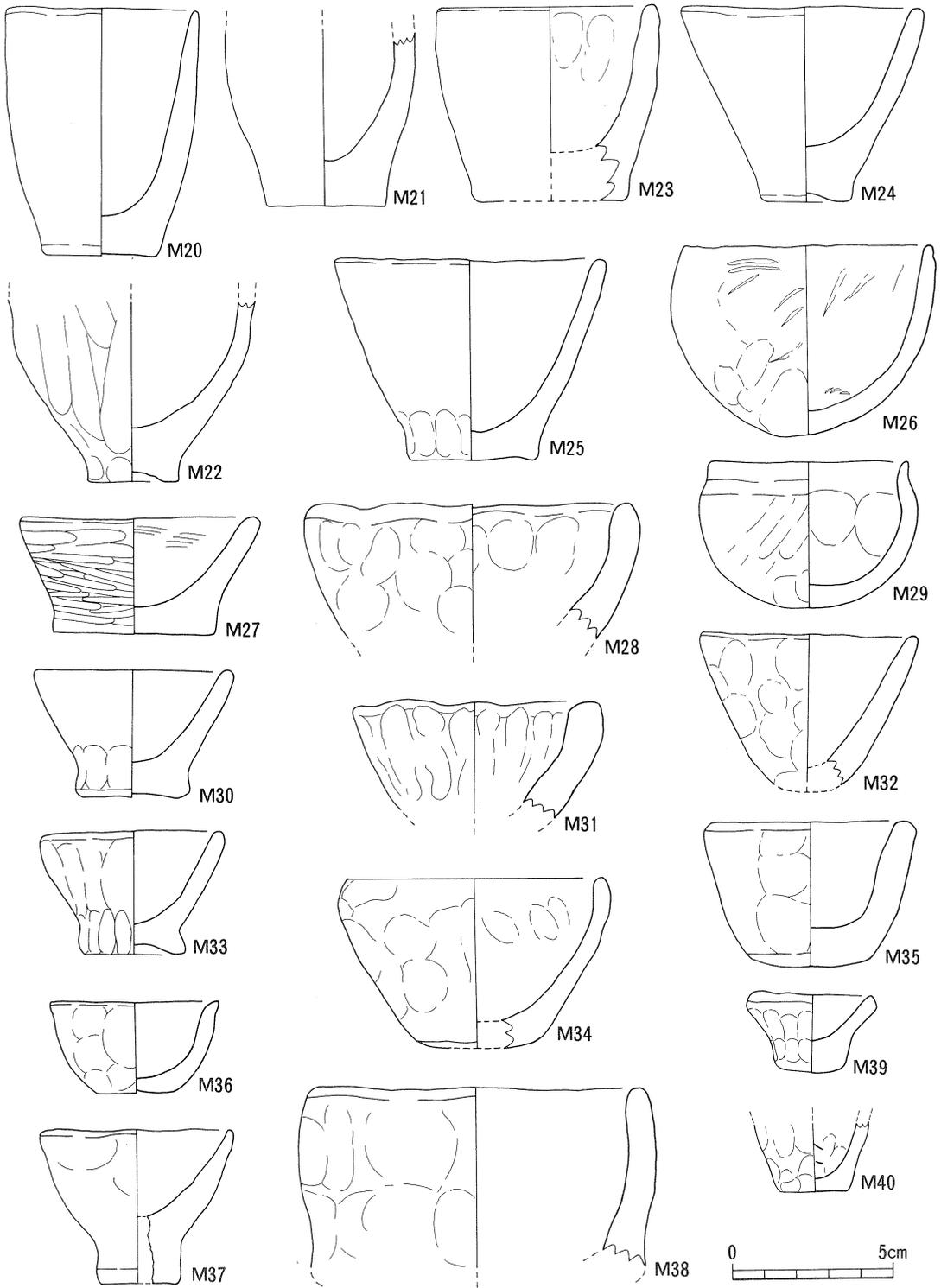
高坏形（第92図M51～53 図版116） 完形はM51のみで、他は脚が残存するだけである。脚はいずれも柱状であるが、M52は小孔が貫通し、高坏の脚を模している。いずれも雑なつくりで手捏痕が残る。

杓子形（第92図M55 図版116） 身部2分の1が欠損しているため杓子形とは断定できないが、身部の形状から杓子形と判断した。比較的ていねいな作りで、手捏痕はみられない。

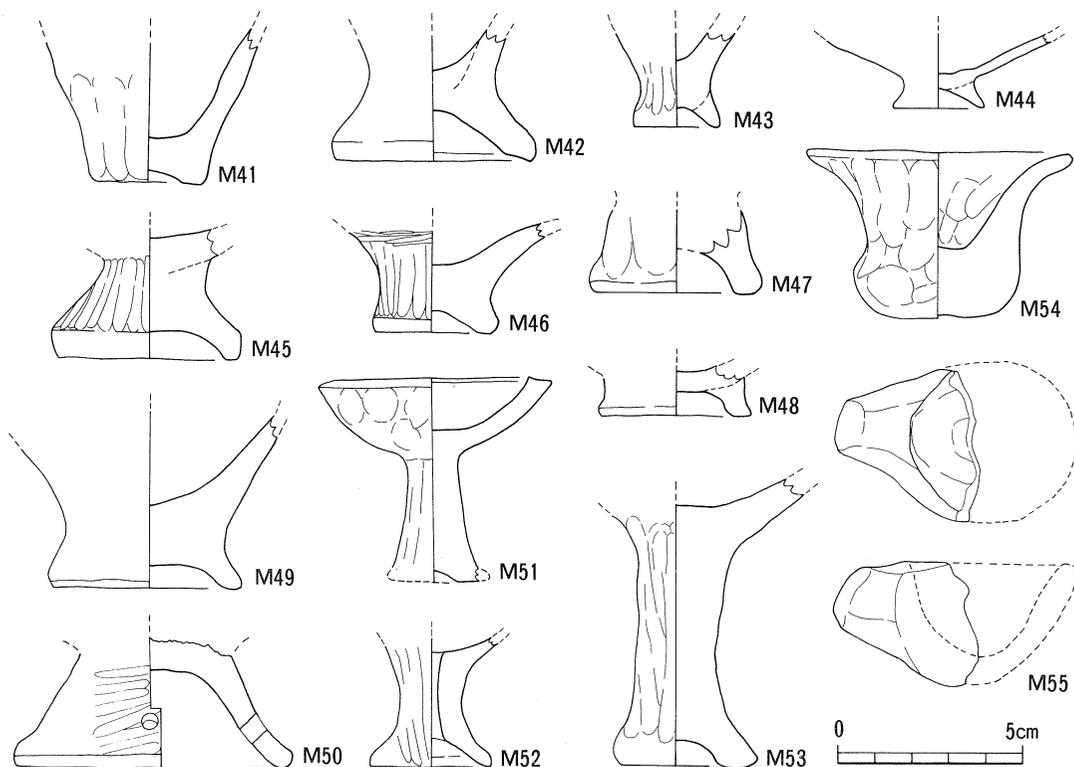
脚（第92図M42～50 図版116） 壺または鉢などの脚と考えた。M45・49・50は非常にていねいなつくりで、実用品の可能性もある。他の調整は雑で手捏痕が明瞭であることから、仮器と思われる。



第90図 ミニチュア土器(1) 壺形 1:2



第91図 ミニチュア土器(2) 甕・鉢・椀形 1:2



第92図 ミニチュア土器(3) 脚・高坏・杓形 1:2

ミニチュア土器一覽表

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----|------|-------|---------|----|-----------------------------|-------|----------|-----------|-------|
| 壺 | | M1 | 115 | N25E7 | 5 | 器高 7.0 底径 3.0 | | 直線文1(ヘラ) | ヘラミガキ | 弥生前期 |
| 壺 | | M2 | 115 | N22E6 | 5 | 器高 5.8 底径 3.4 | | 直線文2(ヘラ) | ヘラミガキ, ナデ | 弥生前期? |
| 壺 | | M3 | 115 | N17E8 | 4 | 口径 5.2 器高 6.7 底径 3.1 | | | | 弥生前期? |
| 壺 | | M4 | 115 | N18E8~9 | 4 | 器高 4.0 底径 2.2 | | 直線文1(ヘラ) | 手捏ね | |
| 壺 | | M5 | 115 | N17E9 | 4 | 口径 4.5 器高 9.8 底径 3.7 | 長胴 | | 手捏ね | 弥生前? |
| 壺 | | M6 | 115 | N21E5 | 4 | 口径 8.0 器高 10.7 底径 5.4 | 広口 | | ヘラミガキ, ナデ | 精製 |
| 壺 | | M7 | | N12E4 | 4 | 口径 3.2 器高 3.6 | 口縁短い | | | 弥生前期? |
| 壺 | | M8 | 115 | N11E4 | 4 | 口径 3.4 器高 4.9 | 脚付 | | 手捏ね | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|------|----|------|-------|-------------|-------------|-------------------------|---------|-------|----------------|-----------|
| 壺 | | M9 | 115 | N11E4 | 6 | 口径3.1 器高7.2 底径2.5 | 短頸 | | | 精製 弥生中期? |
| 壺 | | M10 | 115 | N13E5 | 6 | 器高5.4 底径3.2 | | | ヘラミガキ, ナデ | 精製, 弥生前期? |
| 無頸壺 | | M11 | 115 | N18E7 | 5 | 口径2.4 器高6.2 底径2.3 | 口縁上面形方形 | | ナデ | 精製, 弥生中期? |
| 無頸壺 | | M12 | 115 | N11E4 | | 口径3.8 器高6.1 底径2.5 | | | 手捏ね, ナデ | 弥生前期? |
| 無頸壺 | | M13 | 115 | N11E4 | 4 | 口径6.2 器高7.2 底径3.1 | 高台状の底部 | | ヘラミガキ | 弥生前期? |
| 鉢? | | M14 | 115 | N21E5 | 4 | 器高5.0 底径2.8 | | | 粗いヘラミガキ, ナデ | |
| 無頸壺? | | M15 | 115 | N22E5 | 4 | 口径2.9 器高5.1 底径3.5 | | | 手捏ね, ナデ | 弥生前期? |
| 壺? | | M16 | | N189 | 4 | 器高3.3 底径2.2 | | | | 精製 |
| | | M17 | | N22E5 | 4 | 器高3.2 | | | | 弥生前期? |
| 壺 | | M18 | 115 | N11E7 | 第2河道 堆積土 | 器高5.9 底径4.2 | | | 手捏ね | |
| 壺 | | M19 | | N17 E8-9 | 4 | 器高6.0 底径3.9 | | | ヘラミガキ, ナデ | 精製 弥生前期? |
| 鉢 | | M20 | 115 | N17E8 | 6 | 口径6.0 器高7.6 底径3.5 | | | ナデ | 弥生前期? |
| 壺? | | M21 | | N18E9 | 6 | 器高5.4 底径3.7 | | | 手捏ね, ナデ | 弥生前期 |
| 壺 | | M22 | | N14E6 | 5-2 | 器高5.5 底径2.8 | | | 手捏ね, ナデ | |
| 鉢 | | M23 | 115 | N12E4 | 第2河道 堆積土 | 口径6.7 器高6.0 底径4.4 | | | 手捏ね? | |
| 鉢 | | M24 | 115 | N18E8 | 6 | 口径7.4 器高6.0 底径2.5 | | | ナデ | 精製 弥生前期? |
| 鉢 | | M25 | 115 | N16E8 | 4 | 口径8.4 器高6.2 底径3.9 | | | | 精製 |
| 碗? | | M26 | 115 | N14E5 | 4 | 口径7.7 器高5.9 | | | 手捏ね, ナデ, ハケ目? | |
| 鉢? | | M27 | 115 | N179 | 6 | 口径7.4 器高3.5 底径5.0 | | | ヘラミガキ, ナデ, ハケ目 | 精製, 弥生前期? |
| 鉢? | | M28 | 115 | N11E7 | | 口径9.8 器高4.2 | | | 手捏ね | |
| 碗? | | M29 | 115 | N11E4 | 4 | 口径6.2 器高4.5 | | | ヨコナデ, ミガキ, 手捏ね | |
| 鉢 | | M30 | 115 | N11E7 | 4 | 口径6.2 器高3.9 底径3.2 | | | | 精製 |
| 鉢 | | M31 | 115 | N13E4 | 4 | 口径7.2 器高3.4 | | | 手捏ね | |
| 鉢 | | M32 | 115 | N12E4 | 4 | 口径6.7 器高4.6 | | | 手捏ね, ナデ | |
| 鉢 | | M33 | 115 | N22E5 | 4 | 口径5.6 器高3.8 底径3.0 | 高台状の底部 | | 手捏ね, ナデ | |
| 鉢 | | M34 | 116 | N19E9 | 4 | 口径7.9 器高5.2 | | | 手捏ね | |

| 器種 | 分類 | 挿 番 号 | 図 版 ペ ー ジ | 出 地 土 点 | 層 位 | 法 量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備 考 |
|-----|----|-------------|-----------------------|------------------|-------------|----------------------------|---------|-------|--------------------|--------|
| 鉢 | | M35 | | N11E4 | 4 | 口径 5.7 器高 4.4 | | | 手捏ね, ナデ | |
| 鉢 | | M36 | | N16E8 | 4 | 口径 5.2 器高 2.8 底径 2.5 | | | 手捏ね | |
| 鉢 | | M37 | 116 | N10E7 | 4 | 口径 5.9 器高 4.8 底径 2.3 | | | 手捏ね, ナデ | |
| 鉢? | | M38 | 116 | N11E7 | 4 | 口径 10.0 器高 5.5 | | | 手捏ね | |
| 鉢 | | M39 | 116 | | | 口径 4.0 器高 2.4 | | | 手捏ね, ナデ | |
| | | M40 | | N18E8 | 6 | 器高 2.1 底径 2.1 | | | 手捏ね | |
| | | M41 | 116 | N12E7 | 4 | 器高 3.7 底径 2.7 | | | 手捏ね | |
| 脚 | | M42 | 116 | N14E7 | 第2河道 堆積土 | 器高 3.3 底径 5.2 | | | ケズリ? | 精製 |
| | | M43 | 116 | N13E5 | 第2河道 堆積土 | 器高 2.5 底径 2.2 | 高台状の脚 | | ヘラミガキ, ナデ | 精製 |
| | | M44 | 116 | N17E7 | 第2河道 堆積土 | 器高 2.0 底径 2.5 | 高台状の底部 | | 手捏ね | |
| | | M45 | 116 | N10E7 | 第2河道 堆積土 | 器高 3.4 底径 4.8 | | | ヘラミガキ, ナデ, ヨコナデ | 精製 |
| | | M46 | 116 | N17E7 | 第2河道 堆積土 | 器高 3.0 底径 3.1 | 高台状の底部 | | ヘラミガキ, ナデ | 精製, 蓋? |
| 脚 | | M47 | 116 | E8 N13-17 | 4 | 器高 2.2 底径 4.7 | | | 手捏ね | |
| 脚 | | M48 | 116 | N12E4 | 4 | 器高 1.3 底径 4.0 | 高台状の脚 | | ナデ, 手捏ね | 精製? |
| | | M49 | 116 | N12E4 | 4 | 器高 4.7 底径 4.9 | 高台状の底部 | | | 弥生前期? |
| 脚 | | M50 | 116 | N16E7 | 6 | 器高 3.4 底径 7.2 | | | ヘラミガキ, ナデ | 精製 |
| 高環 | | M51 | 116 | N12E4 | 4 | 口径 6.2 器高 5.5 | | | 手捏ね, ナデ | |
| 器台? | | M52 | 116 | N12E7 | 5-2 | 器高 3.3 底径 3.2 | | | ヘラミガキ, ナデ | 精製? |
| 高環 | | M53 | 116 | N12E7 | 4 | 器高 7.7 底径 3.5 | | | 手捏ね, ナデ | |
| 鉢? | | M54 | 116 | N17E9 | 4 | 口径 7.0 器高 4.5 底径 2.3 | 口縁大きく開く | | 手捏ね | |
| 杓子? | | M55 | 116 | N10E6 | 8 | | | | 手捏ね | |

6. その他の土器

韓式系土器（第93図E1～12 図版116） いずれも小片で全形を窺えるものは少ない。E1～5は縄文が施されるもので、内面はていねいにナデ調整が施される。E1が比較的器形を窺うことができるが、頸部、口縁部は緩く外反するようである。E6～10は格子叩きが施されるものである。E6は把手の部分で、把手上面は強いナデによってわずかに凹む。E8は甕形土器で、頸部は「く」の字形に屈曲し、口縁端部は肥厚しクシ描きの直線文が施される。E11は環状の把手がつく胴部片である。上部にはわずかに段がつくようである。E12は甗の底部で、わずかに格子叩きが観察できる。底部には円孔の一部が残る。

埴輪（第93図E13～16 図版117） 10数点出土しているが、いずれも摩滅が著しく、図示した4点は比較的残存状態がよいものである。E13は口縁部、E14・16はタガ部分、E15は基底部である。E13・14は外面がナナメハケ、内面がヨコハケ、E16は内外面ともナナメハケ調整である。E15は風化が著しいが、基底部に二次調整が施されるようである。

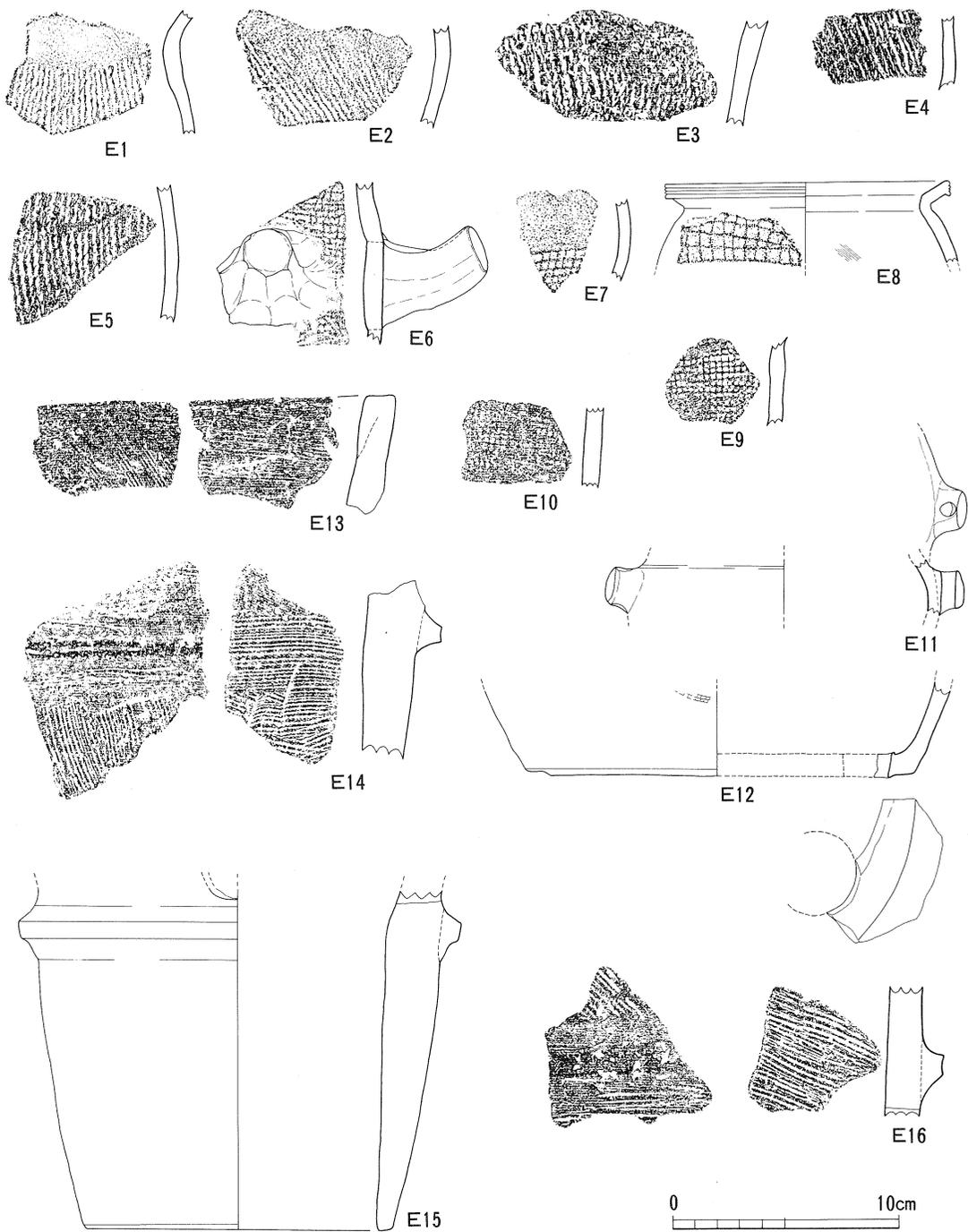
甕（第94図E17 図版117） 基底部片が1点出土している。

碗（第94図E18 図版117） 丸底で口縁部が大きく開く。内面、底部を粗くヘラケズリ調整するため、非常に雑な感じがする。一見縄文土器の感じを受けるが、土師器である可能性も捨てきれない。

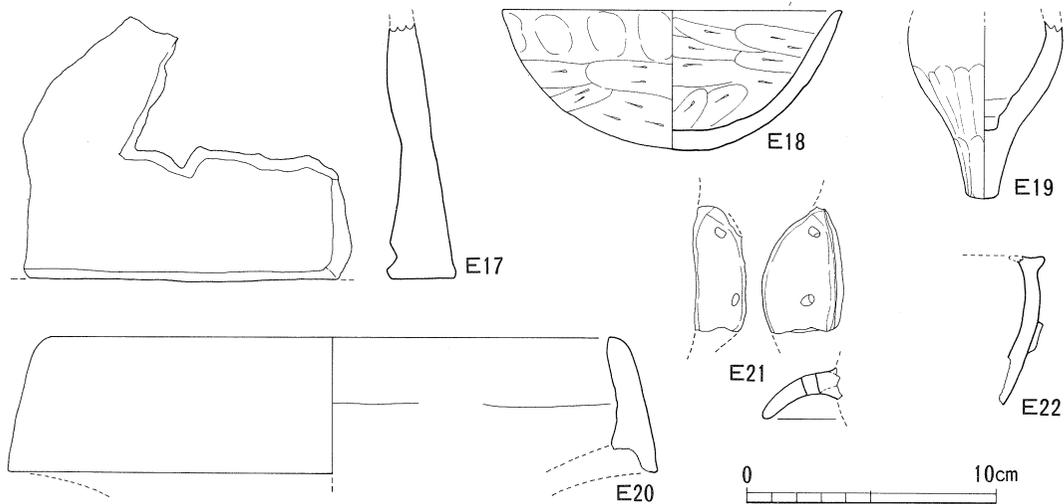
壺（第94図E20 図版117） 上部の小片のみ残るため、全体の器形、器種は不明である。下端の破面は擬口縁となっており、それから推定すると本来は複合口縁であったと思われる。この種の土器は当地方ではあまり出土していないため時期は不明である。

つまみ?（第94図E21 図版117） 平面形は半円形で、断面形が弧状を呈すものである。小孔が2個穿たれており、一側縁は擬口縁となっている。弥生土器壺の頸部に同様のつまみが付くものがあり（第28図Y75）つまみの可能性が強いが、不明確である。胎土などは弥生土器に似る。

器種不明土器（第94図E19・22 図版117） とともに小片で全形は窺えない。E19は底部に柱状の突起がつくいわば尖底の土器である。内面底部は大きく凹む。E22は小型の無頸壺または鉢のような器形をするが、小片のため定かではない。口縁部は肥厚し平坦面をなし、胴部には円形浮文をつける。これらは胎土、調整など弥生時代中期の土器に似るが、弥生土器という確証はない。



第93図 その他の土器(1) 韓式土器・埴輪 1:3



第94図 その他の土器(2) 甕・時期不明土器 1:3

その他の土器一覧表

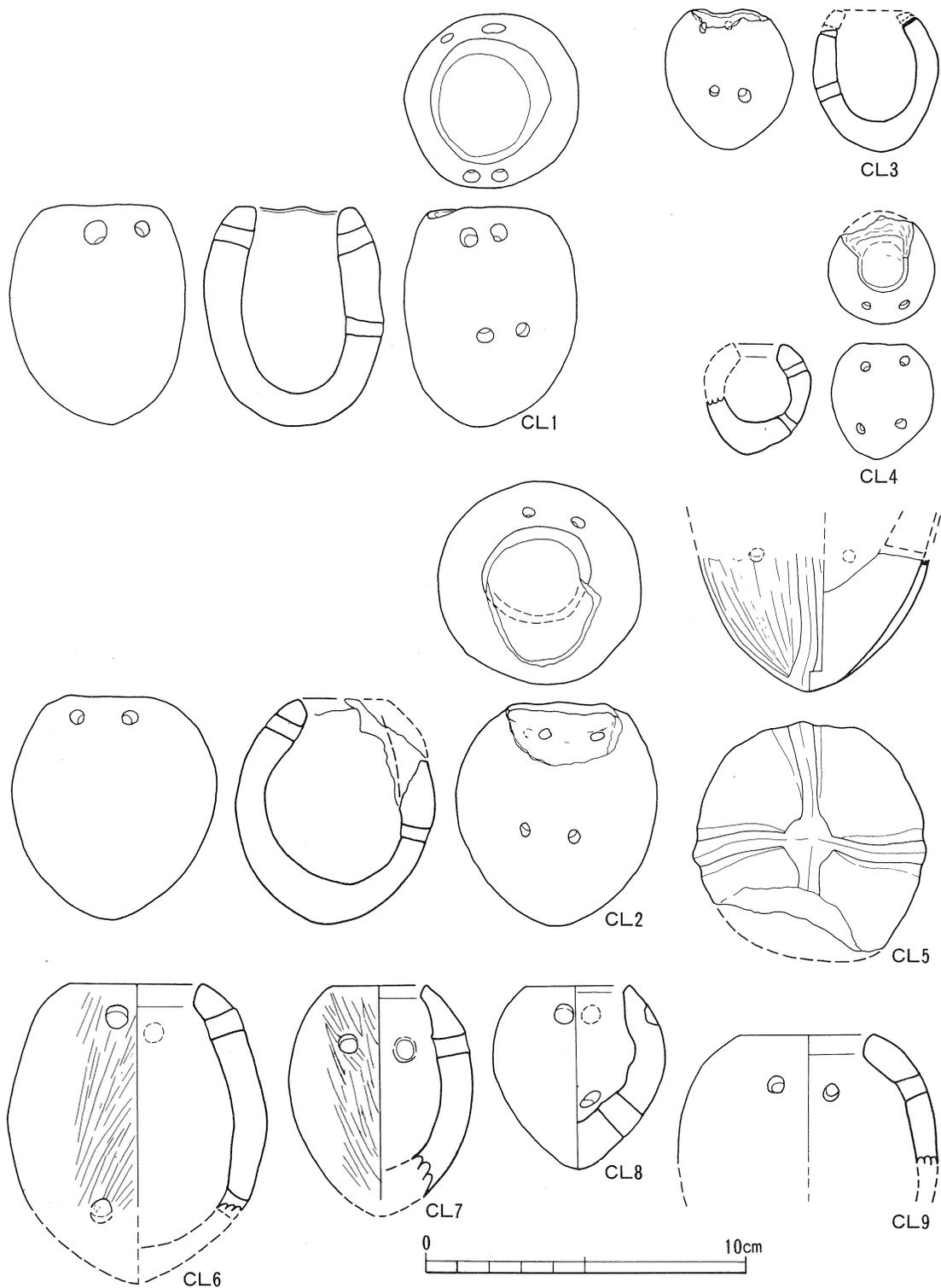
| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----|------|-------|-------|---------|------------------|-------------|-----------|----------------|-----|
| 甕? | | E1 | 116 | N19E9 | 第2河道堆積土 | | 口縁緩く外反 | 縄目文 | ナデ | |
| | | E2 | 116 | N17E8 | 第2河道堆積土 | | | 縄目文 | ナデ | 韓式系 |
| | | E3 | 116 | N16E8 | 6 | | | 縄目文 | | 韓式系 |
| | | E4 | 116 | N11E4 | 4 | | | 縄目文 | ケズリ | 韓式系 |
| | | E5 | 116 | N18E8 | | | | 縄目文 | ナデ | 韓式系 |
| 甕 | | E6 | 116 | N16E7 | 4 | | 把手上面やや凹む | | 格子叩き, ナデ | |
| | | E7 | 116 | N17E7 | 第2河道堆積土 | | | | 格子叩き, ナデ, ヨコナデ | 韓式系 |
| 甕? | | E8 | 116 | N17E8 | 第2河道堆積土 | 口径12.5 器高 3.6 | 口縁肥厚 | 直線文3(クシ?) | 格子叩き, ハケ目, ナデ | 韓式系 |
| 甕? | | E9 | 116 | N14E5 | | | 口縁外反 | | 格子叩き, ナデ | 韓式系 |
| | | E10 | 116 | N18E6 | 第2河道 | | | | 格子叩き, ナデ | 韓式系 |
| 鉢? | | E11 | 116 | N22E5 | 8 | | 低いつまみ(円孔あり) | 上部に段 | | 韓式系 |
| 甕 | | E12 | 116 | N17E9 | 第2河道堆積土 | 器高 3.8 底径17.4 | 底部に円孔 | | ヨコナデ, 叩き | 韓式系 |
| 埴輪 | | E13 | 117 | N12E7 | 第2河道堆積土 | | | | ヨコナデ, ハケ目 | |
| 埴輪 | | E14 | 117 | N25E7 | 第2河道堆積土 | | | | ハケ目, ナデ | |

| 器種 | 分類 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) | 形態の特徴 | 文様の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----|------|-------|-------|---------|----------------------------|----------|-------|--------------|---------------|
| 埴輪 | | E 15 | 117 | N13E7 | 第2河道堆積土 | 器高15.2 底径13.7 | 円形透孔 | | 底部二次調整? | |
| 埴輪 | | E 16 | 117 | N26E8 | 第2河道堆積土 | | 円形透孔 | | ハケ目, ヨコナデ | |
| 甕 | | E 17 | 117 | N18E8 | 第2河道堆積土 | | | | 指押圧 | |
| 碗? | | E 18 | 117 | N19E9 | 4 | 口径13.5 器高 5.6 底径 5.3 | | | ケズリ | 縄文か土師器? |
| | | E 19 | 117 | N24E7 | 第2河道堆積土 | 器高 6.9 | 尖底 | | ヘラミガキ, ナデ | 弥生前期? |
| 壺? | | E 20 | 117 | N13E5 | 4 | 口径22.7 器高 5.5 | 複合口縁 | | ヨコナデ, 下部に擬口縁 | |
| | | E 21 | 117 | N13E5 | 5-1 | | | | ナデ | 把手か? |
| | | E 22 | | | | | 口縁逆「L」字? | 円形浮文 | | 時期不明 松江市保管 |

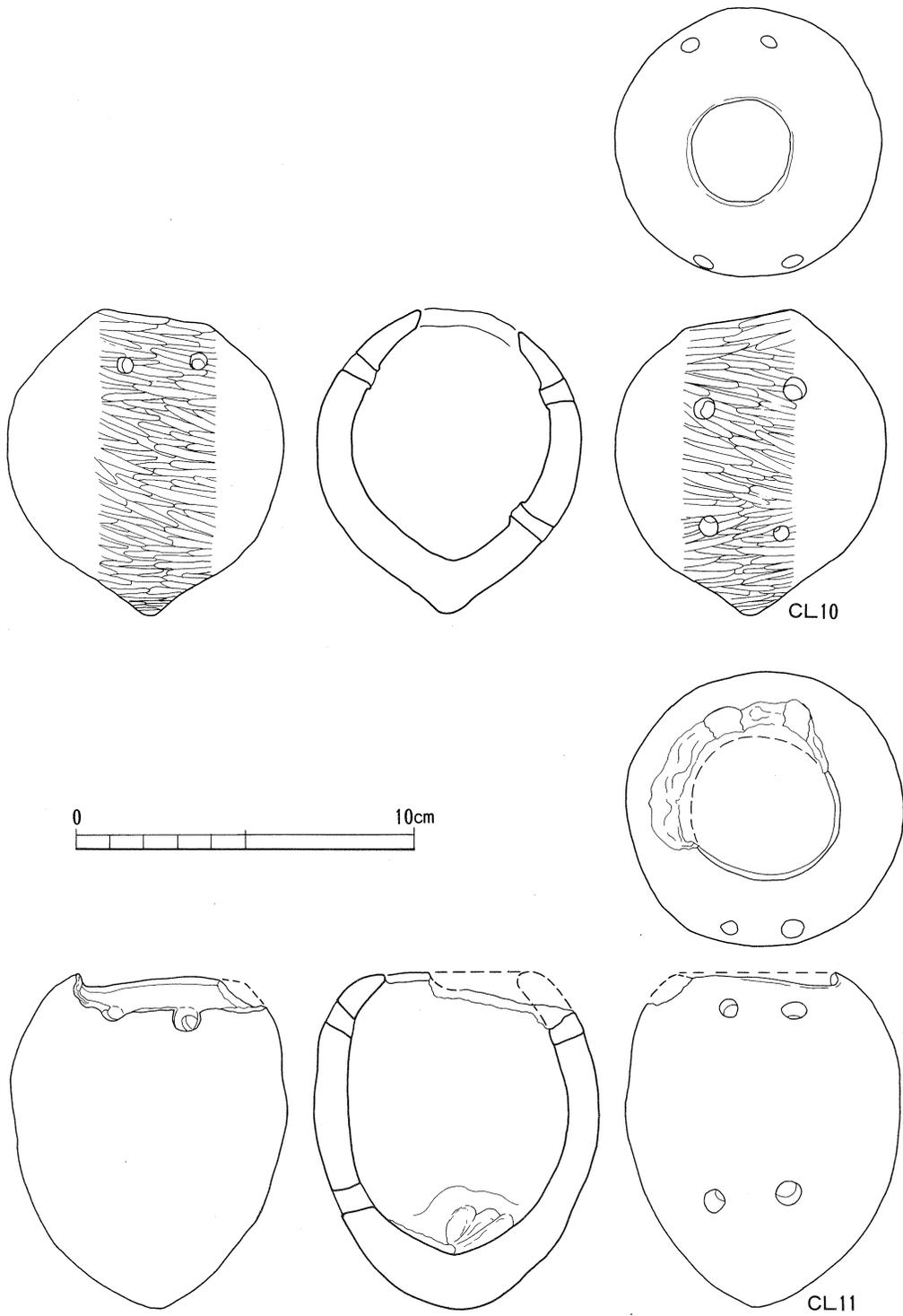
7. 土 製 品

土笛（第95図 CL 1～第97図 CL15・21 図版118, 119） 今回の調査では土笛は計17個出土し、そのうち16個を図示した。CL 9・13～15・21は小片で無頸壺ほか他器種の可能性も否定できないが、形状が土笛によく似ているため土笛と判断した。CL 1・2・7～9・12のように器高6～8cm前後を測るものが一般的であるが、CL 2・3のように器高3～4cmの小型のもの、CL10・11のように器高9～10cmの大型のものもある。器形は正面形が卵形を呈し、吹口が胴部最大径より小さいのを基本とするが、口径と胴部と最大径があまりかわらないもの（CL 1）や、口径が極端に小さく桃果形を呈するもの（CL10）など細部についてはバラエティーに富む。CL15は口縁部が短く直立するもので、他の土笛と形態が大きく違うが、底部が尖底であることなどから土笛と判断した。ほとんどの土笛には文様は施されないが、CL 5・15には胴部から底部に向かって垂下する低い突帯文がレリーフ状に施されている。またCL12には胴部に同様の突帯文と底部に1条の沈線文が施されている。全体に調整はヘラミガキ、ナデなどで非常にいいに仕上げられているが、CL 1は調整が雑で凸凹が著しい。孔は一面には上方に2個、一面に上・下方に各2個（計4個）穿たれている。なお、CL 8の上方の孔は貫通していない。

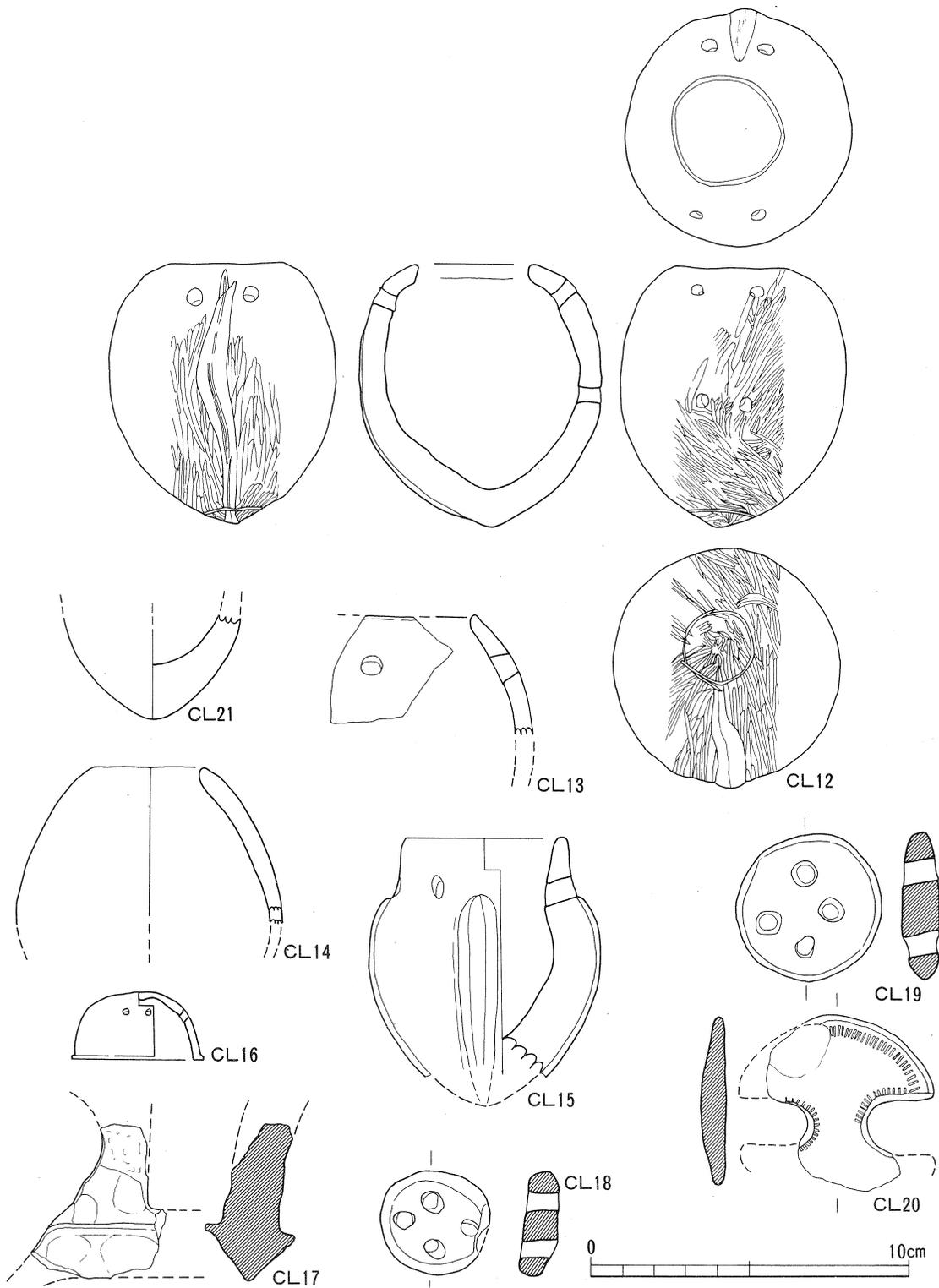
土笛は全国で、約50例出土しているといわれるが、そのうち西川津遺跡で18例、タテチヨウ遺跡で19例（昭和52年度調査で2個出土）と朝酌川流域で全国出土総数の3分の2を占めることになる。小片になると無頸壺と誤認しやすく、今後の注意しだいでは出土数の増加も考えられるが、当地での異常ともいふべき土笛の出土数がどのような意味を持つか不明といわざるをえない。



第95図 土製品(1) 土笛 1:2



第96図 土製品(2) 土笛 1:2



第97図 土製品(3) 土笛・その他 1:2

蓋形土器（第97図 CL16 図版119） 小型で半球状を呈すもので、上部に2個一対の小孔が穿たれている。型作りによって作られたと思われ天井部内面には指押圧痕が残る。類例がないため蓋であるか否か不明である。

不明土製品（第97図 CL17 図版119） 器面はわずかにカーブを描いているが、小片のため全形を窺うことはできない。下端は擬口縁となっており、両側縁は円形または方形の透孔があるようである。調整は全面に指押圧痕がみられる。

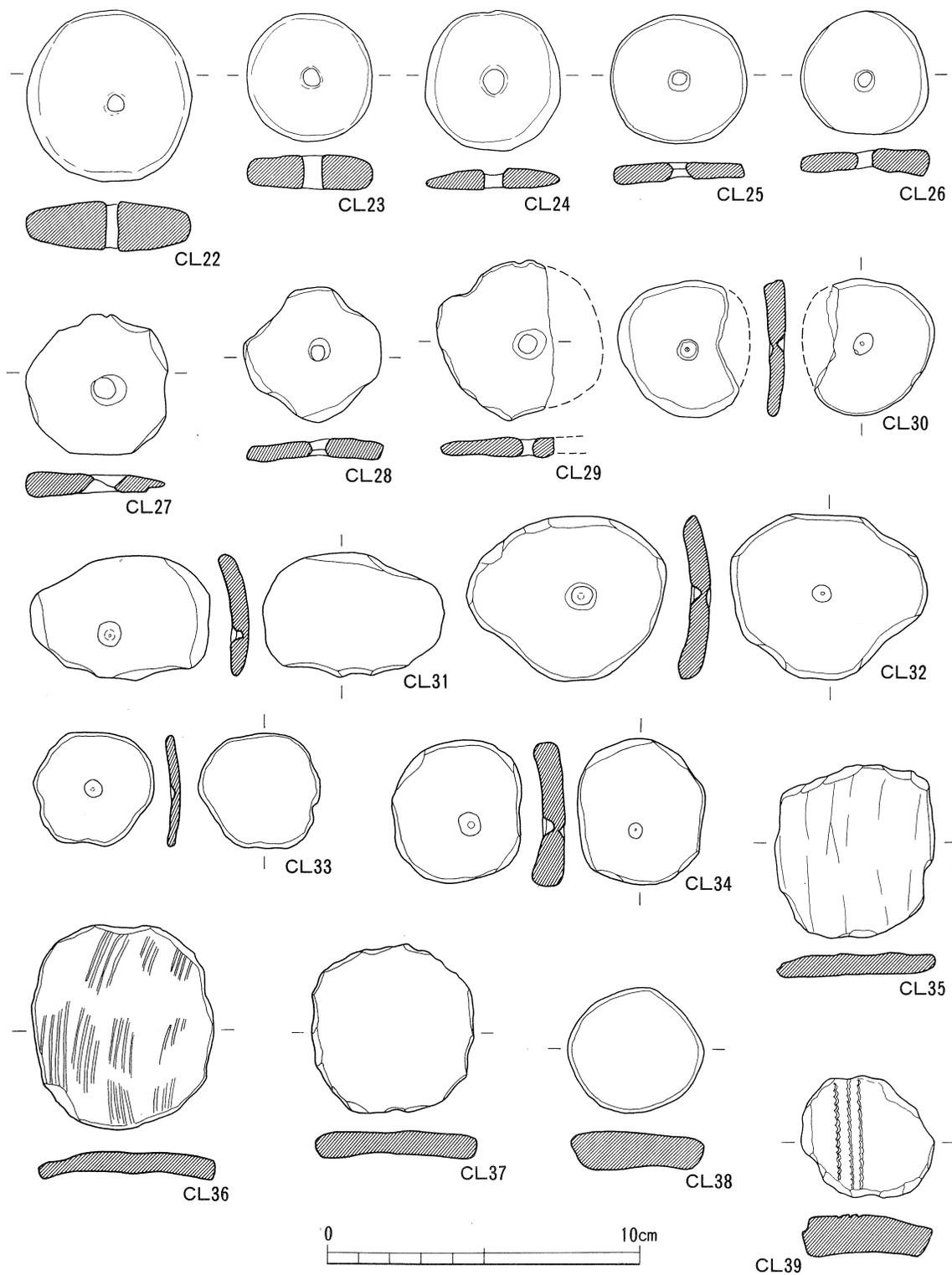
分銅形土製品（第97図 CL20 図版119） 現全長5.5cmの小型で、下部は欠損する。表面周縁には刺突文が廻っている。

土製円板（第98図 CL22～第99図 CL43） 直径5cm前後の平面形円形を呈したもので、粘土を整形して作られたもの（CL22～24）と土器片を転用したもの（CL25～43）とがある。一般に「有孔円板」と称されるものであるが、孔のないものは有孔円板未成品として限定する証拠がないため、土製円板とした。

CL22～24は粘土を成形して作られたもので、非常にいいに調整され平面形がほぼ正円を呈するものである。直径は4～5cmを測り、胎土は弥生時代前期の土器に似る。CL25～29は土器片を整形し中央に円形を穿つものである。土器片の縁片を打ち欠き整形しているが、打ち欠いただけのものは少なく打ち欠いた後縁辺を多少研磨しているのが多いようである。CL25・26は特にいいに縁辺が研磨されており、平面形は正円に近い。直径は4cm前後のものが多く5cmを越えるものはない。穿孔は打痕がみられず、孔面が平滑であることから、回転作用によると思われる。図示したものの胎土、調整はいずれも弥生時代前、中期の土器に似る。

CL30～34は穿孔途中の未成品である。孔は成品同様回転作用によるものと思われる。縁辺は多少研磨が施されるものが多く、CL30・34は比較的いいに研磨される。直径は4cm前後のものが多いが、CL32は5cmを越える比較的大型のものである。孔は、内面から穿つもの（CL31・33）、両面から穿つもの（CL30・32・34）があるが、成品の孔を観察すると両面から穿たれていると思われるものが多いことから、最終的には両面から穿孔するのが一般的ではなかったろうか。時期がわかるものはないが、CL33は器壁が非常にうすいことから弥生時代中期中葉以降と思われる。

CL35～43は土器片を円形に整形しただけで穿孔痕のないもので有孔円板の未成品と考えられるものだが、他器種の可能性も否定できない。縁片は打ち欠いただけのものもあるが（CL35～37・39・41・42）、研磨を施すものもある。CL38・40・43は特にいいに研磨された正円形に近い。このことから穿孔以前にすでに縁辺の調整は終らせていることがわかる。CL36・37は二枚貝条痕がみられ、CL37にはわずかに繊維が認められることから、縄文時代前期と思われる。またCL35は強いナデ調整が施され、縄文時代晩期の突帯文土器に似る。CL39～43の器面には文様が残っている



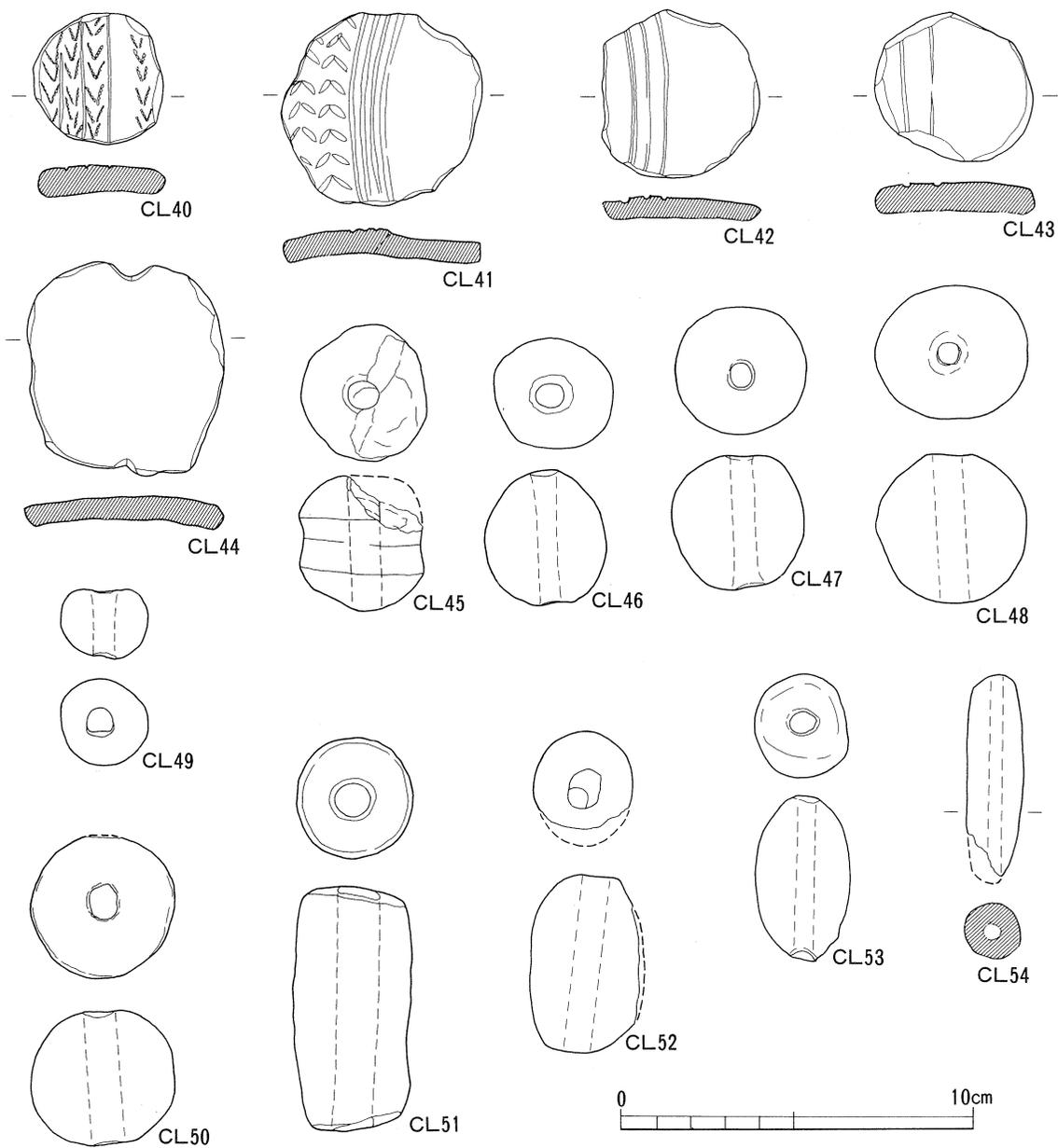
第98図 土製品(4) 土製円板 1:2

ことから弥生時代前期であることがわかる。CL42・43にはヘラ描き直線文，CL39には二枚貝腹縁による直線文，CL41にはヘラ描き直線文と羽状文，CL40には二枚貝腹縁による羽状文が施されている。このほかCL38も胎土などから弥生時代前期と思われる。またCL41・42には段がみられる。

土錘（第99図 CL44～54） 土玉と称されるものも土錘として一括して扱った。CL46～50はほぼ球形を呈すもので，CL49は径2.5cmの小型であるが，大きさとしてはCL47程度が一般的のようである。CL51～54は柱状ないしは紡錘形を呈するもので，CL54は径1.6cmと最も細かく，CL51は径3.4cmと最も太い。多くはこの中間の法量である。CL45は中央がくびれる特異な土錘で，1点のみ出土している。CL44は土器片を再加工した，いわゆる土器片錘である。両端は擦切によって抉りが入られ，周縁も研磨が施されるようである。内外面の調整や胎土から判断すると弥生時代前期または中期の土器と思われる。

土製品一覧表

| 器種 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | | | 手法 | 備考 |
|-----|------|-------|--------------|---------|---------|--------|--------|----------|-------------|
| | | | | | 口(直)径 | 最大径(長) | 器高(厚さ) | | |
| 土笛 | CL1 | 118 | N26E7 | 4-2 | 2.8×3.1 | 5.5 | 6.8 | ナデ | 全体にいびつ |
| 土笛 | CL2 | 118 | N18E9 | 第2河道堆積土 | 3.4 | 6.3 | 7.0 | | |
| 土笛 | CL3 | 119 | N10E7 | 4 | | 4.4 | 4.7 | | 小型 |
| 土笛 | CL4 | 119 | N13E6 | 第2河道堆積土 | 1.5 | 3.2 | 3.6 | ナデ? | 小型 |
| 土笛 | CL5 | 119 | N17E8 | 6 | | 7.1 | | ヘラミガキ，ナデ | 突帯文 |
| 土笛 | CL6 | 119 | N20E5 | 4 | 4.2 | | 4.1 | ヘラミガキ，ナデ | |
| 土笛 | CL7 | | N16～15 E7 | 第2河道堆積土 | 3.0 | 5.7 | 6.5 | ヘラミガキ，ナデ | |
| 土笛 | CL8 | 119 | N13E6 | 第2河道堆積土 | 3.2 | 5.4 | 5.7 | | 上部小孔未貫通 |
| 土笛 | CL9 | 119 | | 4 | 4.2 | 8.1 | | ナデ? | |
| 土笛 | CL10 | 118 | N22E5 | 4 | 3.1 | 8.2 | 9.1 | ヘラミガキ | |
| 土笛 | CL11 | 118 | N22E5 | 4 | 4.6 | 8.1 | 9.9 | ナデ? | 全体にいびつ |
| 土笛 | CL12 | 118 | N18E8 | 6 | 3.5 | 7.1 | 8.2 | ヘラミガキ，ナデ | 突帯文，沈線文(ヘラ) |
| 土笛 | CL13 | 119 | N12E5 | 4 | | | | ナデ | |
| 土笛 | CL14 | 119 | | | 3.5 | 9.4 | | | 松江市保管 |
| 土笛? | CL15 | 119 | N12E5 | 第2河道堆積土 | 5.2 | 7.0 | 7.4 | | 突帯文 |



第99図 土製品(5) 土製円板・土錘 1:2

| 器種 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | | | 手法 | 備考 |
|----|------|-------|-------|-------------|---------|--------|--------|------------|--------|
| | | | | | 口(直)径 | 最大径(長) | 器高(厚さ) | | |
| 蓋 | CL16 | 119 | N11E4 | 4 | 4.0 | | 2.1 | ヨコナデ, 型作り? | |
| | CL17 | 119 | N19E7 | 第2河道 堆積土 | | | | 左側擬口縁? | 上下に透孔? |
| 円板 | CL18 | 119 | N13E4 | 4 | 3.4×3.5 | | 1.1 | ナデ | 円孔4 |

| 器種 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法 量 (cm) | | | 手 法 | 備 考 |
|--------|------|-------|----------------|-------------|----------|--------|--------|--------|-----------------------------|
| | | | | | 口(直)径 | 最大径(長) | 器高(厚さ) | | |
| 円板 | CL19 | 119 | N12E5 | 6 | 4.6 | | 1.1 | ナデ | 円孔4 |
| 分銅形土製品 | CL20 | 119 | | | | 5.5 | 0.7 | | 松江市保管 |
| 土笛 | CL21 | 119 | | | | 5.6 | | | 松江市保管 |
| 土製円板 | CL22 | | N17E8 | 6 | 5.4×5.3 | | 1.5 | | |
| 土製円板 | CL23 | | | | 5.1×5.5 | | 1.1 | | 松江市保管 |
| 土製円板 | CL24 | | N16E7 | 第2河道 堆積土 | 4.4×4.3 | | 0.6 | | |
| 土製円板 | CL25 | | N16~17 E8 | | 4.1×4.3 | | 0.6 | 周縁研磨 | |
| 土製円板 | CL26 | | N26E7 | 4-1 | 4.0×4.0 | | 0.8 | 周縁研磨 | |
| 土製円板 | CL27 | | N18E9 | 4 | 4.5 | | 0.8 | | |
| 土製円板 | CL28 | | N18E9 | 4 | 4.3 | | 0.6 | 若干周縁研磨 | |
| 土製円板 | CL29 | | N21E5 | 6 | 5.0 | | 0.6 | | 縄文晩期 |
| 土製円板 | CL30 | | N12E4 | 4 | 4.4 | | 0.7 | | |
| 土製円板 | CL31 | | N12E7 | 4 | 5.7×3.9 | | 0.5 | | 孔未貫通 |
| 土製円板 | CL32 | | N12E4 | 4 | 6.2×5.2 | | 0.7 | | 孔未貫通 |
| 土製円板 | CL33 | | N25E7 | 4-1 | 3.9×3.6 | | 0.3 | | 孔未貫通 |
| 土製円板 | CL34 | | N13E7 | 4 | 4.1×4.6 | | | 周縁研磨 | 孔未貫通 |
| 土製円板 | CL35 | | N26E7 | 4-1 | 5.5×5.1 | | 0.6 | | 縄文晩期 |
| 土製円板 | CL36 | | N26E7 | | 6.5×5.3 | | 0.7 | | 縄文前期 |
| 土製円板 | CL37 | | N10E7 | | 5.4×5.2 | | 0.8 | | 縄文前期 |
| 土製円板 | CL38 | | N20~22 E5~6 | 4 | 4.0×4.3 | | 1.2 | 周縁研磨 | |
| 土製円板 | CL39 | | N12E5 | 6 | 3.9×4.3 | | 1.3 | | 直線文(貝) 弥生前期 |
| 土製円板 | CL40 | | N12E4 | 4 | 3.8×3.7 | | 0.8 | 周縁研磨 | 羽状文(貝) 弥生前期 |
| 土製円板 | CL41 | | N26E7 | 4-2 | 5.5×5.2 | | 0.7 | | 段, 羽状文, 直線文 (ヘラ) 弥生前期 |
| 土製円板 | CL42 | | N12E5 | 5-1 | 4.8×4.5 | | 0.6 | | 直線文(ヘラ) 弥生前期 |
| 土製円板 | CL43 | | N21E5 | 4 | 4.2×4.4 | | 0.8 | | 直線文(ヘラ) 弥生前期 |
| 土器片錘 | CL44 | | N27E7 | 4-1 | 6.0×5.5 | | 0.6 | 両端に抉り | |

| 器種 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量 (cm) | | | 手法 | 備考 |
|----|------|-------|-------|-------------|---------|--------|--------|----|--------|
| | | | | | 口(直)径 | 最大径(長) | 器高(厚さ) | | |
| 土錘 | CL45 | | N16E8 | 6 | 3.8×3.6 | | 3.7 | | 中央くびれる |
| | CL46 | | N10E7 | 4 | 3.2×3.5 | | 3.8 | | |
| 土錘 | CL47 | | N17E7 | 第2河道 堆積土 | 3.7 | | 3.9 | | |
| 土錘 | CL48 | | | | 4.3 | | 3.8 | | 松江市保管 |
| 土錘 | CL49 | | N11E6 | 4 | 2.5×2.6 | | 2.0 | | |
| 土錘 | CL50 | | | | 5.1 | | 5.1 | | 松江市保管 |
| 土錘 | CL51 | | N29E5 | 4 | 3.5×3.4 | | 6.9 | | |
| 土錘 | CL52 | | | | 3.2 | | 5.0 | | 松江市保管 |
| 土錘 | CL53 | | N19E9 | 第2河道 堆積土 | 3.0×2.7 | | 4.8 | | |
| 土錘 | CL54 | | N18E9 | 第2河道 堆積土 | 1.6 | | 5.7 | | |

8. 石 器

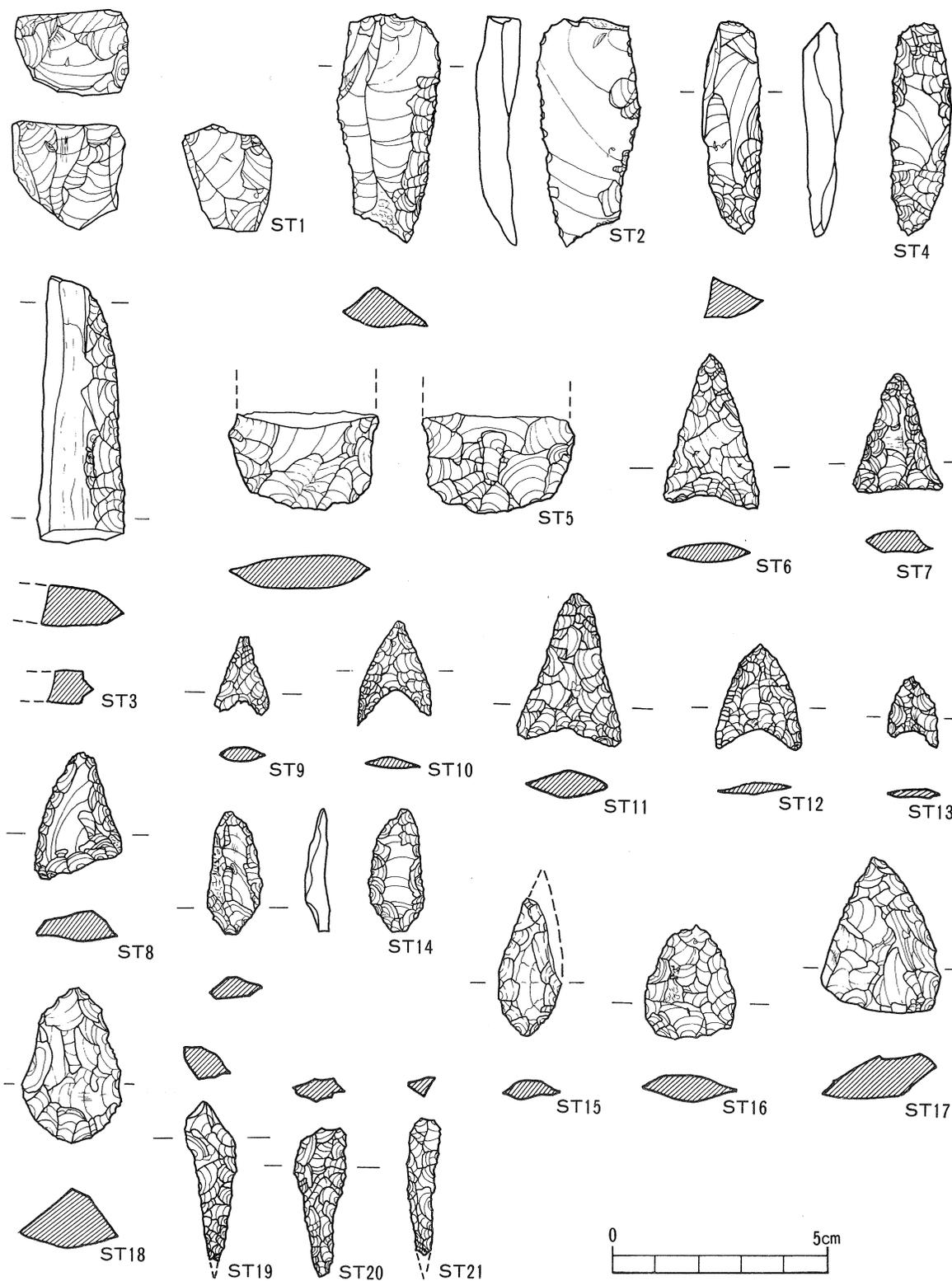
石器は主に第4層から出土したが、そのうち102点を図示した。これらは縄文系の石器、弥生系の石器ともに出土しているが、出土した層はいずれも縄文土器から土師器まで混在するため、所属年代を知ることは困難である。なお石材については時間的な制約から鑑定を依頼できなかった。

石核 (第100図 ST 1 図版120) 細石刃様の剥片を剥離した黒曜石製の石核で、同一方向から剥離が行われた面が一面ある。これは、一定の剥片剥離技術によったものと考えられ、層位的な裏付けはないが、細石刃核の可能性はある。

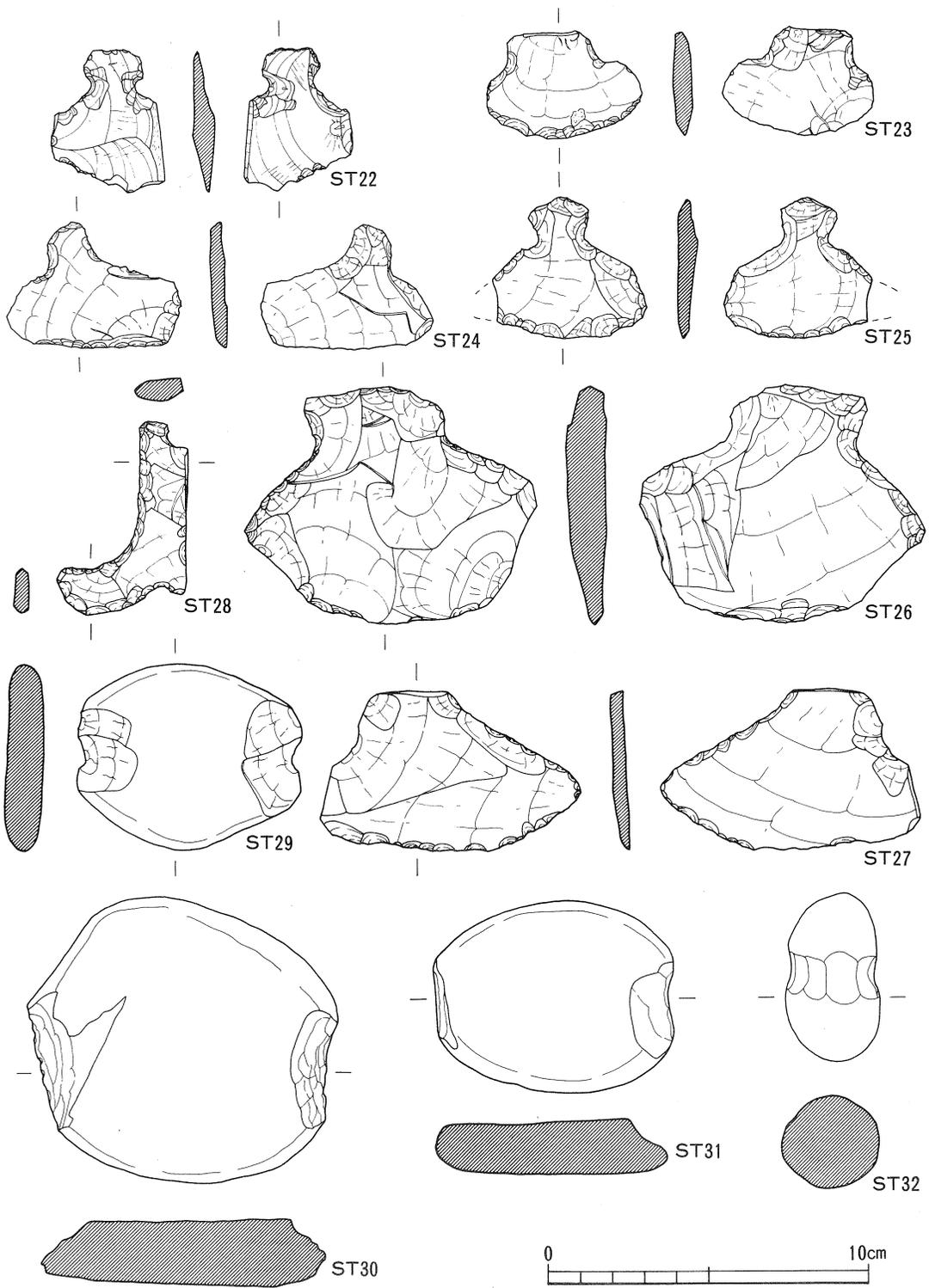
縦長剥片 (第100図 ST 2 図版120) 長さ5.2cm、幅2.3cmを測る黒曜石製の縦長剥片である。腹面、背面とも同一方向の剥離面がみられ、背面の側縁にはていねいな二次加工が施される。また側縁には刃こぼれ様の小さな剥離がみられる。これも一定の剥片剥離技術によったものと考えられ、石刃の可能性はある。なお、上下端には自然面が残っている。

尖頭器状石器 (第100図 ST 3～5 図版120) 尖頭器状の刺突具と思われるものを一括した。完形はST 4のみでST 3は側縁、ST 5は基部片と思われる。いずれも刃部、先端部はていねいに調整されるものの、大きな剥離面を中央に残す。ST 4の先端には使用によると思われる摩滅がみられる。ST 4, 5は黒曜石製である。

石鏃 (第100図 ST 6～18 図版120) 石鏃は器種のはっきりした石器中最も多いが、図示したのは13点



第100図 石器(1) 細石核・剥片・刃器・尖頭状石器・石錘 7:10



第101図 石器(2) 石匙・異形石器・石錘 1:2

である。凹基式 (ST6・9~13), 平基式 (ST7・8・16~18), 有茎式 (ST14・15) のいずれもあるが、凹基式が最も多い。ST16~18はやや大型で厚みのある石鏃で、16以外は雑な剥離である。調整は簡単なものが多く、ほとんどが一面の中央に大きな剥離面を残す。ST9, 12, 16は両面ともていねいに調整するものである。ST14は両面とも同一方向の大きな剥離面が残り、九州地方の剥片鏃に似るが、本例1点のみの出土のため石鏃製作に一定の製作技術があったかは不明である。石材はST15以外は黒曜石である。

石錐 (第100図 ST19~21 図版120) 黒曜石製が3点出土した。いずれも先端部をていねいに調整されるが、基部の調整は粗い。

石匙 (第101図 ST22~27 図版119) すべて横型の石匙であるが整った形のものはない。いずれもつまみ部周辺が比較的ていねいに調整されるが、刃部その他はほとんど調整されていない。黒曜石製はST22のみである。

異形石器 (第101図 ST28 図版119) 鉤形を呈し背部に幅広のつまみ状の突起をつける。突起部の側縁のみは自然面が残るが、その他の縁辺はていねいに二次調整が施される。

石錘 (第101図 ST29~第102図 ST33 図版119・121) ST32以外は自然礫の両端を打ち欠いただけのものである。7~8cm前後のものが多いが、ST33のように15cmを超えるものもある。ST32は卵形にていねいに整形したもので、中央部を凹ませた磨製の石錘である。

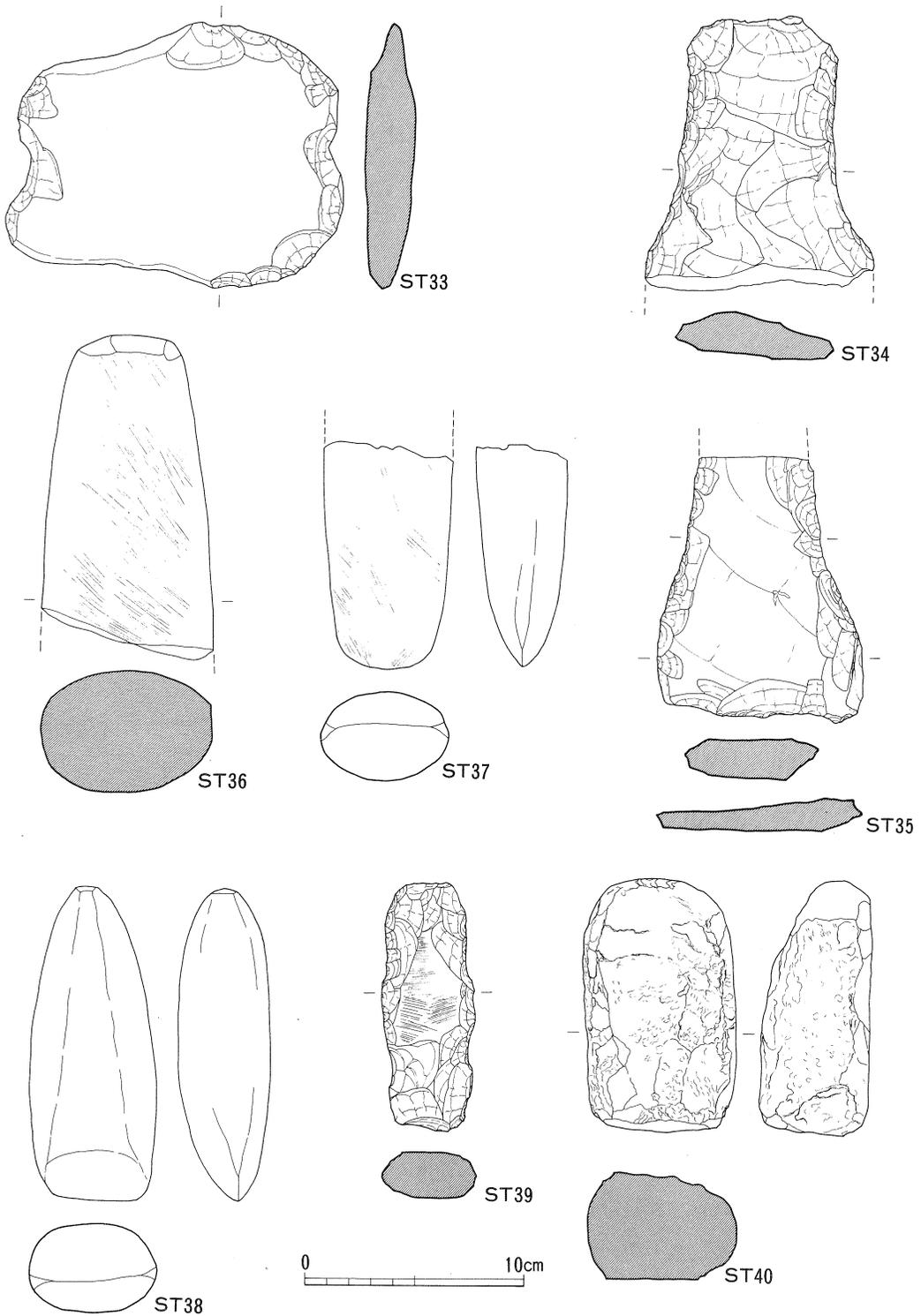
打製石斧 (第102図 ST34・35 図版121) 大型で偏平な、いわゆる石鏃が2点出土している。ともに大きな剥片の側縁、刃部がていねいに調整されている。

大型蛤刃石斧 (第102図 ST36~38 図版121) 小片は多く出土したが、完形はST38のみであった。ST37・38が一般的な大きさだが、ST36は幅7.7cm, 厚さ5.5cm, 現存長14.9cmを測る大型品である。全面ていねいに研磨されるが、基部上面は若干磨く程度である。またST37の刃部には刃こぼれ様の使用痕が観察できる。

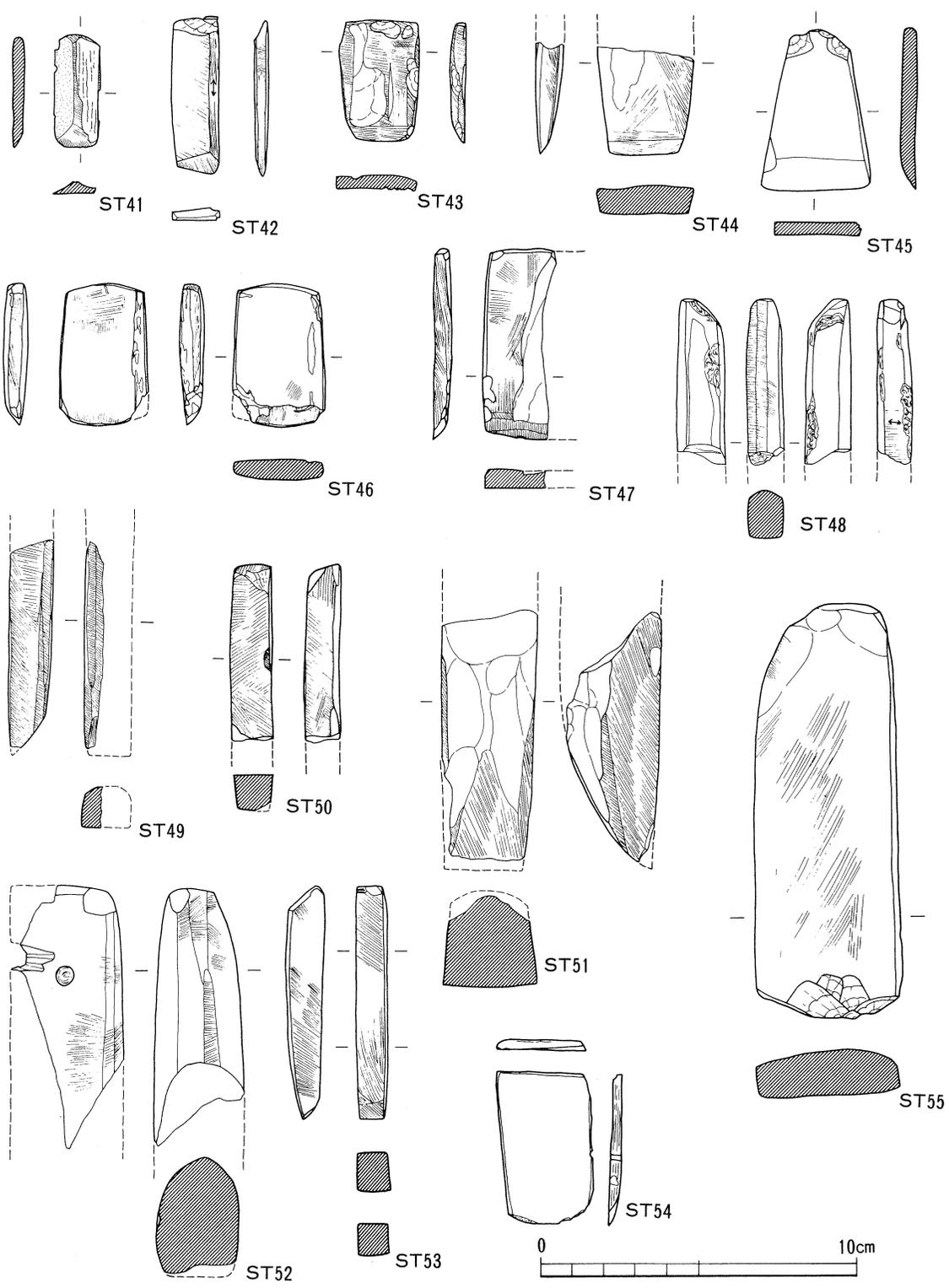
石斧未成品 (第102図 ST39 図版121) 縁辺に二次加工が施されるが刃部は作られていない。中央部に研磨痕が観察できるものの、他は粗い剥離がみられるだけであることから、石斧未成品と判断した。

叩石 (第102図 ST40 図版121) 1点のみ図示したが、出土量が多い。ほとんどが円礫を利用したものであるが、図示したST40は下端を主に使用しており平坦となっている。

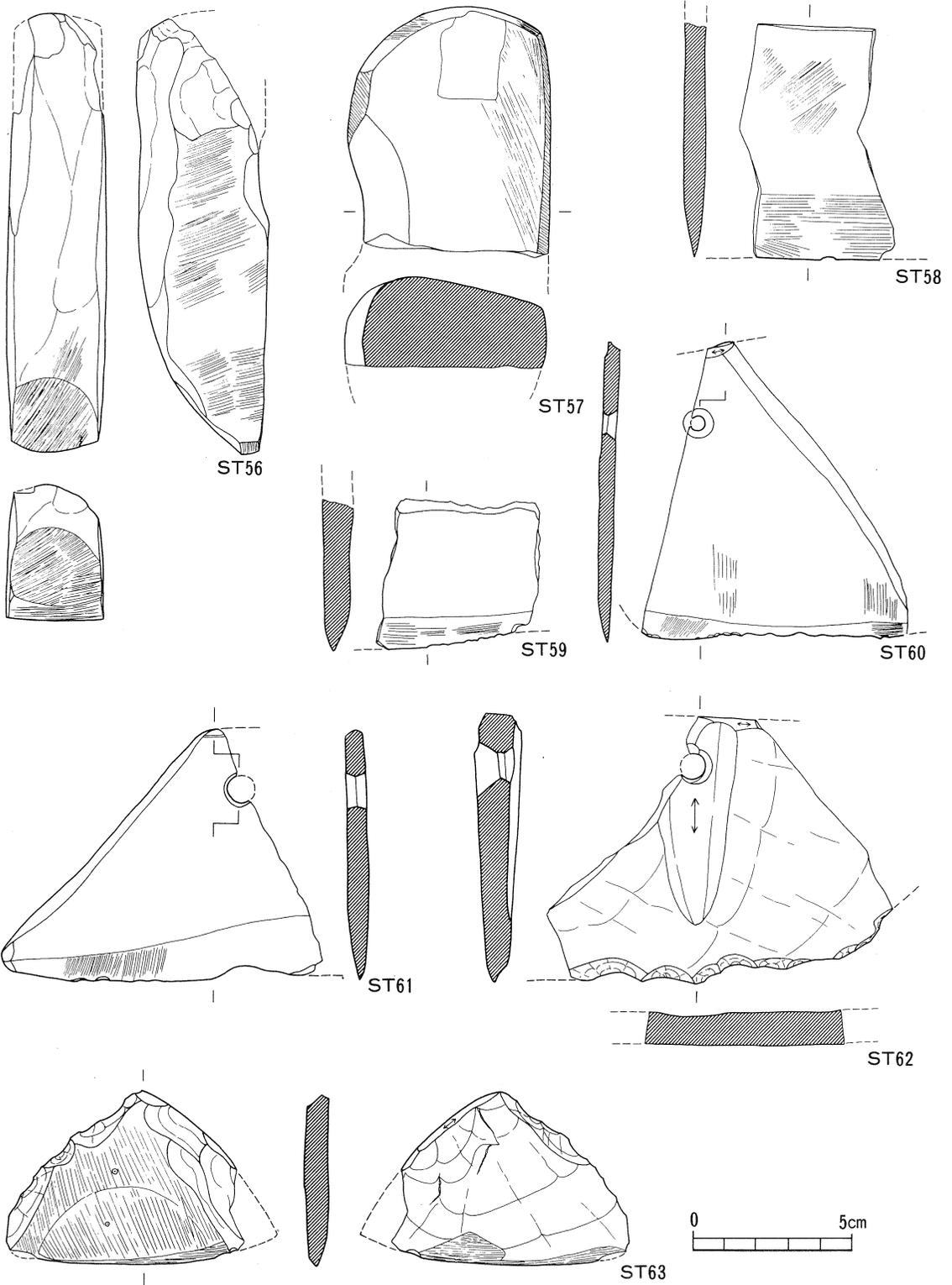
扁平片刃石斧 (第103図 ST41~47・54・55 図版121) 典型的なもの (ST43~47) と、小型で作りが粗雑なもの (ST41・42) とがあるが、全体にあまりていねいな調整は施されず部分的に剥離面が残るものが多い。特にST41は刃部、基部、腹面を研磨しただけの粗雑なものである。一部に擦切溝が残るものが4点あり (ST42・43・45・54), 扁平片刃石斧の制作に擦切技法が用いられる



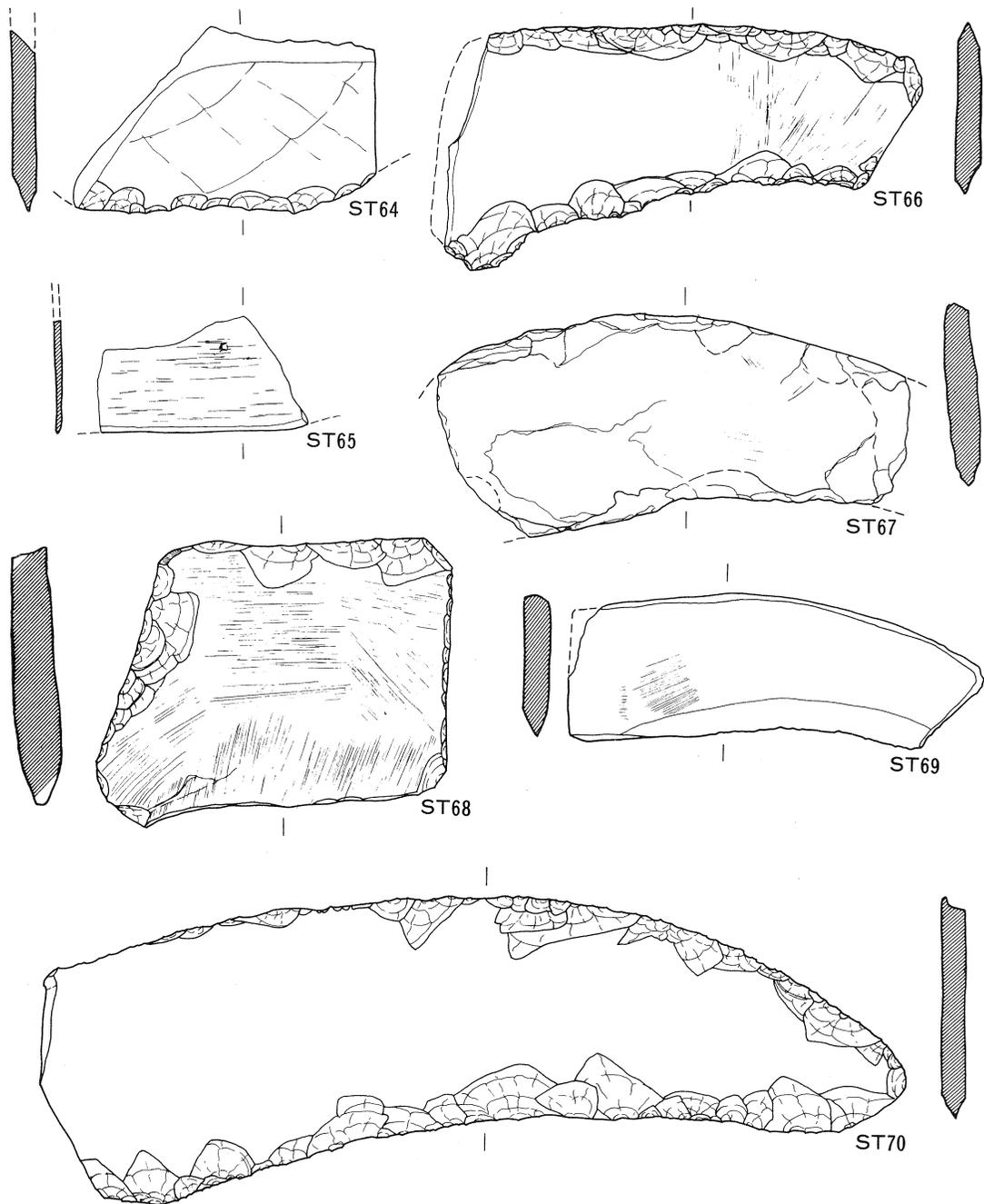
第102図 石器(3) 石錘・石斧 1:3



第103图 石器(4) 扁平片刃, 柱状片刃石斧 1:2



第104图 石器(5) 柱状片刃石斧·石包丁 1:2



0 10cm

第105図 石器(6) 石包丁・擦切用工具・石鎌 1:2

こともあることがわかる。ST55は扁平な板状のもので器種不明の石器であるが、全体の形状から扁平片刃石斧の未成品と判断した。またST54の一侧縁には半円形の小さな抉りが入れている。

柱状片刃石斧（第103図 ST48～53・第104図 56・57 図版121・122） 幅1.5cm前後のいわゆる石のみと呼ばれるもの（ST48～50・53）と抉り入りのもの（ST51・52・56・57）とがある。いずれも全面でいねいに研磨されている。抉り入り柱状片刃石斧のうち、ST52は2条の擦切溝によって抉りが入れている。ST56は刃部が研磨されているものの平坦面をなし刃となっていないことから未成品であろう。ST57は破片であるが、残存部から考えると柱状片刃石斧でも大型のものと考えられる。

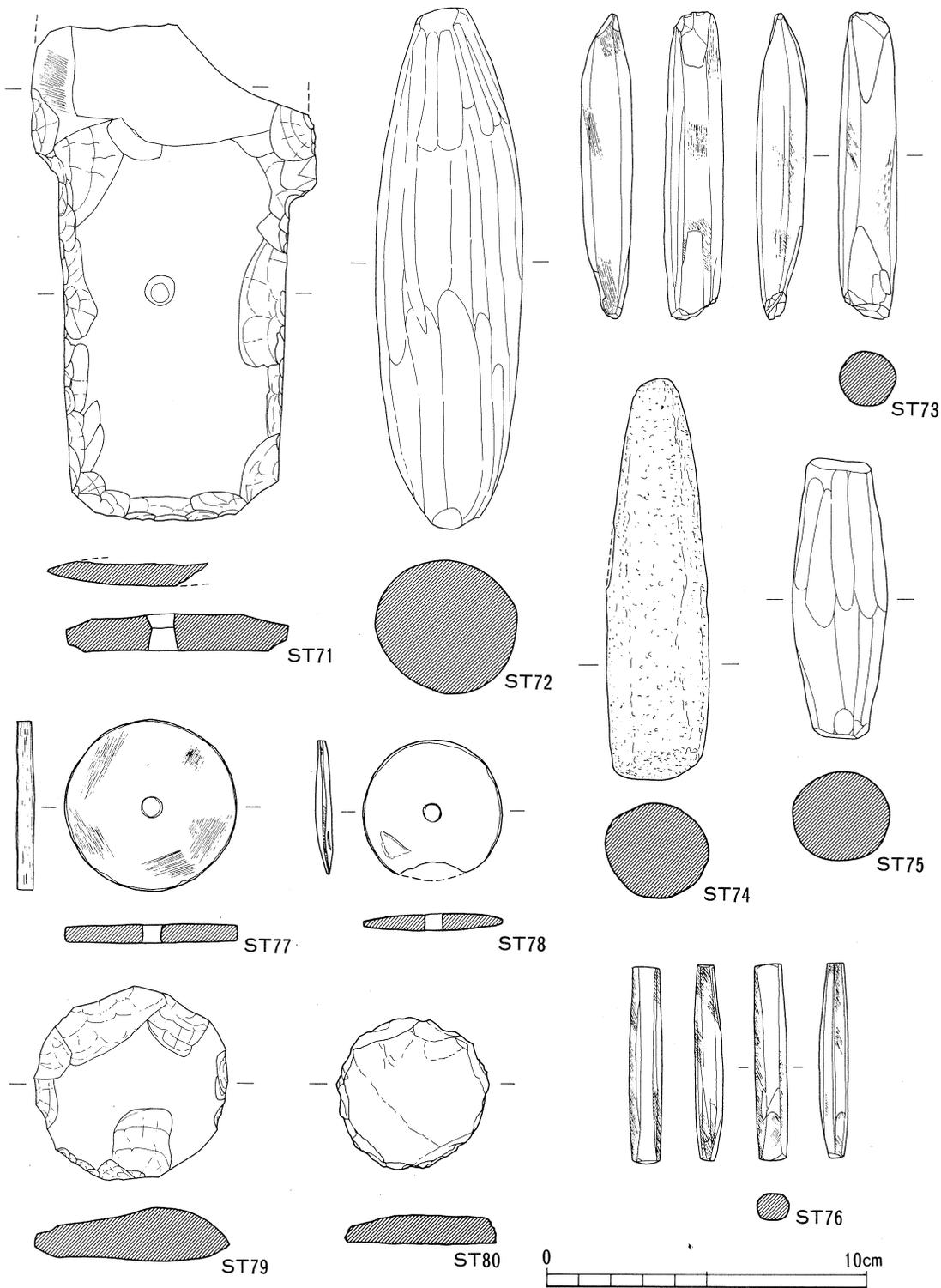
石包丁（第104図 ST58～64、第105図 ST68 図版122） すべて大型の石包丁である。ST62、64が打製石包丁であるほかは、すべて磨製である。研磨は刃部を中心に施されており、他の部分にはごく簡単に施されるものが多い。これらの石包丁にも一部に擦切溝がみられるものが多く（ST60～63）、石包丁製作にも擦切技法が使用されていたことがわかる。ST61・62の上部には大きな円孔が穿たれ、ST62はさらにその部分から刃部に直交する形で浅い溝を作っている。またST63には竹管文状の小円孔が2個穿たれているが貫通していない。ST68は完形で平面形方形を呈す。一侧縁に自然面が残る縁辺には剝離痕が残る。刃部端は未調整であるため未成品と思われる。ST59は硬質の石材であるが、他は軟質の石材である。

擦切用工具（第105図 ST65 図版122） 下端のみに研磨（または使用痕）が認められ、両面とも大きな剝離面を残す。一見石包丁に見えるが、非常にうすく石材も硬質の片岩を使用していることなど他の石包丁と大きく異なることから擦切用工具と判断した。刃部は横方向の研磨痕が観察できる。

石鎌（第105図 ST66・67・69・70 図版122） 磨製のもの（ST66・67・69）と打製のもの（ST70）とがある。磨製石鎌のうち研磨が全面に及ぶものはST69のみで他は刃部・背部が打製のままのものも多く半磨製というべきものである。ST66は基部を若干欠くがほぼ完形である。先端は尖らず直線的な形を呈するのは、剝片の形に起因するのであろうか。なおこの部分は若干研磨が施されている。ST70は全長25.5cmを測る大型の石鎌である。大きな剝片の背部、刃部に二次調整を施したものである。非常に簡単な作りで背部頂面には調整が施されず、また両面とも大きな剝離面を残す。

石剣状石器（第106図 ST71 図版122） 茎から関にかけて残存するが、剣身の大部分は欠損する。茎幅7.2cm、関幅9cmを測る大型品で、比較的いねいに整形されている。関部は比較的忠実に表現され、茎中央に径0.5cmの円孔が穿たれている。両面とも中央に大きな剝離面を残し縁辺を二次加工して整形されている。部分的に研磨痕がみられることから考えると、磨製石剣の未成品であろうか。

棒状石器（第106図 ST72～76 図版122） 太い紡錘形のもの（ST72・74・75）と細い円柱形のもの



第106図 石器(7) 石剣状石器・棒状石器・紡錘車・円板状石器 1:2

の (ST73・76) とがあり、それぞれ異なった器種と思われるが、適当な名称がなかったため一括して棒状石器とした。ST72・74は紡錘形を呈するもので、表面には調整痕と思われる幅0.5～1 cmの平坦面が観察できる。これは研磨によるものではなく表面を少しずつ削り取ったような痕跡である。ST73・76は長さ6～9 cm、径1～1.8 cmの細い円柱形を呈すもので、これらは全面に研磨痕が残る。

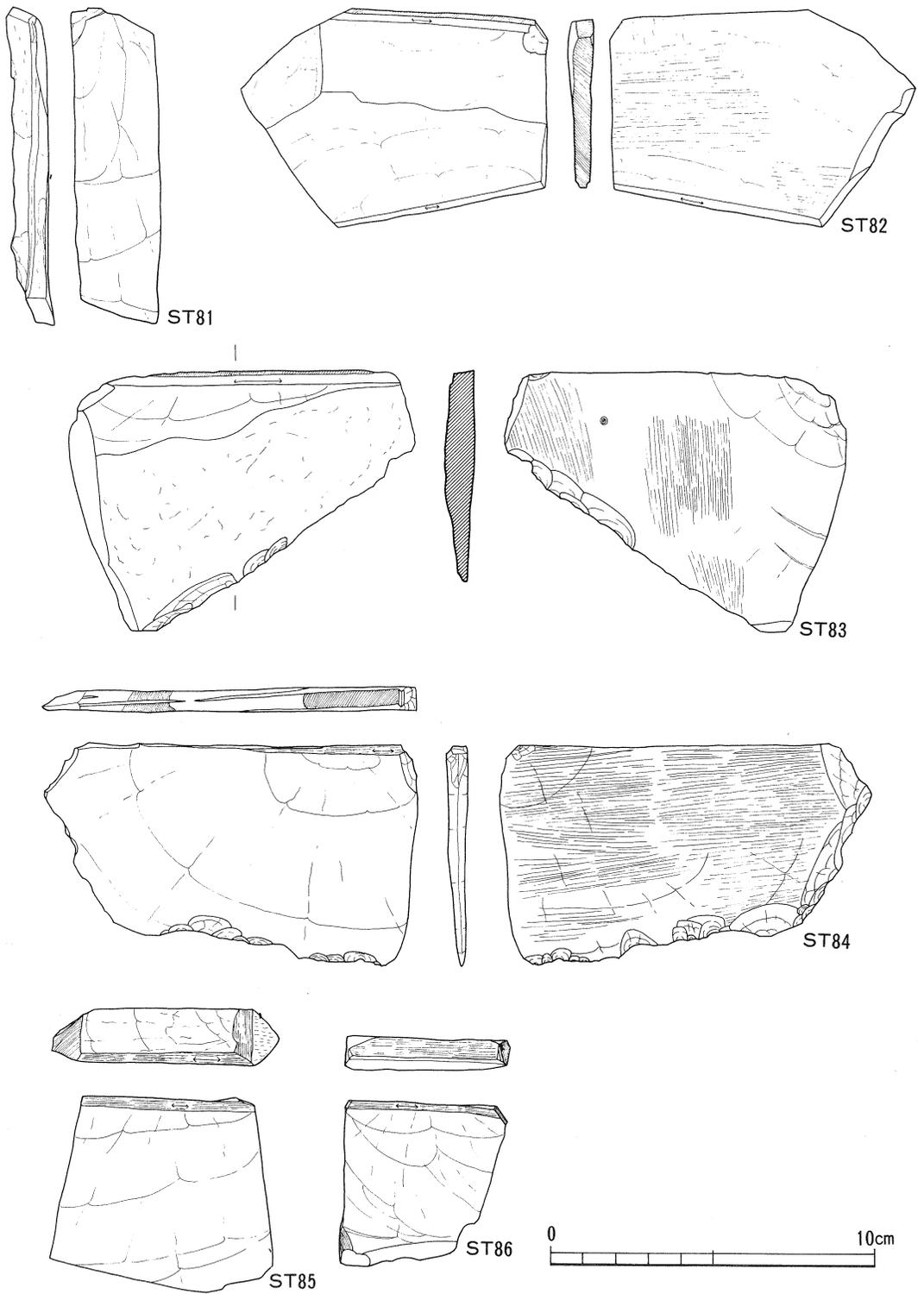
紡錘車 (第106図 ST77・78 図版123) ともにていねいに整形され、平面形はほぼ正円形に近い。ST77の厚さはほぼ均一であるが、ST78は凸レンズ状を呈す。ST77には全面に研磨痕が観察できる。

円板状石製品 (ST79・80) ST79は自然礫の周縁を打ち欠いて円形に整形したもので、両面とも中央に自然面が残る。ST80は剥片の周縁を打ち欠いて円形に整形したもので、紡錘車の未成品の可能性はある。

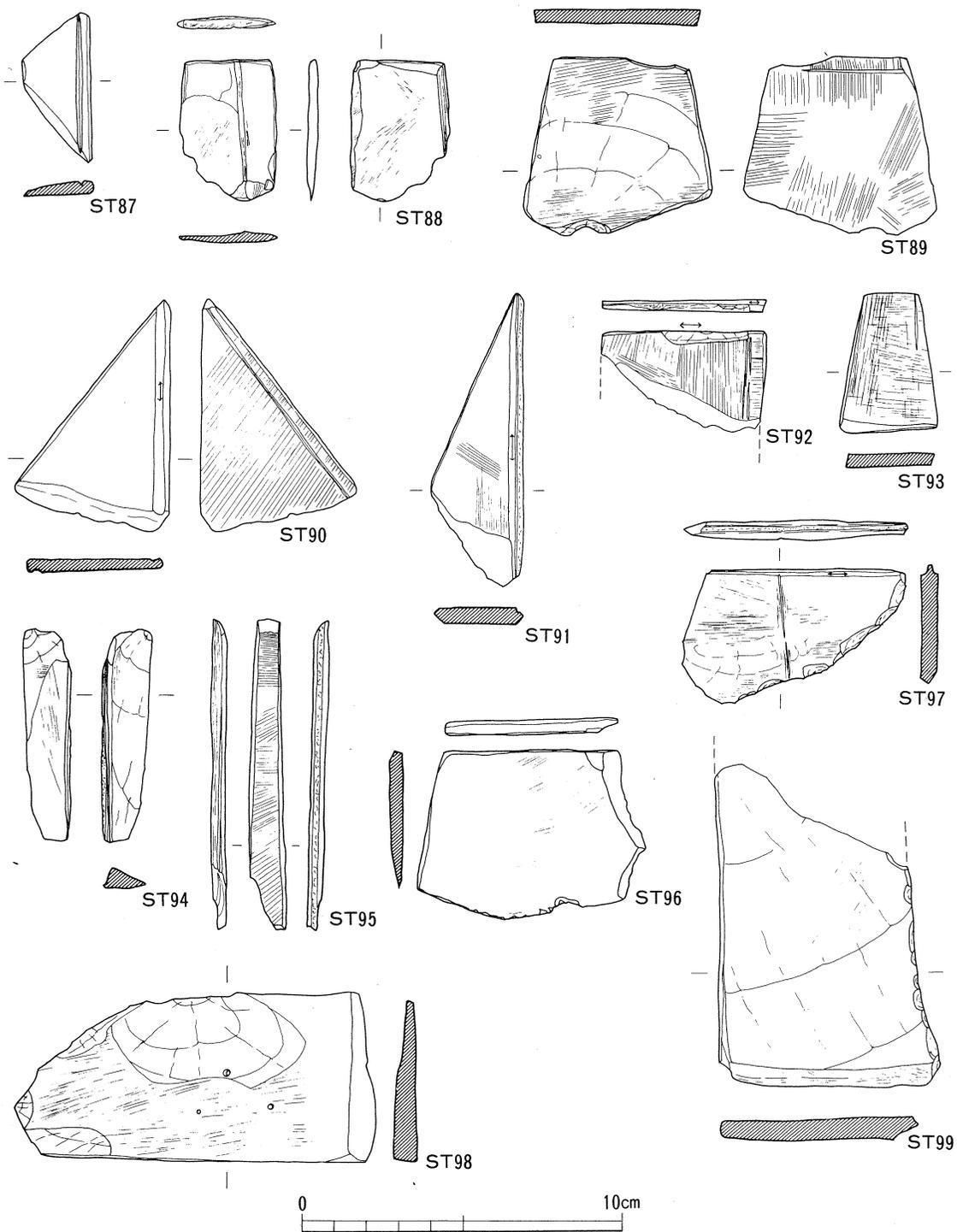
擦切未成品 (第107図 ST81～第108図 ST98 図版123) 側縁に施溝のある板状の石製品である。従来は管玉未成品として一括扱われていたが、扁平片刃石斧 (ST42～45) や石包丁 (ST60～63) の中でも擦切技法によって製作されたものがあり、施溝のある石製品のすべてが管玉未成品とは限らないと思われるため、擦切未成品とした。擦切未成品はかなりの量出土しているが、図示したのは18点である。この中にはST84のように刃器として使用できるものもあるが一応ここで扱う。

ST81～86は石核から取った直後の剥片である。擦切による溝が一から三側縁にみられるが、いずれも小口面に直交するよう施溝されている。このうち擦切溝のある小口面では同一面上に平行して2条の溝が施されるものはST82のみである。リング・フィッシャーを観察すると擦切溝の一つは必ず打点としているようであるが、ST81のように擦切溝の中央ではなく一端を打点にしているものも多い。これらの剥片はすべての擦切溝を打点としているのではなく、打撃に直接関係ない擦切溝がいくつか施されているようである。またST83・84・86の擦切溝のある面はていねいに研磨されるが、この研磨がどの時点で研磨されたかは不明である。なおST81・83・85・86の一表面または側縁には自然面が残っている。

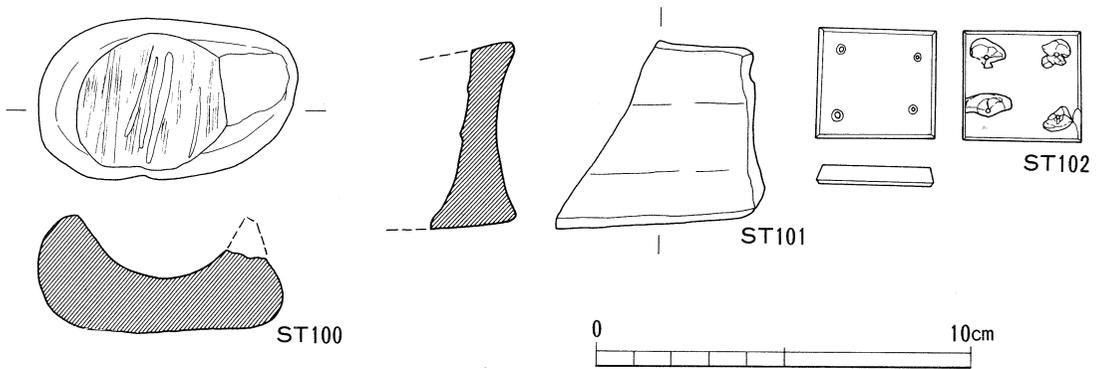
ST87～98は剥片に研磨を加えた段階のもので全面ていねいに研磨されるものが多い。いずれも厚さ0.5 cm前後のうすい板状を呈する。擦切溝は側縁のほか側縁に平行して表面に施されるもの (ST87～90・92・93・97) がある。側縁の擦切溝の部分には研磨が施され擦切の方向が不明なものが多いが、側縁が研磨されていないのを見ると擦切溝が小口面に直交するもの (ST95左側縁) と平行するものがある。ST95の擦切溝は左側縁が小口面に直交、右側縁が小口面に平行しており、擦切り技法の実態を窺わせる資料である。即ち、左側縁の溝は石核から剥片を取るためのもので、右側縁の溝は剥片をさらに分割するためにつけられた溝と考えられる。後者の擦切溝のある剥片は表面がていねいに研磨され、石核から剥片を取った段階で研磨が施されていることがわかる。



第107図 石器(8) 擦切り未成品 1:2



第108図 石器(9) 擦切り未成品 1:2



第109図 石器(10) 砥石・石帯 1:2

この擦切溝は両面から施されるものが多い。従来はこの剥片をさらに分割するために打割したと考えられていたが、本遺跡出土資料を見る限りでは打痕らしき痕跡は認められないことから、折るようにして分割したと考えたい。

本遺跡出土の擦切未成品をみると剥片剥離の際、打点の方向が一定ではないものが多い。これは石核からの剥片剥離があまり規則的に行われなかったことを窺わせる。一つの小口面に直交する擦切溝が1条しかみられないものが多いことも、このことに起因するかもしれない。打面を同一とするなら平行する2条の擦切溝が存在するはずであるからである。また剥離の順を追っていくと剥片を打割するのに不要な擦切溝が認められる(ST86左下)。これらの溝の機能は不明であるが、一定の厚さの剥片を取るため石核を一周するよう施溝したとは考えられないであろうか。

擦切技法については松江市布田遺跡^{註1}で解明されているが、本遺跡でのあり方と細部で違いがある。これが玉生産と石器生産の違いか、遺跡間の違いであるのか検討すべき問題であろう。

砥石(第109図 ST100・101 図版123) ともに自然石を利用したものである。ST101は3面使用されているが特に上面はよく使われレンズ状に凹む。ST100は円盤の一面が使用され半円形に大きく凹んでいる。深い擦痕が観察できるが、通常の砥石の砥痕とは大きく違う。砥ぐ対象物は不明である。

石帯(第109図 ST102 図版123) ほぼ正方形を呈するものである。下辺は2.9×3.2cm, 上辺は2.7×2.9cmを測り断面形は台形である。表面は非常にいねいに研磨され黒光りするが、裏面はあまり調整されていない。孔は表面から穿たれており、裏面の剥離痕は未調整である。石帯は一般の遺跡からはあまり出土しない遺物であるが、昭和52年度調査で出土した「驛」の墨書土器、今回出土した円面硯との関係が注目される。

註1 島根県教育委員会「布田遺跡」『国道9号線バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書』Ⅳ
1983

石 器 一 覧 表

| 器 種 | 挿図番号 | 図 版 ページ | 出土地点 | 層 位 | 法 量 (cm) 長×幅×厚 | 形 態 の 特 徴 | 手 法 の 特 徴 | 備 考 |
|-------|------|------------|--------------|-------------|---------------------|-----------|------------------------|--------|
| 細石核? | ST1 | 120 | N11E4 | 4 | 2.5×2.6×1.9 | | 上面不整の剥離 | |
| 縦長剥片 | ST2 | 120 | N13E5 | | 5.2×2.3×0.9 | | 腹面、背面とも同一方向の剥離 | |
| 尖頭器状石 | ST3 | 120 | | | 6.1×2.0×0.9 | | 刃部でいねいな剥離 | |
| 尖頭器状石 | ST4 | 120 | N11E4 | 4 | 4.9×1.4×1.0 | | 下部でいねいな剥離 | 下端使用痕? |
| 尖頭器状石 | ST5 | 120 | N16E8 | 5-1 | 2.3×3.5×0.8 | | 中央に大きな剥離面 | 尖頭器基部? |
| 石 鏃 | ST6 | 120 | N16E8 | 6 | 3.6×2.3×0.5 | | 両面でいねいな剥離 | |
| 石 鏃 | ST7 | 120 | N26E7 | 5-1 | 2.7×2.1×0.5 | 平基式 | 中央に大きな剥離面 | |
| 石 鏃 | ST8 | 120 | N18E8 | 6 | 2.9×2.0×0.7 | 平基式 | 中央に大きな剥離面 | |
| 石 鏃 | ST9 | 120 | N12E7 | 第2河道 堆積土 | 1.9×1.3×0.3 | 凹基式 | でいねいな剥離 | |
| 石 鏃 | ST10 | 120 | N11E4 | 4 | 2.4×1.7×0.2 | | でいねいな剥離 | |
| 石 鏃 | ST11 | 120 | N16E7 | 4 | 3.5×2.5×0.6 | 凹基式 | でいねいな剥離 | |
| 石 鏃 | ST12 | 120 | E4 N12E3 | 4 | 2.5×2.0×0.2 | 凹基式 | でいねいな剥離 | |
| 石 鏃 | ST13 | 120 | N11E7 | 4 | 1.7×1.1×0.2 | 凹基式 | 裏に大きな剥離面 | |
| 石 鏃 | ST14 | 120 | N12E4 | 4 | 2.8×1.3×0.5 | 有茎 | 背腹両面とも同一方向の剥離面 | |
| 石 鏃 | ST15 | 120 | N21E5 | 6 | 3.2×1.4×0.4 | 有茎 | | |
| 石 鏃 | ST16 | 120 | N15E7 | 4 | 2.6×2.2×0.6 | 平基式 | でいねいな剥離 | |
| 石 鏃 | ST17 | 120 | N17E8 | 第2河道 堆積土 | 3.6×2.7×1.0 | 平基式 | 裏面中央に大きな剥離面、基部二次加工なし | |
| 石 鏃 | ST18 | 120 | | 4 | 3.6×2.3×1.3 | 有茎 | 裏面中央に大きな剥離面、階段状の剥離、つぶれ | |
| 石 鏃 | ST19 | 120 | N16E7 | 4 | 3.6×1.2× 0.3~0.7 | | でいねいな剥離 | |
| 石 鏃 | ST20 | 120 | | | 3.4×1.2× 0.4~0.5 | | 頭部階段状剥離 | 下端使用痕? |
| 石 鏃 | ST21 | 120 | N16~17 E8 | 4 | 3.1×0.7× 0.3~0.5 | 断面形三角形 | でいねいな剥離 | |
| 石 匙 | ST22 | 119 | N13E5 | 4 | 4.4×2.5×0.7 | | つまみ部以外は二次加工なし | |
| 石 匙 | ST23 | 119 | N20E5 | | 4.8×3.3×0.6 | | 刃部つまみのみ二次加工 | |
| 石 匙 | ST24 | 119 | N16E7 | 4 | 3.9×5.5×0.5 | | つまみ、刃部のみ二次加工 | |
| 石 匙 | ST25 | 119 | | 第2河道 堆積土 | 4.4×4.6×0.6 | | 縁辺部のみ二次加工 | |

| 器種 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) 長×幅×厚 | 形態の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|--------|------|-------|-------------|-------------|-----------------|----------|--------------------|----------|
| 石匙 | ST26 | 119 | N16E8 | 5-1 | 7.3×9.1×1.2 | | 主要剝離面残る | |
| 石匙 | ST27 | 119 | N13E5 | 4 | 4.9×8.3×0.4 | | 縁辺部のみ二次加工 | 一部自然面残る |
| 異形石器 | ST28 | 119 | N17E7 | 第2河道 堆積土 | 6.0×4.1×0.6 | 縦断面翼状剥片形 | 刃部でいねいに加工 | 一部自然面 |
| 石錘 | ST29 | 119 | N22E5 | 4 | 5.7×7.1×1.3 | | | |
| 石錘 | ST30 | 119 | | | 8.8×9.0×2.1 | | 自然礫の両端を打欠く | 松江市保管 |
| 石錘 | ST31 | | | | 7.2×5.9×1.7 | | 自然礫の両端を打欠く | 松江市保管 |
| 石錘 | ST32 | 119 | | | 5.2×3.1×2.8 | 中央にくびれ | 磨製(ていねいな整形) | 松江市保管 |
| 石錘 | ST33 | 121 | N16E8 | 6 | 12.0×15.2×2.2 | | | |
| 石斧 | ST34 | 121 | N11E8 | 6 | 12.2×10.4×1.9 | | 打製 | |
| 石斧 | ST35 | 121 | N13E5 | 4 | 11.9×9.3×1.9 | | 両面に大きな剝離面 | |
| 石斧 | ST36 | 121 | N13E5 | 4 | 14.9×7.7×5.5 | | ていねいな研磨 | |
| 蛤刃石斧 | ST37 | 121 | N16E8 | 第2河道 堆積土 | 10.0×5.9×4.0 | | ていねいな研磨 | |
| 蛤刃石斧 | ST38 | 121 | N17E9 | 6 | 14.4×5.8×5.0 | | | 風化著しい |
| 石斧? | ST39 | 121 | N11E9 | 6 | 11.3×4.3×2.1 | | 縁辺二次加工, 一部研磨 | 磨製石斧未成品? |
| 叩き石? | ST40 | | | | 11.5×6.7×4.9 | | 下部に磨痕, 叩き痕 | 松江市保管 |
| 扁平片刃石斧 | ST41 | 121 | | | 3.6×1.4×0.4 | 非常に薄い | 自然面, 主要離面残る | |
| 扁平片刃石斧 | ST42 | 121 | N19E8 | 4 | 4.9×2.6×0.4 | 非常に薄い | 擦切溝あり | |
| 扁平片刃石斧 | ST43 | 121 | Eライン N16 | 4 | 2.8×2.6×0.5 | | 擦切溝あり, 裏面に粗いフィッシャー | |
| 扁平片刃石斧 | ST44 | 121 | N11E4 | 4 | 3.4×3.1×0.9 | | ていねいな研磨 | |
| 扁平片刃石斧 | ST45 | 121 | N11E4 | 4 | 5.1×3.5×0.4 | 平面形台形 | 擦切溝あり | |
| 扁平片刃石斧 | ST46 | 121 | N12E7 | 4 | 4.5×2.9×0.5 | | | |
| 扁平片刃石斧 | ST47 | 121 | N16E7 | | 6.0×2.4×0.6 | | ていねいな研磨 | |
| 柱状片刃石斧 | ST48 | 121 | | | 5.2×1.5×1.1 | | 全面でいねいに研磨 | 松江市保管 |
| 柱状片刃石斧 | ST49 | 121 | N10E7 | 4 | 6.5×1.3×1.4 | | ていねいに研磨 | |
| 柱状片刃石斧 | ST50 | 121 | N17E9 | 6 | 5.6×1.3×1.2 | | ていねいに研磨 | |
| 柱状片刃石斧 | ST51 | 121 | N14E6 | 4 | 7.9×3.1×3.3 | | ていねいに研磨 | |

| 器種 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) 長×幅×厚 | 形態の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|-----------|------|-------|-------|---------|-----------------|---------------|--------------------|-----------|
| 挟入柱状片刃石斧 | ST52 | 121 | N21E6 | 4 | 8.4×2.9×3.7 | | 挟部擦切による | |
| 柱状片刃石斧 | ST53 | 121 | N11E7 | 4 | 7.4×1.0×1.3 | | ていねいな研磨 | |
| 扁平片刃石斧? | ST54 | 121 | | | 6.7×4.2×0.3 | 一側縁に刻目状の小さな抉り | 全面でていねいに研磨。一側縁に擦切溝 | 松江市保管 |
| 扁平片刃石斧? | ST55 | 121 | N12E7 | | 14.2×4.5×1.4 | | ていねいな研磨。下端に剝離痕 | 未成品? |
| 挟入柱状片刃石斧 | ST56 | 122 | N14E6 | 4 | 14.1×3.1×4.4 | 刃部平坦 | 腹部の研磨雑 | 未成品 |
| 挟入柱状片刃石斧? | ST57 | 122 | N25E7 | 第2河道堆積土 | 7.9×6.5×2.8 | 幅広 | ていねいな研磨 | |
| 石包丁 | ST58 | 122 | N13E5 | 4 | 7.4×4.5×0.7 | | 刃部でていねいな研磨 | |
| 石包丁 | ST59 | 122 | N17E8 | 4 | 4.8×5.2×1.0 | | 刃部以外は雑な研磨 | |
| 石包丁 | ST60 | 122 | N15E7 | 4 | 9.4×8.4×0.6 | | 擦切溝。折割面未調整 | |
| 石包丁 | ST61 | 122 | N14E6 | 4 | 8.0×10.3×0.7 | | | |
| 石包丁 | ST62 | 122 | N17E8 | 4 | 8.5×10.0×1.5 | 孔部に溝 | | 打製、刃部二次加工 |
| 石包丁 | ST63 | 122 | N16E7 | 8 | 5.5×6.7×0.8 | | 擦切溝。刃部主に研磨 | 小円孔2あり |
| 石包丁 | ST64 | 122 | N15E7 | 4 | 5.5×9.0×0.7 | | 打製。刃部のみ二次加工 | |
| 擦切用具? | ST65 | 122 | N10E7 | 4 | 3.4×6.3×0.2 | 非常にうすい | 刃部のみ研磨(使用痕?) | |
| 石鎌 | ST66 | 122 | N21E5 | 5 | 4.5×14.1×0.8 | | 刃部背部二次加工, 表面研磨 | |
| 石鎌 | ST67 | | | | 13.5×5.7×0.9 | | 磨製(研磨雑) | 松江市保管 |
| 石包丁? | ST68 | 122 | N21 | 4 | 8.9×10.8×1.3 | | 研磨 | |
| 石鎌 | ST69 | 122 | N16E7 | 5-1 | 4.0×12.2×0.8 | | 磨製 | |
| 石鎌 | ST70 | 122 | N25E7 | 8 | 7.8×25.3×0.7 | | 刃部、背部を二次加工。打製 | |
| 石剣 | ST71 | 122 | | | 15.4×9.0×1.2 | 関を表現、中央に円孔 | 周辺に小さな剝離, 部分的に研磨 | 松江市保管 |
| 棒状石器 | ST72 | 122 | N11E7 | 4 | 16.3×4.5×4.2 | | 全面に調整による平坦面 | |
| 棒状石器 | ST73 | 122 | N18E8 | 4 | 9.6×1.8×1.7 | | 研磨 | |
| 棒状石器 | ST74 | 122 | | | 12.5×3.2×2.9 | | 全面に加工痕 | 松江市保管 |
| 棒状石器 | ST75 | 122 | N11E4 | 4 | 8.7×3.1×2.7 | | | 調整による平坦面 |
| 棒状石器 | ST76 | 122 | N18E9 | 5 | 6.1×1.0×0.9 | | 研磨 | |
| 紡錘車 | ST77 | 123 | N17E9 | 6 | 5.3×5.4×0.6 | | ていねいな研磨 | |

| 器種 | 挿図番号 | 図版ページ | 出土地点 | 層位 | 法量(cm) 長×幅×厚 | 形態の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|---------------|-------|-------|--------------|-------------|-----------------|---------|----------------------|-------------------|
| 紡錘車 | ST78 | 123 | N13E5 | 4 | 4.2×4.3×0.5 | | 研磨 | |
| 円板状 石製品 | ST79 | 123 | N16E8 | 6 | 6.0×6.1×1.7 | | 自然石の縁辺を打欠く | |
| 円板状 石製品 | ST80 | 123 | | | 4.5×4.5×0.8 | | 周辺を打欠き円形に整形 | 有孔円板未成品? 松江市保管 |
| 擦未 成切 品 | ST81 | 123 | N26E7 | | 2.7×10.0×1.1 | | 施溝後打割 | |
| 擦未 成切 品 | ST82 | 123 | | | 6.8×9.4×0.5 | | 一面研磨, 擦切溝研磨 | 松江市保管 |
| 擦未 成切 品 | ST83 | 123 | N12E5 | 4 | 7.9×10.6×1.0 | | 擦切溝, 上縁研磨 | 大きな自然面残る |
| 擦未 成切 品 | ST84 | 123 | N17E8 | 4 | 6.7×11.8×0.7 | | 擦切溝, 一面研磨, 上縁研磨 | |
| 擦未 成切 品 | ST85 | 123 | N13E5 | | 6.0×7.1×1.7 | | 3辺に擦切り溝 | |
| 擦未 成切 品 | ST86 | 123 | N26E7 | 4-1 | 5.2×5.1×1.0 | | 3辺に擦切り溝, 上 縁研磨 | 裏は自然面 |
| 擦未 成切 品 | ST87 | 123 | N17E7 | | 4.6×2.2×0.4 | , | 擦切溝3, 全面研磨 | |
| 擦未 成切 品 | ST88 | 123 | N12E4 | 4 | 4.9×3.0×0.4 | | 擦切溝3, 全面研磨 | |
| 擦未 成切 品 | ST89 | 123 | N12E7 | 4 | 5.5×6.0×0.5 | | 浅い擦切溝, 両面研 磨 | 浅い円孔 |
| 擦未 成切 品 | ST90 | 123 | N16E8 | 5-1 | 7.2×4.9×0.4 | | 全面研磨, 折断面研 磨 | |
| 擦未 成切 品 | ST91 | 123 | N20E5 | 4 | 9.0×2.9×0.5 | | 側縁に擦切溝, 折割 面未調整 | |
| 擦未 成切 品 | ST92 | | N16~17 E8 | 4 | 5.2×3.1×0.4 | | 側縁に擦切溝, 折割 面未調整 | |
| 擦石 製切 品 | ST93 | 123 | N10E6 | 4 | 4.3×3.1×0.4 | | 全面研磨 | |
| 擦石 製切 品 | ST94 | 123 | N12 E3~4 | | 6.6×1.6×0.6 | | 擦切溝2, 折断面未 調整 | |
| 擦石 製切 品 | ST95 | 123 | | | 9.6×1.1×0.3 | | 3辺に擦切溝, 折割 面未調整 | |
| 擦石 製切 品 | ST96 | | | | 7.3×10.2×0.4 | | 一側縁に擦切り溝, 両面研磨 | 松江市保管 |
| 擦石 製切 品 | ST97 | 123 | N12E7 | 第2河道 堆積土 | 4.2×7.0×0.5 | | 2辺と中央に擦切溝, 折断面未調整 | |
| 擦石 製切 品 | ST98 | 123 | N15E6 | 4 | 5.2×11.4×0.7 | | 表面・下縁研磨 | |
| | ST99 | 123 | N11E4 | 4 | 10.0×7.0×0.7 | | 2側縁をていねいに 研磨 | |
| 砥石? | ST100 | 123 | N15E7 | 6 | 6.9×4.2×3.0 | 砥面深く挟れる | 粗い擦痕 | |
| 砥石? | ST101 | | N26E8 | 第2河道 堆積土 | 5.5×5.0×3.2 | | | 砥面3面 |
| 石帯 | ST102 | 123 | N17E7 | 第2河道 堆積土 | 3.2×2.9×0.5 | 断面形台形 | 外面でていねいな研磨 | |

9. 木 製 品

遺跡が湿潤な地帯に位置しているため、有機質の保存には適していたとみえて夥しい量の木製品が出土した。これらは装身具・農耕具・飲食具・工具・建築部材等多岐にわたるものであった。

しかし全般的に破損したものが多く、破損を免れたものも摩滅が著しい状況であった。

以下性格の判明しているものから順次概要を示すことにする。

漆塗櫛（第110～第114図 図版124・125）

漆塗櫛は小片も含めると20点を越える。これらの櫛は製作方法から大きく4種に分けることができる。

その1類はW1～W14・W17に見られるように爪楊枝よりやや太い歯を並べ、その上方を横方向に結束するもので、結束した部分を錆漆で固めた後、赤色漆を塗布している。

この類で最も残存状態の良好なものはW6である。これは径0.3cm、長さ10cmを測る歯を14本並べて結束し、横6cm、縦4.5cmを測る逆台形の身をつくっている。W2は身が縦5.5cm、W5は6.4cm、W9が5.8cm、W12が6.4cm、W13が6.5cm、W14が5.6cmを測る。歯の本数はW6が14本、W13が17本、W14が18本となっており、これらは縦が5.5cm～6.5cm、歯の本数は14～18本と若干の違いはあるものの、同様な構造を示すものである。

2類としたものはW15にみられるように、歯の上半分を結束する点では1類と同様であるが、その位置が身の上端・中央・下段に限定されること、透し孔をもつことが注意される。歯の断面も隅丸方形か、円形に近いものとなっている。

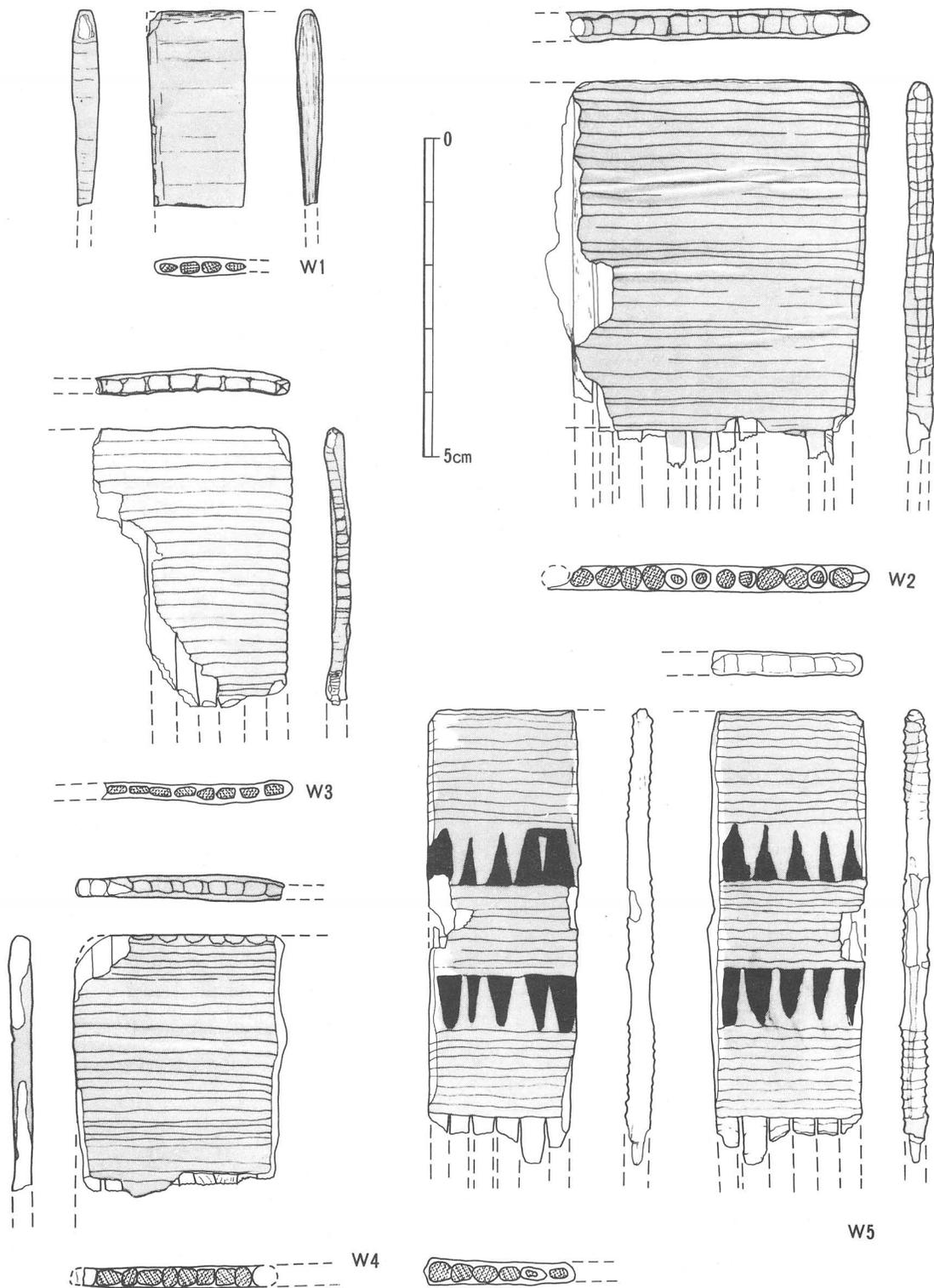
3類はW16にみられるように、上辺が「U」字形を呈するものである。上端部の破面には繊維を巻きあげた痕跡が認められる。このことから両端の歯は身の上端までのびており、上辺の構成材とともに結束されたものと推定される。

4類はW18にみられるように幅0.3cmを測る薄い竹材を10枚ほど重ね、それを「U」字形に曲げて結束し、寄せ合わされた竹の両端が歯を形成するもので、黒色漆が塗布されている。これは古墳時代の通有のものである。

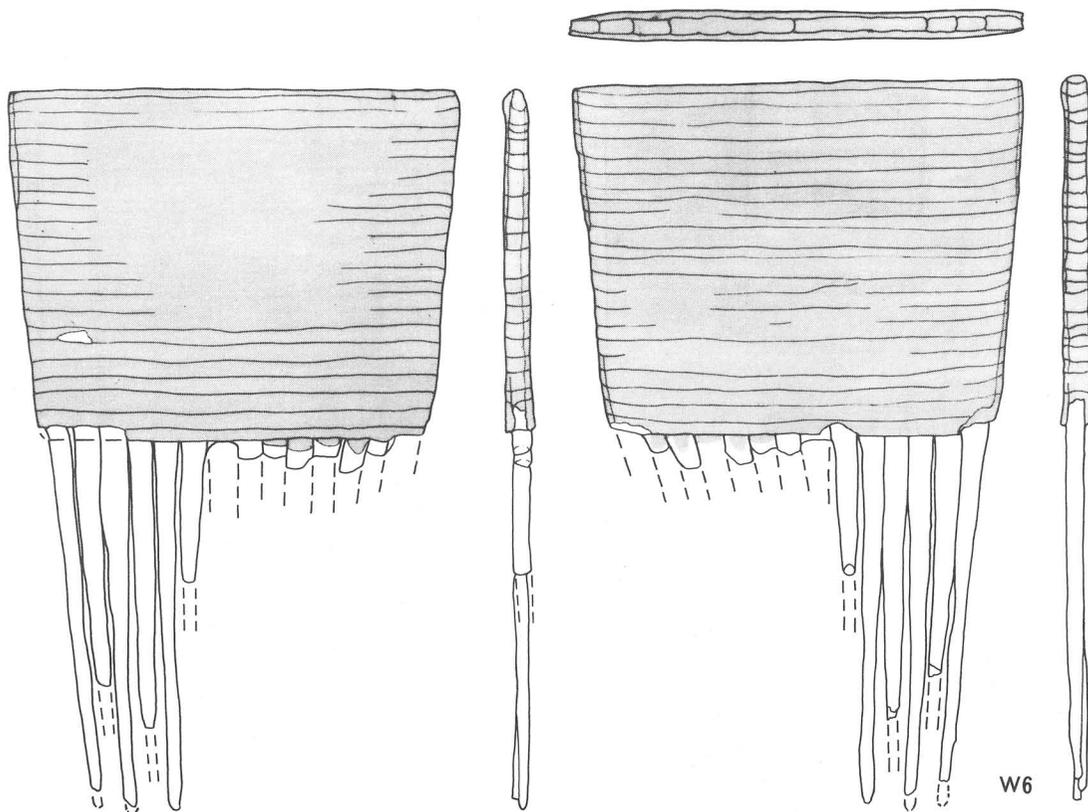
4類を除けば、1～3類まではほぼ同様な構造であるといえる。ただし、1類のうちにも上辺が直線になるW1～10、12～14とW17のように「U」字形に湾曲するものがある。

表面いずれも暗赤色の漆が塗布されているが、W15は明度が高く鮮かである。

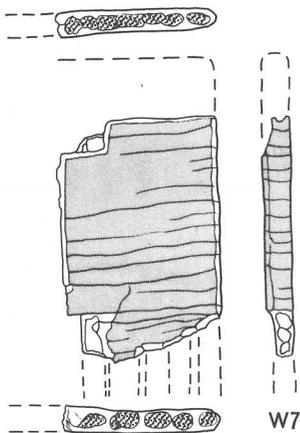
W5は乳赤褐色の漆地に赤色漆で鋸歯文を塗り分けて表現しており、赤色一辺倒のなかでは特異な表現方法となっている。



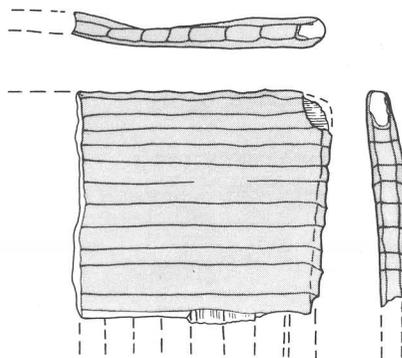
第110図 漆塗り櫛実測図(1) 1:1



W6



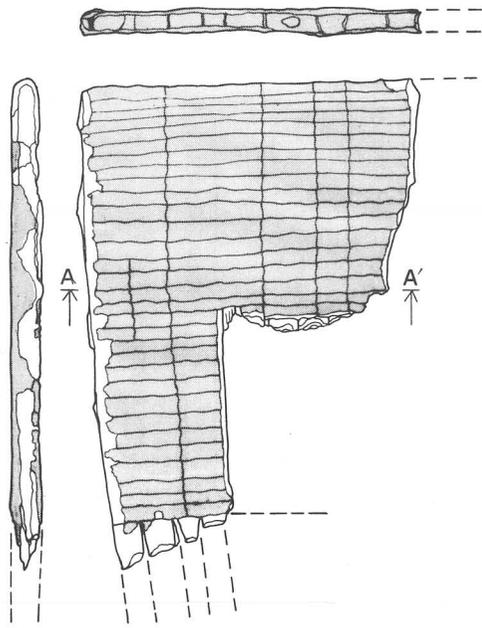
W7



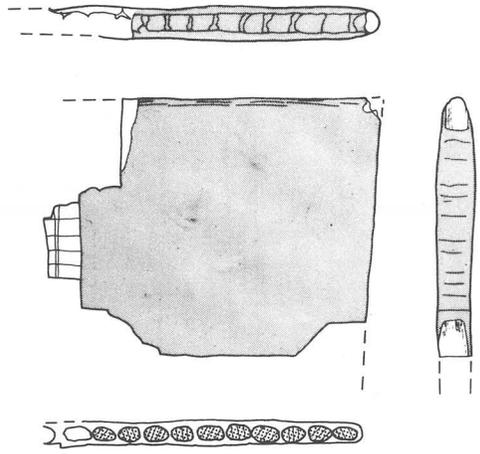
W8



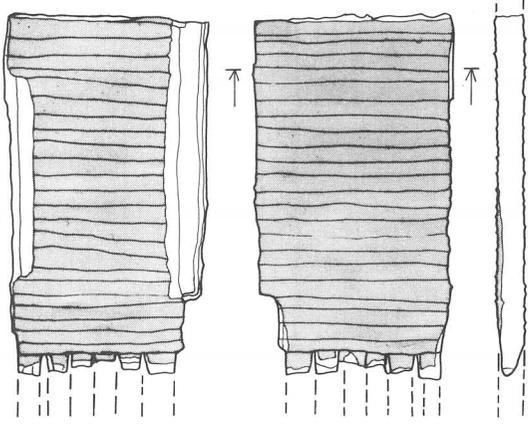
第111図 漆塗り櫛実測図(2) 1:1



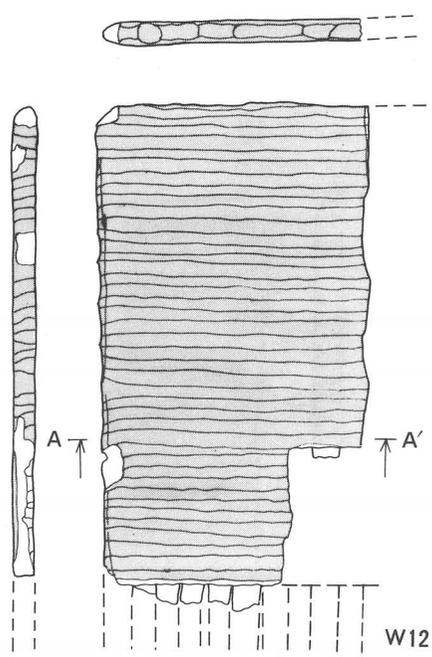
A A' W9



W10

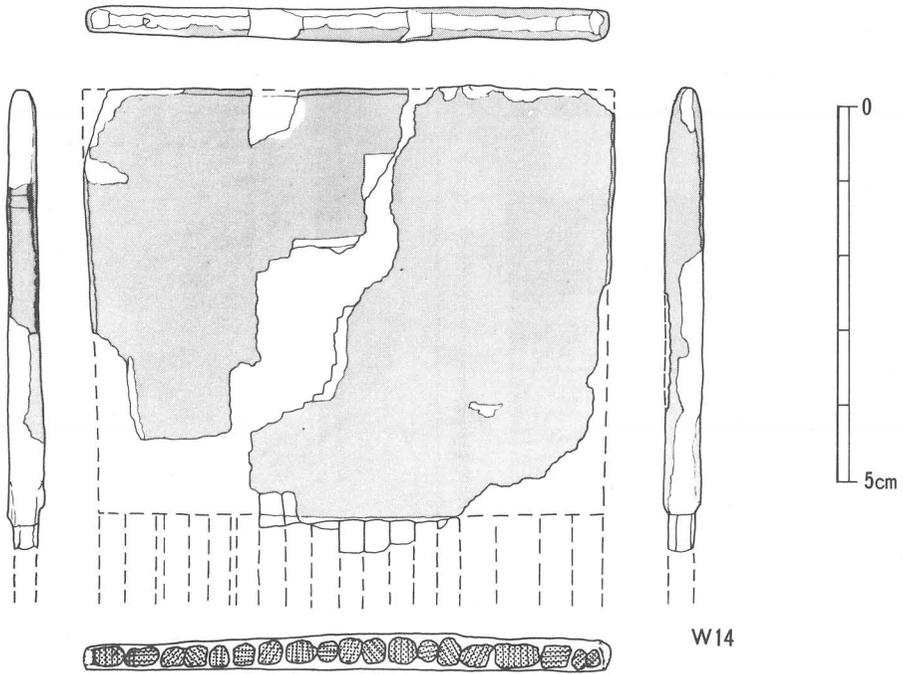
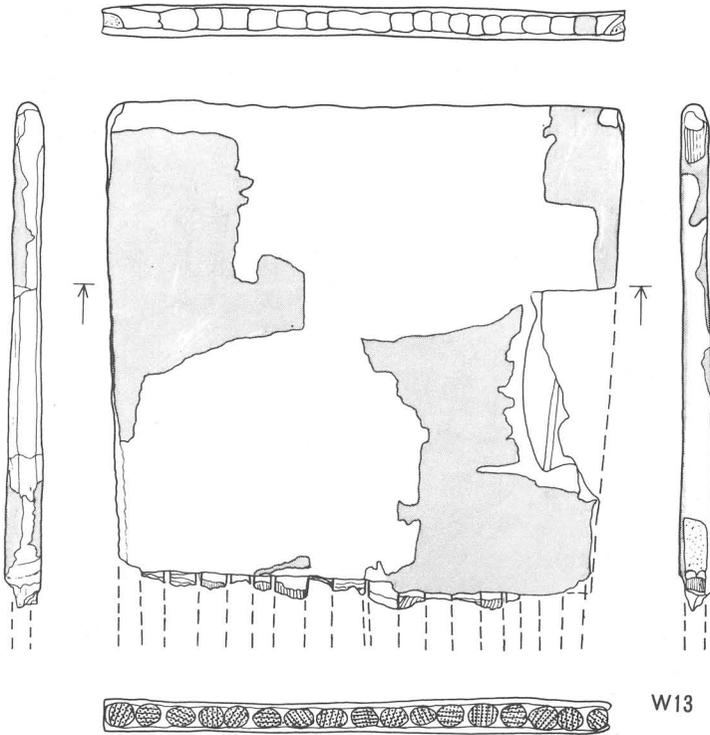


A A' W11

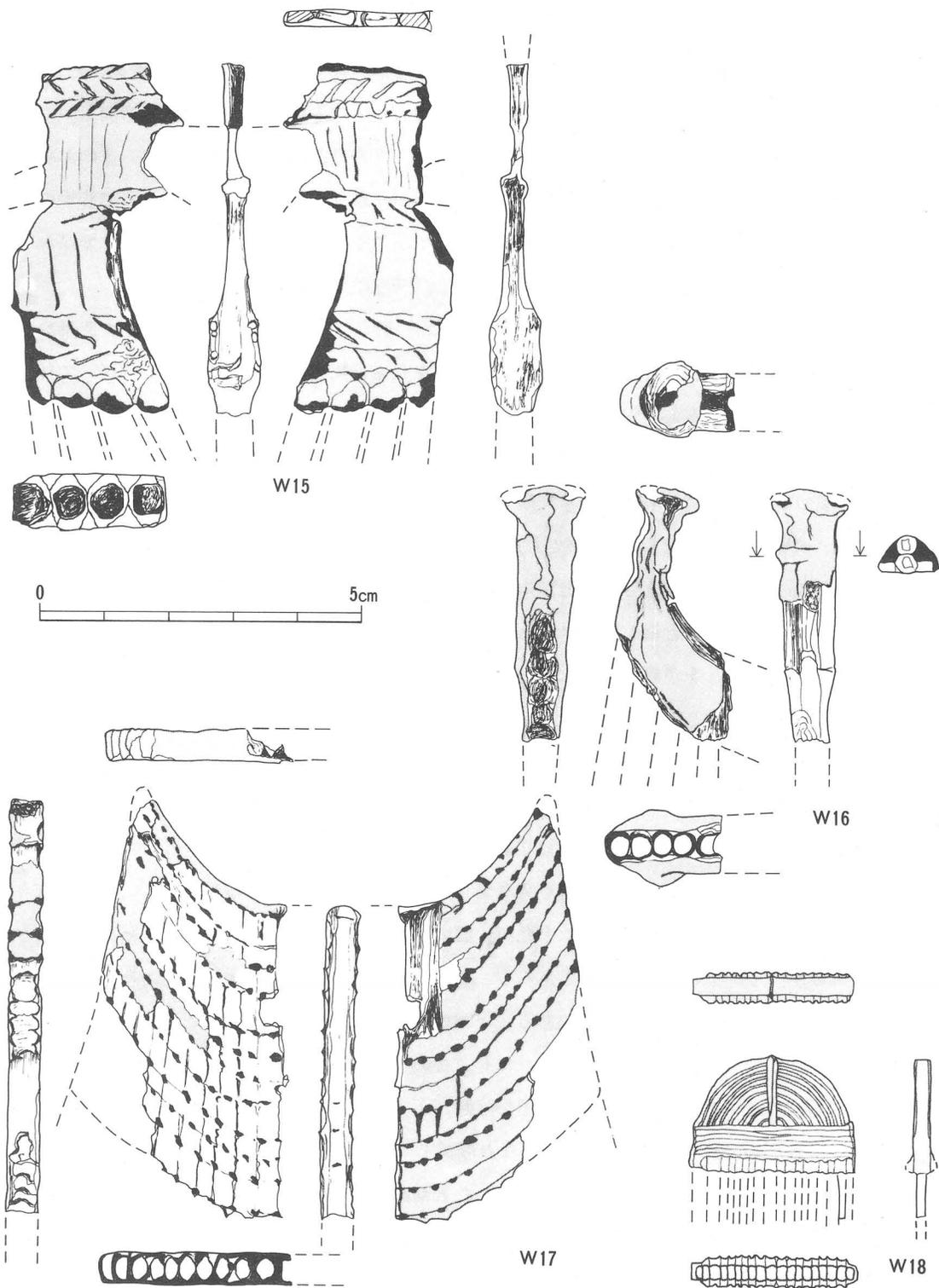


A A' W12

第112図 漆塗り榎実測図(3) 1:1



第113図 漆塗り楡実測図(4) 1:1



第114図 漆塗り櫛実測図(5) 1:1

鍬

木製農耕のうち鍬は残存状態が比較的良好で、分類可能なものは未成品も含めると64点を数える。これらは広鍬、狹鍬、横鍬（エブリ）に大別できる。当地方における鍬の出土例は近年増加しつつあるものの統一的な分類基準は設定されておらず、各遺跡ごとの分類提示にとどまっているのが現状である。当遺跡^{註1}でも以前に分類が試みられたことがあるが、現状に合わない点もあるので若干の改変が必要と考えられた。しかし新に分類基準を設定して混乱を招く恐れがあるので、ここでは木製農耕具の出土点数の多い西川津遺跡^{註2}の分類を基礎とし、一部改変して示すこととした。

広鍬A₁a（第115図W19～24 図版126） 幅広で、内面の柄孔上部に断面略三角形を呈す突帯をもち、外面中央に船形隆起を削り出すものである。細部を見ると両辺が下方にいくにしたがって外へ開き、結果的に幅広となるものW19・20・23とほぼ直線的な辺をなすものW21・22・24がある。

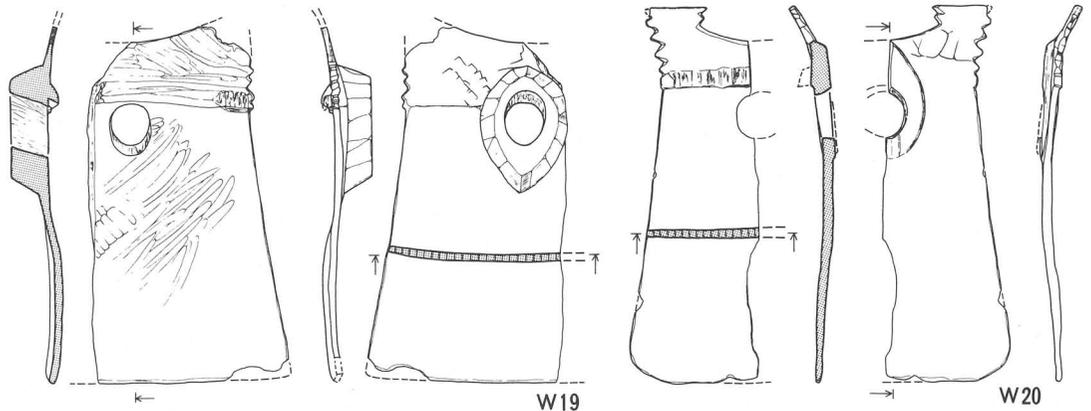
船形隆起は倒卵形を呈し、重厚な感じである。これらの中には側边上端部付近に鋸歯形の刻みを施す例W19～23がある。いずれも中央から欠損しているが船形隆起が残存しているものを参考に中軸線を想定し、身幅を推定復元するとW19が最小幅19cm、下端（歯）幅26cm、W24の最小幅が22cm、下端（歯）幅23cmを測るものであったことが知られる。W25・27は未成品で、最小幅、下端（歯）幅の数値が、前記したものと近似しており、側边上端がかなり広く木取りされているのは鋸歯形の刻みを施す予定であることを予測させるものである。W26は上半分を欠損しているが側辺が下方に行くにしたがって外へ開くこと、下端（歯）幅は24.4cmを測り、上記の数値におさまることから広鍬A₁aに含めておいた。

広鍬A₁b（第117図W28～36 図版127・128・129） 内面の柄孔上部に断面略三角形を呈す突帯をもち、外面中央に船形隆起を削り出す点は広鍬A₁aと同様であるが、平面形が正方形に近い形態を呈すこと、船形隆起が下方に向って細長く突き気味である点に相違が認められる。

W28・34には内面突帯の直下両端付近に小孔が1個ずつ貫通している。これは所謂丸鍬を固定するために木鋌等が打ち込まれていた痕跡であろう。この小孔はいずれも内外面両方向から幅1cm未満の鑿状工具によって打ち抜かれたものである。W28の下端に近い位置に小孔が認められるが、これも同様な工具によったものと考えられる。ただし、この用途は不明である。

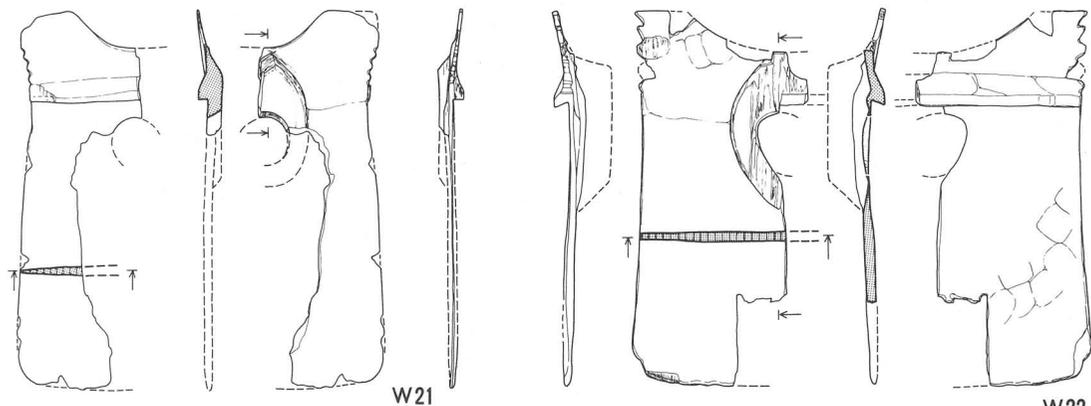
W31・37～39は未成品であるが外面中央の船形隆起が下方に向って細長く削り出されようとしている点から、広鍬A₁bに含めた。ただW37はかなり摩滅しているので、除外するとしても、W32・W39に、内面に突帯を削り出そうとした形跡がないことが注意される。ここでは平面形態と船形隆起の長さ、内面突帯がこれから削り出される可能性も考慮し、ここに含めておいたが成品の類例増加を待って検討すべきものである。

W40は柄を挿着した状態で出土したもので、身幅6cm、身の長27cm、柄長45cmを測り、他のもの



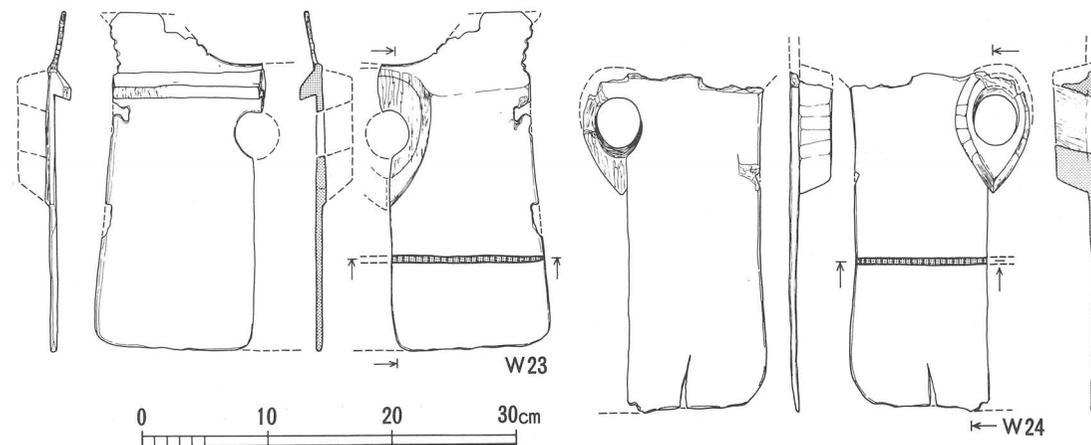
W19

W20



W21

W22

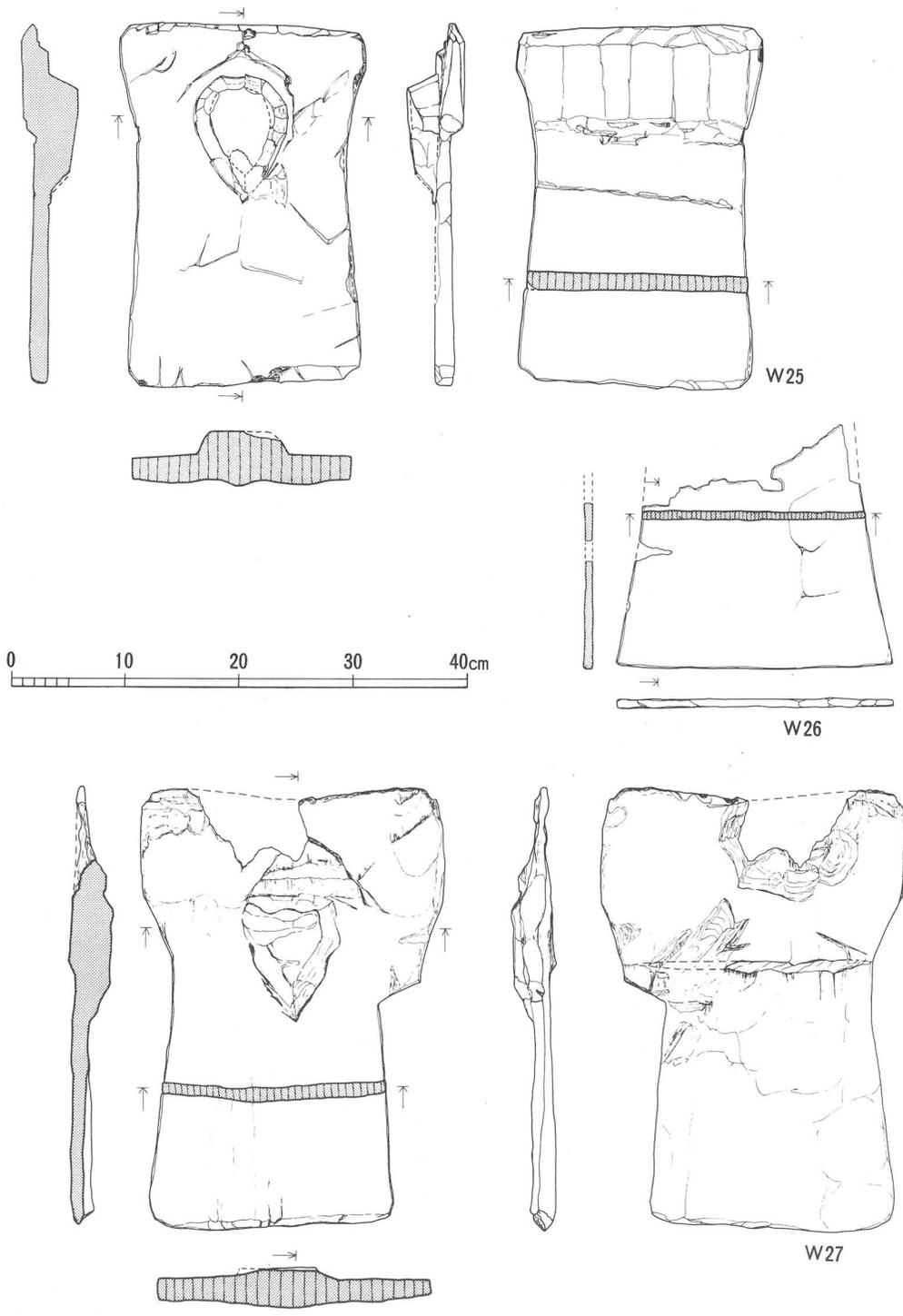


W23

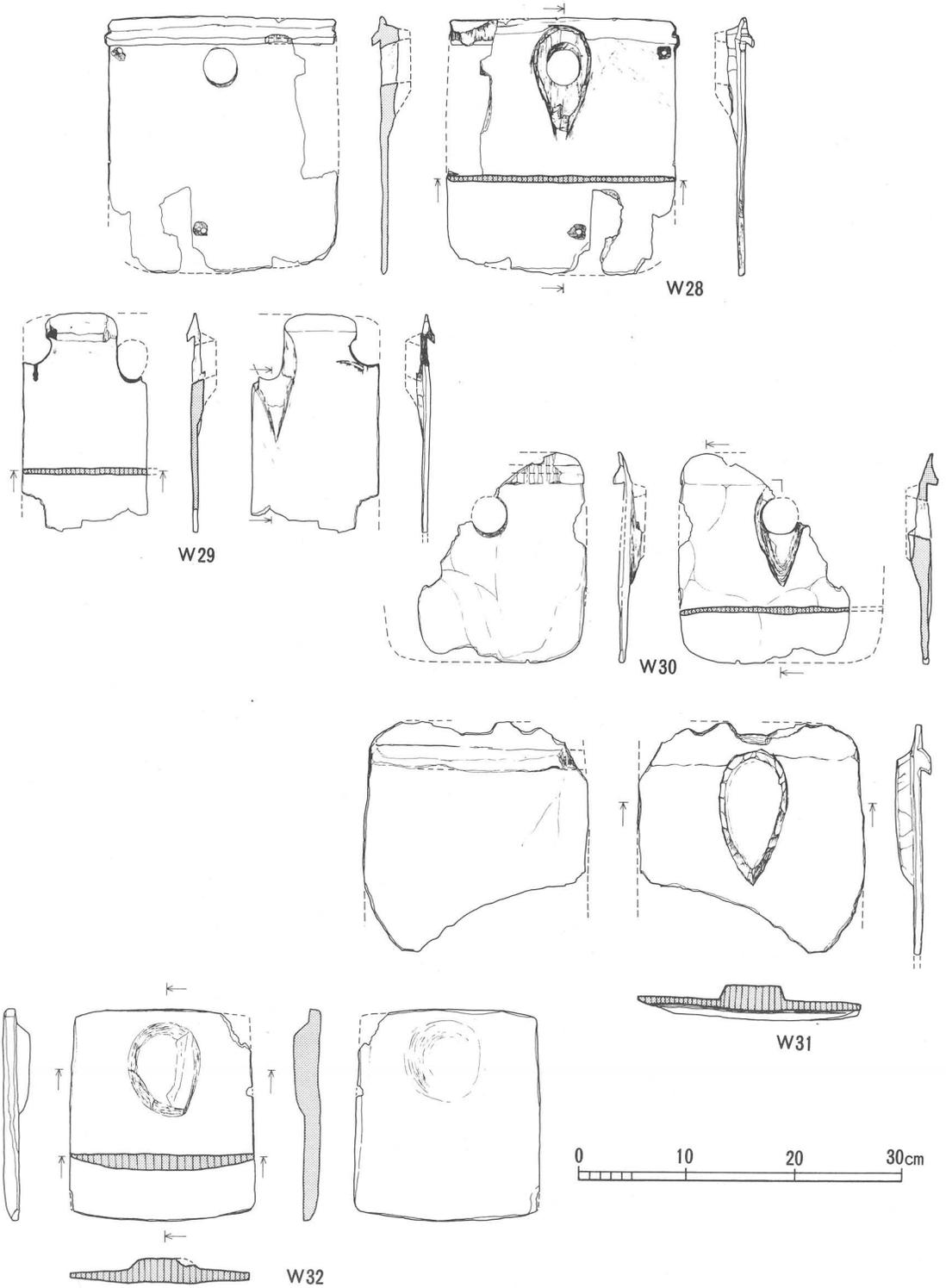
W24



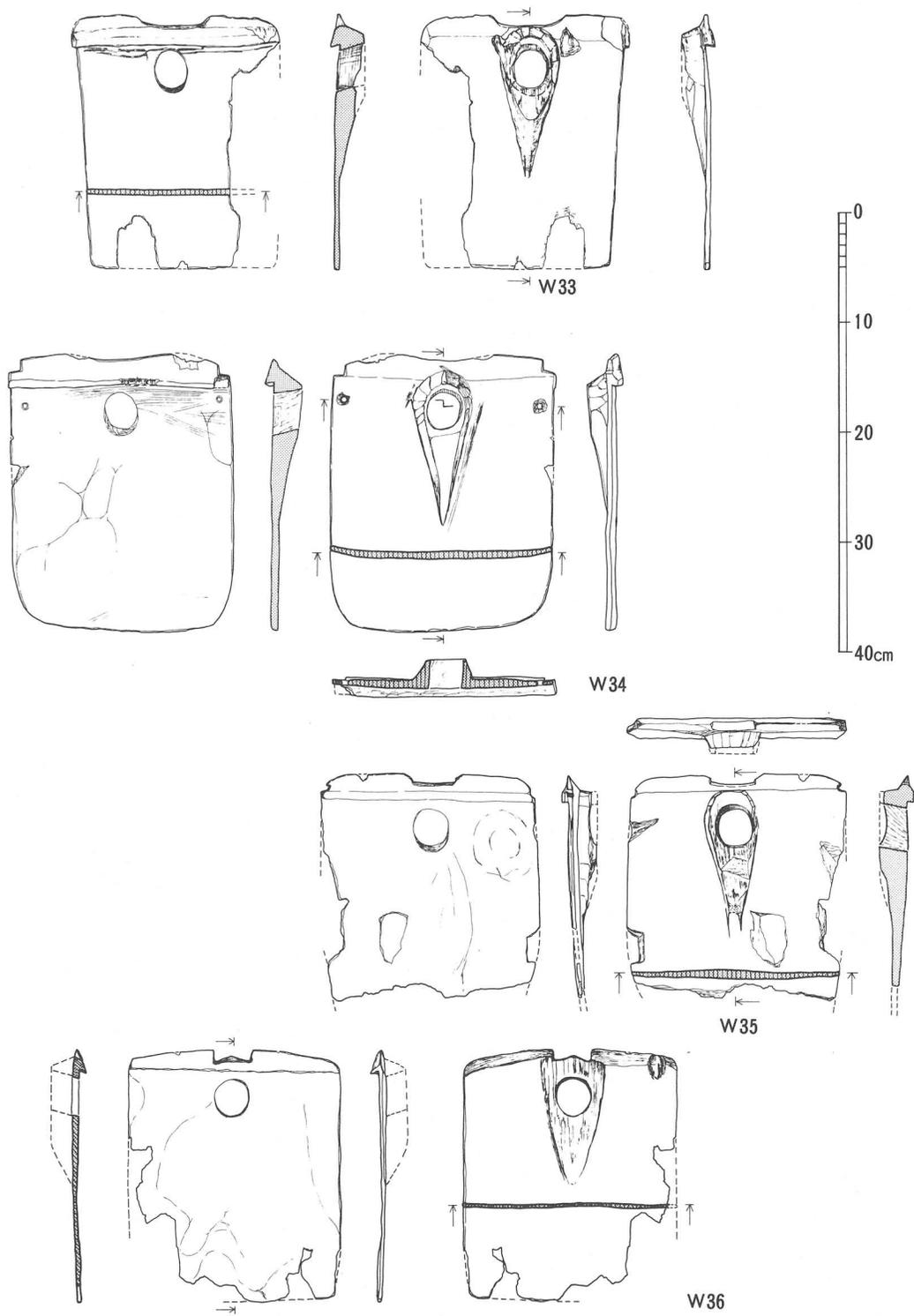
第115図 広鋏A1実測図(6) 1:6



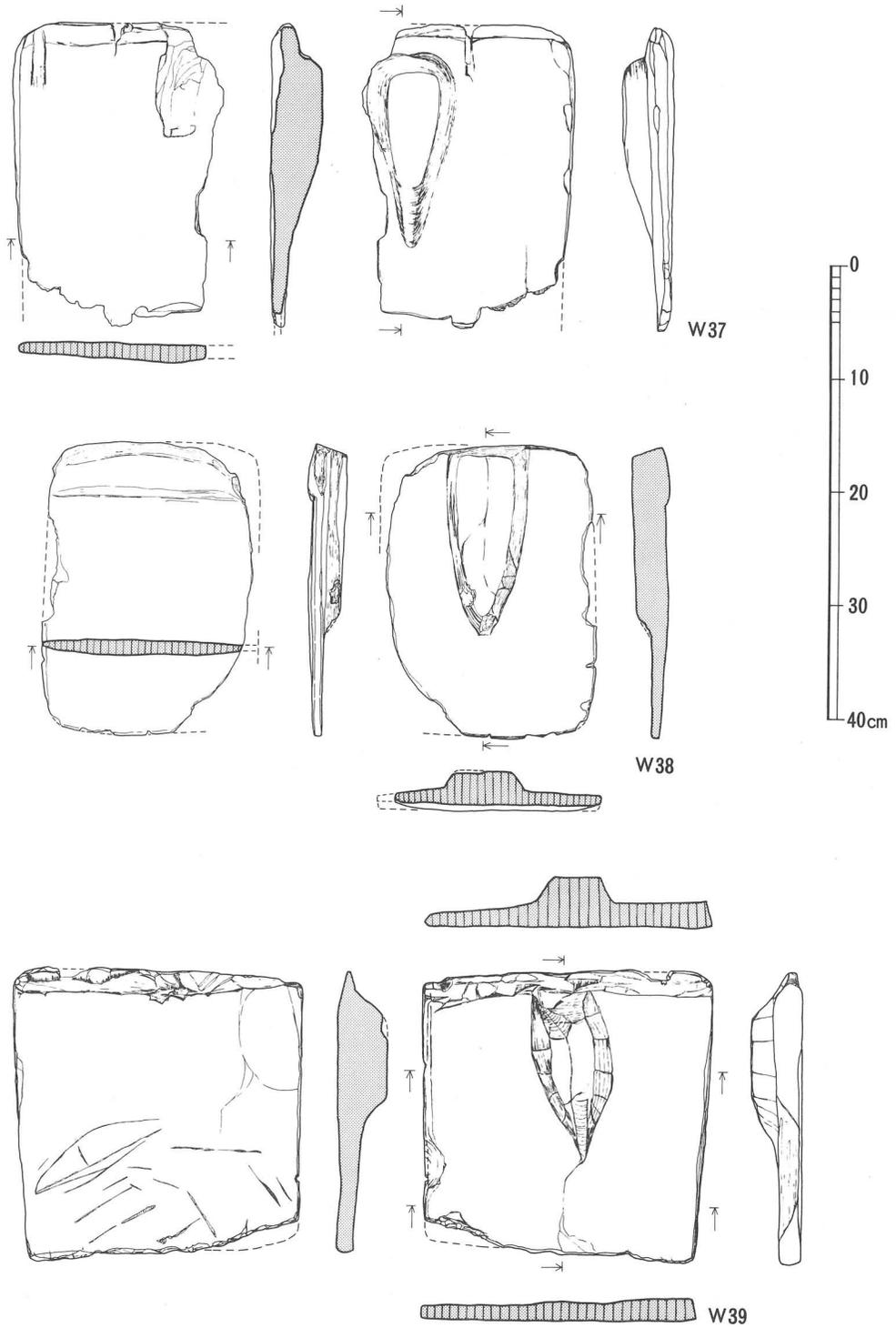
第116図 広鍬A1 未成品実測図(7) 1:6



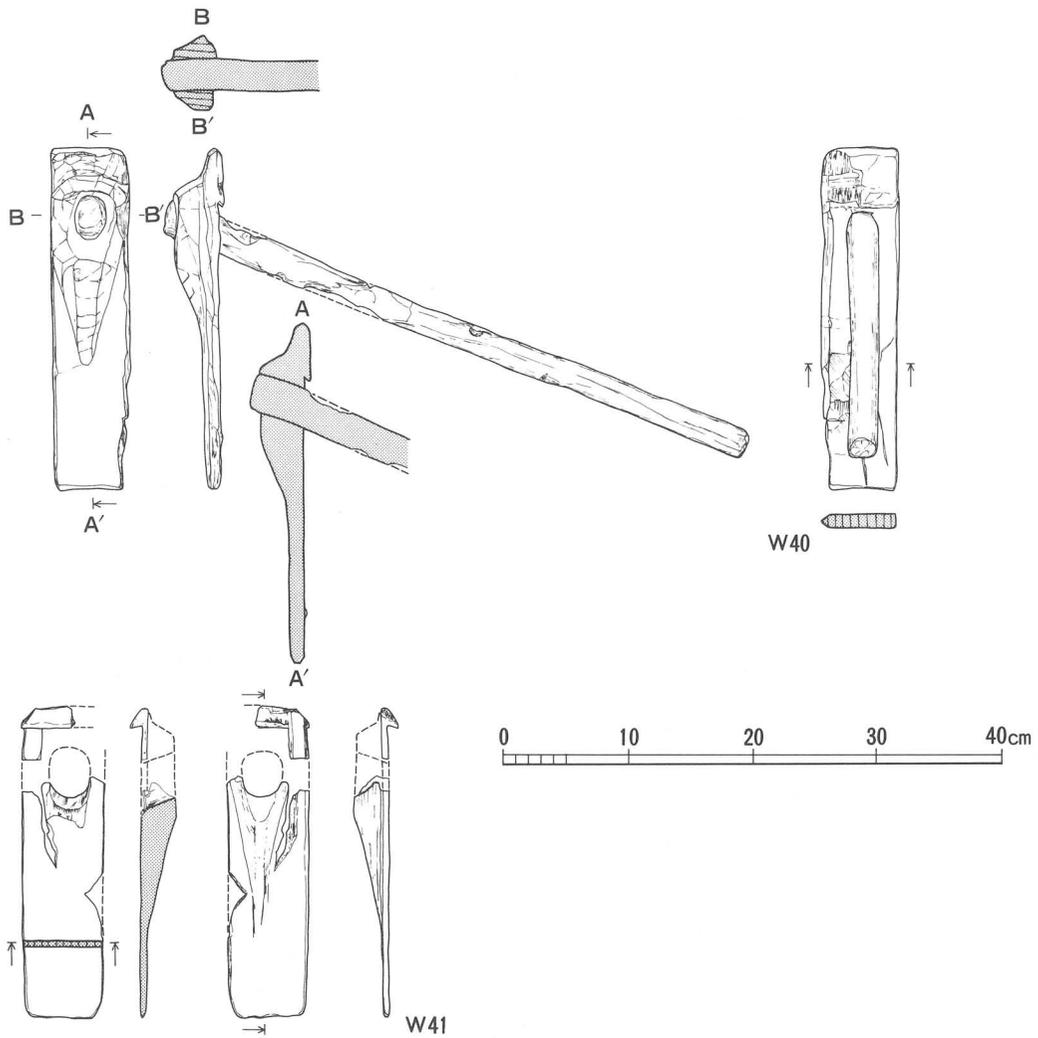
第117図 広鍬A1・A2実測図(8) 1:6



第118図 広鍬A1実測図(9) 1:6



第119図 広鋏A1・A2未成品実測図(10) 1:6



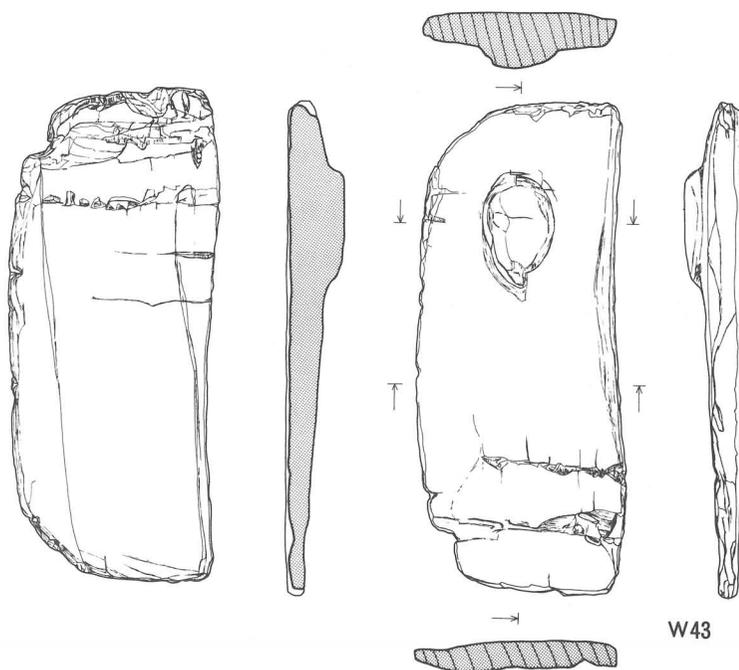
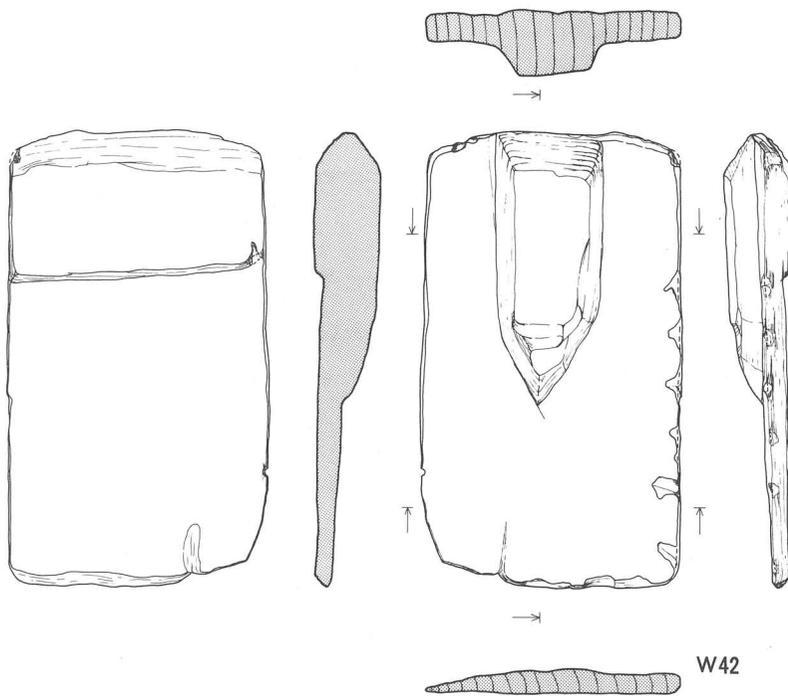
第120図 広鋏A1 転用品実測図(11) 1:6

と比較して身幅が著しく狭いことが注意される。この側辺を見ると、内面に向って左側辺は、断面図に示したように「V」字形に刃物で面取りが施されている。一方右側辺は刃物が当たった痕跡が認められない。

W41は柄孔付近を欠損しているが、前者と同様な形態を示すもので、身幅6.5cmを測る。この両側辺は刃物による加工痕跡は認められない。

W40・41は身幅が狭いことを不問とすれば、身の長さ、27cmを測り、船形隆起の形態等からすると広鋏A₁bの特徴を示すものといえる。つまり、W40は広鋏A₁bの右側辺が破損したため、船形隆起を中軸線として左側辺を削り落し、狭鋏として再利用されたものであろう。

同様な例は西川津遺跡^{註3}や当遺跡^{註4}の報告にも散見される。いずれも幅が6cm前後を測るものである



第121図 広楯A1 未成品実測図(12) 1:6

ことは広鋏A₁bの船形隆起幅や、その底面積に起因するものと考えられる。

W42・W43は広鋏Aの未成品である。W43は外面の下端（歯）部から上方へ5cmとさらに上方10cmの位置に横方向に走る刃物痕が認められる。これは鑿状工具による連打痕であって、このあたりから切断しようとしたものであろう。このことからすると完成時の身の大きさは長さ28cm、幅15cmほどの物となろう。

広鋏B（第122図W44・45・47 図版132） いずれも内面に所謂丸鋏を挿着するための突帯がなく、外面にも船形隆起が認められないものである。完成品ではないが、柄孔の位置から中軸線を想定して、身幅を推定復元するとW44・45・47の幅はそれぞれ16cm・17cm・14cmとなる。長さはW44が27cm、W45が21.5cm、W47が20.7cmを測る。

これらの柄孔は横長の楕円形、あるいは隅丸方形を呈し、これまで列記したものが正円に近い形を呈すものであったのとは大きく異なっている。

このうちW47は両側辺部よりに、やや身幅を狭くする形に一種のえぐりが認められ、これは金属製の鋏先を挿着した痕跡を思わせるものがある。この他、外面の中央に縦方向に走る稜線があって、これはW44・W45とは異なった点である。

狭鋏B（第122図W46・48・49 図版132） 前者と比較すると身幅が10cm前後と狭く、柄孔から上端部までの長さがやや長いことが指摘できる。

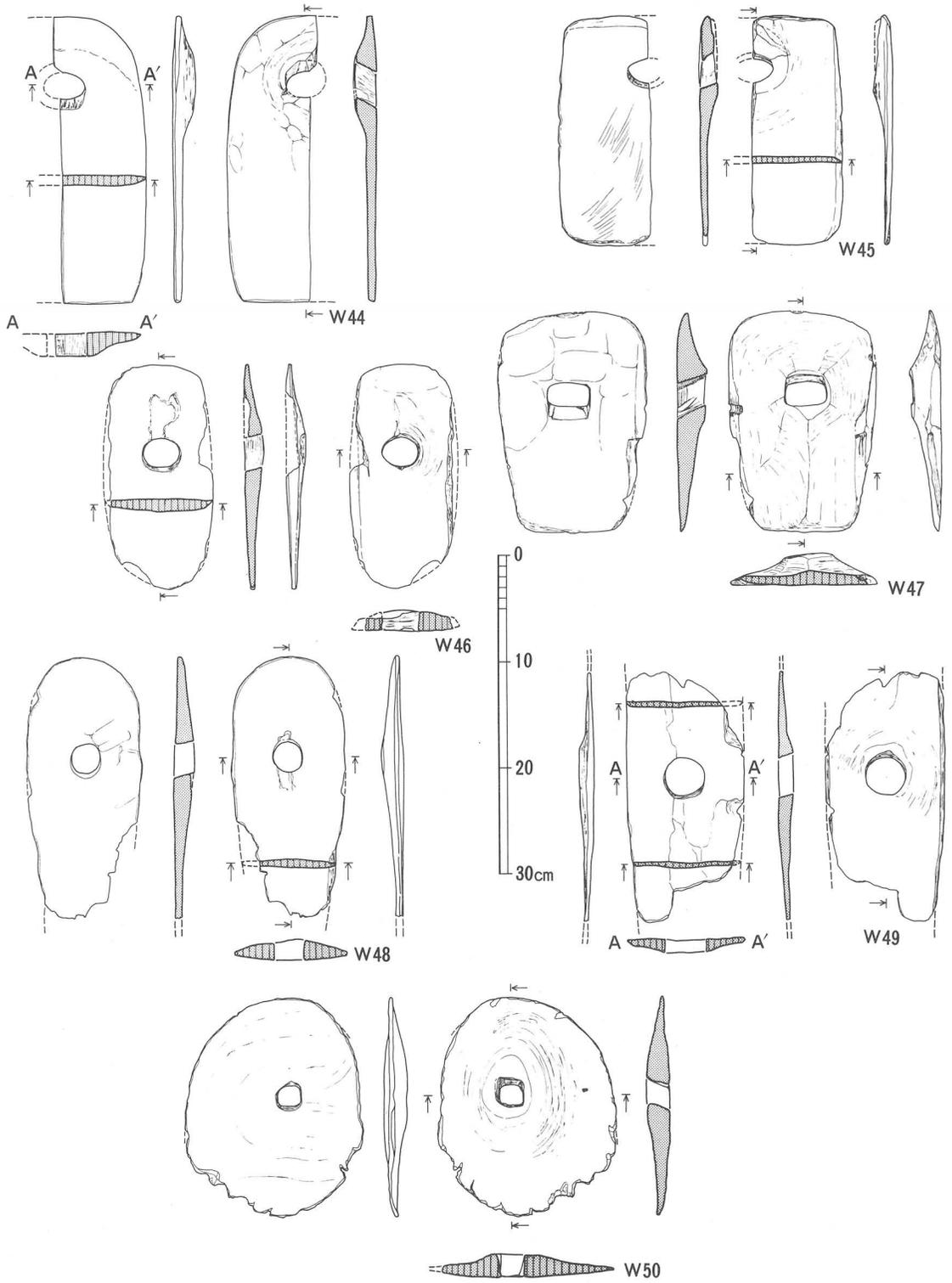
W50は外面に船形隆起、内面に突帯をもたないという点を考慮して、このB類のグループに入れておいたが、平面形態が大略円形を呈し、周囲が刃部のように薄くなっていることや柄孔が正方形に近いことからすると用途が異なる可能性も十分考えられるものである。

丸鋏（第123図W51～53 図版133） この種の木製品は近年使用方法の復元が試みられ、「泥除け具」であろうとされている。鋏と呼ぶべきものではないかもしれないが、ここでは便宜上従来の分類に従っておくこととした。W51～53は丸鋏Bである。W51は柄孔から下半を欠損している。上辺両端には広鋏A₁に挿着するための小孔が認められる。また凹面には柄孔から上方にかけて幅1cmを測る溝が走っている。これは柄の背部が接するため、その配慮であろう。

W52は柄孔の上方を欠損しているが、破面に沿って左右にそれぞれ2孔の補修孔が穿たれている。W54は当初エブリの未成品と考えていたものであるが、長さとの比がさほど開かないことから、丸鋏Aの未成品としたものである。

W55は丸鋏Bの未成品としたものであるが、凹面の右側が木理に直交する方向に切断されているため、全体の形態が丸鋏とは異なったものとなっている。これは当初丸鋏Bを意図して木取りをされたものが、作業途中で別のものに変更されたためと考えられている。

エブリ（第124図W56～58 図版134） W56は成品、W57～58は未成品である。W56は略台形の



第122図 広鍬B・狭鍬B実測図(13) 1:6